brother

刺しゅうデータ作成ソフトウェア

刺しゅうPRO 11

ESY1011

使いかたマニュアル



ご使用になる前に必ず本書をお読みになり正しくお使いください。

オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅうPRO」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、ぬい方の様々な設定ができます。

ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、ぬう条件（布、糸など）によって変わりますので、必ず実際にご使用になるミシン、ぬう条件で、試しぬいを行ってください。

刺しゅう文字について

- ミニサイズ文字以外の刺しゅう文字は、フォントによってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。1 文字のサイズは、日本語フォントは 15mm 以上、欧文フォント（アルファベットなど）は 10mm 以上での設定をおすすめします。
- TrueType フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅうデータに変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた TrueType フォントをお選びください。
- ミニサイズ文字が含まれた刺しゅうデータを縫製するときは、次の推奨事項に従ってください。

  1. 糸調子を、通常の刺しゅうデータの場合より弱く設定します。
  2. 通常の刺しゅうデータの場合より、遅い速度で縫製します。
  3. 文字の間の渡り糸を切らないようにしてください。
     （ミシンの糸調子とぬい速度の調整、および糸切りの設定については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。）

刺しゅうカード、オリジナルカードについて

本文中に記載の刺しゅうカード、オリジナルカードは販売を終了しています。あらかじめご了承ください。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

目次 2

はじめに 4

マニュアルの使い方 5
サポート・サービス 7
刺しゅう PRO ソフトウェアキーについて 9
刺しゅう PRO 11 で作成した刺しゅうデータについて 10
アプリケーションを起動／終了する 11
画面について 13
ソフトウェアの基本設定 16

レイアウトセンターの基本操作 23

レイアウトセンター 24
作ってみましょう 1 :
図形を描いてデザインする 30
刺しゅうデータを編集する 39
線と面の糸色とぬい方を設定する 54
図形を描く 70
刺しゅうデータを変形させる 76
ステッチデータを編集する 81
刺しゅうデータを確認する 87
刺しゅうデータを開く／取り込む 101
保存／印刷する 107

文字を使った刺しゅうデータを作る... 111

作ってみましょう 2 : テンプレートを使う ... 112
テンプレート機能の詳細設定 115
作ってみましょう 3 : 文字を入力する 116
文字データを作成／編集する 117
作ってみましょう 4 : モノグラム 131
モノグラム文字について 134
ユーザー登録文字 135
作ってみましょう 5 :
名前差替えデータを作る 136
名前差替え機能（文字列を差し替える）..... 139

画像から刺しゅうデータを作る... 141

ステッチウィザード :
画像を刺しゅうデータに自動変換する 142
作ってみましょう 6-1 : オートパンチ 143
オートパンチの詳細設定 145
作ってみましょう 6-2 : クロスステッチ 146
クロスステッチの詳細設定 148
作ってみましょう 6-3 : フォトステッチ 1 ... 150
フォトステッチ 1 の詳細設定 153
作ってみましょう 6-4 : フォトステッチ 2 ... 155
フォトステッチ 2 の詳細設定 157
ステッチウィザードの詳細説明 158
画像データを取り込む 163
画像の各設定を変更する 165
作ってみましょう 7 :
印刷と刺しゅうを組み合わせる 167

レイアウトセンターを使いこなす ... 172

作ってみましょう 8 :
データの周りを刺しゅうで囲む 173
背景ぬい模様の設定を指定する 177
作ってみましょう 9-1 : アップリケを作る ... 179
作ってみましょう 9-2 : ワッペンを作る 184
作ってみましょう 10-1 :
分割模様の刺しゅうデータを作る 187
分割模様の設定を変更する 193
作ってみましょう 10-2 :
大型枠用の刺しゅうデータを作る 196
作ってみましょう 10-3 : ジャンボ枠（別売）を使って刺しゅうする 201
お好みのぬい方設定を保存する 205
マニュアルパンチツールを使用する 210

ミシンへの転送方法 213

刺しゅうデータをミシンへ転送する 214
Link 機能を使って刺しゅうする 219

ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）との互換性 229

ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）との互換性 230
作ってみましょう 11 : CanvasWorkspace に FCM ファイルを送る 231
FCM ファイルを保存する／取り込む 235

デザインセンター 237

デザインセンター 238
デザインセンターの基本的な使い方 241
デザインセンターの画面 251
原画ステージ 252
輪郭線画ステージ 254
輪郭データステージ 256
ぬい方設定ステージ 261

デザインデータベース..... 269

デザインデータベース..... 270
デザインデータベースの画面..... 272
デザインデータベースを起動する..... 273
刺しゅうファイルを整理する..... 274
刺しゅうファイルを開く..... 276
刺しゅうデータをミシンへ転送する..... 277
刺しゅうファイルを検索する..... 283
刺しゅうファイルを別の形式に変換する.... 284
刺しゅうファイルを確認する..... 285
刺しゅうファイルの一覧を出力する..... 287

ステッチクリエイター..... 289

ステッチクリエイター..... 290
ステッチクリエイターの基本的な使い方.... 292
プログラムタタミ／スタンプパターンを作る..... 294
プログラムタタミ／スタンプモードで編集する..... 298
モチーフパターンを作成する..... 300
モチーフモードで編集する..... 303
飾り模様ぬいパターンを作成する..... 304
ステッチクリエイターの画面..... 307
下絵を使う..... 308
プレビューウィンドウ..... 310
パターンを保存する..... 310
表示設定を変更する..... 312

フォントクリエイター..... 313

フォントクリエイター..... 314
下絵から新しいフォントを作る..... 316
刺しゅうデータをフォントとして登録する... 323
フォントクリエイターの画面..... 328
フォントファイルを開く..... 330
文字を選択して下絵を準備する..... 331
フォントデータを作る..... 333
フォントデータのポイントを編集する..... 334
作ったフォントデータを確認する..... 335
フォントファイルを保存する..... 337
各設定を変更する..... 338

ステッチデザインファクトリー... 340

ステッチデザインファクトリー..... 341
ステッチデザインファクトリーの基本操作... 343
ステッチパターンデータを編集する..... 346
書き出すファイルの形式を変更する..... 349
ステッチデザインファクトリーの画面..... 351
下絵を使う..... 352
その他の設定..... 353

ヒントとテクニック..... 355

基本操作について..... 356
設定について..... 358
各種設定を変更する..... 359
このアプリケーションを効果的に使用するために..... 365

ぬい方設定・フォント一覧..... 367

ぬい方設定..... 368
内蔵フォント..... 393
ステッチデザインファクトリーのステッチパターン..... 397
困ったときは..... 400
索引..... 402

はじめに

基本となるアプリケーションとサポート情報について説明します。

マニュアルの使い方

本製品には次のマニュアルが入っています。

かんたんガイド（PDF 形式）

ソフトウェアを使用する前に、かんたんガイドをお読みください。かんたんガイドでは前半に、このソフトウェアを使うために必要な手順と注意事項について説明しています。後半は、主な機能を使用して刺しゅうデータを作成する基本の操作方法と応用例です。

以下の方法で、かんたんガイドを表示します。

- Windows 10 の場合：をクリックします。**［刺しゅう PRO 11］**をクリックして、**［かんたんガイド］**を選択します。
- Windows 8.1 の場合：**［スタート］**画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印（タイルの左下）をクリックします。
  画面に表示されるアプリケーションリストから、タイトル**［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［かんたんガイド］**をクリックします。

オンラインマニュアル（HTML 形式）／使いかたマニュアル（PDF 形式）

オンラインマニュアル／使いかたマニュアルは、このソフトウェアの使い方について説明しています。

オンラインマニュアルと使いかたマニュアルの記載内容は同じです。

「刺しゅう PRO ソフトウェアキーについて」、「アプリケーションを起動／終了する」、「刺しゅう PRO 11 で作成した刺しゅうデータについて」、「刺しゅうデータの取り込み方」、「画面について」をお読みになり、ソフトウェアの基本概要をご理解ください。

次に、「レイアウトセンターの基本操作」をお読みください。この章では、代表的な刺しゅうデータの作り方を練習課題にして、レイアウトセンターの基本的な使い方とミシンへの転送方法を説明しています。この手順に沿って、実際に刺しゅうデータを作ってみてください。

各アプリケーションの章では、いろいろな設定や便利な機能について、機能別に説明しています。各タイトルから、知りたい情報ページに進んでいただけます。練習課題が記載されている機能は、どんなことができるか、手順に沿って試してみましょう。その後、詳しい説明をお読みください。

また以下の各章では次の内容を説明しています。必要に応じてお読みになり、ご活用ください。

サポート・サービス：本製品についてのお問い合わせ先、プログラムのアップデートのしかたを説明しています。

ヒントとテクニック：**［オプション］**ダイアログボックスの設定方法、トラブル発生時の対処方法、本ソフトウェアをより使いこなしていただくためのコツや注意点を説明しています。

ぬい方設定・フォント一覧：ぬい方の種類、ぬい方設定、内蔵フォントを一覧できます。

なお、本マニュアルの手順は、Windows 10 を基準に記載されています。Windows 10 以外のシステム環境でご使用の場合は、手順や表示画面が多少異なります。

■オンラインマニュアルの開き方

オンラインマニュアルは、モバイル端末からでもアクセスすることができます。

http://s.brother/cmpka/

［スタート］画面から閲覧する（Windows 10 の場合）

をクリックします。**［刺しゅう PRO 11］**をクリックして、**［オンラインマニュアル］**を選択します。

- Windows 8.1 の場合：**［スタート］**画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印（タイルの左下）をクリックします。
  画面に表示されるアプリケーションリストから、タイトル**［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［オンラインマニュアル］**をクリックします。

アプリケーションから閲覧する

各アプリケーションのウィンドウ内にある**［ヘルプ］**をクリックします。**［デザインデータベース］**では、**［ヘルプ］**はウィンドウ上部のメニューバーにあります。

他のアプリケーションでは、ウィンドウの右上に配置されています。

- PDF 形式の使いかたマニュアルは、パソコンがオフラインの時にもご覧いただくことができます。以下の方法で、PDF 形式の使いかたマニュアルを表示します。
  - Windows 10 の場合：をクリックします。**［刺しゅう PRO 11］**をクリックして、**［使いかたマニュアル］**を選択します。
  - Windows 8.1 の場合：**［スタート］**画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印（タイルの左下）をクリックします。
    画面に表示されるアプリケーションリストから、タイトル**［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［使いかたマニュアル］**をクリックします。
- 使いかたマニュアル（PDF 形式）をご覧になったり、印刷するには、Adobe® Reader® が必要です。

サポート・サービス

ユーザーサポート

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。

本製品のサポート情報については、レイアウトセンターの **[ヘルプ]** メニューから［刺しゅう PRO WEB ページ］をクリックして、刺しゅう PRO 11 のホームページをご覧ください。メニューから刺しゅう PRO WEB ページを開けない場合は、下記アドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。

ブラザーのサポートサイト（http://s.brother/cppad/）

- お問い合わせいただく前に次の点をご確認ください。より早く回答を見つけることができます。
  - ♦ パソコンの OS を最新の状態にアップデートしてください。
  - ♦ ご使用のパソコンの製造番号、モデル番号と、お使いの OS のバージョンをご確認ください。（動作環境については、かんたんガイドを参照してください。）
  - ♦ 表示されたエラーメッセージなどの内容をご確認ください。

最新のプログラムにアップデートする

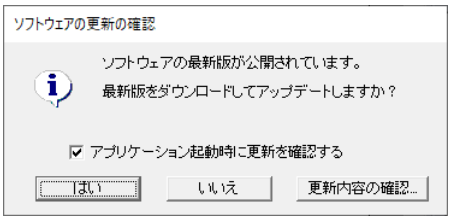
レイアウトセンターの**ヘルプ**をクリックし、**[ソフトウェアの更新を確認]**をクリックします。
最新のプログラムになっているか自動的にチェックし、アップデートします。

- 最新のプログラムにアップデートする場合は、Administrator の権限のついたユーザーアカウントでログオンしてください。Administrator の権限のついたユーザーアカウントでのログオンについて詳しくは、Windows の取扱説明書を参照してください。
- インターネットに接続していないパソコンではこの機能は使えません。
- ファイアウォール機能を使用しているときは、プログラムのバージョン確認ができない場合があります。その場合は、一時的にファイアウォール機能を停止してください。

次のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっています。



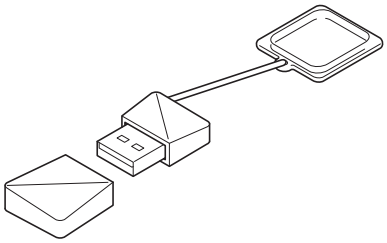
次のメッセージが表示された場合は、プログラムは最新になっていません。**[はい]**をクリックすると、Web から最新のプログラムがダウンロードされます。



[アプリケーション起動時に更新を確認する]をチェックすると、プログラムの起動時に毎回最新のプログラムになっているかチェックします。

刺しゅう PRO ソフトウェアキーについて

刺しゅう PRO 11 を使用するには、付属の「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をコンピューターの USB ポートに差し込む必要があります。
ソフトウェアの不正利用を防止するため、本ソフトウェアは「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を挿入しないと起動できません。

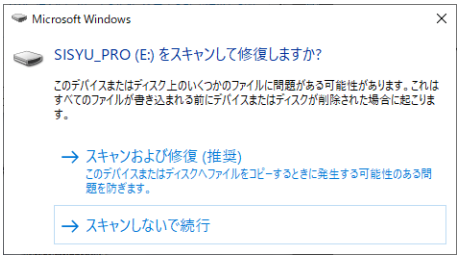


※ デザインは変更されることがあります。

- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」は、USB メモリーとしては使用できません。転送または保存目的で「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に刺しゅうファイルを保存しないでください。
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をコンピューターの USB ポートに差し込むと、**［自動再生］**ダイアログボックスが表示されます。をクリックしてダイアログボックスを閉じ、刺しゅう PRO 11 を起動します。



- 「SISYU_PRO（E:）をスキャンして修復しますか？」というメッセージが表示されたら、**［スキャンしないで続行］**を選択し、刺しゅう PRO 11 を起動します。刺しゅう PRO のドライブ名はコンピューターによって異なります。



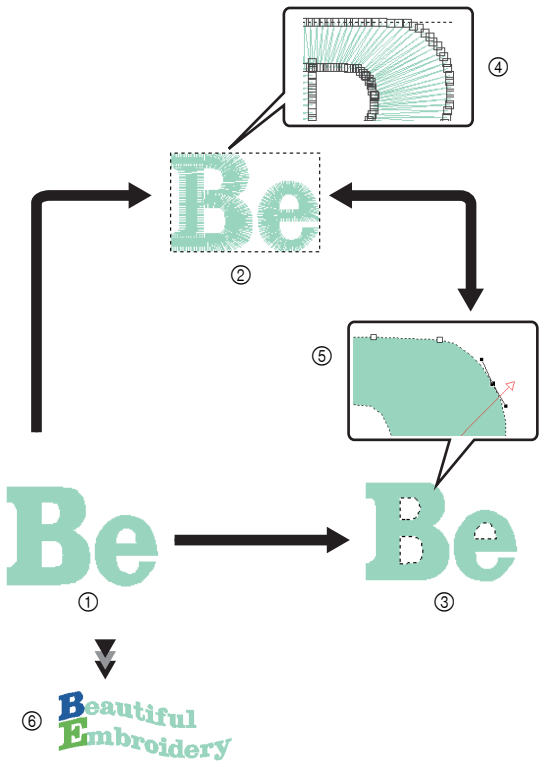
- コンピューターから「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を取り外すには、**［スタート］**-［ドキュメント］をクリックして、「SISYU_PRO（E:）」を右クリックし、**［取り出し］**をクリックします。（「E:」は「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に使用されるドライブ名です。）
- 「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を初期化しないでください。
- 予期せぬ事態に備え、バックアップを取ることをお勧めします。

刺しゅう PRO 11 で作成した刺しゅうデータについて

刺しゅう PRO 11 では、3 種類のデータを使用します。

ステッチデータ：内蔵の刺しゅうデータ（刺しゅう PRO 11 で変換して作成します。）
文字データ：［文字］ツールで作成します。
図形データ：［図形］ツールで作成します。単数または、複数のぬい角度が全領域に適用されます。

下記のように、各データは別の種類のデータに変換できます。矢印は、データを変換できる方向を示します。データの編集方法はデータの種類によって異なります。



① 文字データ
② ステッチデータ
③ 図形データ
④ 針落ち点を編集して形状を変更します。
⑤ 図形データの輪郭を編集して形状を変更します。
⑥ 文字の編集または、フォントを変更します。

ステッチデータ

ポイント（針落ち点）を編集（ポイントの移動 / 削除による変形、ポイントで線を切断 / 接続）したり、ステッチを切断できます。ただし、面や線のぬい方またはぬい方設定は指定できません。

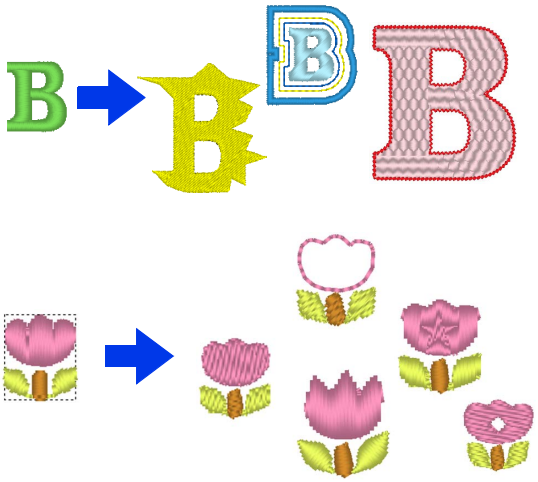
文字データ

文字の入力／削除によって文字を編集し、書式設定（フォントまたは変形など）とぬい方設定を指定できます。

図形データ

面と線のぬい方とぬい方設定の指定、図形データの輪郭の編集（ポイントの移動 / 削除、ハンドル移動による変形、ポイントで線を切断 / 接続）、ぬい角度の変更、スタンプの入力／編集、エンボス効果の適用、重なった面の削除／結合、ドーナツぬいの設定、図形の分割、オフセットラインと花模様の作成を行えます。

たとえば、ステッチデータを図形データに変換すると、ぬい方とぬい方設定を変更でき、また簡単に形状の編集やサイズ変更ができます。文字データを図形データに変換すると、ぬい角度と文字の形を編集でき、またオフセットラインを作成できます。



データの種類によって使用できない機能は、データを別の種類に変換すると使用できる場合があります。必要に応じて、別の種類のデータに変換してください。

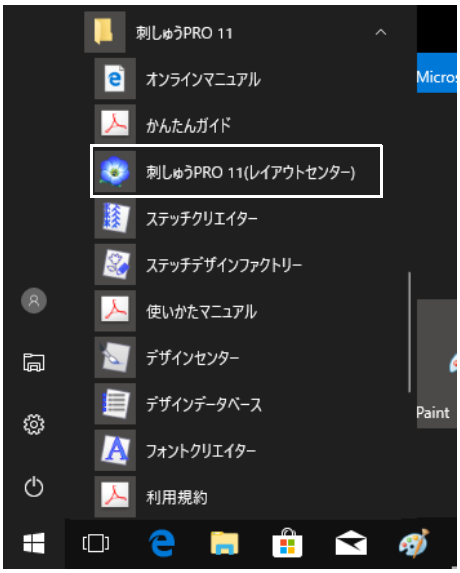
アプリケーションを起動／終了する

アプリケーションを起動する

をクリックして、**［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［刺しゅう PRO 11 (レイアウトセンター)］**をクリックします。

アプリケーションが起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。

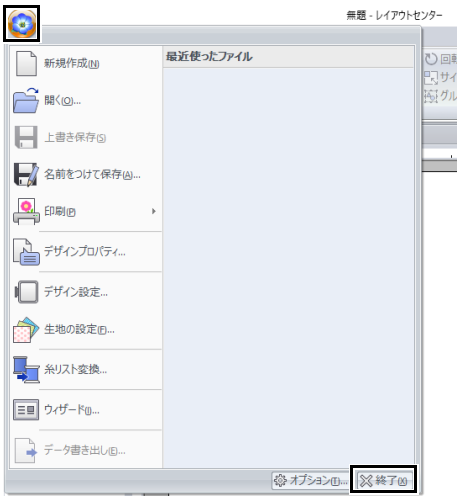
▶▶ P. 12 の「スタートアップウィザードについて」



Windows 8.1 の場合：**［スタート］**画面左下の下矢印をクリックして**［アプリ］**ビューを表示し、画面のタイトル**［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［刺しゅう PRO 11 (レイアウトセンター)］**をクリックします。

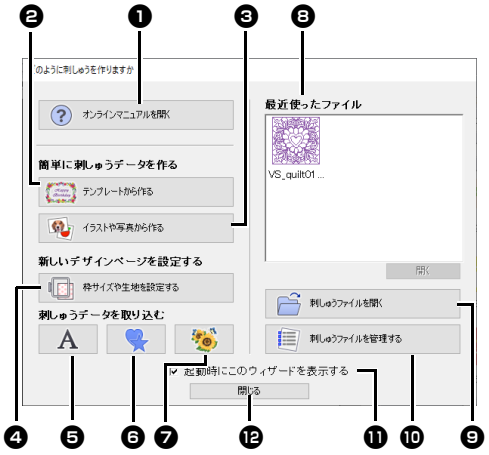
アプリケーションを終了する

→**［終了］**の順にクリックします。



スタートアップウィザードについて

［レイアウトセンター］を起動すると、次のスタートアップウィザード画面が表示されます。



❶ **オンラインマニュアルを開く**
使いかたマニュアル（HTML ／ PDF 形式）が開きます。

❷ **テンプレートから作る**
［テンプレートウィザード］が起動します。

▶▶ P. 112 の「作ってみましょう 2 : テンプレートを使う」

❸ **イラストや写真から作る**
画像から刺しゅうデータを作成するウィザードが起動します。

▶▶ P. 142 の「ステッチウィザード : 画像を刺しゅうデータに自動変換する」と P. 163 の「画像データを取り込む」

❹ **枠サイズや生地を設定する**
デザインページのサイズ（刺しゅう枠サイズ）を指定できます。
刺しゅうする生地を選択し、その生地に適したぬい方設定を指定できます。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」と P. 205 の「リストからぬい方設定を呼び出す」

❺ 
［取り込み］ウィンドウの**［文字データ］**から刺しゅうデータを取り込むことができます。

❻ 
［取り込み］ウィンドウの**［図形データ］**から刺しゅうデータを取り込むことができます。

❼ 
［取り込み］ウィンドウの**［デザインライブラリー］**から刺しゅうデータを取り込むことができます。

❽ **最近使ったファイル**
リストから最近使用したファイルのサムネイルを選択し、**［開く］**をクリックしてそのファイルを呼び出します。

❾ **刺しゅうファイルを開く**
刺しゅうデータ（.pes）を開くことができます。

▶▶ P. 101 の「レイアウトセンターファイルを開く」

❿ **刺しゅうファイルを管理する**
［デザインデータベース］が起動します。

▶▶ P. 269 の「デザインデータベース」

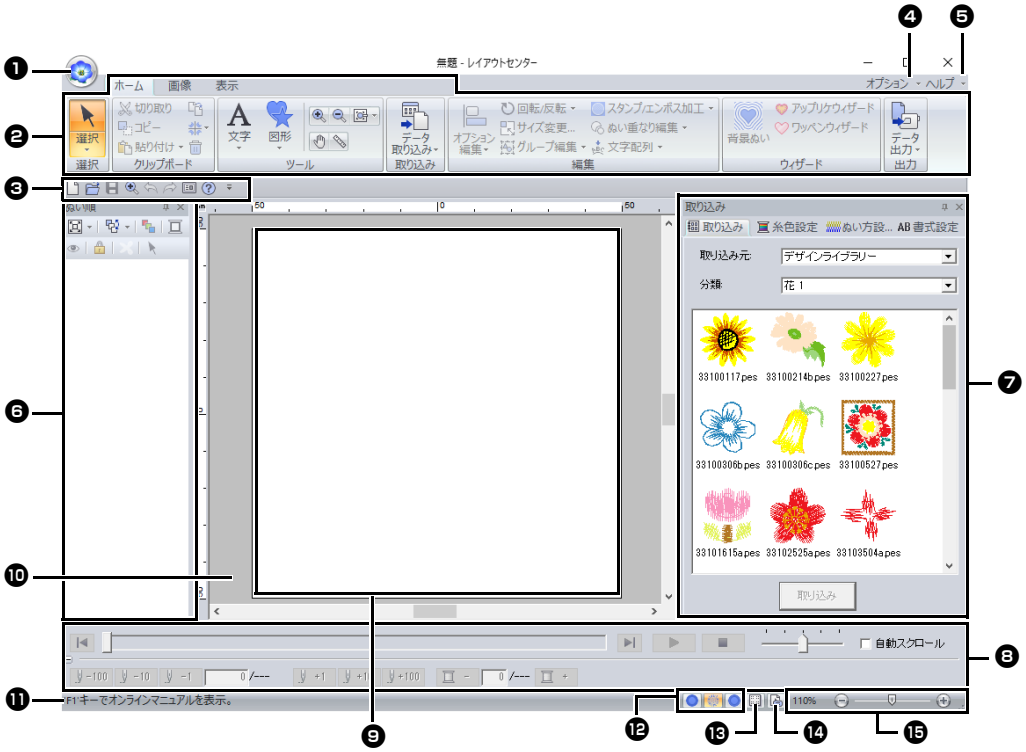
⓫ **起動時にこのウィザードを表示する**
このチェックボックスをチェックすると、レイアウトセンターの起動時にスタートアップウィザードが常に起動します。

⓬ **閉じる**
操作を行わずにスタートアップウィザードを閉じます。

［レイアウトセンター］使用中にウィザードを開くには、ウィンドウ上部の（**［クイックアクセスツールバー］**にある）をクリックするか、をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［ウィザード］**を選択します。

画面について

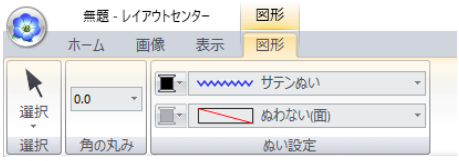
レイアウトセンターの画面



❶ アプリケーションボタン
クリックするとメニューが表示され、**[新規作成]**、**[上書き保存]**、**[印刷]**、**[デザイン設定]** などのファイル操作を行うことができます。

❷ リボン
上部のタブをクリックして、表示するコマンド群を切り替えます。
下部のグループ名を参考にして目的のコマンドを選びます。▾ マークが付いているコマンドをクリックすると、コマンドメニューが表示されます。
ツールまたは刺しゅうデータを選択すると表示されるタブがあります。そのツールで、またそのデータを操作するためのコマンドが用意されています。

例）図形（長方形）ツール選択時



❸ クイックアクセスツールバー
よく使うコマンドが配置されています。どのリボンタブを選択しても表示されるので、よく使うコマンドを追加しておくと便利です。

▶▶ P. 361 の「クイックアクセスツールバーをカスタマイズする」

❹ オプションボタン
他のアプリケーションを起動したり、ユーザー糸リストなどのアプリケーション設定を指定できます。

❺ ヘルプボタン
マニュアルを表示したり、ソフトウェアに関する情報を見ることができます。

❻ ぬい順ウィンドウ
ぬい順が表示されます。上部のボタンでぬい順を変更したり、糸色を変更したりできます。

❼ 取り込み／糸色設定／ぬい方設定／書式設定 ウィンドウ
刺しゅうデータの取り込みに加え、糸色設定、ぬい方設定、書式設定を統合したウィンドウです。タブで表示を切り替えます。

❽ ステッチシミュレーター
ミシンでどのようにぬわれていくか、縫製の様子をステッチ シミュレーターで確認できます。

❾ デザインページ
この領域内で、刺しゅうデータを作ります。

❿ 作業領域

⓫ ステータスバー
刺しゅうデータのサイズや針数などが表示されます。

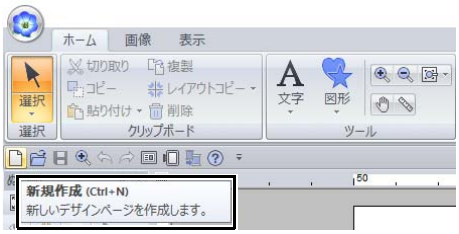
⓬ 表示モードボタン
表示モードを変更できます。

⓭ グリッド表示ボタン
グリッドの表示／非表示を切り替えます。

⓮ デザインプロパティ
刺しゅうデータの情報を表示します。

⓯ ズーム
現在の表示倍率を表示しています。クリックすると、倍率を数値で指定できます。
スライダーをドラッグしても、表示倍率を変更できます。

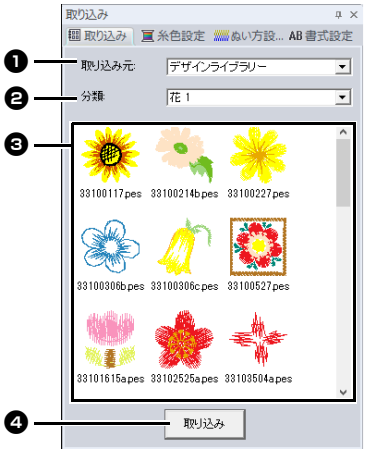
- 6、7、8 は、**［表示］**タブの**［表示または非表示］**で表示／非表示を切り替えることができます。また、独立したウィンドウで表示（フローティング）したり、メイン画面に結合させて表示（ドッキング）したりできます。
- コマンドの上にカーソルを置くと , ポップヒントが表示され、そのコマンドの機能説明やキーボードショートカットを確認できます。



刺しゅうデータの取り込み方

■取り込みウィンドウを使う

刺しゅうデータは［**取り込み**］ウィンドウを使用して取り込むことができます。



❶ **取り込み元**
刺しゅうデータの取り込み元を選択します。

❷ **分類**
データのカテゴリーを選択します。
［**取り込み元**］セレクターで選択された取り込み元に対するカテゴリーが一覧表示されます。

❸ ［**分類**］セレクターで選択されたカテゴリーのデータがリストに表示されます。データにカーソルを合わせ、左マウスボタンを押すと、デザインページに点線で囲まれたボックスが表示されます。これによって、データのサイズをチェックできます。

❹ **取り込み**
クリックすると、選択中のデータを取り込みます。

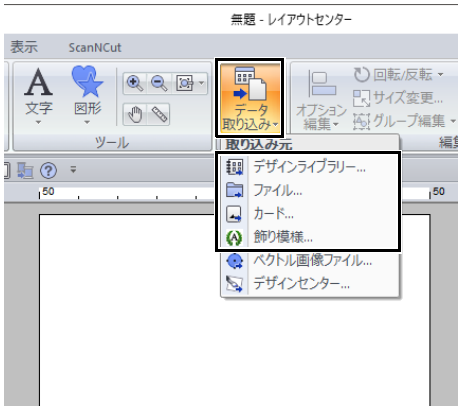
- リスト内でダブルクリックするか、デザインページにドラッグしても、データを取り込むことができます。
- 一度に複数のデータを選択して取り込むことはできません。

▶▶ P. 102 の「フォルダーから」と P. 103 の「刺しゅうカードから」

■取り込みウィンドウを表示するには

1 ［**ホーム**］タブをクリックします。

2 ［**取り込み**］グループで［**データ 取り込み**］をクリックし、［**取り込み元**］メニューから［**デザインライブラリー**］、［**ファイル**］、［**カード**］、または［**飾り模様**］をクリックします。



→ ウィンドウの右側に［**取り込み**］ウィンドウが表示されます。

［**取り込み**］ウィンドウは、［**表示**］タブの［**取り込みウィンドウ**］チェックボックスにチェックを入れて表示することも可能です。



［**糸色設定**］ウィンドウ、［**ぬい方設定**］ウィンドウ、または［**書式設定**］ウィンドウが表示されていたら、［**取り込み**］タブをクリックして［**取り込み**］ウィンドウを表示します。



ソフトウェアの基本設定

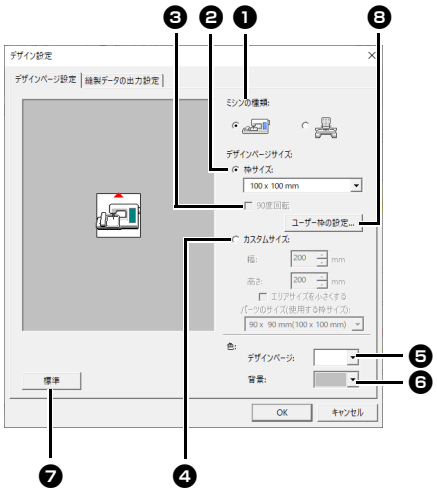
デザインページを設定する

デザインページのサイズと色を変更できます。デザインページのサイズはお使いの刺しゅう枠のサイズに合わせて選択できます。複数のパーツに分割して縫製する分割模様の刺しゅうデータ用のカスタムサイズを設定することもできます。

1 → **[デザイン設定]** をクリックします。



2 デザインページのサイズや色を指定し、**[OK]** をクリックします。



❶ **ミシンの種類**
ミシンの種類を選択します。ここで選択するミシンの種類によって、選択できる **[デザインページサイズ]** の枠サイズが異なります。

❷ **枠サイズ**
セレクターで枠サイズを選択します。

❸ **90 度回転**
チェックを入れると、デザインページが 90 度回転した状態でレイアウトできます。

❹ **カスタムサイズ**
分割模様用のカスタムサイズを設定します。
カスタムサイズを選択し、デザインページの幅と高さを指定し、パーツのサイズ（使用する枠サイズ）を選択します。

▶▶ P. 187 の「作ってみましょう 10-1：分割模様の刺しゅうデータを作る」

❺ **デザインページ**
デザインページの色を選択します。

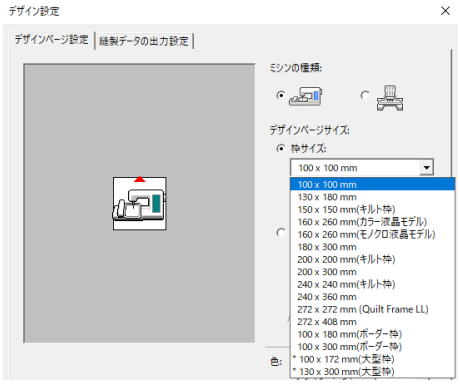
❻ **背景**
作業領域の色を選択します。

❼ **標準**
標準設定（枠サイズ：100×100mm）に戻ります。

❽ **ユーザー枠の設定**
クリックすると、**[ユーザー枠の設定]** ダイアログボックスが表示され、任意サイズのユーザー枠を枠サイズセレクターに追加できます。追加したユーザー枠は、既存の枠サイズの下に表示されます。

▶▶ P. 17 の「ユーザー枠を設定する」

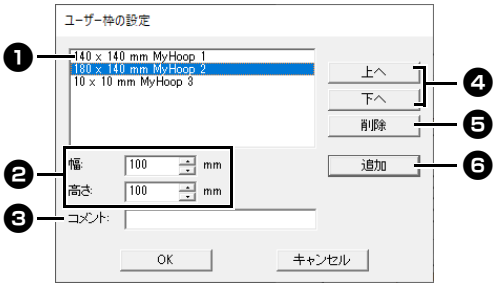
- デザインページサイズの **100 × 172 mm** と **130 × 300 mm** には、数字の前に「*」が付いています。このサイズは、3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠（大型枠）用の刺しゅうデータを作るときに選択してください。



▶▶ P. 196 の「作ってみましょう 10-2 : 大型枠用の刺しゅうデータを作る」

- 枠サイズは、お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズを選択しないでください。
- 帽子枠、シリンダー枠、または丸枠が設定されたデザインページは、90 度回転できません。

■ユーザー枠を設定する



❶ ユーザー枠リスト
追加した枠サイズがリスト表示されます。表示順を変更したり削除するときは、ここで枠サイズを選択してから実行します。

❷ 幅、高さ
追加する刺しゅう枠のサイズを入力します。

❸ コメント
文字を入力すると、枠サイズの横にその文字を表示できます。

❹ 上へ、下へ
クリックすると、選択中の枠サイズの表示順を 1 つ上または下に移動します。

❺ 削除
クリックすると、選択中の枠サイズを削除します。

❻ 追加
クリックすると、枠サイズがユーザー枠リストに追加されます。

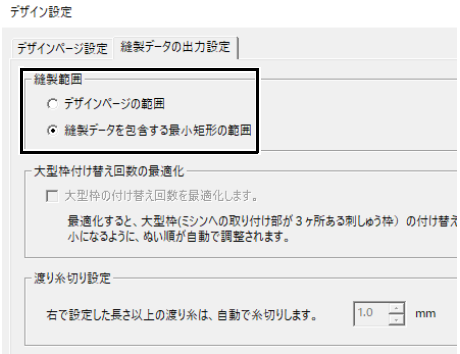
- ユーザー枠が選択されているときは、90 度回転は設定できません。
- ユーザー枠は、カスタムサイズの下のパーツのサイズ (使用する枠サイズ) セレクターには追加できません。
- お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズのユーザー枠は、設定しないでください。
- ユーザー枠サイズで作成した刺しゅうデータは、旧バージョンのファイル形式では保存できません。

■縫製範囲を設定する

デザインページで作られたデータは縫製範囲の設定によってぬい方が異なります。

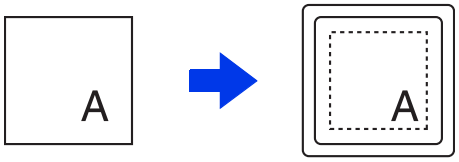
1 **[縫製データの出力設定]** タブをクリックします。

2 縫製範囲（**[デザインページの範囲]** または **[縫製データを包含する最小矩形の範囲]**）を選択します。



デザインページの範囲

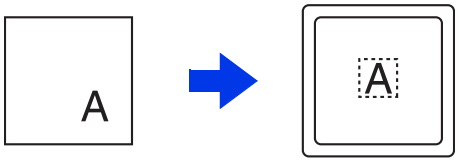
縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中心になるように、刺しゅうデータが作られます。刺しゅうデータのサイズはデザインページの大きさになります。



デザインページ（作業中画面）　縫製範囲＝デザインページの範囲

縫製データを包含する最小矩形の範囲

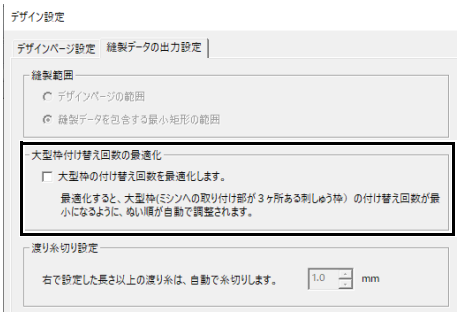
縫製開始時に、針の位置が作業中の実際の刺しゅうデータの中心になるように、刺しゅうデータが作られます。刺しゅうサイズの実寸が縫製範囲としてミシンに認識されます。



デザインページ（作業中画面）　縫製範囲＝縫製データを包含する最小矩形の範囲

■大型枠の付け替え回数を最適化する

この設定は、デザインページのサイズを大型枠（100 × 172 mm または 130 × 300 mm）に設定している場合に選択できます。

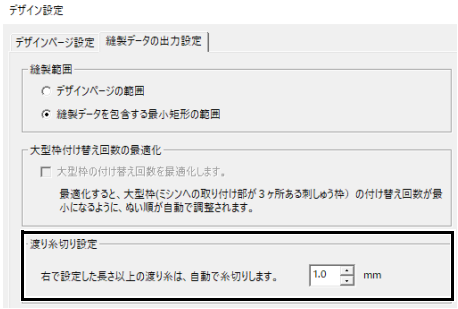


チェックを入れると、刺しゅう枠の付け替え回数が最も少なくなるようにぬい順／枠の取り付け順が最適化されます。

この設定によって、刺しゅう枠の付け替えによるぬいずれ、ぬい弛みなどが起きにくくなります。

■渡り糸切り設定

この設定は、ブラザー製多針ミシンで縫製する場合にのみ適用されます。設定前に、**[デザイン設定]** ダイアログボックスの **[デザインページ設定]** タブの **[ミシンの種類]** を  に設定してください。



糸切りせずに残す渡り糸の長さを設定します。

この設定は、ブラザー製多針ミシン以外のミシンでは適用されません。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

▶▶ P. 98 の「渡り糸での糸切りを設定する」、P. 358 の「レイアウトセンターで渡り糸の糸切りを指定する」、P. 363 の「新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする」

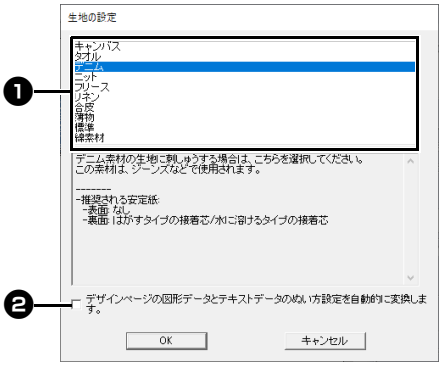
生地の設定を使う

生地の種類に適したぬい方設定を、**[生地の設定]** ダイアログボックスから呼び出すことができます。刺しゅうする生地を選択して、生地の説明と刺しゅうに関するアドバイスを表示します。

1 → **[生地の設定]** の順にクリックします。



2 呼び出す設定を選択します。



❶ 刺しゅうする生地の種類を選択して、その生地の推奨設定を指定します。
生地の種類を選択すると、説明が表示されます。

❷ チェックすると、そのときデザインページに表示されているすべての図形と文字模様にぬい方設定が適応されます。

3 **[OK]** をクリックします。

ぬい方設定が、選択された生地の推奨設定になります。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

- 刺しゅうする前に、試しぬいを行ってください。

▶▶ P. 356 の「基本操作について」

任意の設定を作成し、後で **[生地の設定]** に使用できます。**[ぬい方設定]** タブで をクリックして、**[保存]** をクリックし、設定名を入力し、**[OK]** をクリックします。保存した設定は、名前の横に「*」が付けられて表示されます。

▶▶ P. 205 の「ぬい方設定をリストに保存する」

基本表示設定を行う

■グリッドの設定を変更する

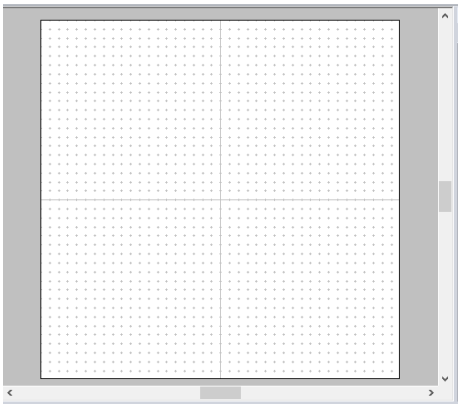
グリッドの表示／非表示を切り替えたり、グリッドの表示のしかたや間隔を指定できます。

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 グリッドの設定を指定します。



❶ グリッド表示
チェックすると、グリッドが表示されます。

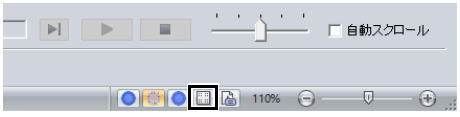


❷ 線で表示
チェックすると、グリッドが実線で表示されます。

❸ グリッド間隔
数値を指定して、グリッドの間隔を設定します。

❹ グリッドに固定
チェックすると、グリッドに沿って刺しゅうデータを配置できます。固定機能はグリッドの表示／非表示に関わらず有効です。

ボタンで、グリッドの表示と非表示を切り替えることもできます。



■ルーラーの設定を変更する

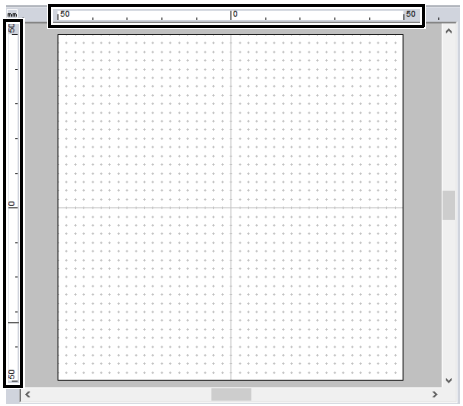
ルーラーの表示／非表示を設定できます。

1 **[表示]** タブをクリックします。

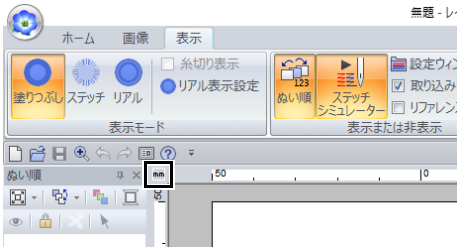
2 ルーラーを表示する場合は、**[ルーラー]** グループで **[ルーラー]** チェックボックスをチェックします。

ルーラーを非表示にする場合は、チェックを外します。





をクリックすると、長さの単位（mm ／インチ）を切り替えることができます。



■ガイド線の設定を変更する

ルーラーが表示されている場合、ガイド線も使用できます。

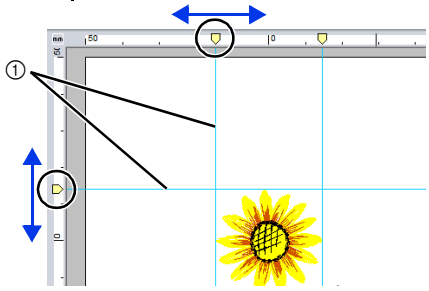
1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[ルーラー]** チェックボックスにチェックを入れた後、**[ルーラー]** グループで **[ガイド線]** チェックボックスにチェックを入れます。



3 デザインページのルーラーをクリックします。

→ が表示され、ガイド線が引かれます。



① ガイド線

- ガイド線を移動するには、をドラッグします。
- ガイド線を削除するには、をクリックします。

- ガイド線は、ルーラーをクリックするたびに追加されます。また、左右、上下のルーラーそれぞれに、最大 100 本のガイド線を追加できます。
- ガイド線をドラッグしている間、ガイド線の位置がステータスバーに表示されます。
- **[ルーラー]** チェックボックスまたは **[ガイド線]** チェックボックスのチェックを外した場合、ガイド線は非表示になります。
- **[グリッド表示]** および **[グリッドに固定]** チェックボックスの両方がチェックされた場合、ガイド線がグリッドの線に沿って追加／移動されます。

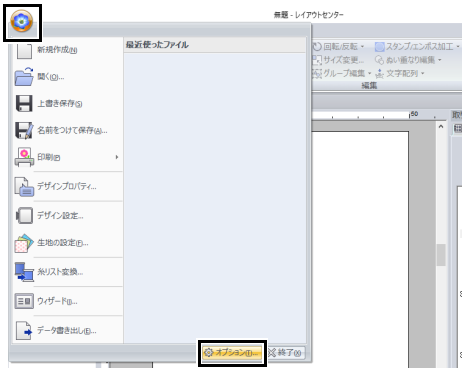
▶▶ P. 20 の「グリッドの設定を変更する」

データが保存されると、ガイド線も保存されます。ただし、データがバージョン 10 未満の形式で保存されると、ガイド線は削除されます。

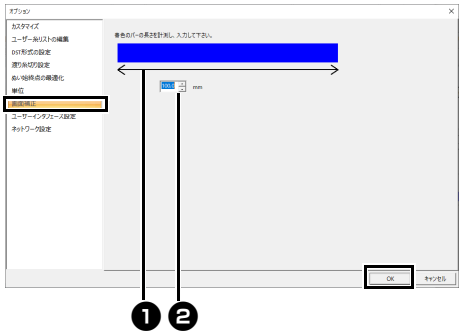
■画面表示の長さを調整する（画面補正）

ズーム表示が 100% のとき、実際の刺しゅうサイズと同じ大きさで表示されるように表示サイズを調整します。この調整は、最初に一回行えばその後行う必要はありません。

1 → **[オプション]** の順にクリックします。



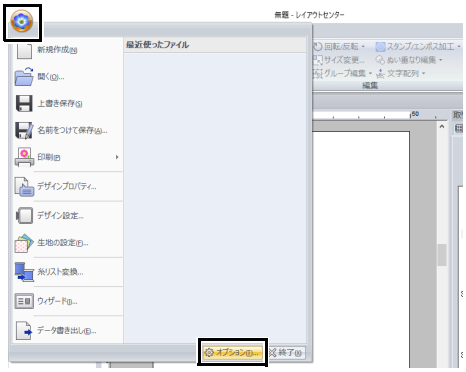
2 **[画面補正]** をクリックします。画面にものさしをあてて、❶ の部分の長さを測ります。❷ にその数値を入力し、**[OK]** をクリックします。



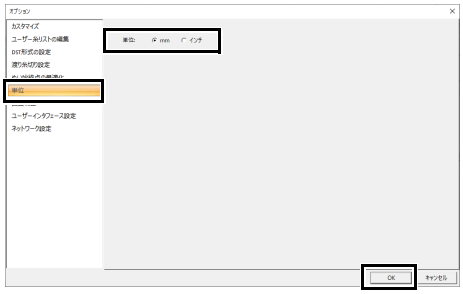
必ずミリメートル単位で長さを入力してください。インチ単位の入力はできません。

■長さの単位（mm ／インチ）を変更する

1 → **[オプション]** の順にクリックします。



2 **[単位]** をクリックして、単位（**[mm]** または **[インチ]**）を選択します。

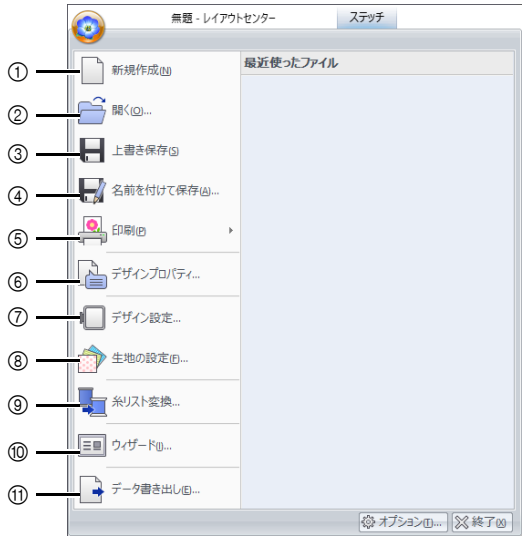


レイアウトセンターの基本操作

図形の入力や刺しゅうデータの編集、ぬい設定、ファイルの保存や印刷など、レイアウトセンターの基本的な使い方について説明します。

レイアウトセンター

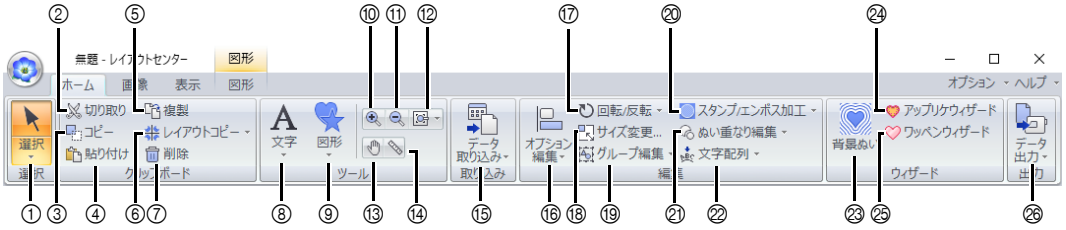
アプリケーションボタンメニュー



No.	メニュー	参照ページ
1	新規作成	P. 101
2	開く	P. 101
3	上書き保存	P. 107
4	名前を付けて保存	P. 107
5	印刷	P. 108
6	デザインプロパティ	P. 99
7	デザイン設定	P. 16
8	生地の設定	P. 19
9	糸リスト変換	P. 209
10	ウィザード	P. 12
11	データ書き出し	P. 107

リボンメニュー

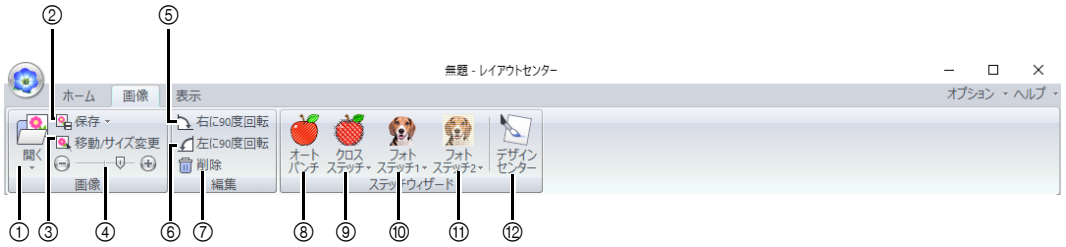
■ホームタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	切り取り	—
3	コピー	—
4	貼り付け	P. 64
5	複製	—
6	レイアウトコピー	P. 43
7	削除	—
8	文字入力	P. 117
9	図形入力	P. 70
10	ズームイン	P. 87
11	ズームアウト	P. 87
12	その他のズーム	P. 87
13	パン	P. 87

No.	メニュー	参照ページ
14	ものさし	P. 88
15	データ 取り込み	P. 102
16	オプション編集	P. 40
17	回転 / 反転	P. 42
18	サイズ変更	P. 41
19	グループ編集	P. 47
20	エンボス加工	P. 66
21	ぬい重なり編集	P. 48
22	文字配列	P. 123
23	背景ぬいウィザード	P. 174
24	アップリケウィザード	P. 179
25	ワッペンウィザード	P. 185
26	データ出力	P. 214

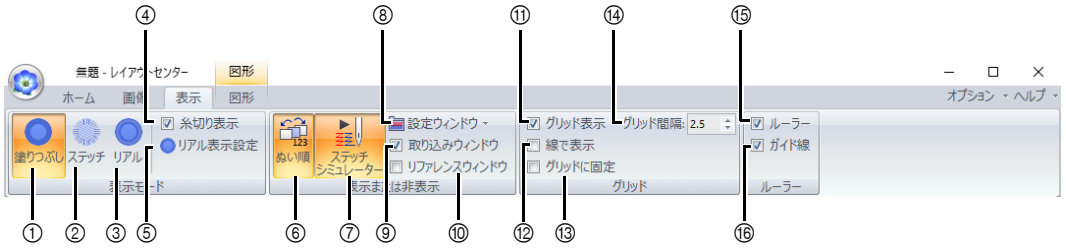
■画像タブ



No.	メニュー	参照ページ
1	画像を開く	P. 163
2	画像の保存	P. 166
3	画像の移動 / サイズの変更	P. 165
4	画像の濃さ	P. 165
5	右に 90 度回転	P. 166
6	左に 90 度回転	P. 166

No.	メニュー	参照ページ
7	画像の削除	P. 166
8	オートパンチウィザードの起動	P. 143
9	クロスステッチウィザードの起動	P. 146
10	フォトステッチ 1 ウィザードの起動	P. 150
11	フォトステッチ 2 ウィザードの起動	P. 155
12	デザインセンターの起動	P. 162

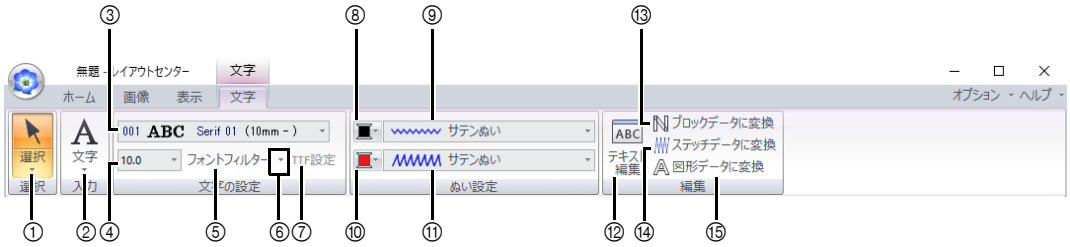
■表示タブ



No.	メニュー	参照ページ
1	塗りつぶし表示	P. 88
2	ステッチ表示	P. 88
3	リアル表示	P. 89
4	糸切り表示	P. 89
5	リアル表示設定	P. 89
6	ぬい順ウィンドウ	P. 92
7	ステッチ シミュレーター	P. 90
8	設定ウィンドウ	P. 36

No.	メニュー	参照ページ
9	取り込みウィンドウ	P. 15
10	リファレンスウィンドウ	P. 91
11	グリッド表示	P. 20
12	線で表示	P. 20
13	グリッドに固定	P. 20
14	グリッド間隔	P. 20
15	ルーラー	P. 20
16	ガイド線	P. 21

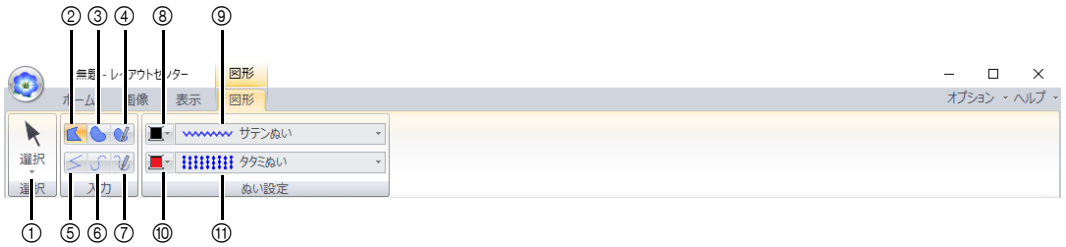
■文字タブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	文字入力	P. 117
3	フォント	P. 118
4	文字サイズ	P. 120
5	フォントフィルター	P. 119
6	フォントフィルター設定	P. 119
7	TrueType フォントの設定	P. 121
8	線の糸色	P. 128

No.	メニュー	参照ページ
9	線のぬい方	P. 128
10	面の糸色	P. 128
11	面のぬい方	P. 128
12	テキスト編集	P. 118
13	ブロックデータに変換	P. 126
14	ステッチデータに変換	P. 81
15	図形データに変換	P. 127

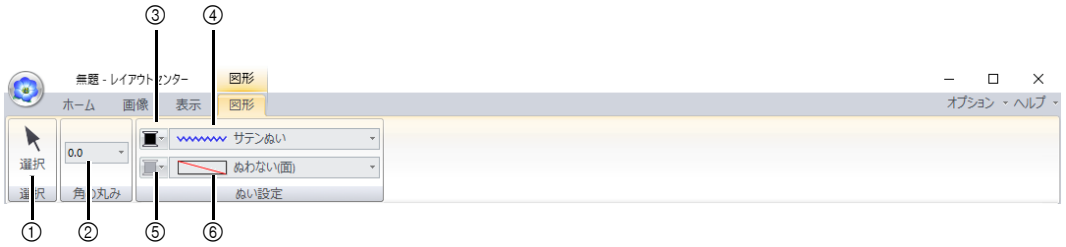
■図形タブ（閉じた線／開いた線）



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	閉じた直線	P. 73
3	閉じた曲線	P. 73
4	鉛筆ツール (閉じた線)	P. 73
5	開いた直線	P. 73
6	開いた曲線	P. 73

No.	メニュー	参照ページ
7	鉛筆ツール (開いた線)	P. 73
8	線の糸色	P. 75
9	線のぬい方	P. 75
10	面の糸色	P. 75
11	面のぬい方	P. 75

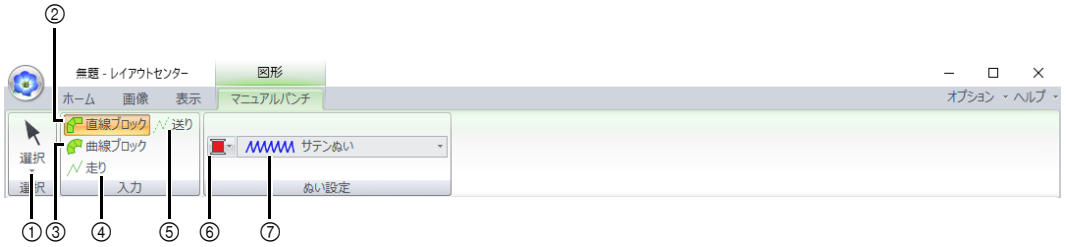
■図形タブ（長方形）



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	角の丸み	P. 71
3	線の糸色	P. 75

No.	メニュー	参照ページ
4	線のぬい方	P. 75
5	面の糸色	P. 75
6	面のぬい方	P. 75

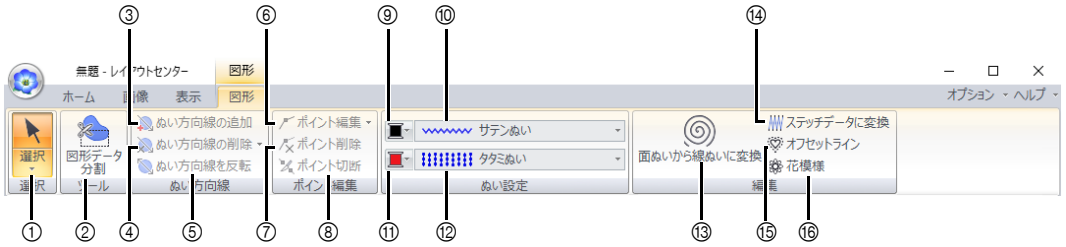
■マニュアルパンチタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	直線ブロック	P. 210
3	曲線ブロック	P. 210
4	走り	P. 210

No.	メニュー	参照ページ
5	送り	P. 210
6	面の糸色	P. 75
7	マニュアルパンチのぬい方	P. 75

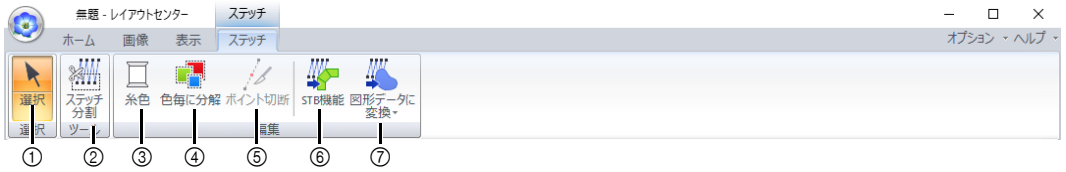
■図形タブ（図形／円／円弧）



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	図形データ 分割	P. 50
3	ぬい方向線の追加	P. 60
4	ぬい方向線の削除	P. 61
5	ぬい方向線を反転	P. 61
6	ポイント編集	P. 80
7	ポイント削除	P. 77
8	ポイント切断	P. 77

No.	メニュー	参照ページ
9	線の糸色	P. 75
10	線のぬい方	P. 75
11	面の糸色	P. 75
12	面のぬい方	P. 75
13	面ぬいから線ぬいに変換	P. 53
14	ステッチデータに変換	P. 81
15	オフセットライン	P. 52
16	花模様	P. 50

■ステッチタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	ステッチデータ分割	P. 84
3	糸色	P. 81
4	色毎に分解	P. 85

No.	メニュー	参照ページ
5	ポイント切断	P. 83
6	ブロックデータに変換	P. 85
7	図形データに変換	P. 86

■枠設定タブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	エリア移動	P. 194

No.	メニュー	参照ページ
3	デザイン設定	—

■ ScanNCut タブ



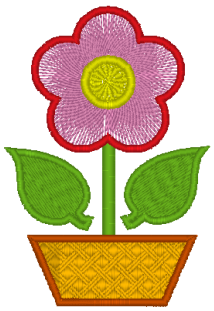
No.	メニュー	参照ページ
1	選択ツール	P. 39
2	データ書き出し	P. 235

No.	メニュー	参照ページ
3	取り込み	P. 235
4	ログイン / ログアウト	P. 232

作ってみましょう 1 : 図形を描いてデザインする

いろいろな図形を組み合わせて刺しゅうにしてみましょう。

図形ツールを使用して茎を描きます。その後、図形データを取り込んで、葉、花、植木鉢を作ります。



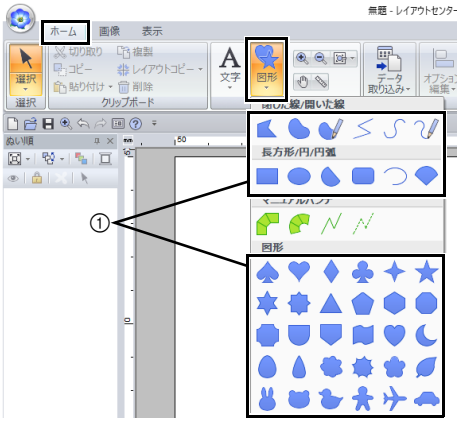
ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _1 にあります。

ステップ 1	図形データを描く、取り込む、移動する
ステップ 2	図形データを複製／反転／移動する
ステップ 3	ドーナツぬいを設定する
ステップ 4	ぬい目に模様を付ける
ステップ 5	ポイントを編集して、図形の形を変える

ステップ 1 図形データを描く、取り込む、移動する

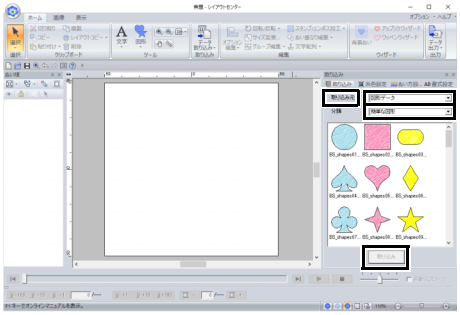
図形を作成するには、図形ツールを使うか、サンプルデータから、図形データを取り込みます。

1 図形を描くには、図形ツールを選択し、デザインページでカーソルをドラッグして図形を描きます。

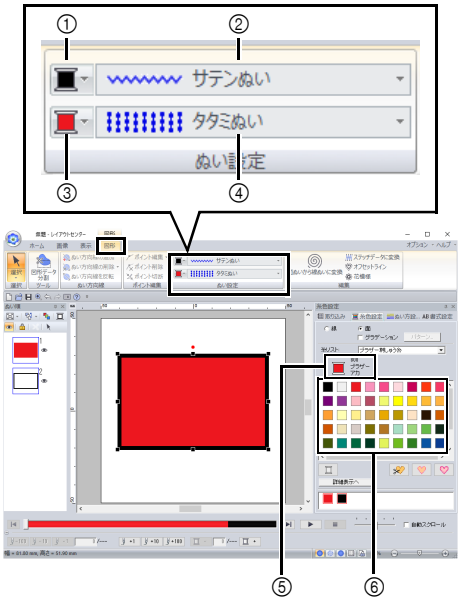


① 図形ツール

2 図形を取り込むには、**[取り込み]** ウィンドウの **[取り込み元]** セレクターから **[図形データ]** を選択し、**[分類]** セレクターから **[簡単な図形]** を選択します。図形を選択して **[取り込み]** をクリックします。



[図形] タブで図形のぬい方を、**[図形]** タブまたは **[糸色設定]** ウィンドウで糸色を指定します。

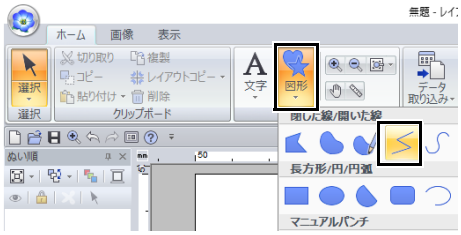


① 線の糸色ボタン
② 線のぬい方セレクター
③ 面の糸色ボタン
④ 面のぬい方セレクター
⑤ 選択した糸色、糸色名
⑥ 糸色パレット

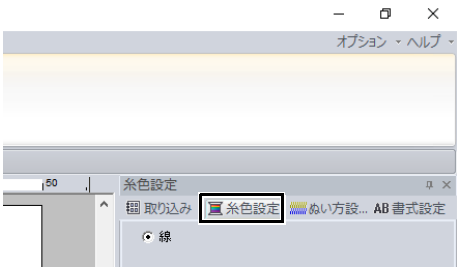
1 茎を描きます。

(A) **［ホーム］**タブをクリックします。

(B) **［ツール］**グループで **［図形］**をクリックした後、をクリックします。



(C) **［糸色設定］**タブをクリックして色パレットを表示します。



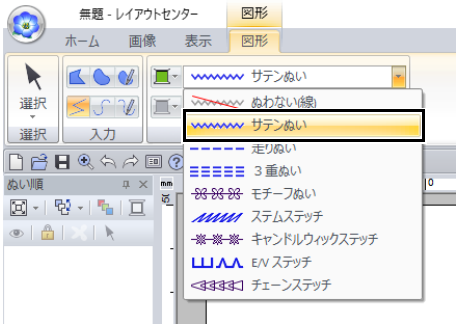
(D) **［キミドリ］**をクリックします。
目的の色が表示されていないときは、スクロールバーを動かして表示させます。



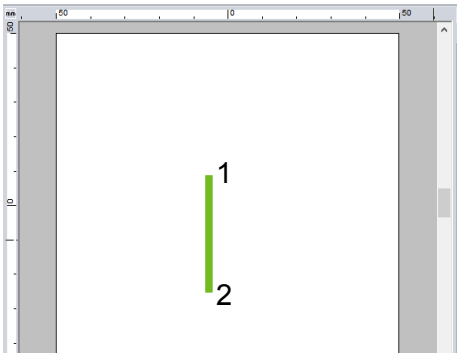
［詳細表示へ］ボタンをクリックすると、糸色の詳細が表示され、色が見つけやすくなります。

▶▶ P. 57 の「ぬい方を設定する」

(E) **［線のぬい方］**セレクターをクリックし、**［サテンぬい］**をクリックします。



(F) 始点 **1** をクリックし、終点 **2** でダブルクリックします。



線や面の糸色、縫製属性、大きさは、図形を描いた後でも変更できます。

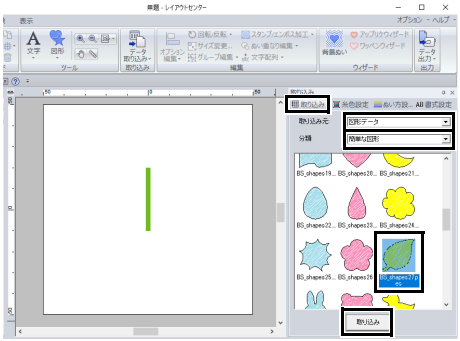
2 右の葉を描きます。

まず図形データを取り込みます。面の糸色とぬい方も設定します。

(A) **［取り込み］**タブをクリックします。

(B) **［取り込み元］**から**［図形データ］**を選び、**［分類］**から**［簡単な図形］**を選びます。

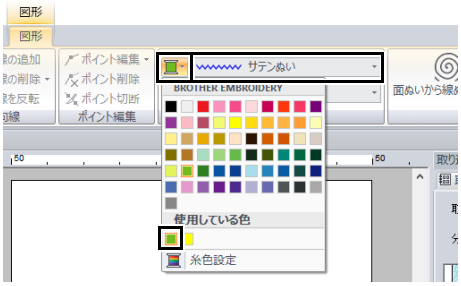
(C) **［BS_shapes27.pes］**を選択して**［取り込み］**をクリックします。



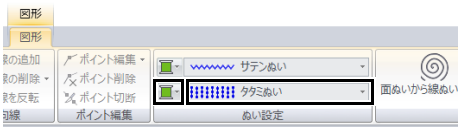
(D) **［図形］**タブをクリックします。

(E) 線の糸色のをクリックし、**［使用している色］**の下のをクリックして**［キミドリ］**を選択します。

(F) **［線のぬい方］**セレクターをクリックし、**［サテンぬい］**をクリックします。

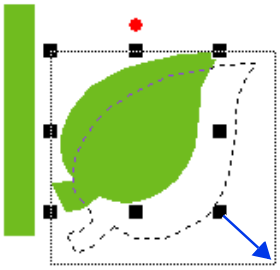


(G) 線の糸色と同様、面の糸色のをクリックし、**［使用している色］**の下のをクリックして**［キミドリ］**を選択します。



使用している糸色は、**［使用している色］**の下に一覧表示されます。

(H) ハンドルをドラッグして、葉のサイズを調整します。

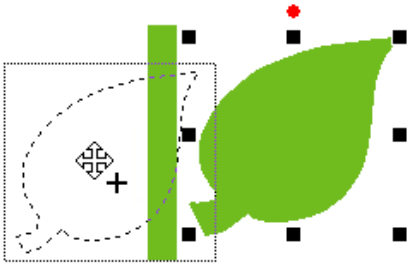


(I) カーソルを葉の上に置き、カーソルの形がになったら、ドラッグして位置を調整します。

ステップ 2 図形データを複製／反転／移動する

右の葉を複製し、左右反転させ、茎の左側に移動します。

1 右の葉を複製します。

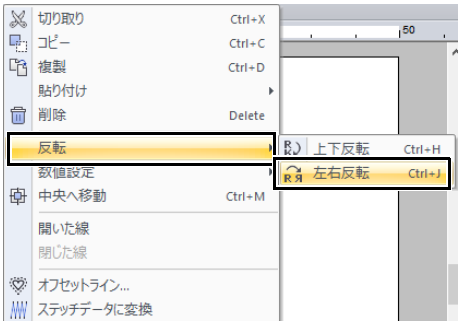


(A) 葉を選択します。

(B) **＜Ctrl＞**キーを押しながら、葉をドラッグして移動します。

(C) マウスボタンを放します。

2 複製した葉を左右反転します。

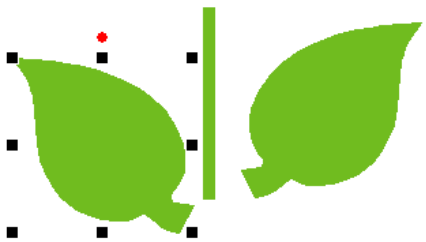


(A) 複製した葉を右クリックします。

→ ドロップダウンメニューが表示されます。

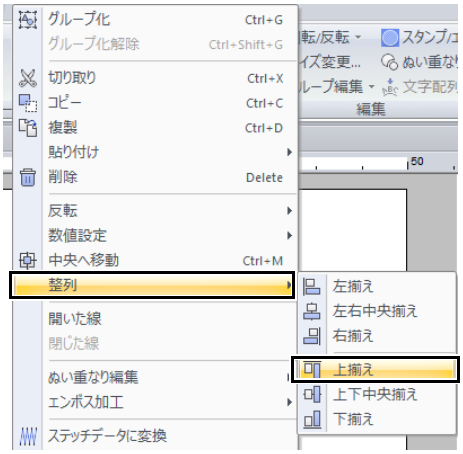
(B) **［反転］**→**［左右反転］**をクリックします。

3 複製した葉をドラッグして、茎の左側に移動します。



＜Shift＞を押しながらドラッグすると、水平に移動できます。

4 左右の葉の位置を揃えます。



(A) **＜Ctrl＞**キーを押しながら右の葉と左の葉をクリックして、両方の葉を選択します。

(B) 選択したまま、右クリックし、**［整列］**→**［上揃え］**をクリックします。

- 次の方法で、複数の刺しゅうデータを選択できます。
  - ♦ 1 つ目のデータをクリックし、**＜Ctrl＞**キーを押しながら次のデータをクリックします。
  - ♦ ドラッグして表示される四角形で、選択したいデータの一部を含むようにドラッグします。
- 反転されたコピーも、**［ホーム］**タブの**［クリップボード］**グループで**［レイアウトコピー］**をクリックしてから**［左右方向ミラーコピー］**をクリックすることで作成できます。

▶▶ P. 43 の「ミラーコピーツールを使う」

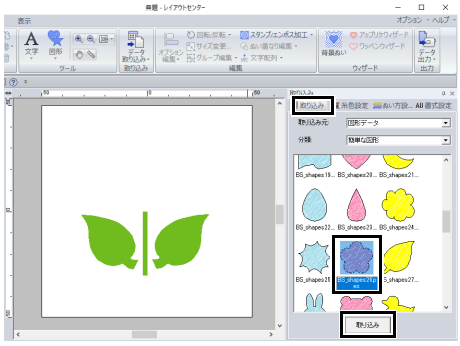
ステップ 3 ドーナツぬいを設定する

花びらを描き、真ん中に円を描きます。その後、重なっている部分が 2 回ぬわれないように設定します。

1 花びらを描きます。

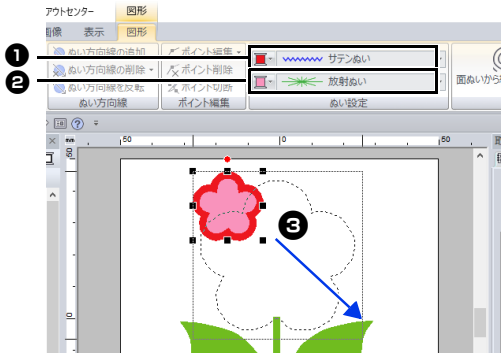
(A) **［取り込み］**タブをクリックします。

(B) **［BS_shapes26.pes］**を選択して**［取り込み］**をクリックします。



(C) **［図形］**タブをクリックします。

(D) 線の糸色を糸色パレットで［アカ］に、ぬい方を［サテンぬい］に設定します（❶）。



(E)［放射ぬい］に設定します（❷）。

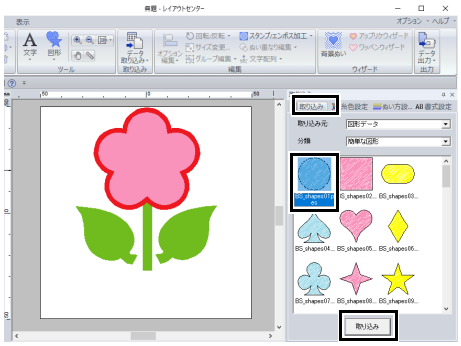
(F) ハンドル（❸）をドラッグして、花びらのサイズを調整します。

(G) 花びらをドラッグして、位置を調整します。

2 中心の円を描きます。

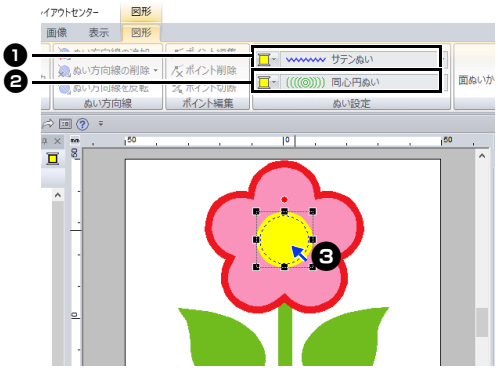
(A)［取り込み］タブをクリックします。

(B)［BS_shapes01.pes］を選択して［取り込み］をクリックします。



(C)［図形］タブをクリックします。

(D) 線の糸色を糸色パレットで［キイロ］に、ぬい方を［サテンぬい］に設定します（❶）。



(E) 面の糸色を糸色パレットで［キイロ］に、ぬい方を［同心円ぬい］に設定します（❷）。

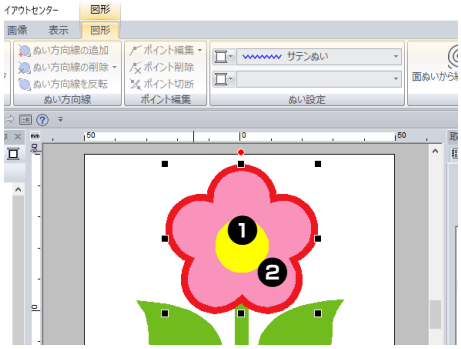
(F) 花びらの中心へ円をドラッグします。

(G) ＜ Shift ＞キーを押しながら、ハンドル（❸）をドラッグして円のサイズを調節します。

＜ Shift ＞キーを押しながらハンドルをドラッグすると、中心から拡大／縮小されます。

3 ドーナツぬいを設定するデータを選択します。

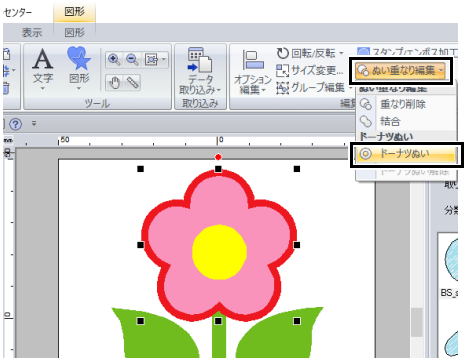
(A) ＜ Ctrl ＞キーを押しながら、黄色い円❶と花びら❷をクリックします。



4 ドーナツぬいを設定します。

(A) **［ホーム］**タブをクリックします。

(B) **［編集］**グループで**［ぬい重なり編集］**をクリックした後、**［ドーナツぬい］**をクリックします。



ドーナツぬいの設定は、一対の刺しゅうデータの一方が他方の内側に完全に囲まれていないと設定できません。

▶▶ P. 47 の「面ぬいの二重ぬいを防止する（ドーナツぬい）」

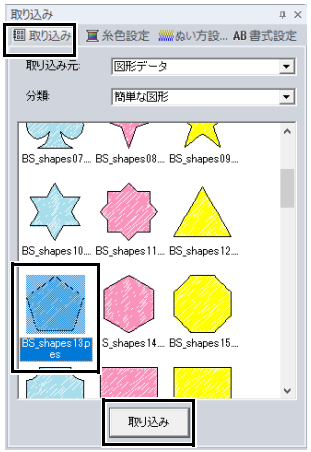
ステップ 4 ぬい目に模様を付ける

線や面のぬい方は、**［ぬい方設定］**ウィンドウで細かく設定できます。植木鉢の面を設定してみましょう。

1 植木鉢の線と面の糸色とぬい方を設定します。

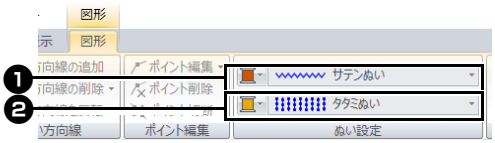
(A) **［取り込み］**タブをクリックします。

(B) **［BS_shapes13.pes］**を選択して**［取り込み］**をクリックします。



(C) **［図形］**タブをクリックします。

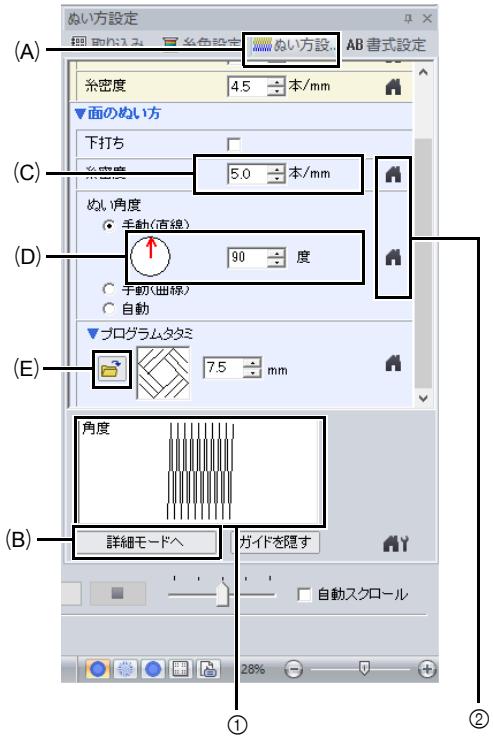
(D) 線の糸色を糸色パレットで**［チャイロ］**に、ぬい方を**［サテンぬい］**に設定します（❶）。



(E) 面の糸色を糸色パレットで**［オウドイロ］**に、ぬい方を**［プログラムタタミぬい］**に設定します（❷）。

2 ぬい方設定を指定します。

(A) **［ぬい方設定］**タブをクリックします。**［ぬい方設定］**ウィンドウが表示されていないときは、**［表示］**タブ→**［設定ウィンドウ］**→**［ぬい方設定］**をクリックして、チェックマークを表示します。



① 設定結果を確認できます。**［ガイドを表示］**／**［ガイドを隠す］**ボタンで表示／非表示の切り替えができます。

② ここをクリックすると、標準設定値に戻ります。

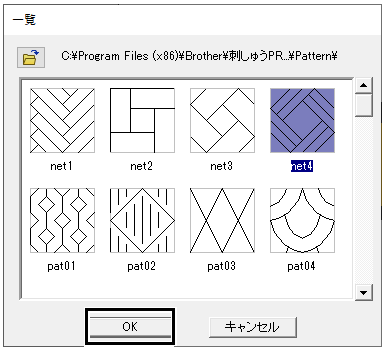
(B) **［ぬい方設定］**ウィンドウには 2 つのモードがあります。ここでは、簡易モードのままで進めます。

(C) **［糸密度］**へ「5.0」と入力します。

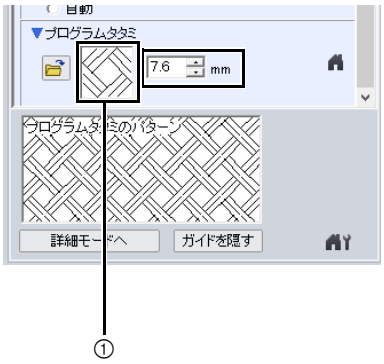
(D) **［ぬい角度］**で、赤矢印を 90 度にドラッグします。または、「90」と入力します。

(E) **［プログラムタタミ］**の下の  をクリックします。

(F) **［net4］**を選択して **［OK］**をクリックします。



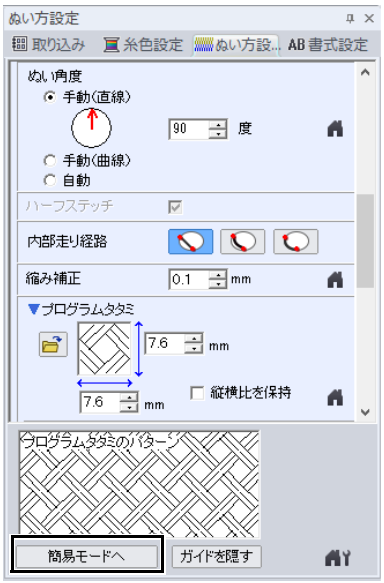
(G)「7.6」と入力してパターンのサイズを指定します。



① 選択されたパターンが表示されます。

- ぬい方設定ウィンドウが詳細モードで表示されているときは、**［簡易モードへ］**ボタンをクリックして簡易モードに切り替えます。
- 詳細モードでは、さらに詳細な設定ができます。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

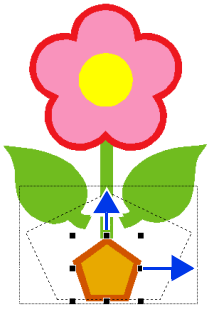


ステップ 5 ポイントを編集して、図形の形を変える

五角形の図形から 1 点を削除して、植木鉢を作ります。

1 ハンドルをドラッグして、植木鉢のサイズを調整します。

植木鉢をドラッグして、位置を調整します。



2 ポイントを削除します。

(A) **［ホーム］**タブをクリックします。

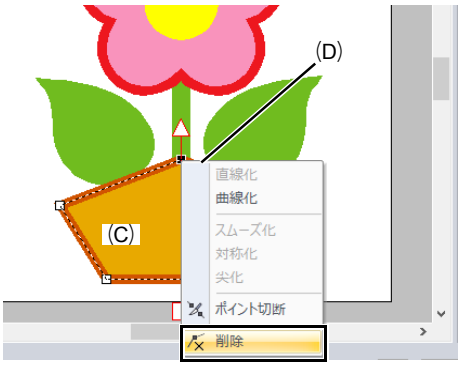
(B) **［選択］**グループで **［選択］**をクリックした後、をクリックします。



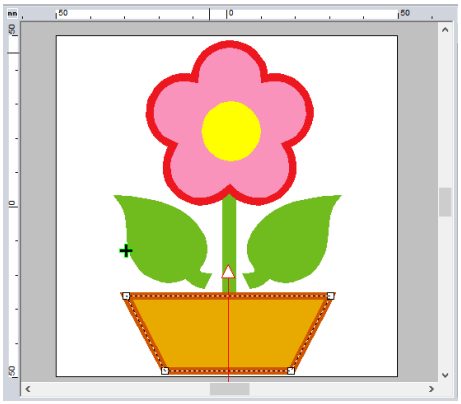
(C) 植木鉢の図形データをクリックします。

→ 図形データのポイントが表示されます。

(D) 削除する上端のポイントを右クリックし、**［削除］**をクリックします。



→ ポイントが削除され、台形になります。



▶▶ 保存方法について詳しくは、P. 107 の「保存する」を参照してください。転送方法について詳しくは、P. 214 の「刺しゅうデータをミシンへ転送する」を参照してください。

刺しゅうデータを編集する

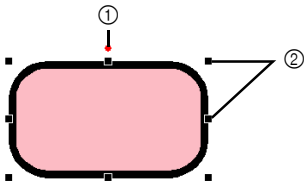
刺しゅうデータを選択する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで をクリックします。



3 刺しゅうデータをクリックします。



① 回転ハンドル
② ハンドル

- **[選択]** グループに が表示されていないときは、ボタン下部の▼をクリックし、 をクリックします。
- 刺しゅうデータを選択すると、ステータスバーに、刺しゅうデータのサイズ（幅と高さ）が表示されます。

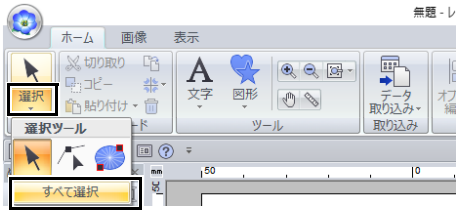
4 複数の刺しゅうデータを選択するときは、**＜Ctrl＞**キーを押しながら刺しゅうデータをクリックします。

- パンチデータを囲むようにドラッグしても、複数のパンチデータを選択できます。
- **＜Tab＞**キーを押すと、入力順で刺しゅうデータを選択できます。
- **＜Ctrl＞**キーを押しながら選択中の刺しゅうデータをクリックすると、選択を解除できます。

■すべての刺しゅうデータを選択する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、**[すべて選択]** をクリックします。



- ショートカットキー**＜Ctrl＞＋＜A＞**でもすべての刺しゅうデータを選択できます。
- ロックされた刺しゅうデータは選択されません。

▶▶ P. 97 の「刺しゅうデータをロックする」

刺しゅうデータを移動する

■移動する

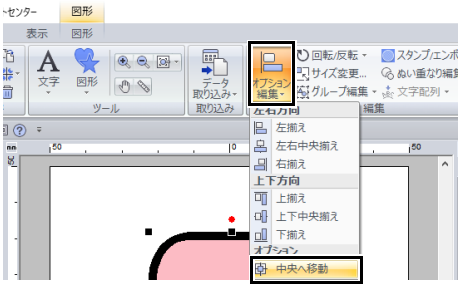
1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、ドラッグして移動します。

- **＜Shift＞**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に移動します。
- **＜Ctrl＞**キーを押しながらデータをドラッグすると、任意の位置にデータの複製を作成できます。

■刺しゅうデータを中央へ移動する

1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

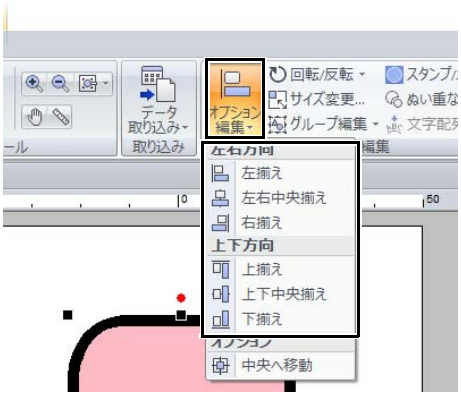
2 **[編集]** グループで **[オプション編集]** をクリックした後、**[中央へ移動]** をクリックします。



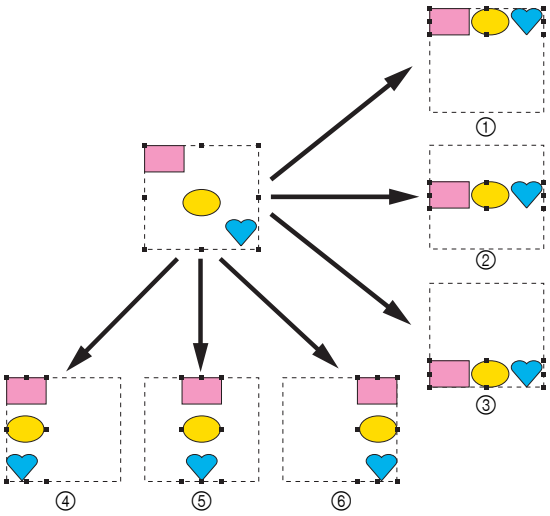
■刺しゅうデータを整列する

1 複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループで **[オプション編集]** をクリックしてから、**[左右反転]** か **[上下方向]** で任意のコマンドをクリックします。



→ 選択された刺しゅうデータは、次のように整列します。

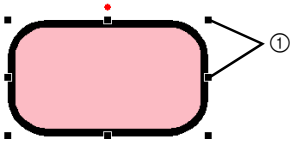


① 上揃え
② 上下中央揃え
③ 下揃え
④ 左揃え
⑤ 左右中央揃え
⑥ 右揃え

刺しゅうデータを拡大／縮小する

■拡大／縮小する

1 刺しゅうデータを選択します。



① ハンドル

2 ハンドルをドラッグして、刺しゅうデータのサイズを調整します。

刺しゅうカードから取り込んだ刺しゅうデータは拡大／縮小しないことをお勧めします。

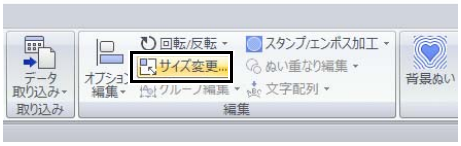
- ＜Shift＞キーを押しながらハンドルをドラッグすると、中心から拡大／縮小されます。
- ハンドルをドラッグ中は、現在のサイズがステータスバーに表示されます。
- ステータスバーに表示されます。
- ステッチデータをそのまま拡大／縮小すると、針数が変わらないため刺しゅう品質が落ちることがあります。＜Ctrl＞キーを押しながら拡大／縮小すると、糸密度やタタミぬいの品質を保ったまま、サイズを変えられます。ぬい密度と針落ち点のパターンが一定ではないステッチデータであっても、密度とタタミぬいを維持しつつ拡大／縮小できます。

▶▶ P. 356 の「ステッチデータの拡大／縮小」

■サイズを指定して拡大／縮小する

1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［編集］**グループの**［サイズ変更］**をクリックします。



3 サイズを指定して、**［OK］**をクリックします。



❶ 比率（%）またはサイズ（mm またはインチ）のどちらで指定するか、選択します。幅と高さの数値を設定します。

❷ 縦横比を固定して拡大／縮小するときは、**［縦横比を保持］**チェックボックスをチェックします。

❸ 糸密度やタタミぬいの品質を維持したまま刺しゅうデータのサイズを変更したいときは、**［糸密度とパターンを保持］**チェックボックスをチェックします。

［糸密度とパターンを保持］はステッチデータが選択されているときのみチェックできます。

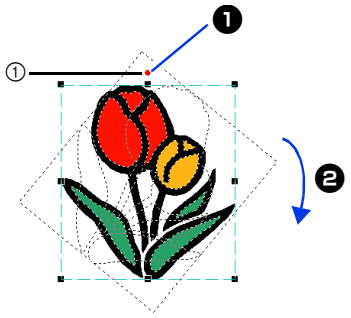
▶▶ P. 356 の「ステッチデータの拡大／縮小」

刺しゅうデータを回転する

■回転する

1 刺しゅうデータを選択します。

2 回転ハンドルをドラッグします。



❶ カーソルの形が ↻ に変わります。

❷ 回転する

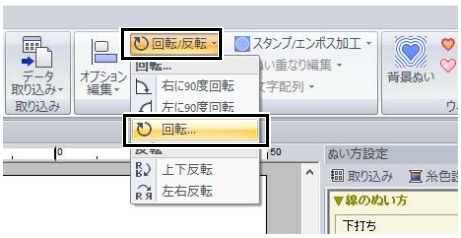
① 回転ハンドル

＜Shift＞キーを押しながらドラッグすると、15度単位で回転します。

■角度を指定して回転する

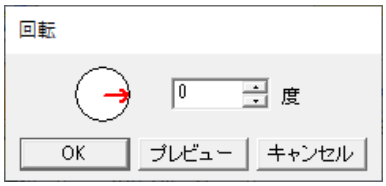
1 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループで **[回転 / 反転]** をクリックした後、**[回転]** をクリックします。



[編集] の **[右に 90 度回転]** または **[左に 90 度回転]** をクリックすると、データを時計回りまたは反時計回りに 90 度回転できます。

3 回転角度の数値を入力して指定します。**[OK]** をクリックします。



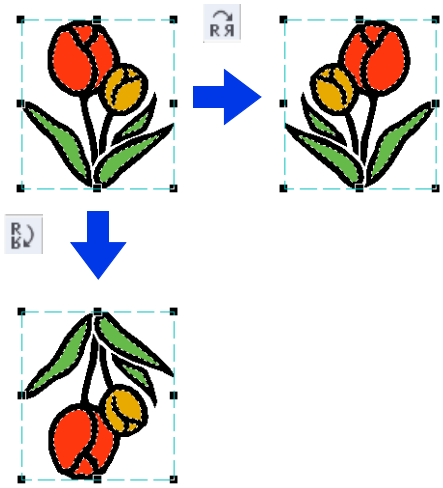
[回転] ダイアログボックスで の矢印をドラッグしても回転角度を指定できます。

刺しゅうデータを上下または左右に反転する

1 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループで **[回転 / 反転]** をクリックしてから、**[上下反転]** または **[左右反転]** をクリックします。



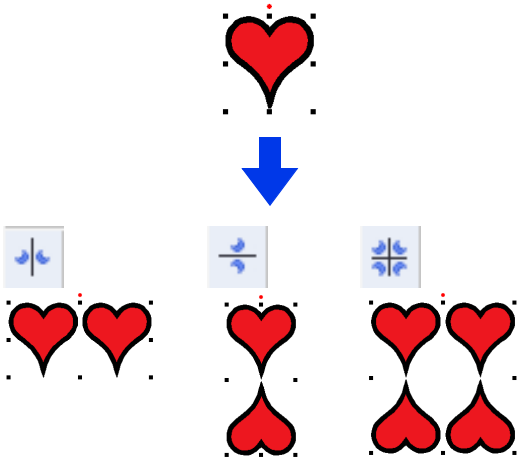


刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、反転できないものがあります。

レイアウトコピーで配置する

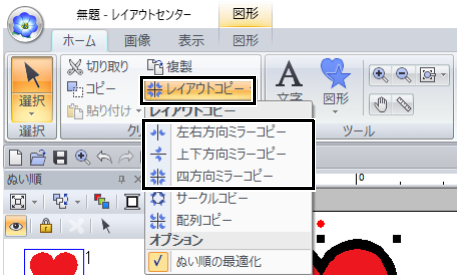
刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅうデータには、レイアウトコピーができないものがあります。

■ミラーコピーツールを使う

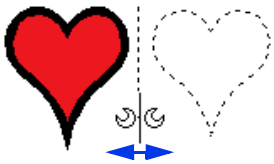


1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

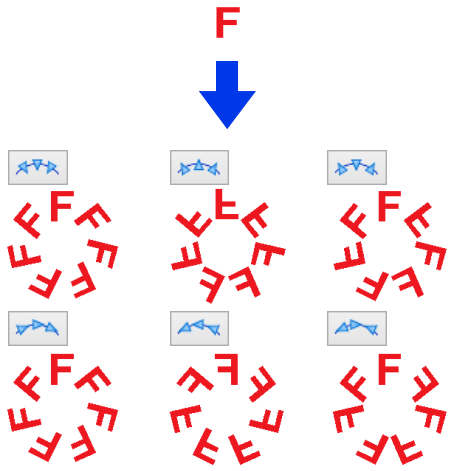
2 **[クリップボード]** グループの **[レイアウトコピー]** をクリックしてから、**[左右方向ミラーコピー]**、**[上下方向ミラーコピー]**、または **[四方向ミラーコピー]** をクリックします。



3 カーソルを移動して、任意の位置でクリックします。

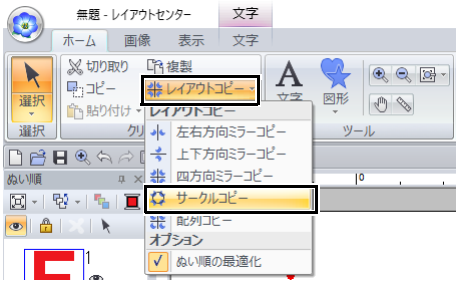


■サークルコピーツールを使う



1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[クリップボード]** グループで **[レイアウトコピー]** をクリックした後、**[サークルコピー]** をクリックします。



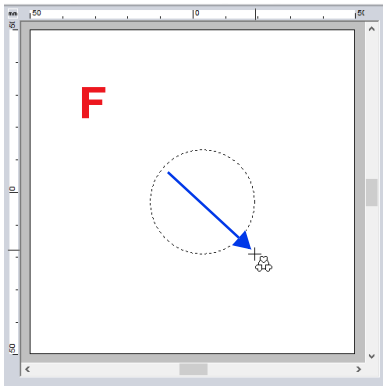
3 データの配置と間隔を指定します。



❶ お好みの配置を選択します。

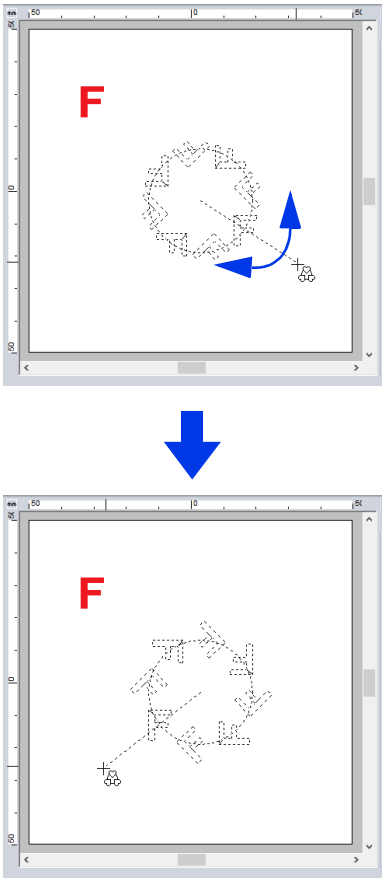
❷ どのようなデータ配置にするか選択できます。
[個数] を選択して、配置するデータの数を指定します。
[間隔] を選択して、データ間の間隔を指定します。
数値が大きいほど、模様の間隔が広くなります。

4 ドラッグして円またはだ円を描きます。



- **＜Shift＞**キーを押しながらドラッグすると、真円が描けます。
- だ円を描き直したいときは、右クリックすると、だ円を描く前の状態に戻ります。
- 円またはだ円を描いた後、**＜Ctrl＞**キーを押しながらポインターをドラッグして、図形を移動、回転、拡大 / 縮小します。

5 カーソルを移動して刺しゅうデータの角度を決めます。

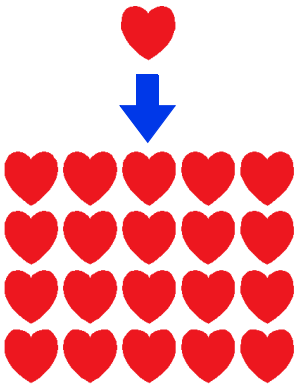


線を回転させると模様の向きが変わります。

- **＜Shift＞**キーを押しながら移動すると、15度単位で回転します。
ステータスバーに線の角度が表示されます。
- カーソルを移動して方向を変更している間でも、データの配置と間隔を **[サークルコピー]** ダイアログボックスで変更できます。

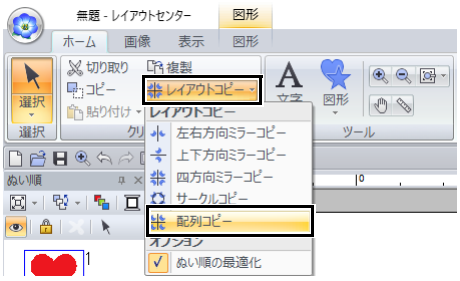
6 クリックして、コピーを確定します。

■配列コピーツールを使う

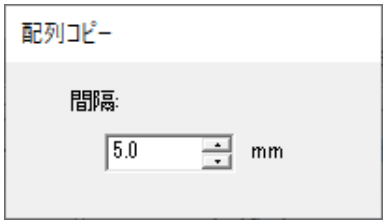


1 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

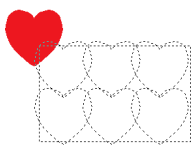
2 **[クリップボード]** グループで **[レイアウトコピー]** をクリックした後、**[配列コピー]** をクリックします。



3 データ間の間隔を指定します。数値が大きいほど、模様の間隔が広くなります。

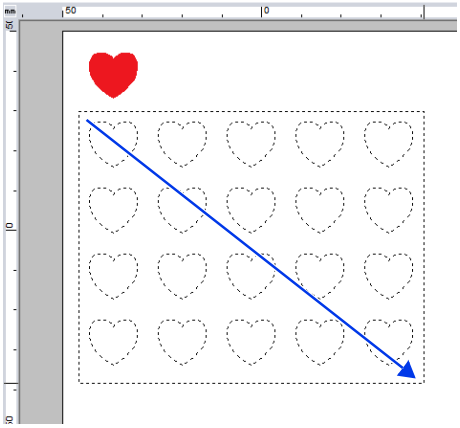


マイナスの値を設定すると、データが重なります。



4 デザインページをクリックし、カーソルを動かします。

長方形とその内側に配置できるデータが点線で表示されます。

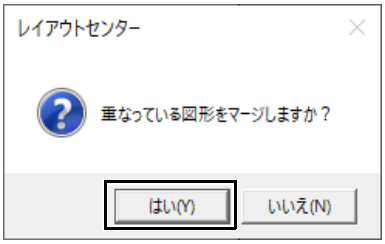


- 長方形を描き直したいときは、右クリックすると、長方形を描く前の状態に戻ります。
- カーソルを移動して長方形のサイズを変更している間でも、データの間隔を **[配列コピー]** ダイアログボックスで変更できます。

5 クリックして、コピーを確定します。

■データを結合する

[左右方向ミラーコピー]、**[上下方向ミラーコピー]**、**[四方向ミラーコピー]**、**[サークルコピー]** や **[配列コピー]** を使用して配置された重なっている図形データを結合できます。次のメッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。



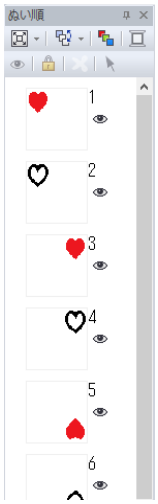
▶▶ 図形のデータが結合されます。

特定の条件下では、データが結合されない場合があります。

■ぬい順を最適化する（カラーソート）

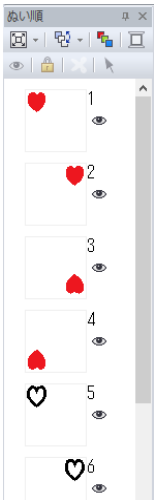
[レイアウトコピー] ツールを使用する前にぬい順を最適化すると、**[レイアウトコピー]** ツールで作成するデータのぬい順を調整し、糸色を変更する回数を減らせます。

［ぬい順の最適化］が選択されていない



データを作成した順序がぬい順となります。

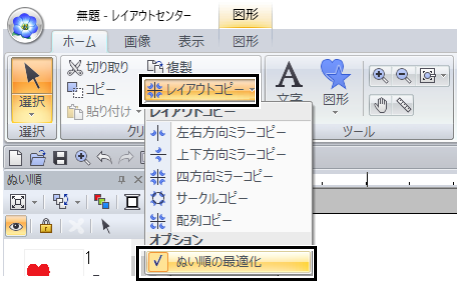
［ぬい順の最適化］が選択されている



同じ糸色のものがつながるようにデータがぬわれます。

1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[クリップボード]** グループの **[レイアウトコピー]** クリックし、**[ぬい順の最適化]** をクリックしてチェックマークを表示します。



3 レイアウトコピーの操作を行います。

飾り模様を加える

選択した刺しゅうデータに、飾り模様を加えることができます。

1 1つまたは複数の刺しゅうデータを選択します。

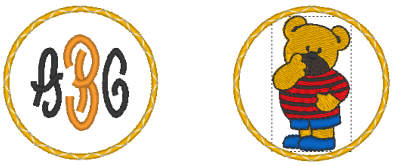
2 **[取り込み]** ウィンドウを表示し、**[取り込み元]** セレクターから **[飾り模様]** を選択します。

3 **[分類]** セレクターからカテゴリーを選択し、リストから飾り模様を選択して、**[飾り模様取り込み]** ボタンをクリックします。



❶ **縦横比を保持**

チェックを入れた場合
飾り模様の原型の縦横比を保持して模様を囲みます。



チェックを外した場合
囲む模様に合わせて、飾り模様の縦横比を調整して模様を囲みます。



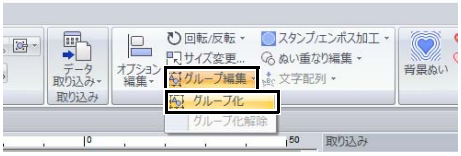
刺しゅうデータが選択されていない場合、**[取り込み]**ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、飾り模様が標準サイズで取り込まれます。

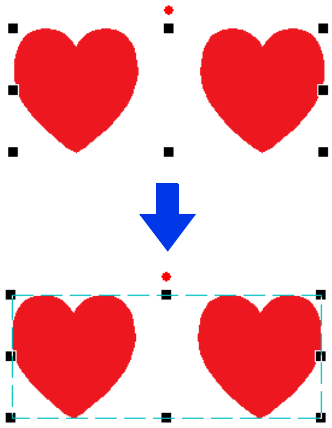
刺しゅうデータをグループ化する

■グループ化する

1 複数の刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]**タブをクリックします。

2 **[編集]**グループで**[グループ編集]**をクリックした後、**[グループ化]**をクリックします。

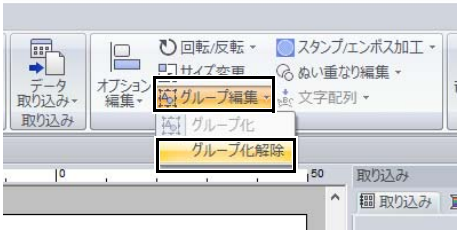




■グループ化を解除する

1 グループ化された刺しゅうデータを選択し、**[ホーム]**タブをクリックします。

2 **[編集]**グループで**[グループ編集]**をクリックした後、**[グループ化解除]**をクリックします。



■グループ化された刺しゅうデータを個別に編集する

刺しゅうデータをグループ化した後も個別に編集ができます。

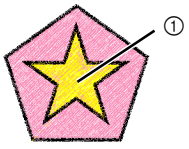
1 **<Alt>**キーを押しながら刺しゅうデータをクリックして、グループ内の刺しゅうデータを個別に選択します。

2 刺しゅうデータを編集します。

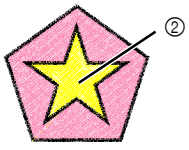
面ぬいの二重ぬいを防止する（ドーナツぬい）

ドーナツぬいを設定すると、重なった面の二重ぬいを防ぐことができます。ドーナツぬいは、1つの面が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

ドーナツぬいは、図形データに設定できます。



ドーナツぬいが設定されていない場合

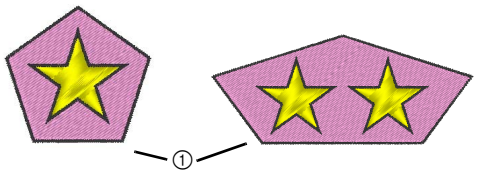


ドーナツぬいが設定されている場合

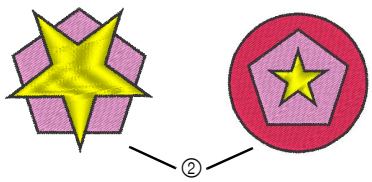
① 二度ぬわれる
② 一度ぬわれる

1 一対の刺しゅうデータを選択します。

＜Ctrl＞キーを押しながら、星と五角形をクリックします。



① 有効

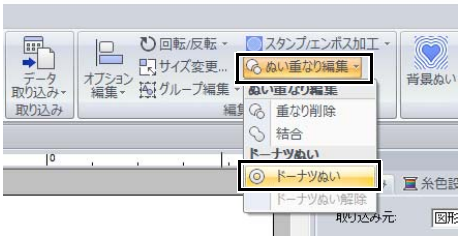


② 無効

ドーナツぬいは以下の図形データには指定できません。
- 交差する輪郭のあるデータ。
- ぬい方向線が複数あるデータ。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループで **[ぬい重なり編集]** をクリックした後、**[ドーナツぬい]** をクリックします。



ステッチ表示でドーナツぬいの設定の前と後を表示すると、実際にどのようにぬわれるか確認できます。

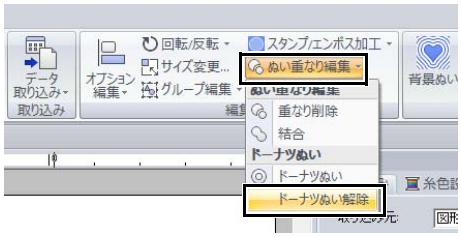
▶▶ P. 88 の「ステッチ表示」

■ドーナツぬいを解除する

1 ドーナツぬいが設定されている刺しゅうデータを選択します。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループで **[ぬい重なり編集]** をクリックした後、**[ドーナツぬい解除]** をクリックします。

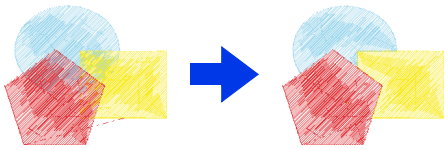


重なっている図形データの形を変える

重なり削除、結合は、図形データに適用できます

■重なり削除

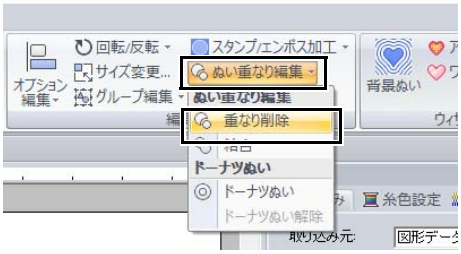
重ねて配置されている図形データの、重なって隠れている部分を削除します。



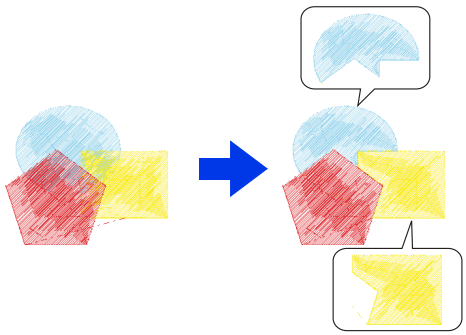
1 ＜Ctrl＞キーを押しながら刺しゅうデータをクリックして、2 つ以上の重なっている刺しゅうデータを選択します。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

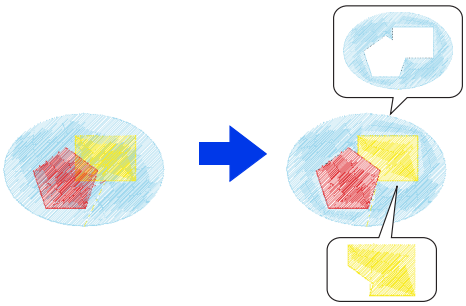
3 **［編集］**グループで**［ぬい重なり編集］**をクリックした後、**［重なり解除］**をクリックします。



- 部分的に重なっている場合



- 1 つの刺しゅうデータがその他のデータを囲んで重なっている場合



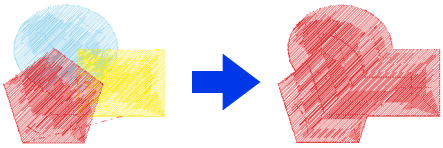
：ぬい順が 1 番目の刺しゅうデータ

：ぬい順が 2 番目の刺しゅうデータ

：ぬい順が 3 番目の刺しゅうデータ

■結合

重ねて配置されている図形データを 1 つのデータに結合します。

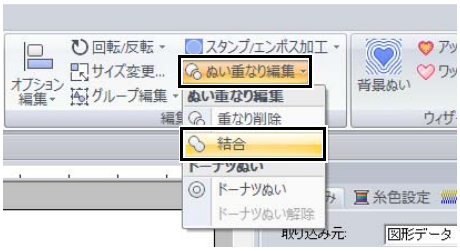


→結合後はぬい順が最後のデータ（画面上では最前面のデータ）の糸色とぬい方に設定されます。

1 **< Ctrl >**キーを押しながら刺しゅうデータをクリックして、2 つ以上の重なっている刺しゅうデータを選択します。

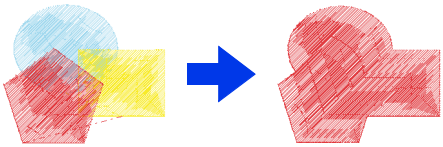
2 **［ホーム］**タブをクリックします。

3 **［編集］**グループで**［ぬい重なり編集］**をクリックした後、**［結合］**をクリックします。



→結合できないときは、エラーメッセージが表示されます。

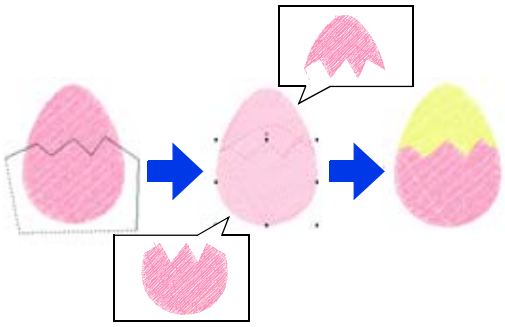
- 部分的に重なっている場合



ぬい角度を指定した刺しゅうデータの重なった面を削除または結合すると、ぬい角度が標準角度に統一されます。

▶▶ P. 59 の「ぬい角度を直線に設定する」

図形データを切断する



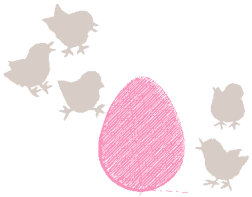
1 図形データを選択し、**［図形］**タブをクリックします。

▶▶ P. 10 の「図形データ」

2 **［ツール］**グループで**［図形データ 分割］**をクリックして、選択します。

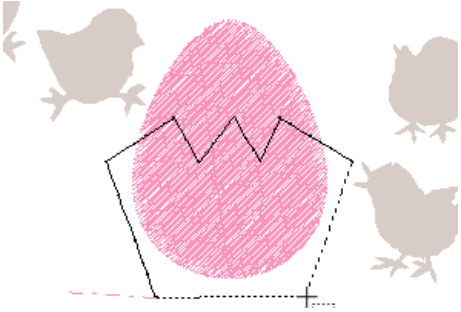


→ 図形データが重なっている場合、選択したデータは一番手前に表示されます。選択したデータ以外はすべてのデータがグレーで表示されます。



3 始点をクリックします。

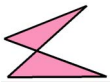
4 クリックして多角形の角（ポイント）を指定し、切り取り部分を囲みます。



右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

5 ダブルクリックして、切り取り部分を確定します。

- 切断できるのは、交差する線がない閉じたデータのみです。以下のデータは切断できません。



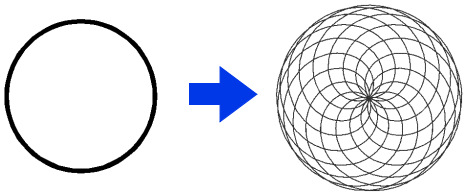
- ドーナツぬいが設定された図形データの内側のデータは切断できません。
- 分割範囲が交差している場合、その部分は切断できず、メッセージが表示されます。
- 文字配列が適用されたデータを切断すると、文字配列が解除されます。
- 切り取ったデータが任意のぬい順でない場合、**［ぬい順］**ウィンドウで変更してください。

▶▶ P. 94 の「ぬい順を最適化する」、P. 96 の「糸色を変更する」

▶▶ P. 92 の「ぬい順を確認／変更する」

花模様を作る

図形データをもとにして、線ぬいの花模様を作ります。



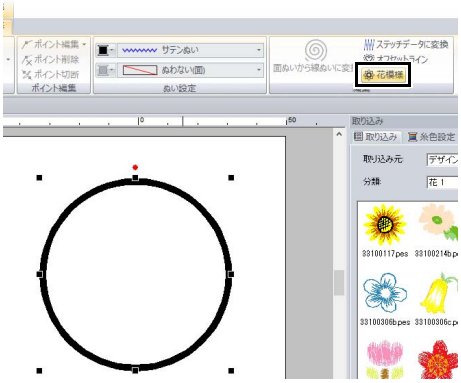
1 図形データを描いて、選択します。

必ず閉じた図形データを 1 つ選択してください。

▶▶ P. 74 の「両端の処理を変更する」

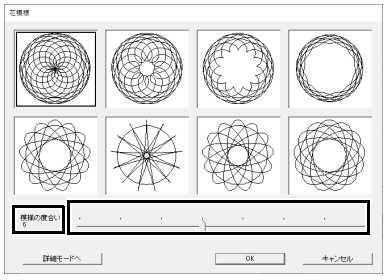
2 **［図形］**タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[花模様]** をクリックします。

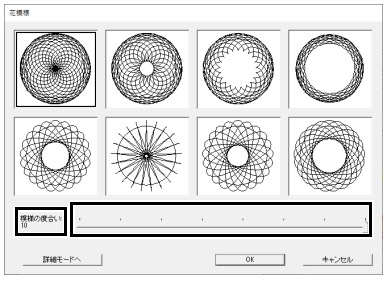


■簡易モード

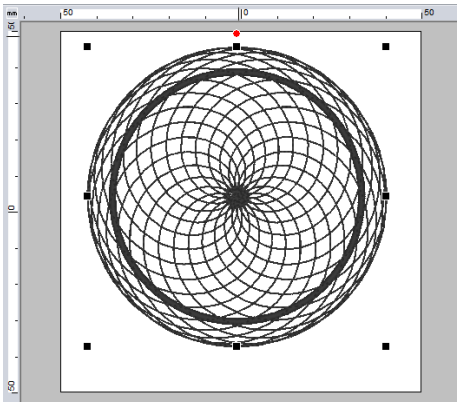
1 **[模様の度合い]** スライダーをドラッグして、模様を変化させます。







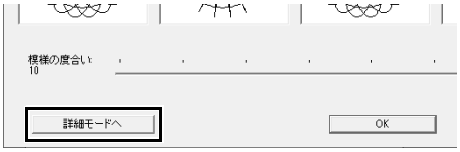
2 お好みの模様をクリックし、**[OK]** をクリックします。



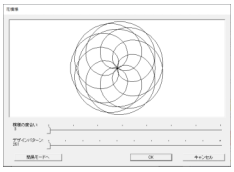
■詳細モード

詳細モードへではより詳細な設定ができます。

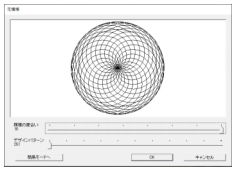
1 **[花模様]** ダイアログボックスの **[詳細モードへ]** をクリックします。



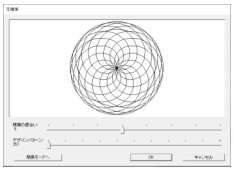
2 **[模様の度合い]** スライダーと **[デザインパターン]** スライダーをドラッグして、模様を変化させます。



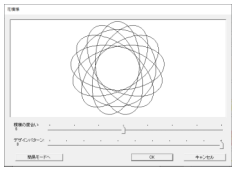
模様の度合い 3
デザインパターン 251



模様の度合い 10
デザインパターン 251

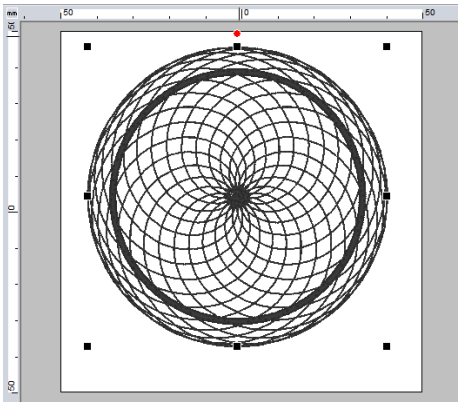


模様の度合い 6
デザインパターン 251



模様の度合い 6
デザインパターン 0

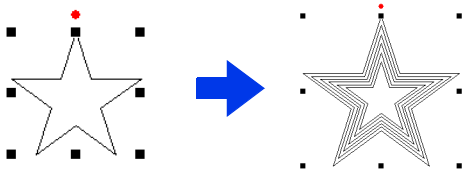
3 お好みの模様に調整できたら、**[OK]** をクリックします。



花模様の線のぬい方は走りぬいが設定されます。

オフセットラインを作る

図形データをもとにして、線ぬいの多重模様を作ります。



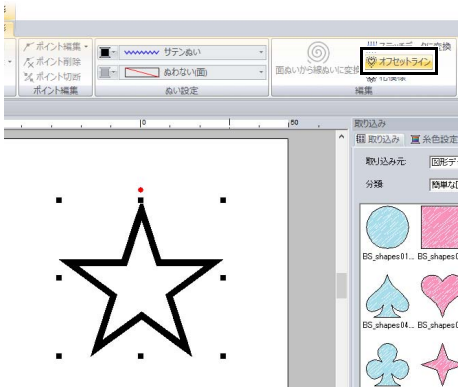
1 図形データを描いて、選択します。

必ず閉じた図形データを 1 つ選択してください。

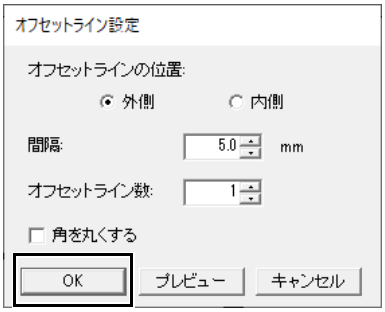
▶▶ P. 74 の「両端の処理を変更する」

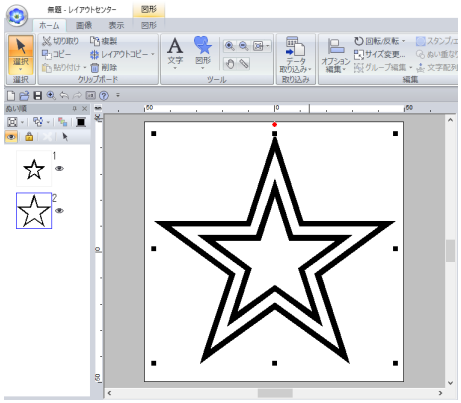
2 **[図形]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[オフセットライン]** をクリックします。



4 オフセットライン設定を指定し、**[OK]** をクリックします。





オフセットラインの位置

外側

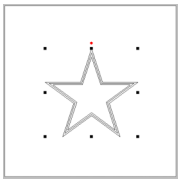


内側

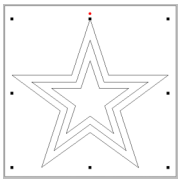


間隔

1mm



5 mm

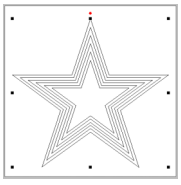


オフセットライン数

1 本



5 本

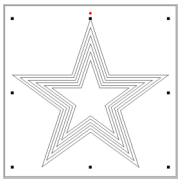


角を丸くする

チェックを入れる



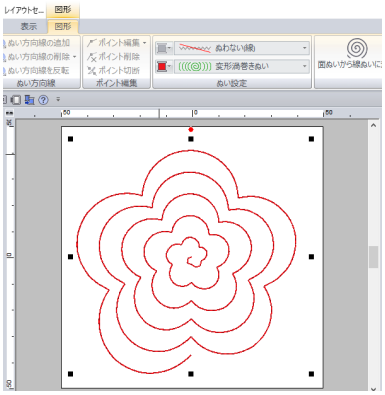
チェックを外す



面ぬいを線ぬいに変換する

面ぬいを線ぬいに変換できます。

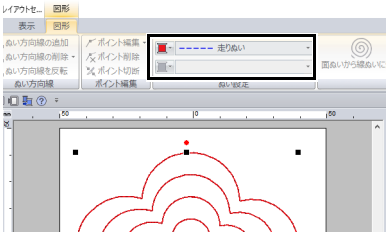
1 図形データを描いて、選択します。



2 **[図形]** タブ上で **[編集]** グループの **[面ぬいから線ぬいに変換]** をクリックします。

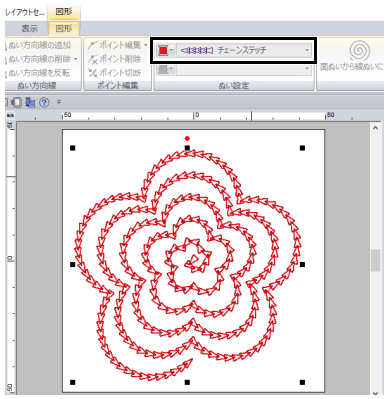


→ 面のぬい方が変換され、**[走りぬい]** に変わります。



3 線のぬい方の種類を選択します。

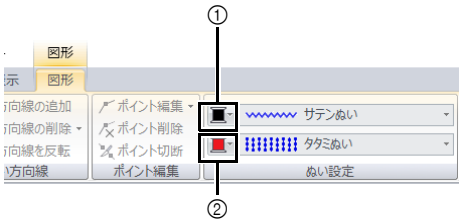
ここでは、**[チェーンステッチ]** を選択します。



線と面の糸色とぬい方を設定する

糸色を設定する

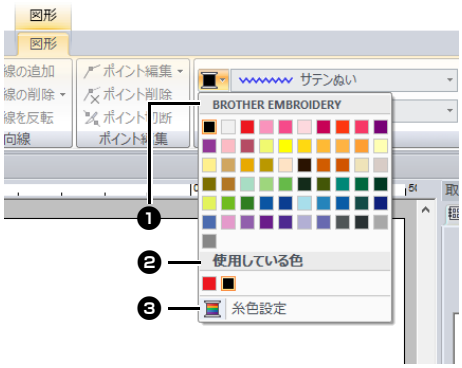
[図形] タブの **[ぬい設定]** グループで、図形データの糸色を設定できます。



① 線の糸色
② 面の糸色

■糸色

[糸色設定] ボタンをクリックし、糸色のリストからお好みの色を選択します。



❶ 糸のブランド名またはユーザー糸リスト名と糸色リスト：
現在選択中のパターンのブランド名とその糸色リストを表示します。

❷ **使用している色**
刺しゅうデータで使用されているすべての糸色が表示されます。

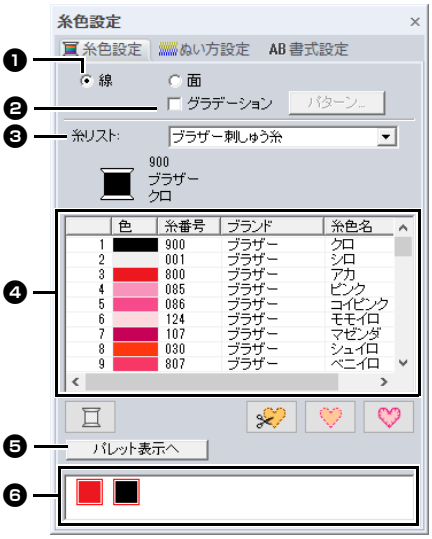
❸ **糸色設定**
クリックすると、**[糸色設定]** ウィンドウが表示されます。

■糸色設定ウィンドウ

パレット表示モード



詳細表示モード



❶ ぬい目の種類（**[線]** または **[面]**）を選択して、使用されている色を表示します。
線
線の糸色
面
面の糸色

❷ チェックボックスにチェックを入れて、グラデーション／ブレンディングを適用します。**[パターン]** ボタンをクリックして、グラデーション／ブレンディングパターンを指定します。（図形データが選択されている場合のみ使用できます）

▶▶ P. 55 の「グラデーション／ブレンディングを設定する」

❸ **[糸リスト]** セレクターで、糸のブランドまたはユーザー糸リストを選択します。

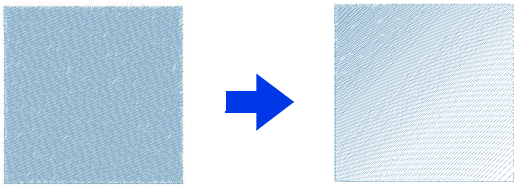
❹ 糸色リストで、糸色を選択します。

❺ クリックすると、表示モードが切り替わります。

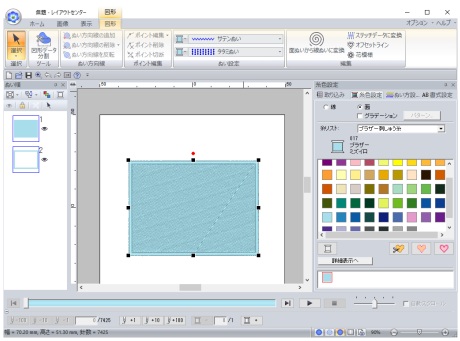
❻ 刺しゅうデータで使用されているすべての糸色が表示されます。刺しゅうデータを選択すると、そのデータで使用されている糸色が枠で囲まれて示されます。同じ糸色をここで指定できます。

■グラデーション／ブレンディングを設定する

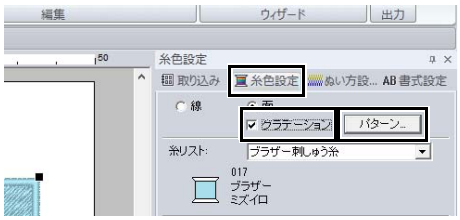
1 色または 2 色の糸密度を調整して、お好みのグラデーションパターンを作ることができます。



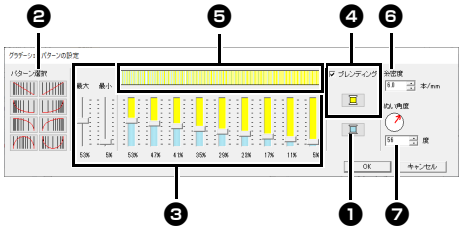
1 面ぬいが設定された刺しゅうデータを選択します。



2 **[糸色設定]** タブをクリックして、**[グラデーション]** チェックボックスをチェックし、**[パターン]** をクリックします。



3 **[グラデーションパターンの設定]** ダイアログボックスで設定を指定して、**[OK]** をクリックします。



❶ 糸色を変えるときは、 をクリックします。**[糸色]** ダイアログボックスで色を選択して、**[OK]** をクリックします。

❷ **[パターン選択]** のパターンボタンをクリックして、グラデーションのパターンを選択します。

❸ スライダーを動かして、グラデーションの糸密度を調節します。
グラデーションの全体的な密度を、**[最大]** および **[最小]** スライダーで調整できます。
[最大] スライダーをドラッグして最大値を調整し、**[最小]** スライダーで最小値を調整します。最大値と最小値の間にある値は自動的に調整されます。

❹ 2 色を混ぜる場合は、**[ブレンディング]** チェックボックスをチェックし、その下の  をクリックします。**[糸色]** ダイアログボックスで色を選択して、**[OK]** をクリックします。

❺ 変更結果がプレビュー領域に表示されます。

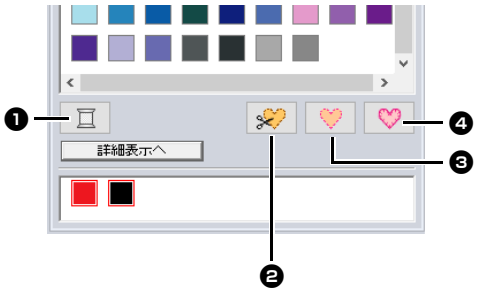
❻ 糸密度を指定します。

❼ ぬい角度を指定するか、赤矢印をドラッグして調整します。

- グラデーション／ブレンディング機能は、面のぬい方がサテンぬい、タタミぬい、またはプログラムタタミぬいで、ぬい角度が **[手動 (直線)]** に設定されている場合に設定できます。
- **[ブレンディング]** を解除したときは、面の糸色ボタンで選択されている色が適用されます。
- **[ぬい方設定]** ウィンドウが詳細モードで表示されている場合、**[糸密度]** でもグラデーション／ブレンディングを指定できます。



■特別色



❶ **空白**
実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて糸色を決めたい場合は、**[空白]** を指定します。

アップリケ用の糸色：
次の 3 つの特別色を使って、アップリケを作ります。

❷ **アップリケピース**
アップリケにする布などを切り取るための輪郭線をぬいます。

❸ **アップリケノイチ**
アップリケをぬい付ける布に、アップリケ位置のガイドとなる線をぬいます。

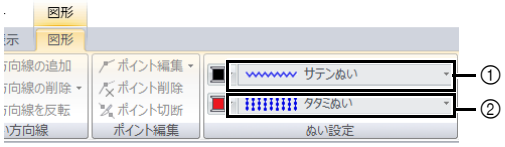
❹ **アップリケ**
アップリケをぬい付けます。

アップリケウィザードを使うと、簡単にアップリケを作ることができます。

▶▶ P. 179 の「作ってみましょう 9-1 : アップリケを作る」

ぬい方を設定する

[図形] タブの **[ぬい設定]** グループで、ぬい方を設定できます。



① 線のぬい方セレクター
② 面のぬい方セレクター

■線のぬい方



① P. 375 の「サテンぬい」
② P. 375 の「走りぬい」
③ P. 375 の「3 重ぬい」
④ P. 376 の「モチーフぬい」
⑤ P. 377 の「ステムステッチ」
⑥ P. 377 の「キャンドルウィックステッチ」
⑦ P. 378 の「E/V ステッチ」
⑧ P. 379 の「チェーンステッチ」

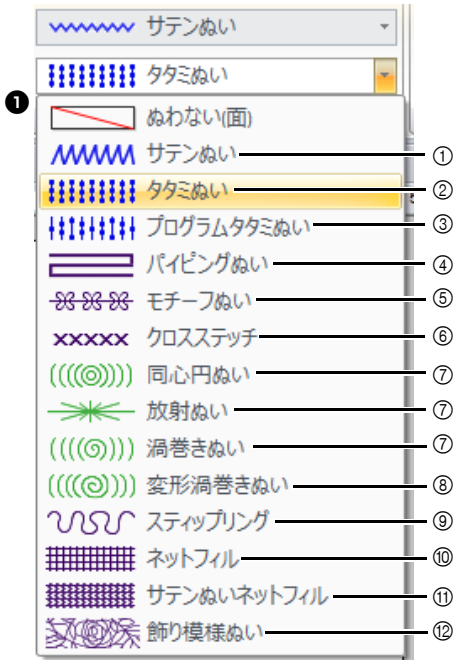
図形データと文字データの線のぬい方は **[線のぬい方]** セレクターで選択できます。

[線のぬい方] セレクターをクリックし、ぬい方の種類を選択します。

❶ **ぬわない (線)**
この設定を選択すると、線ぬいがオフになります（線がぬわれません）。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」
P. 375 の「線のぬい方」

■面のぬい方



① P. 381 の「サテンぬい」
② P. 383 の「タタミぬい」
③ P. 384 の「プログラムタタミぬい」
④ P. 387 の「パイピングぬい」
⑤ P. 388 の「モチーフぬい」
⑥ P. 389 の「クロスステッチ」
⑦ P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」
⑧ P. 389 の「変形渦巻きぬい」
⑨ P. 390 の「スティップリング」
⑩ P. 390 の「ネットフィル」
⑪ P. 391 の「サテンぬいネットフィル」
⑫ P. 392 の「飾り模様ぬい」

図形データと文字データの面のぬい方は **[面のぬい方]** セレクターで選択できます。

[面のぬい方] セレクターをクリックし、ぬい方の種類を選択します。

→ 使用できる面のぬい方の種類は、図形データと文字データのどちらを選択しているかによって異なります。

❶ **ぬわない (面)**
この設定を選択すると、面ぬいがオフになります（面がぬわれません）。

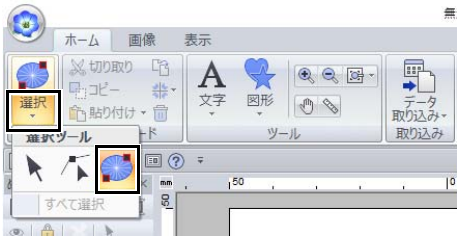
▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」
P. 381 の「面のぬい方」

ぬい始終点、中心点、ステッチパターン基準点を移動する

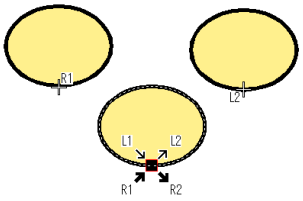
■ぬい始終点を移動する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、をクリックして、**[ぬい始終点の選択]** ツールを選択します。



3 刺しゅうデータをクリックします。





線ぬいのぬい始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。



線ぬいのぬい終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。



面ぬいのぬい始めの点です。前のデータからこの位置へ接続されます。



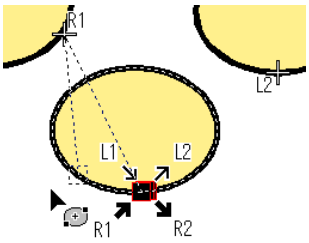
面ぬいのぬい終わりの点です。この位置から次のデータへ接続されます。

表示されるコードの意味は以下の通りです。
L: 線ぬい　　R: 面ぬい
1: ぬい始点　　2: ぬい終点



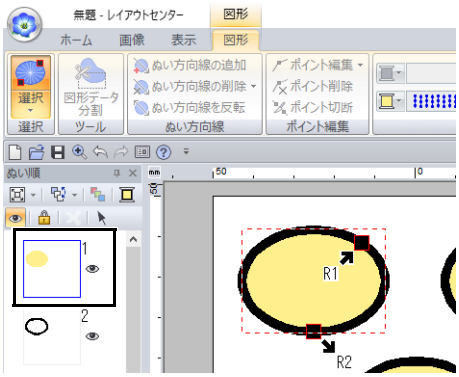
これは、現在選択中のデータのぬい終点（または、ぬい始点）に接続された、次（または前）のデータのぬい始点（または、ぬい終点）です。
このポイントは、現在選択中のデータと同じコードを持つぬい始終点に接続されます。この例では、現在選択中のデータの R1 と前のデータの R1 が接続されます。

4 矢印マークを輪郭線上の移動したい位置にドラッグします。



移動中のぬい始点（または、ぬい終点）と、前（または次）のデータのぬい終点（または、ぬい始点）を示す十字の間に、点線が表示されます。

- ぬい設定がオフになっている面部や線部は、そのぬい始終点は表示されません。
- ぬい始点とぬい終点は **[ぬい順]** ウィンドウで確認できます。ぬい始終点の選択ツールを選択し、**[ぬい順]** ウィンドウでコマをクリックします。選択されたデータのぬい始点とぬい終点が表示されます。



- この場合、**[ぬい順]** ウィンドウの空白部分をクリックして操作を終了します。

図形データのみ、ぬい始終点を編集できます。文字データやステッチデータは編集できません。

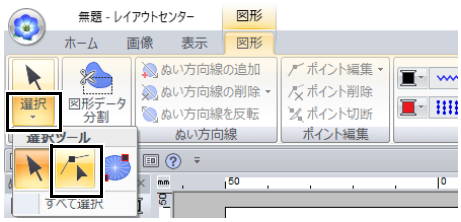
■中心点とステッチパターン基準点を移動する

装飾効果を調整するため、中心点とステッチパターンの基準点を変更できます。

- 同心円ぬい、放射ぬい、または変形渦巻きぬいが指定された面には中心点があります。
- プログラムタタミぬい、モチーフぬい、クロスステッチ、ネットフィル、サテンぬいネットフィル、または飾りタタミぬいが指定された面にはステッチパターン基準点があります。

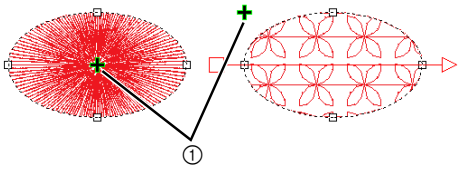
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、をクリックします。



3 同心円ぬい、放射ぬい、プログラムタタミぬい、モチーフぬい、クロスステッチ、ネットフィル、またはサテンぬいネットフィルが指定された面をクリックします。

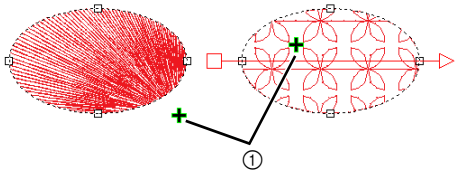
中心点（放射ぬい）　ステッチパターン基準点（モチーフタタミぬい）



① ハンドル

4 ハンドルを移動先までドラッグします。

中心点（放射ぬい）　ステッチパターン基準点（モチーフタタミぬい）

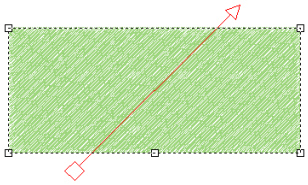


① ハンドル

ぬい角度を直線に設定する

閉じた線／開いた線ツール、長方形／円／円弧ツール、または図形ツールを使用すると、ぬい角度が単一の図形を作成できます。マニュアル パンチツールを使用すると、ぬい角度が複数の図形を作成できます。

ぬい角度は、ぬい方向線（赤矢印）で示されます。ぬい方向線は、端点を動かして、向きの変更ができます。また、新しいぬい方向線を追加することも可能です。



これらの設定は、サテンぬい、タタミぬい、プログラムタタミぬい、パイピングぬい、またはモチーフぬいが指定された面に対しても指定できます。

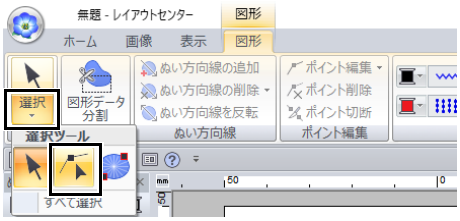
この機能は、**[ぬい方設定]** ウィンドウの **[ぬい角度]** が **[手動 (直線)]**（標準設定）に設定されている場合に使用できます。



■ぬい角度を複数設定する

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［選択］**グループで**［選択］**をクリックした後、をクリックして、**［ポイントの選択］**ツールを選択します。

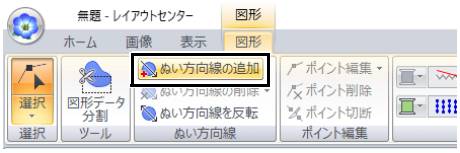


3 図形データをクリックします。

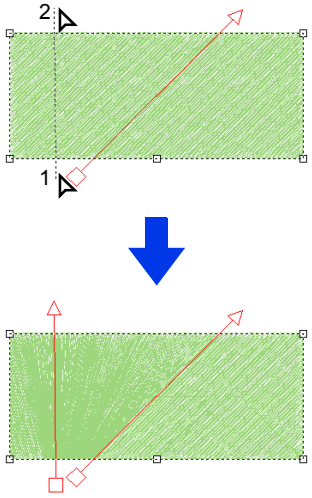
→ ぬい方向線が表示されます。

4 **［図形］**タブをクリックします。

5 **［ぬい方向線］**グループの**［ぬい方向線の追加］**をクリックします。



6 追加するぬい方向線の一方の端点をクリックしてから、もう一方の端点をクリックします。



- 以下のようにぬい方向線を指定します。
  - ♦ データに重なり、かつ、データの外に両方の端点が配置される線を指定してください。
  - ♦ データ上に配置できるのは線のみです。
  - ♦ 複数のぬい方向線を指定する場合、データ内で交差しないでください。
- 上記以外の方法で指定されたぬい方向線は追加できません。

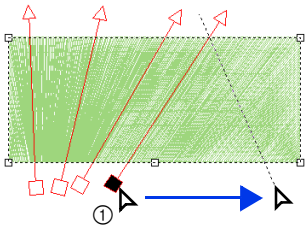
ドーナツぬいが適用されている場合、ぬい方向線は追加できません。

■ぬい角度を変更する

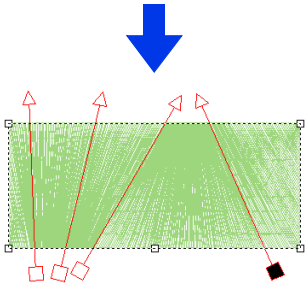
1 ポイントの選択ツールを選択します。

2 図形データをクリックしてから、ぬい方向線上の白い四角または白い三角をクリックしてポイントを選択します。

3 ポイントを別の位置にドラッグします。



① 選択中のポイント



ぬい角度は、**［ぬい方設定］**ウィンドウの**［ぬい角度］**の設定で、特定の角度（ぬい方向線 1 つ）に設定することも可能です。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

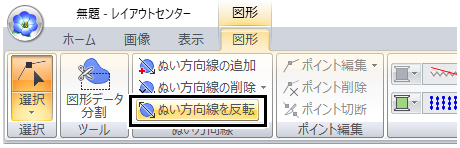
■ぬい角度を反転する

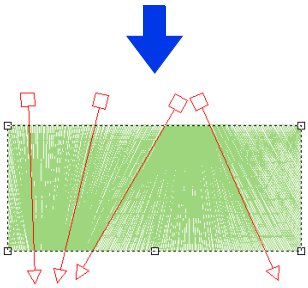
1 ポイントの選択ツールを選択します。

2 図形データをクリックします。

3 **[図形]** タブをクリックします。

4 **[ぬい方向線]** グループの **[ぬい方向線を反転]** をクリックします。





ぬい方向線が複数ある場合、すべてのぬい方向線が反転されます。

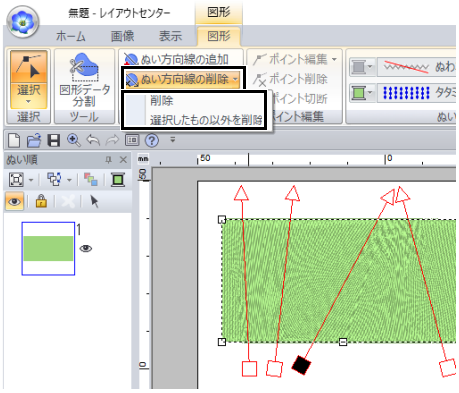
■ぬい方向線を削除する

1 ポイントの選択ツールを選択します。

2 図形データをクリックしてから、ぬい方向線上の白い四角または白い三角をクリックしてポイントを選択します。

3 **[図形]** タブをクリックします。

4 **[ぬい方向線]** グループで **[ぬい方向線の削除]** をクリックしてから、**[削除]** または **[選択したもの以外を削除]** をクリックします。



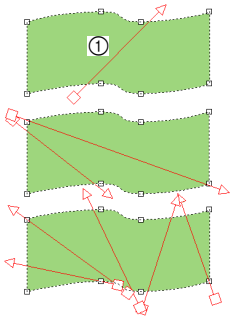
削除
選択したぬい方向線が削除されます。**＜Delete＞** キーを押しても、ぬい方向線を削除できます。

選択したもの以外を削除
選択中のぬい方向線以外の、すべてのぬい方向線が削除されます。ぬい角度は統一されます。

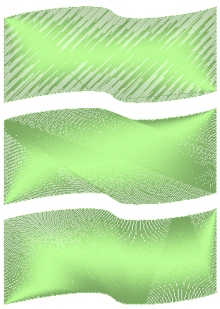
■ぬい角度によるぬい目の違いについて

ぬい角度が変更されると、ぬい目が以下のように変わります。

ぬい角度



サテンぬい

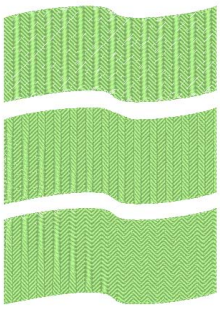


① 標準

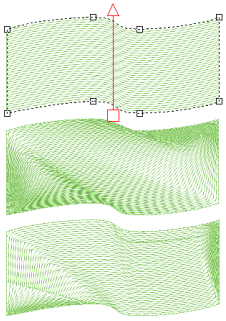
タタミぬい



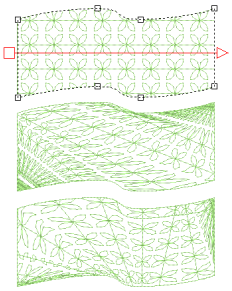
プログラムタタミぬい



パイピングぬい



モチーフぬい



ぬい角度は、データのサイズと形状が変更された場合にも変わります。

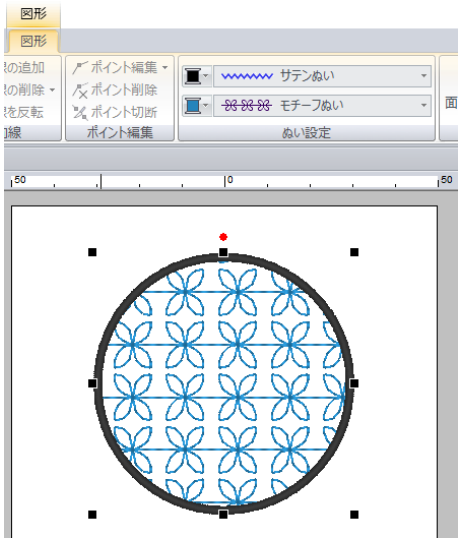
ぬい角度を曲線に設定する

■ぬい方向線を曲線に設定する

- この機能は、**［ぬい方設定］**ウィンドウの**［ぬい角度］**が**［手動 (曲線)］**に設定されている場合に使用できます。
- タタミぬい、プログラムタタミぬい、パイピングぬい、またはモチーフぬいが選択されている場合に、曲線のぬい方向線が設定されます。

1 図形データをクリックします。

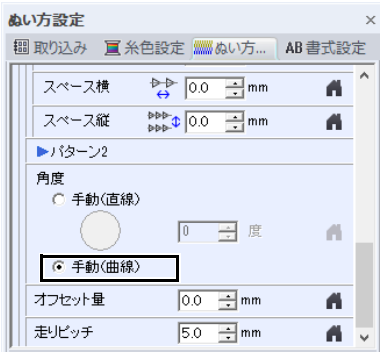
この例では、面のぬい方をモチーフぬいに設定します。



2 **［ぬい方設定］**タブをクリックし、**［詳細モードへ］**をクリックします。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

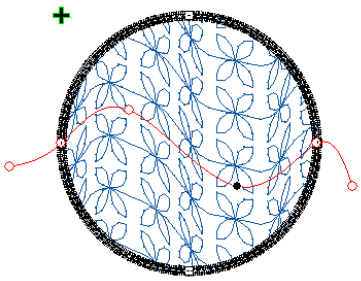
3 **[面のぬい方]** セクションで、**[ぬい角度]** の下の **[手動 (曲線)]** を選択します。



→ ぬい方向線が曲がります。

4 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、をクリックします。

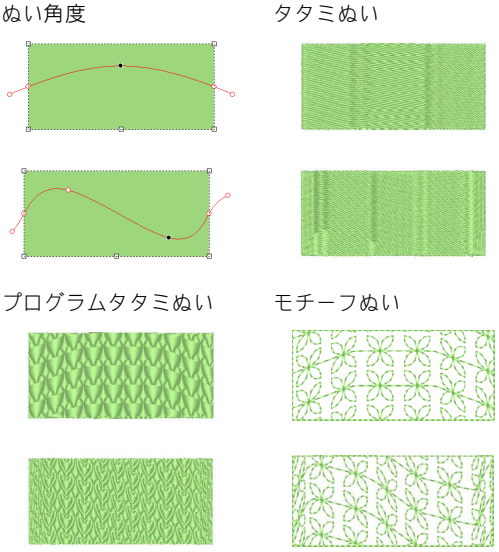
5 選択中のポイントをドラッグして曲線を調整します。曲線をクリックして、ポイントを追加します。



- 端または線に沿ってポイントを削除するには、**[ポイント削除]** を選択します。
- 線の両端または図形データの輪郭上のポイントは削除できません。
- ぬい方向線は一本のみ設定できます。
- ねじれている複雑な曲線ぬい方向線は指定できません。

■ぬい角度によるぬい目の違いについて

ぬい角度が変更されると、ぬい目が以下のように変わります。



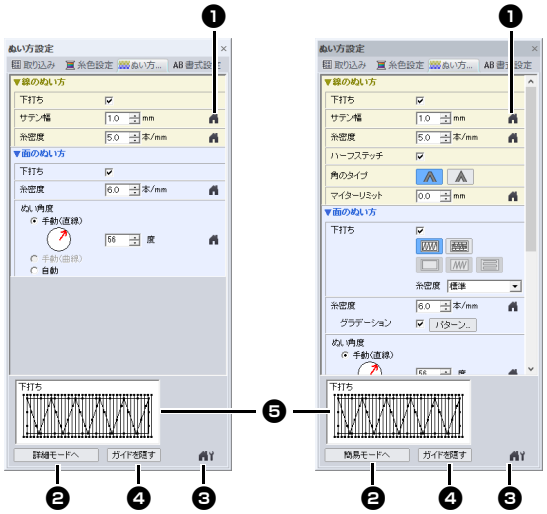
ぬい角度は、データのサイズと形状が変更された場合にも変わります。

詳細なぬい方設定を指定する

1 刺しゅうデータを選択するか、図形ツールまたは文字ツールを選択します。

2 **[ぬい方設定]** タブをクリックします。

簡易モード **詳細モード**



❶ 左の設定を標準設定値に戻します。

❷ クリックすると、簡易モードと詳細モードを切り替えます。

❸ ぬい方設定の保存／呼び出しをします。

❹ ガイドの表示／非表示を切り替えます。

❺ **ガイド表示領域**
設定を変更するごとに、具体的な変化をここで確認できます。カーソルを各設定に移動すると、設定のプレビューが表示されます。

ぬい方設定ウィンドウに表示されるぬい方設定の内容は、選択されているぬい方の種類によって異なります。

3 **[線のぬい方]** または **[面のぬい方]** の各設定を変更します。

→ 設定を変更するたびに、設定値が刺しゅうデータに適用されます。

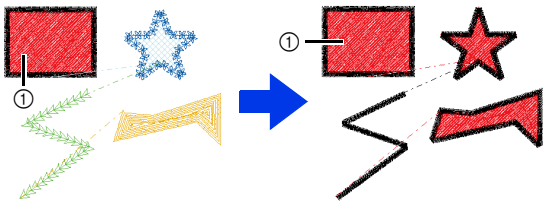
▶▶ ぬい方設定ウィンドウの各設定については、P. 375 の「線のぬい方」、P. 381 の「面のぬい方」を参照してください。

よく使うぬい方設定は、保存すると便利です。

▶▶ 詳細については、P. 205 の「ぬい方設定をリストに保存する」を参照してください。

ぬい方の属性をコピーする

糸色、ぬい方、ぬい方設定などのぬい方の属性をコピーして、他のデータに貼り付けできます。



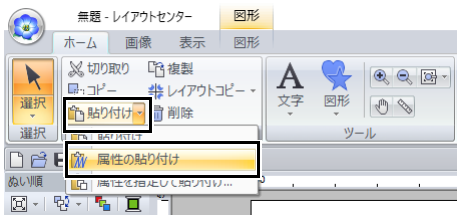
① コピー元

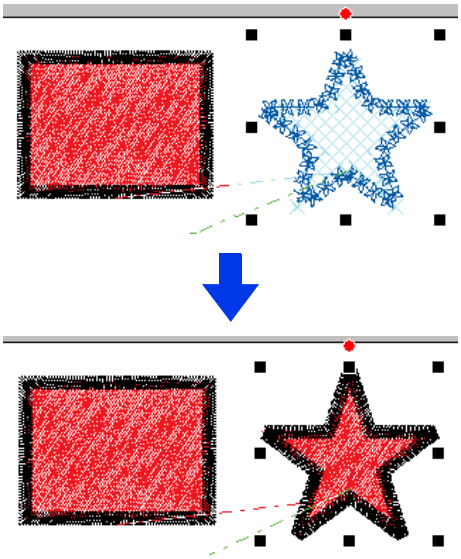
1 図形データまたは文字データを選択し、ショートカットキー＜Ctrl＞＋＜C＞を押して属性をコピーします。

2 属性を貼り付ける図形データまたは文字データを選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

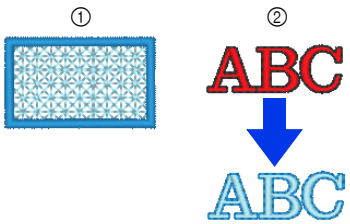
▶▶ P. 10 の「図形データ」

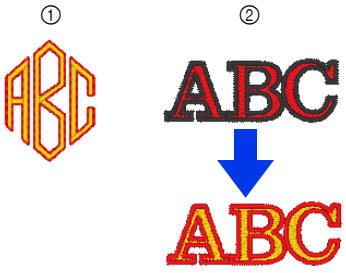
3 **[クリップボード]** グループで **[貼り付け]** をクリックした後、**[属性の貼り付け]** をクリックします。





- 図形、文字、モノグラム文字、またはミニサイズ文字データをコピーし、それを別のタイプのデータに貼り付けると、色だけが貼り付けられます。ぬい方とぬい方設定は貼り付けできません。





① コピー元
② コピー先

- 各文字に異なるぬい方設定が適用された文字データをコピーすると、最初の文字の属性がコピーされます。

この機能はステッチデータには使用できません。

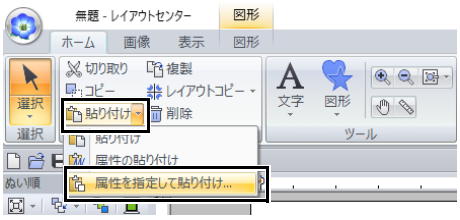
■特定の属性のみをコピーする

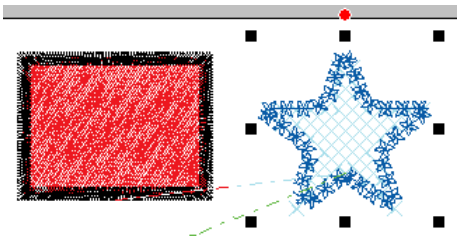
線の糸色など、特定の属性をコピーして、他のデータに貼り付けできます。

1 図形データまたは文字データを選択し、ショートカットキー＜Ctrl＞＋＜C＞を押して属性をコピーします。

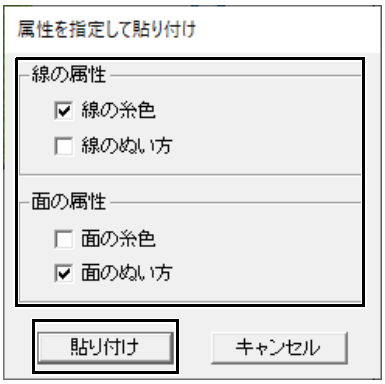
2 属性を貼り付ける図形データまたは文字データを選択し、**［ホーム］**タブをクリックします。

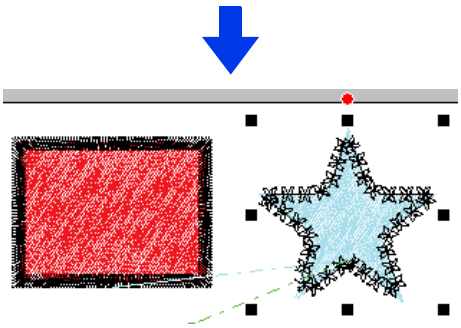
3 **［クリップボード］**グループで**［貼り付け］**をクリックした後、**［属性を指定して貼り付け］**をクリックします。





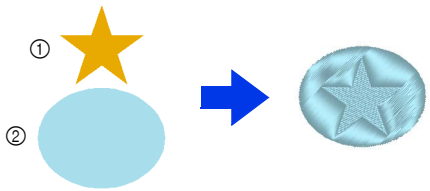
4 貼り付ける属性のチェックボックスをチェックしてから、**[貼り付け]** をクリックします。





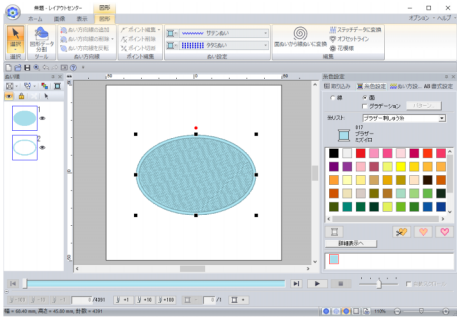
エンボス効果を設定する

2 つの図形データを重ねて、エンボス効果を設定できます。



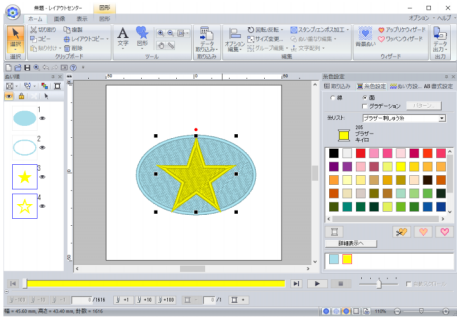
① 上に重ねたデータ
② 下のデータ

1 図形データを描きます。



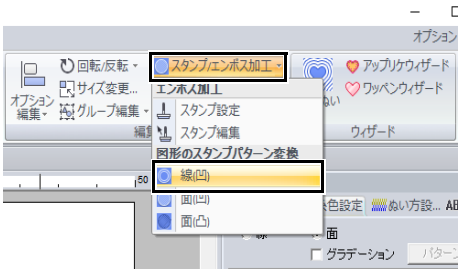
この例では、面のぬい方をタタミぬいに設定します。

2 手順 **1** で描いた図形データに重ねて、図形データを描きます。

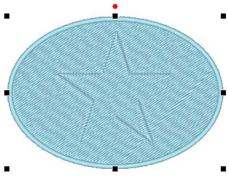


3 2 つの図形を選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

4 **［編集］**グループで**［スタンプ / エンボス加工］**をクリックしてから、**［図形のスタンプパターン変換］**で任意のコマンドをクリックします。



例）**［線 (凹)］**コマンド選択時



線 (凹)

下の図形データに、上に重ねた図形データの輪郭線をぬい沈めて模様が作られます。



面 (凹)

下の図形データに、上に重ねた図形データの形をぬい沈めて模様が作られます。
下の図形データの面のぬい方を**［サテンぬい］**に設定すると、効果的です。



面 (凸)

下の図形データに、上に重ねた図形データの形を浮き上がらせて模様が作られます。
下の図形データの面のぬい方を**［タタミぬい］**に設定すると、効果的です。



エンボス効果は、スタンプ編集ツールで編集できます。

- これらのコマンドは図形データに対してのみ使用できます。
- 下の図形データには、面のぬい方に次のいずれかが設定されている必要があります。
  - ♦ サテンぬい
  - ♦ タタミぬい
  - ♦ プログラムタタミぬい
- **［線 (凹)］**コマンドを使用するには、図形データの**［線のぬい方］**を**［ぬわない (線)］**以外に設定する必要があります。
  ［面 (凹)］または**［面 (凸)］**コマンドを使用するには、図形データの**［面のぬい方］**を**［ぬわない (面)］**以外に設定する必要があります。

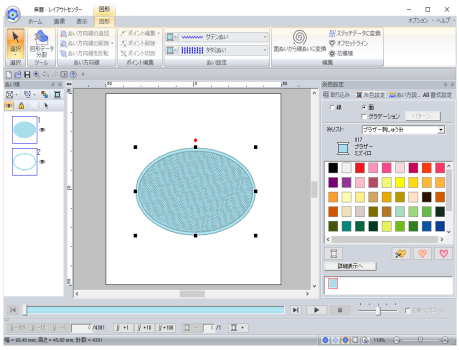
スタンプを設定／編集する

スタンプを押すように、エンボス効果を加えることができます。元のぬい目に対し、異なる方向にぬい込まれて模様が作られます。



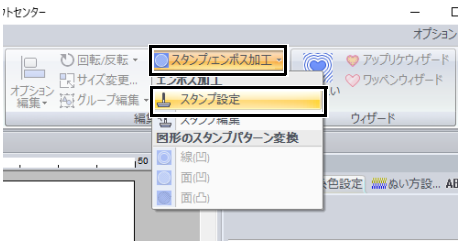
■ スタンプを設定する

1 図形データを描きます。

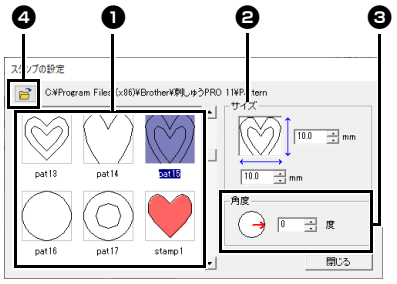


2 **［ホーム］**タブをクリックします。

3 **[編集]** グループで **[スタンプ / エンボス加工]** をクリックした後、**[スタンプ設定]** をクリックします。



4 プログラムタタミ／スタンプパターンを選択します。



❶ プログラムタタミ／スタンプパターンを選択します。

❷ スタンプのサイズを指定します。

❸ スタンプの角度を指定します。

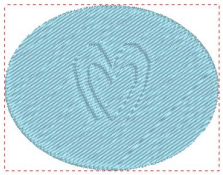
❹ 別のフォルダーを選択するときは、 をクリックします。

浮き上がり効果が設定されている面は、青色で表示され、ぬい沈め効果が設定されている面は、赤色で表示されます。

5 手順 **1** で描いた図形データをクリックして選択します。

→ 選択した図形データが、「動く点線」で囲まれます。

6 スタンプを設定する位置をクリックします。



リアル表示にすると、スタンプの効果を確認できます。

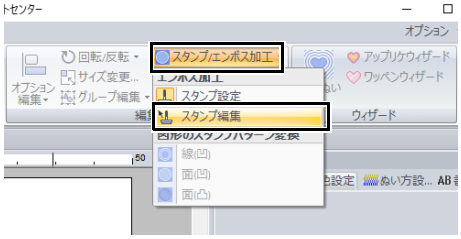
- スタンプは、サテンぬい、タタミぬい、プログラムタタミぬいが指定された図形データの面部に設定できます。
- ステッチクリエイターで、付属のスタンプパターンを編集したり、オリジナルのスタンプパターンを作成したりできます。

▶▶ P. 289 の「ステッチクリエイター」

■ スタンプを編集する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

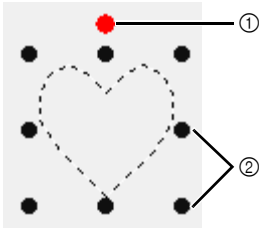
2 **[編集]** グループで **[スタンプ / エンボス加工]** をクリックした後、**[スタンプ編集]** をクリックします。



3 スタンプを設定した図形データをクリックします。

→ 選択した図形データが、「動く点線」で囲まれます。

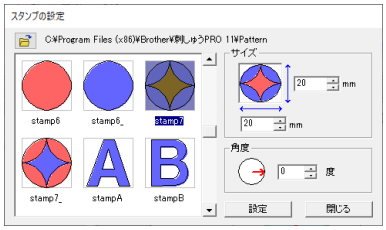
4 スタンプをクリックして選択します。



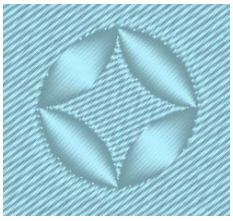
① 回転ハンドル
② ハンドル

- 一度に選択できるスタンプは 1 つです。
- ハンドルをドラッグすると、スタンプの角度を拡大できます。
- 回転ハンドルをドラッグすると、スタンプの角度を変更できます。
- スタンプを削除したいときは、**＜ Delete ＞** キーを押します。

5 スタンプを編集します。



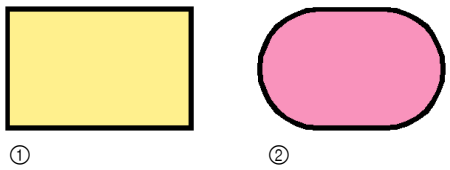
- スタンプパターンを変更する場合は、別のパターンを選択し、**[設定]** をクリックします。



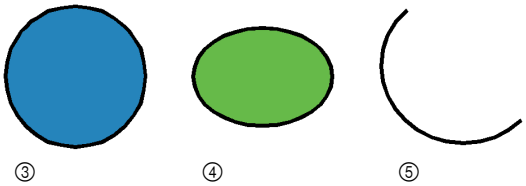
- スタンプを設定した図形データのサイズを変更しても、設定したスタンプのサイズは変わりません。変更後にスタンプを確認してください。
- スタンプを設定した図形データを編集したときは、編集後にスタンプを確認してください。

図形を描く

長方形、円、円弧を描く



①　②



③　④　⑤

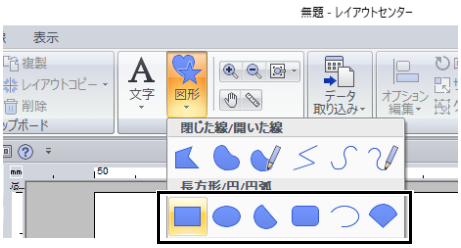


⑥　⑦

① 長方形
② 角丸長方形
③ 円
④ だ円
⑤ 円弧
⑥ 扇形
⑦ 円弧と弦

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの **[図形]** をクリックしてから、**[長方形]** ／ **[円]** ／ **[円弧]** の下にあるツールアイコンをクリックして任意の **[長方形]** ／ **[円]** ／ **[円弧]** ツールを選択します。



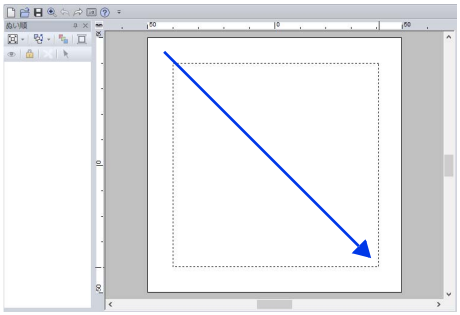
■ ／ ／

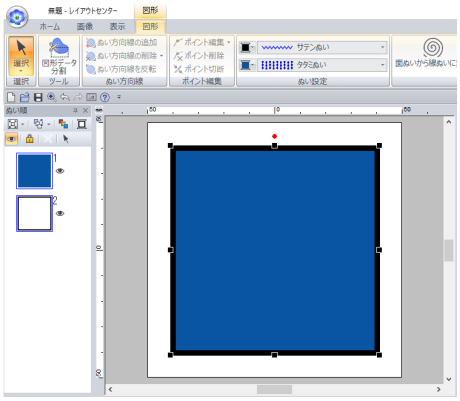
: 長方形

: 円 / だ円

: 角丸長方形

デザインページ上でカーソルをドラッグします。



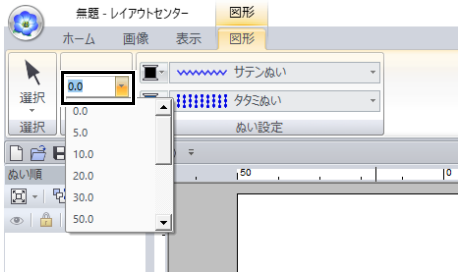


< Shift >キーを押しながらドラッグすると、正方形や真円が描けます。

角丸長方形について

角の丸みを変えたいときは、**[図形]** タブの **[角の丸み]** セレクターをクリックします。数値を入力するか、セレクターで数値を選択します。

長方形を描く前に角の丸みを指定します。長方形を描いた後に設定を変更することはできません。



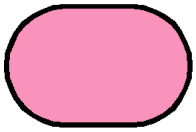
例 1

角の丸み：0.0 mm



例 2

角の丸み：20.0mm



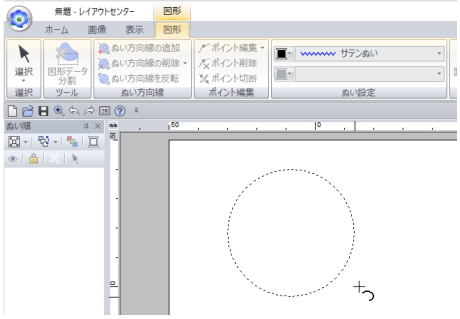
■ 

 : **円弧と弦**

 : **円弧**

 : **扇形**

1 「円／だ円」と同様の方法で円を描きます。



→ マウスボタンを放すと円上に点線が表示されます。

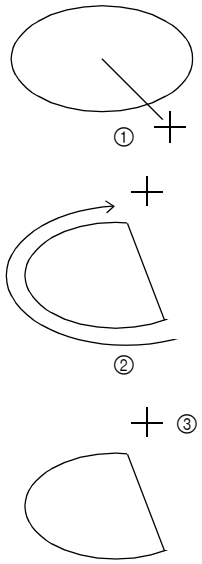
2 カーソルを円弧の始点に移動してクリックします。

→ 点線が消えます。

3 カーソルを移動すると、円の形が変わります。カーソルを終点に移動しクリックすると、形が決定します。

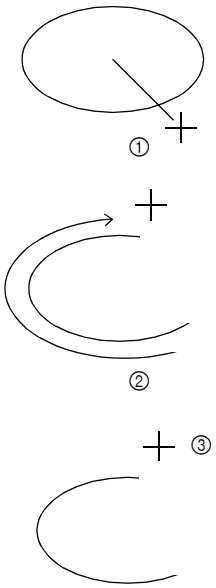
< Shift >キーを押しながらカーソルを移動すると、15 度ずつ移動できます。ステータスバーに、現在の角度が表示されます。

円弧と弦



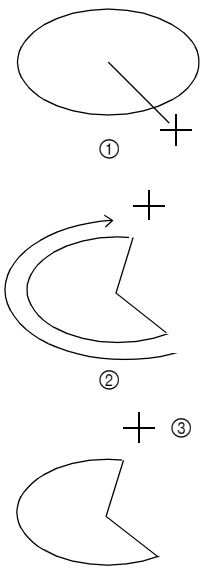
① 始点でクリック
② 終点へ移動
③ 終点でクリック

円弧



① 始点でクリック
② 終点へ移動
③ 終点でクリック

扇形



① 始点でクリック
② 終点へ移動
③ 終点でクリック

- 糸色とぬい方の種類は、図形を描く前でも後でも変更できます。

▶▶ P. 57 の「ぬい方を設定する」

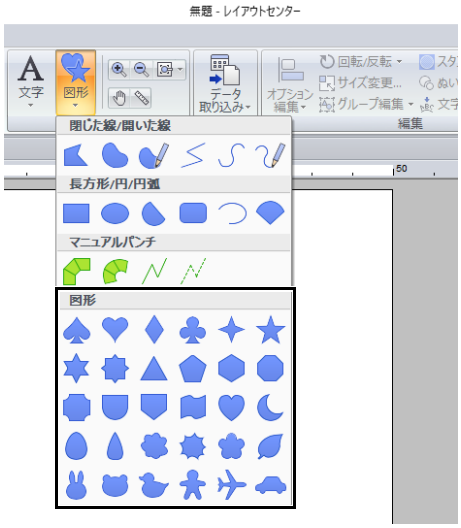
- 詳細なぬい方設定は、図形を描く前または後に**［ぬい方設定］**ウィンドウで行います。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

各種の図形を描く

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［ツール］**グループの**［図形］**をクリックしてから、**［図形］**の下にあるツールアイコンをクリックして任意の図形ツールを選択します。

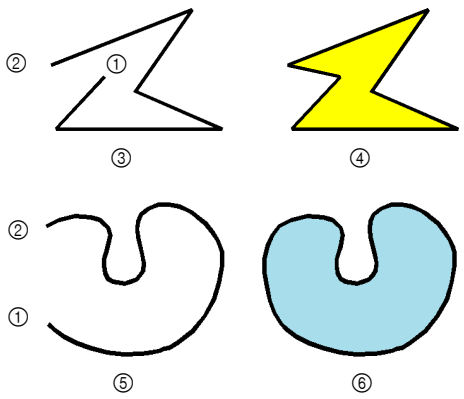


3 デザインページ上でカーソルをドラッグします。

- **＜Shift＞**キーを押しながらドラッグすると、図形ボタンのアイコンと同じ縦横比の図形が描けます。
- **［取り込み］**ウィンドウで**［取り込み元］**セレクターから**［図形データ］**を選択し、**［分類］**セレクターから**［簡単な図形］**を選択すると、各種サンプルの図形データを使用できます。

▶▶ P. 15 の「取り込みウィンドウを使う」

図形（線）を描く



① 始点
② 終点
③ 開いた直線
④ 閉じた直線
⑤ 開いた曲線
⑥ 閉じた曲線

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの **[図形]** をクリックしてから、**[閉じた線／開いた線]** の下にあるツールアイコンをクリックして任意の図形ツールを選択します。



：ポイントをクリックして閉じた直線を描きます。
（ショートカットキー：**<Z>**）

：ポイントをクリックして閉じた曲線を描きます。（ショートカットキー：**<X>**）

：カーソルをドラッグして、フリーハンドで閉じた線を描きます。

：ポイントをクリックして開いた直線を描きます。
（ショートカットキー：**<Z>**）

：ポイントをクリックして開いた曲線を描きます。（ショートカットキー：**<X>**）

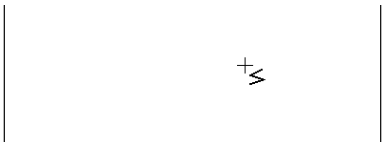
：カーソルをドラッグして、フリーハンドで開いた線を描きます。

3 デザインページ上でクリックまたはカーソルをドラッグして、線を描きます。

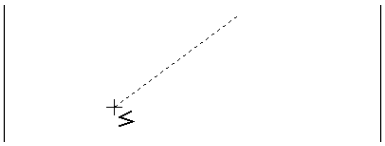
ショートカットキーは、図形ツールのいずれかを選択後に有効になります。

■直線／曲線

1 始点にカーソルを移動し、クリックします。



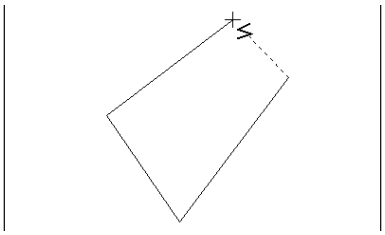
2 次のポイントにカーソルを移動し、クリックします。



→ 点線が実線に変わります。

- 右クリックするか、**< BackSpace >**キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。
- 曲線ブロックツールも使い方は同じです。

3 各ポイントをクリックしながらカーソルを移動し、終点でダブルクリックするか、**< Enter >**キーを押します。



- 自由に線の種類を変えることができます。ボタンをクリックして選び直すか、ショートカットキーを押します。
- 直線を描画中に＜ **Shift** ＞キーを押しながらカーソルを移動すると、水平または垂直方向に線が描けます。
- 線を描いてからでも、閉じた線を開いた線に、また、その逆に変更できます。

▶▶ P. 74 の「両端の処理を変更する」

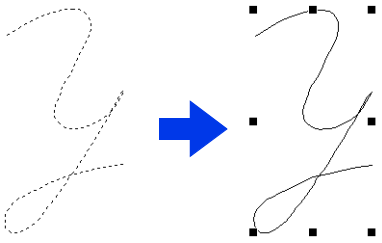
- 線を描いてからでも、直線を曲線に、また、その逆に変更できます。

▶▶ P. 80 の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」

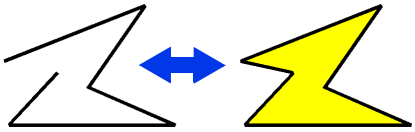
■鉛筆ツール

1 カーソルをドラッグして、線を描きます。

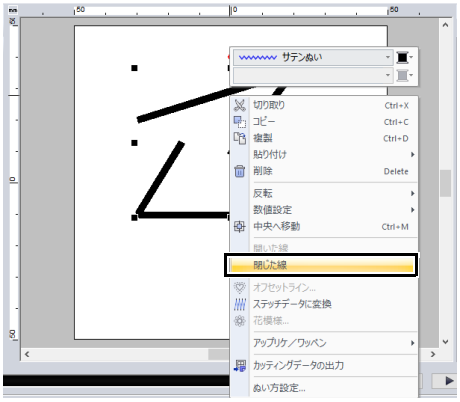
2 マウスボタンを放すと、ドラッグしたとおりの線が描けます。



両端の処理を変更する



図形データを選択した後、右クリックしてから、**［開いた線］**または**［閉じた線］**をクリックして線の端を変更します。



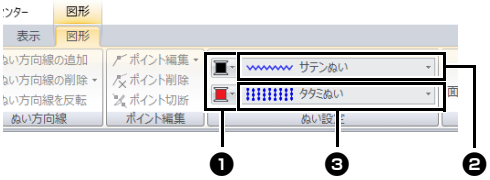
また、閉じた図形データをポイントで切断して開いた線を作成することや、開いた図形データの端点を接続して閉じた線を作成することもできます。

▶▶ P. 77 の「ポイントを接続する／輪郭を切断する（図形データ）」

図形データの刺しゅう属性について

［図形］タブのぬい設定グループで、刺しゅう属性（糸色とぬい方）を設定できます。

例）長方形データが選択されている場合



❶ **線の糸色／面の糸色**
線と面の糸色を設定できます。

特別色：

▶▶ P. 56 の「特別色」

❷ **線のぬい方セレクター**
図形データのすべての線を同じぬい方に設定できます。
線のぬい方の種類を設定します。

▶▶ P. 375 の「線のぬい方」

❸ **面のぬい方セレクター**
図形データのすべての面を同じぬい方に設定できます。
面のぬい方の種類を設定します。

▶▶ P. 381 の「面のぬい方」

▶▶ P. 54 の「線と面の糸色とぬい方を設定する」

- 線のぬいをオフにするには、**［線のぬい方］**セレクターから**［ぬわない (線)］**を選択します。
- 面のぬいをオフにするには、**［面のぬい方］**セレクターから**［ぬわない (面)］**を選択します。

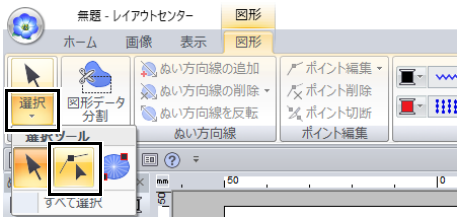
刺しゅうデータを変形させる

ポイントを移動、追加、または削除して、データを変形できます。

ポイントを選択する

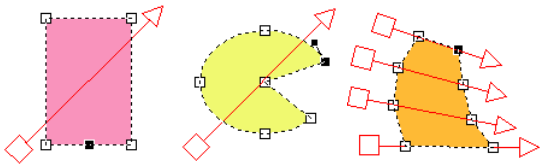
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、をクリックして、**[ポイントの選択]** ツールを選択します。



3 刺しゅうデータをクリックします。

4 白い四角をクリックして、ポイントを選択します。



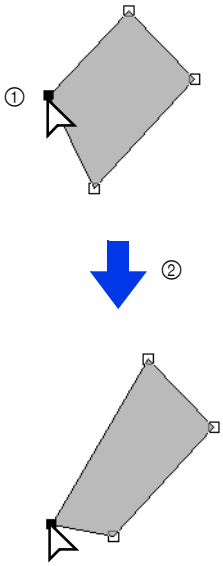
次の方法で複数のポイントを選択できます。

- ドラッグする
  → 表示された四角形で囲まれたポイントをすべて選択
- **< Ctrl >**キーを押しながらポイントをクリックする
  → 選択中のポイントをクリックすると、選択解除
- **< Shift >**キーを押しながら矢印キーを押す
- **< Ctrl >**キーを押しながら矢印キーを押す

ポイントを移動する

1 ポイントを選択します。

2 ポイントを別の位置にドラッグします。



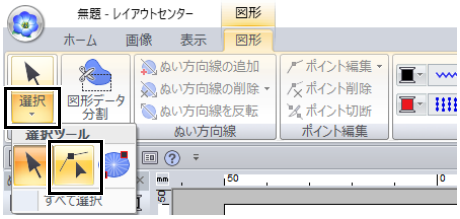
① 選択中のポイント
② ドラッグ

- 直線、曲線、またはステッチデータのポイントは、**< Shift >**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- ポイントを選択して矢印キーを押しても、移動できます。
- ドーナツぬいが設定された刺しゅうデータのポイントも移動できます。ただし、内側の刺しゅうデータのポイントを外側の刺しゅうデータを越えて外側に移動することはできません。移動したい場合は、ドーナツぬいを解除してください。
- 刺しゅうデータの輪郭線上のどこかをクリックすると、新しいポイントが挿入されたり、選択中のポイントの選択が解除されます。

ポイントを挿入する

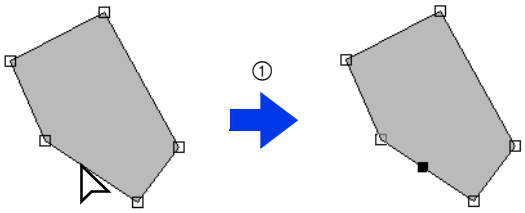
1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［選択］**グループで**［選択］**をクリックした後、をクリックして、**［ポイントの選択］**ツールを選択します。



3 刺しゅうデータをクリックします。

4 輪郭線上をクリックして、ポイントを挿入します。



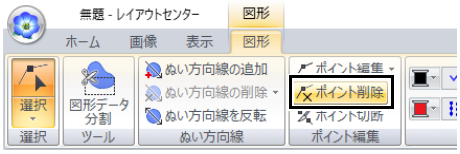
① クリック

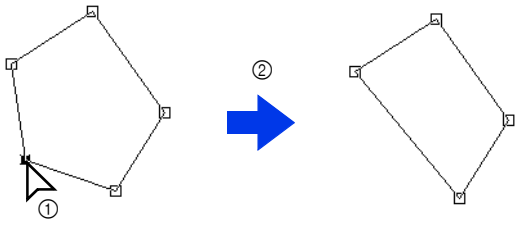
ポイントを削除する

1 ポイントを選択します。

2 **［図形］**タブをクリックします。

3 **［ポイント編集］**グループの**［ポイント削除］**をクリックします。または、**＜ Delete ＞**キーを押してポイントを削除します。





① 選択中のポイント
② 削除

ポイントを接続する／輪郭を切断する（図形データ）

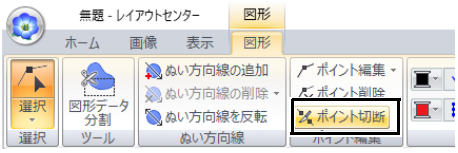
■開いた図形データの輪郭を切断する

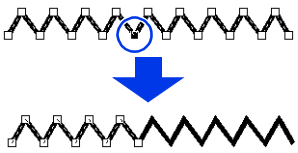
開いた図形データの輪郭はポイントで切断できます。

1 開いた図形データでポイントを選択します。

2 **［図形］**タブをクリックします。

3 **［ポイント編集］**グループの**［ポイント切断］**をクリックして線を切断します。

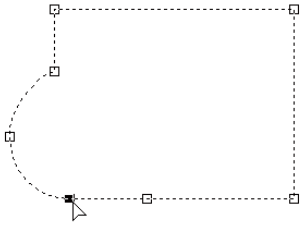




■閉じた図形データの輪郭を切断する

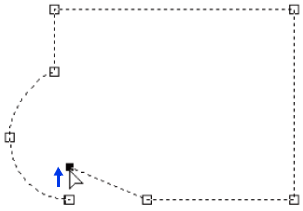
閉じた図形データの輪郭はポイントで切断できます。閉じた図形データは、ポイントが相互につながるように構成されます。

1 閉じた図形データでポイントを選択します。



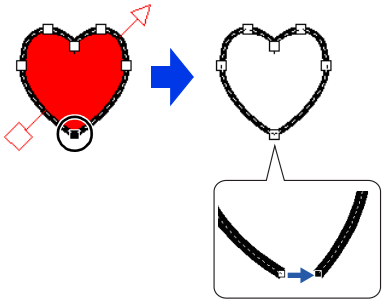
2 **［図形］**タブをクリックします。

3 **［ポイント編集］**グループの**［ポイント切断］**をクリックして線を切断します。



- ドーナツぬいが適用された図形データを切断した場合、ドーナツぬいは解除されます。
- 文字配列が適用された図形を切断した場合、文字配列が解除されます。

- 閉じた図形データの輪郭を切断して開いた図形データを作成すると、面のぬい方設定は指定できなくなります。



- **［開いた線］**コマンドを使用して、閉じた図形データを開いた図形データに変更することも可能です。

▶▶ P. 74 の「両端の処理を変更する」

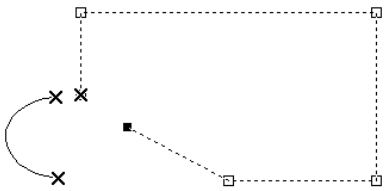
■2 つの開いた図形データを接続する

2 つの図形データの端点を接続して 1 つの図形データを作成できます。

1 端点（始点または終点）を選択します。

2 < Alt >キーを押します。

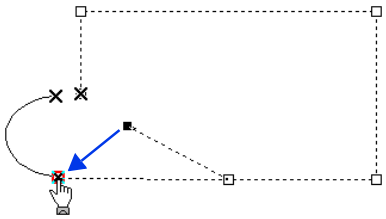
→ 接続できるポイントが × として表示されます。



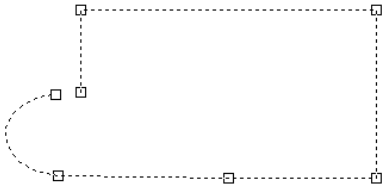
ポイントが選択された図形データのもう一方の端点と、他の図形データの端点（始点と終点）が、× として表示されます。

3 < Alt >キーを押しながら、ポイントを接続するポイントまでドラッグします。

→ カーソルの形が に変わり、2 つのポイントが重なると赤い四角が表示されます。



4 マウスボタンを放すと、接続されます。



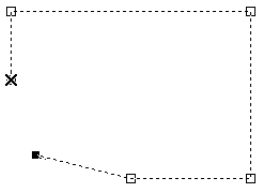
■図形データの 2 つの端点を接続する

開いた図形データの 2 つの端点を接続して 1 つの閉じた図形データを作成できます。

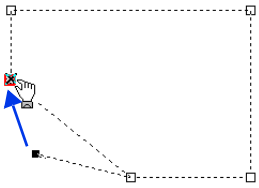
1 端点（始点または終点）を選択します。

2 < Alt >キーを押します。

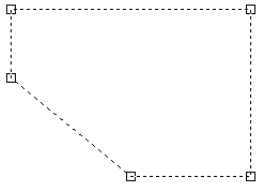
→ もう一方の端点が × として表示されます。



3 < Alt >キーを押しながら、選択したポイントをもう一方の端点にドラッグします。



4 2 つのポイントが重なり、赤い四角が表示されたら、マウスボタンを放します。



図形データを閉じる際に、面のぬい方設定が表示される場合があります。

[閉じた線] コマンドを使用して、開いた図形データを閉じた図形データに変更することも可能です。

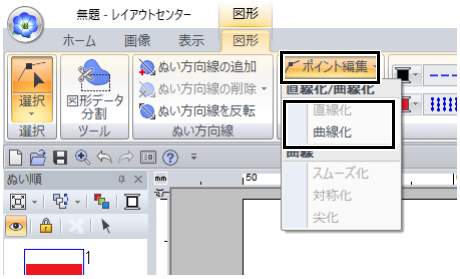
▶▶ P. 74 の「両端の処理を変更する」

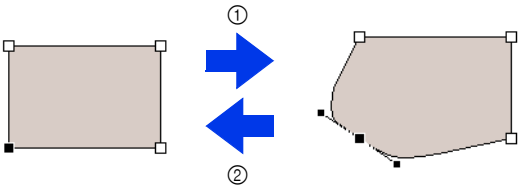
直線を曲線に、または曲線を直線に変える

1 ポイントを選択します。

2 **[図形]** タブをクリックします。

3 **[ポイント編集]** グループで **[ポイント編集]** をクリックしてから、**[直線化]** または **[曲線化]** をクリックします。





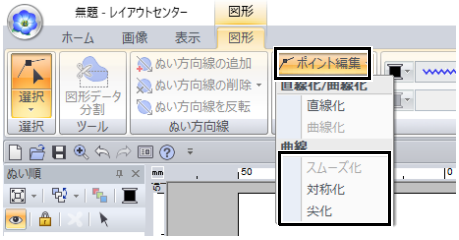
① 曲線化
② 直線化

曲線の形を変更する

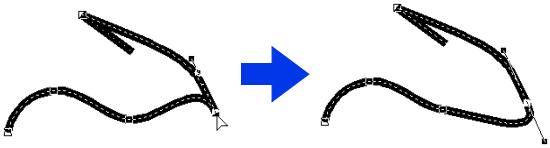
1 曲線のポイントを選択します。

2 **[図形]** タブをクリックします。

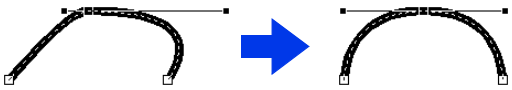
3 **[ポイント編集]** グループの **[ポイント編集]** をクリックしてから、**[スムーズ化]**、**[対称化]**、または **[尖化]** をクリックします。



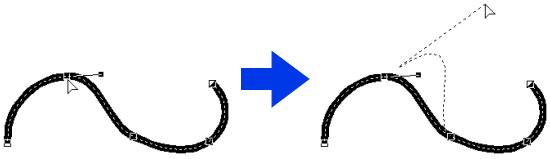
スムーズ化



対称化



尖化



4 実線の黒いハンドルをドラッグして、線の形を調整します。

ポイントの片側にある実線の黒いハンドルをドラッグすると、形を変えることができます。

ステッチデータを編集する

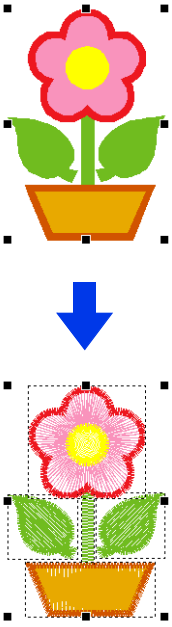
図形データまたは文字データをステッチデータに変換する

図形データまたは文字データをステッチデータに変換すると、針落ち点の位置を変更して、細かな編集ができるようになります。

1 図形データを選択し、**[図形]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループの **[ステッチデータに変換]** をクリックします。

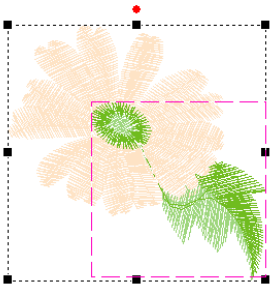




- **[ステッチデータに変換]** は、文字データをステッチデータに変換することもできます。
- ステッチデータは、刺しゅうのぬい目は実線（——）、渡り糸（刺しゅうデータ間を結ぶステッチデータ）のぬい目は一点鎖線（– – –）で表示されます。
- ドーナツぬいや図形データへの文字配列が設定されているデータは、その一部をステッチデータに変換すると、設定されているデータ全体がステッチデータに変換されます。
- ステッチがない刺しゅうデータは、ステッチデータに変換すると削除されます。

ステッチデータを糸色ごとに選択する

< Alt >キーを押しながら、ステッチデータの選択したい色部分をクリックします。



- この方法で選択した色部分は、糸色を変更できます。

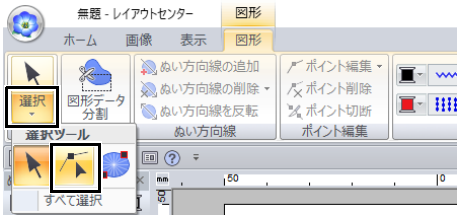
▶▶ P. 54 の「糸色を設定する」

- グループ化されたステッチデータの場合、この方法で糸色ごとの選択はできません。

ステッチデータの針落ち点を編集する

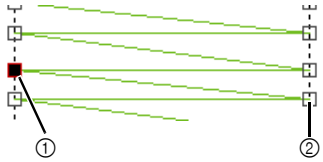
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[選択]** グループで **[選択]** をクリックした後、をクリックして、**[ポイントの選択]** ツールを選択します。



3 ステッチデータをクリックします。

4 白い四角をクリックして、針落ち点を選択します。



① 選択された針落ち点
② 未選択の針落ち点

- **< Tab >**キーを押します。
  → ぬい順で、色部分のすべての針落ち点を選択
- **< Shift >**および**< Tab >**キーを押す
  → ぬい順の逆順で、色部分のすべての針落ち点を選択
- **< Ctrl >**および**< Home >**キーを押す
  → ぬい順が 1 番目の色部分の始点を選択
- **< Ctrl >**および**< End >**キーを押す
  → ぬい順が最後の色部分の終点を選択
- 針落ち点を選択し、**< Home >**キーを押す
  → 選択した針落ち点の色部分の始点を選択
- 針落ち点を選択し、**< End >**キーを押す
  → 選択した針落ち点の色部分の終点を選択

- 針落ち点を選択するときは、確実に針落ち点（白い四角）をクリックしてください。デザインページの空白部分をクリックすると、選択中の針落ち点がすべて選択解除されます。
- 渡り糸をクリックすると、その両端の針落ち点が選択されます。
- 刺しゅうデータのポイント選択と同じ方法で、複数の針落ち点を選択できます。

▶▶ P. 76 の「ポイントを選択する」

ステッチデータ以外の刺しゅうデータは、針落ち点を編集できません。塗りつぶし表示で確認してください。

■針落ち点を移動する

針落ち点を選択し、移動したい位置にドラッグします。

刺しゅうデータのポイント移動と同じ方法で、針落ち点を移動できます。

▶▶ P. 76 の「ポイントを移動する」

■針落ち点を挿入する

針落ち点間の線上をクリックして、新しい針落ち点を挿入します。

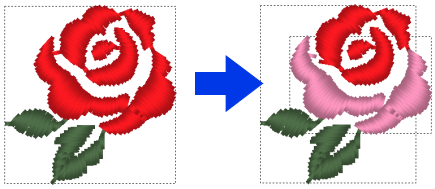
■針落ち点を削除する

針落ち点を選択し、**< Delete >**キーを押して削除します。

- 渡り糸の終点を削除すると、その渡り糸は削除され、前後の針落ち点がつながります。
- 針落ち点を挿入して渡り糸に変更するときは、**< Ctrl >**と**< Shift >**キーを押しながら線をクリックします。

ポイントを接続する／ステッチを切断する（ステッチデータ）

ステッチをポイントで切断することで 1 つの色データを 2 つに分割できます。またポイントを接続して、2 つの色データを 1 つに統合できます。ステッチデータを複数に分割すると、別の色に変更するなど、各部分ごとに編集できます。

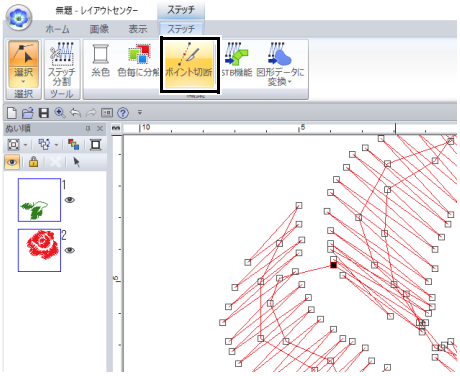


■選択したポイントで 1 つのステッチデータを 2 つに分割する

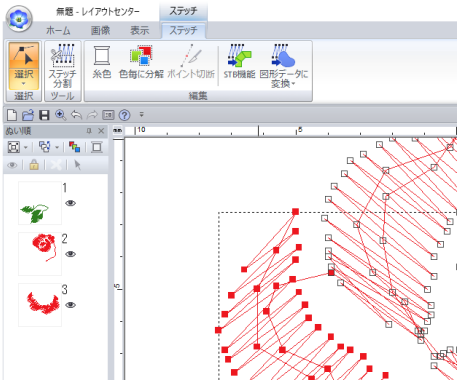
1 ステッチデータでポイントを選択します。

2 **[ステッチ]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[ポイント切断]** をクリックしてステッチデータを切断します。



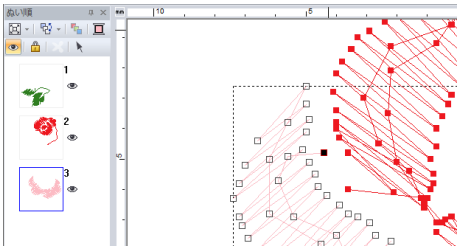
→ ステッチデータがポイントで切断されます。



ぬい始点またはぬい終点が選択されている場合、**[ポイント切断]** は使用できません。

■2 つのステッチデータを 1 つにする

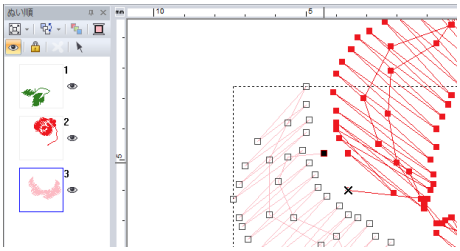
1 ステッチデータの端点（ぬい始点またはぬい終点）を選択します。



< Ctrl > + **< Home >** キーを押すと、ステッチデータのぬい始点を選択できます。**< Ctrl >** + **< End >** キーを押すと、ぬい終点を選択できます。詳しくは、P. 82 の「ステッチデータの針落ち点を編集する」を参照してください。

2 **< Alt >** キーを押します。

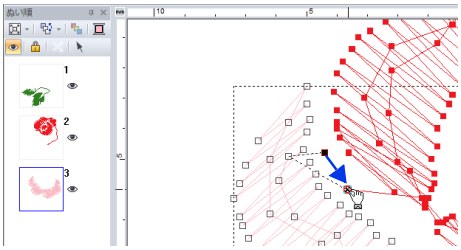
→ 接続できるポイントが × として表示されます。



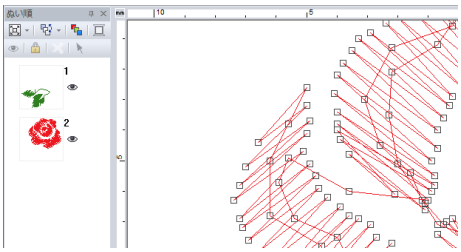
ステッチデータのぬい始点が選択されている場合、もう一方のステッチデータのぬい終点が × として表示されます。ステッチデータのぬい終点が選択されている場合、もう一方のステッチデータのぬい始点が × として表示されます。

3 **＜Alt＞**キーを押しながら、ポイントを接続するポイントまでドラッグします。

→ カーソルの形が に変わり、2 つのポイントが重なると赤い四角が表示されます。

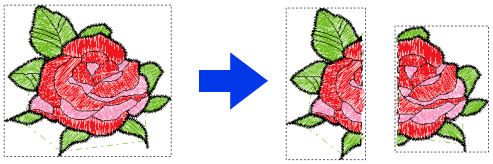


4 マウスボタンを放すと、接続されます。



ポイントが接続された後、データの糸色は、ポイントを接続する前の最初のぬい順データの糸色になります。

ステッチデータの一部を切り取る

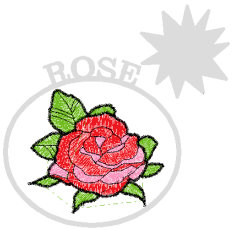


1 ステッチデータを選択し、**［ステッチ］**タブをクリックします。

2 **［ツール］**グループで**［ステッチ 分割］**をクリックして、**［ステッチ 分割］**ツールを選択します。

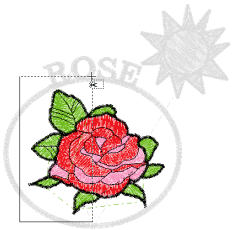


→ 選択したデータ以外はすべてのデータがグレーで表示されます。選択したデータは一番手前に表示されます。



3 始点をクリックします。

4 クリックして多角形の角（ポイント）を指定し、切り取り部分を囲みます。



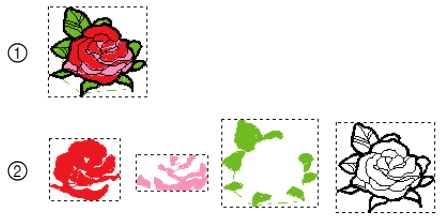
右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

5 ダブルクリックして、切り取り部分を確定します。

切り取った部分のぬい順は、最後へ送られます。

▶▶ P. 92 の「ぬい順を確認／変更する」

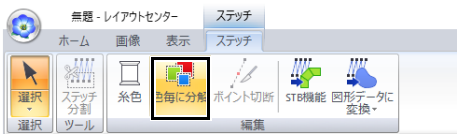
ステッチデータを色ごとに分解する



① 分解前
② 分解後

1 1 つまたは複数のステッチデータを選択し、**[ステッチ]** タブをクリックします。

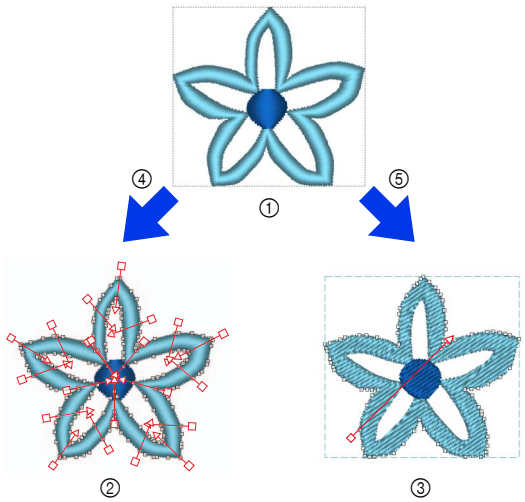
2 **[編集]** グループの **[色毎に分解]** をクリックします。



→ ステッチデータが色ごとに分解され、それぞれ点線で囲まれます。

ステッチデータを変換する

ステッチデータは、2 種類の図形データに変換できます。変換後、各種編集操作を実行できます。



① ステッチデータ
② ブロックデータ：ぬい方向線が複数ある図形データのグループ
③ 図形データ
④ STB 機能
⑤ 図形データに変換

STB 機能

複数のぬい方向線を維持しつつ、データに変換されます。

サテンまたはタタミぬいを使用する刺しゅうデータを拡大または縮小する場合に使用します。

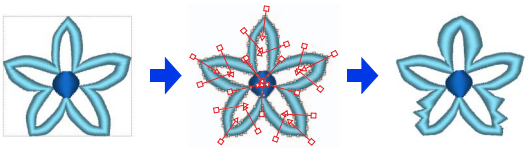
図形データに変換

輪郭の形状に従って、データが変換されます。

- 変換後、図形データを編集できます。
  ▶▶ P. 57 の「ぬい方を設定する」
  P. 59 の「ぬい角度を直線に設定する」
  P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」
  P. 76 の「刺しゅうデータを変形させる」
- 図形データとステッチデータについて詳しくは、P. 10 の「刺しゅう PRO 11 で作成した刺しゅうデータについて」を参照してください。

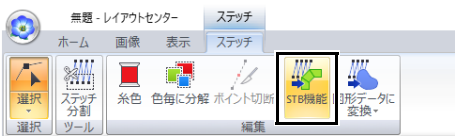
■ ステッチデータをブロックデータに変換する（STB 機能）

STB（Stitch to Block）機能で、ステッチデータをブロックデータ（複数のぬい方向線のある図形データのグループ）に変換できます。ブロックデータ（図形データ）は、ぬい方とぬい方設定を変更して簡単に編集できます。

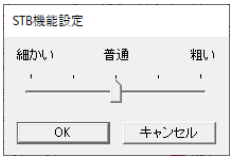


1 1 つまたは複数のステッチデータを選択し、**[ステッチ]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループの **[STB 機能]** をクリックします。



3 スライダーをドラッグし、パラメーターを調整します。**[OK]** をクリックします。



通常は **[普通]** に設定します。ステッチデータの複雑さにより、必要に応じて **[粗い]** または **[細かい]** を設定します。

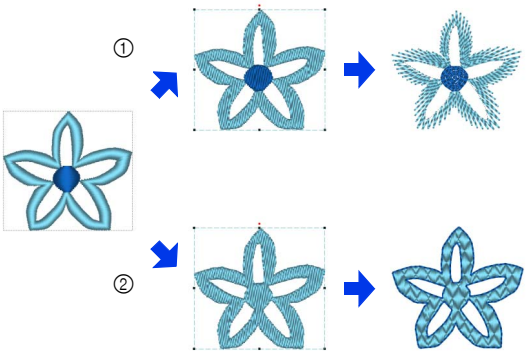
→ ステッチデータがグループ化された図形データに変換されます。ステッチデータを図形データに変換すると、輪郭を編集できるようになります。

▶▶ 詳しくは、以下の説明を参照してください。
P. 57 の「ぬい方を設定する」
P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」
P. 76 の「刺しゅうデータを変形させる」
P. 59 の「ぬい角度を直線に設定する」

刺しゅうカードから取り込んだステッチデータには、**[STB 機能]** を使えないものがあります。

■ ステッチデータを図形データに変換する

図形データは色毎のステッチデータやデータ全体の輪郭から作成できます。

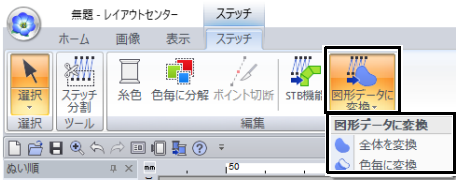


① 全体を変換
② 色毎に変換

1 1 つまたは複数のステッチデータを選択します。

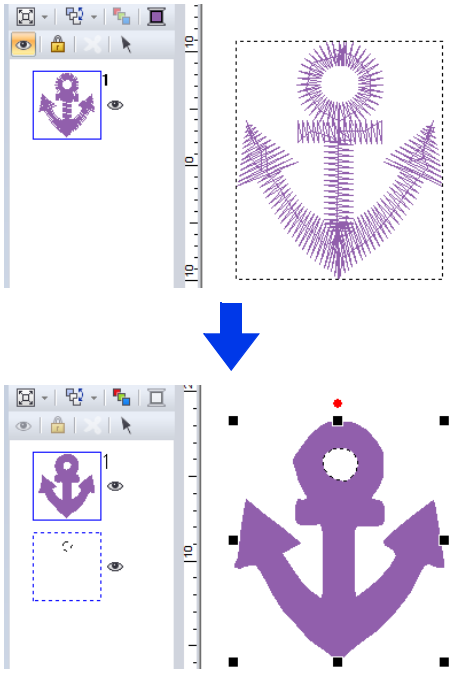
2 **[ステッチ]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループで **[図形データに変換]** をクリックしてから、**[全体を変換]** または **[色毎に変換]** をクリックします。



→ 図形データが作成され、元のステッチデータが削除されます。

- 作成された図形データの線のぬいは **[ぬわない(線)]** に設定され、面のぬいは **[タタミぬい]** に設定されます。
- **[全体を変換]** コマンドを選択すると、糸色は、元のステッチデータのぬい順における、最初の糸色に設定されます。
- 1 つのステッチデータから複数の図形データを作成した場合、図形データはグループ化されます。
- 元のステッチデータに穴（ステッチはないがステッチに囲まれている領域）がある場合、ドーナツぬいが適用されることがあります。

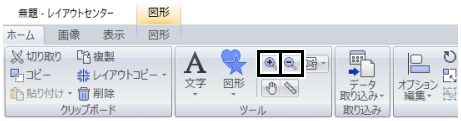


刺しゅうデータを確認する

ズームツールを使う

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで または をクリックします。



：デザインページをクリックすると、ズームインします。
デザインページを右クリックしてズームアウトします。

：デザインページをクリックすると、ズームアウトします。
デザインページを右クリックしてズームインします。

または、 の横にある をクリックしてから、**[デザインページズーム]**、**[選択データズーム]**、または **[実縫製サイズズーム]** をクリックします。



デザインページズーム
画面サイズに合わせて、デザインページ全体が表示されます。**[ツール]** グループで をクリックしても同じ操作を実行できます。

選択データズーム
画面サイズに合わせて、選択中の刺しゅうデータ全体が表示されます。

実縫製サイズズーム
デザインページがほぼ原寸で表示されます。

- ステータスバーの **[ズーム]** スライダーをドラッグしたり、表示倍率をクリックしても表示倍率を切り替えることができます。
- 他のツールを選択しているときに**< Ctrl >**キーを押しながらマウスホイールを回しても、ズームインまたはズームアウトできます。

▶▶ P. 13 の「レイアウトセンターの画面」

パンツールを使う

パン機能を使うと、作業領域の表示位置を簡単に移動できます。

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで をクリックします。



3 作業領域をドラッグして任意の部分を表示します。

- 他のツールを選択しているときに**< Space >**キーを押しながらカーソルをドラッグしても、作業領域を移動できます。
- 左右にスクロールするには、**< Alt >**キーを押しながらマウスホイールを回します。

ものさしツールを使う

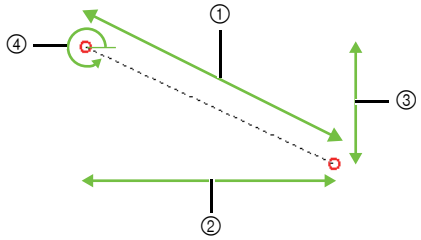
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

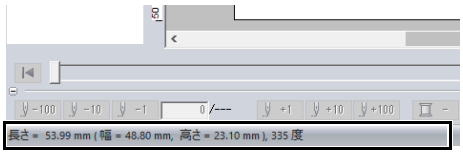
2 **[ツール]** グループで をクリックします。



3 2 つのポイント（測りたい距離の両端）をクリックします。

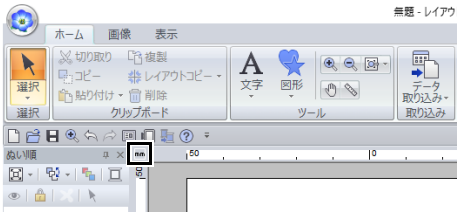
→ ステータスバーに長さが表示されます。





① 長さ
② 幅
③ 高さ
④ 角度

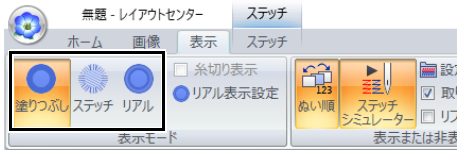
ルーラーが表示されている場合、mm ／ in. をクリックすると長さの単位をミリメートルとインチに切り替えることができます。



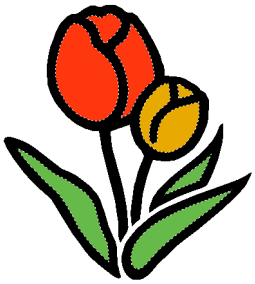
刺しゅうデータの表示モードを切り替える

1 **[表示]** タブをクリックします。

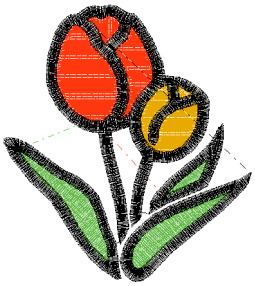
2 **[表示モード]** グループで **[塗りつぶし]**、**[ステッチ]**、または **[リアル]** をクリックします。



■塗りつぶし表示

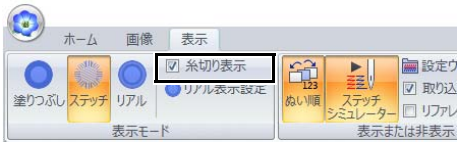


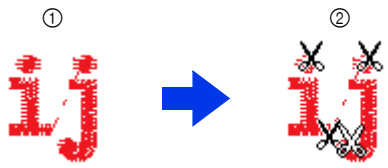
■ステッチ表示



どのようにぬわれるか、刺しゅうデータの縫製イメージを確認できます。

［デザイン設定］ダイアログボックスのデザインページ設定タブの**［ミシンの種類］**で  を選択している場合、**［表示］**タブをクリックしてから**［糸切り表示］**チェックボックスをチェックすると、糸切りされる位置を確認することができます。





① オフ
② オン

■ リアル表示



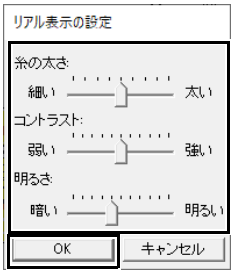
刺しゅうデータの仕上がりイメージを確認できます。

リアル表示設定を変更する

1. **［表示］**タブをクリックします。
2. **［表示モード］**グループの**［リアル表示設定］**をクリックします。

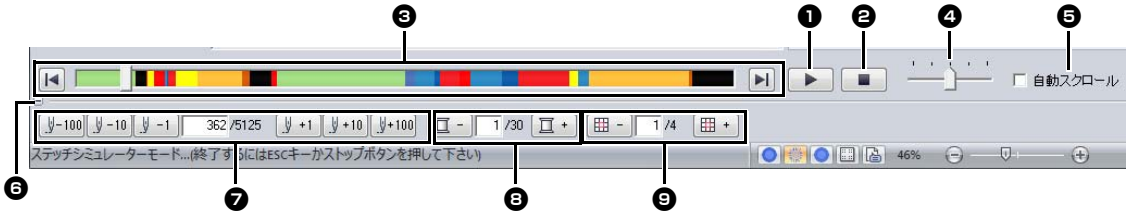


3. 必要に応じて、**［糸の太さ］［コントラスト］**、**［明るさ］**の設定を変更し、**［設定］**（**［OK］**）をクリックします。



ステッチシミュレーターでステッチを確認する

1 各ボタンを操作して、縫製のシミュレーションをします。



❶ シミュレーションを開始します。シミュレーション中は ⏸ 表示に変わり、クリックすると一時停止します。

❷ シミュレーションを停止し、開始前の状態に戻ります。

❸ スライダーはシミュレーションの進行状況を示しています。また、スライダーをドラッグすると、シミュレーションを進めたり、戻したりできます。

⏮: ぬい始めまで戻り、停止します。

⏭: ぬい終わりまで進み、停止します。

❹ スライダーをドラッグすると、シミュレーションの表示スピードを調整できます。

❺ チェックボックスにチェックを入れると、刺しゅうデータが画面より大きく表示されている場合でも、自動的にスクロールして描画中のステッチが表示されます。

❻ クリックすると、ステッチ シミュレーターの下部が非表示になります。⊞ をクリックすると、全体表示に戻ります。

❼ 数値は、描画中の針数／全体の針数を示しています。

-100 -10 -1: 各ボタンに表示された針数分、シミュレーションを戻します。

+1 +10 +100: 各ボタンに表示された針数分、シミュレーションを進めます。

❽ 数値は、描画中の糸色のぬい順／全体の色数を示しています。

－: 現在または 1 つ前の糸色のぬい始めまで戻ります。

＋: 次の糸色のぬい始めまで進みます。

❾ 数値は、描画中の枠パーツのぬい順／全体の枠パーツ数を示しています。
（分割模様の刺しゅうデータの場合にのみ表示されます。）

－: 現在または 1 つ前の枠パーツ部のぬい始めまで戻ります。

＋: 次の枠パーツ部のぬい始めまで進みます。

ステッチシミュレーターがウィンドウ下部に表示されていない場合、**[表示]** タブで **[ステッチ シミュレーター]** をクリックします。

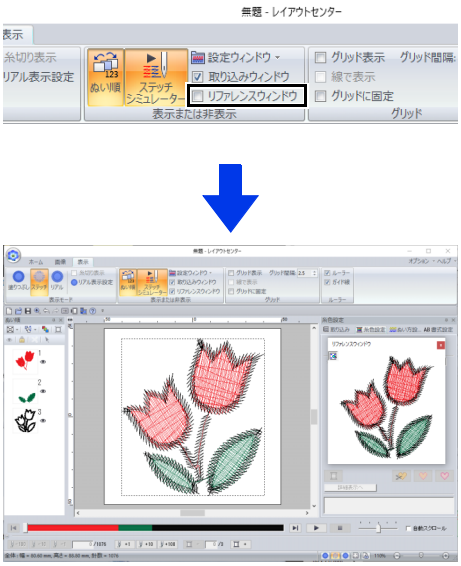
- シミュレーション中に、ズームツールとパンツールを使用できます。その他のコマンドを選択すると、シミュレーションは停止し、開始前の状態に戻ります。
- ❼、❽、または ❾ で数値を入力すると、それぞれその数値の針数、ぬい順の糸色、ぬい順の枠パーツまで進み／戻ります。

- 刺しゅうデータを選択してからステッチシミュレーターを操作すると、選択した刺しゅうデータのみシミュレーションできます。
- リアル表示で表示されているときは、**[自動スクロール]** チェックボックスは利用できません。

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

1 **[表示]** タブをクリックします。

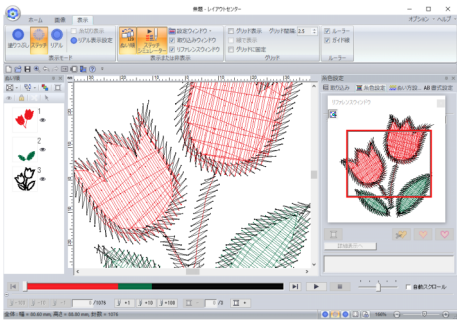
2 **[表示または非表示]** グループの **[リファレンスウィンドウ]** チェックボックスをチェックします。

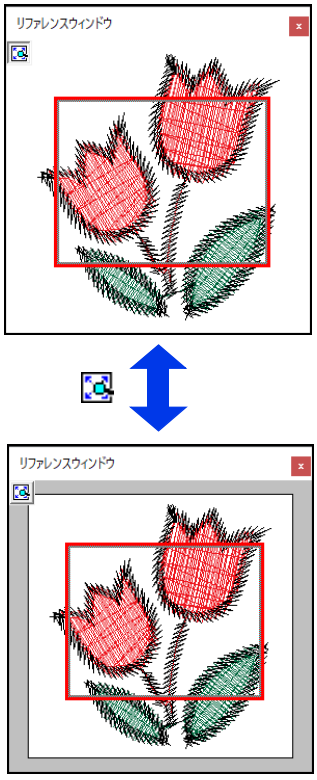


現在画面に表示されているデザインページの領域を、赤い枠（表示領域枠）で示しています。

■ズームツールを使う

リファレンスウィンドウは、デザインページ全体を表示するか、刺しゅうデータ全体を表示領域サイズに合わせて表示するか、切り替えることができます。

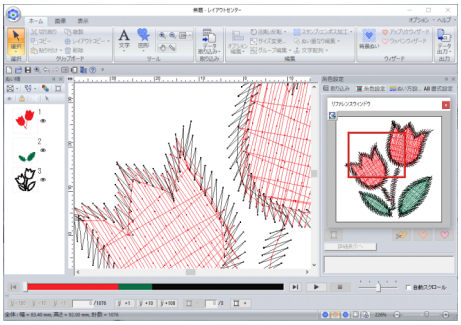


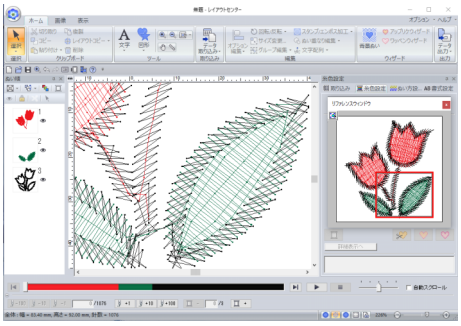


① オン
② オフ

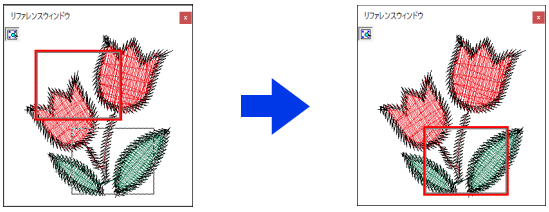
■表示領域枠を移動する／大きさを変更する／描き直す

表示領域枠をドラッグして移動したり大きさを変更して、画面に表示するデザインページの領域を指定できます。



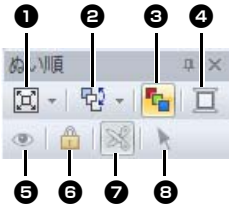


リファレンスウィンドウ上でドラッグして表示領域枠を描き、画面に表示するデザインページの領域を指定できます。



表示領域枠を使用して、拡大表示するリファレンスウィンドウの領域を選択できます。

ぬい順を確認／変更する



❶ **[ぬい順]** ウィンドウでのデータの表示方法を選択します。

❷ 任意のコマンドを選択してぬい順を変更します。

❸ **ぬい順の最適化**
クリックすると、同じ糸色のデータが一緒にぬわれるようにぬい順が調整されます。

❹ **糸色**
選択されたオブジェクトの色を設定します。

❺ デザインページ上でのデータの表示／非表示を切り替えます。

❻ **ロック**
クリックすると、選択されたデータがロックされて編集できなくなります。

❼ **渡り糸切り設定**
渡り糸切り設定のオン／オフを設定できます。

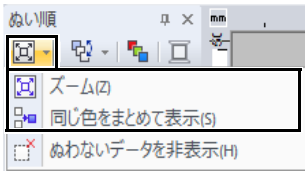
❽ **パターン選択**
デザインページ上で刺しゅうデータを選択します。

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示または非表示]** グループの **[ぬい順]** をクリックします。
ボタンをクリックすると、ぬい順の表示と非表示が切り替わります。



3 **[ぬい順]** ウィンドウで をクリックし、**[ズーム]** および **[同じ色をまとめて表示]** をクリックします。

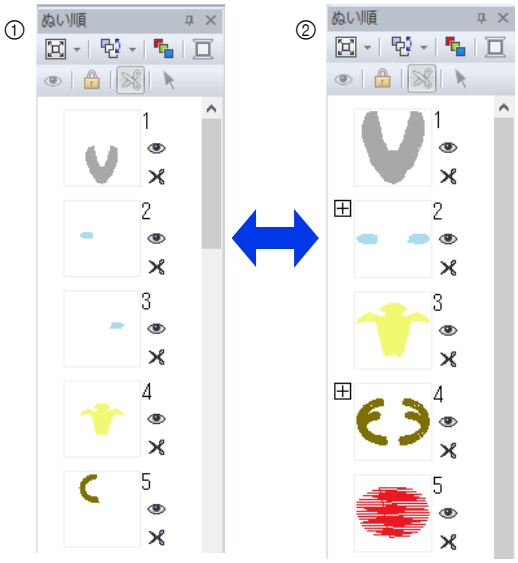


ズーム

クリックすると、それぞれの模様がコマいっぱいに拡大表示されます。

同じ色をまとめて表示

クリックすると、連続する同色の模様が組み合わされて 1 つのコマに表示されます。



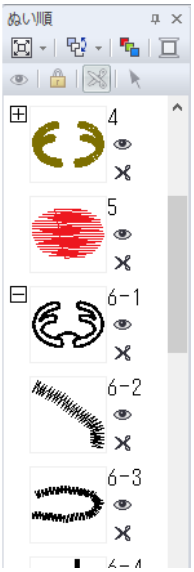
① オフ
② オン

同色の複数の模様を組み合わせて表示しているコマは、コマの左横に ⊞ が表示されます。

⊞ をクリックすると、模様ごとのコマが表示されます。

⊟ は、連続する同色の模様のうち、一番最初にぬわれる模様のコマの左横に表示されます。

⊟ をクリックすると、連続する同色の模様が組み合わされて表示されます。

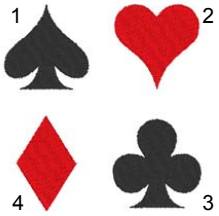


■ぬい順を最適化する

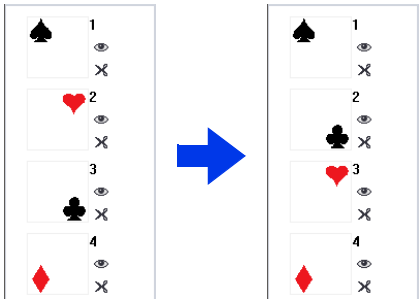
ぬい順とぬい始終点が自動的に調整され、糸色を変更する回数と、渡り糸を減らせます。

 をクリックすると、ぬい順が最適化されます。

右記のパターン（数字はぬい順を示します）の場合、ぬい順は以下のように調整されます。





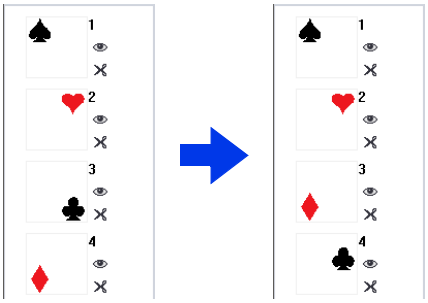


ぬい順は、同じ色のデータが最適化された順でまとめられるように調整されます。

また、前のデータのぬいの終点と次のデータのぬいの始点が最も近くなるように同じ色のデータが最適化されます。

ただし、重なったデータはそのデータの、最適なぬい順で配置されます。





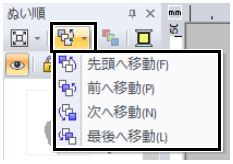
- ロックされたコマおよび、非表示のコマのデータも最適化されます。
- 大型枠（100×172mm、130×300mm）のぬい順は最適化されません。

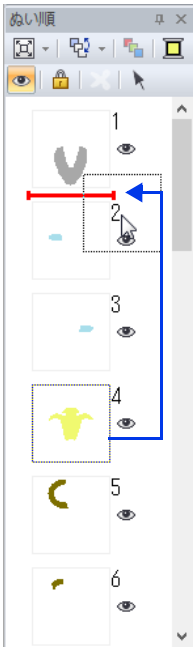
▶▶ P. 46 の「ぬい順を最適化する（カラーソート）」

■ぬい順を変更する

ぬい順を変更するときは、コマを選択し、新しいぬい順の位置までドラッグします。ドラッグ中は赤い線が表示され、コマの移動先を示します。

コマは、**[ぬい順]** ウィンドウで をクリックしてから、表示されたメニューで任意のコマンドをクリックして移動することもできます。





先頭へ移動
ぬい順を先頭に移動します。

前へ移動
ぬい順を 1 つ前に移動します。

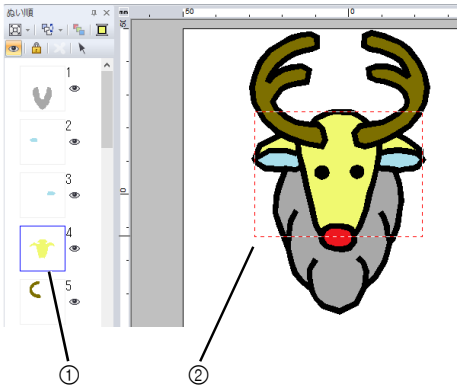
次へ移動
ぬい順を 1 つ後に移動します。

最後へ移動
ぬい順を最後に移動します。

ぬい順を変更したときは、変更後に刺しゅうデータの重なっている模様が正しいぬい順になっているか確認してください。

■刺しゅうデータを選択する

1 **[ぬい順]** ウィンドウのコマをクリックします。



① 青枠
② 動く点線

複数のコマを選択するときは、< **Shift** >または< **Ctrl** >キーを押しながら各コマをクリックします。また、複数のコマを囲むようにドラッグして選択することもできます。

2 **[ぬい順]** ウィンドウにある をクリックすると、**[ぬい順]** ウィンドウで選択したコマに対応するデザインページ上の刺しゅうデータを選択できます。**[ぬい順]** ウィンドウのコマをダブルクリックしても選択できます。

■糸色を変更する

1 **[ぬい順]** ウィンドウで 1 つまたは複数のコマを選択し、**[ぬい順]** ウィンドウにある  をクリックします。

→ 糸色設定ウィンドウが表示されます。

2 **[糸色設定]** ウィンドウで、設定したい糸色をクリックします。



▶▶ P. 54 の「糸色設定ウィンドウ」

■ぬい方設定を変更する

1 **[ぬい順]** ウィンドウで、ステッチデータ以外の 1 つ以上のコマを選択します。

→ 選択されたコマのぬい方セレクターが表示されます。

2 **[ぬい方設定]** タブをクリックします。

[ぬい方設定] ウィンドウが表示されていないときは、**[表示]** タブ→ **[設定ウィンドウ]** → **[ぬい方設定]** をクリックします。

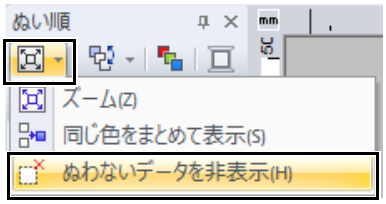
3 ぬい方の種類や設定を変更します。

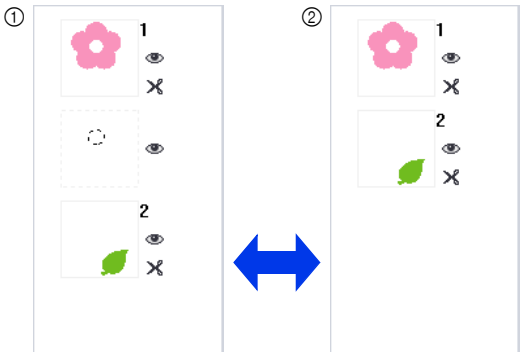
▶▶ *「線のぬい方」*、P. 57 の「面のぬい方」、P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

■ぬわないコマを表示／非表示にする

ぬわないデータを含むコマを表示または非表示にできます。

 → **[ぬわないデータを非表示]** を順にクリックします。





① オフ
② オン

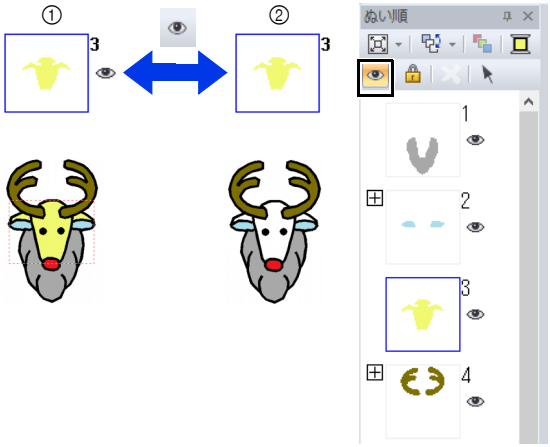
標準設定では、ぬわないデータを含むコマは非表示になります。

ぬわないデータを含むコマが表示されている場合、そのコマを選択して、そのデータを編集することができます。

■刺しゅうデータを非表示にする

刺しゅうデータをデザインページで表示または非表示にできます。編集しないデータを非表示にすると、重なった刺しゅうデータを簡単に編集できます。

コマを選択し、をクリックします。



① オン
② オフ

- が表示されているコマは、同色の複数の模様を組み合わせて作られています。表示すると、すべての模様が表示されます。
- は、が表示されているコマの各模様の表示設定が同一でない場合に表示されます。
- 面部と線部がある刺しゅうデータは、面と線のどちらか一方が表示されると、その刺しゅうデータは表示されます。

■刺しゅうデータをロックする

移動したり、削除したくない刺しゅうデータをロックすることができます。ロックされた刺しゅうデータはデザインページで選択や編集はできません。

コマを選択し、をクリックします。

- が表示されているコマは、同色の複数の模様を組み合わせて作られています。ロックをすると、すべての模様がロックされます。
- は、が表示されているコマの各模様のロック設定が同一でない場合に表示されます。
- 面部と線部がある刺しゅうデータは、面と線のどちらか一方がロックされると、すべてのデータがロックされます。
- グループ化、円弧配列、ドーナツぬい設定など、組み合わせ設定がされている刺しゅうデータは、そのうちの 1 つのデータがロックされるとすべてのデータがロックされます。

渡り糸での糸切りを設定する

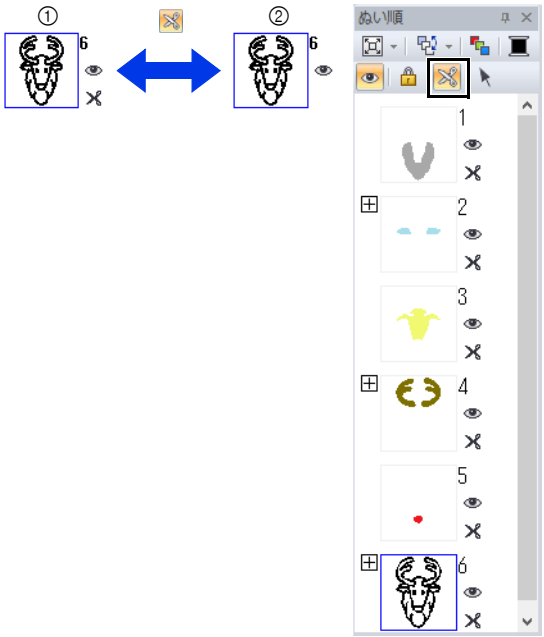
渡り糸切り設定設定のオン／オフを設定できます。

この設定は、ブラザー製多針ミシンで縫製する場合にのみ適用されます。設定前に、**[デザイン設定]** ダイアログボックスの **[ミシンの種類]** を に設定してください。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

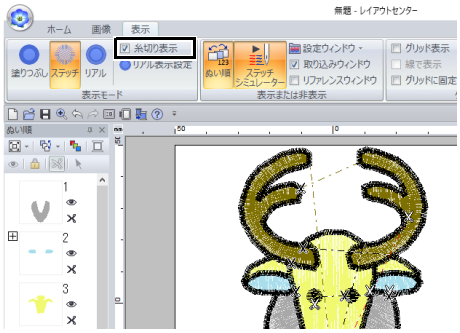
[ぬい順] ウィンドウの渡り糸切り設定ボタン（ ）が有効になります。

コマを選択し、 をクリックします。



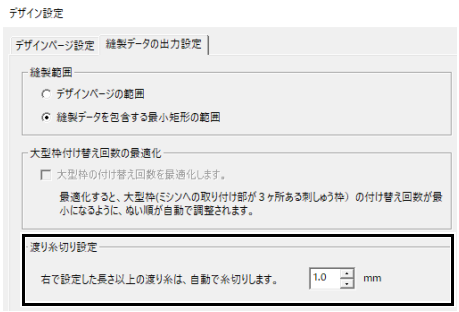
① オン
② オフ

- は、 が表示されているコマの各模様の渡り糸切り設定が同一でない場合に表示されます。
- **[渡り糸切り設定]** をオフにしても、色替え前では自動的に糸切りは行われます。
- **[表示]** タブをクリックし、**[表示モード]** グループで **[糸切り表示]** チェックボックスをチェックします。デザインページ上で糸切りされる位置を確認できます。



渡り糸切り設定について

- **[デザイン設定]** ダイアログボックスの **[縫製データの出力設定]** タブで、糸切りせずに残す渡り糸の長さを指定できます。（ → **[デザイン設定]** を順にクリックすると表示できます。）



- 渡り糸の長さが設定値よりも短いときは、**[渡り糸切り設定]** をオンにされていても糸切りせず、渡り糸を残します。
- **[渡り糸切り設定]** が使用できるかどうかは、選択されているミシンの機種によって異なります。詳しい使い方は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

新しく作成する刺しゅうデータについて渡り糸切り設定をオンにするかオフにするかを設定できます。
リボン上部の［オプション］→［オプション］をクリックして、［オプション］ダイアログボックスを開きます。［渡り糸切り設定］→［新規入力データの渡り糸切り設定を有効にします。］チェックボックスをクリックして、チェックを入れる、または外します。



▶▶ P. 363 の「新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする」

▶▶ P. 18 の「渡り糸切り設定」、P. 358 の「レイアウトセンターで設定した設定に従ってミシンで糸切りをするには」、P. 363 の「新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする」

刺しゅうデータ情報を確認する

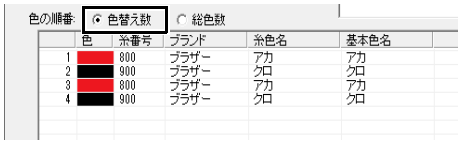
→［デザインプロパティ］をクリックします。



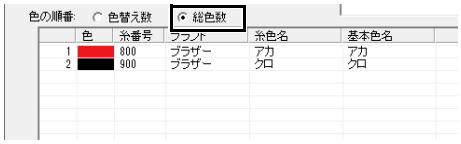


.pes ファイルで保存された刺しゅうデータについての説明や情報を入力できます。

- 色リストに表示される情報を切り替えることが可能です。
  - ♦ **色替え数**
    各色替えの糸色の情報が表示されます。これによって、糸色替えの総数をチェックできます。

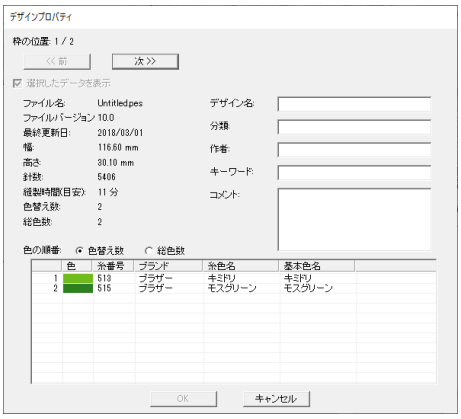


  - ♦ **総色数**
    必要な糸の糸色の情報が表示されます。糸色の総数をチェックできます。



- ブラザー刺しゅう糸を選んだ場合、［糸色名］と［基本色名］は同じ色名が表記されます。ブラザー刺しゅう糸以外のブランドの刺しゅう糸を選択した場合、［基本色名］は対応するブラザーの基本 61 色の色名が表示されます。

- 刺しゅうデータを選択して**［デザインプロパティ］**ダイアログボックスを表示すると、選択した刺しゅうデータのプロパティを確認できます。この場合、**［選択したデータを表示］**チェックボックスのチェックを外すと、デザインページのすべての刺しゅうデータの情報に切り替わります。
- デザインページのサイズに**［カスタムサイズ］**、または**［枠サイズ］**に大型枠（100 × 172 mm、130 × 300 mm）またはジャンボ枠（360×360mm）が設定されている場合、**［デザインプロパティ］**ダイアログボックスには、デザインページの刺しゅうデータの情報が刺しゅう枠ごとに表示されます。



- 入力した情報に基づいて、デザインデータベースでファイルを検索できます。

刺しゅうデータを開く／取り込む

新規デザインページを作る

→［新規作成］の順にクリックします。



デザインページのサイズは変更できます。

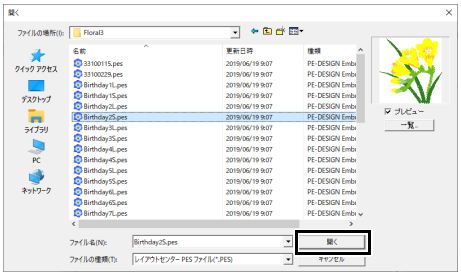
▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

レイアウトセンターファイルを開く

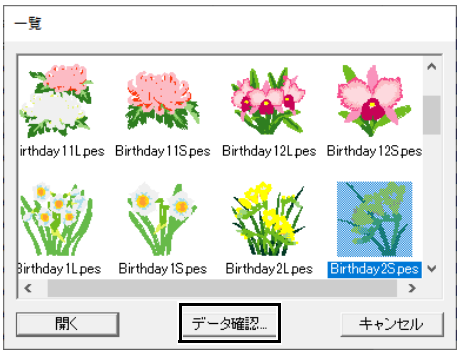
1 → ［開く］の順にクリックします。



2 フォルダー、ファイルを選択し、［開く］をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。



- ［一覧］をクリックすると、［一覧］ダイアログボックスで表示中のフォルダー内の刺しゅうデータをアイコンで確認できます。



刺しゅうデータを選択して［データ確認］をクリックすると、拡大表示で確認できます。



- 表示されているファイルを開くときは、［開く］をクリックします。
- ファイルが表示されていないときは、選択中のフォルダーに .pes ファイルがありません。.pes ファイルがあるフォルダーを選択してください。
- .pes ファイル以外のファイルを選択すると、［プレビュー］領域に「予期しないファイル形式です。」と表示されます。
- 次の方法でもファイルを開くことができます。
  - ♦ エクスプローラーからレイアウトセンターのウィンドウへ刺しゅうファイルをドラッグする
  - ♦ エクスプローラーの刺しゅうファイルをダブルクリックする
  - ♦ デザインデータベースの刺しゅうファイルをダブルクリックする

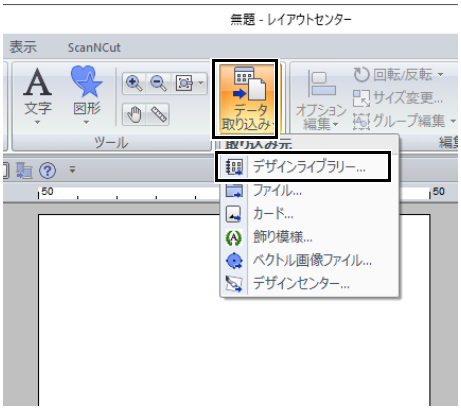
刺しゅうデータを取り込む

刺しゅうデータは［取り込み］ウィンドウから取り込むことができます。［取り込み］ウィンドウについて詳しくは、P. 15 の「刺しゅうデータの取り込み方」を参照してください。

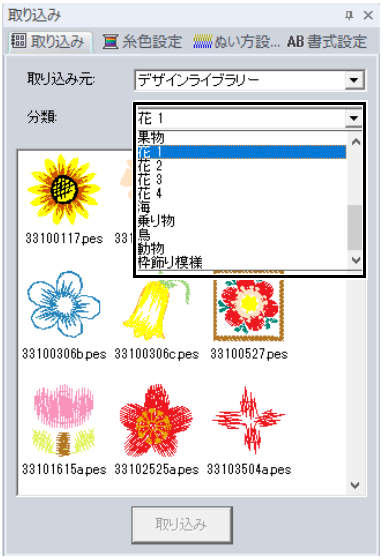
■デザインライブラリーから

1 ［ホーム］タブをクリックします。

2 ［取り込み］グループで［データ 取り込み］をクリックした後、［デザインライブラリー］をクリックします。



3 ［分類］セレクターからカテゴリーを選択して、目的の刺しゅうデータを表示します。

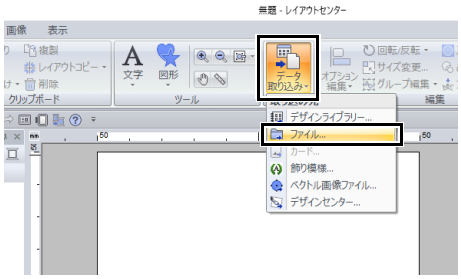


4 ファイルアイコンを選択して［取り込み］をクリックします。

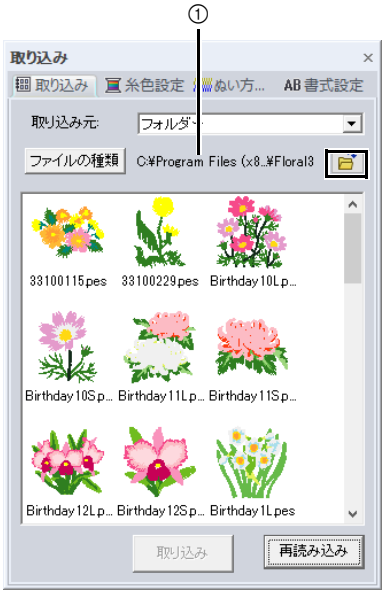
■フォルダーから

1 ［ホーム］タブをクリックします。

2 ［取り込み］グループで［データ 取り込み］をクリックした後、［ファイル］をクリックします。

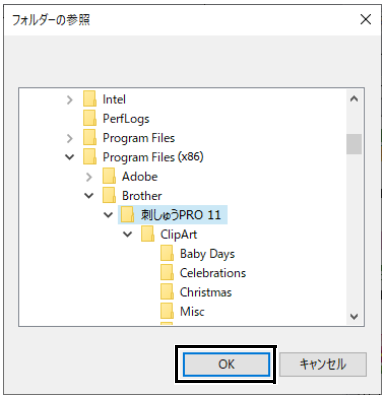


3 をクリックします。

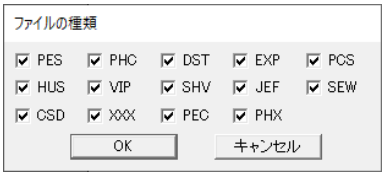


① 表示中のフォルダーの階層を示しています。

4 フォルダーを選択し、**[OK]** をクリックします。



5 **[取り込み]** ウィンドウで **[ファイルの種類]** をクリックします。対応する刺しゅうデータのファイル名の拡張子を選択し、**[OK]** をクリックします。



6 ファイルアイコンを選択して **[取り込み]** をクリックします。

他社の市販データから刺しゅうデータを取り込むときは、サイズがデザインページに合っているかを確認してください。

- .dst ファイルは糸色情報を持っていないため、取り込んだ .dst ファイルは予期しない色になることがあります。**[ぬい順]** ウィンドウでステッチデータを選択するか、**< Alt >**キーを押しながらステッチデータを選択すると、糸色を変更できます。

▶▶ P. 81 の「ステッチデータを糸色ごとに選択する」

- .dst ファイルを取り込むとき、糸切りするジャンプ回数を設定できます。

▶▶ P. 362 の「DST 形式の刺しゅうデータのジャンプ回数を設定する」

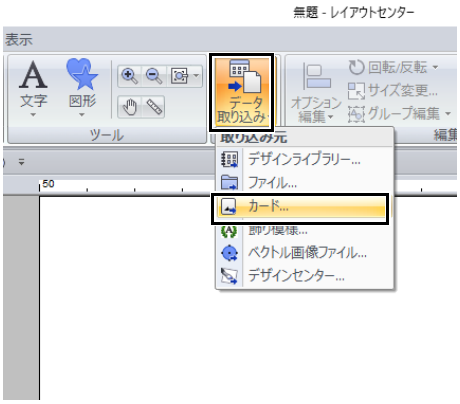
■刺しゅうカードから

1 刺しゅうカードをカードライターに挿入します。

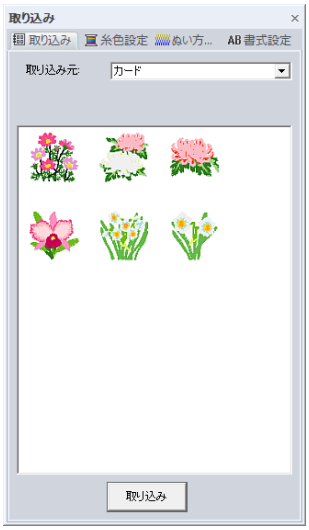
▶▶ P. 217 の「オリジナルカードを使って転送する」を参照してください。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[取り込み]** グループで **[データ 取り込み]** をクリックした後、**[カード]** をクリックします。



→ 読み込みが完了すると、刺しゅうカード内の刺しゅうデータが表示されます。



4 ファイルアイコンを選択して **[取り込み]** をクリックします。

著作権上、この機能が使えない刺しゅうカードがあります。

■無線 LAN に接続したミシンから

無線 LAN に接続したミシンから刺しゅうデザインを取り込むことができます。

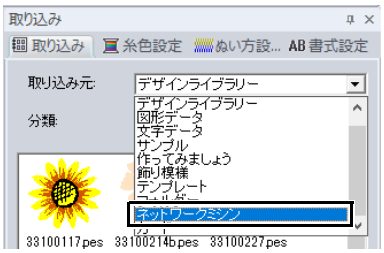
この機能は、無線 LAN 対応のミシンで刺しゅうする場合にのみ使用できます。
無線 LAN 対応モデルの詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

1 ミシンをアプリケーションに登録します。

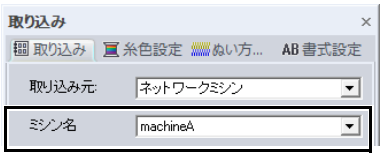
▶▶ P. 216 の「ミシンをアプリケーションに登録する」

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[取り込み]** ウインドウの **[取り込み元]** セレクターから、**[ネットワークミシン]** を選択します。



→ **[ミシン名]** ボックスに、アプリケーションに登録されているミシンの名前が表示されます。



4 ファイルのアイコンを選択し、**[取り込み]** をクリックします。

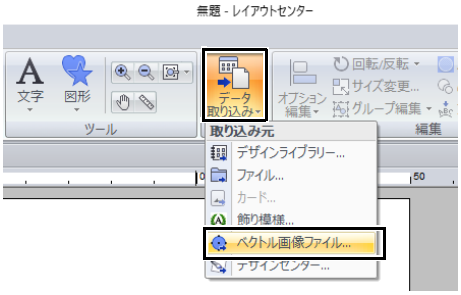


ベクトル画像（WMF／EMF／SVG）を刺しゅうデータに変換する

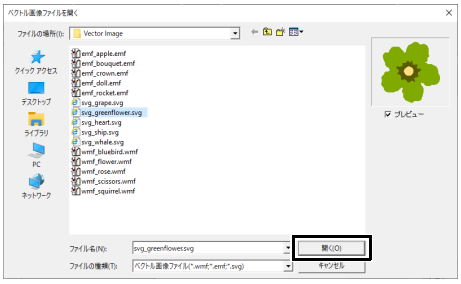
.wmf（Windows メタファイル）、.emf（Enhanced Metafile）、.svg（Scalable Vector Graphics）ファイル形式のベクトル画像データを図形データに変換できます。

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

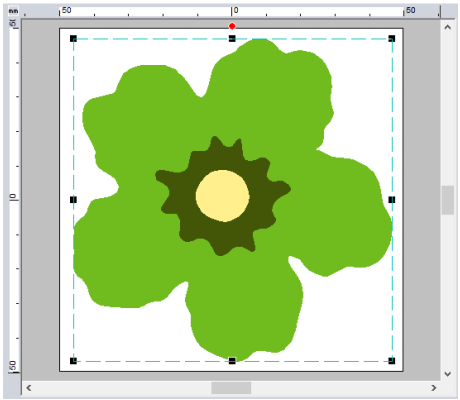
2 **[取り込み]** グループで **[データ 取り込み]** をクリックした後、**[ベクトル画像ファイル]** をクリックします。



3 フォルダー、ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。



→ 画像がステッチデータに変換されて、デザインページに表示されます。



- 画像、文字、線の幅、グラデーション、不透過率、グラフィックなどのスタイルや設定は取り込まれません。.emf および .svg 形式のファイルの場合、曲線を保持したデータに変換されます。
- レイヤーの表示／非表示に関わらず、すべての SVG ファイルデータが、刺しゅうデータに変換されます。

■画像編集アプリケーションで描かれたベクトル画像を使用して刺しゅうデータを作成する

市販のアプリケーション（.ai（Adobe® Illustrator Artwork）、.cdr（CorelDRAW®）など）で作成されたベクトル画像ファイルは、.svg ファイル形式に変換して取り込めます。

アプリケーションを使用してベクトル画像ファイルを WMF、EMF、または SVG ファイルに変換し、「ベクトル画像（WMF／EMF／SVG）を刺しゅうデータに変換する」に示す手順に従って刺しゅう PRO に取り込みます。

ラスター画像ファイル（.bmp、.jpg など）は刺しゅう PRO で下絵として使用するか、ステッチデータに変換ウィザードを使用して刺しゅうデータに変換できます。

▶▶ P. 142 の「ステッチウィザード：画像を刺しゅうデータに自動変換する」

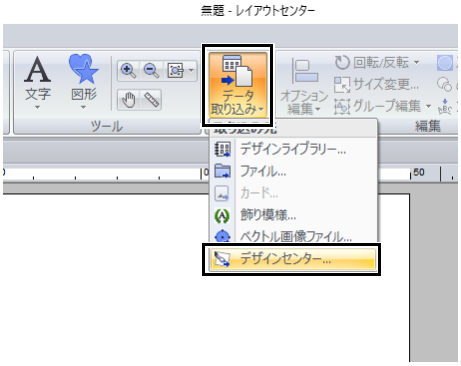
デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む

1 デザインセンターを起動し、ファイルを開きます。

▶▶ P. 242 の「原画ステージ」と P. 253 の「ファイルを開く」

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[取り込み]** グループで **[データ 取り込み]** をクリックした後、**[デザインセンター ...]** をクリックします。



4 **[取り込み]**、**[取り込み倍率]**、**[方向]** を指定して、**[取り込み]** をクリックします。



取り込み

ステッチデータとして取り込む：
ステッチデータとして、デザインセンターで作成された刺しゅうデータを取り込みます。

図形データとして取り込む：
図形データとして、デザインセンターで作成された刺しゅうデータを取り込みます。このデータは、レイアウトセンターで作成した図形データと同様に編集できます。

デザインページのサイズより大きなサイズになる取り込み倍率は、指定できません。

保存／印刷する

保存する

■上書き保存する

→［上書き保存］の順にクリックします。



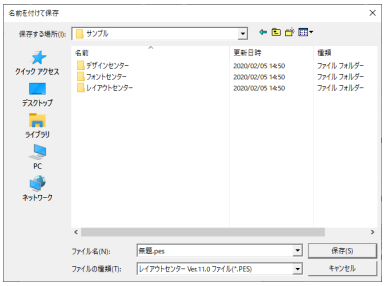
データがまだ名前を付けて保存されていないときや、元のファイルが見つからないときは、**［名前を付けて保存］**ダイアログボックスが表示されます。

■新しい名前をつけて保存する

1 → **［名前を付けて保存］**の順にクリックします。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pes ファイルを旧バージョンの刺しゅう PRO で開くことができます。ただし保存されたデータはすべてステッチデータに変換されます。

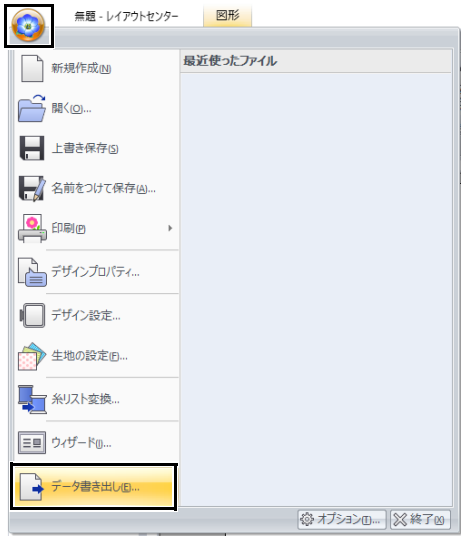
3 **［保存］**をクリックします。

→ レイアウトセンターウィンドウのタイトルバーに新しいファイル名が表示されます。

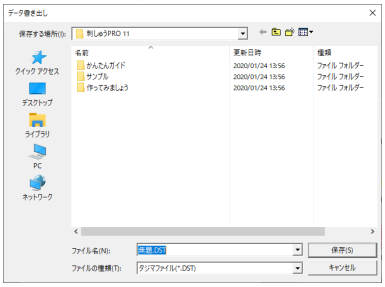
■刺しゅうデータを別の形式で出力する

デザインページに表示されているデータを、別のファイル形式（.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv）に変換して出力します。

1 → **［データ書き出し］**の順にクリックします。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



3 出力するファイル形式（.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv）を選択します。

.dst 形式で出力する場合、**[渡り糸での糸切りジャンプ数]** を指定できます。**[オプション]** ボタン→ **[オプション]** → **[DST 形式の設定]** をクリックして設定してください。

▶▶ P. 362 の「DST 形式の刺しゅうデータのジャンプ回数を設定する」

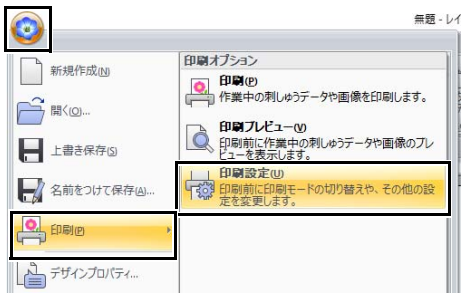
- 刺しゅうデータの針数が多い場合は、ファイルフォーマットによっては出力時にファイルが分割されます。
- 刺しゅうカードから読み込んだデータには、出力できないものがあります。
- 分割模様やジャンボ枠用、大型枠用の刺しゅうデータは、単一のファイルとして書き出され、枠パーツごとに分割されることはありません。

印刷する

■印刷の設定を変更する

刺しゅうデータを印刷する前に、印刷設定を変更する必要がある場合があります。

1 → **[印刷]** → **[印刷設定]** をクリックします。





❶ 用紙サイズと給紙方法を選択します。

❷ 印刷の向きを指定します。

❸ 刺しゅうデータを印刷するときは、**[刺しゅう印刷モード]** を選択します。

❹ **印刷サイズ**

原寸：

刺しゅうデータのイメージを 1 ページ目に実寸で印刷します。2 ページ目にぬい情報（刺しゅう寸法、刺しゅう色順、針数、刺しゅう枠の位置）が印刷されます。ファイル名は両方のページに印刷されます。

縮小：

このオプションを選択すると、上記のすべての情報とともに縮小された画像が 1 ページに印刷されます。

❺ **印刷オプション**

画像を一緒に印刷する：

刺しゅうデータと一緒に、デザインページに取り込まれている画像も印刷します。ただし、刺しゅうの印刷エリアから画像がはみ出しているときは、その部分は印刷されません。

縫製範囲と中心線を印刷する：

（**[原寸]** 印刷が選択されている場合にのみ設定できます。）

：デザインページの範囲（P. 18 の「縫製範囲を設定する」参照）とその中心軸を黒色で印刷します。

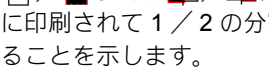
：上記に加え、中心軸の上に位置合わせマークを印刷します。

（デザインページを **[ジャンボ枠]** に設定している場合は、この設定は選択できません。）

グリッドを印刷する：

刺しゅう枠に添付の刺しゅうシートに印刷されているグリッドと同様のグリッド線を緑色で印刷します。（デザインページサイズのユーザー枠が、**[帽子枠]**、**[シリンダー枠]**、**[ジャンボ枠]**、**[クランプ枠]**、または **[丸枠]** に設定されている場合、この設定は選択できません。）

先頭ページにパーツの境界線を印刷する：
デザインページがカスタムサイズまたは**［ジャンボ枠］**に設定されたデザイン部分を印刷します。パーツの境界線が赤色で印刷されます。

用紙より大きいデザインを 2 ページに分割印刷する：
用紙サイズより大きい刺しゅうデータを実寸で印刷する場合、A4 またはレターサイズの用紙に半分ずつ印刷されます。
（**［印刷設定］**ダイアログボックスで**［原寸］**印刷が選択されており、デザインページが用紙より大きな枠サイズに設定されている場合にのみ設定できます。**［ユーザー枠］**に設定されている場合は設定できません。）

が用紙の右下に印刷されて 1 ／ 2 の分割印刷であることを示します。

色替え数を表示する：
データの糸色替え情報が印刷されます。
このチェックボックスを外した場合、必要な糸の情報が印刷されます。これによって、糸色の総数をチェックできます。

❻ **印刷イメージ**

ステッチ表示：
刺しゅうデータがステッチ表示のイメージで印刷されます。

リアル表示：
刺しゅうデータがリアル表示のイメージで印刷されます。リアル表示設定を変更するには、**［設定］**をクリックします。

▶▶ P. 89 の「リアル表示設定を変更する」

［用紙より大きいデザインを 2 ページに分割印刷する］チェックボックスをチェックしないで印刷すると、分割印刷はされません。刺しゅうの実寸より小さい用紙を指定していると、はみ出た部分は印刷されません。

❼ 取り込んだ画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する場合や、位置合わせシートを印刷する場合に、**［画像印刷モード］**を選択し、**［素材］**を設定します。

❽ **素材**

画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する：
背景画像をアイロンプリント紙や印刷できる布に印刷します。画像のみが印刷されます。

左右反転して印刷する：
画像を左右反転して印刷します。アイロンプリント紙に印刷する場合、通常は左右反転して印刷する必要があります。（詳細はお使いのアイロンプリント紙の説明書を参照してください。）お使いになるプリンターに左右反転の機能がない場合に選択します。（詳細はお使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。）

画像と刺しゅうの位置合わせシートを紙に印刷する：
画像と刺しゅうの位置を合わせるためのシートを印刷します。画像の上に位置合わせマークと刺しゅうの範囲を示す基準線が印刷されます。

❾ **画像位置の変更**

用紙に対する画像の印刷位置を変更できます。（用紙の画像印刷領域から画像がはみ出ているときは、その部分は印刷されません。）**［画像位置の変更］**ボタンをクリックすると、**［画像の印刷位置の設定］**ダイアログボックスが表示され、画像をドラッグして用紙に対する画像の印刷位置を調整できます。

❿ **位置合わせシート印刷モード**
分割模様用の位置合わせシートを印刷するときに選択します。

▶▶ P. 195 の「位置合わせシートを印刷する」

2 **[OK]** をクリックします。

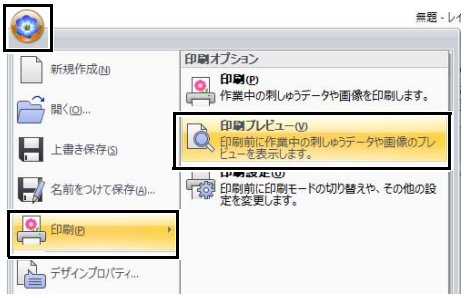
▶▶ P. 88 の「刺しゅうデータの表示モードを切り替える」

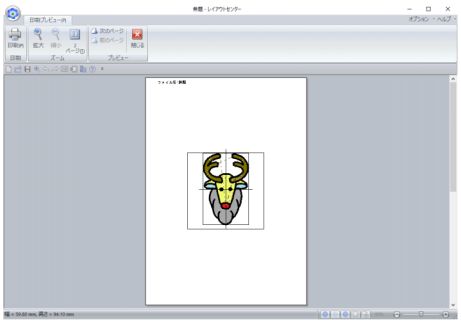
ジャンボ枠の刺しゅうデータを使用する場合
ジャンボ枠の刺しゅうデータの領域 2 のデータが、実際の刺しゅうの方向（180 度回転）で印刷されます。

■印刷イメージを確認する

印刷前に印刷イメージを確認できます。

→ **[印刷]** → **[印刷プレビュー]** をクリックします。



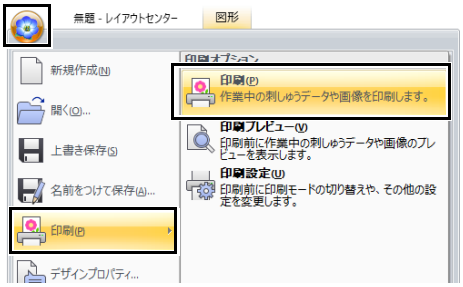


印刷プレビューは、**[印刷設定]** ダイアログボックスの **[印刷プレビュー]** をクリックしても表示できます。

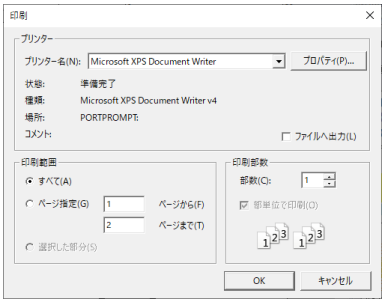
■ぬい情報とデザインページを印刷する

デザインページとぬい情報を印刷します。

1 → **[印刷]** → **[印刷]** をクリックします。



2 必要に応じて、設定を変更します。



3 **[OK]** をクリックして、印刷します。

4 プリンターの指示に従って、印刷を終了します。

文字を使った刺しゅうデータを作る

文字の入力方法やいろいろなアレンジのしかたについて説明します。また、文字を差し替えて作成する刺しゅうデータの作り方も説明します。

レイアウトセンターでは、いろいろな文字の刺しゅうデータを作成できます。

フォントの種類は、次のとおりです。

内蔵フォント：130 種類の欧文フォントと 4 種類の日本語フォントが内蔵されています。（そのうち、10 種類の欧文フォントと 2 種類の日本語フォントはミニサイズ文字専用フォントです。）

TrueType フォント：お使いのパソコンにインストールされている TrueType フォントの刺しゅうデータを作成できます。

ミニサイズ文字フォント：文字サイズが 3mm ～ 6mm の小さい文字です。小さくても、つぶれることなくきれいな文字にぬい上がります。

モノグラム文字フォント：モノグラム文字専用フォント、内蔵フォント、TrueType フォントと飾り模様を自由に組み合わせて、モノグラムをデザインできます。

オリジナルフォント：フォントクリエイターで作ったオリジナルデザインのフォントを使って、刺しゅうデータを作成できます。

ユーザー登録フォント：フォントクリエイターで、刺しゅうデータをフォントとして登録することができます。
登録済みの刺しゅうデータは、文字データと同じ方法で編集できます。

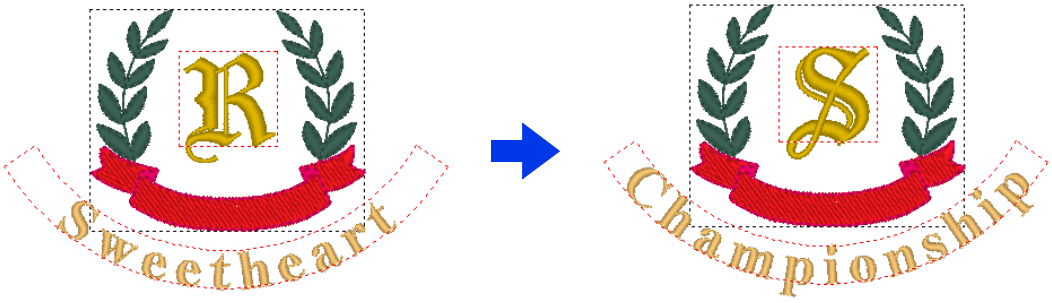
さらに、次のアレンジも追加できます。

文字配列：文字を円や四角形などの図形データに組み合わせて、いろいろな配列ができます。

文字変形：26 種類の変形パターンを文字に適用できます。

作ってみましょう 2 : テンプレートを使う

[テンプレートウィザードの起動] を使って、あらかじめ用意されたテンプレートの文字を差し替えて、お好みの刺しゅうデータを簡単に作ることができます。手順に従って、作ってみましょう。



ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _2 にあります。

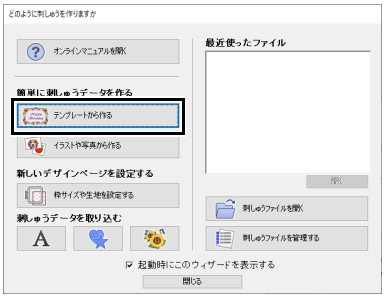
ステップ 1	テンプレートウィザードを起動する
ステップ 2	使用するテンプレートを選択する
ステップ 3	文字列を編集する
ステップ 4	編集したテンプレートをミシンへ転送する

ステップ 1 テンプレートウィザードを起動する

レイアウトセンターを起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。

1 USB メモリーをパソコンに接続します。

2 **[テンプレートから作る]** をクリックします。



ステップ 2 使用するテンプレートを選択する

1 分類 **[シャツ _ 胸]** から **[shirtsCH11B.pes]** を選択し、**[次へ]** をクリックします。



[取り込み] ウィンドウの **[取り込み元]** セレクターで **[テンプレート]** が選択されている場合、さまざまなテンプレートが使用できます。
分類 **[シャツ _ 胸]** から **[shirtsCH11B.pes]** を選択し、**[テンプレートウィザードの起動]** をクリックしてテンプレートウィザードの起動を開きます。



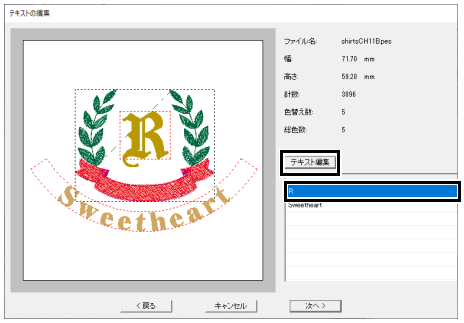
ステップ 3 文字列を編集する



❶ 文字リスト : ここで文字列を編集します。
❷ プレビューウィンドウ : 文字の編集結果を確認できます。
❸ テンプレートの刺しゅう情報

1 テキスト編集ボックスで、変更する「R」をクリックし、**[テキスト編集]** をクリックします。

→ 文字列がハイライトされます。



2 「S」と入力し、**< Enter >**キーを押します。

→ 編集結果がプレビューウィンドウに表示されます。
2 行目の文字「Sweetheart」がハイライトされます。



3 「Championship」と入力し、**< Enter >**キーを押します。

4 **[次へ]** をクリックします。



ステップ 4 編集したテンプレートをミシンへ転送する



❶ **デザインページで編集**
編集中のテンプレートをデザインページへ取り込みます。テンプレートをデザインページで編集／保存できるようになります。

❷ **出力先セレクター**
出力先を選択します。

❸ **送る**
テンプレートを出力します。

❹ **別の模様を作成する**
テンプレートを選択する画面に戻ります。別のテンプレートを編集できます。

1 **[出力先]** セレクターで、使用する USB メモリーを選択し、**[送る]** をクリックします。



2 引き続き、別のテンプレートを編集する場合は、**[別の模様を作成する]** をクリックします。ステップ 2 のダイアログボックスが表示されます。

テンプレートウィザードの起動を終了する場合は、**[キャンセル]** をクリックします。

■編集したテンプレートをミシンへ転送する

USB メモリー、ミシン、カードライター、または Link を出力先として選択できます。

1 転送方法に応じて、USB メモリー、オリジナルカードを用意します。または、ミシンと接続します。

2 **[出力先]** セレクターから出力先を選択し、**[送る]** をクリックします。



- お使いのミシンへの転送方法に応じて、出力先を選択してください。
- 出力先が見つからない場合、**[送る]** ボタンはグレーアウトされ使用できません。

▶▶ P. 214 の「刺しゅうデータをミシンへ転送する」と P. 219 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

テンプレート機能の詳細設定

デザインを新しいテンプレートとして保存する

作成したデザインを、テンプレートとして利用できます。

1 文字列を含む刺しゅうデータを作成します。

2 **［名前差替え］**設定を文字に適用します。

▶▶ P. 136 の「作ってみましょう 5 : 名前差替えデータを作る」と P. 139 の「名前差替え機能（文字列を差し替える）」

3 → **［名前をつけて保存］**の順にクリックします。



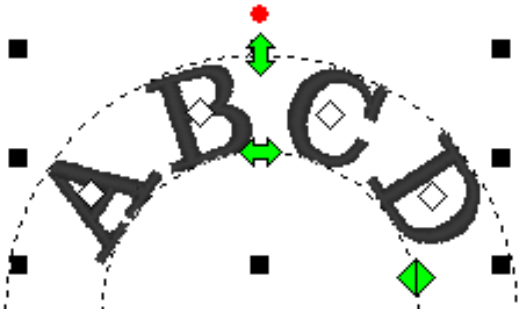
4 次の Sample フォルダーを選択します。

刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files （Program Files (x86)）￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥Library￥Template Library￥Sample**

ファイル名を入力して、**［保存］**をクリックします。

作ってみましょう 3 : 文字を入力する

ここでは、変形した文字データを取り込み、文字を編集する手順について説明します。



ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _3 にあります。

ステップ 1	変形した文字データを取り込む
ステップ 2	文字を編集する

ステップ 1 変形した文字データを取り込む

[取り込み] ウィンドウから文字データを取り込みます。

1 **[取り込み]** ウィンドウを表示します。

2 **[取り込み元]** から **[文字データ]** を選び、**[分類]** から **[文字変形]** を選びます。**[TT_001.pes]** を選択して **[取り込み]** をクリックします。



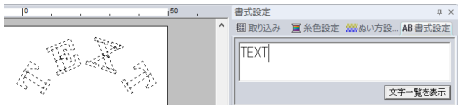
[取り込み元] セレクターから **[文字データ]** を選択すると、サンプルの内蔵フォントデータが **[取り込み]** ウィンドウで使用できるようになります。

ステップ 2 文字を編集する

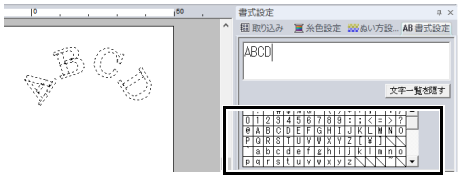
1 取り込まれた文字データを選択し、**[書式設定]** タブをクリックします。

2 文字入力領域をクリックします。

→ 文字データは点線として表示され、カーソルが文字の末尾に表示されます。



3 **< BackSpace >** キーを押して文字を削除し、文字一覧の文字をクリックして文字を入力します。最後に、**< Enter >** キーを押して適用します。



その他の文字の編集方法について詳しくは、以下を参照してください。

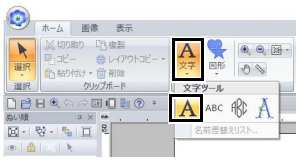
▶▶ P. 118 の「文字を編集する」

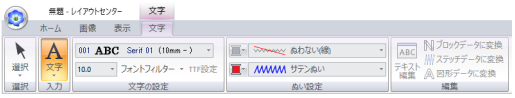
文字データを作成／編集する

文字を入力する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで **[文字]** をクリックした後、A をクリックします。

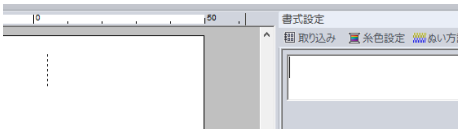




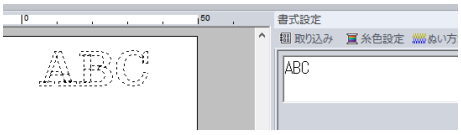
3 必要に応じて、フォント、サイズ、糸色、ぬい方の種類を変更します。

▶▶ P. 118 の「文字属性を指定する」と P. 128 の「文字データの刺しゅう属性について」

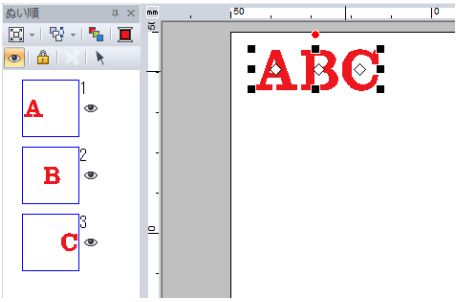
4 デザインページをクリックします。



5 文字を入力します。



6 **< Enter >**を押すか、デザインページ上をクリックします。



- **< Ctrl >**キーを押しながら**< Enter >**キーを押すと、改行します。
- 文字一覧をクリックしても入力できます。楷書、行書は、文字一覧が表示されません。キーボードから直接入力してください。



- **[文字一覧を隠す]** をクリックすると文字一覧が非表示になります。文字一覧が非表示になっている場合、**[文字一覧を表示]** をクリックすると表示されます。

入力した文字が選択されているフォントになかったり、刺しゅうデータに変換できない場合は、デザインページ上で、「□」と表示されます。この場合は、文字を入力し直してください。

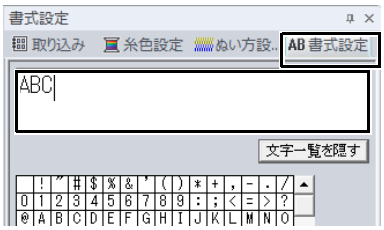
文字を編集する

文字編集モードのいずれかに切り替え、文字の末尾に表示されるカーソルを使用し、文字を入力します。

■書式設定タブを使用する

1 文字データを選択します。

2 **[書式設定]** タブをクリックし、文字入力領域をクリックします。



■テキスト編集ツールを使用する

1 文字データを選択します。

2 **[文字]** タブをクリックし、**[編集]** グループで **[テキスト編集]** をクリックします。



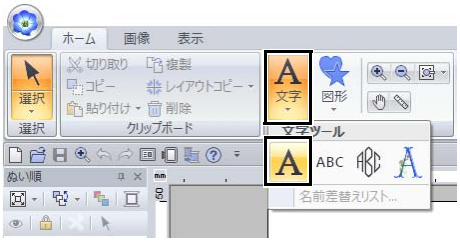
■キーボードを使用する

1 文字データを選択します。

2 キーボードで文字キーを押します。

■文字ツールを使用する

1 **[ホーム]** タブの **[ツール]** グループで **[文字]** をクリックし、A を選択します。



2 編集する文字データをクリックします。

文字属性を指定する

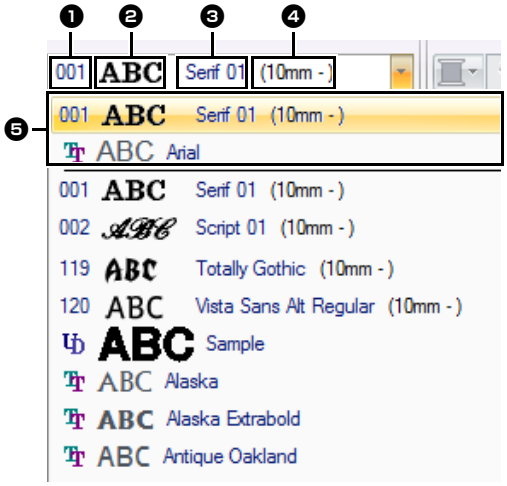
[文字] タブの **[フォント]** セレクターと **[文字サイズ]** セレクターで設定します。



文字データや文字ツールを選択すると、**[文字]** タブが表示されます。

■フォント

[フォント] セレクターをクリックし、フォントを選択します。



❶ **フォントの種類**
- 数字は内蔵フォントを示します。
- Ud オリジナルフォントを示します。
- TT TrueType フォントを示します。

❷ **フォントの見本**
文字データが 1 つだけ選択されているときは、その文字の文字データの文字列が表示されます。

❸ **フォント名**

❹ **推奨最小サイズ**

❺ **最近使用したフォント**

- オリジナルフォント

  フォントクリエイターで .pef ファイルを作り、刺しゅう PRO がインストールされているフォルダーの **[MyFont]** フォルダーに保存すると、フォントセレクターにオリジナルフォントとして表示されます。オリジナルフォントの左側には、UD アイコンが表示されます。

▶▶ P. 313 の「フォントクリエイター」

- TrueType フォント
  インストールされている TrueType フォントはオリジナルフォントの次に表示されます。
- TrueType フォントの詳細設定を、**[TrueType フォントの設定]** ダイアログボックスで変更できます。

▶▶ P. 121 の「TrueType フォントの属性を設定する」

- TrueType フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいに刺しゅうデータに変換できないもの、またぬい上がりがきれいにならないものがあります。実際にぬう前に、試しぬいを行ってください。
- また、TrueType フォントの中には、刺しゅうデータに変換できないものがあります。

■フォントフィルター

[フォント] セレクターに表示するフォントを選択できます。

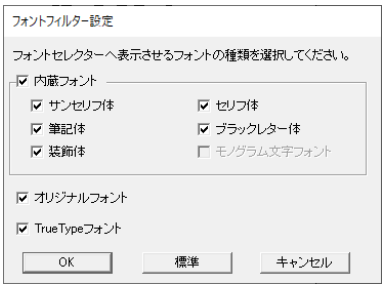
1 文字データまたはモノグラム文字データをクリックするか、**[文字]** ツールまたは **[モノグラム文字]** ツールを選択します。

2 **[文字]** タブをクリックします。

3 **[フォント]** グループの **[フォントフィルター]** の横にある をクリックしてから、**[フォントフィルター設定]** をクリックします。



4 チェックボックスをチェックするとフォントが表示され、チェックを解除するとフォントが非表示になります。



モノグラム文字データまたは **[モノグラム文字]** ツールを選択すると、**[モノグラム文字]** チェックボックスが使用できます。

5 **[OK]** をクリックしてフィルター設定を適用します。

フォントを標準設定（すべてのフォントを表示）に戻すには、**[標準]** をクリックします。

6 フォントをフィルタリングするには、**[フォントフィルター]** をクリックします（フォントフィルター と表示されます）。
ボタンをクリックすると、フォントフィルターの適用／不適用が切り替わります。



フォントフィルターはミニサイズ文字データには適用できません。

▶▶ P. 129 の「ミニサイズ文字」

■文字サイズ

[文字サイズ] セレクターをクリックします。サイズを入力して**< Enter >**キーを押すか、文字サイズセレクターで数値を選択します。

内蔵フォントは、**[フォント]** セレクター上に推奨最小サイズが表示されます。表示されているサイズ以上のフォントを使用することをお勧めします。

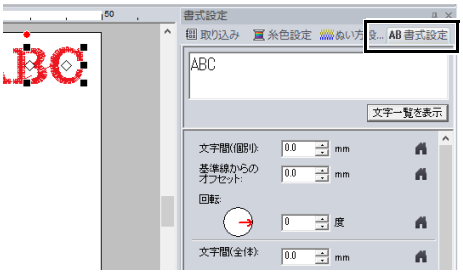


① 推奨最小サイズ

■書式設定を変更する

1 文字データを選択します。

2 **[書式設定]** タブをクリックします。



[書式設定] ウィンドウが表示されていないときは、**[表示]** タブ→**[設定ウィンドウ]**→**[書式設定]** をクリックします。

3 書式設定を変更します。



❶ 文字間 (個別)

0.0 mm	5.0 mm (「A」と「B」の間)
ABC	A BC

❷ 基準線からのオフセット

0.0 mm	2.0 mm
ABC	ABC

❸ 回転

0°	20°
ABC	ABC

❹ **文字間 (全体)**

0.0 mm	2.0 mm
ABC	ABC

❺ **行間**

100%	150%
ABC def	ABC def

❻ **揃え方**

左揃え	中央	右揃え
ABC def	ABC def	ABC def

❼ **横書き／縦書き**

横書き	縦書き
ABC	A B C

❽ **文字変形**

▶▶ P. 122 の「文字データを変形させる」

❾ 

左の設定を標準設定値に戻します。

❿ **名前差替え**

▶▶ P. 139 の「名前差替え機能（文字列を差し替える）」

- **[文字間 (個別)]** と **[文字間 (全体)]** は、ともに文字の間隔を設定します。この 2 つの違いは、**[文字間 (全体)]** は、常に文字データ全体に適用されるのに対し、**[文字間 (個別)]** は、個々の文字に適用されます。

▶▶ 個々の文字の選択のしかたについては、P. 124 の「個別の文字を編集する」を参照してください。

- **[書式設定]** ウィンドウの **[文字間 (個別)]**、**[基準線からのオフセット]**、**[回転]** で指定された設定は、選択されたすべての文字に適用されます。

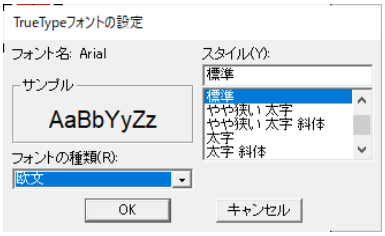
■TrueType フォントの属性を設定する

1 TrueType フォントの文字データを選択します。

2 **[フォント]** グループの **[TTF 設定]** をクリックします。



3 **[スタイル]** セレクターで字体を、**[筆記体]** セレクターでフォントの種類を選択し、**[OK]** をクリックします。



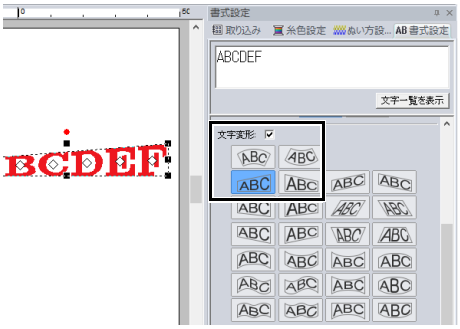
- **[スタイル]** と **[筆記体]** の内容は、選択された TrueType フォントによって異なります。
- 選択された文字データの文字列が、複数の TrueType フォントで作られていると、TrueType フォントの設定は選択できません。また、同一フォントでも文字ごとにスタイルやフォントの種類が異なる場合は、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログボックスに表示されます。どちらの場合も、1 文字のみが選択されている場合は、ダイアログボックスにその文字に設定されている属性が表示されます。

■文字データを変形させる

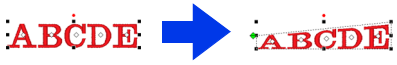


1 文字データを選択します。

2 ［書式設定］ウィンドウの **［文字変形］** チェックボックスをチェックし、変形ボタンをクリックします。



選択した文字データの形に応じて、文字データの周りに点線と◇または◇が表示されます。



線ぬいと面ぬいの両方をオンにした文字データを変形させると、フォントの形状によっては、線部と面部にわずかな隙間が生じることがあります。

3 ◇をドラッグして、文字データを変形させます。

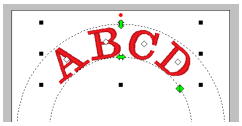


- ◇は、縦にのみドラッグできます。
- ◇は、横にのみドラッグできます。
- 変形させた文字データを元の形に戻すときは、**［文字変形］** チェックボックスのチェックを外します。

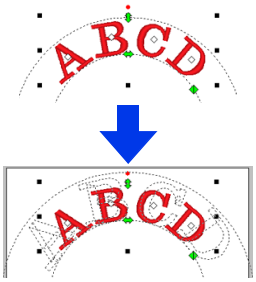


手順 **2** で ABC を選択した場合、以下の操作を行うこともできます。

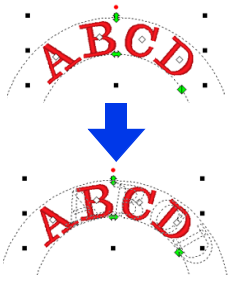
↕、↔、◇をドラッグして、文字の形を調整します。



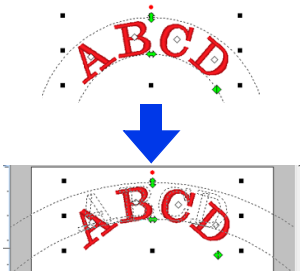
↕：文字のサイズを調整できます。



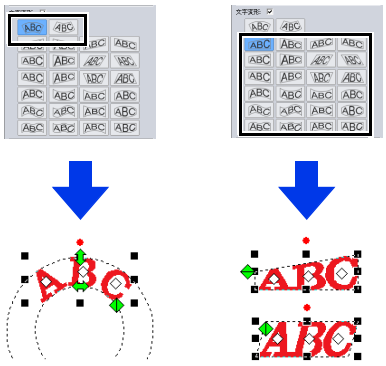
↔：円に沿って、文字を移動できます。



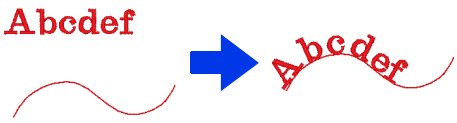
◇：円の丸みを調整できます。



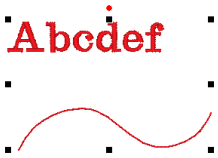
［文字変形］で選択した文字データの形に応じて、文字編集用に異なるハンドルが表示されます。



文字配列を設定する

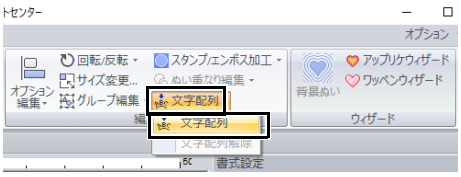


1 文字データまたはミニサイズ文字データと図形データを選択します。



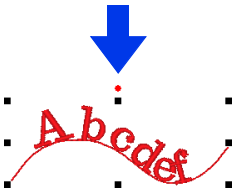
2 **［ホーム］**タブをクリックします。

3 **［編集］**グループで**［文字配列］**をクリックした後、**［文字配列］**をクリックします。

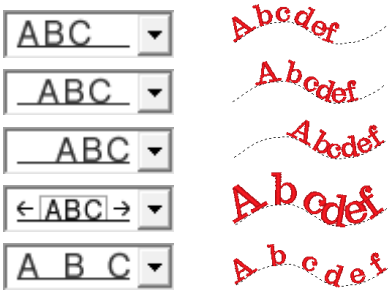


4 **［文字配列の設定］**ダイアログボックスで設定を指定して、**［OK］**をクリックします。

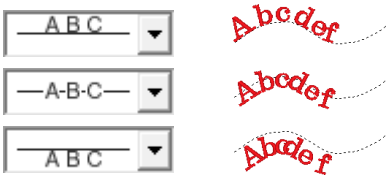




❶ 横位置



❷ 縦位置



❸ 向き



❹ 内側に配置

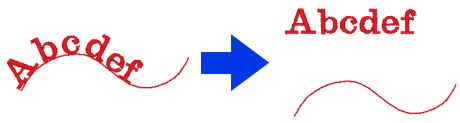


- 変形した文字データを配列すると、文字変形は解除されます。
- 1 つの図形データに対して配列できる文字データは 1 つだけです。

- 図形上の文字データを選択してドラッグすると、文字データの位置を移動できます。
- 文字配列された文字データも、1 文字ずつ **[サイズ変更]**、**[文字間 (全体)]**、**[基準線からのオフセット]** を変更したり、**[回転]** したりできます。

▶▶ P. 124 の「個別の文字を編集する」

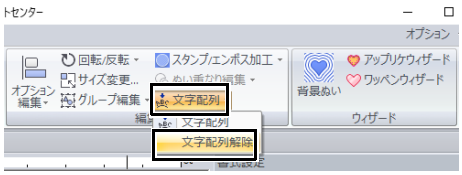
■文字配列を解除する



1 図形データ上に配列された文字データを選択します。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループで **[文字配列]** をクリックした後、**[文字配列解除]** をクリックします。

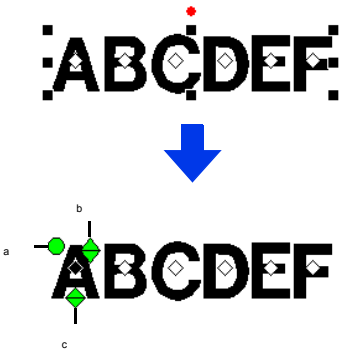


個別の文字を編集する

1 文字データを選択します。

2 テキスト内の文字を選択します。

文字の ◇ をクリックして、文字を選択します。



❶ 回転ハンドル
❷ サイズハンドル
❸ 垂直オフセットハンドル

文字を個別に回転、サイズ変更、または再配置できます。また、文字が選択された状態で **[文字]** タブをクリックすると、糸色とぬい方設定を変更できます。

刺しゅうデータのポイント選択と同じ方法で、複数の文字の ◇ を選択したり、選択する ◇ を切り替えたりできます。

- ドラッグする
  → 表示された四角形で囲まれたポイントをすべて選択
- **< Ctrl >** キーを押しながらポイントをクリックする
  → 選択中のポイントをクリックすると、選択解除
- **< Shift >** キーを押しながら矢印キーを押す
- **< Ctrl >** キーを押しながら矢印キーを押す

▶▶ P. 76 の「ポイントを選択する」

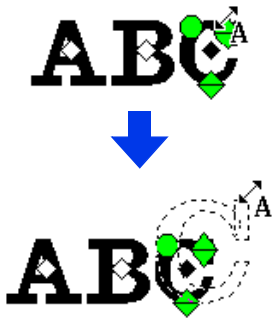
文字のサイズと文字の属性を変更する

ハンドルをドラッグして、文字のサイズと属性を簡単に変更できます。

■サイズを変更する

1 カーソルを右上の◇ハンドルの上に移動します。

2 ハンドルをドラッグします。

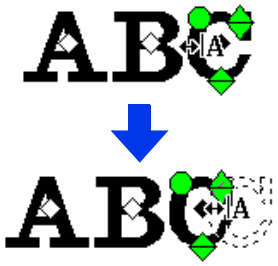


3 マウスボタンを放すと、文字のサイズが変更されます。



■文字間（個別）を変更する

1 ◇ ◇ ○ハンドル以外の文字上にカーソルをおき、文字を横にドラッグします。



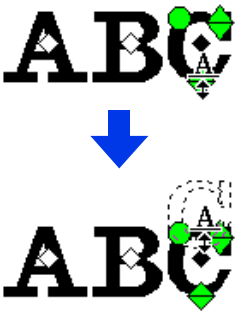
2 マウスボタンを放すと、文字間（個別）が変更されます。



■基準線からのオフセットを変更する

1 カーソルを下側の◇ハンドルの上に移動します。

2 ハンドルを縦にドラッグします。



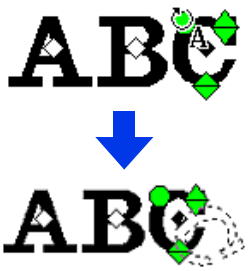
3 マウスボタンを放すと、文字の基準線からのオフセット位置が変更されます。



■文字を回転する

1 カーソルを○ハンドルの上に移動します。

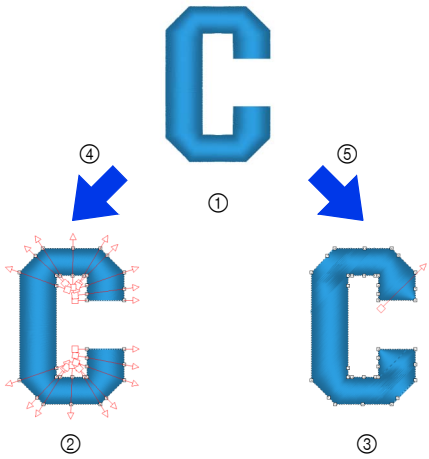
2 ハンドルをドラッグします。



3 マウスボタンを放すと、文字の角度が変更されます。



文字データを変換する



① 文字データ
② ブロックデータ：ぬい方向線が複数ある図形データのグループ
③ 図形データ
④ ブロックデータに変換
⑤ 図形データに変換

ブロックデータに変換

複数のぬい方向線を維持しつつ、データに変換されます。

文字の形は部分的に再調整できます。

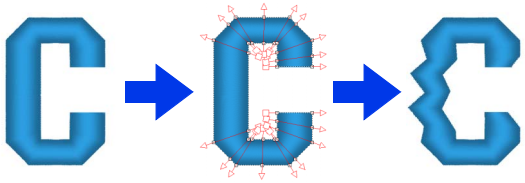
図形データに変換

文字は、編集可能な図形データに変換されます。

さまざまなぬい方やエンボス効果を適用できます。

▶▶ P. 10 の「刺しゅう PRO 11 で作成した刺しゅうデータについて」

■文字データをブロックデータに変換する



文字データをブロックデータに変換すると、文字の形を変形することができます。小さな面のそれぞれでぬい方向線を変更すると、手ぬい刺しゅうのように見える文字データを作成できます。

1 文字データまたはモノグラム文字データを選択します。

2 **[文字]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[ブロックデータに変換]** をクリックします。



-  をクリックして **[ポイントの選択]** ツールを選択し、変換したデータをクリックして、ぬい角度を確認します。

▶▶ P. 60 の「ぬい角度を複数設定する」

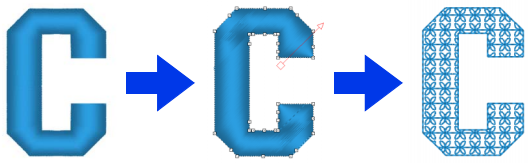
- ミニサイズ文字データはブロックデータ（複数のぬい方向線のある図形データのグループ）に変換できません。

- 文字データは、元のぬい品質を保ったまま変換されます。
- 作成されたブロックデータの形状は細かく編集することができます。

▶▶ ブロックデータや図形データの編集について詳しくは、P. 76 の「刺しゅうデータを変形させる」を参照してください。

- 文字データを図形データに変換すると、文字を編集できなくなります。

■文字データを図形データに変換する



1 文字データまたはモノグラム文字データを選択します。

2 **[文字]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[図形データに変換]** をクリックします。



変換された図形データは、グループ化されます。また、「A」の内側の△のような穴開き部分は、ドーナツぬいが設定されます。

内蔵フォント（025、029）、オリジナルフォント、ミニサイズ文字フォントの文字データは、図形データに変換できません。

- 文字データを図形データに変換すると、ぬい品質がわずかに落ちます。
- ぬい角度は統一されますが、編集は可能です。

▶▶ P. 59 の「ぬい角度を直線に設定する」

- 文字データをブロックデータに変換すると、文字を編集できなくなります。

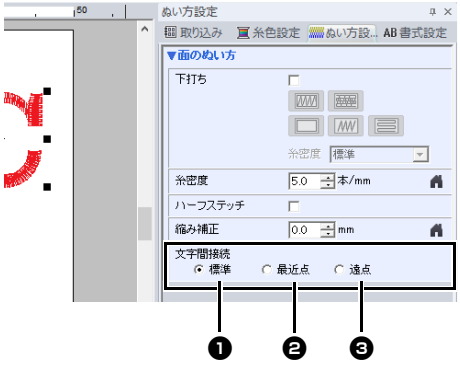
文字データのぬい接続点を設定する

1 つの文字データの中の、文字と文字の間のぬい接続点（前の文字のぬい終点と後ろの文字のぬい始点）の位置を設定できます。
設定は、**[標準]**、**[最近点]**、**[遠点]** から選択できます。

1 文字データまたはモノグラム文字データを選択します。

[ぬい方設定] ウィンドウが表示されていないときは、リボンの **[表示]** タブ→ **[ぬい方設定]** をクリックします。

2 **[文字間接続]** を選択します。



❶ 標準



標準のぬい順でステッチが生成され、文字全体のぬい品質を保ちます。

❷ **最近点**



前の文字のぬい終点と次の文字のぬい始点が最も近くなるようにステッチが生成されます。渡り糸が短くなり、糸切り回数を少なくできます。

❸ **遠点**



前の文字のぬい終点と次の文字のぬい始点が遠くなるようにステッチが生成されます。渡り糸が長くなり、手動での糸切りがしやすくなります。

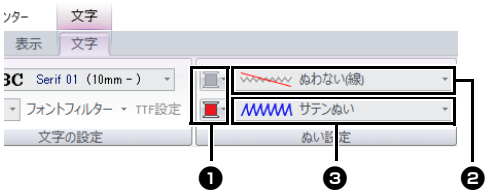
面ぬいのみの文字データだけでなく、線ぬいが設定された文字データの文字間接続も設定できます。

- 次の場合は、この設定は指定できません。文字データのフォントが、内蔵フォント（025、029）、TrueType フォント、オリジナルフォント、ミニサイズ文字フォントの場合
- 文字によって異なった糸色が設定されている場合
- 文字データの文字のぬい順が連続していない場合

文字データの刺しゅう属性について

設定ウィンドウタブのぬい設定グループで、刺しゅう属性（糸色、ぬい方）を設定できます。

文字データが選択されている場合は、次の刺しゅう属性を指定できます。



❶ **線の糸色／面の糸色**
線、面の糸色を設定します。

▶▶ P. 54 の「糸色」

❷ **線のぬい方**
輪郭のぬい方を設定します。
内蔵フォント 025 および 029 とオリジナルフォントを除くすべてのぬい方が文字内の線に使えます。

▶▶ P. 57 の「線のぬい方」

❸ **面のぬい方**
面のぬい方を設定します。
[サテンぬい]、**[タタミぬい]**、**[プログラムタタミぬい]** が文字内の線に使えます。

▶▶ P. 57 の「面のぬい方」

- 内蔵フォント（025、029）オリジナルフォントの文字データは、線部のない面部だけのデータです。面の糸色、ぬい方のみ設定できます。
- 文字の場合、下打ちのぬい種類を設定できます。詳しくは、P. 381 の「面のぬい方」を参照してください。

- 線のぬいをオフにするには、**［線のぬい方］**セレクターから**［ぬわない（線）］**を選択します。
- 面のぬいをオフにするには、**［面のぬい方］**セレクターから**［ぬわない（面）］**を選択します。
- 線ぬいと面ぬいのオン／オフの組み合わせ方を変えることで、多彩な表現が可能です。

	線のぬい方 （線のぬい方）	面のぬい方 （面のぬい方）
	オン	オン
	オフ	オン
	オン	オフ

ミニサイズ文字

ミニサイズ文字をミシンで縫製するときの注意

▶▶ P. 130 の「ミニサイズ文字をぬう場合」

■ミニサイズ文字を入力する

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［ツール］**グループで**［文字］**をクリックした後、ABCをクリックします。



3 標準文字と同じ入力方法で文字を入力します。

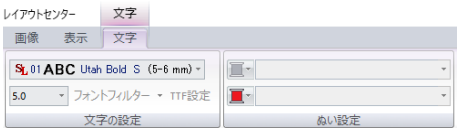
▶▶ P. 117 の「文字を入力する」

［取り込み元］セレクターから**［文字］**を選択し、**［分類］**セレクターから**［ミニサイズ文字］**を選択している場合、サンプルミニサイズ文字フォントデータを**［取り込み］**ウィンドウで使用できます

▶▶ P. 15 の「刺しゅうデータの取り込み方」

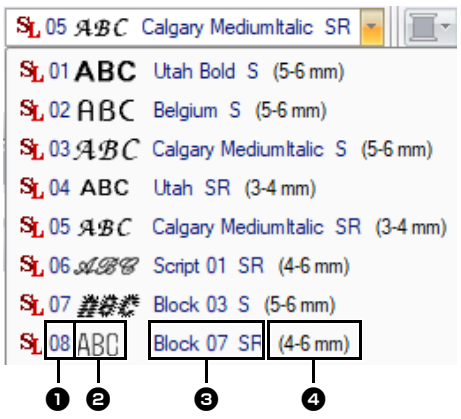
■ミニサイズ文字を編集する

ミニサイズ文字データの属性は、**［文字］**タブ、**［書式設定］**ウィンドウ、**［糸色設定］**ウィンドウで設定します。ミニサイズ文字ツールを選択したときは、**［文字］**タブは次のように表示されます。



ミニサイズ文字データやミニサイズ文字ツールを選択すると、**［文字］**タブが表示されます。

ミニサイズ文字フォント



❶ フォント番号
❷ フォントの見本
❸ フォント名
❹ 推奨サイズ

▶▶ P. 393 の「内蔵フォント」

ミニサイズ文字は、内蔵フォントのミニサイズ文字専用フォントのみ使用できます。

▶▶ ミニサイズ文字専用フォントのフォントは、P. 395 の「ミニサイズ文字」を参照してください。

フォント設定以外は、文字ツールで入力する文字データと同様の方法で、ミニサイズ文字データの文字／刺しゅう属性を設定できます。

ただし、ミニサイズ文字データは次の設定は行えません。

- ぬい設定の設定
- ぬい方設定
- 文字変形
- 名前差替え

入力済みのミニサイズ文字を編集するには、**[選択]** ツールでミニサイズ文字データを選択し、**[書式設定]** ウィンドウの文字入力領域に新しい文字を入力します。文字の編集方法は他にも 3 つあります。

▶▶ P. 118 の「文字を編集する」

■ミニサイズ文字をぬう場合

ミニサイズ文字のぬい上がりをきれいにするために、次の設定をお勧めします。

1. 糸調子を通常の刺しゅうデータの場合より弱くしてください。
2. 通常の刺しゅうデータの場合より遅い速度で縫製してください。
   (糸調子とぬい速度の調整については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。)
3. 文字の間の渡り糸を切らないように設定してください。
   (ミシンの糸切りの設定については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。)

作ってみましょう 4 : モノグラム



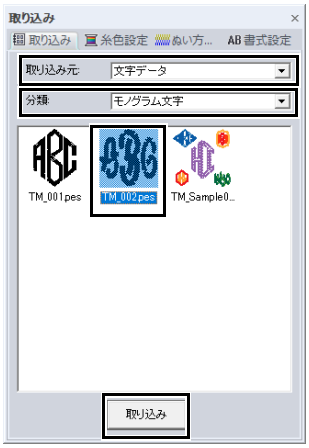
ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _4 にあります。

ステップ 1	モノグラム文字を入力する
ステップ 2	飾り模様を加える
ステップ 3	モノグラム文字のサイズを変更する
ステップ 4	モノグラム文字の糸色とぬい方を変更する

ステップ 1 モノグラム文字を入力する

1 **[取り込み]** ウィンドウを表示します。

2 **[取り込み元]** から **[文字データ]** を選び、**[分類]** から **[モノグラム文字]** を選びます。**[TM_002.pes]** → **[取り込み]** をクリックします。



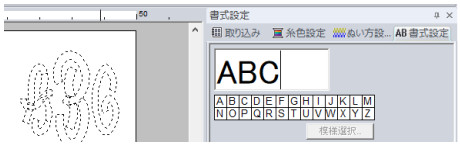
[取り込み元] セレクターから **[文字データ]** を選択し、**[分類]** セレクターから **[モノグラム文字]** を選択している場合、サンプルのモノグラム文字データを **[取り込み]** ウィンドウで使用できます。

3 取り込まれたモノグラム文字データを選択し、**[文字]** タブをクリックします。

4 **[編集]** グループの **[テキスト編集]** をクリックします。



→ 文字データは点線として表示され、カーソルが文字の末尾に表示されます。



5 **< BackSpace >**キーを押して文字を削除し、キーボードを使用して「XYZ」と入力します。

6 **< Enter >**キーを押します。

→ デザインページに文字データが作成されます。



- この例では、モノグラム文字データを **[取り込み]** ウィンドウから取り込みました。ただし、データは、モノグラム文字ツールを選択し、文字を入力して作成することもできます。

▶▶ P. 117 の「文字を入力する」

- **[書式設定]** ウィンドウの文字一覧の文字をクリックしても入力できます。



- 改行はできません。
- 入力できる文字数は 3 文字までです。
- アルファベット大文字（文字一覧に表示されている文字）のみ入力できます。

ステップ 2 飾り模様を加える

飾り模様を追加できます。

1 **[取り込み]** ウィンドウを表示し、**[取り込み元]** セレクターから **[飾り模様]** を選択します。

2 モノグラム文字データを選択します。

3 **[分類]** セレクターから **[モノグラム飾り模様]** を選択します。**[Deco09.pes]** → **[飾り模様取り込み]** をクリックします。



→ 飾り模様が加えられます。

- モノグラム文字データが選択された場合、**[飾り模様取り込み]** ボタンと **[縦横比を保持]** チェックボックスが表示されます。
  元の縦横比を保持しつつモノグラム文字のサイズに合わせた飾り模様を取り込むには、**[縦横比を保持]** チェックボックスをチェックします。選択を解除すると、モノグラム文字に合わせた縦横比の飾り模様が取り込まれます。
- モノグラム文字データが選択されていない場合、**[取り込み]** ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、飾り模様が標準サイズで取り込まれます。

ステップ 3 モノグラム文字のサイズを変更する

■モノグラム文字のサイズを変更する

[文字サイズ] セレクターをクリックし、「22」と入力します。

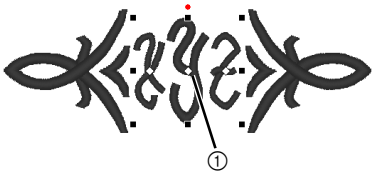


Diamond と Script は、モノグラム文字専用のフォントです。内蔵フォントや TrueType フォント、オリジナルフォントも使えます。

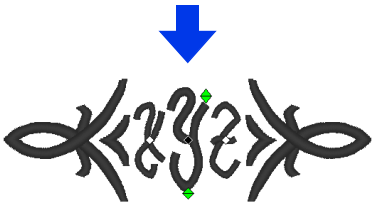
▶▶ P. 134 の「モノグラム文字を入力する」

ステップ 4 モノグラム文字の糸色とぬい方を変更する

設定を変更するモノグラム文字のポイントをクリックします。



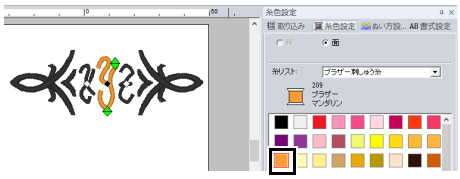
① ここをクリック



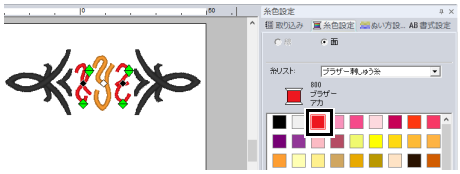
■糸色を変更する

1 **[糸色設定]** タブをクリックして色パレットを表示します。

2 **[マンダリン]** をクリックします。



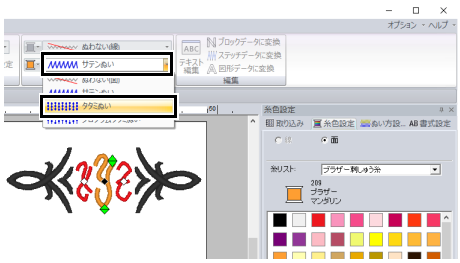
3 文字「YZ」を選択して **[アカ]** をクリックします。



■ぬい方を変更する

1 **[文字]** タブをクリックします。

2 **[ぬい設定]** グループで **[面のぬい方]** セレクターをクリックした後、**[タタミぬい]** を選択します。



モノグラム文字について

モノグラム文字を入力する

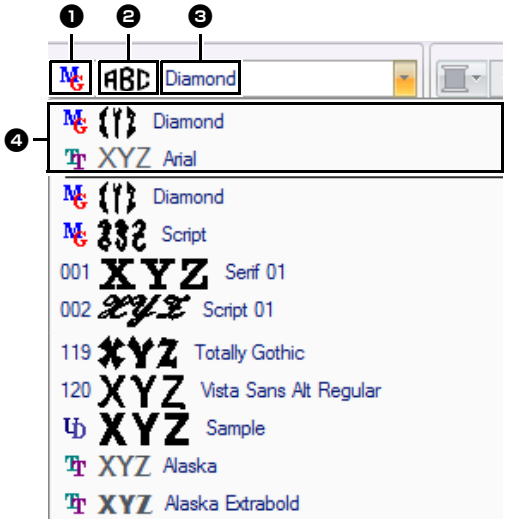
モノグラム文字データの属性は、**[文字]** タブ、**[書式設定]** ウィンドウ、**[ぬい方設定]** ウィンドウ、**[糸色設定]** ウィンドウで設定します。モノグラム文字ツールを選択したときは、**[文字]** タブは次のように表示されます。



モノグラム文字データやモノグラム文字ツールを選択すると、**[文字]** タブが表示されます。

■モノグラム文字フォント

[フォント] セレクターをクリックし、フォントを選択します。



❶ **フォントの種類**
- 数字は内蔵フォントを示します。
- Ⓜ モノグラム文字フォントを示します。

❷ **フォントの見本**
文字データが 1 つだけ選択されているときは、その文字の文字データの文字列が表示されます。

❸ **フォント名**

❹ **最近使用したフォント**

Diamond と Script は、モノグラム文字専用のフォントです。内蔵フォントや TrueType フォント、オリジナルフォントも使えます。

▶▶ 内蔵フォント、モノグラム文字フォントのフォントは、P. 393 の「内蔵フォント」を参照してください。

フォント設定以外は、文字ツールで入力する文字データと同様の方法で、モノグラム文字データの文字／刺しゅう属性を設定できます。

ただし、モノグラム文字データは次の設定は行えません。

- 回転、文字間 (全体)、行間、揃え方、ぬい角度
- 文字変形
- 名前差替え
- 文字配列

- 入力済みのモノグラム文字を編集するには、**[選択]** ツールで文字データを選択し、**[書式設定]** ウィンドウの文字入力領域に新しい文字を入力します。
- 文字の編集方法は他にも 3 つあります。

▶▶ P. 118 の「文字を編集する」

ユーザー登録文字

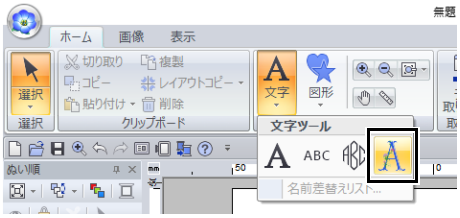
■ユーザー登録文字を入力する

1 フォントクリエイターで刺しゅうデータを登録します。

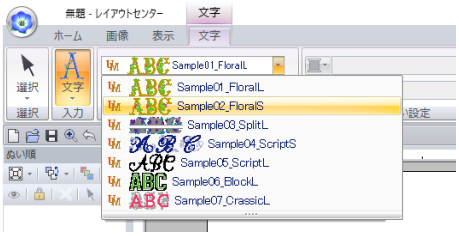
▶▶ P. 323 の「刺しゅうデータをフォントとして登録する」

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[ツール]** グループで **[文字]** をクリックした後、 をクリックします。



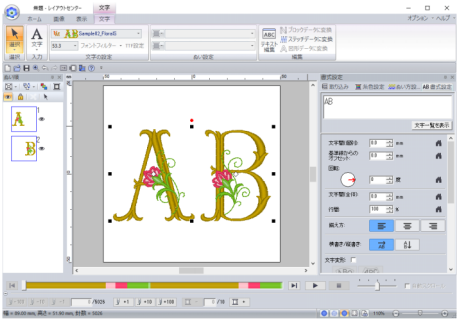
4 **[フォント]** セレクターをクリックし、フォントを選択します。



→ 選択されたフォントの標準的な文字の高さが表示されます。



5 文字を入力します。



▶▶ P. 117 の「文字を入力する」

ユーザー登録文字データやユーザー登録文字ツールを選択すると、**[文字]** タブが表示されます。

フォント設定以外は、文字ツールで入力する文字データと同様の方法で、ユーザー登録文字データの文字／刺しゅう属性を設定できます。

ただし、ユーザー登録文字では、次の設定、コマンド、または操作は使用できません。

- ぬい方の種類
- ぬい方設定
- フォントフィルター
- TTF 設定
- ブロックデータに変換
- 図形データに変換
- 個々の文字の編集
- 名前差替え
- 糸色を変更する
- 文字変形機能

- 入力済みのユーザー登録文字を編集するには、**[選択]** ツールでユーザー登録文字を選択し、**[書式設定]** ウィンドウの文字入力領域に新しい文字を入力します。文字の編集方法は他に 3 つあります。

▶▶ P. 118 の「文字を編集する」

- 文字色を変えるには、次のうちいずれかの操作を行います。
  - **[文字]** タブの **[ステッチデータに変換]** をクリックして、文字データを糸色を変えられるステッチデータに変換します。ただし、テキストデータは使用できなくなります。
  - 元の .pes ファイルの刺しゅうデータの糸色を変更します。

標準的な文字の高さからユーザー登録文字を拡大／縮小すると刺しゅうの品質が落ちる場合があります。

作ってみましょう 5 : 名前差替えデータを作る

文字の入った刺しゅうデータで、名前差替え機能を使うと、ユニフォーム用の名前を入れ替えるなど、同じデザインで、文字だけを入れ替えたデータを、簡単にたくさん作ることができます。



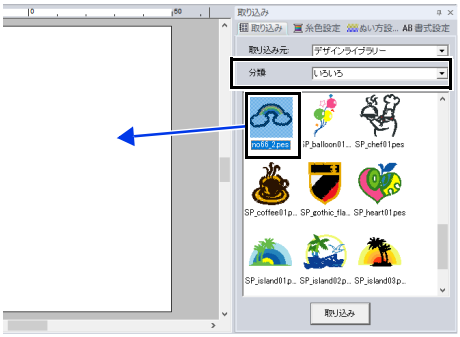
ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _5 にあります。

ステップ 1	刺しゅう模様をデザインする
ステップ 2	名前差替えリストを作る
ステップ 3	名前差替えデータをファイルに出力する

ステップ 1 刺しゅう模様をデザインする

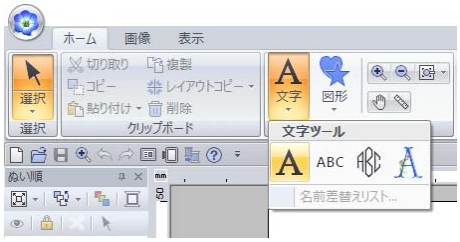
1 **[取り込み]** ウィンドウを表示し、**[取り込み元]** セレクターから **[デザインライブラリー]** を選択します。

2 **[分類]** セレクターで **[いろいろ]** を選択し、虹模様のファイルアイコンをデザインページへドラッグします。

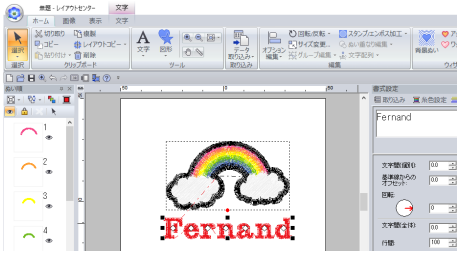


3 **[ホーム]** タブをクリックします。

4 **[ツール]** グループで **[文字]** をクリックした後、A →デザインページをクリックします。



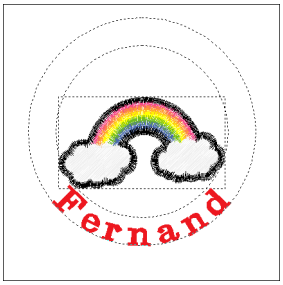
5 「Fernand」と入力し、**< Enter >**キーを押します。



6 文字データを選択して、**[文字変形]** チェックボックスをチェックし、その下の ABC をクリックします。



7 刺しゅうデータをドラッグして、位置を調整します。



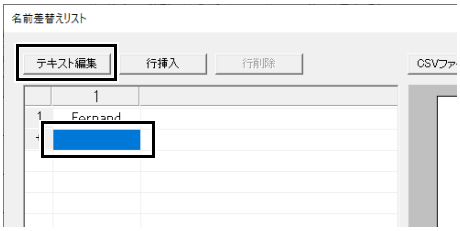
ステップ 2 名前差替えリストを作る

1 文字データ「Fernand」をクリックし、**[名前差替え]** チェックボックスをチェックして、**[名前差替えリスト]** ボタンをクリックします。

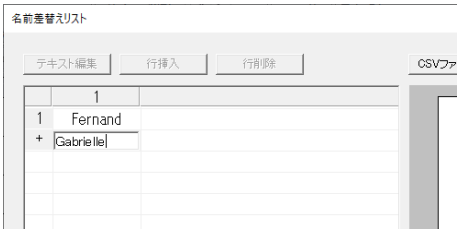


2 名前差替えリストに文字を入力します。この例では、リストの最後に文字を追加します。

(A) ＋ 行のセルをクリックしてから、**[テキスト編集]** をクリックするか、セルをクリックして入力モードに切り替えます。



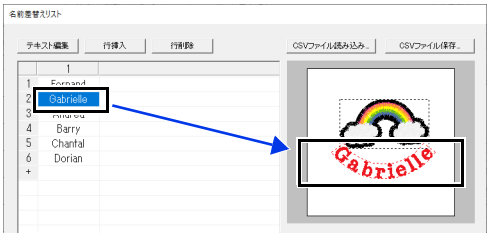
(B) キーボードで文字列を入力します。



(C) 入力時は、**< Enter >**キーを押すと、下の行のセルが入力モードに切り替わります。

(A) から (C) の手順を繰り返して文字列を入力し、名前差替えリストを完成させます。

文字入力をしたセルを選択すると、文字をプレビューできます。



ステップ 3 名前差替えデータをファイルに出力する

ファイルに出力してみましょう。名前差替えリストの行数分、文字列を差し替えて刺しゅうデータを出力します。

1 **[フォルダーへ]** をクリックします。



2 をクリックした後に表示されるダイアログボックスでドライブとフォルダーを選択して、**[ファイル名]** ボックスにファイル名を入力し、**[OK]** をクリックします。



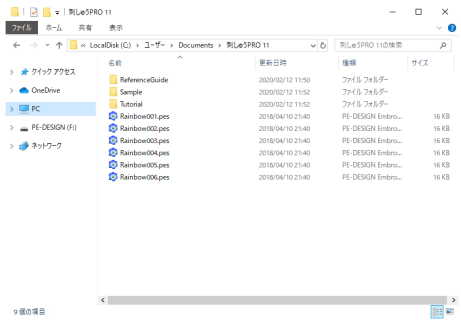
→ 刺しゅうデータに問題がないか、本ソフトウェアが確認を始めます。問題が発見されなかった場合は、出力を開始します。

出力されるファイル名は「**元のファイル名** xxx.pes」（xxx は 001 からの連番）と付けられます。

3 出力が完了すると、次のメッセージボックスが表示されます。**[OK]** をクリックします。

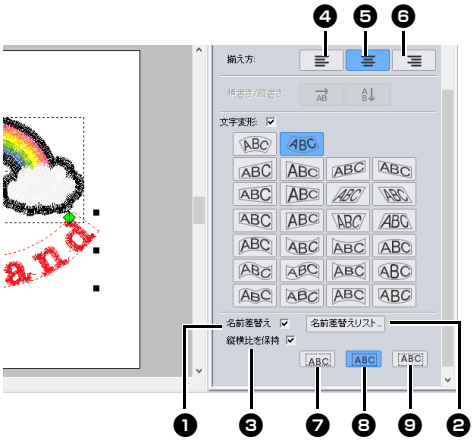


保存先のフォルダーに、名前差替えリストの文字列の数の刺しゅうファイルが保存されます。



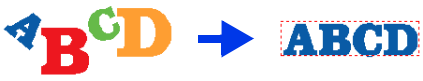
名前差替え機能（文字列を差し替える）

名前差替え機能設定時の文字属性について



❶ **名前差替え**
このチェックボックスをチェックして、**[名前差替え]** 属性を設定します。

- **[名前差替え]** 属性が設定されると、設定されていた **[文字間 (個別)]**、**[基準線からのオフセット]**、**[回転]**、**[文字間 (全体)]**、**[行間]**、文字サイズ、糸色はリセットされます。



- **[名前差替え]** 属性は、**[文字配列]** が設定されている文字、ミニサイズ文字、モノグラム文字には設定できません。

❷ **名前差替えリスト**
クリックして、**[名前差替えリスト]** ダイアログボックスを表示します。

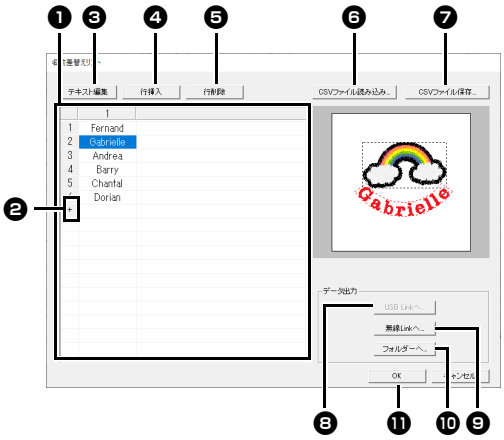
書式設定の **[名前差替えリスト]** ダイアログボックスは、**[名前差替え]** 設定が適用された文字データを選択し、**[ホーム]** タブの **[ツール]** グループで **[文字]** → **[名前差替えリスト]** をクリックして表示できます。



❸ **縦横比を保持**
チェックボックスをチェックすると、文字の縦横比が保持されます。

❹ ABC
❺ ABC
❻ ABC
❼ ABC　ABCDEFg
❽ ABC　ABCDEFg
❾ ABC　ABCDEFg

名前差替えリストダイアログボックスの機能



❶ **名前差替えリスト**
文字を置き換えるために使用する文字のリストを作成します。セルをダブルクリックすると、入力モードになります。行を選択すると、その文字列での模様をプレビュー表示で確認できます。↑または↓キーで、行の選択の切り替えができます。

❷ ＋ボタンをクリックすると、リストの最後に 1 行追加されます。
(500 行まで追加できます。)

❸ **テキスト編集**
選択したセルの文字列を入力モードにします。(セルをダブルクリックしても入力モードになります。

❹ **行挿入**
行を選択し、**[行挿入]** をクリックします。選択された行の上に新しい行が挿入されます。

❺ **行削除**
行を選択し、**[行削除]** をクリックします。選択された行が削除されます。

❻ **CSV ファイル読み込み**
.csv 形式の名前差替えリストを読み込みます。
このボタンをクリックし、フォルダーを選択してから、ファイル名を選択して **[開く]** をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。

❼ **CSV ファイル保存**
作成した名前差替えリストを保存します。
このボタンをクリックし、保存先のフォルダーを選択し、**[ファイル名]** にファイル名を入力し、**[保存]** をクリックして、.csv 形式で保存します。

❽ **USB Link へ**
USB Link 機能を使って、ミシンにデータを転送できます。USB Link 機能対応のミシンがパソコンに接続されている場合に、このボタンは有効になります。ミシンは、USB Link モードで起動した状態で接続してください。

▶▶ P. 219 の「USB Link」

❾ **無線 Link へ**
無線 Link 機能を使って、ミシンにデータを送信できます。無線 Link 機能対応のミシンがパソコンに接続されている場合に、このボタンは有効になります。ミシンは、無線 Link モードで起動した状態で接続してください。

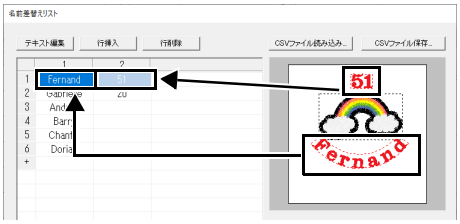
▶▶ P. 224 の「無線 Link」

❿ **フォルダーへ**

▶▶ P. 138 の「名前差替えデータをファイルに出力する」

⓫ **[名前差替えリスト]** ダイアログボックスで文字列を選択し、**[OK]** をクリックします。デザインページに戻り、選択した文字列に差し替えた状態の刺しゅうデータを編集できます。

模様に **[名前差替え]** 属性を持つ文字データが 2 つある場合は名前差替えリストは次のようになります。



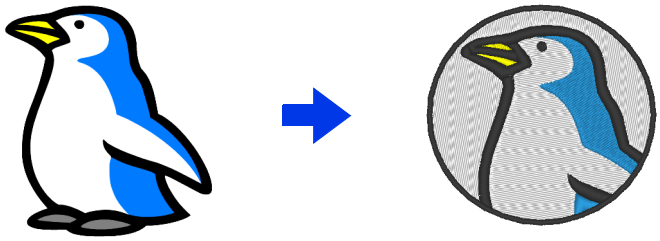
画像から刺しゅうデータを作る

画像から刺しゅうデータを簡単に作ることができます。また、画像と刺しゅうを組み合わせた作品の作り方を説明します。

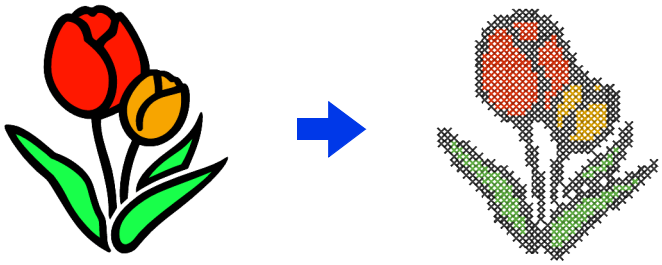
ステッチウィザード：画像を刺しゅうデータに自動変換する

デジタルカメラの写真データやイラストをスキャンした画像データ、クリップアートの画像から、刺しゅうデータを作ることができます。

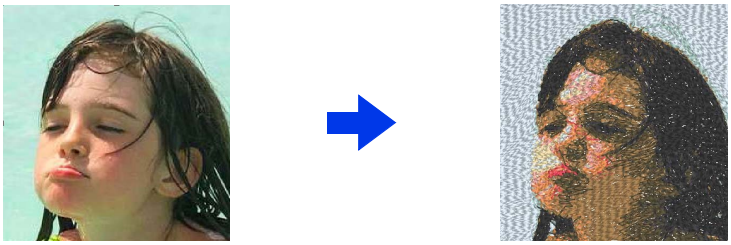
■オート パンチ ▶▶ P. 143 の「作ってみましょう 6-1：オートパンチ」



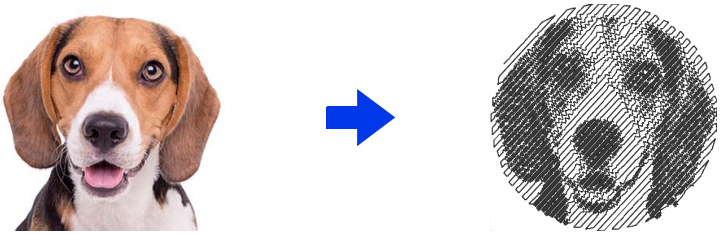
■クロスステッチ ▶▶ P. 146 の「作ってみましょう 6-2：クロスステッチ」



■フォト ステッチ 1 ▶▶ P. 150 の「作ってみましょう 6-3：フォトステッチ 1」



■フォト ステッチ 2 ▶▶ P. 155 の「作ってみましょう 6-4：フォトステッチ 2」



作ってみましょう 6-1：オートパンチ

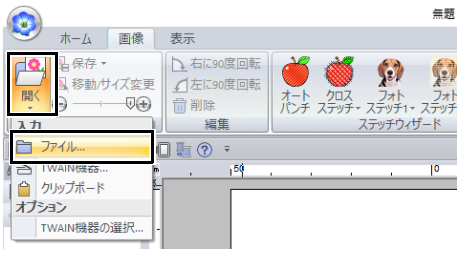
ここでは、オート パンチ機能を使ってイラストから刺しゅうデータを作ります。画像の図形と色から刺しゅうデータが作成されます。

ステップ 1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ 2	オートパンチウィザードを起動する
ステップ 3	画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する
ステップ 4	切り抜き範囲の輪郭線を指定して、刺しゅうデータに変換する

ステップ 1 レイアウトセンターに画像データを取り込む

1 **[画像]** タブをクリックします。

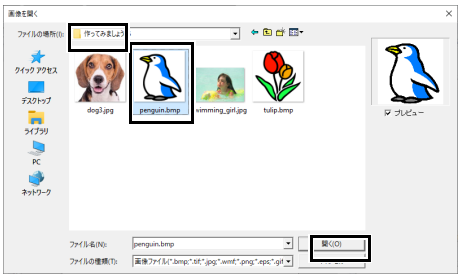
2 **[画像]** グループで **[開く]** をクリックした後、**[ファイル]** をクリックします。



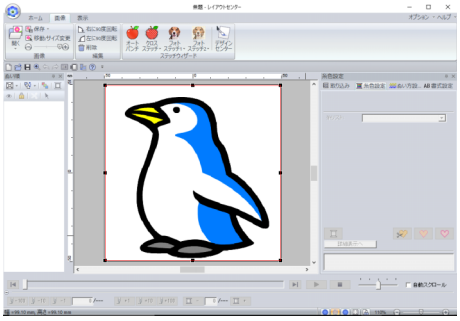
3 **[ドキュメント（マイドキュメント）¥刺しゅう PRO 11¥作ってみましょう¥作ってみましょう _6]** フォルダーをダブルクリックして開きます。

本アプリケーションがインストールされると、**[刺しゅう PRO 11]** フォルダーがドキュメントフォルダーにインストールされます。

4 サンプルファイル **[penguin.bmp]** を選択し、**[開く]** をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。



→ 画像がデザインページに表示されます。



- **[オート パンチ]** には、色数が少なく、色のはっきりしたイラストが適しています。
- 画像を選び直したいときは、**1** から **4** を繰り返します。
  その他の手順について詳しくは、以下を参照してください。

▶▶ P. 159 の「範囲の設定ダイアログボックス」の ❻

- スキャナーまたはクリップボードから写真画像を取り込むことができます。

▶▶ P. 163 の「画像データを取り込む」

ステップ 2 オートパンチウィザードを起動する

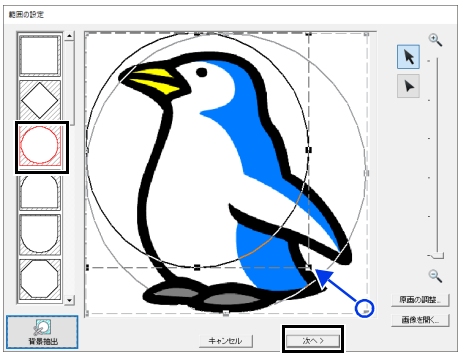
1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[ステッチウィザード]** グループの **[オートパンチ]** をクリックします。



ステップ 3 画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する

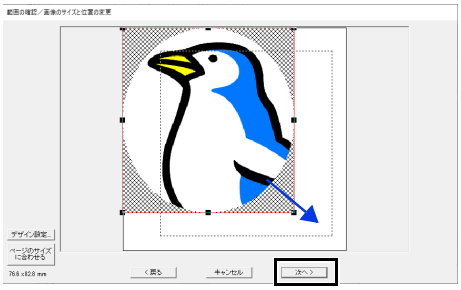
1 ◯をクリックして切り抜き範囲の形状を選択します。
ハンドルをドラッグしてサイズを調整し、切り抜き範囲をドラッグして位置を調整します。
[次へ] をクリックします。



ここで選んだ切り抜き範囲の輪郭線を、ステップ 4 で線データ（縁取り）にできます。

▶▶ P. 158 の「範囲の設定ダイアログボックス」。

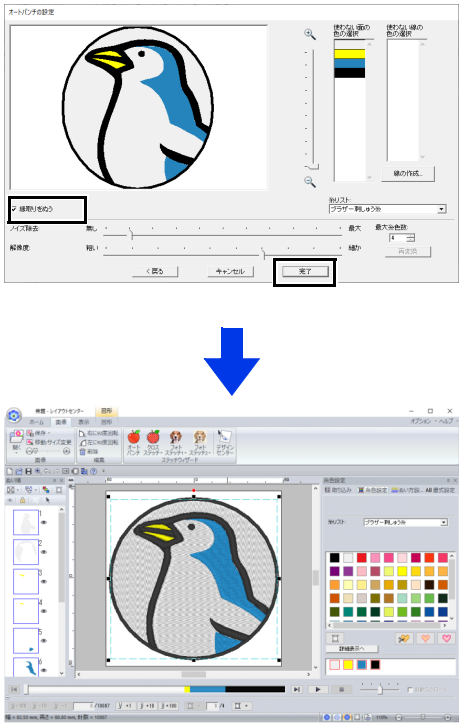
2 画像をドラッグして、画像の位置とサイズを調整します。白い背景は、デザインページの縫製範囲を示します。
[次へ] をクリックします。



▶▶ P. 161 の「範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

ステップ 4 切り抜き範囲の輪郭線を指定して、刺しゅうデータに変換する

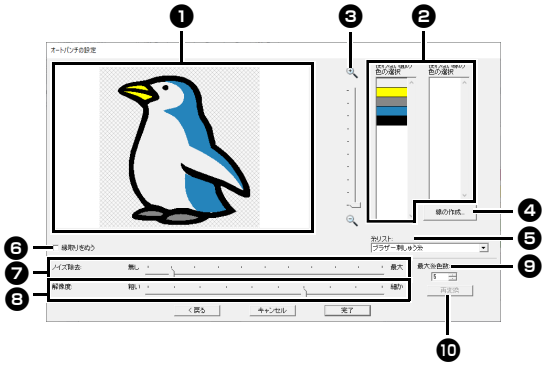
[縁取りをぬう] チェックボックスをチェックし、縁取りを指定します。変換結果を確認し、**[完了]** をクリックします。



→ 刺しゅうデータが作られます。画像は、自動的に非表示になります。

オートパンチの詳細設定

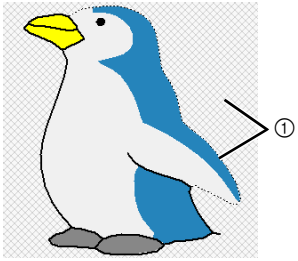
オートパンチの設定ダイアログボックス



❶ **変換結果**
変換後のデータイメージが変換結果ボックスに表示されます。

❷ **使わない面の色の選択／使わない線の色の選択**
［使わない面の色の選択］リストと**［使わない線の色の選択］**リストで、色をクリックして色単位で縫製する部分／しない部分を変更できます。
ぬわない色に × マークを付けます。

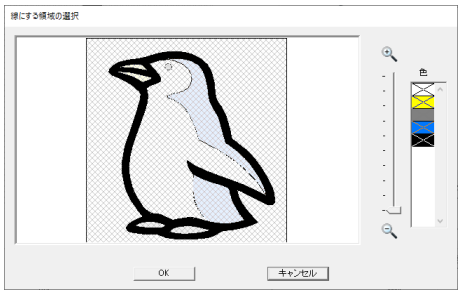
- 変換結果ボックスの画像の各部分、または**［使わない面の色の選択］**／**［使わない線の色の選択］**リストをクリックして、縫製する部分／しない部分を変更できます。
- 変換結果ボックスで、ぬわない部分は × マークを付け、ぬう部分は × マークを外します。
線部は、ぬわない部分は点線に、ぬう部分は実線にします。



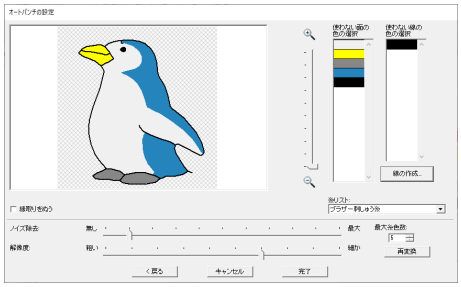
① この面と線はぬわれません。

❸ **ズーム**

❹ **線の作成**
このボタンをクリックすると、**［線にする領域の選択］**ダイアログボックスが表示されます。ここで、面を線に変換できます。



線に変換する面を選択し、**［OK］**をクリックします。



❺ **糸リスト**
使用する糸リストを選択します。

❻ **縁取りをぬう**
チェックボックスにチェックを入れると、切り抜き範囲の輪郭線の形の線ぬいを作成できます。

❼ **ノイズ除去**
原画に含まれるゴミ（ノイズ）を除去する程度を設定します。

❽ **解像度**
変換する際の解像度を設定します。

❾ **最大糸色数**
使用する糸色の数を設定します。

❿ **再変換**
設定を変更したら、ここをクリックして変換結果を更新します。

作ってみましょう 6-2：クロスステッチ

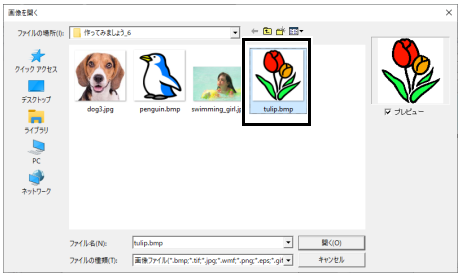
クロスステッチ機能を使って、画像からクロスステッチ刺しゅうデータを作ります。ここでは、画像からクロスステッチの刺しゅうデータを作成します。

ステップ 1	レイアウトセンターに画像データを取り込む
ステップ 2	クロスステッチウィザードを起動する

ステップ 1 レイアウトセンターに画像データを取り込む

[作ってみましょう _6] フォルダーを選択し、**[tulip.bmp]** を取り込みます。

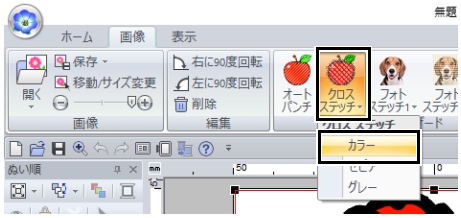
▶▶ P. 143 の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」



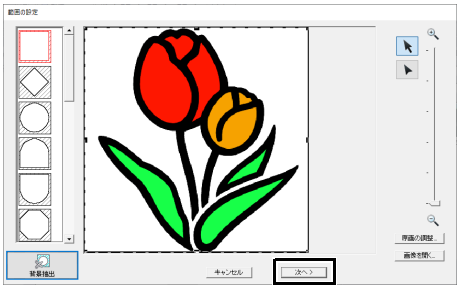
ステップ 2 クロスステッチウィザードを起動する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[ステッチウィザード]** グループで **[クロスステッチ]** をクリックした後、**[カラー]** をクリックします。



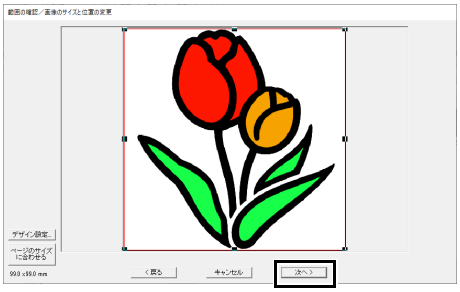
3 **[次へ]** をクリックします。



このダイアログボックスで、画像の切り抜き範囲を指定して、サイズを調整し、図形を編集できます。ここでは、そのまま次の手順に進みます。

▶▶ P. 158 の「範囲の設定ダイアログボックス」

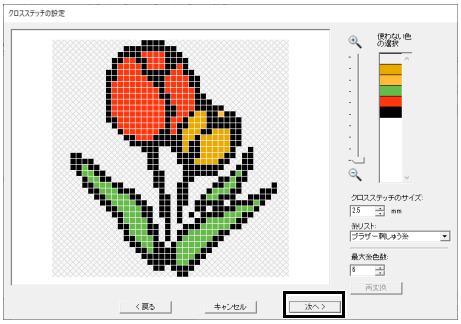
4 **[次へ]** をクリックします。



このダイアログボックスで、画像のサイズと位置を調整できます。ここでは、そのまま次の手順に進みます。

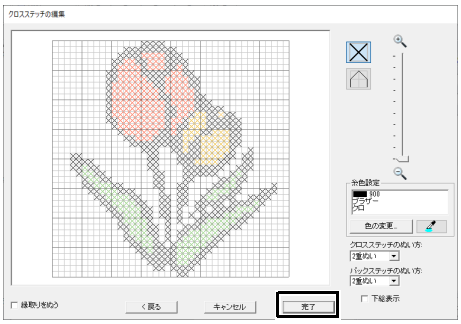
▶▶ P. 161 の「範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

5 **[次へ]** をクリックします。

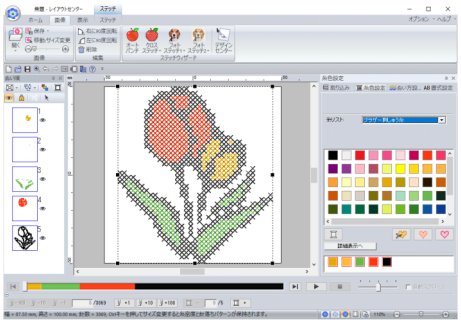


このダイアログボックスで、クロスステッチのサイズや色数を指定できます。ここでは初期設定のままにしておきます。

6 **[完了]** をクリックします。



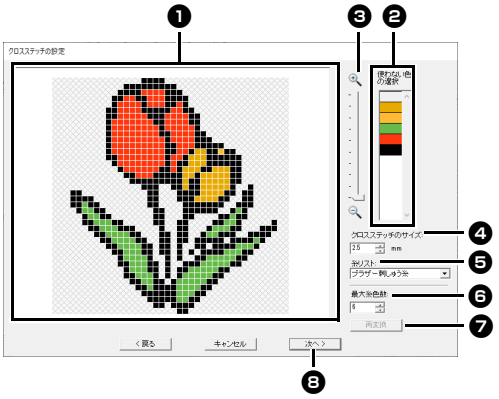
このダイアログボックスで、ステッチの追加／削除や、糸色、ぬい回数を指定できます。ここでは初期設定のままにしておきます。



→ 刺しゅうデータが作られます。画像は、自動的に非表示になります。

クロスステッチの詳細設定

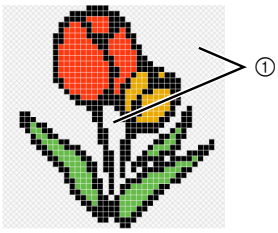
クロスステッチの設定ダイアログボックス



❶ **変換結果**
画像の各部分をクリックして、縫製する／しないを選択します。

❷ **使わない色の選択**
使わない色の選択リストの色をクリックして、色単位で縫製する部分／しない部分を変更できます。

- 変換結果ボックスの画像の各部分、または **[使わない色の選択]** リストをクリックして、縫製する部分／しない部分を変更できます。
- ぬわない部分は × マークを付け、ぬう部分は × マークを外します。



① この面と線はぬわれません。

❸ **ズーム**

❹ **クロスステッチのサイズ**
クロスステッチのサイズを設定します。

❺ **糸リスト**
使用する糸リストを選択します。

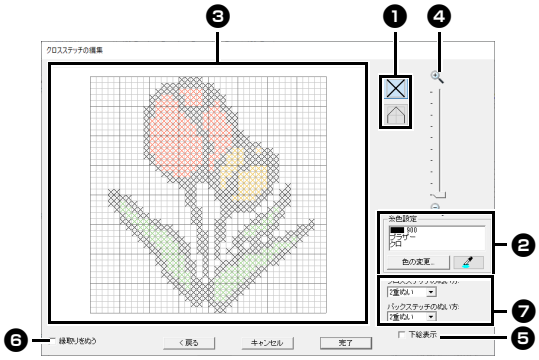
❻ **最大糸色数**
使用する糸色の数を設定します。

❼ **再変換**
設定を変更したら、ここをクリックして変換結果を更新します。

❽ **次へ**
次のステップ（**[クロスステッチの編集]** ダイアログボックス）に進みます。

■ クロスステッチの編集ダイアログボックス

❶ でステッチタイプを選択し、❷ で糸色を選択し、❸ でステッチを編集します。



❶ **ステッチの選択**
追加／削除するステッチを選択します。
（クロスステッチ）：マス目の中にクロスステッチを設定します。
（バックステッチ）：マス目の辺（または）と中（または）にバックステッチを設定します。

❷ **糸色設定**
[糸色] をクリックして、**[糸色]** ダイアログボックスを表示し、希望の色をクリックして選択します。
ステッチで使われている糸色を選択したいときは、をクリックしてから、その糸色が使われているステッチをクリックします。

❸ **編集領域**

♦クロスステッチの場合
マス目をクリック：追加

♦バックステッチの場合
マス目の辺上をクリック：辺上に追加
マス目の対角線上をクリック：対角線上に追加

♦クロスステッチ／バックステッチ共通
ドラッグ連続追加
右クリック／右ドラッグ：削除／連続削除

❹ **ズーム**

❺ **下絵表示**
[下絵表示] をクリックすると、取り込んだ画像を表示できます。

❻ **縁取りをぬう**
チェックボックスにチェックを入れると、切り抜き範囲の輪郭線の形の線ぬいを作成できます。

❼ **クロスステッチのぬい方／バックステッチのぬい方**
それぞれのぬい回数を、**[2 重ぬい]**、**[4 重ぬい]**、または **[6 重ぬい]** から選択します。

ステッチを編集後、**[戻る]** をクリックして前のダイアログボックスに戻ると、**[クロスステッチの設定]** はリセットされます。

作ってみましょう 6-3 : フォトステッチ 1

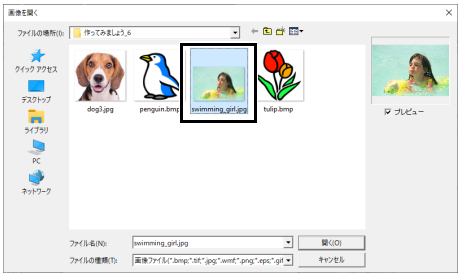
フォト ステッチ 1 機能を使って写真から刺しゅうデータを作ります。写真から作成した刺しゅうデータには、細かなステッチをぬい重ねたデータになります。

ステップ 1	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ 2	フォトステッチ 1 ウィザードを起動する
ステップ 3	画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する
ステップ 4	適切な糸色を選択して刺しゅうデータに変換する

ステップ 1 レイアウトセンターに写真データを取り込む

[作ってみましょう _6] フォルダーを選択し、**[swimming_girl.jpg]** を取り込みます。

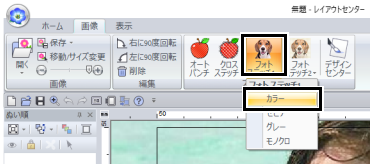
▶▶ P. 143 の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」



ステップ 2 フォトステッチ 1 ウィザードを起動する

1 **[画像]** タブをクリックします。

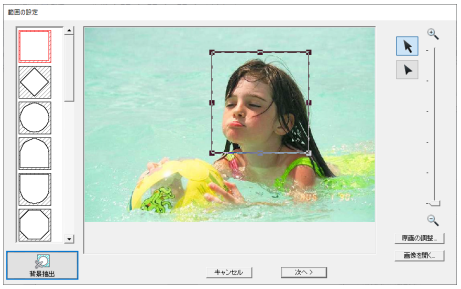
2 **[ステッチウィザード]** グループで **[フォトステッチ 1]** をクリックした後、**[カラー]** をクリックします。



[フォト ステッチ 1] では、多色（カラー）、セピア調（セピア）、グレー調（グレー）、単色（モノクロ）の刺しゅうデータを作成できます。ここでは、**[カラー]** を選択します。

ステップ 3 画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する

1 ハンドルをドラッグして、切り抜き範囲の形を調整します。切り抜き範囲をドラッグして、位置を調整します。



2 **[次へ]** をクリックします。

3 **[デザイン設定]** をクリックします。



4 **[枠サイズ]** を選択し、セレクターから 100 × 100 mm のデザインページを選択します。
[OK] をクリックします。



5 **[ページのサイズに合わせる]** をクリックして、仕上がりサイズを変更します。



- 刺しゅうのサイズを、画面左下で確認できます この画面でサイズを自由に変更できます。
- ぬうことができる刺しゅうデータの最小サイズは以下のとおりです。
  - ♦ 顔のみ :100 × 100 mm
  - ♦ 頭と顔 :130 × 180 mm

▶▶ P. 161 の「範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」と P. 162 の「グレーバランス／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

6 変換する領域のプレビューを確認し、**[次へ]** をクリックします。

ステップ 4 適切な糸色を選択して刺しゅうデータに変換する

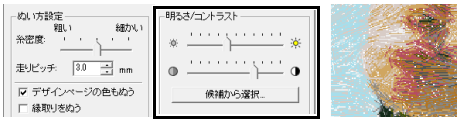


この時点で、**[完了]** をクリックすると刺しゅうデータが完成します。ただし、ここでは各種設定を変更してフォトステッチを改善する方法について説明します。

1 **[糸リスト]** セレクターから **[ブラザー糸リスト (フォトステッチ)]** を選択します。
[最大糸色数] セレクターでは、「20」を指定します。
[プレビューの更新] をクリックします。



2 **[明るさ]** スライダーを左に 1 つ分スライドし、**[コントラスト]** スライダーを右に 2 つ分スライドします。
[プレビューの更新] をクリックします。

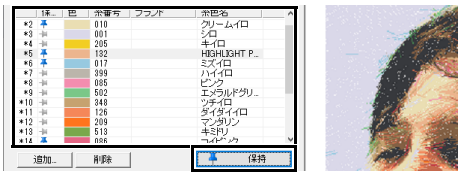


画像によっては、必要に応じて調整を行います。色数の調整が難しい場合、**[候補から選択]** をクリックします。

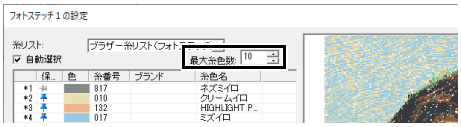
▶▶ P. 154 の「候補から選択」

3 右側のプレビューを見ながら、多く使っている色（背景のミズイロ）と特徴的な色（唇のコイピンク）をリストから選択し、**[保持]** をクリックします。

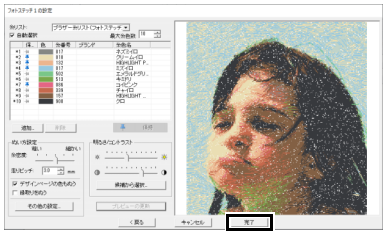
→ この例では、4 つの色（クリームイロ、ミズイロ、HIGHLIGHT PEACH、コイピンク）が保持されます。

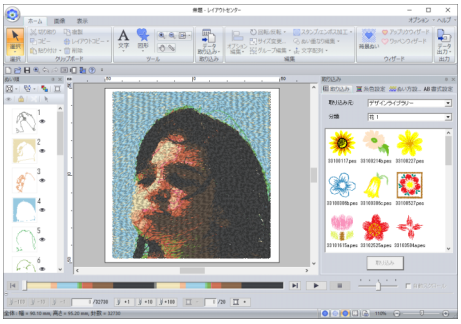


4 **[最大糸色数]** セレクターで、「10」を指定し、**[プレビューの更新]** をクリックします。



5 **[完了]** をクリックします。





→ 画像は、自動的に非表示になります。

できあがった刺しゅうデータに強調したくない色が含まれている場合（例えば、顔に灰色が入っているなど）、**[ぬい順]** ウィンドウでその色が他の色より先にぬわれるように順序を変更すると、良い結果を得られる場合があります。

▶▶ P. 96 の「糸色を変更する」

良い結果を出すためのヒント

実際の糸色が画面上の糸色と異なる場合、刺しゅう結果に大きく影響します。

[ブラザー糸リスト (フォトステッチ)] は、「ブラザー刺しゅう糸」と「ブラザー肌色系刺しゅう糸」から作成された糸リストであり、画面上の糸色と実際の糸色の差を補うように調整されています。ただし、動作環境によっては色が違って見える場合があります。

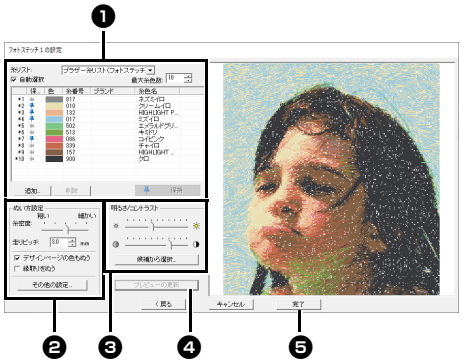
画面上の糸色が実際の糸色と異なる場合は、ユーザー糸リストを使って糸色を調整すると、より良い結果を得られます。

▶▶ P. 205 の「ユーザー糸リストを作成／編集する」

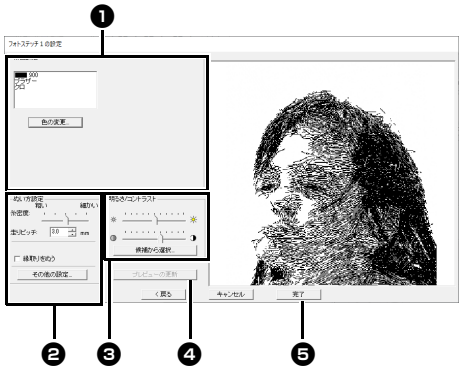
フォトステッチ１の詳細設定

フォトステッチ１の設定ダイアログボックス

カラー、**セピア**、**グレー**の場合



モノクロの場合



糸色設定❶で糸色を選択し、**[ぬい方設定]**❷や**[明るさ / コントラスト]**❸を設定し、**[プレビューの更新]**❹をクリックして設定結果を確認します。**[完了]**❺をクリックして刺しゅうデータに変換します。

❶ 糸色設定

カラー／セピア／グレー	
糸リスト	使用する糸リストを選択します。
自動選択	糸色を自動で選択するか（オン）、手動で選択するか（オフ）を選択します。このチェックボックスをチェックすると、機能がオンになります。
最大糸色数	自動選択で選び出す色数の値を設定します。
使用している色のリスト	使用中の糸色を表示します。使用中の糸色を確認または変更できます。
追加	使用されている色のリストに糸色を追加する場合、このボタンをクリックします。 クリックすると、**[糸色の追加]**ダイアログボックスが表示されます。  糸リストを選択した後、糸色を選択し、**[OK]**をクリックすると、その色が、リストに追加されます。追加された糸色は、使用している色のリストとして保持されます。
削除	使用されている色のリストで糸色を選択し、このボタンをクリックすると、選択された色がリストから削除されます。不要な糸色を削除し、色の数を減らす場合に使用します。
保持	使用する必要がある糸色を指定します。使用されている色のリストで糸色を選択し、このボタンをクリックすると、保持列に が表示されます。この設定をキャンセルするには、アイコンをクリックします（ と表示されます）。
モノクロ	
使用している色のリスト	使用中の糸色を表示します。
糸色	使用する糸色を変更したい場合は、このボタンをクリックして、**[糸色]**ダイアログボックスを開きます。

❷ ぬい方設定

糸密度	**[細かい]** に設定するほど、細かい表現が可能となりますが、ステッチ数は多くなります。(ステッチが重なります)
走りピッチ:	値を低くすると、ピッチが短くなり、より細かい刺しゅうになります。
デザインページの色もぬう (モノクロは設定不可)	チェックを外すと、デザインページと同色の部分の刺しゅうデータは作成されません。 チェックを入れると、作成されます。
縁取りをぬう	チェックを入れると、切り抜き範囲の輪郭線の形の線ぬいを作成できます。
その他の設定	以下の設定を指定したい場合は、このボタンをクリックして、**[その他の設定]** ダイアログボックスを開きます。 **[優先項目]**: **[ぬい品質]**:ぬい上がりの品質を優先してデータが作られます。 **[渡り糸削減]**:渡り糸が少なくなるようにデータが作られます。 **[原画の種類]**: **[写真]**: 糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータが作られます。 **[イラスト]**:糸色を混ぜ合わせないで、データが作られます。 写真などの画像データは **[写真]** を、イラストなどの画像データには **[イラスト]** を選択します。

❸ 明るさ / コントラスト

上のスライダーで、明るさを調整します。 下のスライダーで、コントラストを調整します。	
候補から選択	自動補正された画像を選択できます。このボタンをクリックすると、元の画像を基準として、明るさとコントラストレベルの異なる 9 つのパターンが表示されます。候補を 1 つ選び、**[OK]** をクリックします。 

❹ プレビューの更新

設定を変更後、クリックしてプレビューを更新します。

- **[自動選択]** チェックボックスがチェックされた場合、糸色は **[糸リスト]** セレクターで選択されたリストから自動的に選択されます。糸色が保持されている場合、保持されている色も **[最大糸色数]** ボックスで指定された数に含まれます。
  [自動選択] チェックボックスがチェックされていない場合、**[糸リスト]** セレクターと **[最大糸色数]** ボックスの設定は適用されません。現在のリストに含まれている糸色のみが糸色の割り当てに使用されます。
- 糸色が追加/削除されると、**[自動選択]** チェックボックスのチェックが外れます。追加された糸色を使用しつつ自動的に他の糸色を選択するには、**[自動選択]** チェックボックスをチェックし、更新します。
- 使用する色リストは、糸色の明度が高い順に並んでいます。この順番がぬい順となり、変更はできません。

きれいな写真刺しゅうを作るには

- **[ブラザー糸リスト (フォトステッチ)]** セレクターの **[糸リスト]** を選択すると、実際の刺しゅうの糸色に最も近い色でデータをプレビューできます。このリストは、期待する結果に最も適した配色になります。
  ただし、パソコンの環境によっては色が違って見えることがあります。色を編集して、お使いの糸に対応したユーザー糸リストを作成すると、実際に刺しゅうする糸に最も近い色を表示しながら、データを作成できます。

▶▶ P. 205 の「ユーザー糸リストを作成/編集する」

- 刺しゅうにしたい対象が大きく写っている写真が適しています。人物の場合、顔の部分の大きさを 75×75mm 以上にしてください。
- 明るくはっきりした写真が適しています。逆光や屋内で撮影された写真は、きれいに変換できません。

作ってみましょう 6-4 : フォトステッチ 2

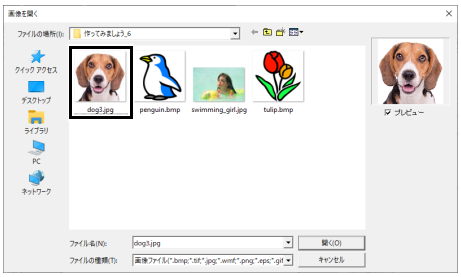
[フォト ステッチ 2] では、**[フォト ステッチ 1]** とは別の方法で、写真から刺しゅうを作ります。写真から刺しゅうを作りますが、ジグザグのぬい目を繰り返したデータになります。**[フォト ステッチ 1]** よりも大まかな表現になりますが、ぬい目の整ったデータを作れます。

ステップ 1	レイアウトセンターに写真データを取り込む
ステップ 2	フォトステッチ 2 ウィザードを起動する
ステップ 3	画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する
ステップ 4	ぬい角度を変更する

ステップ 1 レイアウトセンターに写真データを取り込む

[作ってみましょう _6] フォルダーを選択し、**[dog3.jpg]** を取り込みます。

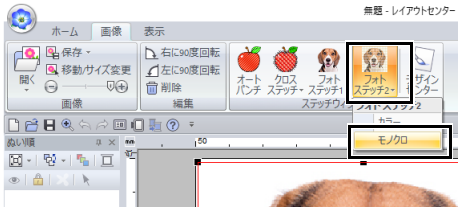
▶▶ P. 143 の「レイアウトセンターに画像データを取り込む」



ステップ 2 フォトステッチ 2 ウィザードを起動する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[ステッチウィザード]** グループで **[フォト ステッチ 2]** をクリックした後、**[モノクロ]** をクリックします。

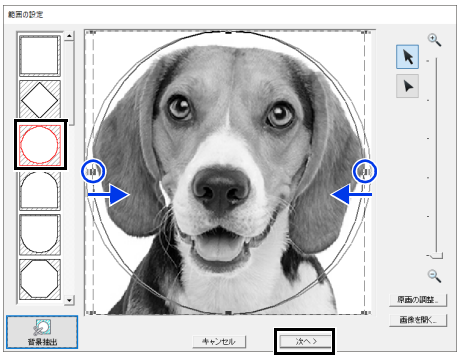


ステップ 3 画像の切り抜き範囲を指定して、サイズと位置を調整する

1 をクリックして切り抜き範囲の形状を選択します。

ハンドルをドラッグしてサイズを調整し、切り抜き範囲をドラッグして位置を調整します。

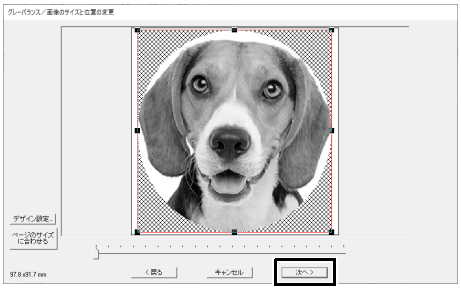
[次へ] をクリックします。



▶▶ P. 158 の「範囲の設定ダイアログボックス」

2 このダイアログボックスで、画像のサイズと位置を調整できます。ここでは、そのまま次の手順に進みます。

［次へ］をクリックします。

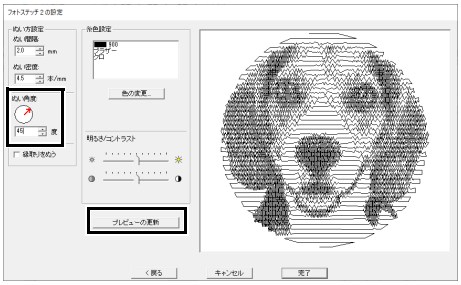


▶▶ P. 161 の「範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」と P. 162 の「グレーバランス／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

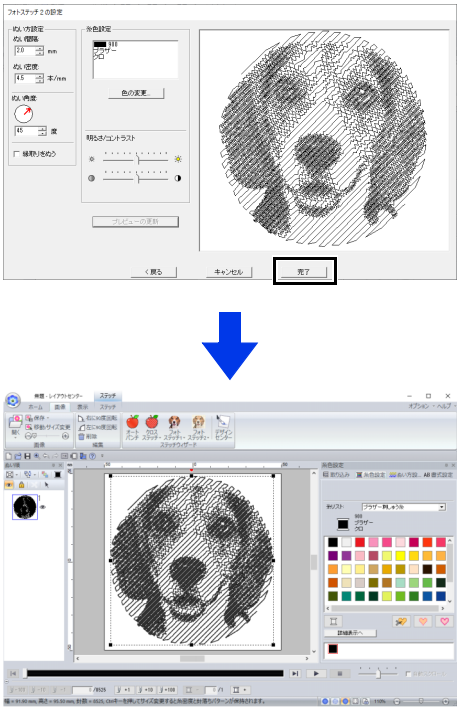
ステップ 4 ぬい角度を変更する

1 **［ぬい角度］**へ「45」と入力します。

2 **［プレビューの更新］**をクリックします。



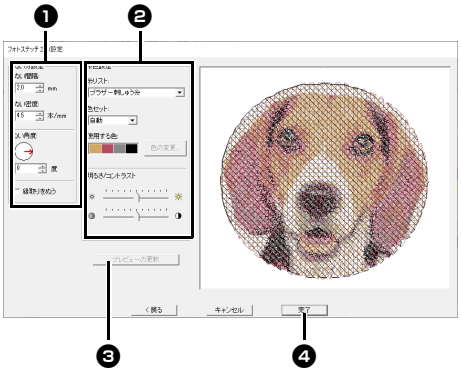
3 **［完了］**をクリックします。



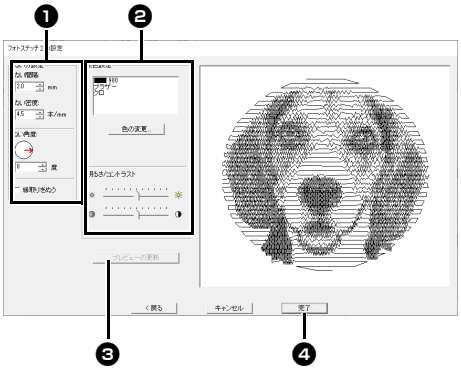
フォトステッチ 2 の詳細設定

フォトステッチ 2 の設定ダイアログボックス

カラーの場合

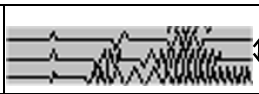
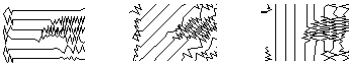


モノクロの場合



[ぬい方設定] ❶ や **[糸色設定]** ❷ を設定し、**[プレビューの更新]** ❸ をクリックして設定結果を確認します。**[完了]** ❹ をクリックして刺しゅうデータに変換します。

❶ ぬい方設定

ぬい間隔	 ぬい間隔
ぬい密度：	低い　高い 
ぬい角度	0°　45°　90 度 
縁取りをぬう	チェックボックスにチェックを入れると、切り抜き範囲の輪郭線の形の線ぬいを作成できます。

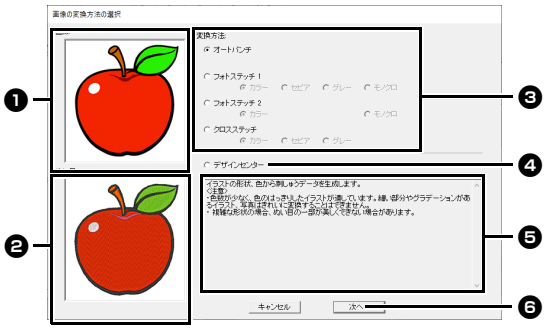
❷ 糸色設定

カラー	
糸リスト	**[糸リスト]** で使用できる糸のブランドを選択できます。
色セット	**[自動]** を選択すると、最も適した 4 色が自動的に選択されます。 または、4 色の組み合わせを選択します。 選択肢の色は、C（シアン）、M（マゼンタ）、Y（イエロー）、K（ブラック）、R（レッド）、G（グリーン）、B（ブルー）です。原画でよく使われている色を次の組み合わせの中から選択します。 色の組み合わせ：CMYK、RGBK、CRYK、BMYK
使用する色	選択された 4 つの糸色を表示します。
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、**[使用する色]** の変更したい色をクリックし、**[色の変更]** をクリックして、**[糸色]** ダイアログボックスを開きます。 色を選択し、**[OK]** をクリックします。 選択した糸色が適用されたプレビューが表示されます。
モノクロ	
色の変更	使用する糸色を変更したい場合は、**[色の変更]** ボタンをクリックして、**[糸色]** ダイアログボックスを開きます。 色を選択して、**[OK]** をクリックします。
カラー／モノクロ	
明るさ／コントラスト	上のスライダーで、明るさを調整します。 下のスライダーで、コントラストを調整します。
プレビューの更新	設定を変更後、クリックしてプレビューを更新します。

ステッチウィザードの詳細説明

ステッチウィザードを起動する

ウィンドウ上部（**[クイックアクセスツールバー]**）の をクリックしてスタートアップウィザードを表示し、**[イラストや写真から作る]** をクリックします。画像が取り込まれると、次のダイアログボックスが表示されます。



❶ **変換前の画像のイメージ**

❷ **変換後の刺しゅうデータのイメージ**

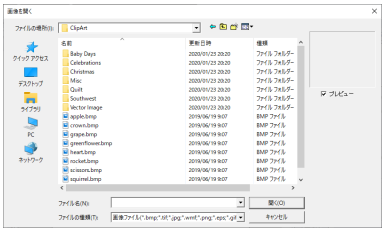
❸ 変換方法を選択します。

❹ デザインセンターを起動して、デザインページに画像を取り込みます。

❺ **変換方法の説明**

❻ クリックして、次のステップに進みます。

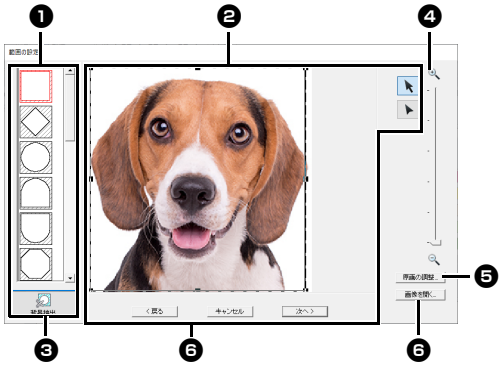
画像が取り込まれていない場合は、**[画像を開く]** ダイアログボックスが表示されます。



切り抜き範囲の指定と画像の調整について

■範囲の設定ダイアログボックス

どの変換方法を選択しても、**[範囲の設定]** ダイアログボックスが表示されます。



❶ **切り抜き範囲**
選択した形状で画像を切り抜きます。

❷ 切り抜き範囲は変形または再配置できます。実行する操作に適したツールを選択してください。

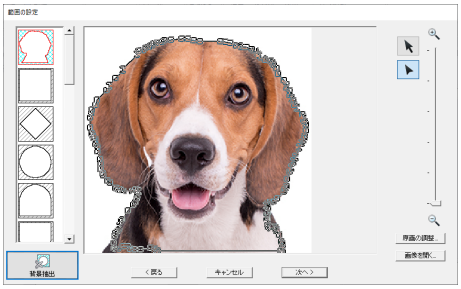
：ハンドルをドラッグして、切り抜き範囲を拡大／縮小します。切り抜き範囲をドラッグして、位置を調整します。

：切り抜き範囲を任意の形にするときは、ポイントを挿入／移動／削除して切り抜き範囲の形を調整します。
切り抜き範囲の輪郭線をクリックすると、ポイントを挿入できます。ポイントを移動するには、ポイントを選択してドラッグします。ポイントを削除するときは、ポイントを選択して、＜ Delete ＞キーを押します。

画像が小さい場合、切り抜き範囲のサイズを小さくできないことがあります。

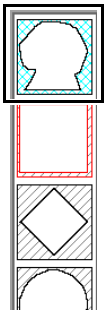
❸ クリックして画像の輪郭を検出します。検出された輪郭は編集できます。

▶▶ P. 160 の「画像の切り抜き範囲を調整する」



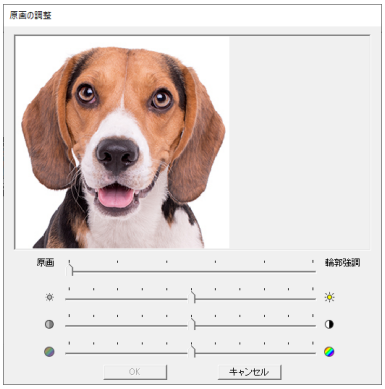
で編集した切り抜き範囲や、**［背景抽出］**をクリックして作成した切り抜き範囲は、リスト上部に追加されます。次回、ステッチウィザードを使用してパターンを作成したときに、この切り抜き範囲を選択できます。最大 5 つの図形が追加され、直前に使用した順に並べられます。

追加された切り抜き範囲は、どのステッチウィザードでも表示されます。



❹ **ズーム**

❺ **［原画の調整］**ボタンをクリックすると、**［原画の調整］**ダイアログボックスが表示されます。



- **［輪郭強調］**スライダーで、原画の輪郭を強調する割合を調整します。**［輪郭強調］**に近く設定するほど、明るい部分と暗い部分の境界が明確になります。
- **［明るさ］**スライダーで、原画の明るさを調整します。
- **［コントラスト］**スライダーで、原画のコントラストを調整します。
- **［彩度］**スライダーで、画像の彩度を調整します。

❻ **［画像を開く］**をクリックして、画像を置き換えることができます。**［画像を開く］**ダイアログボックスが表示されます。任意のファイルを選択します。

次のステップは、変換する色によって、操作が異なります。

▶▶ P. 161 の「範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

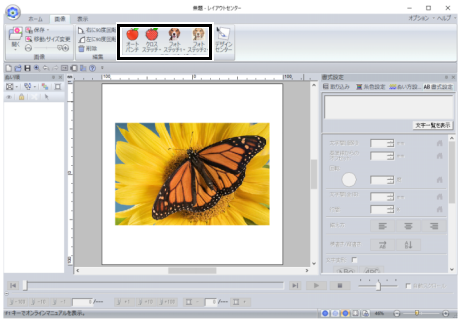
▶▶ P. 162 の「グレーバランス／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス」

■画像の切り抜き範囲を調整する

画像を正確にトレースして、出力することができます。（アドバンスドイメージトレース）

検出した輪郭を編集します。

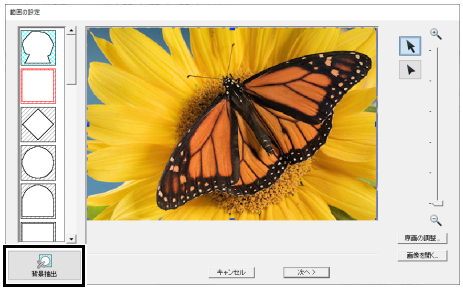
1 **［オート パンチ］**、**［クロスステッチ］**、**［フォト ステッチ 1］**または**［フォト ステッチ 2］**を選択します。



2 または をクリックし、画像の切り抜き範囲を設定します。

▶▶ P. 158 の「切り抜き範囲の指定と画像の調整について」

3 **［背景抽出］**をクリックします。

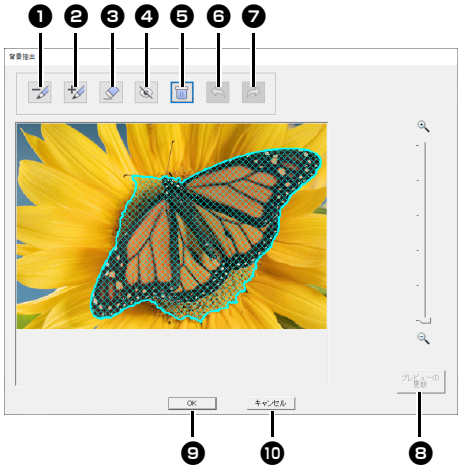


→ 自動検出された画像の切り抜き範囲が表示されます。

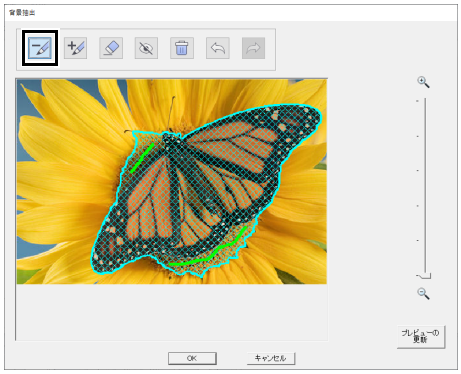
抽出したい部分を画像の切り抜き範囲で囲み、**［背景抽出］**を押すと、切り抜きの精度が高くなります。

4 画像の切り抜き範囲を調整します。

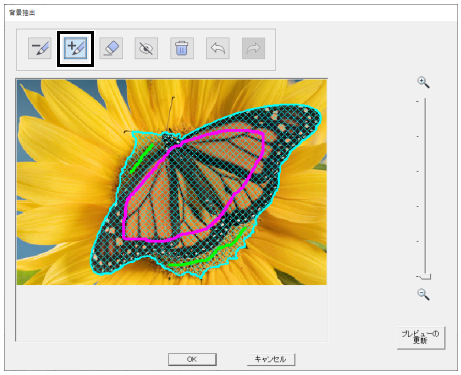
画像の切り抜き範囲の輪郭は太い青色の線で示され、画像の切り抜き範囲の内側は青色の格子線で塗りつぶされています。



❶ 抽出不要な領域を黄緑色のペンで描いて、領域を削除します。



❷ 抽出が必要な領域をピンク色のペンで描いて、領域を追加します。



❸ ペン ❶ または ❷ で描いた線をなぞると、削除できます。

❹ ペン ❶ または ❷ で描いたすべての線を非表示にします。

❺ すべての線を削除します。

❻ 直前の操作を取り消して画像の切り抜き範囲を前の状態に戻します。

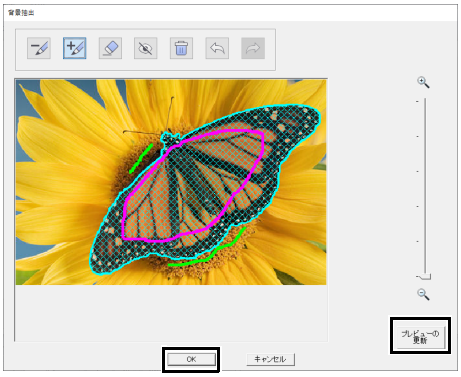
❼ 元に戻した直前の操作をやり直します。

❽ 現在描画されているペンの線に応じて画像の切り抜き範囲を更新します。

❾ クリックして画像の切り抜き範囲を適用します。

❿ クリックして **[範囲の設定]** ダイアログボックスに戻ります。

5 **[プレビューの更新]** をクリックして、調整された領域を確認し、**[OK]** をクリックします。

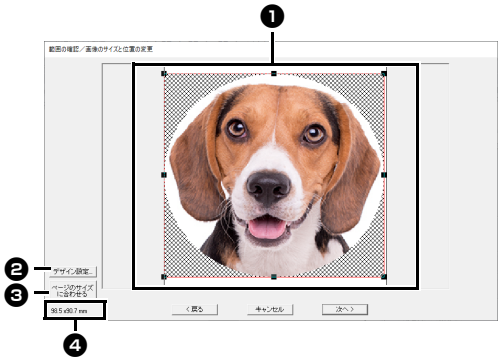


- 画像を切り抜く領域を追加または削除する場合、領域全体をペンマークで完全に塗りつぶす必要はありません。
- 適切な切り抜き範囲が得られるまで、ペンで繰り返し線をひいて、プレビューを更新することをお勧めします。

■範囲の確認／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス

[フォト ステッチ 1]、[フォト ステッチ 2] または [クロスステッチ] で、カラー、セピア または グレーが選択された場合、または [オート パンチ] が選択された場合：

次のダイアログボックスが表示されます。



❶ 画像の位置とサイズを調整します。画像を移動先までドラッグします。
ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

❷ **[デザイン設定]** をクリックすると、**[デザイン設定]** ダイアログボックスが表示され、デザインページサイズを変更することができます。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

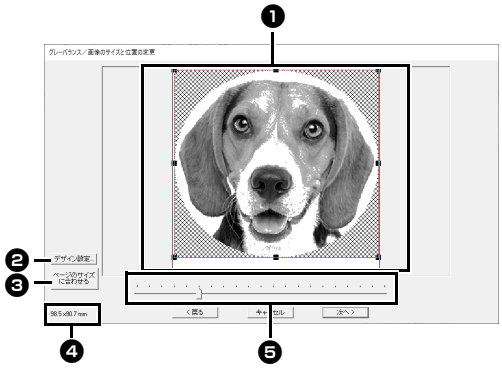
❸ **[ページのサイズに合わせる]** をクリックすると、切り抜き範囲の画像がデザインページサイズの大きさに調整されます。

❹ **刺しゅうのサイズ**

■グレーバランス／画像のサイズと位置の変更ダイアログボックス

［フォト ステッチ 1］または［フォト ステッチ 2］に対して［モノクロ］が選択された場合：

次のダイアログボックスが表示されます。



❶ 画像の位置とサイズを調整します。画像を移動先までドラッグします。
ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

❷ **［デザイン設定］**をクリックすると、デザイン設定ダイアログが表示され、デザインページサイズを変更することができます。**［デザイン設定］**ダイアログボックスで、コマをクリックします。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

❸ **［ページのサイズに合わせる］**をクリックすると、切り抜き範囲の画像がデザインページサイズの大きさに調整されます。

❹ **刺しゅうのサイズ**

❺ スライダーをドラッグして、グレーバランスを調整します。

デザインセンターに取り込む

レイアウトセンターで取り込んだ画像を使って、デザインセンターで刺しゅうデータを作ります。

1 **［画像］**タブをクリックします。

2 **［ステッチウィザード］**グループの**［デザインセンター］**をクリックします。



→ デザインセンターが起動し、画像が取り込まれたデザインページが表示されます。

▶▶ P. 241 の「デザインセンターの基本的な使い方」と P. 254 の「輪郭線画ステージ」

画像データを取り込む

ステッチウィザードで使う原画として、マニュアルパンチの下絵として、また、「印刷と刺しゅうの組み合わせ」機能でデザインするときのアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する背景画像として画像を取り込みます。

画像の取り込み方は、次の 3 つの方法があります。

- ファイルから
- スキャナーから（TWAIN 機器）
- クリップボードから

デザインページに取り込める画像は 1 つです。別の画像を取り込むと、それまで表示されていた画像と置き替えられます。

■画像ファイルの形式について

次の形式のファイルを取り込むことができます。

Windows ビットマップ（.bmp）、Exif （.tif、.jpg）、Windows メタファイル（.wmf）、Portable Network Graphics （.png）、Encapsulated PostScript （.eps）、GIF （.gif）

- .wmf（Windows メタファイル）、.emf（Enhanced Metafile）、.svg（Scalable Vector Graphics）ファイル形式のベクトル画像データは、対応していない情報を除き、そのまま図形データに変換できます。

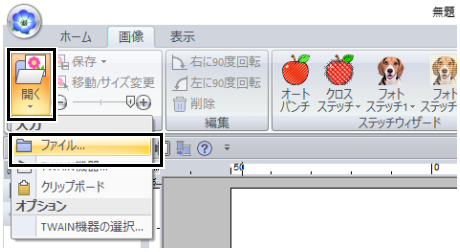
▶▶ P. 105 の「ベクトル画像（WMF ／ EMF ／ SVG）を刺しゅうデータに変換する」

- EPS 画像ファイルが「プレビュー」画像を含んでいない場合は、EPS ファイルの画像は正しく表示されません。EPS 形式のファイルを作る際には、必ず、プレビュー画像を含んで保存してください。

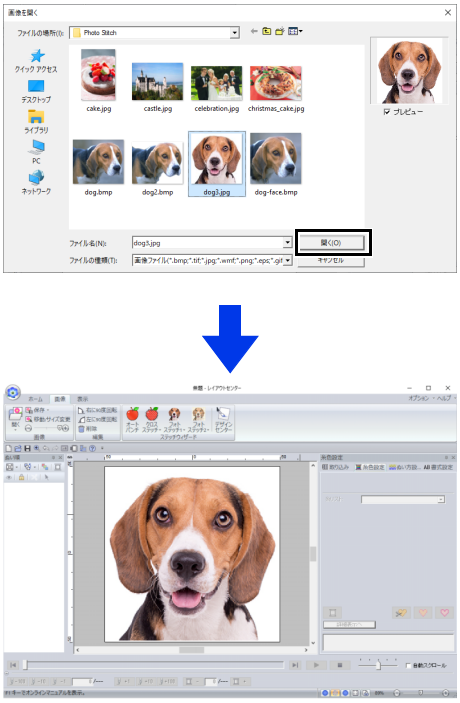
ファイルから画像データを取り込む

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループで **[開く]** をクリックした後、**[ファイル]** をクリックします。



3 フォルダー、ファイル名を選択します。**[開く]** をクリックします。

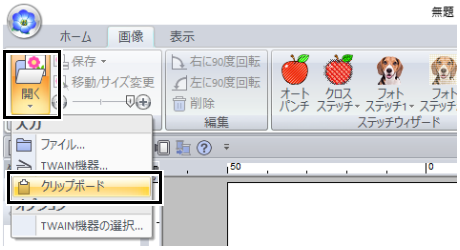


- **[プレビュー]** チェックボックスがチェックされていると、選択したファイルの内容が **[プレビュー]** 領域に表示されます。
- このソフトウェアには、いろいろな素材のサンプル画像が付属されています。次の **[ClipArt]** フォルダーにあります。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥Library￥ClipArt

クリップボードから画像データを取り込む

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループで **[開く]** をクリックした後、**[クリップボード]** をクリックします。



→ デザインページにクリップボードの画像が表示されます。

この機能は、クリップボードに画像がコピーされていないときは使えません。

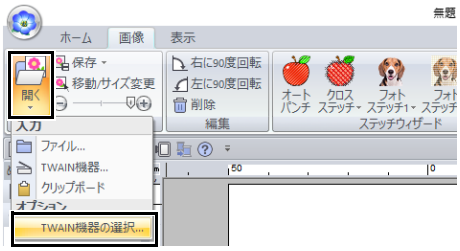
スキャナーから画像データを取り込む（TWAIN 機器）

TWAIN とは、スキャナーなどを制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス（API）の標準規格です。

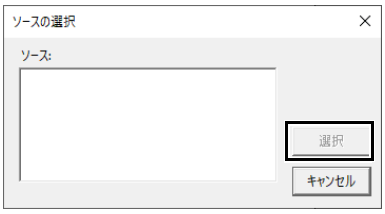
1 スキャナーなどの TWAIN 機器が、パソコンに正しく接続されていることを確認します。

2 **[画像]** タブをクリックします。

3 **[画像]** グループで **[開く]** をクリックした後、**[TWAIN 機器の選択 ...]** をクリックします。



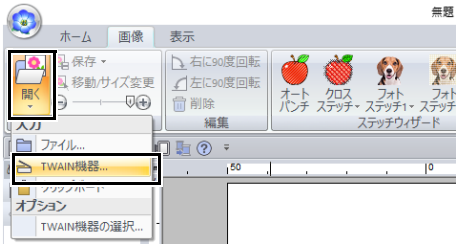
4 **[ソース]** リストから、使う機器を選択してクリックします。**[選択]** をクリックします。



TWAIN 機器のドライバーがインストールされていない場合、**[ソース]** リストには何も表示されません。TWAIN 機器のドライバーをインストールしてください。

5 **[画像]** タブをクリックします。

6 **[画像]** グループで **[開く]** をクリックした後、**[TWAIN 機器から]** をクリックします。



→ ソースの選択ダイアログボックスで選択した機器のインターフェイスが表示されます。

7 画像の取り込みに必要な設定を指定し、画像を取り込みます。

TWAIN 機器の使い方については、その機器のヘルプマニュアルをご覧になるか、その機器の製造元にお問い合わせください。

→ 取り込んだ画像が、デザインページに貼り付けられます。

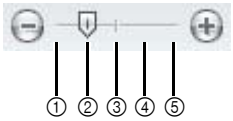
画像の各設定を変更する

画像の表示濃度を変更する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 スライダーをドラッグするか、**[画像]** グループで ⊖ または ⊕ をクリックします。





① 非表示
② 25%
③ 50%
④ 75%
⑤ 100%

ショートカットキー＜ **F6** ＞で、**表示（100%）**、**75%**、**50%**、**25%** および**非表示**を切り替えることができます。

画像のサイズや角度、位置を調整する

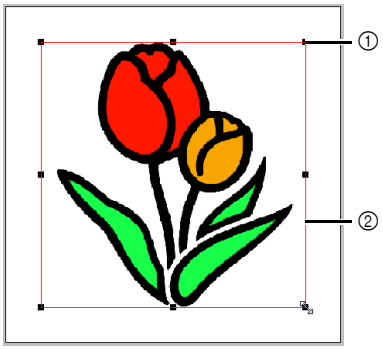
■画像データを選択する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループの **[移動 / サイズ変更]** をクリックします。



→ 画像が選択され、以下のように表示されます。



① ハンドル
② 赤い線

ステータスバーに、画像のサイズ（幅と高さ）が表示されます。

■画像データを移動する

選択した画像データを移動先までドラッグします。

■画像データを拡大／縮小する

ハンドルをドラッグして、画像のサイズを調整します。

＜ **Shift** ＞キーを押しながらハンドルをドラッグすると、画像の中心から拡大／縮小されます。

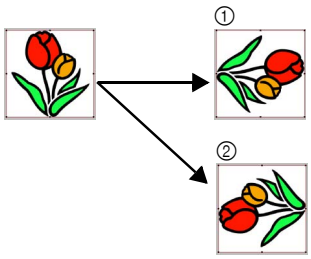
■画像データを回転する

画像を 90 度ずつ回転できます。

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループの **[右に 90 度回転]** または **[左に 90 度回転]** をクリックします。





① 右に 90 度回転
② 左に 90 度回転

■画像データを削除する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[編集]** グループの **[削除]** をクリックします。



画像を選択して**< Delete >**キーを押すことでも削除できます。

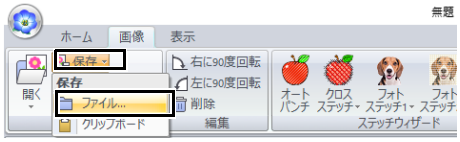
▶▶ P. 165 の「画像のサイズや角度、位置を調整する」

画像データを保存する

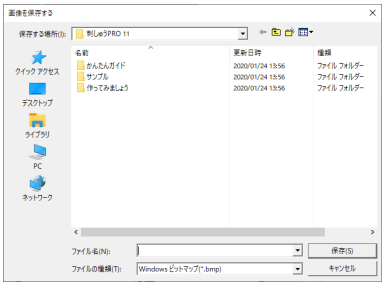
■ファイルとして保存する

1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループで **[保存]** をクリックした後、**[ファイル]** をクリックします。



3 保存先のフォルダー、ファイルの種類を選択します。ファイル名を入力します。**[保存]** をクリックします。

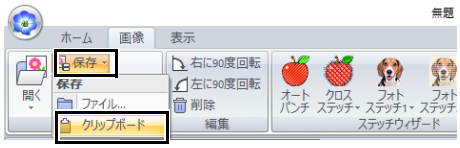


画像データは、以下のいずれかの形式で保存できます。Windows ビットマップ（.bmp）、JPEG ファイル（.jpg）

■クリップボードに出力する

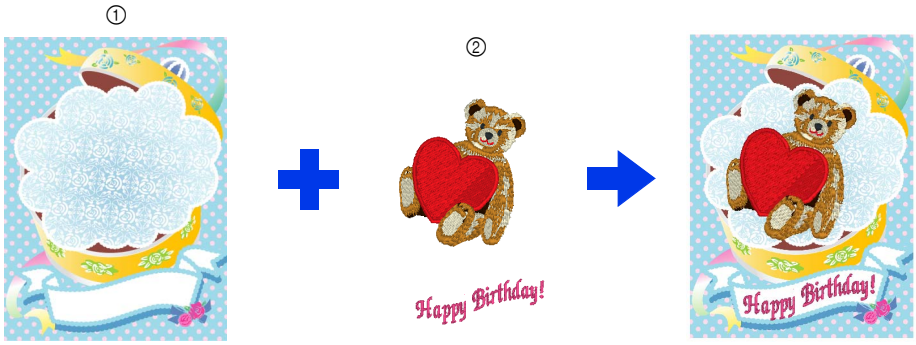
1 **[画像]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループで **[保存]** をクリックした後、**[クリップボード]** をクリックします。



作ってみましょう 7 : 印刷と刺しゅうを組み合わせる

背景画像と刺しゅうデータを組み合わせて、作品を作ってみましょう。



① 背景画像を布に印刷
② 刺しゅうする

ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _7 にあります。

ステップ 1	背景画像と組み合わせてデザインする
ステップ 2	背景画像を印刷する
ステップ 3	位置合わせシートを印刷する
ステップ 4	刺しゅうする

ステップ 1 背景画像と組み合わせてデザインする

ここでは、このソフトウェアに付属されているギフトボックス画像（Bear_Background.jpg）と熊の刺しゅうデータ（tutorial_7_Bear.pes）を使います。

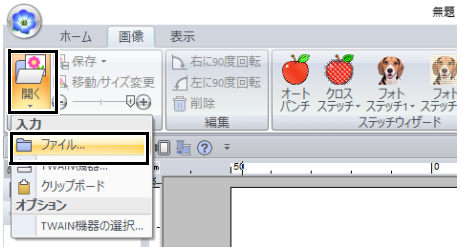
1 レイアウトセンターを起動します。

デザインページのサイズを 130 × 180 mm に設定します。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

2 **［画像］**タブをクリックします。

3 **［画像］**グループで **［開く］**をクリックした後、**［ファイル］**をクリックします。



4 **［Bear_Background.jpg］**を取り込みます。

［ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _7］フォルダーを選択し、Bear_Background.jpg を選択します。

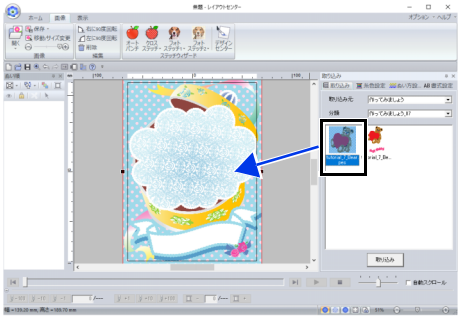


▶▶ P. 163 の「画像データを取り込む」

5 **［取り込み］**ウィンドウを表示します。

6 **[tutorial_7_Bear.pes]** を取り込みます。

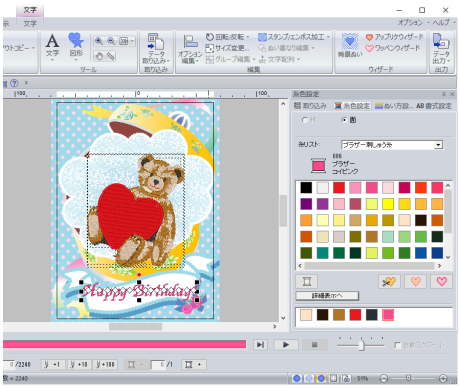
[取り込み元] から **[作ってみましょう]** を選び、**[分類]** から **[作ってみましょう _07]** を選びます。**[tutorial_7_Bear.pes]** をデザインページにドラッグします。



▶▶ P. 102 の「刺しゅうデータを取り込む」

7 文字を入力します。

内蔵フォント **[No. 30]** と糸色 **[コイピンク]** を選択します。
「Happy Birthday!」と入力します。



▶▶ P. 117 の「文字を入力する」

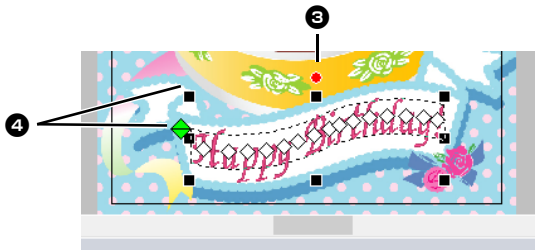
8 文字データを画像のデザインに合わせて変形させます。

❶ **[書式設定]** タブをクリックします。

❷ **[文字変形]** チェックボックスをチェックし、ABC をクリックします。



❸ 回転ハンドルをドラッグして、角度を調整します。



❹ ◆やハンドルをドラッグして、サイズを調整します。

▶▶ P. 122 の「文字データを変形させる」と P. 41 の「刺しゅうデータを回転する」

9 デザインが完成したら、ミシンで使えるように刺しゅうデータを転送します。

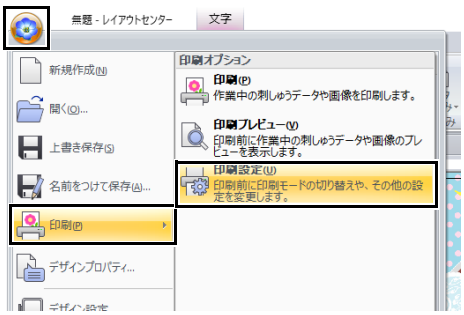
▶▶ 保存方法について詳しくは、P. 107 の「保存する」を参照してください。

転送方法について詳しくは、P. 214 の「刺しゅうデータをミシンへ転送する」を参照してください。

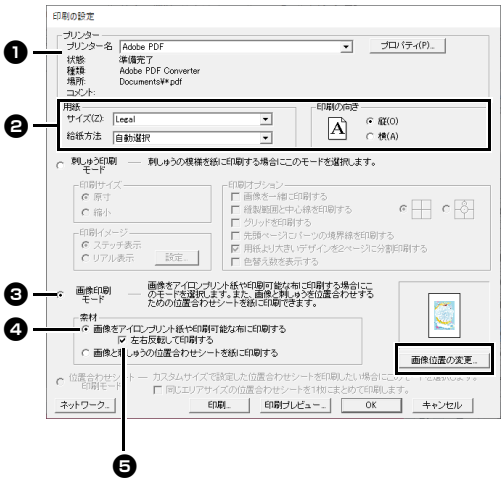
ステップ 2 背景画像を印刷する

背景の画像をアイロンプリント紙または印刷可能な布に印刷します。

1 → **[印刷]** → **[印刷設定]** をクリックします。



2 印刷の設定をします。



❶ 印刷するプリンターを選択します。

❷ 印刷するアイロンプリント紙または布に合わせて、**[用紙]** と **[印刷の向き]** の設定を選択します。

❸ **[画像印刷モード]** を選択します。

❹ **[画像をアイロンプリント紙や印刷可能な布に印刷する]** を選択します。

❺ 反転印刷が必要なアイロンプリント紙に印刷するときは、**[左右反転して印刷する]** チェックボックスをチェックします。
プリンターによっては、用紙選択で「アイロンプリント紙」を選択すると印刷時にプリンター側で自動的に反転印刷するものがあります。そのようなプリンターを使う場合は、**[左右反転して印刷する]** チェックボックスのチェックを外してください。
詳しくは、お使いのプリンターの取扱説明書を参照してください。

3 **[画像位置の変更]** をクリックします。

4 画像の位置を確認します。



画像が印刷領域からはみ出ている場合は、画像をドラッグして位置を調整します。

5 **[OK]** をクリックします。

6 **[印刷]** をクリックします。

[印刷プレビュー] をクリックすると、印刷イメージを確認できます。

7 **[印刷設定]** ダイアログボックスで設定を行い、**[OK]** をクリックします。

▶▶ P. 108 の「印刷する」

→ 印刷が始まります。



アイロンプリント紙または印刷可能な布の印刷については、アイロンプリント紙または布に付属の説明書を確認してください。

ステップ 3 位置合わせシートを印刷する

画像と刺しゅうの位置を合わせるためのシートを印刷します。

1 印刷の設定をします。



❶ 印刷する用紙に合わせて、**[用紙]** と **[印刷の向き]** の設定を選択します。

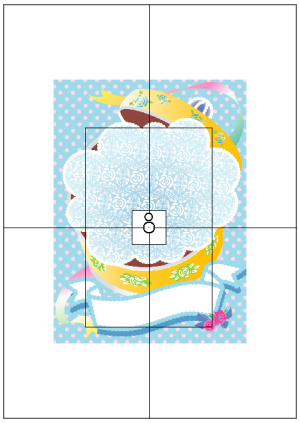
❷ **[画像と刺しゅうの位置合わせシートを紙に印刷する]** を選択します。

2 **[印刷]** をクリックします。

3 **[印刷設定]** ダイアログボックスで設定を行い、**[OK]** をクリックします。

▶▶ P. 108 の「印刷する」

→ 印刷が始まります。



[印刷プレビュー] をクリックすると、印刷イメージを確認できます。

ステップ 4 刺しゅうする

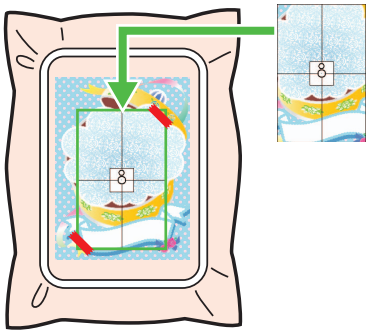
1 アイロンプリント紙に印刷した場合は、画像を布に転写します。

アイロンプリント紙の転写については、アイロンプリント紙に付属の説明書を確認してください。

2 刺しゅう枠に布地を張ります。



3 背景画像と刺しゅうを合わせるため、布地の画像に合わせて位置合わせシートを布地に貼ります。



- 位置合わせシートが大きいときは、位置合わせがしやすいように適当なサイズに切ってください。
- 位置合わせシートがずれないように、テープで布に固定してください。

4 ミシンに刺しゅう枠をセットします。

位置合わせシートがずれないよう注意してください。

5 針位置を位置合わせシートの中心のマークに合わせます。

- ミシンに内蔵カメラがある場合、開始位置合わせボタンを押すと、位置合わせマークが検出され、刺しゅう位置が自動的に調整されます。
- 他のミシンの場合、位置を手動で調整します。

6 針位置を合わせたら、位置合わせシートを取り除きます。

7 ミシンをスタートして縫製します。



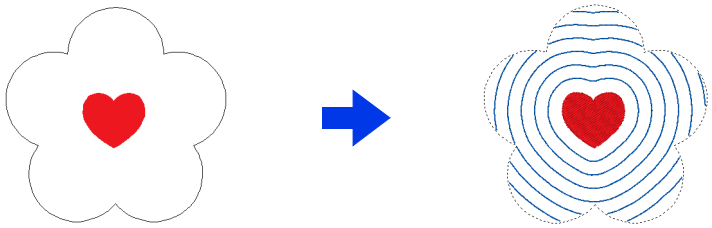
- ミシンの使い方については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- 次のフォルダーに、背景画像と刺しゅうを組み合わせたサンプルデータが用意されています。ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥サンプル￥レイアウトセンター￥印刷と刺しゅうの組み合わせ

レイアウトセンターを使いこなす

マニュアルパンチで作る刺しゅうデザインや、
アップリケ、ワッペン、大型模様の作り方など、
応用的な使い方について説明します。

作ってみましょう 8 : データの周りを刺しゅうで囲む

背景ぬい機能を使用してデータの周りの領域を設定し、刺しゅうでその領域を囲むことができます。
ここでは、エコーキルトデータを作ってみましょう。



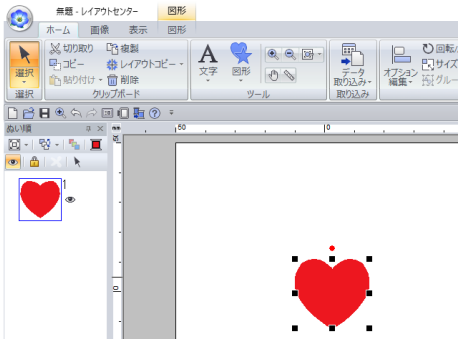
ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _8 にあります。

ステップ 1	データを作る
ステップ 2	背景ぬい模様を追加する

ステップ 1 データを作る

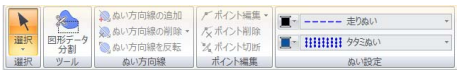
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 中心に配置するデータを描きます。

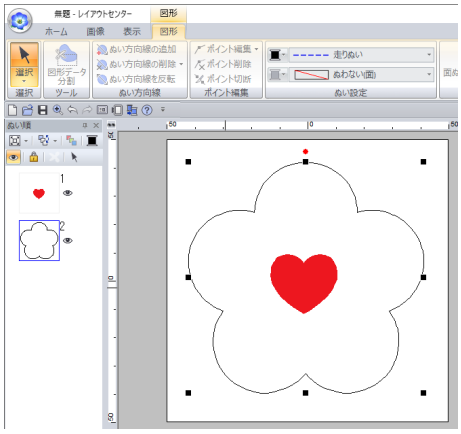


データがデザインページの外に出ていると、この機能は使用できません。データの位置に注意してください。

3 最初に配置したデータの周りに、刺しゅうで囲む領域を設定するためのデータを追加します。ここでは、線の糸色を **[クロ]** に、面の糸色を **[アオ]** に設定します。



4 **[面のぬい方]** セレクターから **[ぬわない (面)]** を選択します。



- 背景ぬいウィザードでは、デザインページ上で刺しゅう模様がない領域に、背景ぬい模様を追加することができます。
- 背景ぬい模様の糸色は、図形データに現在設定されている面の糸色になります。
- 背景ぬい模様をお好みの形状にしたい場合は、以下のような図形データをあらかじめ配置してください。
  - ♦ 面のぬい方を **[ぬわない (面)]** に設定
  - ♦ 線のぬい方を **[ぬわない (線)]** 以外に設定

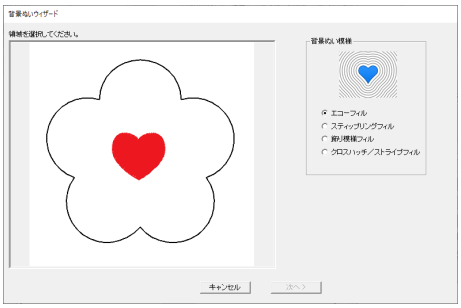
ステップ 2 背景ぬい模様を追加する

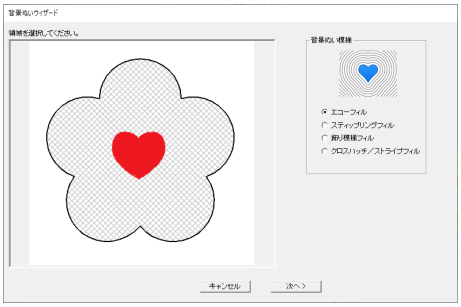
1 すべてのデータを選択します。

2 **［ウィザード］**タブの **［背景ぬい］**をクリックします。

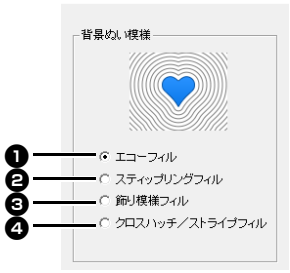


3 領域をクリックして選択します。





4 **［背景ぬい模様］**の下の **［エコーフィル］**を選択して **［次へ］**をクリックします。



❶ エコーキルトデータを作成して領域を囲みます。



❷ スティップリングデータを作成して領域を囲みます。

▶▶ P. 177 の「スティップリングフィル」



❸ 飾り模様ぬいデータを作成して、領域を塗りつぶします。

▶▶ P. 177 の「飾り模様ぬい」

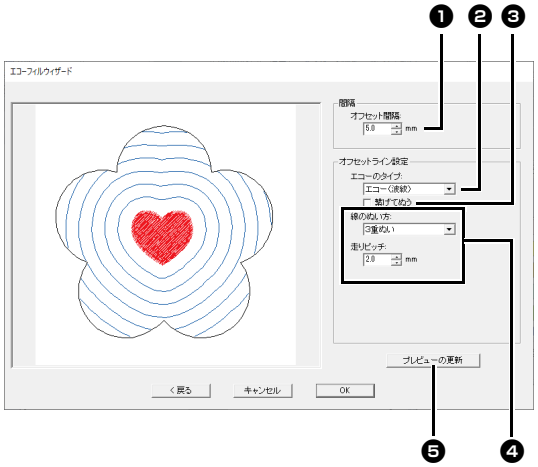


❹ クロスハッチ／ストライプデータを作成して領域を囲みます。

▶▶ P. 178 の「クロスハッチ／ストライプフィル」

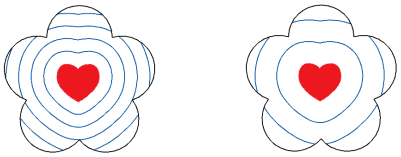


5 背景ぬい模様の設定を指定して、**[OK]** をクリックします。



❶ 内側のデータからの距離とエコーデータの間のスペースを設定します。

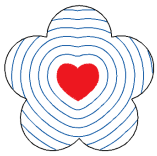
→ ここでは、5.0mm に設定します。



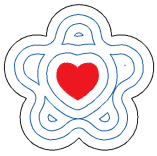
7.0 mm　　12.0 mm

❷ エコーキルトデータの種類を選択します。

→ ここでは、**[エコー (波紋)]** を選択します。



エコー (波紋)
内側のデータは、その輪郭の同心円ぬいのコピーで囲まれています。

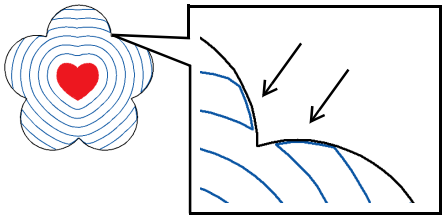


エコー (反射)
内側のデータと外側のデータの間の領域は、2 つのデータの輪郭から形成された同心円形状で囲まれています。

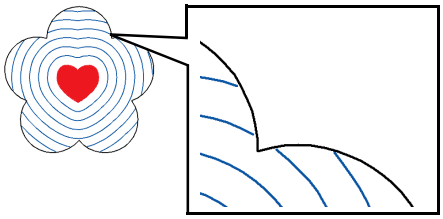
❸ チェックボックスをチェックすると、エコーデータの端をつなぎます。
この設定は、**[エコーのタイプ]** に対して **[エコー (波紋)]** が選択されている場合にのみ使用できます。

→ ここでは、チェックボックスのチェックを外します。

チェックを入れる

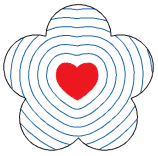


チェックを外す



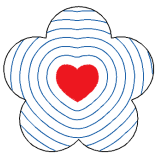
❹ データのぬい方の種類とぬい方設定を指定します。

→ ここでは、**[3 重ぬい]** を選択します。



走りぬい
[走りピッチ] と **[走り回数]** の設定を指定できます。

▶▶ P. 375 の「走りぬい」



3 重ぬい
[走りピッチ] の設定を指定できます。

▶▶ P. 375 の「3 重ぬい」



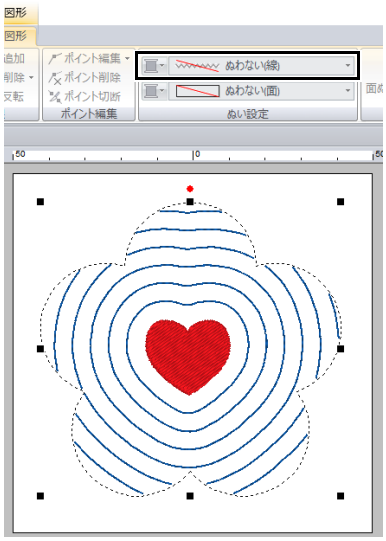
チェーンステッチ
[ぬいのタイプ] と **[大きさ]** の設定を指定できます。

▶▶ P. 379 の「チェーンステッチ」

❺ クリックするとプレビューが更新されます。

6 **[OK]** をクリックします。

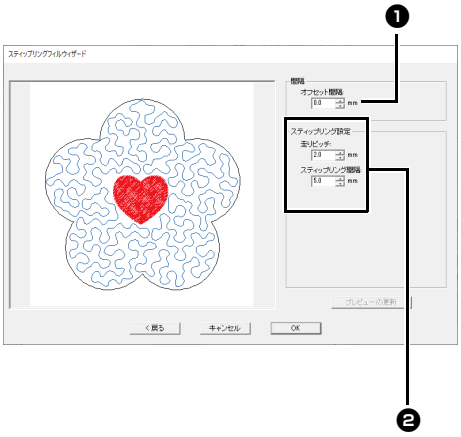
7 「データを作る」の手順 **3** で追加したデータを選択し、**[線のぬい方]** セレクターから **[ぬわない (線)]** を選択します。



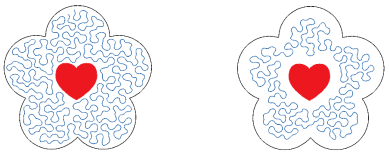
背景ぬい模様の設定を指定する

背景ぬい模様の設定を指定する

■スティッププリングフィル



❶ データ間の間隔を指定します。

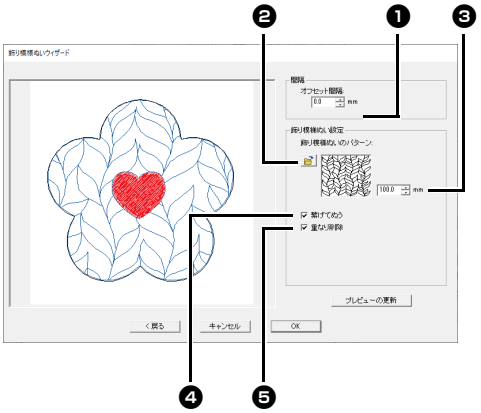


1.0 mm　　7.0 mm

❷ スティップリングの詳細なぬい方設定を指定する

▶▶ P. 390 の「スティップリング」

■飾り模様ぬい



❶ データ間の間隔を指定します。

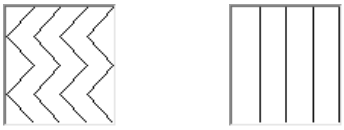
❷ をクリックして飾り模様ぬいデータを選択します。

❸ 飾り模様ぬいデータのサイズを指定します。

❹ このチェックボックスをチェックすると、データの端が走りぬいと繋がります。

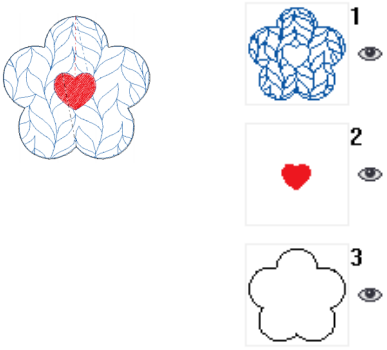
▶▶ P. 392 の「飾り模様ぬい」

次のように、上下または左右に接続されていないデータでは、このチェックボックスをチェックして渡り糸を減らします。

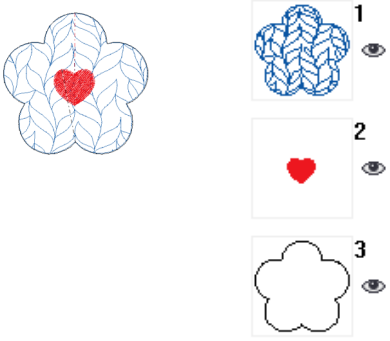


❺ このチェックボックスをチェックすると、背景の一部が内側のデータと重なりません。
このチェックボックスのチェックを外すと、作成したステッチを最初にぬい、次に重複するデータをぬいます。

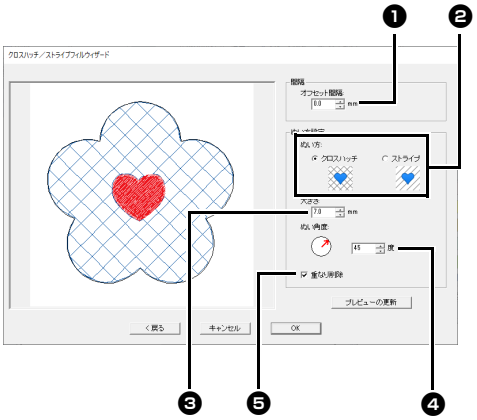
チェックを入れる



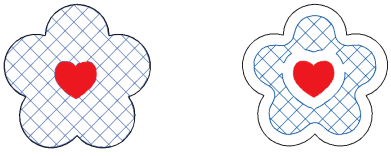
チェックを外す



■ クロスハッチ／ストライプフィル

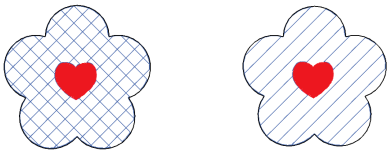


❶ データ間の間隔を指定します。



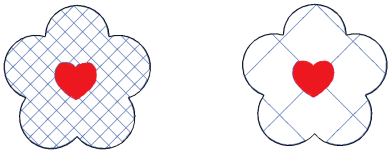
0.0 mm　　6.0 mm

❷ フィルタイプを選択します。



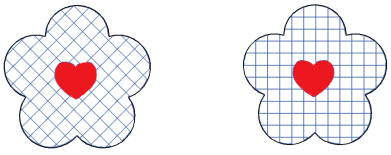
クロスハッチ　　ストライプ

❸ データのサイズ（もしくは行間）を指定します。



7.0 mm　　30.0 mm

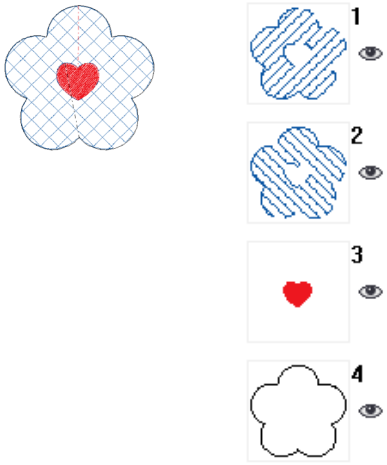
❹ パターンの角度を設定します。



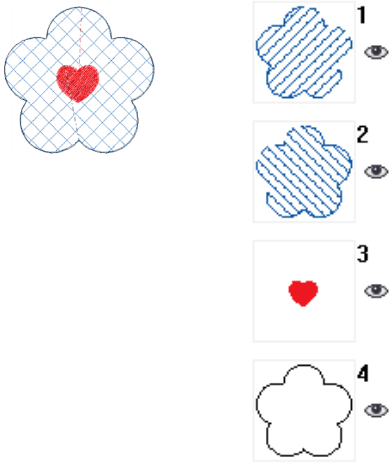
45°　　90°

❺ このチェックボックスをチェックすると、背景の一部が内側のデータと重なりません。
このチェックボックスのチェックを外すと、作成したステッチを最初にぬい、次に重複するデータをぬいます。

チェックを入れる



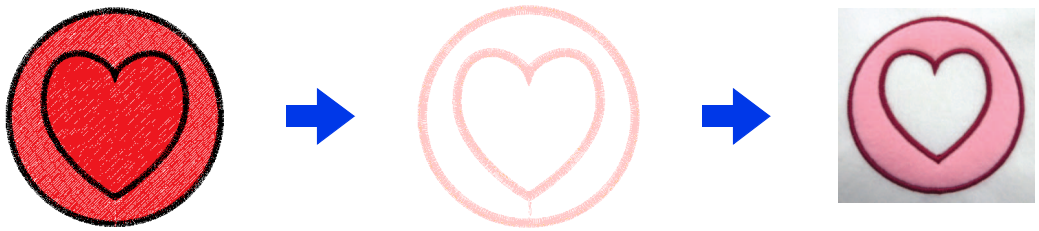
チェックを外す



- 選択した刺しゅう枠の縦または横が 100 mm 未満の場合、この機能は使用できません。
- この機能は、選択した刺しゅう枠が大型枠の場合は使用できません。
- **[名前差替え]** 属性がデータの一部に適用されている場合、この機能は使用できません。

作ってみましょう 9-1：アップリケを作る

アップリケウィザードを使うと、簡単にアップリケデータを作ることができます。ここでは、穴の開いたデザインのアップリケを作ってみましょう。



ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _9 にあります。

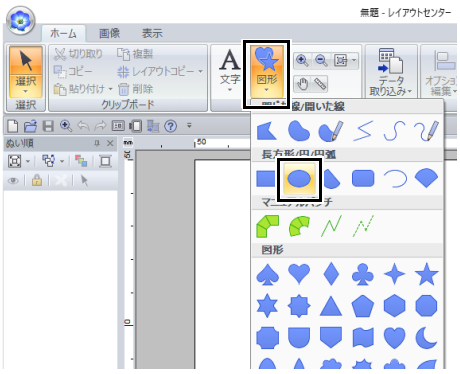
ステップ 1	アップリケ模様を作る
ステップ 2	アップリケウィザードを使う

［名前差替え］設定が適用された文字を含むデータが選択されている場合、アップリケウィザードは使用できません。

ステップ 1 アップリケ模様を作る

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

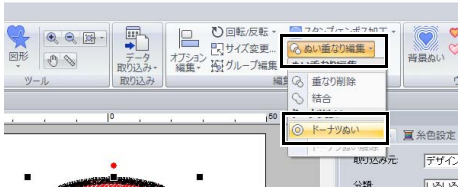
2 **［ツール］**グループで**［図形］**をクリックした後、をクリックします。



3 デザインページ上でカーソルをドラッグして円を描きます。

4 手順 1 および 2 に従ってを選択し、円の上にハートの図形を描きます。

5 2 つのデータを選択し、**［編集］**グループの**［ぬい重なり編集］**をクリックし、**［ドーナツぬい］**を選択してドーナツぬいを適用します。



▶▶ P. 47 の「面ぬいの二重ぬいを防止する（ドーナツぬい）」

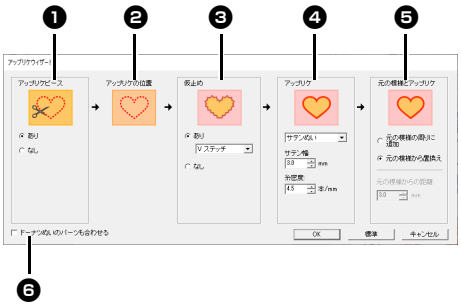
ステップ 2 アップリケウィザードを使う

1 外側のデータを選択し、**［ウィザード］**グループの**［アップリケウィザード］**をクリックして**［アップリケウィザード］**ダイアログボックスを起動します。



必ず外側の図形データを選択してから、**［アップリケウィザード］**を起動してください。

2 以下の順序❶ - ❻ の **[アップリケウィザード]** ダイアログボックスで、設定を指定します。



❶ **アップリケピース**
❷ **アップリケの位置**
❸ **仮止め**
❹ **アップリケ**
❺ **元の模様とアップリケ**
❻ **ドーナツぬいのパーツも合わせる**
[元の模様とアップリケ] の **[元の模様から置換え]** を選択し、ドーナツぬいが適用されたデータを使用している場合、このチェックボックスが表示されます。

すべての設定を標準設定に戻すには、**[標準]** をクリックします。

3 **[アップリケピース]** で、アップリケ布のカットラインを指定します。

カットラインが走りぬいで縫製されます。縫製後、ラインに沿ってハサミで切り取ります。

4 **[アップリケの位置]** は自動的に指定されます。

→ アップリケの位置を示すガイド線がぬわれるように、自動的に設定されます。

5 **[仮止め]** でアップリケの仮止めを指定します。

アップリケをする土台の布の上に仮止めができます。3 つのステッチから 1 つ選択します。

→ この例では、**[あり]** → **[V ステッチ]** を選択します。



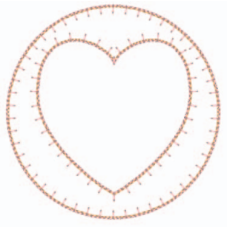
サテンぬい　E ステッチ　V ステッチ

6 **[アップリケ]** でアップリケを固定するぬい目を指定します。アップリケぬいのぬい方と **[サテン幅]**、**[糸密度]** を設定します。

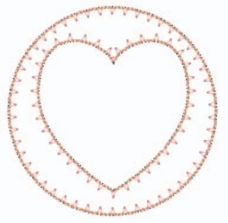
→ この例では、「サテンぬい」を選択してから、**[サテン幅]** を「3.0mm」に、**[糸密度]** を「5.0 本 /mm」に設定します。



サテンぬい
[サテン幅] と **[糸密度]** の設定を指定できます。



E ステッチ
[ストローク]、**[間隔]**、**[ピッチ]** の設定を指定できます。



V ステッチ
[ストローク]、**[間隔]**、**[ピッチ]** の設定を指定できます。



チェーンステッチ
[ぬいのタイプ]、**[大きさ]**、**[ぬいの回数]** の設定を指定できます。

▶▶ **[ストローク]**、**[間隔]**、**[ピッチ]** の設定について詳しくは、P. 378 の「E/V ステッチ」を参照してください。

▶▶ **[ぬいのタイプ]**、**[大きさ]**、**[ぬいの回数]** の設定について詳しくは、P. 379 の「チェーンステッチ」を参照してください。

7 **[元の模様とアップリケ]** で、模様全体の周りにアップリケを追加する（**[元の模様の周りに追加]**）か、アップリケを図形の線に対してぬう（**[元の模様から置換え]**）かを選択します。

→ ここでは、**[元の模様から置換え]** を選択します。

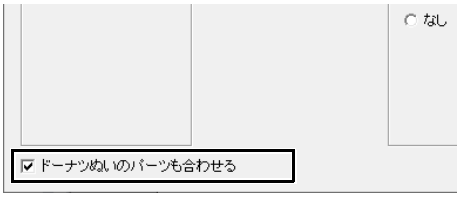


元の模様の周りに追加
[元の模様からの距離] の設定を指定できます。



元の模様から置換え

8 **[ドーナツぬいのパーツも合わせる]** でドーナツぬいを指定します。



穴の開いたデザインのアップリケを作る場合は、チェックを入れます。

→ この例では、このチェックボックスにチェックを入れます。

このチェックボックスは、ドーナツぬいが適用された外側のデータまたは文字データ（内蔵フォント 025 および 029、オリジナルフォント、ミニサイズ文字フォント以外のフォント）のみが選択され、**[元の模様とアップリケ]** の **[元の模様から置換え]** が選択されている場合に表示されます。
※ 一定の条件が満たされている場合、複数の文字データを選択できます。

アップリケピースの図形は、**[ドーナツぬいのパーツも合わせる]** チェックボックスがチェックされているかどうかによって、以下のように表示されます。

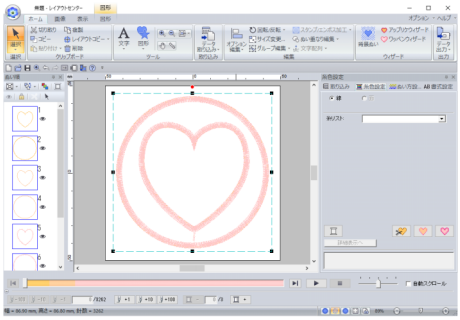
[ドーナツぬいのパーツも合わせる] チェックボックスのチェックを外した場合



[ドーナツぬいのパーツも合わせる] チェックボックスをチェックした場合



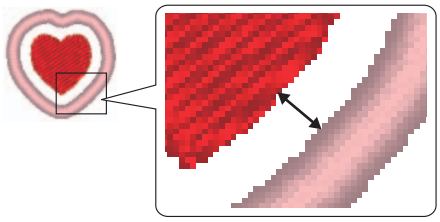
9 **[OK]** をクリックして、[アップリケウィザード] ダイアログボックスを終了します。



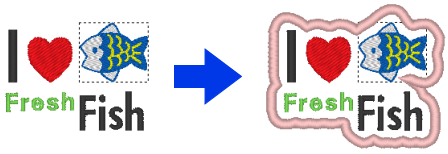
■元の模様とアップリケ設定について

元の模様の周りに追加

- 元の模様の周りにアップリケが作成されます。
- **[元の模様からの距離]** で、元の模様からアップリケまでの距離を指定します。



- これは複数の模様を組み合わせる場合に使用できます。



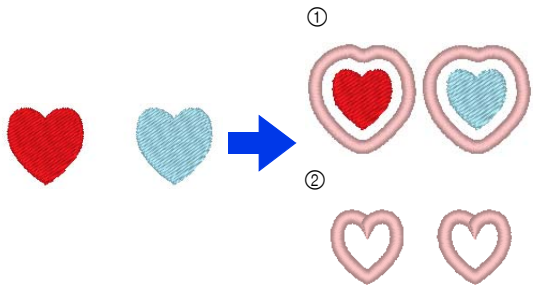
線と面のぬい方が両方 **[ぬわない (線)]** と **[ぬわない (面)]** に設定されている場合など、ステッチデータがない場合は、**[元の模様の周りに追加]** 設定は使用できません。

元の模様から置換え

- 元の模様の輪郭にアップリケが作成されます。
- 元の模様が削除されます。
- 図形データおよび文字データは元の模様として使用できます。ただし、以下のデータは使用できません。
  - 開いた線
  - 交差している閉じた線
  - 内蔵フォント 025 および 029 で作成された文字、オリジナルフォント、またはミニサイズ文字フォント
  - 元の模様に、図形データと文字データの両方が含まれている

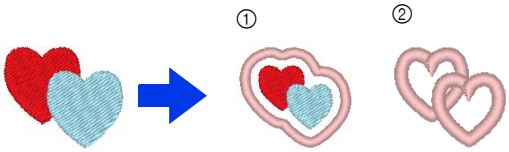
複数の模様が選択されている場合、アップリケは以下のように作成されます。

- 模様が重なっていない場合
  各模様に対してアップリケが作成されます。



① 元の模様の周りに追加
② 元の模様から置換え

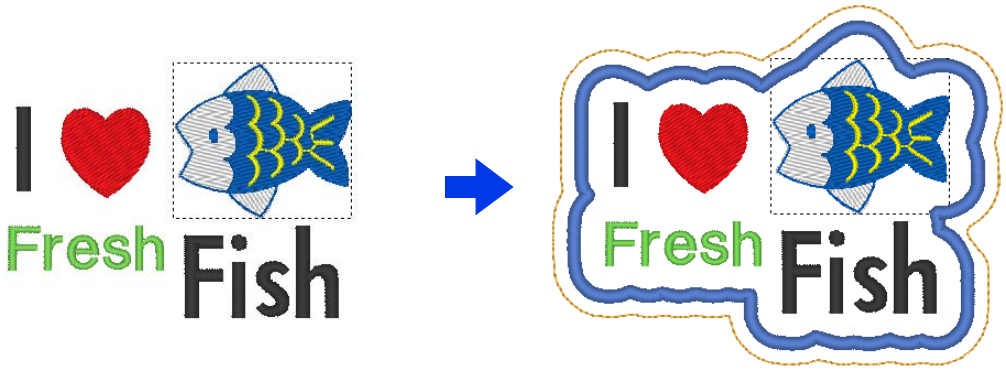
- 模様が重なっている場合
  [元の模様の周りに追加] 設定がオンになっている場合、アップリケはすべての模様の周りの輪郭に対して作成されます。



① 元の模様の周りに追加
② 元の模様から置換え

作ってみましょう 9-2：ワッペンを作る

ワッペンウィザードを使うと、簡単にワッペンを作ることができます。



ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _9 にあります。

ステップ 1	ワッペン模様を作る
ステップ 2	ワッペンウィザードを使用する

［名前差替え］設定が適用された文字を含むデータが選択されている場合、ワッペンウィザードは使用できません。

ステップ 1 ワッペン模様を作る

1 **［図形］**ツールを選択し、ハートを描きます。

▶▶ P. 72 の「各種の図形を描く」

2 デザインライブラリーの **［海］**カテゴリーから魚を取り込みます。

▶▶ P. 102 の「デザインライブラリーから」

3 **［文字］**ツールを選択し、「I」、「Fresh」、「Fish」と入力します。

▶▶ P. 117 の「文字を入力する」

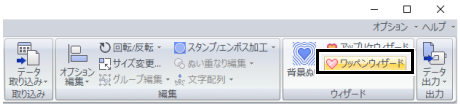
4 各模様を描いて、バランスが取れるように配置します。



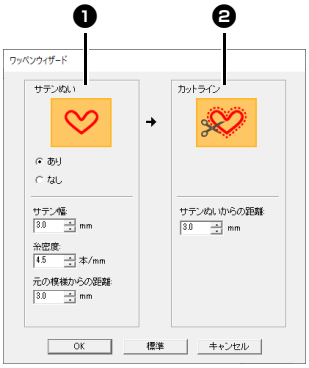
ステップ 2 ワッペンウィザードを使用する

1 すべての模様を選択し、**[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ウィザード]** グループの **[ワッペンウィザード]** をクリックして、**[ワッペンウィザード]** を起動します。



3 以下の順序 ❶ - ❷ の **[ワッペンウィザード]** ダイアログボックスで、設定を指定します。



❶ **サテンぬい**
❷ **カットライン**

[ワッペンウィザード] のすべての設定を標準設定に戻すには、**[標準]** をクリックします。

4 **[サテンぬい]** で、ワッペンの輪郭線を指定します。

→ この例では、**[あり]** を選択し、**[サテン幅]** を「3.0mm」に、**[糸密度]** を「4.5 本 /mm」に、**[元の模様からの距離]** を「5.0mm」に設定します。

- **[あり]** が選択されている場合、**[サテン幅]**、**[糸密度]**、**[元の模様からの距離]** が使用できます。
- **[元の模様からの距離]** を使用して、元の模様と輪郭線の間の距離を指定します。

5 **[カットライン]** で、ワッペンのカットラインを指定します。

カットラインが走りぬいで縫製されます。縫製後、ラインに沿ってハサミで切り取ります。

→ この例では **[サテンぬいからの距離]** を "3.0 mm" に設定します。

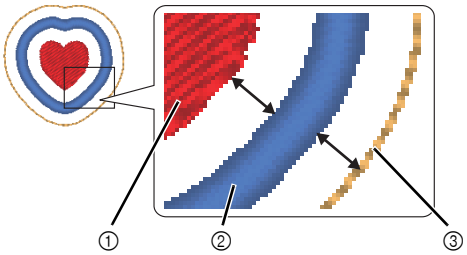
6 **[OK]** をクリックして、**[ワッペンウィザード]** ダイアログボックスを終了します。

- サテンぬいの糸色は、デザインページで指定されている色です。

サテンぬいとカットラインについて

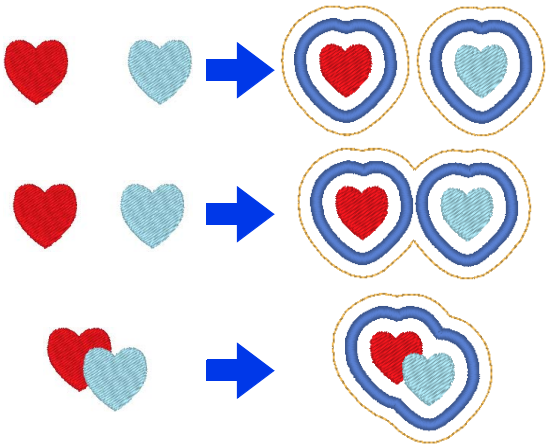
［サテンぬい］が［あり］に設定されている場合：

ワッペン模様とサテンぬいの間の距離は**［元の模様からの距離］**で指定し、サテンぬいとカットラインの間の距離は**［サテンぬいからの距離］**で指定します。



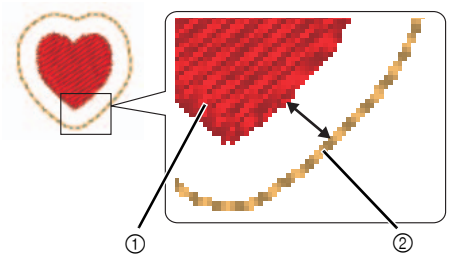
① ワッペン模様
② サテンぬい
③ カットライン

複数のワッペン模様を選択した場合は、サテンぬいの幅に加え、模様間の距離や、模様、サテンぬい、カットライン間の距離によって、仕上がりが異なります。



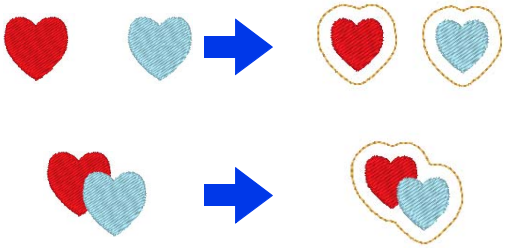
［サテンぬい］が［なし］に設定されている場合：

ワッペン模様とカットライン間の距離は、**［元の模様からの距離］**で指定されます。



① ワッペン模様
② カットライン

複数のワッペン模様を選択した場合は、模様間の距離や、模様とカットライン間の距離によって、仕上がりが異なります。



作ってみましょう 10-1：分割模様の刺しゅうデータを作る

レイアウトセンターでは、刺しゅう枠より大きいサイズの刺しゅうデータを作り、そのデータを刺しゅう枠に合わせて分割する機能があります。

ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _10 にあります。

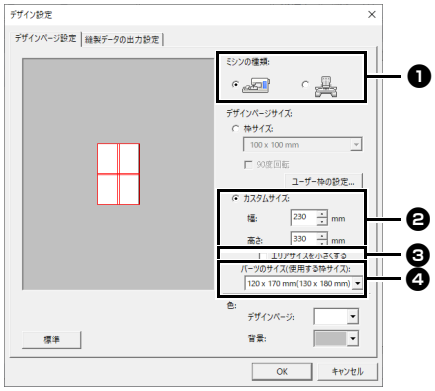
ステップ 1	レイアウトセンターのデザインページのサイズを設定する
ステップ 2	刺しゅうデータを作る
ステップ 3	ぬい順を確認する
ステップ 4	布地に接着芯を貼る
ステップ 5	位置合わせシートを使って刺しゅう位置の目印を付ける
ステップ 6	刺しゅう枠に布地を張る
ステップ 7	縫製する

ステップ 1 レイアウトセンターのデザインページのサイズを設定する

1 → **[デザイン設定]** の順にクリックします。



2 デザインページのサイズとパーツのサイズを設定します。



❶ お使いのミシンの種類を選択します。

❷ **[カスタムサイズ]** を選択し、デザインページの幅と高さを設定します。刺しゅうデータの正確な幅と高さを設定してください。
ここでは、幅を 230mm、高さを 330mm に設定します。

❸ **[エリアサイズを小さくする]** チェックボックスにチェックを入れると、通常よりも小さい枠パーツを作成します。これにより、分割模様を簡単につなぐことができます。
ここでは、チェックを外します。

❹ **[パーツのサイズ (使用する枠サイズ)]** セレクターをクリックし、枠パーツ（使用する刺しゅう枠）のサイズを選択します。
ここでは、**[120 × 170 mm (130 × 180 mm)]** を選択します。

▶▶ P. 193 の「枠パーツのサイズを変更する」

- **[パーツのサイズ (使用する枠サイズ)]** のパーツの幅と高さは、刺しゅう枠の実寸より 10mm 小さくなっています。これは、パーツをきれいにつなぎ合わせるために、パーツ間に重なる部分を作っているためです。10mm はこの重なる部分の大きさです。
- **[パーツのサイズ (使用する枠サイズ)]** では、縫製時に使う刺しゅう枠のサイズを選択してください。

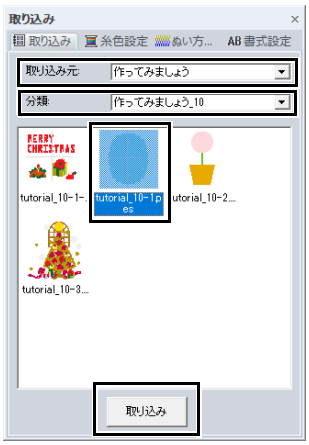
3 **[OK]** をクリックします。

ステップ 2 刺しゅうデータを作る

ここでは、このソフトウェアに付属のレース模様の刺しゅうデータを使って説明します。

1 **［取り込み］**ウィンドウを表示します。

2 **［取り込み元］**から**［作ってみましょう］**を選び、**［分類］**から**［作ってみましょう_10］**を選びます。**［tutorial_10-1.pes］**→**［取り込み］**をクリックします。



▶▶ P. 102 の「刺しゅうデータを取り込む」

ステップ 3 ぬい順を確認する

枠パーツのぬい順を見て、刺しゅう枠に布地のどの部分を張るか確認します。
枠パーツは、左から右、上から下の順でぬわれます。

1 → **［デザインプロパティ］**の順にクリックします。



2 **［選択したデータを表示］**のチェックを外して、枠パーツの情報を表示します。**［次］**または**［前］**をクリックして、次または前のぬい順の枠パーツの情報に切り替えます。
確認したら、**［キャンセル］**をクリックします。



カスタムサイズのデザインページで作られた刺しゅうデータは、保存する前に、自動的に走りぬいが追加されます。縫製時に、この走りぬいの線を目安にして、枠パーツの位置合わせをすることができます。このぬい目は、**［空白］**色として表示され、編集することはできません。

▶▶ P.191 の「ステップ 7 縫製する」

ステップ 4 布地に接着芯を貼る

刺しゅうを縫製するときは、接着芯を使ってください。接着芯にはいろいろな種類がありますが、どの接着芯を使うかは、刺しゅうする布によって異なります。分割模様の場合、複数のパーツに分けて縫製しますので、アイロンで接着できるものなど、布に接着芯を貼り付けるタイプのものを使ってください。また、刺しゅうデータによっては、2 枚必要になる場合があります。

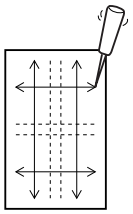
また、十分な強度の接着芯を刺しゅうする布の全面に貼り付けてください。接着芯が薄い場合は 2 枚重ねての貼り付けが必要な場合があります。

- 刺しゅうをきれいに仕上げるために、必ず説明に従って布に接着芯を貼り付けてください。布に適した接着芯を使用しないと、ぬい縮みを起こしデザインが正しく配置されないことがあります。
- 接着芯の説明書を確認して、布に適したものを使用してください。

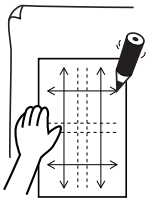
ステップ 5 位置合わせシートを使って刺しゅう位置の目印を付ける

- 位置合わせシートの PDF ファイルは、次のフォルダーに付属されています。プリンターで印刷してお使いください。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ ￥ProgramFiles (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥Positioning Sheet
- 位置合わせシートの PDF ファイルは、原寸サイズです。印刷の際は、原寸（100%）で印刷してください。原寸で印刷されていない位置合わせシートを使うと、ぬいずれなどが発生する原因となります。

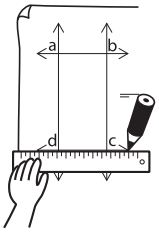
1 位置合わせシートの各ラインの両端に、穴を開けます。



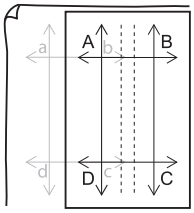
2 布の上に位置合わせシートを置き、それぞれの穴にチャコペンで印を付けます。



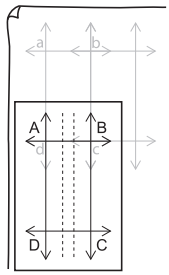
3 布に付けた印をつないで、基準線を描きます。
布に描かれた線の交点を、a、b、c、d とします。
さらに、位置合わせシート上の線を A、B、C、D とします。



4 布の上に位置合わせシートを置きます。
位置合わせシートのポイント A と D を布のマーク b と c に合わせてから、手順 **2** と **3** を繰り返し、右側の刺しゅう位置の布に基準線を描きます。

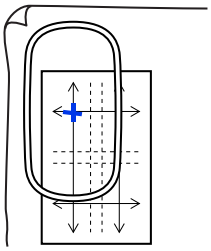


5 布の上に位置合わせシートを置きます。
位置合わせシートのポイント A と B を布のマーク d と c に合わせてから、手順 **2** と **3** を繰り返し、最初の布の下に刺しゅうするための布地に基準線を描きます。



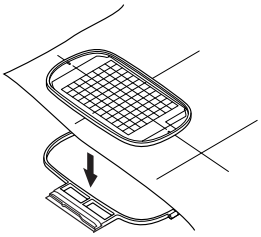
6 手順 **4** から **5** を繰り返し、配置し直しながら、枠パーツ位置の目印を必要なパーツの数だけ付けます。

- 縦と横の線が交差するポイントが、枠パーツの中心となります。
- 布に対してどのように枠を取り付けるかを考え、布の上に位置合わせシートを置き、刺しゅう位置の基準線を描いてください。大きな枠のテンプレートは、下の図のように、刺しゅうの縫製領域全体が含まれていません。縫製領域が布からはみ出ないように注意してください。

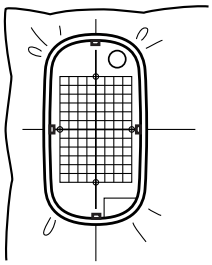


ステップ 6 刺しゅう枠に布地を張る

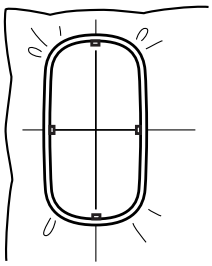
1 内枠に刺しゅうシートを載せ、1 番目に縫製する枠パーツの基準線と刺しゅうシートの基準線を合わせて、布の上に置きます。



2 刺しゅうシートの基準線と布に描いた枠パーツの基準線がずれていないか注意しながら、布と内枠を外枠にセットします。布を引っ張りながら、シワやたるみが入らないようにします。



3 刺しゅう枠がセットできたら、刺しゅうシートを取り外します。



- 布の表面を上にして、内枠に載せます。次に、内枠の高さと外枠の高さが同じになるまで、内枠をしっかりはめ込んでください。
- 刺しゅうシートを使わずに、刺しゅう枠のマークを使って布の縦と横を合わせることもできます。
  ただし、一部のミシンの刺しゅう枠は、枠のマークの中心が多少ずれているので、刺しゅうシートを使った方が正しい位置に刺しゅう枠をセットできます。
- ヒント：のりの強い接着芯を使用する場合、縫製完了後、すぐに布地から接着芯をはがしてください。
- ヒント：内枠の布地側になる面に両面テープを貼り、布地と内枠を仮止めすると、位置ずれを気にせずに刺しゅう枠をセットできます。

ステップ 7 縫製する

1 分割模様の刺しゅうデータをミシンに転送すると、次のように刺しゅうデータがミシンに表示されます。まず、1 番目に縫製する枠パーツ（Aa）を選択します。



Aa に縫製部分がない場合は、1 番目に縫製する枠パーツを選択します。**[アプリケーション]** ボタンをクリックし、**[デザインプロパティ]** をクリックしてぬい順をチェックします。

2 刺しゅう枠をミシンにセットし、針位置を布の基準線の交点に合わせます。

3 1 番目の枠パーツを縫製します。

4 縫製し終わったら、ミシンから刺しゅう枠を外し、枠から布を外します。

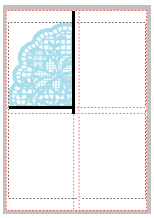
5 刺しゅう枠に、枠パーツのぬわれる部分をセットします。

▶▶ P. 190 の「刺しゅう枠に布地を張る」

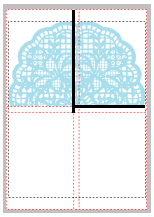
カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータは、保存またはオリジナルカードに書き込む前に、位置合わせの目安となる走りぬいが、枠パーツのつなぎ合わせ部分に自動的に加えられます。この走りぬいは、糸色は **[空白]**（未定義）が設定されています。（位置合わせ線は、印刷プレビューで確認できます。赤色の線が位置合わせ線です。）

ここで使用しているサンプルデータの場合

1. 1 番目の枠パーツ（左上の部分）を縫製します。
   → 位置合わせ線は枠パーツの下側と右側に縫製されます。

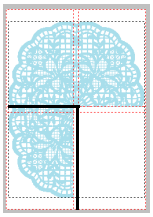


2. 手順 1. で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、2 番目の枠パーツ（右上の部分）の左端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。
   → 刺しゅう部分が縫製される前に、左側の位置合わせ線が縫製されます。手順 1. の枠パーツの下側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。刺しゅう部分が縫製された後に、下側に位置合わせ線が縫製されます。



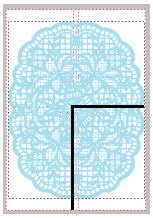
3. 手順 1. で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、3 番目の枠パーツ（左下の部分）の上端を合わせて、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

   → 刺しゅう部分が縫製される前に、上側の位置合わせ線が縫製されます。手順 1. の枠パーツの下側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。刺しゅう部分が縫製された後に、右側に位置合わせ線が縫製されます。



4. 手順 2. で縫製した枠パーツの下側の位置合わせ線と、4 番目の枠パーツ（右下の部分）の上端を、手順 3. で縫製した枠パーツの右側の位置合わせ線と、4 番目の枠パーツ（右下の部分）の左端を合わせ、刺しゅう枠を取り付け、縫製します。

   → 刺しゅう部分が縫製される前に、位置合わせ線が縫製されます。手順 2. の枠パーツの下側の位置合わせ線、手順 3. の枠パーツの右側の位置合わせ線とぴったり重なっているか確認します。



6 手順 1 から 5 と同様の手順を繰り返して、残りの枠パーツをすべて縫製します。

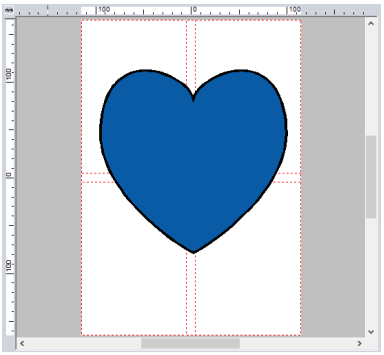
- 内蔵カメラを使用して分割模様をつなぐことができるモデルでは、手順が異なります。
- 内蔵カメラを使用して分割模様をつなぐことができるモデルの場合、刺しゅう位置合わせシールを使用できます。
- 詳しい使い方は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- セクションのサイズを調整することで、データを簡単に接続できます。
  ▶▶P. 193 の「枠パーツのサイズを変更する」

分割模様の設定を変更する

枠パーツのサイズを変更する

枠パーツのサイズを小さくすることで、分割模様を刺しゅうするときにデータを簡単につなぐことができます。

1 分割模様を作成します。



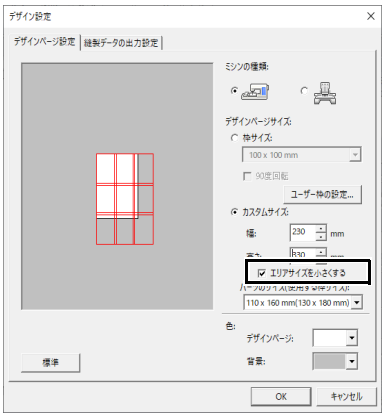
2 → **[デザイン設定]** の順にクリックします。



3 **[カスタムサイズ]** を選択し、幅と高さを指定します。

▶▶ 分割模様について詳しくは、P. 187 の「作ってみましょう 10-1 : 分割模様の刺しゅうデータを作る」を参照してください。

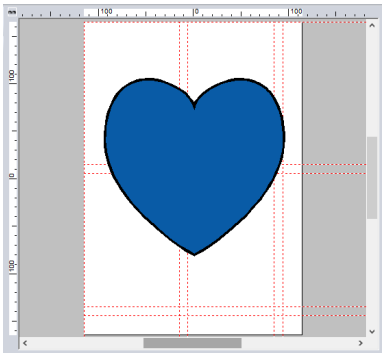
4 **[エリアサイズを小さくする]** チェックボックスを選択します。



- **[エリアサイズを小さくする]** チェックボックスを選択すると、通常より縦横が 10mm 小さいサイズの枠パーツを作成します。
- (対応モデルのみ)
  刺しゅう位置合わせシールを使って、内蔵カメラで位置合わせをすると、きれいに仕上がります。
  詳しい使い方は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

5 **[OK]** をクリックします。

→ 枠パーツサイズが変更されます。

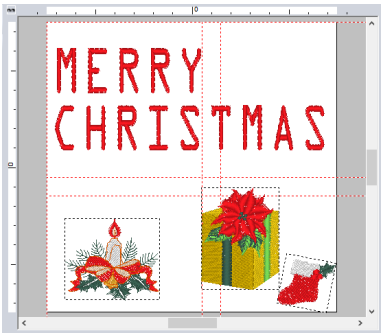


分割模様の分割位置を調整する

枠パーツごとの分割位置を設定することで、縫製範囲より小さく模様を分割することなく、刺しゅうデータをぬうことができます。

■分割位置を調整する

1 分割模様を作成します。

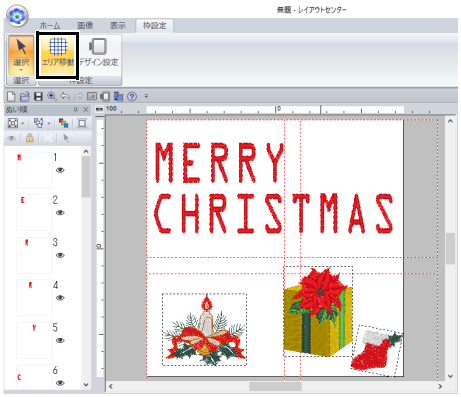


▶▶ P. 187 の「作ってみましょう 10-1：分割模様の刺しゅうデータを作る」

2 **[枠設定]** タブをクリックします。

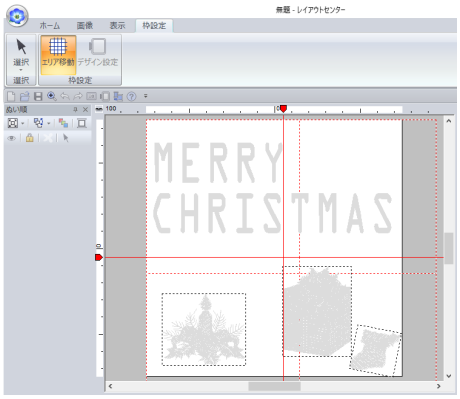
[枠設定] タブは、**[デザイン設定]** ダイアログボックスで **[カスタムサイズ]** が選択された場合にのみ表示されます。

3 **[枠設定]** グループで **[エリア移動]** をクリックします。

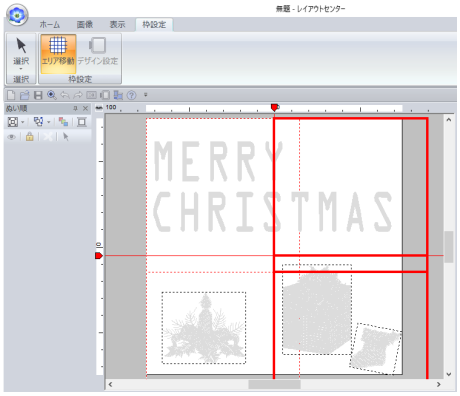


→ がルーラーに表示されます。

4 をドラッグして分割位置を調整します。
移動中の枠は、赤い線で表示されます。



→ 分割位置が変更されます。



- この機能は、縫製範囲より小さい模様が分割されるのを防ぎたいとき、糸替えの回数を減らしたいとき、模様の分割位置を変更したいときに便利です。
- をクリックし、**[デザインプロパティ]** から分割した模様を確認します。



▶▶ P. 188 の「ぬい順を確認する」

- 刺しゅう枠が変更されると、設定がリセットされます。

■位置合わせシートを印刷する

枠パーツの分割位置を指定した後、データを正しく配置するには新しい位置合わせシートが必要です。

1 → **[印刷]** → **[印刷設定]** をクリックします。

2 印刷の設定を変更します。



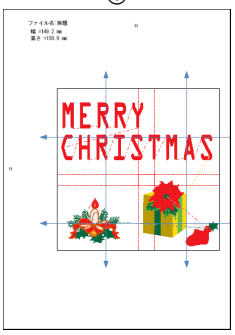
❶ 選択すると、パーツごとの位置合わせシートを印刷します。

❷ チェックすると、同じサイズの位置合わせシートを 1 枚だけ印刷します。
すべての位置合わせシートを印刷したいときは、チェックをはずしてください。

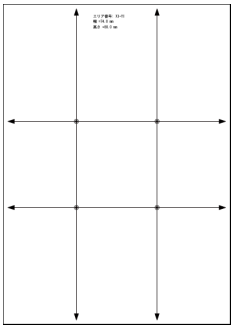
3 **[印刷]** をクリックして、位置合わせシートを印刷します。

→ ページ①では全体図、模様の大きさ、ファイル名、ページ②では枠パーツごとの位置合わせシートが印刷されます。

①



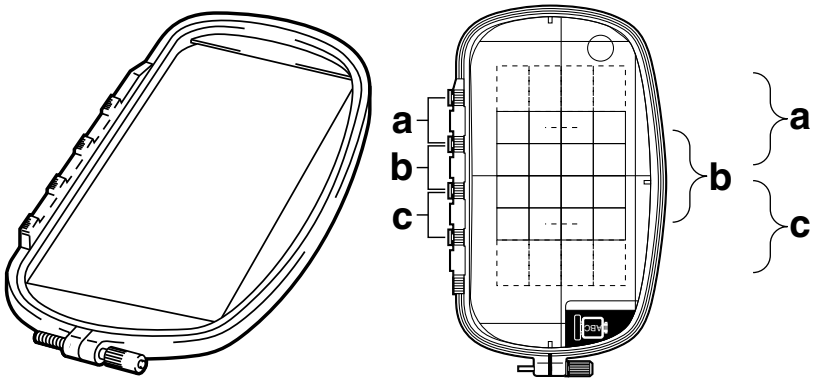
②



▶▶ 分割模様をつなぐために位置合わせシートを使用するときは、P. 189 の「位置合わせシートを使って刺しゅう位置の目印を付ける」を参照してください。

作ってみましょう 10-2：大型枠用の刺しゅうデータを作る

別売の大型枠（ミシンへの取り付け部が、3ヶ所あるもの、枠サイズ：100×172mm、130×300mm）に対応した刺しゅうデータを作ります。



大型枠の例：100 × 172 mm サイズの刺しゅう枠

大型枠を使うときは、1 つの刺しゅうデータのサイズが 130 × 180 mm（または刺しゅうミシンの縫製サイズにより 100 × 100 mm）で、刺しゅう枠の取り付け位置（上図の a、b、c）を替えたときに位置が合うように、あらかじめ取り付け位置を考慮して刺しゅうデータが配置されている必要があります。

また、各刺しゅうデータはミシンの縫製範囲内に収まっていなくてはなりません。

ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _10 にあります。

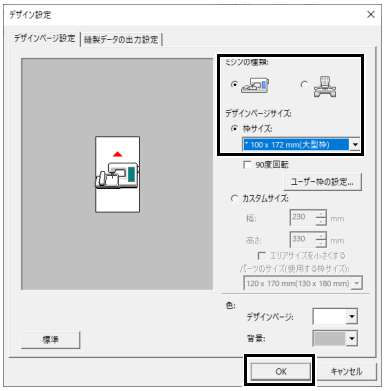
ステップ 1	デザインページのサイズを設定する
ステップ 2	刺しゅうデータを作る
ステップ 3	枠を最適化する
ステップ 4	刺しゅうデータを確認する

ステップ 1 デザインページのサイズを設定する

1 をクリックし、**[デザイン設定]** を選択します。



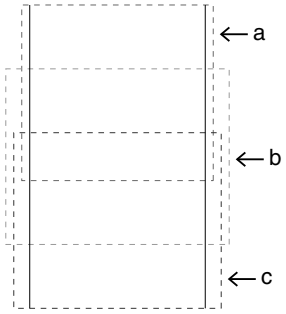
2 **[ミシンの種類]** で を選択し、**[枠サイズ]** を選択し、セレクターで、130 × 300 mm または 100 × 172 mm を選択して、**[OK]** をクリックします。



- 大型枠用設定は、数字の前に「＊」が付いています。
- お使いのミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定してください。

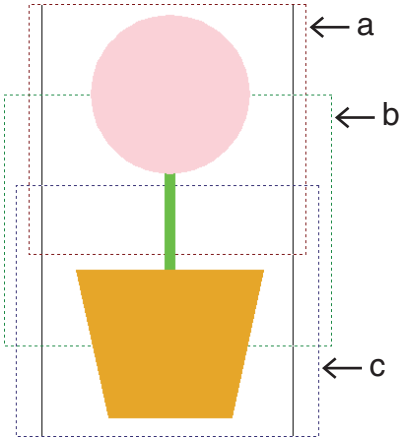
ステップ 2 刺しゅうデータを作る

1 画面上のデザインページは次のように示されます。

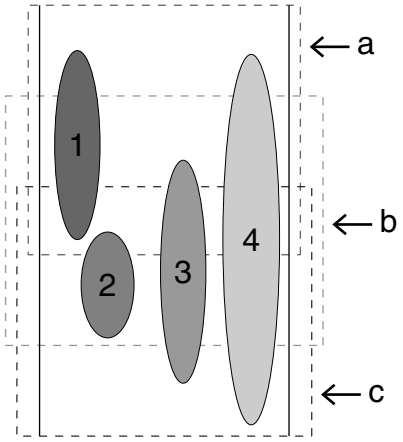


- **領域 a**
  上位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
- **領域 b**
  中央の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
- **領域 c**
  下位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域
  各領域は点線で区分されています。

2 次の条件に適合するように刺しゅうデータを作ります。



- 1 つの刺しゅうデータの大きさが、100 × 100 mm（または 130 × 180 mm）以内であること
- それぞれの刺しゅうデータが、各領域（a、b、c のいずれか）に完全に含まれていること



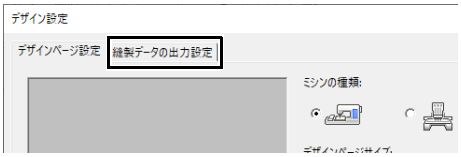
1: 領域 a に完全に収まっているので問題ありません。
2: 領域 b または c に完全に収まっているので問題ありません。
3: 大きさは問題ありませんが、どの領域にも完全に収まっていないので、修正が必要です。（b または c に収まるように位置を修正する必要があります。）
4: サイズが大きすぎるので修正が必要です。（a、b または c に収まるように位置とサイズを修正する必要があります。）

ステップ 3 枠を最適化する

1 をクリックし、**[デザイン設定]** を選択します。



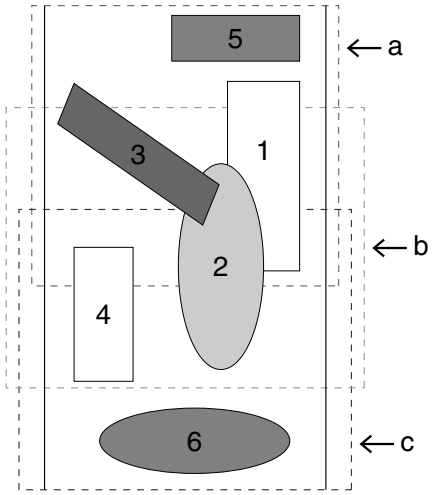
2 **[縫製データの出力設定]** タブをクリックします。



3 チェックボックスで **[大型枠の付け替え回数を最適化する。]** にチェックを入れてから、**[OK]** をクリックします。



- 枠の最適化をオフにするときは、チェックボックスのチェックを外します。



- 大型枠付け替え回数の最適化をオンにすると、設定したぬい順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最も少なくなるように、ぬい順／枠の位置順を最適化したデータを作ります。
  このページの例では、ぬい順は次のようになります。a（刺しゅうデータ 1）→b（刺しゅうデータ 2）→a（刺しゅうデータ 3、5）→c（刺しゅうデータ 4、6）
  大型枠付け替え回数の最適化をオフにすると、設定したぬい順通りに、各刺しゅうデータをぬいます。
  このページの例では、ぬい順は次のようになります。a（刺しゅうデータ 1）→ b（刺しゅうデータ 2）→a（刺しゅうデータ 3）→c（刺しゅうデータ 4）→a（刺しゅうデータ 5）→c（刺しゅうデータ 6）
  この場合、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数は、刺しゅうデータによってはオンの場合より多くなるときがあります。

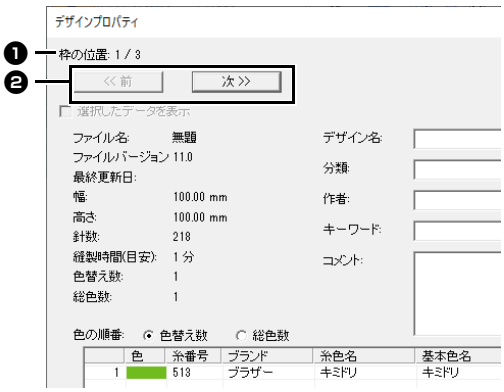
刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が多くなると、ぬいずれ、ぬい弛みなどが起きやすくなりますので、**[大型枠付け替え回数の最適化]** をオンにして刺しゅうデータを作ることお勧めします。枠の最適化を行うと設定したぬい順が変更されることがありますので、縫製する前にぬい順を確認してください。

ステップ 4 刺しゅうデータを確認する

1 をクリックし、**[デザインプロパティ]** を選択します。



2 各刺しゅうデータのぬい順、枠の付け替え回数を確認します。



このとき、デザインページの表示では、ダイアログボックスに表示されている枠の位置番号に対応する刺しゅうデータのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形が赤い線で表示されます。

❶ 現在表示されている枠部分の付け替え順と、枠の付け替え総回数を表示しています。

❷ **[前]** ボタンまたは **[次]** をクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から、前後の取り付け位置に対応するデザインに切り替えます。

デザインページより大きい、またはデザインページからはみ出している刺しゅうデータがあるときは、エラーメッセージが表示されます。メッセージ画面を閉じると、エラーに該当する刺しゅうデータが選択されるので、サイズまたは位置を調整してください。

■刺しゅうデータを保存する

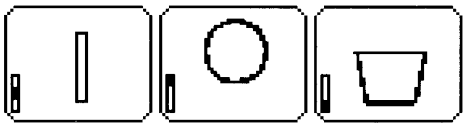
すべての刺しゅうデータが、1 個のファイル（.pes ファイル）に保存されます。

ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より大きい場合、または、個々の刺しゅうデータの中にどの部分デザインシートにも入らないものがある場合は、警告メッセージが表示されます。

■刺しゅうデータをオリジナルカードへ書き込む

大型枠用刺しゅうデータは、1 つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応する刺しゅうデータを 1 つの刺しゅうデータとし、それを複数組み合わせて縫製するように構成されています。

書き込みは、1 回の書き込み作業で、1 つの大型枠用の刺しゅうデータのすべてを（複数の刺しゅうデータとして）書き込みます。



：刺しゅう枠の上位の取り付け位置（位置 a）でぬう刺しゅうデータ

：刺しゅう枠の中央の取り付け位置（位置 b）でぬう刺しゅうデータ

：刺しゅう枠の下位の取り付け位置（位置 c）でぬう刺しゅうデータ

したがって、上記の例では、刺しゅうデータの枠位置のぬい順は b → a → c の順になります。

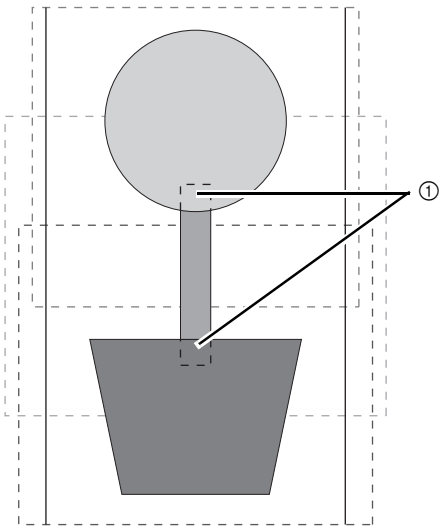
大型刺しゅう枠を使用する際の注意点：

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試しぬいを行ってください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を 2 枚重ねて使ってください。接着芯がないと、ぬい縮み、輪郭線のずれ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。

  ▶▶ 大きな刺しゅうデータに接着芯を使う場合の詳細は、P. 189 の「布地に接着芯を貼る」を参照してください。
- 線部は、サテンぬいを設定してください。走りぬい設定よりもぬいずれを防ぐことができます。



- 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける必要のある刺しゅうデータでは、刺しゅうデータの各部（継ぎ目）を重ねてデザインすると、ぬいずれを防ぐことができます。



① 重ねる

■大型枠用の刺しゅうデータの印刷について

1 ページ目にデザインページの全体画像が原寸で印刷されます。（ただし、130 × 300 mm が選択されている場合は、デザインページ全体の縮小印刷になります。）2 ページ目以降は、各部分データのイメージとぬい情報がぬい順に印刷されます。

[原寸] 印刷が選択されている場合：

各部分データは、縫製イメージとぬい情報を 1 ページごとに分けて印刷されます。

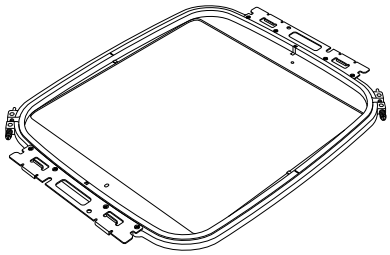
[縮小] 印刷が選択されている場合：

各部分データは、縫製イメージとぬい情報を 1 ページにまとめて印刷されます。

▶▶ P. 108 の「印刷する」

作ってみましょう 10-3：ジャンボ枠（別売）を使って刺しゅうする

枠サイズ :360×360mm のジャンボ枠（別売）専用の刺しゅうデータを作ります。



枠サイズ : 360×360mm

- ジャンボ枠を選択すると、デザインページのサイズが 350×350mm で表示されます（ミシンの内蔵カメラでの自動位置合わせに必要な領域を確保するため、サイズは 350×350mm となります）。
- ジャンボ枠は、内蔵カメラを搭載した多針ミシンに取り付けてお使いください。一針ミシンなど、その他の種類のミシンでは使用できません。多針ミシンに付属の取扱説明書を確認して、ジャンボ枠と互換性があるかどうかを確認してください。

内蔵カメラと刺しゅう位置合わせシールを使用した詳しい操作方法は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

ここで作るサンプルデータは、ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _10 にあります。

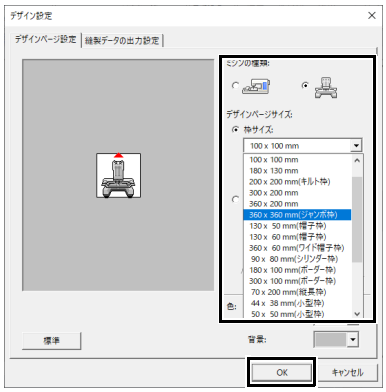
ステップ 1	デザインページのサイズを設定する
ステップ 2	刺しゅうデータを作る
ステップ 3	分割された刺しゅうデータを確認する
ステップ 4	布地に接着芯を貼る
ステップ 5	刺しゅうする

ステップ 1 デザインページのサイズを設定する

1 をクリックし、**[デザイン設定]** を選択します。

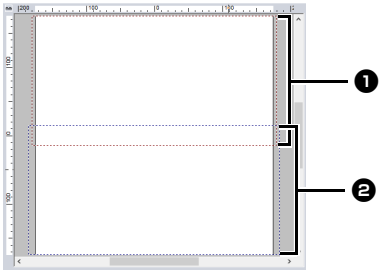


2 **［ミシンの種類］**の下の をクリックして、**［デザインページサイズ］**の下にある、**［枠サイズ］**の中の **360 x 360 mm(ジャンボ枠)** を選択し、**［OK］**をクリックします。



お使いのミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定してください。

3 画面上のデザインページは次のように示されます。



❶ **領域 1:**
先に刺しゅうされる縫製領域

❷ **領域 2:**
後で刺しゅうされる縫製領域

刺しゅうデータは自動的に別々の領域に分割されます。

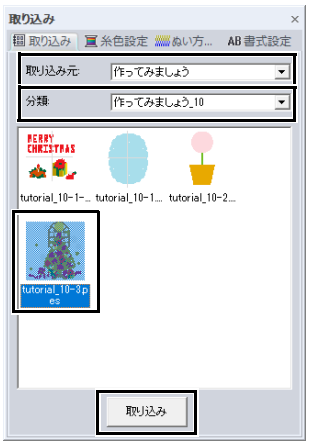
❶ と ❷ の縫製領域の境界は重なりあっています。
サテンぬいを使った面が、この重なった領域にかかる場合は、自動で模様が変更されます。このため、領域の境界にサテンぬいがかからないようにあらかじめ模様の位置をずらしておくか、サテンぬいをタタミぬいに変えておくことをお勧めします。

ステップ 2 刺しゅうデータを作る

ここでは、ソフトウェアに付属の刺しゅうデータを使って説明します。

1 **［取り込み］**を表示します。

2 **［取り込み元］**から **［作ってみましょう］**を選び、**［分類］**から **［作ってみましょう _10］**を選びます。**［tutorial_10-3.pes］**→ **［取り込み］**をクリックします。



▶▶ P. 102 の「刺しゅうデータを取り込む」

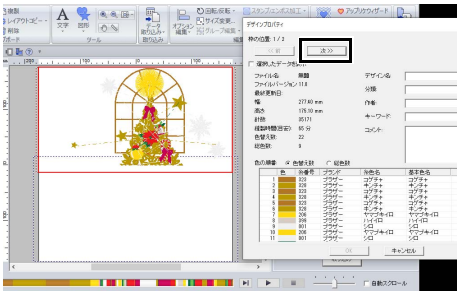
ステップ 3 分割された刺しゅうデータを確認する

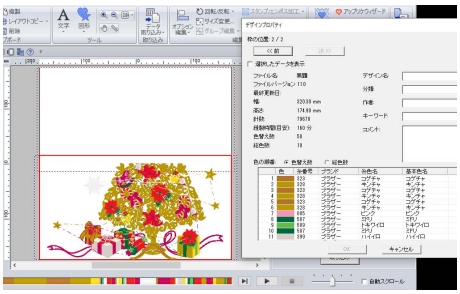
刺しゅうする前に、分割された刺しゅうデータを確認します。模様データの中の、分割されたくない部分が領域 1 と領域 2 に分かれた場合は、刺しゅうデータを調整して分割のしかたを変更できます。

1 をクリックし、**［デザインプロパティ］**をクリックします。



2 **［次へ］**をクリックし、次の領域の刺しゅうデータを確認します。





［選択したデータを表示］のチェックを外すと、もう一方の領域を確認できます。



■刺しゅうデータを保存する

すべての刺しゅうデータが、1 個のファイル（.pes ファイル）に保存されます。

▶▶ P. 214 の「USB メモリーを使って転送する」、P. 215 の「ミシンのメモリーに直接転送する」

ジャンボ枠用の刺しゅうデータは、オリジナルカードを使ってミシンに送ることができません。ミシンに付属の USB ケーブルを使うか、市販の USB メモリーを使って刺しゅうデータを送ってください。

ステップ 4 布地に接着芯を貼る

刺しゅうするときは、必ず接着芯を使用してください。
大きな刺しゅうデータを刺しゅうする際は、アイロン接着タイプの接着芯や、のりの付いた接着芯、スプレーのりタイプの接着芯などを使って、布地にしっかり接着芯を貼ってください。布地の種類によって、接着芯のタイプを使い分けてください。

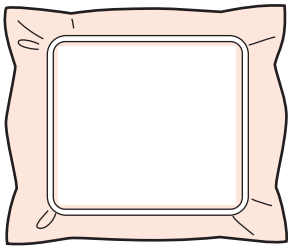
使用する接着芯は、十分な強度を持ち、さらに刺しゅうエリア全体がおさまる大きさのものを使用してください。薄手の接着芯を使用する場合は、二枚重ねて貼ってください。

▶▶ 接着芯について詳しくは、P.189 の「ステップ 4 布地に接着芯を貼る」を参照してください。

ステップ 5 刺しゅうする

ミシンに付属の位置合わせシールを使用して刺しゅうしてください。ミシンが位置合わせシールを検知して、自動で位置決めします。

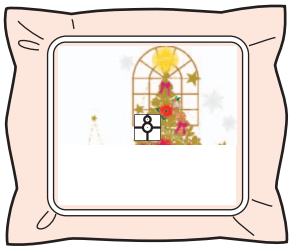
1 刺しゅう枠に布地を張ります。



2 ミシンに刺しゅう枠をセットします。

3 領域 1 の刺しゅうデータを選択して、領域 1 の刺しゅうを開始します。

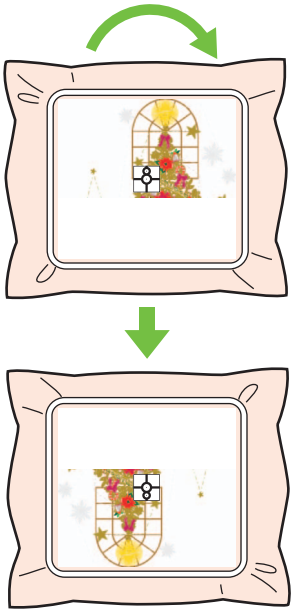
4 刺しゅうが完了したら、ミシンに表示されるメッセージにしたがって刺しゅう範囲に刺しゅう位置合わせシールを貼ります。



針位置が画面に表示され、位置を検出する範囲が線で囲まれます。
線で囲まれた中に、刺しゅう位置合わせシールを貼ってください。詳しい使い方は、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

→ ミシンの内蔵カメラが刺しゅう位置合わせシールを検出します。

5 刺しゅう位置合わせシールが検出された後、いったん刺しゅう枠をミシンから外し、180°回転させたら、もう一度刺しゅう枠をミシンにセットします。



→ ミシンの内蔵カメラが、再度、刺しゅう位置合わせシールを検出します。

6 ミシンに表示されるメッセージにしたがって刺しゅう位置合わせシールを布地からはがしてください。



7 領域2の刺しゅうデータを選択して、領域2の刺しゅうを開始します。



- ミシンの使用方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。
- 刺しゅう枠を外して、セットしなおすときは、十分に注意してください。刺しゅう枠が正しくセットされていなかったり、布地にしわが寄っていると、刺しゅうデータの位置合わせがずれることがあります。

■ジャンボ枠専用の刺しゅうデータについて

- ジャンボ枠のサイズに設定されたデザインページで作成された刺しゅうデータは、**［レイアウトセンター］**の Ver.9.1 以降のファイル形式で保存することができます。
また、この刺しゅうデータは内蔵カメラを搭載した多針ミシン専用に保存されます。それ以外のミシンで刺しゅうすることはできません。
- **［デザインセンター］**のジャンボ枠サイズに設定されたデザインページで作成された刺しゅうデータは、ミシン付属の USB ケーブルを使ってミシンに送ることができません。まず、刺しゅうデータを**［レイアウトセンター］**に取り込んだ後、ミシンに送ってください。

お好みのぬい方設定を保存する

よく使うぬい方を保存する

ぬい方設定を保存し、ぬい方を設定するときに呼び出すことができます。

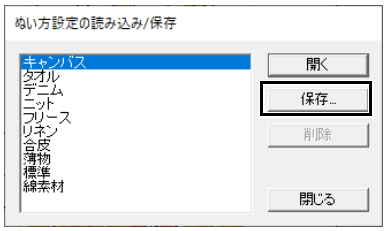
■ぬい方設定をリストに保存する

1 **［ぬい方設定］**タブをクリックします。

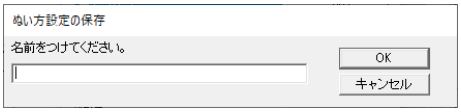
▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

2 必要に応じて、ぬい方設定を変更して  をクリックします。

3 **［保存］**をクリックします。



4 設定名を入力し、**［OK］**をクリックして、リストに登録します。



- 呼び出した設定を変更して上書き保存したいときは、**［ぬい方設定］**ウィンドウで  をクリックし **［保存］**をクリックし、設定名を変更しないで **［OK］**をクリックします。
- 保存した設定は、別のパソコンで使うこともできます。次のパスの **［Settings］**フォルダーから **［sastu.txt］**をコピーして、コピー先のパソコンの同じパスにある **［Settings］**フォルダーに貼り付けます。刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files（ProgramFiles（x86））￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥Settings**

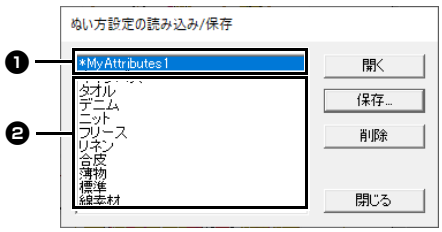
■リストからぬい方設定を削除する

1 **［ぬい方設定の読み込み / 保存］**ダイアログボックスで、削除する設定名を選択します。

2 **［削除］**をクリックすると、リストから選択された設定が削除されます。

■リストからぬい方設定を呼び出す

1 **［ぬい方設定の読み込み / 保存］**ダイアログボックスで、呼び出したい設定名を選択します。



❶ 保存した設定のグループが名前の横に「*」が付けられて表示されます。

❷ さまざまな生地に適したぬい方設定が使用できます。刺しゅうする生地の種類を選択して、その生地の推奨設定を指定します。

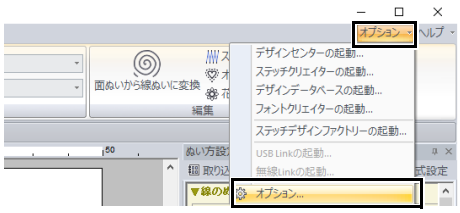
2 **［開く］**をクリックします。

→**［ぬい方の設定］**ウィンドウの設定が呼び出した設定に変わります。

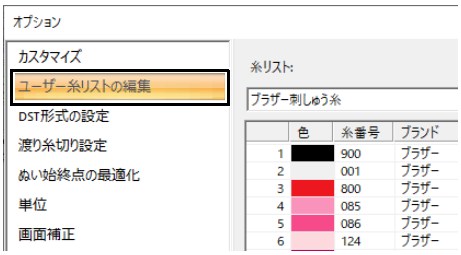
ユーザー糸リストを作成／編集する

よく使う糸やお手持ちの糸を登録して、独自のユーザー糸リストを作成できます。

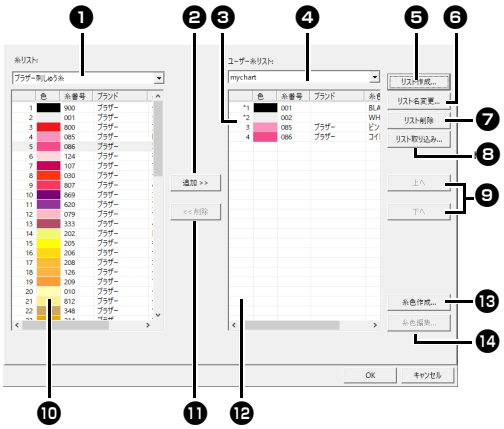
1 **［オプション］**→**［オプション］**をクリックします。



2 **[ユーザー糸リストの編集]** をクリックします。



3 ユーザー糸リストを作成／編集／削除します。

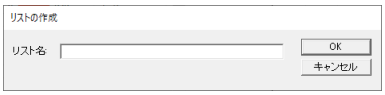


❶ 既存の糸リストを選択します。
❷ 既存の糸リストから糸色を追加します。
❸ 糸リストを編集／削除するときは、ここで糸リストを選択してから実行します。
❹ ユーザー糸リストを選択します。
❺ 新しい糸リストを作成します。
❻ 糸リスト名を変更します。
❼ 糸リストを削除します。
❽ 糸リストを取り込みます。
❾ 糸色の順序を変更します。
❿ 既存の糸リストの糸色を表示します。
⓫ 糸色を削除します。
⓬ ユーザー糸リストの糸色を表示します。
⓭ 新しい糸色を追加します。
⓮ 糸色を編集します。

■新しい糸リストを作る

1 **[リスト作成]** をクリックします。

2 リスト名を入力し、**[OK]** をクリックします。



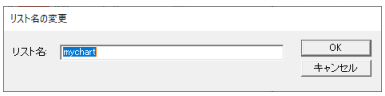
登録された糸リストは、**[ユーザー糸リスト]** セレクターから選択できます。

■糸リストの名前を変更する

1 **[ユーザー糸リスト]** セレクター❹で糸リストを選択します。

2 **[リスト名変更]** ❻ をクリックします。

3 リスト名を入力し、**[OK]** をクリックします。



■糸リストを削除する

1 **[ユーザー糸リスト]** セレクター❹で糸リストを選択します。

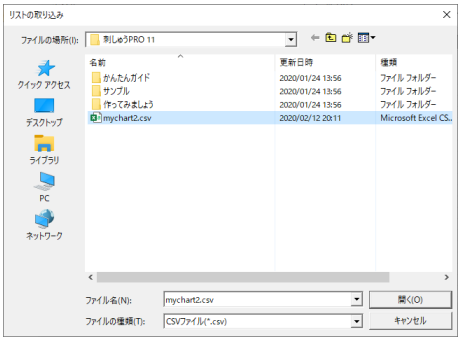
2 **[リスト削除]** ❼ をクリックします。

3 メッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

■糸リストを取り込む

1 **[リスト取り込み]** ❽ をクリックします。

2 ドライブ、フォルダーを選択してから、btc、btc2、または csv ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。



.btc、.btc2、または .csv 形式のファイルを取り込みできます。

▶▶ P. 208 の「糸色の順序を変更する」

3 メッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックします。

■糸リストを編集する

1 **[ユーザー糸リスト]** セレクター ❹ で糸リストを選択します。

2 目的の手順に進みます。編集し終えたら、**[OK]** をクリックして保存します。

■糸リストから糸色を追加する

1 **[糸リスト]** セレクター ❶ で、糸のブランドまたはユーザー糸リストを選択します。
複数のユーザー糸リストが作成されている場合、糸色を複数のユーザー糸リストから選択できます。

2 糸リストの糸色一覧 ❿ から糸色を選択します。

複数の項目を選択するときは、**< Shift >**または**< Ctrl >**キーを押しながら糸色を選択します。

3 **[追加]** ❷ をクリックします。

→ 選択した糸色がユーザー糸リスト ⓬ に追加されます。

■新しい糸色を追加する

1 **[糸色作成]** ⓭ をクリックします。

2 **[色の作成]** をクリックします。



3 色を選択し、**[OK]** をクリックします。**[糸色の編集]** ダイアログボックスに新しい色が表示されます。



スライダー（a）が最上部に設定されていると、色を設定できません。

4 必要に応じて、糸番号、ブランド、糸色名のボックスに数字や文字を入力します。

糸番号は数字のみ入力できます。

5 **[OK]** をクリックして、新しい糸色をユーザー糸リスト ⓬ に追加します。

新しく追加された糸色は、行の左端に＊マークが表示されます。

■糸色を削除する

1 ユーザー糸リストの糸色一覧 ⓬ で削除する糸色を選択します。

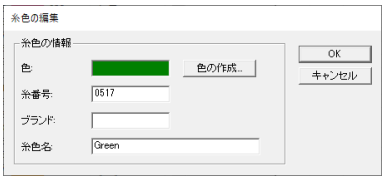
2 **[削除]** ⓫ をクリックします。

■糸色を編集する

ユーザー糸リストに登録されている糸色は、色や糸番号などを変更できます。

1 ユーザー糸リストの糸色一覧 ⓬ で編集する糸色を選択し、**[糸色編集]** ⓮ をクリックします。

2 新しい糸色の追加と同じように糸色の詳細を編集します。



編集された糸色は、行の左端に＊マークが表示されます。

■糸色の順序を変更する

1 ユーザー糸リストの糸色一覧 ⓬ で移動する糸色を選択します。

2 **[上へ]** または **[下へ]** ❾ をクリックします。

ユーザー糸リストファイル

既存のユーザー糸リストを取り込むか、編集されたユーザー糸リストを別のコンピューターで使用できます。

- 新たに作成された糸リストは、糸リストと同じ名前の .btc2 形式で以下の場所にインストールされます。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ￥Program Files(x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyChart
- 刺しゅう PRO 10 などのアプリケーションの以前のバージョンで作成された既存のユーザー糸リストは、刺しゅう PRO 11 で使用できます。以下の場所からファイル「chart2.btc」を取り込みます。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 10￥Color
- **[カラー]** フォルダーのファイル「chart1.btc」は取り込めません。
- .csv 形式のユーザー糸リストファイルを取り込めます。
  .csv ファイルは 1 行 1 色となるように作成し、各行には糸番号、ブランド、糸色名、R、G、B の情報をコンマで区切って含めるようにします。RGB 値は 0 ～ 255 としてください。

  例）.csv ファイルの場合

  100,MyBrand,Black,10,10,10
  101,MyBrand,White,245,245,245

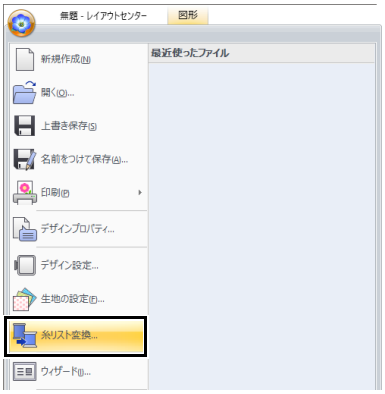
このソフトウェアで作った刺しゅうデータをミシンで扱う場合、ミシン上での糸色に関する表示は、ミシンにより異なります。

1. 糸色を表示する機能がないミシン
設定された糸色の情報は、一切ミシンには表示されません。
2. 糸色を表示する機能があるミシン
各刺しゅうデータに設定された糸色の情報のうち、糸色名のみがミシン上に表示されます。
ただし、表示される糸色名はミシンが内蔵している糸色名に限られます。そのため、刺しゅうデータに設定された糸色に一番近い糸色をミシンに内蔵している糸色名から選択し、ミシンに表示されます。
3. データ糸色優先機能があるミシン
ミシンの中には、このソフトウェアで設定された糸の情報を表示できる機種があります。
ただし、編集もしくは追加した糸色（行の左端に＊マークが付いている糸色）は、糸番号のみが表示されます。

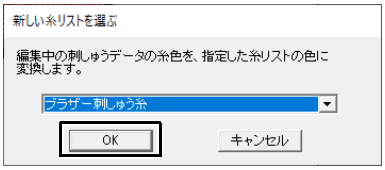
■別の糸リストを適用する

現在デザインページに表示されているデータの糸色は、指定した糸リストの色に変換できます。

1 → **[糸リスト変換]** の順にクリックします。



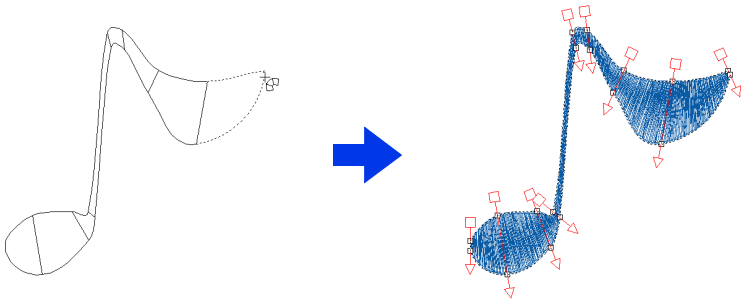
2 ダイアログボックスで、糸リストを選択し、**[OK]** をクリックします。



→ 現在デザインページに表示されているすべてのデータの糸色は、指定された糸リストの同様の色に変換されます。

マニュアルパンチツールを使用する

[マニュアル パンチ] ツールを使用すると、ぬい方向線を手動で調整できる刺しゅうデータを作成できます。



[マニュアル パンチ] ツールを使用して描かれた図形は、**[図形]** ツールを使用して描かれた図形データと同じ方法で編集できます。

オリジナルロゴを作る

[マニュアル パンチ] ツールを使えば、お好きなロゴの画像を下絵にして刺しゅうデータを作ることもできます。

1 刺しゅうデータにしたいロゴの画像を取り込みます。

▶▶ P. 163 の「画像データを取り込む」

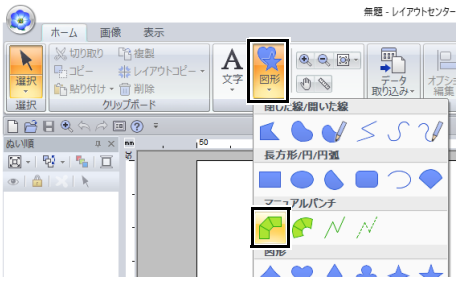


この例では、左端の赤いデザインのデータを作成します。

[デザインページ] の下絵の表示濃度を変更できます。

▶▶ P. 165 の「画像の表示濃度を変更する」

2 最初に、**[マニュアル パンチ]** ツールを選択します。**[ホーム]** タブ→ **[図形]** → をクリックします。



: 直線ブロックデータを作成します（面ぬい）。
（ショートカットキー：**<Z>**）

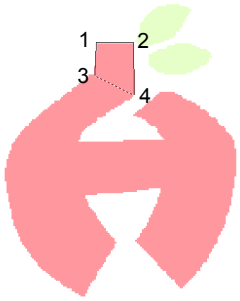
: 曲線ブロックデータを作成します（面ぬい）。
（ショートカットキー：**<X>**）

: 走りデータを作成します（線ぬい）。
（ショートカットキー：**<V>**）

: 送りデータを作成します（渡り糸）。
（ショートカットキー：**<B>**）

▶▶ P. 358 の「ミシンの糸切りの設定」

3 ポイント 1 から 4 を順にクリックします。



右クリックするか、< **BackSpace** >キーを押すと、入力したポイントを削除できます。

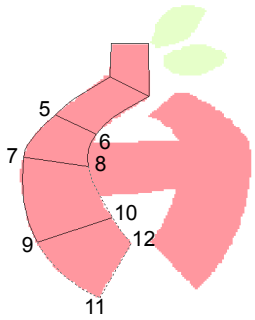
4 曲線ブロックツールを選択します。

[マニュアル パンチ] タブの **[入力]** グループで 曲線ブロック をクリックします。



5 ポイント 5 から 11 を順にクリックします。

ポイント 12（データの最終点）をクリックし、< **Enter** >キーを押します。

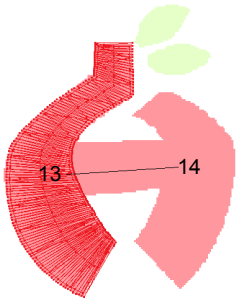


< **Enter** >キーを押す代わりに、ダブルクリックしてデータを完成させることができます。

6 **[マニュアル パンチ]** タブの **[入力]** グループで 走り をクリックします。

7 ポイント 13 →ポイント 14（部分をつなぐ走りぬいの最終点）をクリックし、< **Enter** >キーを押します。

手順 **5** で作成した部分にポイントが重なってつながるように指定します。

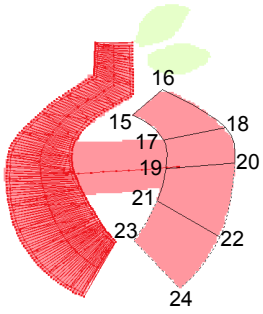


8 **[マニュアル パンチ]** タブの **[入力]** グループで 曲線ブロック をクリックします。

9 ポイント 15 から 23 を順にクリックします。

ポイント 24（データの最終点）をクリックし、< **Enter** >キーを押します。

手順 **7** で作成した部分にポイントが重なってつながるように指定します。

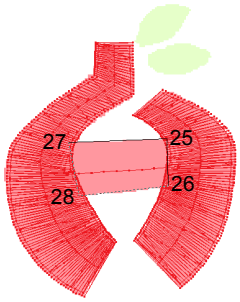


10 **[マニュアル パンチ]** タブの **[入力]** グループで 直線ブロック をクリックします。

11 ポイント 25 から 27 を順にクリックします。

ポイント 28（データの最終点）をクリックし、**< Enter >**キーを押します。

手順 **9** で作成した部分にポイントが重なってつながるように指定します。



完成したロゴのイメージ



- 前後の部分がつながっている場合、ぬいの始点とぬいの終点を最適化するため、渡り糸は作成されません。
  ぬう前にステッチ シミュレーターを使用してステッチをチェックすることをお勧めします。

▶▶ P. 90 の「ステッチシミュレーターでステッチを確認する」

- すべての図形データをマニュアル パンチツールで作った後に、ぬい方向線を手動で追加／編集すると、ツールを切り替える手間を省けるので、データを効率良く作成できます。

▶▶ P. 59 の「ぬい角度を直線に設定する」

ミシンへの転送方法

刺しゅうデータをミシンに転送する方法について説明します。

刺しゅうデータをミシンへ転送する

作成した刺しゅうデータをミシンへ転送する方法は、お手持ちのミシンの機種によって異なります。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

USB メモリーを使って転送する



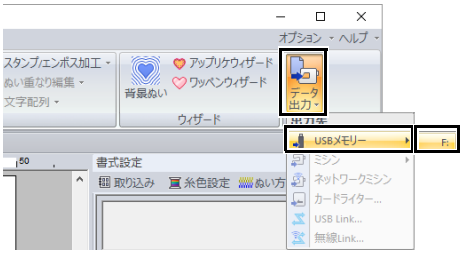
USB メモリーを接続できるミシンには、USB メモリーを使って転送できます。

「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」は、USB メモリーとしては使用できません。転送目的で「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」に刺しゅうファイルを保存しないでください。

1 USB メモリーをパソコンに接続します。

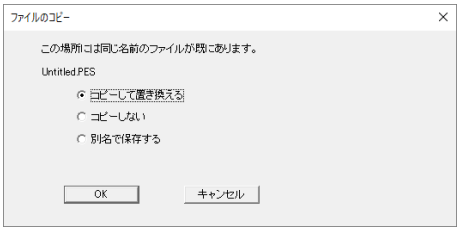
2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[出力]** グループの **[データ 出力]** をクリックして、**[USB メモリー]** をクリックし、任意のドライブを選択します。



→ 転送が開始されます。

出力先に同じ名前のファイルがある場合は、ファイルのコピーダイアログボックスが表示されます。上書きコピーするか、コピーを中断するか、別名でコピーするかを選択してください。

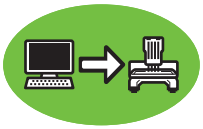


4 転送が完了すると、「書き込みが完了しました。」と表示されます。**[OK]** をクリックして、USB メモリーを取り外します。

複数の USB メモリーが接続されている場合は、出力先のドライブを指定してください。



ミシンのメモリーに直接転送する

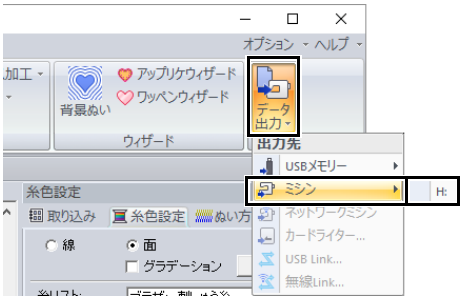


USB ケーブルを使って、パソコン と接続できるミシンに直接転送できます。

1 ミシンとパソコンを接続します。

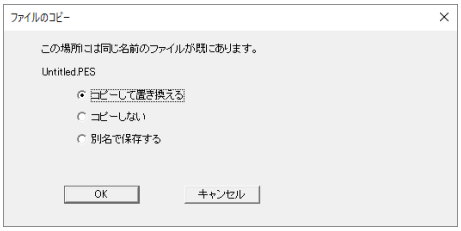
2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[出力]** グループの **[データ 出力]** をクリックして、**[ミシン]** をクリックし、任意のドライブを選択します。



→ 転送が開始されます。

出力先に同じ名前のファイルがある場合は、ファイルのコピーダイアログボックスが表示されます。上書きコピーするか、コピーを中断するか、別名でコピーするかを選択してください。



4 転送が完了すると、「書き込みが完了しました。」と表示されます。**[OK]** をクリックします。

- ミシンとの接続方法や転送方法について詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- 複数のミシンが接続されている場合は、出力先のドライブを指定してください。



- Link 機能対応ミシンのメモリーに転送する場合、出力先のミシンが Link モードに設定されていると、**[ミシン]** は選択できません。転送操作を開始する前に、ミシンを通常モードに設定してください。

無線 LAN 経由で転送する



無線 LAN 対応のミシンには、無線 LAN 経由で転送できます。

この機能は、無線 LAN 対応のミシンで刺しゅうする場合にのみ使用できます。
無線 LAN 対応モデルの詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ミシンをアプリケーションに登録する

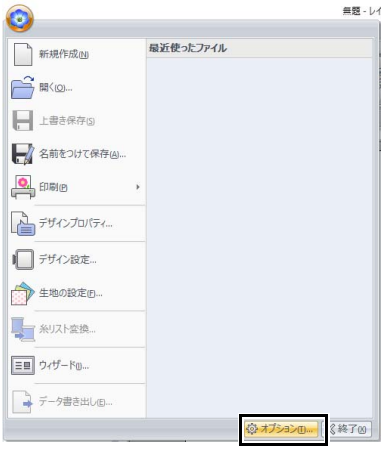
1 アプリケーションを実行しているパソコンを、無線 LAN に接続します。

2 同じ無線 LAN にミシンを接続します。

接続方法については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

パソコンとミシンがそれぞれ別の無線 LAN に接続されていると、刺しゅうデータを転送できません。必ず同じ無線 LAN にミシンを接続してください。

3 をクリックし、アプリケーションボタンメニュー下部の **[オプション]** をクリックします。

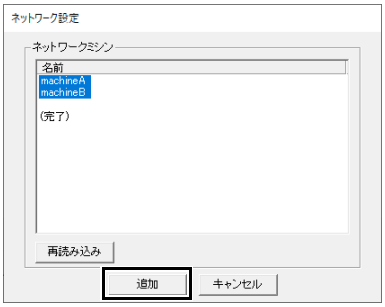


4 **[ネットワーク設定]** をクリックして、**[追加]** をクリックします。



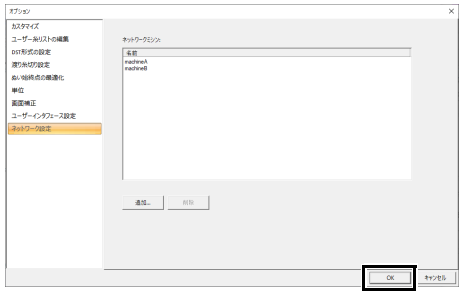
→ 無線 LAN に接続されたミシンの名前が表示されます。

5 ミシンを選択して **[追加]** をクリックします。



接続したいミシンが一覧に表示されない場合は、**[再読み込み]** をクリックしてください。

6 **[OK]** をクリックしてミシンを登録します。



登録しないミシンがある場合は、そのミシンを選択して **[削除]** をクリックして、**[OK]** をクリックします。

■刺しゅうデータをミシンに転送する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[出力]** グループの **[データ 出力]** をクリックして、**[ネットワークミシン]** をクリックし、任意のミシンを選択します。



→ 転送が開始されます。

3 転送が完了すると、「書き込みが完了しました。」と表示されます。**[OK]** をクリックします。

オリジナルカードを使って転送する



刺しゅうカードスロットを装備したミシンに転送できます。

- 刺しゅうデータに設定されている刺しゅう枠サイズが、お使いのミシンで使える刺しゅう枠のサイズより大きくないことを確認してください。
- データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

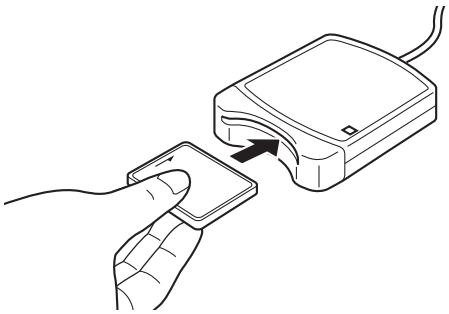
▶▶ P. 103 の「刺しゅうカードから」

- ジャンボ枠用の刺しゅうデータは、オリジナルカードを使ってミシンに送ることができません。ジャンボ枠は、内蔵カメラを搭載したブラザー製多針ミシン用に作られています。

▶▶ P. 201 の「作ってみましょう 10-3 : ジャンボ枠（別売）を使って刺しゅうする」

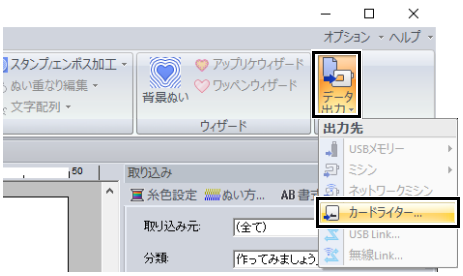
▶▶ 複数の刺しゅうデータのオリジナルカードへの書き込みについては、P. 277 の「刺しゅうデータをミシンへ転送する」を参照してください。

1 カードライターをパソコンに接続します。オリジナルカードをカードライターに挿入します。

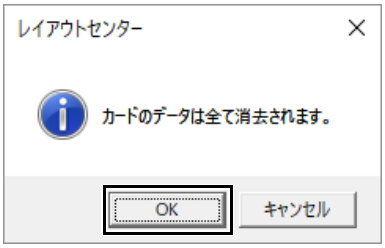


2 **[ホーム]** タブをクリックします。

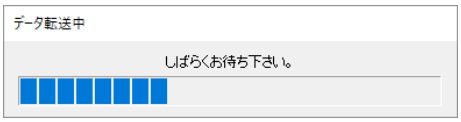
3 **[出力]** グループで **[データ 出力]** をクリックした後、**[カードライター ...]** をクリックします。



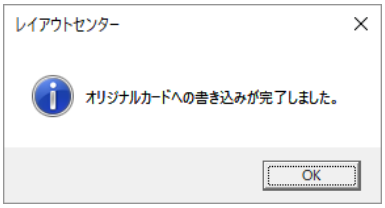
4 次のメッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。



→ 書き込みが開始されます。書き込み中は、次のメッセージが表示されます。



5 書き込みが完了すると、次のメッセージが表示されます。**[OK]** をクリックします。

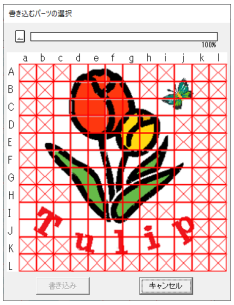


分割模様の書き込みについて

カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様は、枠パーツごとに分けて書き込まれます。

枠パーツデータの合計サイズが、メディアまたはミシンのメモリーの空き容量を超えている場合や、パーツのサイズが 90×90mm で 80 個以上に分割されている場合は、刺しゅうデータを分けて書き込んでください。

1 回の操作で保存できないときは、**[書き込むパーツの選択]** ダイアログボックスが表示されます。書き込み可能容量がいっぱいになるまで枠パーツを選択します。



ダイアログボックス上部のカード容量インジケーターで、枠パーツデータの容量（青色）とカードの空き容量（白色）を確認できます。

枠パーツを選択すると、選択した枠パーツデータによって使用される容量が青色で表示され、選択するごとに加算されていきます。空き容量の上限を超えると、カード容量インジケーター全体が赤色になります。選択を解除する場合は、解除する枠パーツを再クリックします。

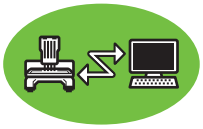
[書き込み] をクリックすると、選択した枠パーツデータがメディアに書き込まれます。**[書き込み]** は、枠パーツが選択されており、選択した枠パーツを書き込むために十分な空き容量がカードにある場合にのみ表示されます。

▶▶ 分割模様について詳しくは、P. 187 の「作ってみましょう 10-1：分割模様の刺しゅうデータを作る」を参照してください。

Link 機能を使って刺しゅうする

Link 機能には、［USB Link］と［無線 Link］の 2 種類あります。お手持ちの刺しゅうミシンの設定画面に **[リンク]** または **[Link (リンク)]** と記載されている場合は、USB Link 機能に対応しています。

USB Link



USB Link 機能を備えたミシンへ、パソコンから刺しゅうデータを転送して刺しゅうできます。ミシンとコンピューターは USB ケーブルで接続します。パソコンからプリンターにデータを送って印刷するように、パソコンからミシンへデータを送り刺しゅうできます。

- USB Link 機能対応のミシンでのみ使用できる機能です。その他のミシンでは使用できません。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- USB Link 機能は、以下の刺しゅうデザインでは使用できません。
  - ミシンで縫製できる領域を超えるサイズのデータ
  - カスタムサイズのデザインページまたはジャンボ枠の刺しゅうデータ
  - データを転送するミシンの最大縫製エリアで包含できないサイズの枠を、**［デザイン設定］**ダイアログボックスの **［枠サイズ］** で選択しているとき
- 最大で 4 台までミシンとパソコンを接続して USB Link 機能を使用できます。

1 **［レイアウトセンター］**で転送する刺しゅうファイルを開きます。

2 ミシンを USB Link モードに設定します。

- ミシンの USB Link 機能をオンにして、電源を切ります。

ミシンの USB Link モードの設定方法について詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

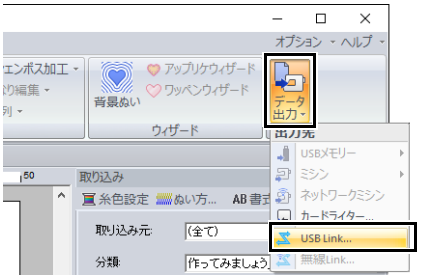
3 ミシンに付属されているUSBケーブルを使って、ミシンとパソコンを接続します。

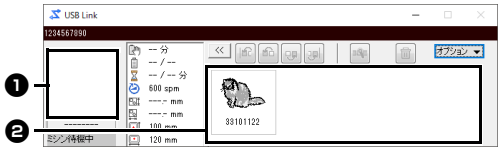
- ミシンの電源を入れます。

- ミシンとの接続方法について詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- ミシンとパソコンの距離が離れていて付属の USB ケーブルでは接続できない場合は、電源付きの USB ハブを使用してください。電源供給のない USB ハブや、延長ケーブル、リピーターケーブルは使用しないでください。
- ミシンの電源が入っているときは、USB ケーブルを抜き挿ししないでください。
- **［コントロールパネル］**で **［電源オプション］**を選択し、**［システムスタンバイ］**および **［システム休止状態］**を両方 **［なし］**に設定してください。

4 **［ホーム］**タブをクリックします。

5 **[出力]** グループで **[データ 出力]** をクリックした後、**[USB Link]** をクリックします。





❶ **転送済みデータ表示**

❷ **キュー表示**
転送待ちのデータが表示されています。

→ ミシン側でデータロードが可能な状態になると、転送が開始されます。転送中は、ミシンの画面にメッセージが表示され、キュー表示のデータアイコンが転送済みデータ表示に移動します。



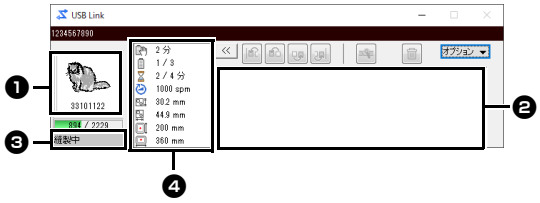
[レイアウトセンター] から転送したデータが、転送済みデータ表示 ❶ に表示されない場合は、ミシンの操作パネルを確認してください。

複数のデザインを **[USB Link]** ダイアログボックスに送信するには、各デザインについて手順 **4** と **5** を繰り返します。**[レイアウトセンター]** で刺しゅうデータを表示していても、**[USB Link]** ウィンドウは表示されたまま、転送／縫製状況を確認できます。

6 転送が完了したら、ミシンのスタート／ストップボタンを押して、縫製を開始します。

ミシンでは、転送された刺しゅうデータの編集はできません。届いたデータを縫製するのみです。ただし、縫製設定は指定できます。

縫製が開始されると、**[USB Link]** ウィンドウは次のように表示されます。



❶ 転送済みデータ表示

❷ キュー表示

❸ ミシンの状態を確認できます。

❹ ミシンの状態表示

ミシンの状態表示の内容は次のとおりです。

表示	内容
縫製できます	ミシンのスタート／ストップボタンを押すと、縫製をスタートできます。
ミシン待機中	転送待ちデータがない（キュー表示 ❷ に何も表示されていない）場合は、パソコンから出力先に **[USB Link]** を選択し、データを送ってください。 転送待ちデータがあっても（キュー表示 ❷ にデータが表示されていても）、転送されずこの状態が続く場合は、ミシンの操作パネルを使って次に進めてください。
縫製中	縫製中です。
一時停止中	一時停止中です。
糸替え	ミシンにセットしている糸コマを交換してください。
糸コマを確認	ミシンの下糸または上糸を確認してください。
枠を交換	別の刺しゅう枠をセットしてください。
ミシンを確認	エラーが発生しました。ミシンを確認してください。

■複数の刺しゅうデータを転送するときは

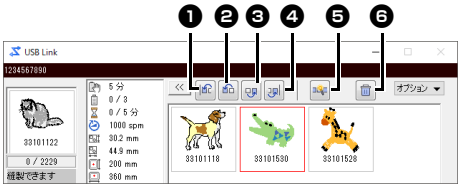
レイアウトセンターで複数の刺しゅうデータの転送を行うと、**[USB Link]** ウィンドウは次のように表示されます。

- デザインデータベースを使うと、複数の刺しゅうデータを一度の操作で転送できます。

▶▶ P. 282 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

- **[名前差替え]** 機能を使っても、文字列を差し替えた複数の刺しゅうデータを転送できます。

▶▶ P. 138 の「名前差替えデータをファイルに出力する」



このウィンドウでは、次の操作が行えます。

❶ 選択した刺しゅうデータの縫製順を先頭に移動します。

❷ 選択した刺しゅうデータの縫製順を 1 つ前に移動します。

❸ 選択した刺しゅうデータの縫製順を 1 つ後ろに移動します。

❹ 選択した刺しゅうデータの縫製順を最後に移動します。

❺ 糸こま交換が少なくなるように、縫製順を最適化します。

❻ 選択した刺しゅうデータをキュー表示から削除します。

ミシンに「ミシンが動きます。ミシンに手などを近づけないでください。」と表示され **[OK]** を押すまで、先頭の刺しゅうデータはミシンへ転送されません。**[OK]** を押す前は、先頭の刺しゅうデータも縫製順の変更ができます。

■複数のミシンと接続している場合

操作は、1 台のミシンへ転送するときと基本的に同じですが、転送先を指定するための **[ディストリビューター]** ダイアログボックスとそれぞれのミシンの **[USB Link]** ウィンドウが表示されます。**[ディストリビューター]** ダイアログボックスで刺しゅうデータを選択し、どの刺しゅうデータをどのミシンで縫製するかの指定をします。

[ディストリビューター] ダイアログボックス



❶ すべての刺しゅうデータを選択します。

❷ 刺しゅうデータの選択を解除します。

❸ 選択した刺しゅうデータをキュー表示から削除します。(**ゴミ箱**に移動しないで削除されます。)

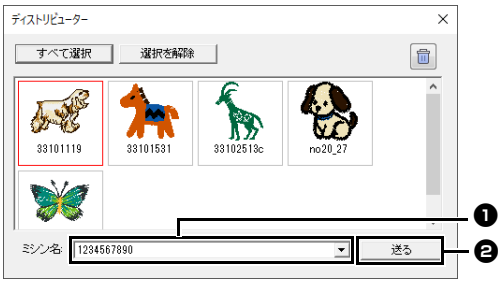
- レイアウトセンターから、複数のデータを転送する場合は、手順 **5** をデータごとに繰り返し行ってください。

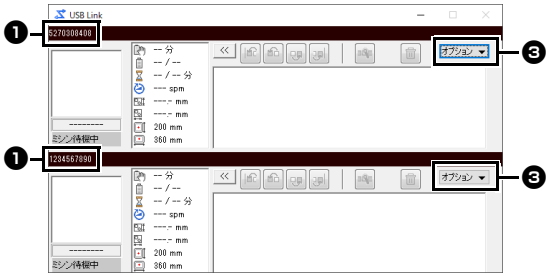
▶▶ P. 219 の「USB Link」

- デザインデータベースを使うと、複数の刺しゅうデータを一度にミシンに割り当てることができます。

▶▶ P. 282 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

1 **[ミシン名設定]** セレクター ❶ でミシンを選択し、刺しゅうデータを選択して、**[送る]** ❷ をクリックします。





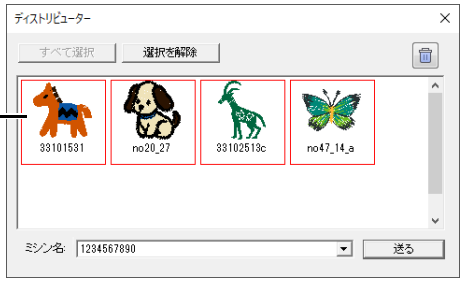
❶ ミシン名

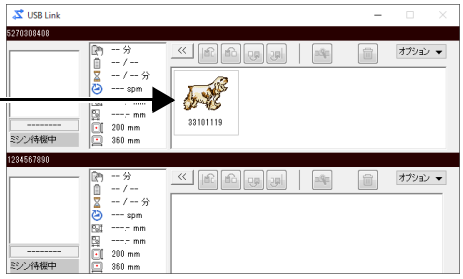
❷ **[USB Link]** ダイアログボックスに選択した刺しゅうデータを送ります。

❸ **[ディストリビューター]** ダイアログボックスは、**[USB Link]** ダイアログボックスの **[オプション]** メニューで **[ディストリビューター]** をクリックしても表示できます。

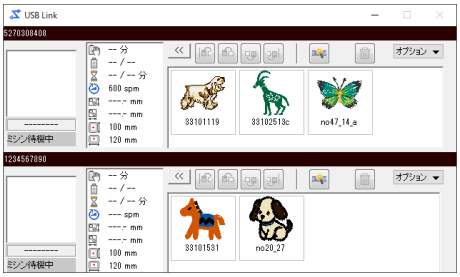
- ミシン名は、初期状態でプロダクト No. が表示されています。
  詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- ミシン名は変更できます。
  詳しくは、P. 223 の「USB Link 機能で表示するミシン名を変更する」を参照してください。

→ **[USB Link]** ウィンドウにデータアイコンが移動します。





2 **1** を繰り返して、各刺しゅうデータを **[USB Link]** ウィンドウの各ミシンに割り当てます。



- 縫製順を変更できます。

▶▶ 詳しくは、P. 221 の「複数の刺しゅうデータを転送するときは」を参照してください。

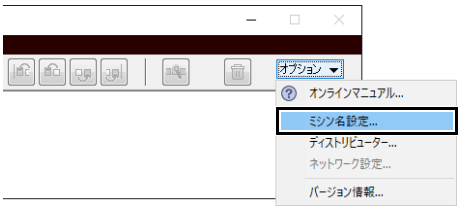
- **[USB Link]** ウィンドウが表示されているときにミシンを追加して接続すると、そのミシンのキュー表示が追加表示されます。また、ミシンの接続を解除すると、そのミシンのキュー表示は非表示になります。
- データアイコンをダブルクリックするか、1 つ選択してから右クリックし、メニューから **[ファイルプロパティ]** を選択すると、**[ファイルプロパティ]** ダイアログボックスを表示できます。
- ウィンドウは、**[最小化]** ボタンをクリックして、タスクバーに収納できます。

USB ケーブルを取り外す、パソコンをシャットダウンするときは

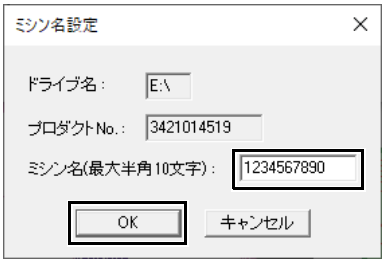
- データの転送が完了し、ミシンの画面の転送メッセージ画面が閉じてから、USB ケーブルをパソコンから抜いてください。または、パソコンをシャットダウンしてください。
  再度、ミシンと接続すると、引き続き USB Link 機能を操作できます。
- パソコンをシャットダウンしても、ミシンで現在縫製中の刺しゅうデータは最後まで縫製されます。
- 刺しゅう中にミシンの電源が切れた場合、電源を入れ直したときに再開できます。その場合は、**[デザインデータベース]** の **[オプション]** → **[USB Link]** をクリックするか、**[レイアウトセンター]** の **[オプション]** メニュー→ **[USB Link の起動]** をクリックすると、**[USB Link]** ウィンドウが表示され、USB Link 機能による転送を再開できます。
- ミシンの接続が検出できない場合、**[USB Link]** ウィンドウは自動的に閉じます。
- パソコンを再起動したときは、**[デザインデータベース]** の **[オプション]** → **[USB Link]** をクリックするか、**[レイアウトセンター]** の **[オプション]** メニュー（画面右上）→ **[USB Link の起動]** をクリックすると、**[USB Link]** ウィンドウを再表示できます。

■USB Link 機能で表示するミシン名を変更する

1 名前を変更するミシンのキュー表示の **[オプション]** をクリックし、**[ミシン名設定]** をクリックします。



2 **[ミシン名]** に新しい名前を入力し、**[OK]** をクリックします。



設定できるミシン名は、半角英数字／記号で文字数は 10 文字までです。

- パソコンにミシンを USB 接続すると、ミシンはリムーバブルディスクとしてパソコンに認識され、ドライブレターが割り当てられます。このドライブレターが、パソコンですでに割り当てられている他のドライブレターと重複している場合は、そのミシンに刺しゅうデータを転送できません。例えば、ネットワークドライブをパソコンのドライブレターに割り当てているときに、この問題が発生します。この場合は、重複しているドライブレターの割り当て先の割り当てを解除してください。
- パソコンに USB 接続するミシンを増やすと、オペレーションシステムからパソコンの再起動を求められることがあります。その場合は、パソコンを再起動してください。

無線 Link



無線 Link 機能に対応しているミシンに、パソコンから刺しゅうデータを転送して刺しゅうすることができます。ミシンとパソコンが、USB ケーブルで接続できない場所にあるときに便利です。

- 無線 Link 機能対応のミシンでのみ使用できる機能です。その他のミシンでは使用できません。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- 無線 Link 機能は、以下の刺しゅうデザインでは使用できません。
  - ミシンで縫製できる領域を超えるサイズのデータ
  - カスタムサイズのデザインページまたはジャンボ枠の刺しゅうデータ
  - データを転送するミシンの最大縫製エリアに入らないサイズの枠を、**[デザイン設定]** ダイアログボックスの **[枠サイズ]** で選択しているとき
- 最大で 10 台までミシンとパソコンを接続して無線 Link 機能を使用できます。

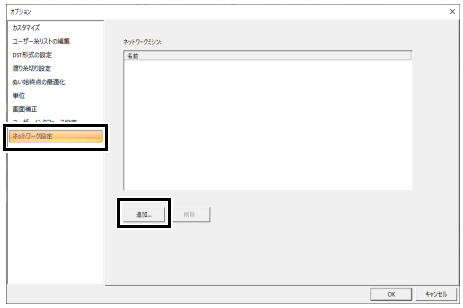
1 **[レイアウトセンター]** で転送する刺しゅうファイルを開きます。

2 ミシンを無線に接続し、無線 LAN 接続の Link モードに設定します。

ミシンの設定方法について詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

3 → **[オプション]** の順にクリックします。

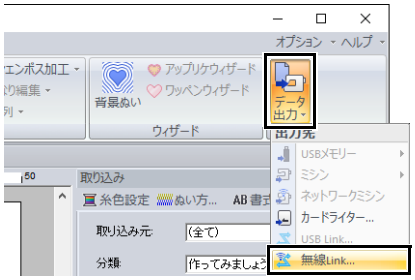
- **[ネットワーク設定]** ダイアログボックスを表示して、ネットワーク上のミシンを登録します。

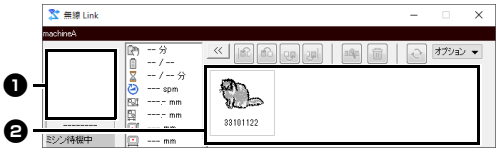


▶▶ 詳細については、P. 216 の「無線 LAN 経由で転送する」を参照してください。

4 **[ホーム]** タブをクリックします。

5 **[出力]** グループで **[データ 出力]** をクリックした後、**[無線 Link]** をクリックします。





❶ **転送済みデータ表示**
転送済データが表示されます。ミシンの状態表示が **[接続状態を確認]** となっているときは、エラー情報が表示されます。

❷ **キュー表示**
転送待ちのデータが表示されています。

→ ミシン側でデータロードが可能な状態になると、転送が開始されます。転送中は、ミシンの画面にメッセージが表示され、キュー表示のデータアイコンが転送済みデータ表示に移動します。



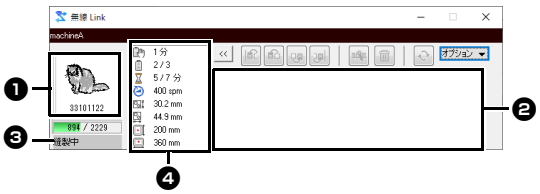
[レイアウトセンター] から転送したデータが、転送済みデータ表示①に表示されない場合は、ミシンの操作パネルを確認してください。

複数のデザインを **[無線 Link]** ダイアログボックスに送信するには、各デザインについて手順 **4** と **5** を繰り返します。**[レイアウトセンター]** で刺しゅうデータを表示していても、**[無線 Link]** ウィンドウは表示されたまま、転送／縫製状況を確認できます。

6 転送が完了したら、ミシンのスタート／ストップボタンを押して、縫製を開始します。

ミシンでは、転送された刺しゅうデータの編集はできません。届いたデータを縫製するのみです。ただし、縫製設定は指定できます。

縫製が開始されると、**[無線 Link]** ウィンドウは次のように表示されます。



❶ 転送済みデータ表示
❷ キュー表示
❸ ミシンの状態を確認できます。
❹ ミシンの状態表示

ミシンの状態表示の内容は次のとおりです。

表示	内容
縫製できます	ミシンのスタート／ストップボタンを押すと、縫製をスタートできます。
ミシン待機中	転送待ちデータがない（キュー表示 ❷ に何も表示されていない）場合は、パソコンから出力先に **[無線 Link]** を選択し、データを送ってください。 転送待ちデータがあっても（キュー表示 ❷ にデータが表示されていても）、転送されずこの状態が続く場合は、ミシンの操作パネルを使って次に進めてください。
縫製中	縫製中です。
一時停止中	一時停止中です。
糸替え	ミシンにセットしている糸コマを交換してください。
糸コマを確認	ミシンの下糸または上糸を確認してください。
枠を交換	別の刺しゅう枠をセットしてください。
ミシンを確認	エラーが発生しました。ミシンを確認してください。
接続状態を確認	❶ の"転送済みデータ表示"が表示される場所に、エラー情報が表示されます。 ミシンが無線 Link モードになっていない場合は、無線 Link モードでミシンを起動してください。 ネットワークエラーが起きている場合は、パソコンとミシンのネットワークの接続状態を確認してください。
接続中 ...	同じネットワークにあるミシンを探索中です。

■複数の刺しゅうデータを転送するときは

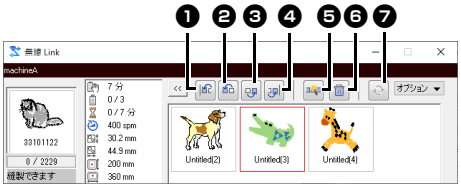
レイアウトセンターで複数の刺しゅうデータの転送を行うと、**[無線 Link]** ウィンドウは次のように表示されます。

- デザインデータベースを使うと、複数の刺しゅうデータを一度の操作で転送できます。

▶▶ P. 282 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

- **[名前差替え]** 機能を使っても、文字列を差し替えた複数の刺しゅうデータを転送できます。

▶▶ P. 138 の「名前差替えデータをファイルに出力する」



このウィンドウでは、次の操作が行えます。

❶ 選択した刺しゅうデータの縫製順を先頭に移動します。

❷ 選択した刺しゅうデータの縫製順を 1 つ前に移動します。

❸ 選択した刺しゅうデータの縫製順を 1 つ後ろに移動します。

❹ 選択した刺しゅうデータの縫製順を最後に移動します。

❺ 糸こま交換が少なくなるように、縫製順を最適化します。

❻ 選択した刺しゅうデータをキュー表示から削除します。

❼ 通信が切れているミシンと再接続します。ネットワークエラーが発生している時のみ有効になります。

ミシンに「ミシンが動きます。ミシンに手などを近づけないでください。」と表示され **[OK]** を押すまで、先頭の刺しゅうデータはミシンへ転送されません。**[OK]** を押す前は、先頭の刺しゅうデータも縫製順の変更ができます。

■複数のミシンと接続している場合

操作は、1 台のミシンへ転送するときと基本的に同じですが、転送先を指定するための **[ディストリビューター]** ダイアログボックスとそれぞれのミシンの **[無線 Link]** ウィンドウが表示されます。**[ディストリビューター]** ダイアログボックスで刺しゅうデータを選択し、どの刺しゅうデータをどのミシンで縫製するかの指定をします。

[ディストリビューター] ダイアログボックス



❶ すべての刺しゅうデータを選択します。

❷ 刺しゅうデータの選択を解除します。

❸ 選択した刺しゅうデータをキュー表示から削除します。(**ゴミ箱**に移動しないで削除されます。)

- レイアウトセンターから、複数のデータを転送する場合は、手順 **5** をデータごとに繰り返し行ってください。

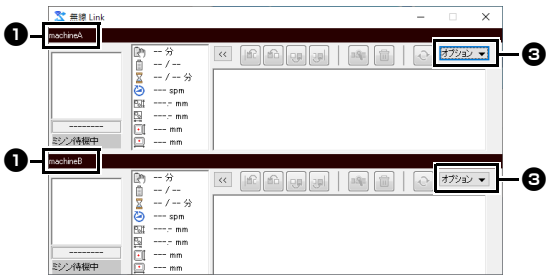
▶▶ P. 224 の「無線 Link」

- デザインデータベースを使うと、複数の刺しゅうデータを一度にミシンに割り当てることができます。

▶▶ P. 282 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

1 **[ミシン名設定]** セレクター❶でミシンを選択し、刺しゅうデータを選択して、**[送る]** ❷をクリックします。





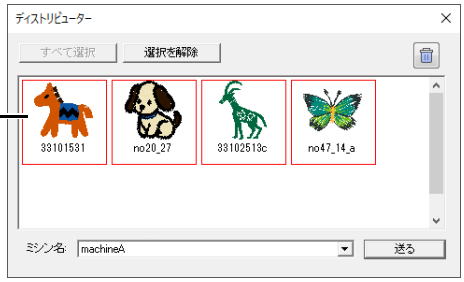
❶ ミシン名

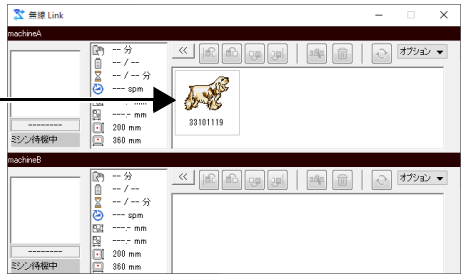
❷ **[無線 Link]** ダイアログボックスに選択した刺しゅうデータを送ります。

❸ **[ディストリビューター]** ダイアログボックスは、**[無線 Link]** ダイアログボックスの **[オプション]** メニューで **[ディストリビューター]** をクリックしても表示できます。

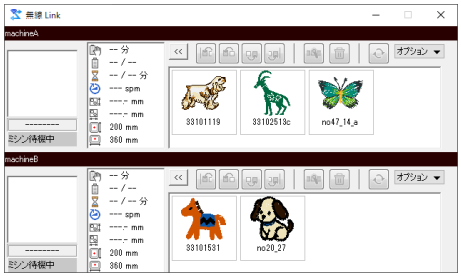
- **[無線 Link]** が使用可能なミシンの場合、ミシン名はミシンで登録されている **[ミシン名]** が表示されます。
詳しくはお使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

→ **[無線 Link]** ウィンドウにデータアイコンが移動します。





2 **1** を繰り返して、各刺しゅうデータを **[無線 Link]** ウィンドウの各ミシンに割り当てます。

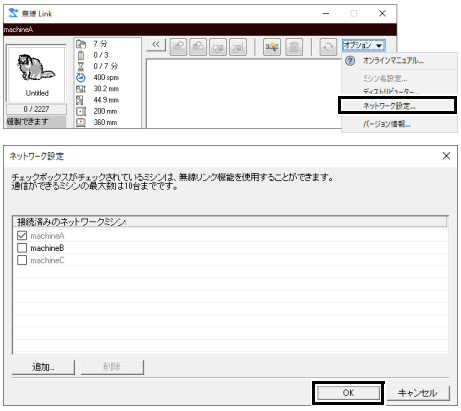


- **[無線 Link]** を終了する場合は、**[無線 Link]** ダイアログボックス右上の ✕ を押してください。
- 刺しゅう中にミシンの電源が切れた場合、ネットワークエラーになります。ミシンの電源を入れ直し、を押すと、再接続できます。

※ ミシンの起動が完了するまでは、を押しても、再接続できないことがあります。

■接続台数を変更する

[無線 Link] ダイアログボックスの **[オプション]** を押して、**[ネットワーク設定]** ダイアログボックスを表示することができます。登録済みミシンのリストが表示されたら、接続したいミシンのチェックボックスをチェックして、**[OK]** を押します。



→ ミシンが **[無線 Link]** ダイアログボックスに表示されます。

- **[無線 Link]** と **[USB Link]** を切り替えたい場合は、ダイアログボックスを閉じてから、**[出力]** グループの **[データ出力]** をクリックして、**[無線 Link]** または **[USB Link]** をクリックしてください。
  ミシンに適したリンク機能（無線 LAN または USB ケーブル）を設定してください。

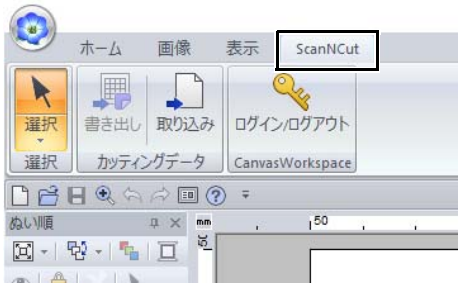
ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）との互換性

ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）の基本操作と、ScanNCut と本ソフトウェアをリンクさせる機能について説明します。操作はレイアウトセンターで行います。

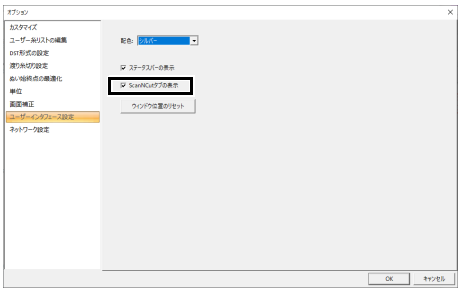
ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）との互換性

［ScanNCut］タブについて（レイアウトセンター）

このタブで、ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）を刺しゅう PRO と対応させることができます。

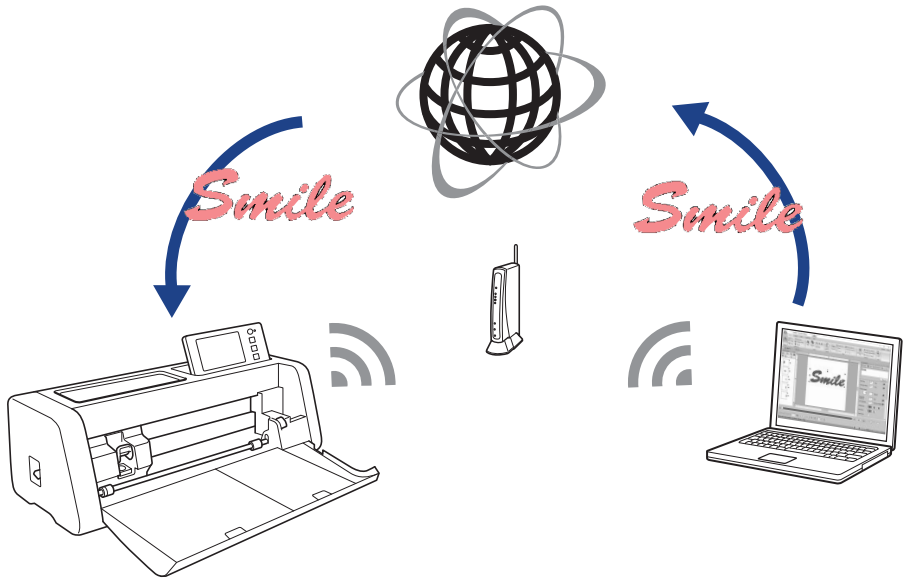


［ScanNCut］タブが必要なくなった場合は、ウィンドウ右上の**［オプション］**メニューの**［オプション］**をクリックして**［ユーザーインタフェース設定］**をクリックし、**［ScanNCut タブの表示］**のチェックを外してください。



作ってみましょう 11：CanvasWorkspace に FCM ファイルを送る

このソフトウェアから、CanvasWorkspace（ブラザーカッティングマシンのオンラインサービス）に模様を送ることができます。さらに、CanvasWorkspace から ScanNCut 本体（無線 LAN 対応のモデルのみ）に模様を送ることもできます。



- CanvasWorkspace は、ブラザーカッティングマシン向けの模様編集アプリです。下記のリンクにアクセスして無料のアカウントを作成すると、アプリの機能をお使いいただけます。
  http://CanvasWorkspace.Brother.com

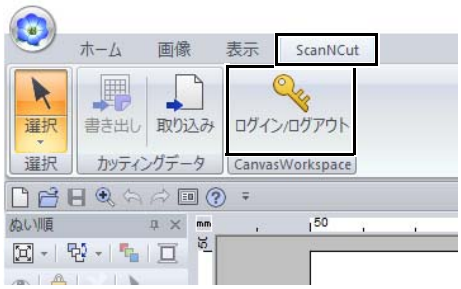
- 刺しゅう済みの布は、ScanNCut でカットすることができません。
- ScanNCut でカットできる布の厚さには制限があります。
- 詳しくは、ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）の取扱説明書を参照してください。
- **［名前差替え］**設定が適用された文字を含むデータが選択されている場合、この機能は使用できません。

ここで作るサンプルデータは、
ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥作ってみましょう￥作ってみましょう _11 にあります。

ステップ 1	CanvasWorkspace にログインする
ステップ 2	刺しゅうデータを選択する
ステップ 3	模様データを CanvasWorkspace に送る

ステップ 1 CanvasWorkspace にログインする

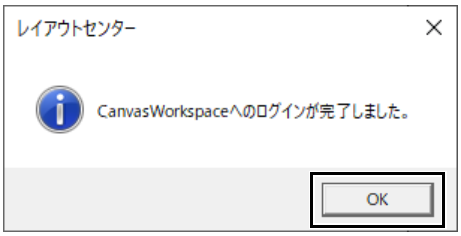
1 [ScanNCut] タブをクリックし、[CanvasWorkspace] グループで [ログイン / ログアウト] をクリックします。



2 [ログイン] ダイアログボックスで、CanvasWorkspace の ID とパスワードを入力します。

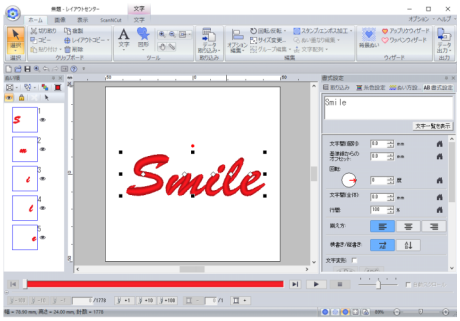


3 ログインが完了すると、以下のメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



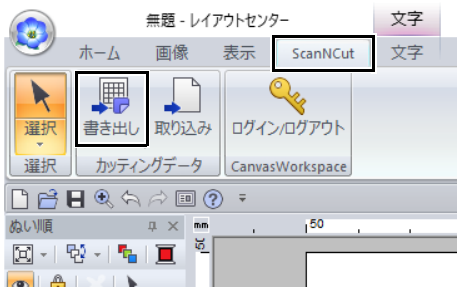
ステップ 2 刺しゅうデータを選択する

1 [文字] ツールを選択し、**“Smile”** と入力します。



ステップ 3 模様データを CanvasWorkspace に送る

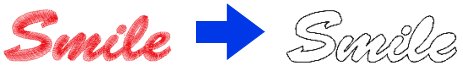
1 [ScanNCut] タブをクリックし、[カッティングデータ] グループの [書き出し] をクリックします。



2 カット線を設定します。



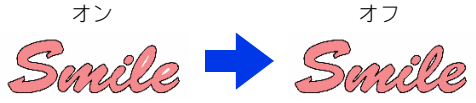
❶ **オフセット間隔**
［**オフセット間隔**］で、模様のアウトラインからカット線までの距離を設定します。
ここでは、［**0.0**］mm に設定します。
- ［**オフセット間隔**］を 0.0mm に設定すると、模様のアウトラインがカット線になります。



- ［**オフセット間隔**］が 0.0mm 以外に設定されてカット線が重なった場合は、重なった部分が結合します。



❷ 模様の外周だけにカット線を入れたい場合は、ここにチェックを入れます。
チェックを外すと、模様の中にもカット線がつきます。
ここでは、チェックを外します。



❸ **FCM ファイル保存**
このボタンをクリックすると、［**FCM ファイル保存**］ダイアログボックスが表示され、ファイルの保存先を指定できます。

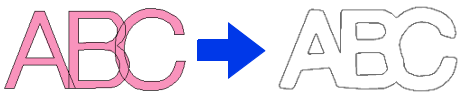
❹ **CanvasWorkspace へ出力**
このボタンをクリックして、FCM ファイルを CanvasWorkspace に送ります。

❺ **カット模様の大きさ**
カットデータのサイズを表示します。

❻ **下絵表示**
チェックボックスにチェックを入れると、元の模様が薄く表示されます。

❼ **閉じる**
このボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

- 模様が重なった場合は、結合します。



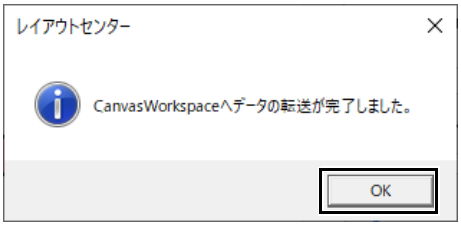
- ただし、［**オフセット間隔**］が 0.0mm に設定されているときは、重なった模様が結合されない場合があります。
- 極端に小さい模様のデータは、書き出すことができません。
- カットデータの最大サイズは、12 × 12 インチ（305 mm × 305 mm）のマットにぴったり収まる大きさです。この最大値を超えると、エラーメッセージが表示されます。
- 刺しゅうデータに 300 を超えるカットデータが含まれていると、FCM ファイルを保存できません。この最大値を超えると、エラーメッセージが表示されます。

3 ［**CanvasWorkspace へ出力**］ボタンをクリックします。



- ステップ 1 で CanvasWorkspace にログインできなかった場合は、パスワード入力画面が表示されます。ID とパスワードを入力してログインしてください。

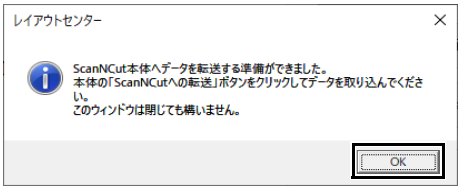
4 模様の転送が完了すると、以下のメッセージが表示されます。［**OK**］をクリックします。



- CanvasWorkspace のアカウントにお手持ちの ScanNCut 本体（無線 LAN 対応のモデルのみ）を登録していると、以下のメッセージが表示されます。



- ScanNCut 本体にも模様データを送るときは［**はい**］をクリックして、以下のメッセージが表示された場合は再度［**OK**］をクリックします。



- その後、ScanNCut の転送ボタンを押して、送った模様データをインポートします。
- ScanNCut 本体に模様データを送らない場合は、［**いいえ**］をクリックします。

5 転送された模様が CanvasWorkspace に表示されます。
転送された模様を CanvasWorkspace で開く方法について詳しくは、CanvasWorkspace のヘルプを参照してください。

- 模様には「fromPED_yyyymmddhhmm」という名前が自動的につけられます。

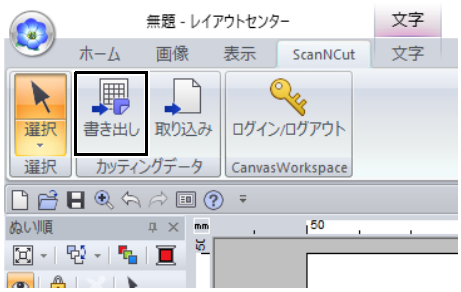
FCM ファイルを保存する／取り込む

作成した刺しゅう模様を .fcm ファイルとして保存して ScanNCut（ブラザーカッティングマシン）でカットしたり、.fcm ファイルを取り込んで刺しゅう PRO で編集することができます。

FCM ファイルを書き出す

1 1 つまたは複数の刺しゅうデータを選択し、**[ScanNCut]** タブをクリックします。

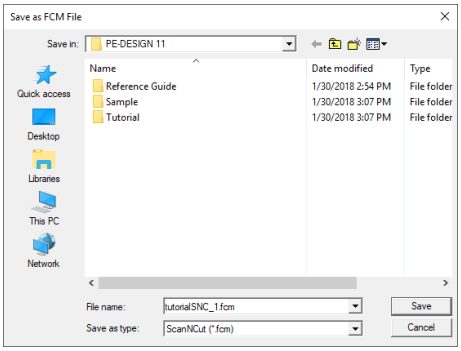
2 **[カッティングデータ]** グループで **[書き出し]** をクリックします。



3 カット線を設定し終わったら、**[FCM ファイル保存]** ボタンを押します。



4 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



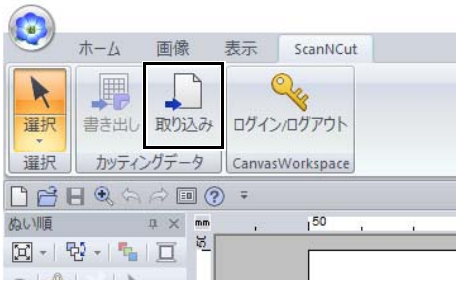
5 **[保存]** をクリックします。

FCM ファイルを取り込む

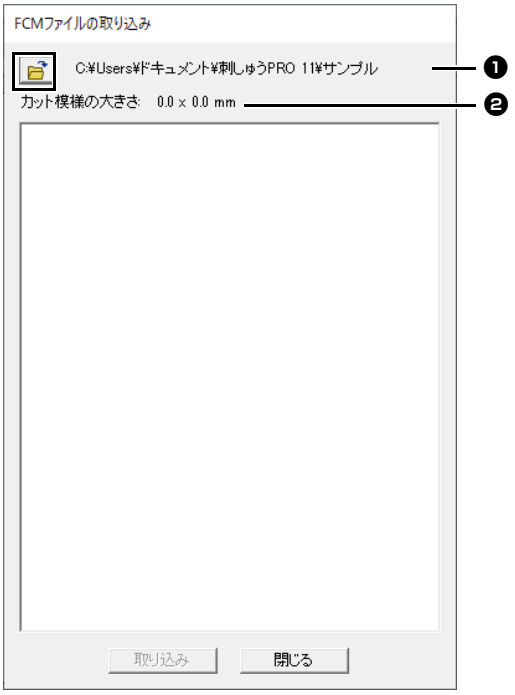
.fcm ファイルを刺しゅうデータとして刺しゅう PRO に取り込むことができます。

1 **[ScanNCut]** タブをクリックします。

2 **[カッティングデータ]** グループの **[取り込み]** をクリックします。



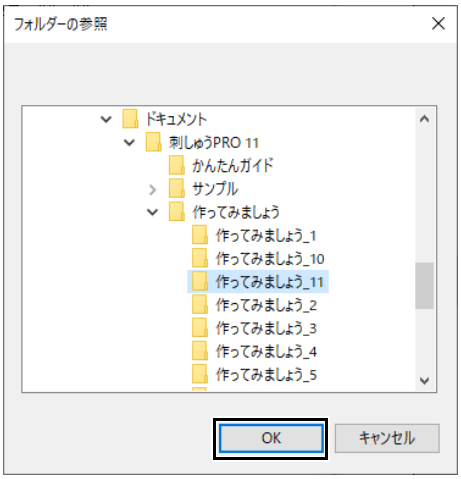
3 をクリックします。



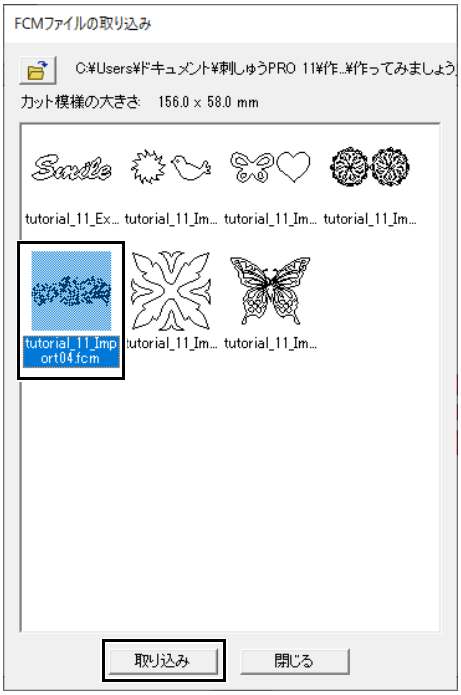
❶ 現在選択されているフォルダーのパスが表示されます。

❷ カッティングデータのサイズを表示します。

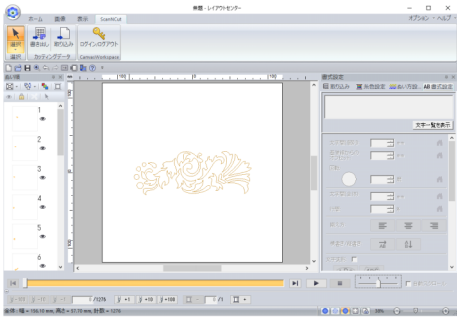
4 フォルダーを選択し、**[OK]** をクリックします。



5 サムネイルを選択し、**[取り込み]** をクリックします。



6 読み込んだ刺しゅうデータがデザインページに表示されます。



デザインセンター

デザインセンターの使い方を説明します。イラストなどの原画から、4 つのステージを踏むことにより簡単に刺しゅうデータを作ります。

デザインセンター

アプリケーションボタンメニュー



No.	メニュー	参照ページ
1	ウィザード	P. 252
2	新規作成 (輪郭線画)	P. 255
3	新規作成 (輪郭データ)	P. 257
4	開く	P. 253
5	上書き保存	P. 267
6	名前を付けて保存	P. 267

リボンメニュー

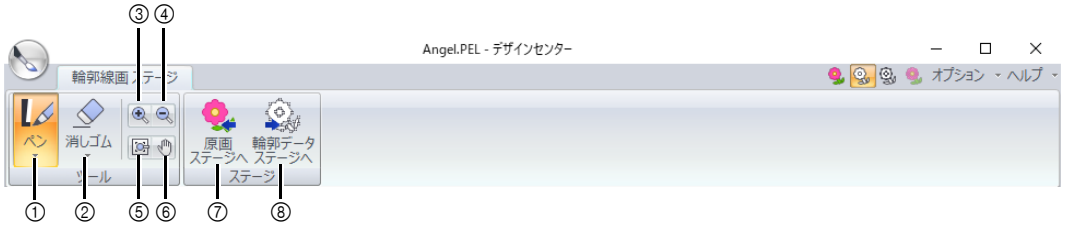
■原画ステージタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	画像を開く	—

No.	メニュー	参照ページ
2	輪郭線画 ステージへ	P. 254

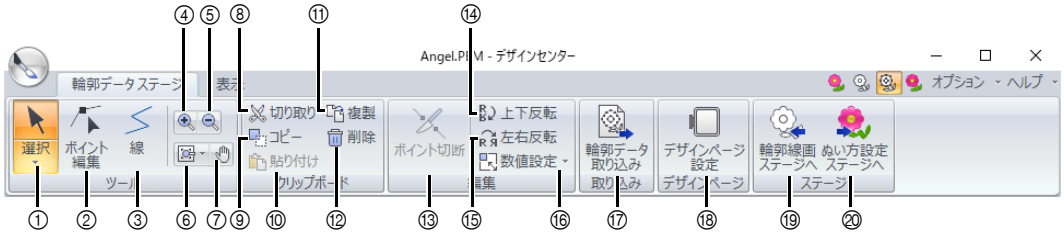
■輪郭線画ステージタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	ペン	P. 243
2	消しゴム	P. 243
3	ズームイン	P. 243
4	ズームアウト	P. 243

No.	メニュー	参照ページ
5	デザインページズーム	—
6	パン	P. 243
7	原画 ステージへ	P. 252
8	輪郭データ ステージへ	P. 256

■輪郭データステージタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択	P. 244
2	ポイント編集	P. 245
3	線	P. 244
4	ズームイン	—
5	ズームアウト	—
6	その他のズーム	—
7	パン	—
8	切り取り	—
9	コピー	—
10	貼り付け	—

No.	メニュー	参照ページ
11	複製	—
12	削除	P. 245
13	ポイント切断	P. 246
14	上下反転	P. 258
15	左右反転	P. 258
16	数値設定	P. 258
17	輪郭データ取り込み	P. 257
18	デザインページ設定	P. 257
19	輪郭線画 ステージへ	P. 254
20	ぬい方設定ステージへ	P. 247

■表示タブ



No.	メニュー	参照ページ
1	リファレンスウィンドウ	P. 258
2	移動 / サイズ変更	P. 260
3	下絵の濃さ	P. 260

No.	メニュー	参照ページ
4	グリッド表示	P. 260
5	線で表示	P. 260
6	グリッド間隔	P. 260

■ぬい方設定ステージタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	面	P. 261
2	線	P. 262
3	ドーナツぬい	P. 265
4	スタンプ	P. 266
5	ズームイン	—
6	ズームアウト	—
7	デザインページズーム	—
8	パン	—

No.	メニュー	参照ページ
9	糸色	P. 262
10	ぬい方	P. 262
11	ぬい順	P. 266
12	プレビュー	—
13	リアルプレビュー	—
14	ステッチ シミュレーター	P. 267
15	輪郭データ ステージへ	P. 256
16	レイアウトセンターへ	P. 250

■表示タブ



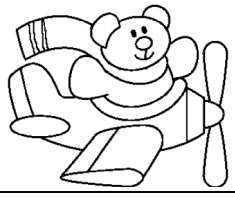
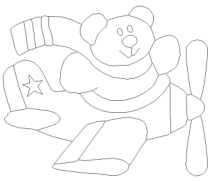
No.	メニュー	参照ページ
1	リファレンスウィンドウ	P. 258

No.	メニュー	参照ページ
2	ぬい方設定	P. 263

デザインセンターの基本的な使い方

デザインセンターでは、オリジナルの画像から刺しゅうデータを作成できます。線や面の糸色やぬい方を、レイアウトセンターの［**オート パンチ**］より細かく設定することができます。

次の 4 つのステージで作っていきます。

ステップ 1 **原画ステージ**	ステップ 2 **輪郭線画ステージ**	ステップ 3 **輪郭データステージ**	ステップ 4 **ぬい方設定ステージ**
			
画像を開き、輪郭線にする色を指定します。	原画は白黒の輪郭線画に変換されます。 輪郭線を描いたり、消したりできます。 例) マフラーの線を消しました。 マフラーに線を加えました。	輪郭線画が、輪郭データに変換されます。 輪郭データのポイントを編集して図柄を編集できます。 例) 目の部分を移動して、表情を変えてみました。 尾翼に星模様を入れました。	輪郭データにぬい方や糸色を設定して、刺しゅうデータを完成させます。 例) 原画とは違う色を付けると、雰囲気が変わります。

- 各ステージで作業を中断しても、データを保存しておけば後で作業を再開できます。
- 原画にする画像は色数が少なく、色のはっきりしたイラストが適しています。細かい部分やグラデーションがあるイラストや写真は輪郭線を抽出しにくいので不向きです。
- 輪郭線画データは .pel 形式で、輪郭データは .pem 形式で保存されます。
- 刺しゅうデータは .pem 形式で保存されます。デザインセンターで作った .pem データをミシンに転送するには、レイアウトセンターへいったん送り、レイアウトセンターから転送してください。

▶▶ P. 250 の「レイアウトセンターへ転送する」と P. 214 の「刺しゅうデータをミシンへ転送する」

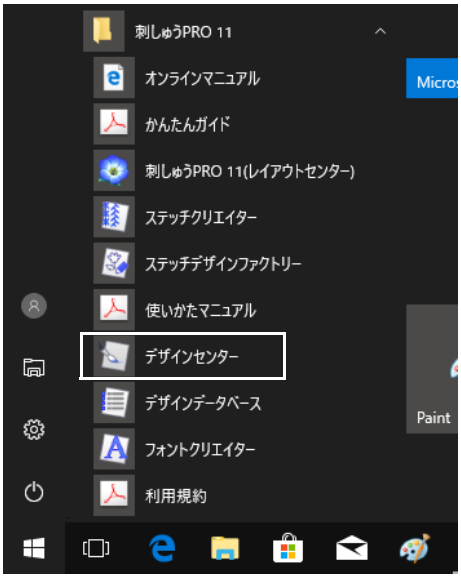
ここでは、デザインセンターの基本的な使い方を説明します。詳しい使い方や設定については、P. 251 の「デザインセンターの画面」以降を参照してください。

ステップ 1 原画ステージ

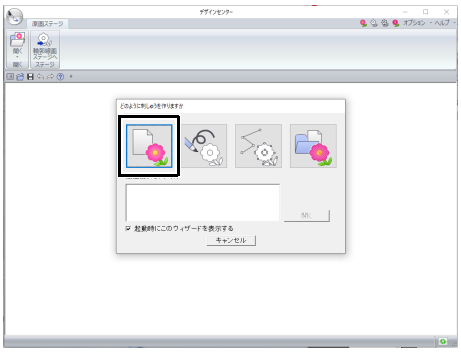
■原画から輪郭線を抽出する

1 をクリックします。

2 タイトル［**刺しゅう PRO 11**］の下にある［**デザインセンター**］をクリックします。



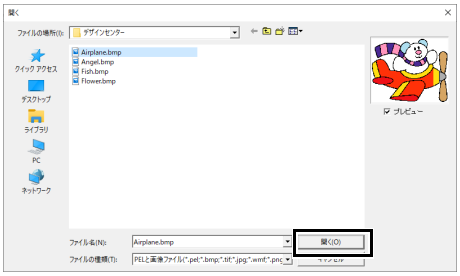
3 をクリックします。



4 をクリックします。



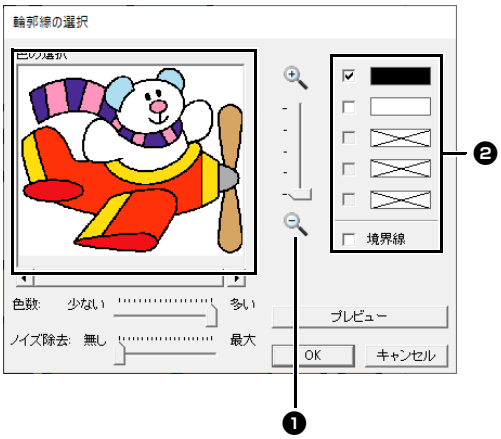
5 画像ファイルを選び、［**開く**］をクリックします。



飛行機の画像は、以下のパスにあります。
ドキュメント（マイ ドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥サンプル￥デザインセンター

6 ［**色の選択**］ウィンドウに表示された画像で、輪郭線に使用したい線の色を選択します。

→ クリックした部分の色が右側のボックスに表示されます。チェックボックスに が表示されている色が選択されている色です。

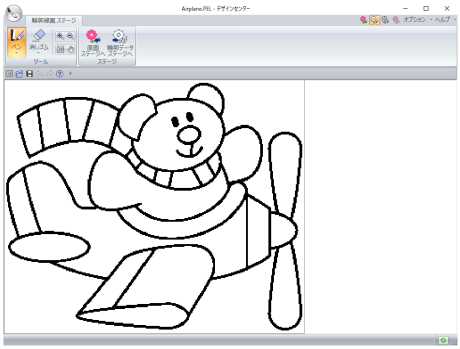


❶ ［**ズーム**］スライダーで原画を大きく表示すると、目的の色を選択しやすくなります。

❷ 輪郭線以外の色を選択してしまった場合は、その色の横のチェックボックスのチェックを外すと、選択が解除されます。

7 輪郭線にする色が選択できたら、**[OK]** をクリックします。

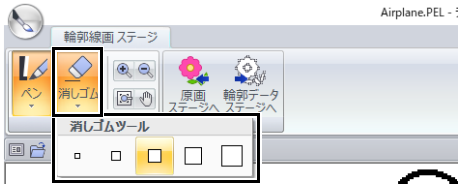
→ 輪郭線画がデザインページに表示されます。



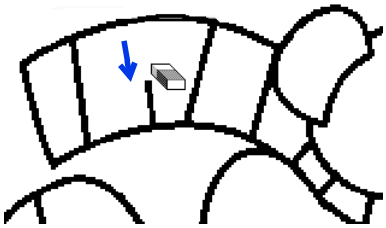
ステップ 2 輪郭線画ステージ

■消しゴムツールを使う

1 線を消すには、**[ツール]** グループで **[消しゴム]** をクリックし、消す線の領域または太さのサイズに合わせてツール □ を選択します。

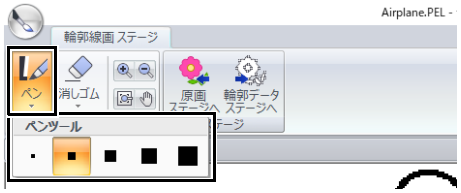


2 カーソルを消去する線上に置き、クリックするかドラッグして線を消去します。

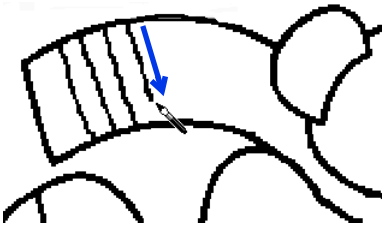


■ペンツールを使う

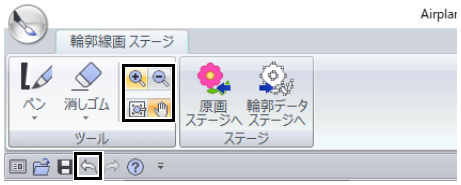
1 線を描くときは、**[ツール]** グループで **[ペン]** を選択し、描きたい線の太さによってツール ■ を選択します。



2 ドラッグして、線を描きます。デザインページをクリックして、ポイントを追加します。



- **< Shift >** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に線を引けます。
- まちがって線を描いたり消してしまった場合は、（元に戻すボタン）をクリックすると、直前の操作を取り消すことができます。
- **[ズーム]** コマンドを使うと、表示サイズを変更できます。
- **[パン]** 機能を使うと、作業領域の表示位置を簡単に移動できます。

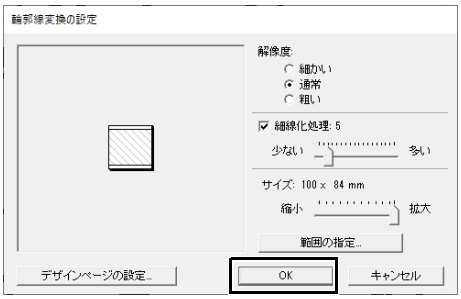


■輪郭線を輪郭データに変換する

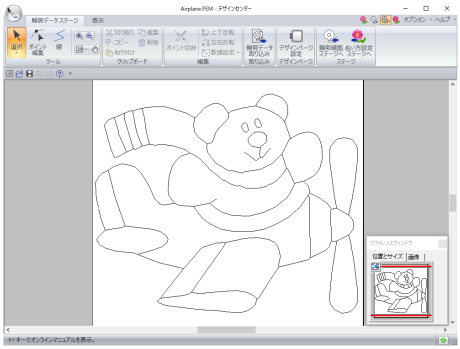
1 輪郭線画ができたら、**[ステージ]** グループの **[輪郭データステージへ]**、または画面右上の（右から 2 番目のアイコン）をクリックします。



2 **[OK]** をクリックします。



→ 輪郭線画が、輪郭データに変換されます。

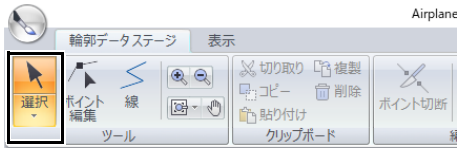


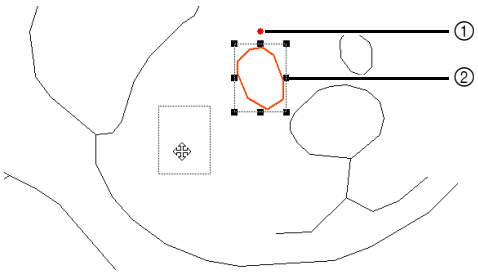
ステップ 3 輪郭データステージ

■輪郭データを移動する

1 **[輪郭データステージ]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの をクリックし、移動する輪郭をクリックします。





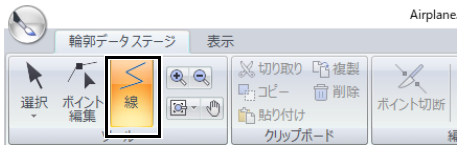
① 回転ハンドル
② ハンドル

3 カーソルを輪郭データ上に移動して、カーソルの形が に変わったら、ドラッグします。

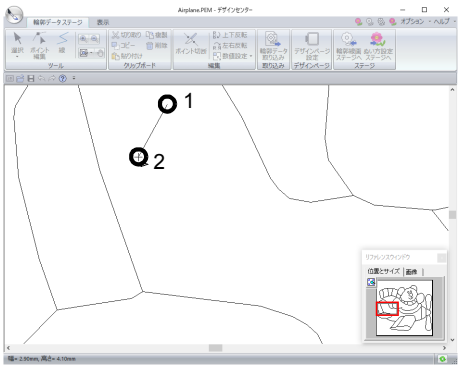
ハンドルをドラッグすると、サイズを変更したり、回転できます。輪郭データを削除したいときは、**< Delete >**キーを押します。

■輪郭データに線を加える

1 **[ツール]** グループで **[線]** をクリックします。



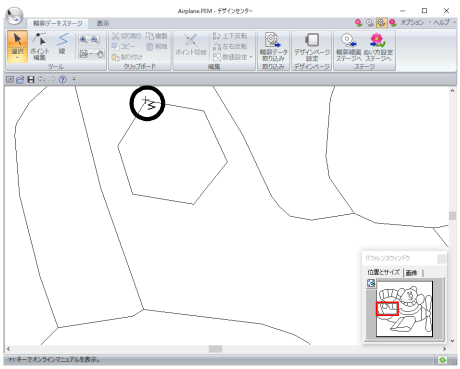
2 始点（1）でクリックし、次の点（2）でクリックします。



→ 2 つのポイントを結ぶ直線が引かれます。クリックを繰り返すごとに直線が追加されていきます。

- 右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- **＜ Shift ＞**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に線を引けます。

3 終点でダブルクリックします。

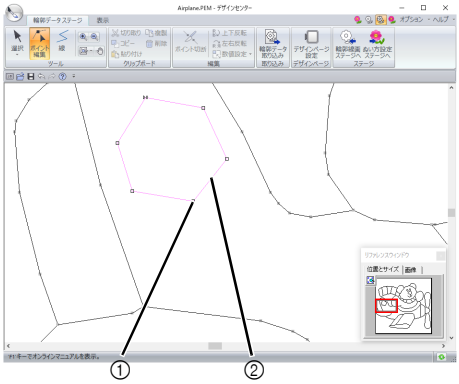


■輪郭データの形を変更する

1 **［ツール］**グループで**［ポイントの選択］**をクリックします。



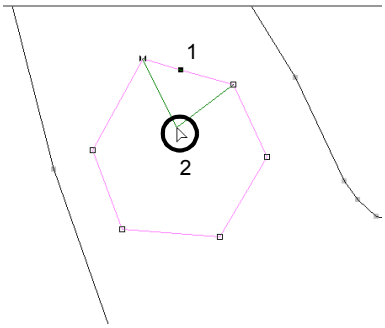
2 輪郭データの線をクリックします。



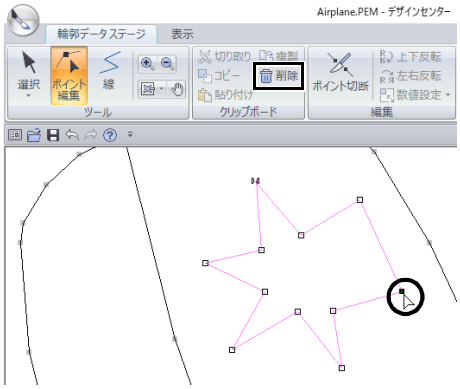
① ポイント
② ピンクの線

3 線をクリックして、ポイントを追加します（1）。

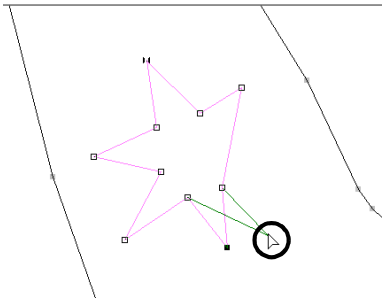
そのポイントをドラッグすると、角を追加できます（2）。



4 ポイントを削除すると、角がなくなります。削除するポイントをクリックし、**＜ Delete ＞**キーを押すか、**［クリップボード］**グループの**［削除］**をクリックします。



5 ポイントをドラッグして移動すると、線の形が変わります。



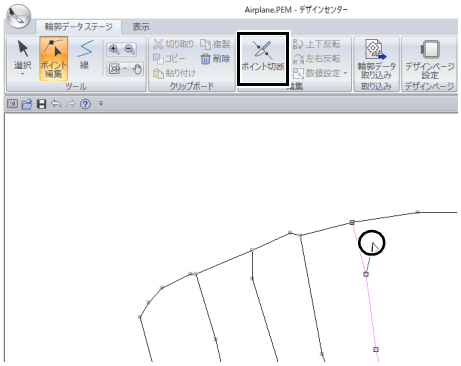
- 複数のポイントを選択すると、そのポイントを同時に移動または削除できます。
- 複数のポイントを選択するときは、**< Ctrl >** キーを押しながらクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

■線を切断する

ポイント部分で線を切断できます。

1 「輪郭データの形を変更する」の手順 **1** と **2** に従って線を選択します。

2 ポイントを選択し、**[編集]** グループの **[ポイント切断]** をクリックして線を切断します。



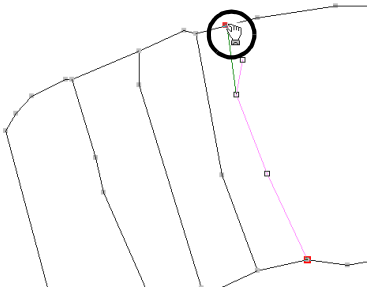
■線を接続する

2 つのポイントを合わせて線をつなぐことができます。

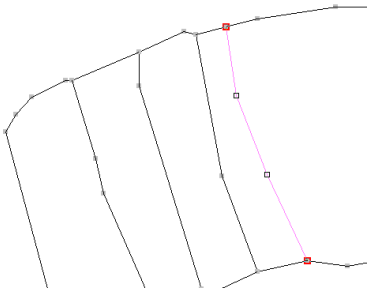
1 「輪郭データの形を変更する」の手順 **1** と **2** に従って線を選択します。

2 **< Alt >** キーを押しながら、ポイントを接続するポイントまでドラッグします。

→ カーソルの形が に変わり、2 つのポイントが重なると赤い四角が表示されます。



3 マウスボタンを放すと、接続されます。

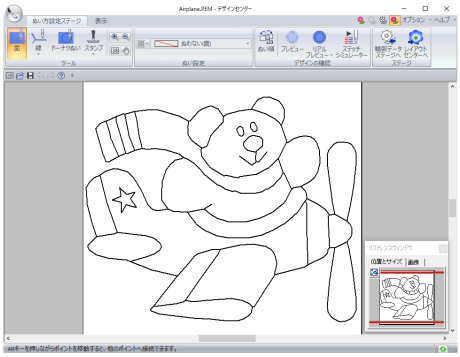


■ぬい方設定ステージへ進む

輪郭データができたら、ぬい方設定ステージに進みます。

1 **［ステージ］**グループの**［ぬい方設定ステージへ］**または画面右上の をクリックします。





ぬい方設定ステージに進んでからも、輪郭データステージに戻り、輪郭データを修正できます。

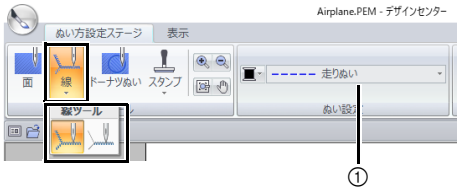
ステップ 4 ぬい方設定ステージ

輪郭データの各部分にぬい方を設定し、刺しゅうデータにします。

■ぬい方を設定する

1 **［ぬい方設定ステージ］**タブをクリックします。

2 線のぬい方を指定するには、**［ツール］**グループの**［線］**をクリックし、**［線ツール］**から任意のツールを選択します。



① **［線のぬい方］**セレクター

：ひとつながりの線すべてにぬい方を設定します。

：線の一部にぬい方を設定します。

面のぬい方を設定するときは、**［ツール］**→**［面］**の順にクリックします。

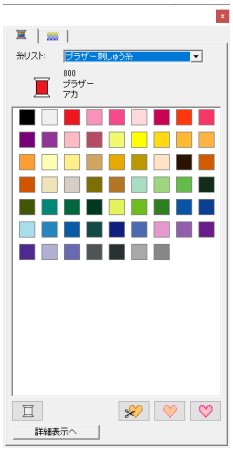


① **［面のぬい方］**セレクター

面のぬい方設定は、輪郭データステージでその面を囲む線が閉じていない（線で完全に囲まれていない）と設定できません。

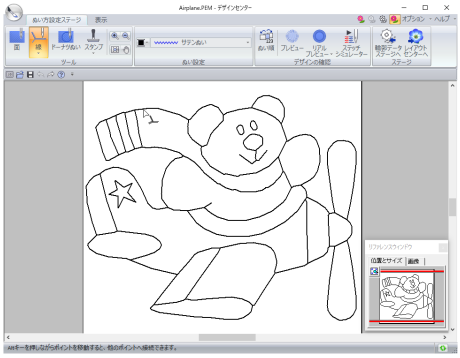
3 をクリックします。

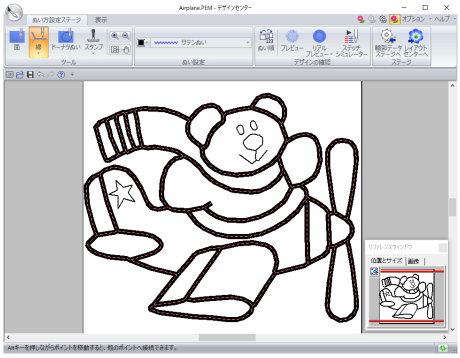
4 設定する色をクリックします。



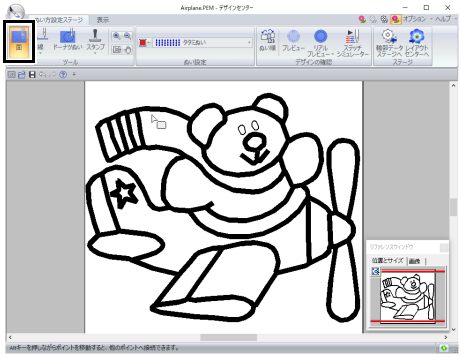
5 **ぬい方**セレクターをクリックし、ぬい方を選択します。

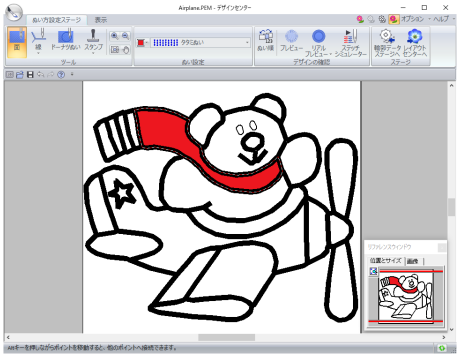
6 またはを選択しているときは、線をクリックしてぬい方を設定します。



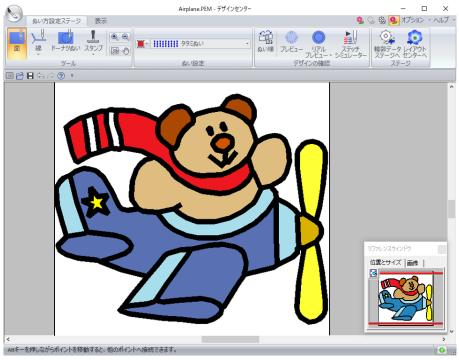


7 を選択しているときは、面をクリックしてぬい方を設定します。

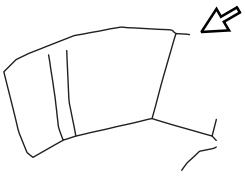




設定し直したいときは、**2** から **7** を繰り返します。



下図のように、閉じていない（線で完全に囲まれていない）面はぬい方を設定できません。



面にぬい方が設定できない場合は、輪郭データステージに戻り、面を囲む線を閉じてください。ポイント編集ツールを使って、つながっていない線を編集します。

▶▶ P. 244 の「輪郭データに線を加える」

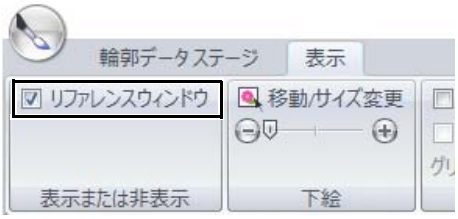
- サテン幅や走りピッチなどぬい方の詳細設定は、**［ぬい方の設定］**ウィンドウで指定できます。

▶▶ P. 263 の「詳細なぬい方設定を指定する」

- リファレンスウィンドウを使うと、原画の色を確認しながら色選びができます。

リファレンスウィンドウの使い方 リファレンスウィンドウ

1. **［表示］**タブをクリックします。
2. **［表示または非表示］**グループの**［リファレンスウィンドウ］**チェックボックスをチェックします。



3. **［画像］**タブをクリックします。

   → 原画ステージで開いた画像が表示されます。



［参照画像］ボタンが押されている場合は、**［原画］**ボタンをクリックしてください。

ステップ 5 レイアウトセンターへ転送する

デザインセンター で作った刺しゅうデータは、レイアウトセンターへ送り、さらに編集したり、他の刺しゅうデータと組み合わせたりできます。また、ミシンへ刺しゅうデータを転送するときは、いったんレイアウトセンターへ送り、レイアウトセンターからミシンへ転送します。

線と面の両方にぬい方が設定されていない刺しゅうデータは、レイアウトセンターに送ることはできません。

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

2 **[ステージ]** グループの **[レイアウトセンターへ]** をクリックします。



→ レイアウトセンターが起動します。

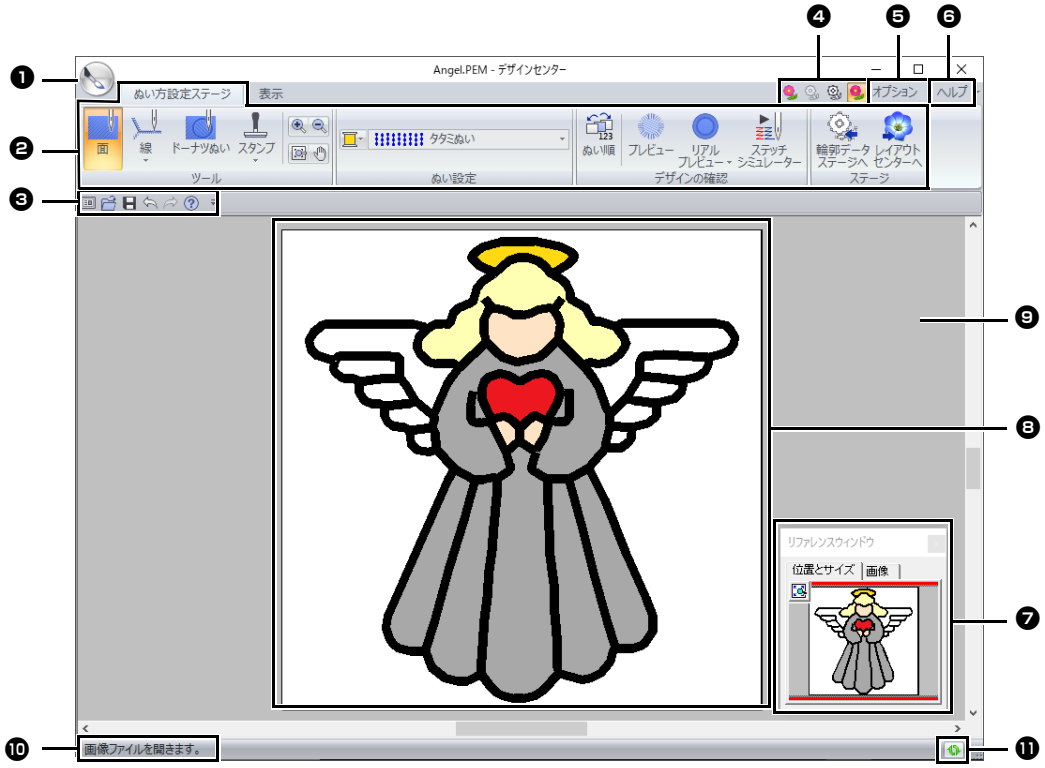
3 ステッチデータまたは図形データとしてデータを取り込むことができます。



4 **[取り込み]**、**[取り込み倍率]**、**[方向]** を設定して、**[取り込み]** をクリックします。

[取り込み] の横にある設定 **[ステッチデータとして取り込む]** と **[図形データとして取り込む]** について詳しくは、P. 106 の「デザインセンターから刺しゅうデータを取り込む」を参照してください。

デザインセンターの画面



❶ アプリケーションボタン

❷ リボン

❸ **クイックアクセスツールバー**

❹ ステージボタン
現在のステージを示しています。クリックすると、ステージを移動できます。

❺ **オプションボタン**

❻ **ヘルプボタン**

❼ **リファレンスウィンドウ**
リファレンスウィンドウには、常に輪郭データまたは刺しゅうデータ全体が表示され、デザインページで全体のどの部分が表示されているかを確認できます。

▶▶ P. 258 の「刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る」

❽ **デザインページ**

❾ **作業領域**

❿ **ステータスバー**

⓫ **再描画ボタン**

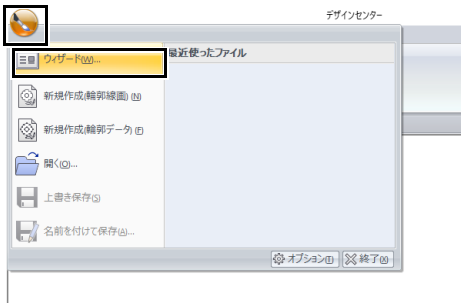
▶▶ P. 13 の「画面について」

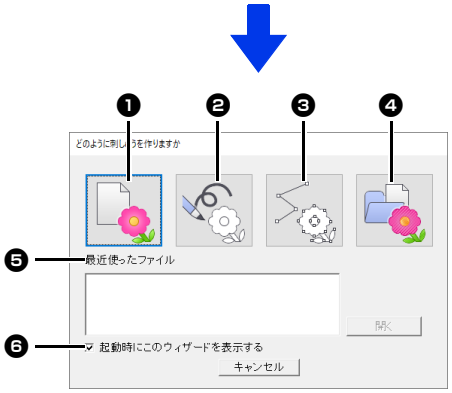
原画ステージ

トップウィザードを使う

どのように刺しゅうデータを作るか選択します。

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［ウィザード］を選択します。





❶ **原画から**
クリックすると、［原画から］ダイアログボックスが表示されます。

❷ **新規作成 (輪郭線画)**
クリックすると、輪郭線画ステージで新規デザインページが開きます。

▶▶ P. 255 の「新規デザインページで輪郭線画を描画する」

❸ **新規作成 (輪郭データ)**
クリックすると、輪郭データステージで新規デザインページが開きます。

▶▶ P. 257 の「輪郭データステージの新規デザインページを開く」

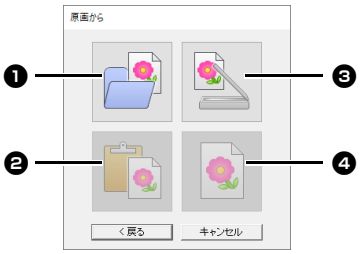
❹ **PEM ファイルを開く**
クリックすると、［開く］ダイアログボックスが表示され、.pem ファイルを選択できます。

❺ **最近使ったファイル**
ファイルリストからファイルを選択し、［開く］をクリックします。

❻ **起動時にこのウィザードを表示する**
このチェックボックスをチェックすると、デザインセンターの起動時にスタートアップウィザードが常に起動します。

■画像を開く

トップウィザードで［原画から］をクリックすると、［原画から］ダイアログボックスが表示されます。



❶ **画像ファイルを開く**
クリックすると、［開く］ダイアログボックスが表示され、画像ファイルを選択できます。

▶▶ P. 163 の「画像ファイルの形式について」

❷ **クリップボードから**
クリップボードの画像をデザインページに貼り付けます。クリップボードに画像がコピーされているときにのみ選択できます。

❸ **TWAIN 機器から**
パソコンに接続された TWAIN 機器（スキャナーなど）から画像を取り込みます。

❹ **現在のイメージ**
原画ステージで開かれている原画を使う場合にクリックします。原画ステージで原画を開いているときにのみ選択できます。

- TWAIN 機器から画像データを取り込むときは
  - TWAIN 機器をパソコンに接続して、**［開く］**→**［TWAIN 機器 ...］**をクリックするか、**［原画から］**ダイアログボックスで**［TWAIN 機器から］**をクリックします。**［ソースの選択］**ダイアログボックスが表示されたら、使う機器を選択し、**［選択］**をクリックします。
  - TWAIN 機器の使い方については、その機器のヘルプマニュアルをご覧になるか、その機器の製造元にお問い合わせください。
- 画像をスキャナーで読み込む際のヒント
  - 輪郭線がはっきりしない画像は、トレーシングペーパーで輪郭線をなぞり、スキャンしてください。
  - 画像の色数を少なくすると、より良いスキャン結果を得ることができます。

ファイルを開く

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［開く］**を選択します。



2 フォルダーを選択します。

3 ファイルアイコンを選択して**［開く］**をクリックするか、ダブルクリックしてファイルを開きます。

- 画像ファイルを選択した場合は、原画ステージで開きます。
- .pel ファイルを選択した場合は、輪郭線画ステージで開きます。
- .pem ファイルを選択した場合は、輪郭データステージまたはぬい方設定ステージで開きます。

輪郭線画ステージ

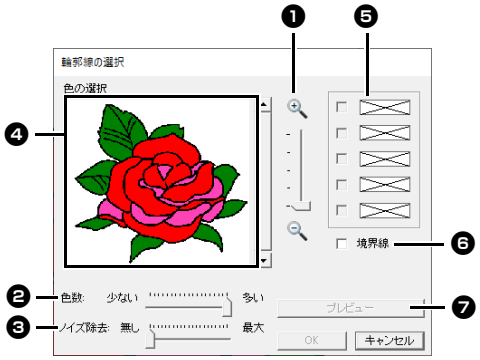
画像の輪郭を抽出する

1 原画ステージで、**[輪郭線画ステージへ]** をクリックします。



▶▶ P. 242 の「原画ステージ」

2 輪郭線にする色を選択し、**[OK]** をクリックします。



❶ **ズーム スライダー**
原画の表示倍率を調整できます。

❷ **色数 スライダー**
輪郭線の色を選択するのが難しい画像は、このスライダーで色数を減らしてみてください。

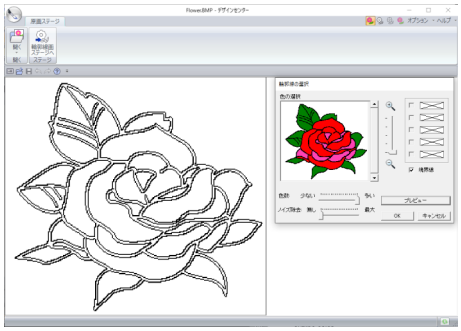
❸ **ノイズ除去 スライダー**
輪郭が不鮮明な画像は、このスライダーで、ゴミ（ノイズ）を除去してみてください。

❹ 表示されている画像から、輪郭線にする色をクリックして選択してください。

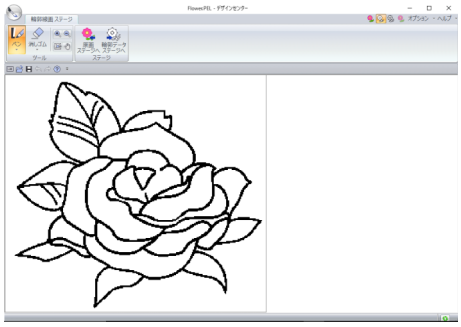
❺ ❹ で選択した色が表示されます。選択した色を取り消すときは、その色のチェックボックスのチェックを外します。

❻ **[境界線]** チェックボックスをチェックすると、色の境界線を抽出できます。

[境界線] を選択すると、次のように、色と色の境界が線に変換されます。

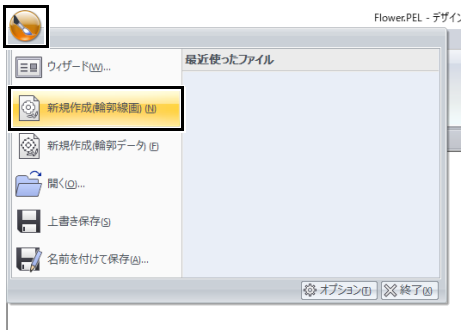


❼ **[プレビュー]** をクリックすると、デザインページで輪郭線画のプレビューを確認できます。



新規デザインページで輪郭線画を描画する

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**新規作成 (輪郭線画)**］を選択します。



新規デザインページで、ペンツールや消しゴムツールを使ってフリーハンドで輪郭線画を描くことができます。

▶▶ P. 243 の「輪郭線画ステージ」

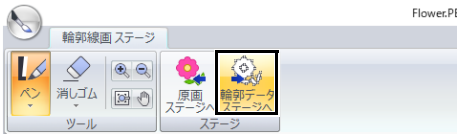
輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルで保存されます。

▶▶ P. 267 の「刺しゅうデータを保存する」、P. 257 の「輪郭データステージの新規デザインページを開く」

輪郭データステージ

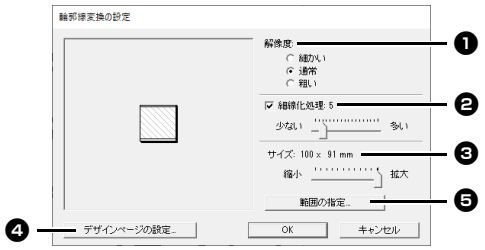
輪郭線変換の設定を指定する

1 輪郭線画ステージで、**[輪郭データステージへ]** をクリックします。



▶▶ P. 243 の「輪郭線画ステージ」

2 **[輪郭線変換の設定]** ダイアログボックスで設定を指定して、**[OK]** をクリックします。



❶ **[解像度]** を選択します。

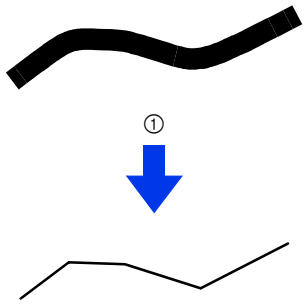
細かい
輪郭線画が非常に細かい場合のみ、選択してください。

通常
ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。

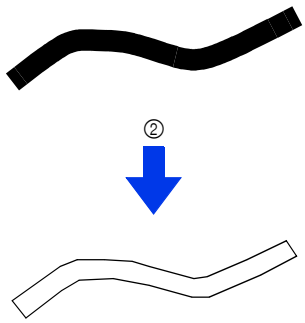
粗い
ファイル容量をできるだけ小さくしたい場合に選択してください。

❷ **[細線化処理]** を行う場合は、チェックボックスにチェックを入れ、スライダーで処理回数を設定します。輪郭線画の中心をたどり、輪郭データに変換されます。

[多い] にするほど、太い線は中心線が輪郭データになります。



① オン
[細線化処理] を行わない場合は、チェックを外します。輪郭線画の周囲をたどり、輪郭データが作られます。

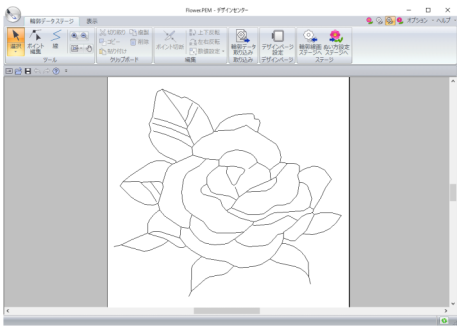


② オフ

❸ **[サイズ]** スライダーで、変換後の輪郭データのサイズを設定します。

❹ サイズは、デザインページの範囲よりも大きく拡大することはできません。必要に応じて、**[デザインページの範囲]** をクリックし、デザインページのサイズを変更してください。

❺ 原画を部分的に輪郭データにしたいときは、範囲が選択できます。**[範囲の指定]** をクリックし、カーソル（+）をドラッグして、表示された四角形で選択したい範囲を囲みます。



輪郭線変換の設定でいろいろな設定を試しても、思い通りの輪郭データにならない場合は、輪郭線画ステージに戻り、輪郭線画の輪郭線を修正するか、原画を修正してください。

輪郭データステージの新規デザインページを開く

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**新規作成 (輪郭データ)**］を選択します。

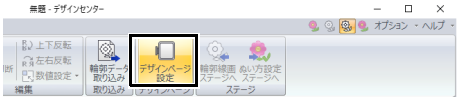


- 輪郭データステージでは、輪郭データは .pem ファイルで保存されます。
- 既存の .pem ファイルを取り込むときは、［**輪郭データステージ**］タブの［**輪郭データ取り込み**］コマンドを使います。

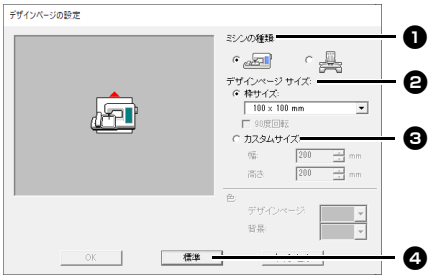
デザインページのサイズを設定する

1 ［**輪郭データステージ**］タブをクリックします。

2 ［**デザインページ**］グループの［**デザインページの設定**］をクリックします。



3 デザインページのサイズを指定して、［**OK**］をクリックします。



❶ ミシンの種類を選択します。
ここで選択するミシンの種類によって、選択できる［**デザインページ サイズ**］の枠サイズが異なります。

❷ 刺しゅう枠のサイズに設定する場合は、［**枠サイズ**］を選択し、セレクターで枠サイズを選択します。

❸ カスタムサイズに設定する場合は、［**カスタムサイズ**］を選択し、幅と高さを指定します。

❹ ［**標準**］をクリックすると、標準設定（枠サイズ：100 × 100mm）に戻ります。

- 枠サイズは、お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズを選択しないでください。
- お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズのユーザー枠は、設定しないでください。

輪郭データを編集する

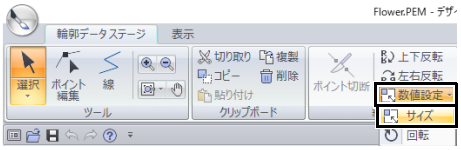
■輪郭データを拡大／縮小する

サイズを指定して拡大／縮小する

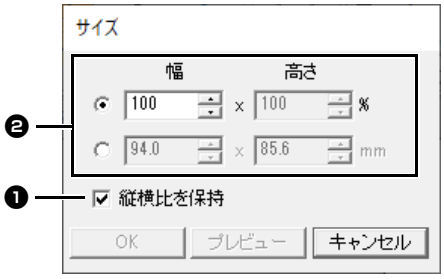
1 輪郭データを選択します。

2 **[輪郭データステージ]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[数値設定]** をクリックし、**[サイズ]** を選択します。



4 サイズを指定して、**[OK]** をクリックします。



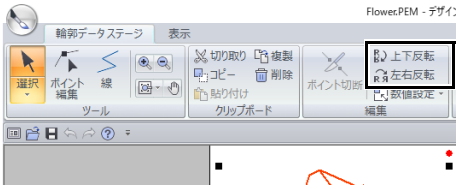
❶ 縦横比を固定して拡大／縮小するときは、**[縦横比を保持]** チェックボックスをチェックします。

❷ 比率（%）またはサイズ（mm またはインチ）のどちらで指定するかを選択し、幅と高さの数値を入力します。

■輪郭データを上下または左右に反転する

1 輪郭データを選択します。

2 **[編集]** グループの **[上下反転]** または **[左右反転]** をクリックします。



■輪郭データを回転する

回転する

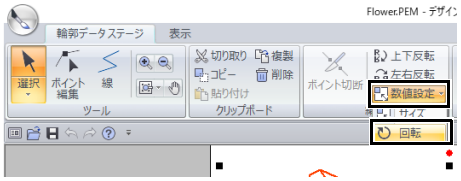
1 輪郭データを選択します。

2 回転ハンドルをドラッグします。

角度を指定して回転する

1 輪郭データを選択します。

2 **[編集]** グループの **[数値設定]** をクリックし、**[回転]** を選択します。



3 回転角度の数値を入力して指定し、**[OK]** をクリックします。

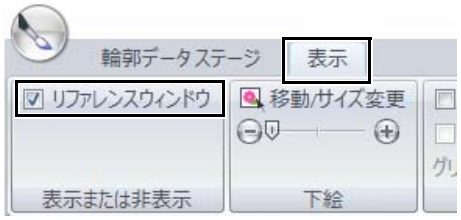


[回転] ダイアログボックスで の矢印をドラッグしても回転角度を指定できます。

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示または非表示]** グループの **[リファレンスウィンドウ]** チェックボックスをチェックします。



■表示方法を切り替える

[リファレンスウィンドウ] は、デザインページ全体を表示するか、刺しゅうデータ全体を表示領域サイズに合わせて表示するか、切り替えることができます。

[位置とサイズ] タブをクリックして、をクリックします。



デザインページ全体を表示



データ全体を表示

■表示領域枠を移動する

表示領域枠をドラッグして移動して、画面に表示するデザインページの領域を指定できます。

1 カーソルを表示領域枠の上に移動します。

2 表示領域枠をドラッグして、デザインページの表示したい部分を囲む位置に移動します。

→ 表示領域枠で囲まれた部分が表示されます。

■表示領域枠を描き直す

表示領域枠を描き直して、画面に表示するデザインページの領域を指定できます。

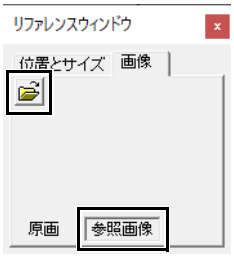
[リファレンスウィンドウ] の画面に表示したい部分をクリックまたはドラッグして、表示領域枠を描き直します。

■別の参照画像を表示する

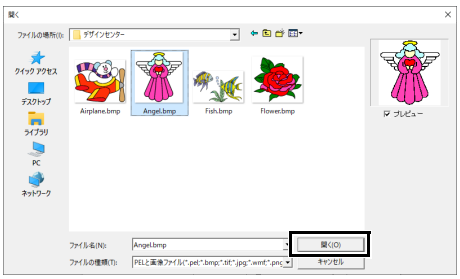
1 **[画像]** タブをクリックします。



2 **[参照画像]** をクリックし、をクリックします。



3 画像ファイルを選択し、**[開く]** をクリックします。



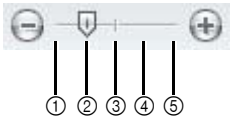
下絵を調整する

■下絵の表示濃度を変更する

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 スライダーをドラッグするか、**[下絵]** グループで ⊖ または ⊕ をクリックします。



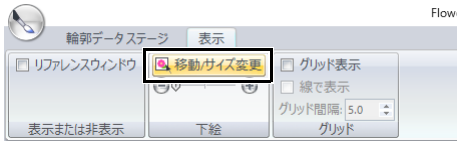


① 非表示
② 25%
③ 50%
④ 75%
⑤ 100%

ショートカットキー＜ **F6** ＞で、**表示**（**100%**）、**75%**、**50%**、**25%** および**非表示**を切り替えることができます。

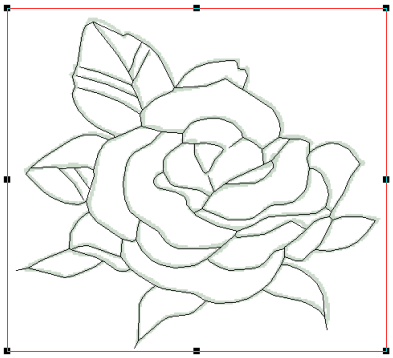
■下絵の位置やサイズを調整する

1 下絵を選択します。**[下絵]** グループで **[移動 / サイズ変更]** をクリックします。



2 下絵をドラッグして、移動します。

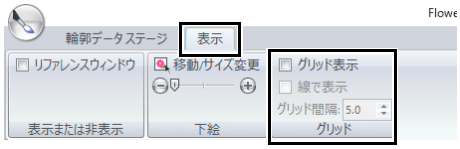
ハンドルをドラッグして、下絵を拡大／縮小します。



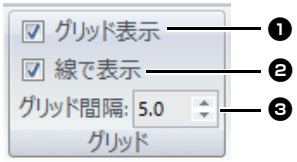
ソフトウェアの設定を変更する

■グリッドの設定を変更する

1 **[表示]** タブをクリックします。



2 **[グリッド]** グループでグリッド設定を指定します。



❶ **グリッド表示**：チェックすると、グリッドが表示されます。
チェックを外すと、非表示になります。

❷ **線で表示**：チェックすると、グリッドが実線で表示されます。
チェックを外すと、グリッド線の交点のみが表示されます。

❸ **グリッド間隔**：数値を指定して、グリッドの間隔を設定します。

■長さの単位を変更する

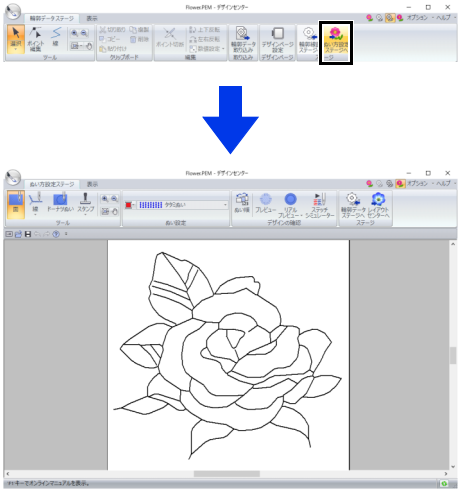
[オプション] → **[オプション]** → **[単位]** をクリックして、単位（**[mm]** または **[インチ]**）を選択します。

▶▶ P. 22 の「長さの単位（mm ／インチ）を変更する」

ぬい方設定ステージ

1 輪郭データステージで、**[輪郭データステージ]** タブをクリックします。

2 **[ステージ]** グループの **[ぬい方設定ステージへ]** をクリックします。



ぬい方設定ステージでは、**[デザインページの設定]** ダイアログボックス（**[オプション]** メニューをクリックし、**[デザインページの設定]** を選択して表示）で、デザインページと作業領域の色を指定できます。



線と面にぬい方を設定する

■面ぬい

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

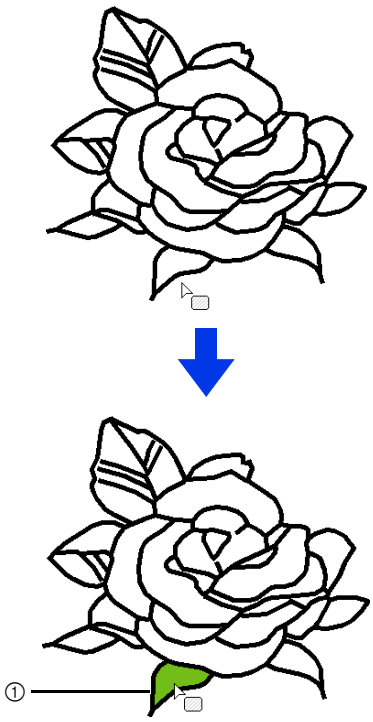
2 **[ツール]** グループの **[面]** をクリックします。



3 必要に応じて、糸色とぬい方の種類を変更します。

▶▶ P. 262 の「ぬい設定を指定する」

4 糸色とぬい方の種類を設定する面をクリックします。



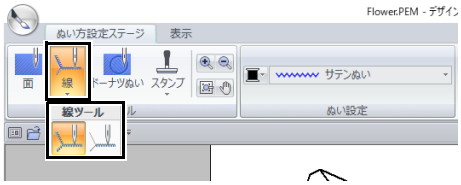
① 動く点線

- 面にぬい方を設定できないときは、輪郭データステージに戻り、面を閉じて（線で完全に囲んで）ください。
- 線のポイントは、ポイント編集ツールで編集します。

- 面は閉じているように見えても、その面に対してぬい方を設定できない場合は、面は閉じていません。
- 面の閉じられていない部分は、次の方法で見つけることができます。輪郭データステージで、線ツールを使い面をいくつかに分割し、ぬい方設定ステージでぬい方を設定してみます。設定できない面を囲む線を確認します。

■線ぬい

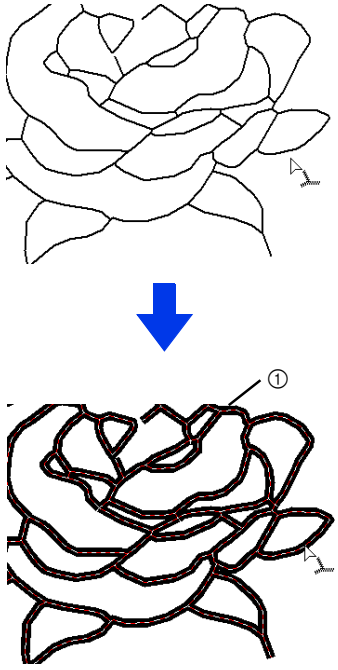
1 **[ツール]** グループの **[線]** をクリックし、**[線ツール]** から任意のツール（ または ）を選択します。



2 必要に応じて、糸色とぬい方の種類を変更します。

▶▶ P. 262 の「ぬい設定を指定する」

3 ぬい方を設定する線をクリックします。



① 動く点線

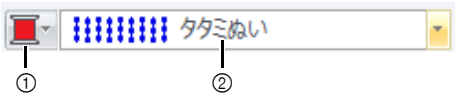
は、選択した線の一部にぬい方を設定するときに使います。

ぬい設定を指定する

ぬい方設定ステージタブの **[ぬい設定]** グループで、面と線の糸色とぬい方の種類を設定できます。

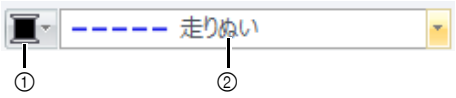
設定できるぬい方の種類は、選択したツールによって異なります。

例 1: が選択されている場合



① 面の糸色ボタン
② 面のぬい方セレクター

例 2: または が選択されている場合



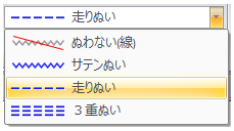
① 線の糸色ボタン
② 線のぬい方セレクター

■ぬい方の種類

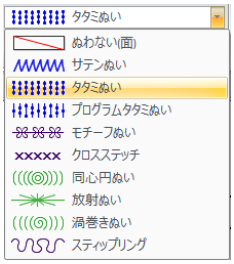
1 ぬい方セレクターをクリックします。

2 ぬい方の種類をクリックします。

線のぬい方



面のぬい方



3 面または線をクリックして、ぬい方の種類を設定します。

- ぬいをオフにするには、**[線のぬい方]** セレクターから **[ぬわない (線)]** を、または **[面のぬい方]** セレクターから **[ぬわない (面)]** を選択します。
- ぬいがオフになっている場合は、面は白く、線は点線で表示されます。

■詳細なぬい方設定を指定する

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示または非表示]** グループの **[ぬい方設定]** チェックボックスをチェックして、**[ぬい方設定]** ウィンドウを表示します。



面のぬい方

簡易モード



詳細モード



線のぬい方

簡易モード



詳細モード



❶ 
左の設定を標準設定値に戻します。

❷ **詳細モードへ／簡易モードへ**
モードを切り替えます。

❸ 
ぬい方設定の保存／呼び出しをします。

▶▶ P. 205 の「よく使うぬい方を保存する」

❹ **ガイドを隠す／ガイドを表示**
ガイドの表示／非表示を切り替えます

❺ 設定を変更するごとに、具体的な変化をここで確認できます。

1 **[線のぬい方]** または **[面のぬい方]** の各設定を変更します。

▶▶ ぬい方設定ウィンドウの各設定については、P. 375 の「線のぬい方」、P. 381 の「面のぬい方」を参照してください。

2 線部／面部をクリックして、設定を適用します。

よく使うぬい方設定は、保存すると便利です。
- ぬい方設定を保存し、ぬい方を設定するときに呼び出すことができます。
- 操作のしかたは、レイアウトセンターと同じです。

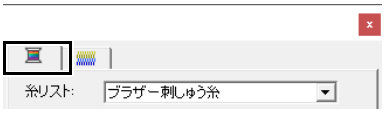
▶▶ 詳しくは、P. 205 の「よく使うぬい方を保存する」を参照してください。

■糸色

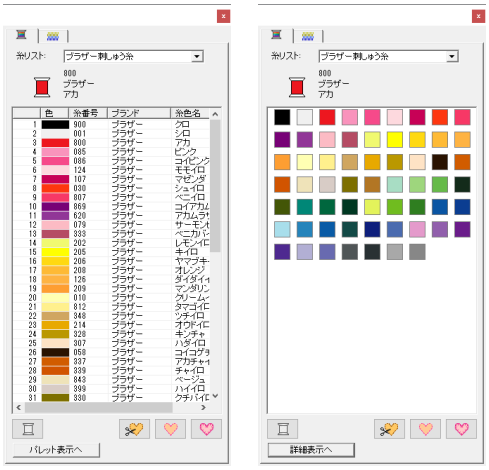
1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示または非表示]** グループの **[ぬい方設定]** チェックボックスをチェックして、**[ぬい方設定]** ウィンドウを表示します。

3 **[糸色]** タブをクリックします。



4 **[糸リスト]** セレクターから、糸のブランドまたはユーザー糸リストを選択します。



5 糸色リストで、色を選択します。

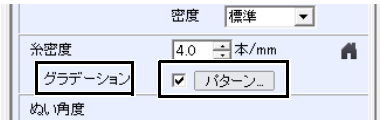
▶▶ 糸色リストの下の 4 つのボタンについては、P. 56 の「特別色」を参照してください。

6 面または輪郭線をクリックして、糸色を設定します。

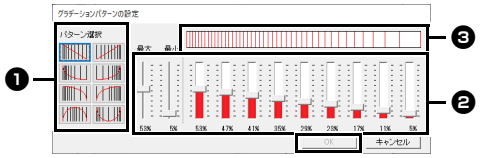
■グラデーションを作る

糸密度を調整して、お好みのグラデーションパターンを作ることができます。

1 **[ぬい方の設定]** ウィンドウの詳細モードで、面のぬい方の **[グラデーション]** チェックボックスをチェックし、**[パターン]** をクリックします。



2 **[グラデーションパターンの設定]** ダイアログボックスで設定を指定して、**[OK]** をクリックします。



❶ **[パターン選択]** のパターンボタンをクリックして、グラデーションのパターンを選択します。

❷ スライダーを動かして、グラデーションの糸密度を調節します。

❸ 変更結果がプレビュー領域に表示されます。

グラデーション機能は、面のぬい方がサテンぬい、タタミぬい、またはプログラムタタミぬいで、ぬい角度が **[手動 (直線)]** に設定されている場合に設定できます。

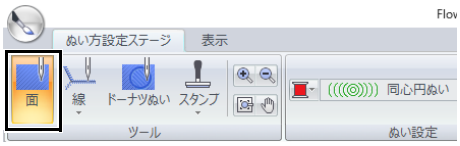
デザインセンターのグラデーション設定では、ブレンディング機能は設定できません。

同心円ぬいと放射ぬいの中心点を移動する

同心円ぬいまたは放射ぬいが設定された面ぬいは、中心点を変更して装飾効果を調整できます。

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで **[面]** をクリックします。

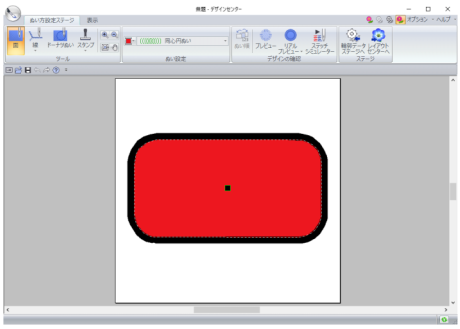


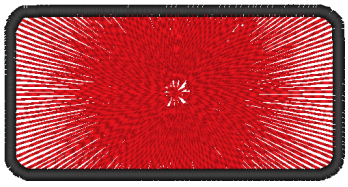
3 糸色とぬい方の種類（**[同心円ぬい]** または **[放射ぬい]**）を選択します。

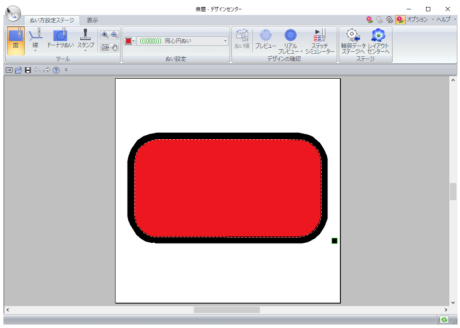
4 面をクリックします。

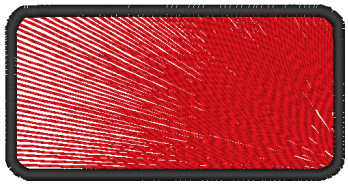
→ 中心点（ ■ ）が表示されます。

5 中心点をお好みの位置にドラッグします。









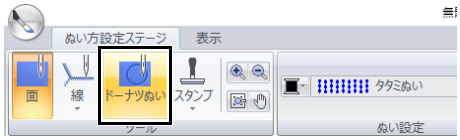
後で中心点を移動するには、ツールグループの をクリックし、同心円ぬいまたは放射ぬいを適用した面をクリックします。中心点が表示され移動が可能になります。

ドーナツぬいを設定する

ドーナツぬいを設定すると、重なった面の二重ぬいを防ぐことができます。ドーナツぬいは、1 つの面が他の面を完全に囲む場合にのみ設定できます。

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで **[ドーナツぬい]** をクリックします。



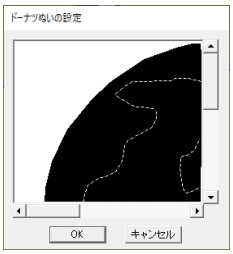
3 別の面を完全に囲む面をクリックします。



4 **[OK]** をクリックして、ドーナツぬいを設定します。



内側の白い面をクリックすると、ドーナツぬいが解除されます。外側の面と同じ色で表示されている内側の面は、2 回ぬわれます。



スタンプを設定／編集する

ぬい方設定ステージで、面部にスタンプを設定できます。

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの **[スタンプ]** をクリックし、**[スタンプ]** ツールから任意のツールを選択します。



：スタンプを設定します。

：スタンプを編集します。

使い方は、レイアウトセンターのスタンプ機能と同じです。

▶▶ P. 67 の「スタンプを設定／編集する」

スタンプは、サテンぬい、タタミぬい、プログラムタタミぬいが設定された面部に設定できます。あらかじめいくつかのプログラムタタミ／スタンプパターンが用意されています。ステッチクリエイターで、付属のパターンを編集したり、オリジナルのパターンを作成したりできます。

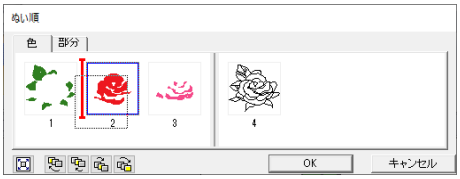
ぬい順を確認／変更する

1 **[ぬい方設定ステージ]** タブをクリックします。

2 **[デザインの確認]** グループで **[ぬい順]** をクリックします。



3 色のぬい順を確認、変更するときは、色タブをクリックします。コマを新しいぬい順の位置にドラッグすると変更できます。



- 複数のコマを選択するときは、**< Shift >**または**< Ctrl >**キーを押しながら各コマをクリックするか、コマを囲むようにドラッグします。
- 面ぬいのコマと線ぬいのコマは太い縦線で分けられています。この縦線を飛び越えてぬい順を変更することはできません。
- をクリックすると、それぞれのデータがコマいっぱいに拡大表示されます。

4 色の各模様のぬい順を確認、変更するときは、色タブ画面で表示する色を選択し、**[部分]** タブをクリックします。



5 コマを新しいぬい順の位置にドラッグして、模様のぬい順を変更します。

6 **[OK]** をクリックします。

ステッチシミュレーターでステッチを確認する

1 **［ぬい方設定ステージ］**タブをクリックします。

2 **［デザインの確認］**グループの**［ステッチ シミュレーター］**をクリックして、ステッチシミュレーターを表示します。



使い方は、レイアウトセンターのステッチシミュレーターと同じです。

▶▶ P. 90 の「ステッチシミュレーターでステッチを確認する」

刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る

輪郭データステージと同様の方法で、ぬい方設定ステージでも刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見ることができます。

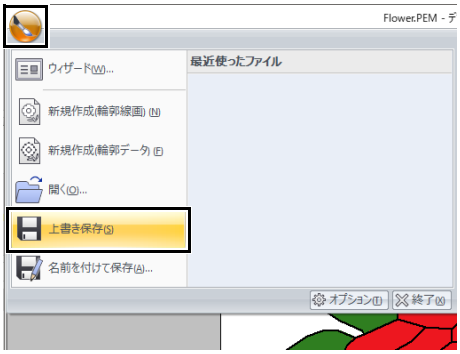
▶▶ P. 258 の「刺しゅうデータをリファレンスウィンドウで見る」

刺しゅうデータを保存する

それぞれのステージでデータを保存できます。

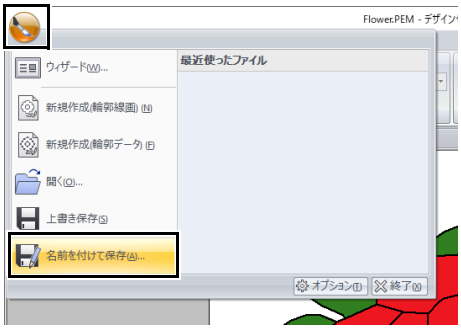
■上書き保存する

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［上書き保存］**を選択します。

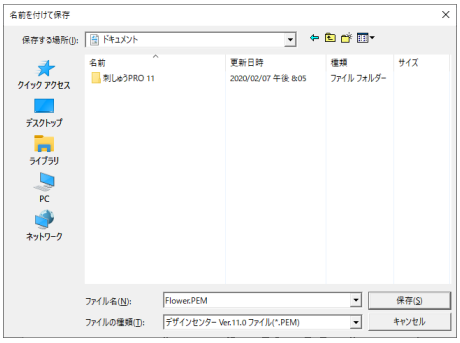


■新しい名前をつけて保存する

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［名前を付けて保存］**を選択します。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



3 **[保存]** をクリックします。

- 原画ステージからの画像データはビットマップファイル（.bmp）としてのみ保存できます。
- 輪郭線画ステージでは、画像データは .pel ファイルで保存されます。
- 輪郭データステージとぬい方設定ステージでは、輪郭データ、刺しゅうデータは .pem ファイルで保存されます。

ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された .pem ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、情報の一部が失われることがありますのでご注意ください。

デザインデータベース

デザインデータベースを使って、作成した刺しゅうデータを管理します。イメージを確認しながら整理したり、複数のデータをミシンに転送したりできます。

デザインデータベース

メニュー一覧

■ファイルメニュー

メニュー	ツールバー	参照ページ
レイアウトセンターで開く	—	P. 276
レイアウトセンターで取り込む	—	P. 276
フォルダー作成	—	P. 274
フォーマット変換	—	P. 284
削除	—	P. 275
検索	—	P. 283

メニュー	ツールバー	参照ページ
印刷設定	—	P. 287
印刷プレビュー	—	—
印刷	—	P. 287
画像、および HTML 出力	—	P. 288
CSV 出力	—	P. 288
終了	—	—

■編集メニュー

メニュー	ツールバー	参照ページ
切り取り		P. 274
コピー		

メニュー	ツールバー	参照ページ
貼り付け		P. 274
すべて選択	—	—

■表示メニュー

メニュー	ツールバー	参照ページ
サムネイル大		P. 275
サムネイル小		
詳細		
プレビュー		P. 285

メニュー	ツールバー	参照ページ
ファイルプロパティ		P. 285
最新の情報に更新	—	—
ツールバー	—	P. 272
ステータスバー	—	—

■オプションメニュー

メニュー		ツールバー	参照ページ
単位の設定	mm	—	P. 22
	インチ		
USB Link		—	P. 282
無線 Link		—	P. 282
DST 形式の設定		—	P. 362

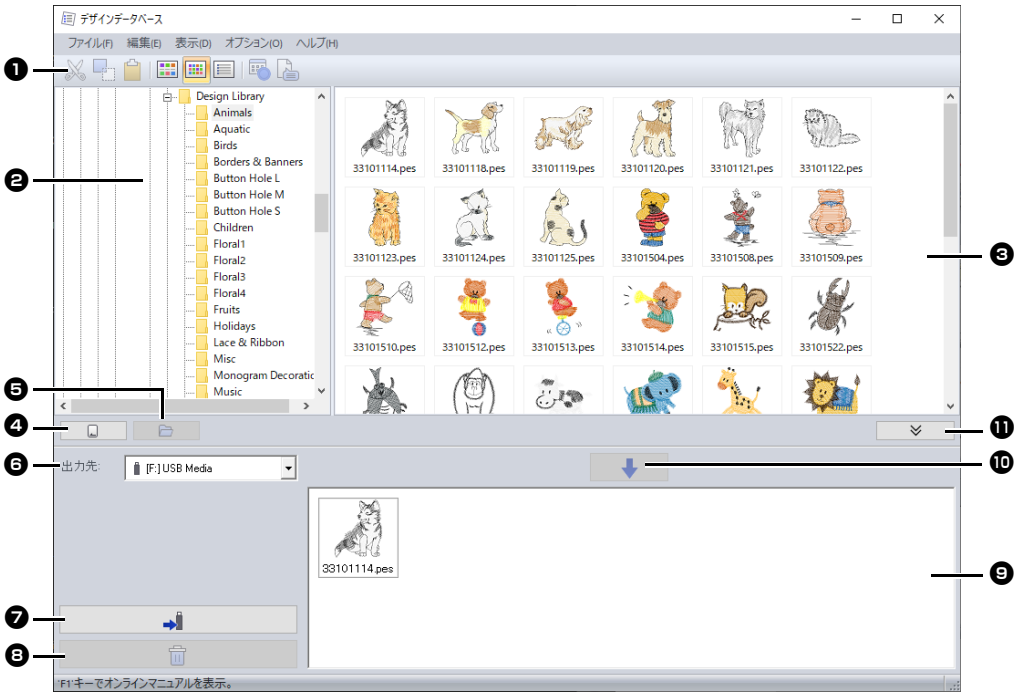
メニュー		ツールバー	参照ページ
ネットワーク設定		—	P. 279
配色	ブルー	—	P. 364
	ブラック		
	シルバー		
	アクア		

■ ヘルプメニュー

メニュー	ツールバー	参照ページ
オンラインマニュアル	—	P. 6
刺しゅう PRO WEB ページ	—	P. 7

メニュー	ツールバー	参照ページ
バージョン情報	—	—

デザインデータベースの画面



❶ **ツールバー**

❷ **フォルダービュー**

❸ **コンテンツビュー**
選択したフォルダーにあるすべての刺しゅうファイルの一覧を表示します。

❹ **カード読み込みボタン**
オリジナルカードを読み込みます。

❺ **フォルダー内容表示ボタン**
フォルダー内容を表示します。

❻ **出力先セレクター**
刺しゅうファイルの出力先を選択します。

❼ **出力ボタン**
書き込み候補リストに表示されている刺しゅうファイルの出力を開始します。

❽ **削除ボタン**
書き込み候補リストから、選択されているファイルを削除します。

❾ **書き込み候補リスト**
オリジナルカード、USB メモリー、またはミシンに出力する刺しゅうファイルが表示されます。

❿ **追加ボタン**
コンテンツビューで選択した刺しゅうファイルを、書き込み候補リストに追加します。

⓫ **書き込みビューの表示／非表示ボタン**
刺しゅうファイルを出力するときにクリックします。
書き込みビューの表示／非表示を切り替えます。

次の設定を**オプション**メニューで指定できます。
- 長さの単位を **mm** または**インチ**から選択できます。
- アプリケーションの外観色を**ブルー**、**ブラック**、**シルバー**、**アクア**から選択できます。

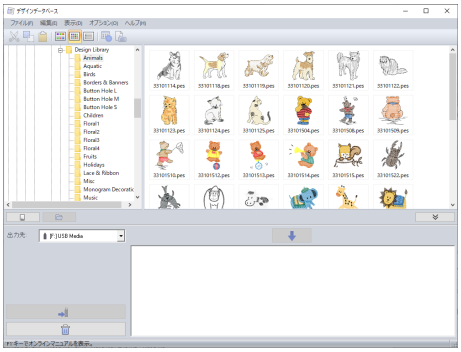
デザインデータベースを起動する

1 をクリックします。

2 **[刺しゅう PRO 11]** の下にある **[デザインデータベース]** をクリックします。

3 フォルダービューのフォルダーをクリックします。

→ フォルダー内のすべての刺しゅうファイルが右側のコンテンツビューに表示されます。



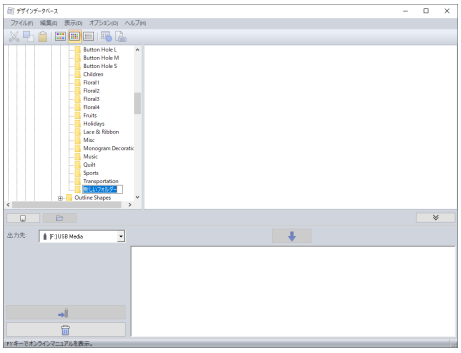
- 次の拡張子のファイルのみが表示されます。.pes、.phc、.phx、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、shv、.jef、.sew、.csd、.xxx、.pen
- .pem ファイルは、ミシンで呼び出せないファイルのため表示されません。デザインセンターからレイアウトセンターへ送り、.pes ファイルで保存してください。
- Zip 圧縮されたファイルは呼び出せません。

刺しゅうファイルを整理する

新規フォルダーを作る

1 フォルダービューで、フォルダーを選択します。

2 メニューの［ファイル］→［フォルダー作成］をクリックします。



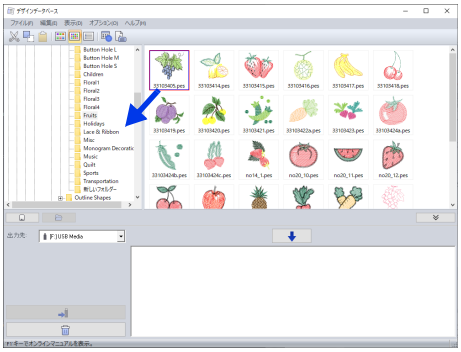
3 フォルダー名を入力し、＜Enter＞キーを押します。

刺しゅうファイルを別のフォルダーに移動／コピーする

1 フォルダービューで、移動／コピーする刺しゅうファイルがあるフォルダーを選択します。

2 フォルダービューに、移動先のフォルダーを表示させます。

3 コンテンツビューの刺しゅうファイルを、フォルダービューの移動先のフォルダーにドラッグします。



→ 移動先のフォルダーが移動前のフォルダーと同じドライブにある場合は、刺しゅうファイルは**移動**します。

→ 移動先のフォルダーが移動前のフォルダーと異なるドライブにある場合は、刺しゅうファイルは**コピー**されます。

- 同じドライブにある別のフォルダーにファイルをコピーするときは、＜Ctrl＞キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- 異なったドライブにあるフォルダーにファイルを移動するときは、＜Shift＞キーを押しながら、刺しゅうファイルをドラッグします。
- メニューからファイルの移動やコピーをすることもできます。刺しゅうファイルを選択して、［編集］→［切り取り］（または［編集］→［コピー］）を選択します。フォルダービューで移動先（コピー先）のフォルダーを選択し、メニューの［編集］→［貼り付け］を選択してファイルを貼り付けます。

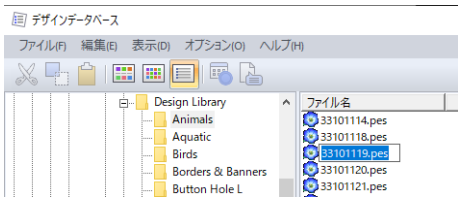
刺しゅうファイルの名前を変更する

刺しゅうファイルの名前の変更は、コンテンツビューの表示のしかたが詳細に設定（メニューの［表示］→［詳細］を選択）されているときのみできます。

▶▶ P. 275 の「コンテンツビューの表示のしかたを変更する」

1 フォルダービューで、名前を変更する刺しゅうファイルのあるフォルダーを選択します。

2 コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択し、もう一度ファイル名をクリックします。



3 新しいファイル名を入力し、＜Enter＞キーを押します。

ファイルの拡張子は、変更できません。

刺しゅうファイルを削除する

1 フォルダービューで、削除する刺しゅうファイルのあるフォルダーを選択します。

2 コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。

3 < Delete >キーを押します。

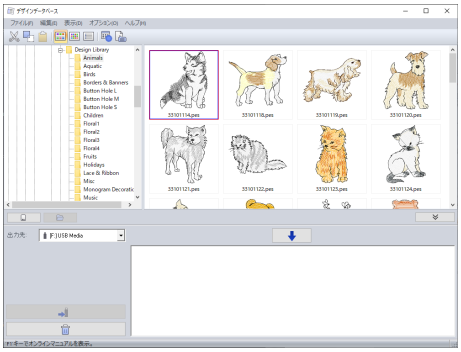
→ ファイルがゴミ箱に移動します。

コンテンツビューの表示のしかたを変更する

コンテンツビューの刺しゅうファイルの表示を、サムネイル大、サムネイル小、詳細表示から選択できます。

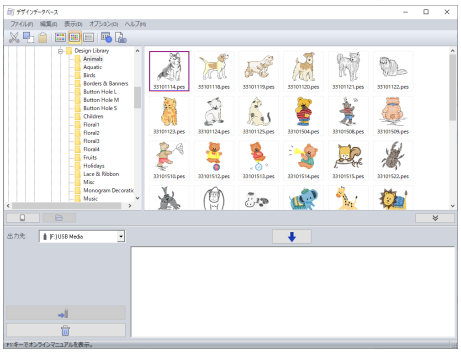
■サムネイル大

をクリックするか、メニューの［表示］→［サムネイル大］をクリックします。



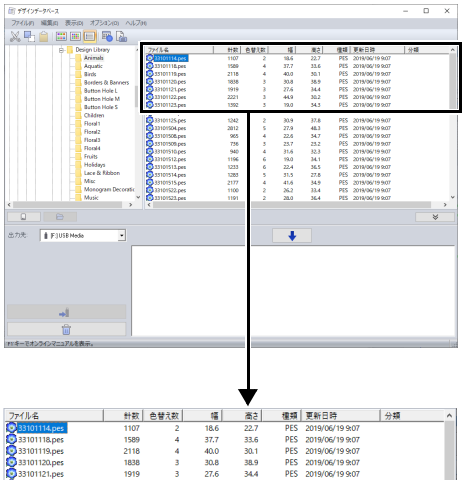
■サムネイル小

をクリックするか、メニューの［表示］→［サムネイル小］をクリックします。



■詳細

をクリックするか、メニューの［表示］→［詳細］をクリックします。



刺しゅうファイルを開く

レイアウトセンターで刺しゅうファイルを開く

1 フォルダービューで、フォルダーを選択します。

必ず .pes ファイルの入っているフォルダーを選択してください。

2 コンテンツビューで、.pes ファイルを選択します。

3 メニューの［**ファイル**］→［**レイアウトセンターで開く**］をクリックします。

レイアウトセンターで刺しゅうファイルを取り込む

取り込むことができるファイルは次の形式です。
.pes、.phc、.phx、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx

1 フォルダービューで、フォルダーを選択します。

2 コンテンツビューで、レイアウトセンターに取り込む刺しゅうファイルを選択します。

3 メニューの［**ファイル**］→［**レイアウトセンターで取り込む**］をクリックします。

→ 選択した刺しゅうファイルが、レイアウトセンターに取り込まれます。

.pen ファイルは、レイアウトセンターに取り込めません。

刺しゅうデータをミシンへ転送する

作成した刺しゅうデータをミシンへ転送する方法は、お手持ちのミシンの機種によって異なります。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

USB メモリー／無線 LAN ／ USB ケーブル／オリジナルカードを使って転送する

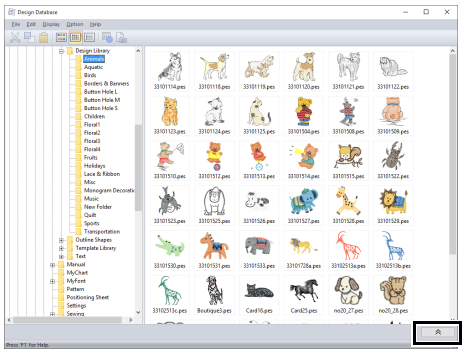
1 転送方法に合わせてメディアを準備、またはミシンをパソコンに接続します。

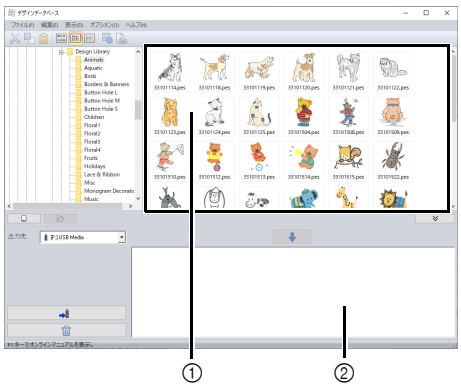
刺しゅうデータに設定されている刺しゅう枠サイズが、お使いのミシンで使える刺しゅう枠のサイズより大きくないことを確認してください。

- オリジナルカードに書き込む場合は、オリジナルカードをカードライターに挿入します。
- USB メモリーに書き込む場合は、USB メモリーをパソコンに接続します。
- USB ケーブルを使って転送する場合は、ミシンとパソコンを接続します。接続方法については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。
- Link 機能は、Link 機能対応のミシンでのみ使えます。Link 機能を使って転送する場合は、転送操作を開始する前に、ミシンのモードを Link モードに設定してください。

▶▶ P. 219 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

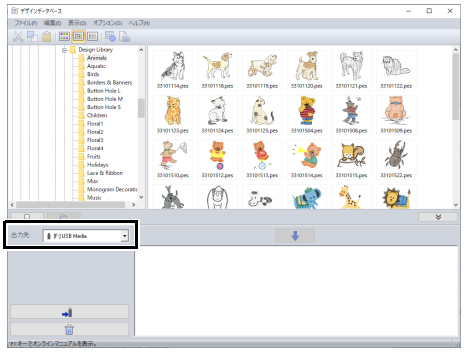
2 [≪] をクリックします。





① コンテンツビュー（使用できる刺しゅうファイル）
② 書き込み候補リスト（選択された刺しゅうファイル）

3 **[出力先]** セレクターをクリックして、出力先を選択します。





❶ USB メモリーに転送します。

❷ 直接、ミシンのメモリーに転送します。

❸ 無線 LAN を経由してミシンに転送します。

▶▶ P. 279 の「無線 LAN 経由でデータ転送する」

❹ カードライターに書き込みます。

❺ USB Link 機能を使ってミシンに転送します。

▶▶ P. 219 の「USB Link」

❻ 無線 Link 機能を使用して、デザインを刺繍機に送信します。

▶▶ P. 224 の「無線 Link」

[出力先] セレクターで Link を選択できないときは、ミシンが Link モードに設定されていることを確認してください。USB Link の場合は、USB ケーブルがミシンとコンピューターに正しく接続されていることを確認してください。無線 Link の場合は、無線 Link 機能が搭載されたミシンをネットワークに登録してください。

▶▶ P. 216 の「ミシンをアプリケーションに登録する」

以降の操作は、出力先によって異なります。

■USB メモリーを使う



USB メモリーを接続できるミシンには、USB メモリーを使って転送できます。

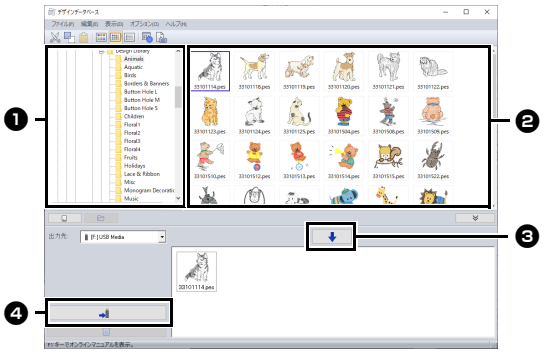
「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」は、USB メモリーとしては使用できません。

1 **[出力先]** セレクターで を選択します。

複数の USB メモリーが接続されていると、デバイスごとの が表示されます。刺しゅうファイルを転送したい USB メモリーを選択してください。

2 をクリックします。

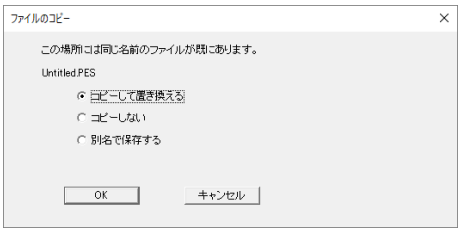
3 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビュー ❷ で、刺しゅうファイルを選択します。 ❸ をクリックして、書き込み候補リストに追加します。書き込む刺しゅうファイルをすべて選択できたら、 ❹ をクリックします。



→ 書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルが、USB メモリーに転送されます。

→ 転送が完了すると、「転送が完了しました。」と表示されます。

- データ転送中は、USB メモリーを抜かないでください。
- 出力先に同じ名前のファイルがある場合は、ファイルのコピーダイアログボックスが表示されます。上書きコピーするか、コピーを中断するか、別名でコピーするかを選択してください。



USB メモリーにボリュームラベルが指定されている場合、「[(ドライブレター) :]（ボリュームラベル)」が［出力先］セレクターに表示されます。
ボリュームラベルが指定されていない場合、「[(ドライブレター) :] USB メモリー」が表示されます。
USB メモリーの名前（ボリュームラベル）の詳細については、USB メモリーの取扱説明書を参照してください。

■無線 LAN 経由でデータ転送する



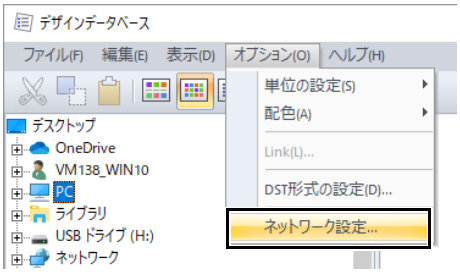
1 アプリケーションを実行しているパソコンを、無線 LAN に接続します。

2 パソコンと同じ無線LANにミシンを接続します。

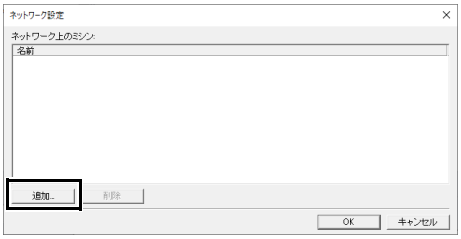
接続方法については、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

パソコンとミシンがそれぞれ別の無線 LAN に接続されていると、刺しゅうデータを転送できません。必ず同じ無線 LAN にミシンを接続してください。

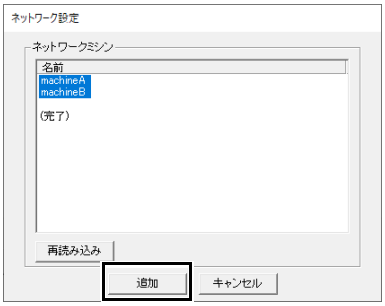
3 ［オプション］メニューの［ネットワーク設定］をクリックします。



4 ［追加］をクリックします。

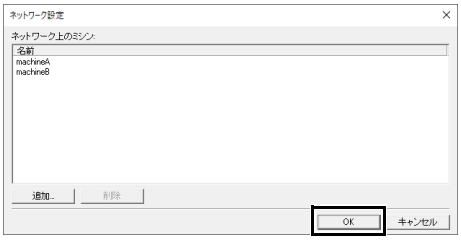


5 ミシンを選択して［追加］をクリックします。

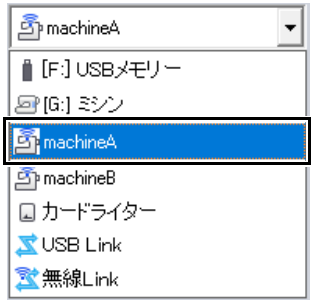


接続したいミシンが一覧に表示されない場合は、［再読み込み］をクリックしてください。

6 **[OK]** をクリックしてミシンを登録します。

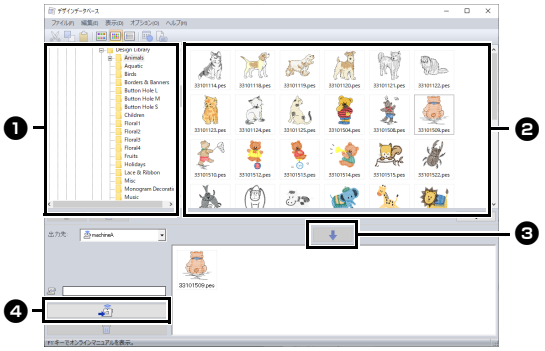


7 **[出力先]** セレクターでミシンを選択します。



8  をクリックします。

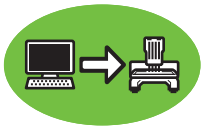
9 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビュー ❷ で、刺しゅうファイルを選択します。 ❸ をクリックして、書き込み候補リストに追加します。書き込む刺しゅうファイルをすべて選択できたら、 ❹ をクリックします。



→ 書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルが、ミシンに転送されます。

→ 転送が完了すると、「転送が完了しました。」というメッセージが表示されます。

■ミシンのメモリーに直接転送する



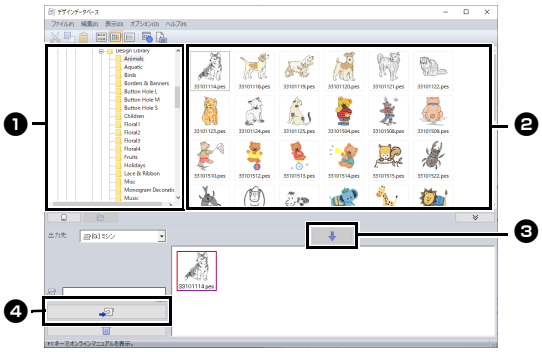
USB ケーブルを使って、パソコン と接続できるミシンに直接転送できます。

1 **[出力先]** セレクターで を選択します。

複数のミシンが接続されていると、ミシンごとの  が表示されます。直接転送するミシンを選択してください。

2  をクリックします。

3 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビュー ❷ で、刺しゅうファイルを選択します。 ❸ をクリックして、書き込み候補リストに追加します。書き込む刺しゅうファイルをすべて選択できたら、 ❹ をクリックします。



→ 書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルが、ミシンに転送されます。

→ 転送が完了すると、「転送が完了しました。」と表示されます。

- データ転送中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- 出力先に同じ名前のファイルがある場合は、動作を確認するダイアログボックスが表示されます。上書きコピーするか、コピーを中断するか、別名でコピーするかを選択してください。

■オリジナルカードを使う



刺しゅうカードスロットを装備したミシンに転送できます。

- .phc、.phx ファイルは、オリジナルカードへ書き込めません。
- カードライターがコンピューターに接続されていない場合、オリジナルカードを出力先に選ぶことはできません。転送する前に、カードライターがコンピューターに接続されていることを確認してください。

1 **[出力先]** セレクターで を選択します。

2 **[ミシンの種類]** で、お使いのミシンを選択します。



❶ 1 針ミシン
❷ 多針ミシン

3 **[枠サイズ]** セレクターで、刺しゅう枠のサイズを選択します。

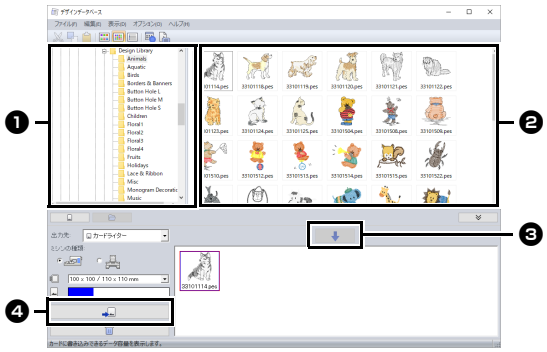


- お使いのミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるサイズを選択しないでください。使用できる刺しゅう枠サイズより大きいサイズで書き込まれたオリジナルカードは、ミシンで正しく動作しません。
- データが保存されているオリジナルカードに書き込みを行うと、カードのデータはすべて消去されます。書き込みを行う前に、必要なデータはハードディスクや他の記録媒体などに保存し、カードに必要なデータが残っていないことを確認してください。

▶▶ P. 103 の「刺しゅうカードから」

4 をクリックします。

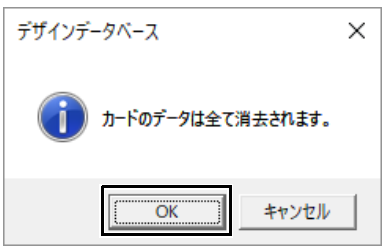
5 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビュー ❷ で、刺しゅうファイルを選択します。 ❸ をクリックして、書き込み候補リストに追加します。書き込む刺しゅうファイルをすべて選択できたら、 ❹ をクリックします。



- ジャンボ枠用の刺しゅうデータは、オリジナルカードを使ってミシンに送ることができません。
- 刺しゅうデータのサイズが手順 **3** で選択した枠サイズより大きい場合や、刺しゅうデータの針数や色数が手順 **3** で選択した刺しゅう枠の制限値を越えている場合、その刺しゅうファイルは書き込み候補リストに追加できません。書き込み候補リストに表示された刺しゅうファイルのみ、オリジナルカードに書き込むことができます。

- 刺しゅうファイルを右クリック→ **[書き込み候補リストに追加]** をクリックするか、コンテンツビューから書き込み候補リストにファイルをドラッグしても、書き込み候補リストにファイルを追加できます。
- ファイルは書き込み候補リストで右クリックして、**[書き込み候補リストから削除]** をクリックしても削除できます。

6 ファイルをオリジナルカードに書き込む場合、以下のメッセージが表示されます。**[OK]** をクリックします。



データ書き込み中（LED 表示が点滅中）は、オリジナルカードや USB コネクターを抜かないでください。

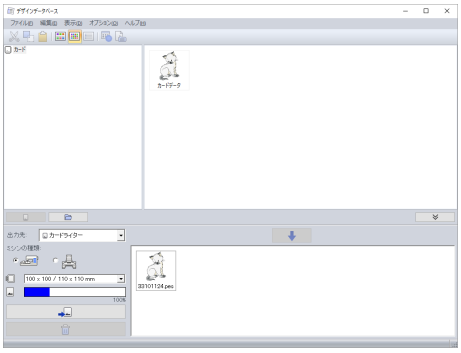
7 書き込みが完了し、書き込み完了のメッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。

カスタムサイズのデザインページで作られた分割模様の刺しゅうデータは、枠パーツごとに分けて書き込まれます。

▶▶ P. 217 の「オリジナルカードを使って転送する」

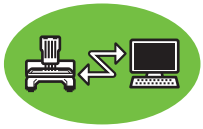
- オリジナルカードの刺しゅうファイルを再度カードに書き込むときは、 をクリックしてから刺しゅうファイルを選択し、書き込み候補リストにファイルを追加します。
- 刺しゅうファイルがオリジナルカードに書き込まれたかどうかを確認したいときは、 をクリックします。

→ カード がフォルダービューに表示され、オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルがコンテンツビューに表示されます。



- オリジナルカードに書き込まれた刺しゅうファイルは、コンテンツビューに **[カードデータ]** として表示されます。
- コンテンツビューをフォルダー表示に戻すときは、 をクリックします。
  または をクリックすると表示を切り替えることができます。

■Link 機能を使って刺しゅうする



転送操作を開始する前に、ミシンのモードを Link モードに設定してください。

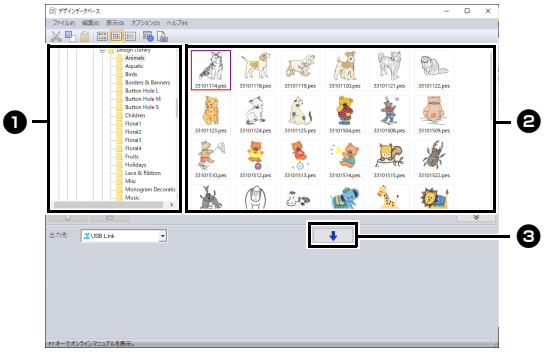
Link 機能には、**[USB Link]** 機能と **[無線 Link]** 機能があります。

▶▶ P. 219 の「Link 機能を使って刺しゅうする」

1 **[出力先]** セレクターで または を選択します。

2 をクリックします。

3 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビュー ❷ で、刺しゅうファイルを選択します。 ❸ をクリックします。



4 P. 219 の「USB Link」の手順 **5** または P. 224 の「無線 Link」の 手順 **5** に従って手順を進めます。

次の刺しゅうファイルは、Link 機能を使って転送できません。**[出力先]** セレクターで **[USB Link]** または **[無線 Link]** が選択されると、コンテンツビューのファイルは非表示になります。

- .dst、.exp、.phc、.phx 形式のファイル
- デザインページを **[カスタムサイズ]** に設定した刺しゅうファイル
- **[枠サイズ]** を **360 x 360 mm(ジャンボ枠)** に設定したファイル

パソコンの再起動をしたときは、メニューの **[オプション]** → **[USB Link]** または **[無線 Link]** をクリックすると、**[USB Link]** ウィンドウまたは **[無線 Link]** ウィンドウを表示できます。

刺しゅうファイルを検索する

1 フォルダービューで、フォルダーを選択します。

2 メニューの［**ファイル**］→［**検索**］をクリックします。

3 検索条件を指定します。指定する検索条件のチェックボックスをチェックします。



❶ **ファイル名**
特定のファイル名で検索できます。ボックスにファイル名を入力します。

ワイルドカード文字（「?」で任意の 1 文字を、「＊」で任意の長さの任意の文字列を表す）での検索もできます。

❷ **対象フォーマット**
希望のファイル形式のチェックボックスをチェックします。

❸ **針数**
ボックスに針数の上限と下限の数値を入力します。

❹ **色替え数**
ボックスに色替え数の上限と下限の数値を入力します。

❺ **総色数**
ボックスに糸色数の上限と下限の数値を入力します。

❻ **幅**
ボックスに刺しゅうの横の大きさの上限と下限の数値を入力します。

❼ **高さ**
ボックスに刺しゅうの縦の大きさの上限と下限の数値を入力します。

❽ **更新日**
ボックスに更新日の期間（何日から何日まで）を入力します。

.pes ファイルの検索には、さらに次の条件を設定できます。

❾ **デザイン名**
ボックスにデザイン名を入力します。

❿ **分類**
ボックスに刺しゅうのタイプや文字を入力します。

⓫ **作者**
特定の作者名で検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

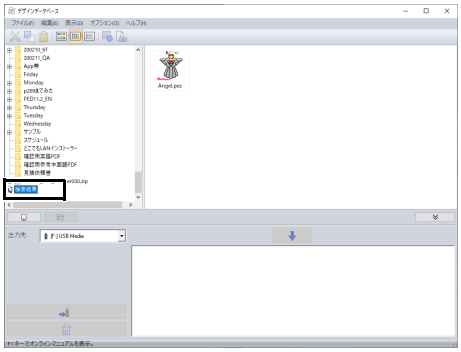
⓬ **キーワード**
特定のキーワードで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

⓭ **コメント**
特定のコメントで検索します。ボックスに検索したい文字を入力します。

- サブフォルダー（選択したフォルダー内のフォルダー）も検索する場合は、［**サブフォルダーも検索**］チェックボックス ⓮ をチェックします。
- ［**ファイル名**］の横にあるボックスに入力された文字は、1 つの文字セットとして扱われます。ただし、［**検索条件 (PES のみに有効)**］の場合は、スペースで区切られた単語を複数入力し、各単語とすべて一致するファイルを検索できます。

4 ［**検索**］をクリックします。

→ 指定した検索条件に一致するファイルの一覧が表示されます。



刺しゅうファイルを別の形式に変換する

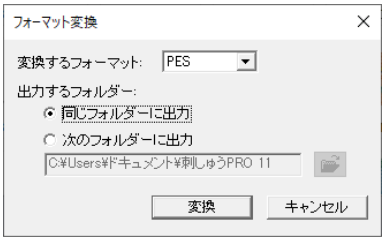
刺しゅうファイルを、簡単に別のファイル形式（.pes、.dst、.exp、.pcs、.hus、.vip、.shv、.jef、.sew、.csd、.xxx）に変換できます。

1 フォルダービューで、変換する刺しゅうファイルがあるフォルダーを選択します。

2 コンテンツビューで、刺しゅうファイルを選択します。

3 メニューの［ファイル］→［フォーマット変換］をクリックします。

4 ［変換するフォーマット］セレクターからファイル形式を選択します。



5 ［出力するフォルダー］を選択します。元ファイルと同じフォルダーに出力する場合は、同じフォルダーに出力を選択します。別のフォルダーに出力する場合は、次のフォルダーに出力を選択し、フォルダーを指定します。

変換ファイルの出力先フォルダーを変更するときは、をクリックします。

6 ［変換］をクリックします。

→ ファイルが変換され、新規ファイルが指定フォルダーに出力されます。

- ［オプション］メニューの［DST 形式の設定］で、.dst ファイルで出力するときの渡り糸での糸切りジャンプ数を指定できます。

▶▶ P. 362 の「DST 形式の刺しゅうデータのジャンプ回数を設定する」

- ［同じフォルダーに出力］が選択されているときに、異なる形式のファイルを複数選択して変換した場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルは変換されません。ただし元のフォルダーとは別のフォルダーに出力する場合は、指定ファイルと同じ形式のファイルはすべてコピー出力されます。
- ファイルを .pes ファイルに変換した場合は、ファイルがレイアウトセンターに取り込まれるときと同様に糸色が変わります。

.phc、.phx および .pen 形式へのファイル変換はできません。

刺しゅうファイルを確認する

刺しゅうファイルをプレビューする

ツールバーボタン：

1 ❶ でフォルダーを選択し、コンテンツビューで、プレビューする刺しゅうファイル ❷ を選択します。



2 ツールバーの をクリックするか、メニューの **[表示]** → **[プレビュー]** をクリックします。



.pen ファイルは、プレビューできません。

刺しゅうファイルの情報を確認する

ファイル名、サイズ、針数、縫製時間、糸色数、変更日などのぬい方情報を、ファイルプロパティダイアログボックスで確認できます。.pes ファイルは、刺しゅうファイルに関する追加情報も確認できます。

- 表示される縫製時間は目安です。実際の縫製時間は、お使いのミシンの機種や設定により前後する場合があります。

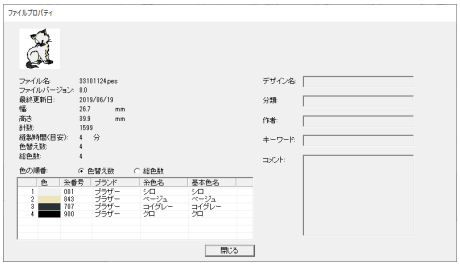
.pen ファイルは、縫製時間が表示されません。

ツールバーボタン：

1 コンテンツビューで、情報を確認する刺しゅうファイルを選択します。

2 ツールバーの をクリックするか、メニューの **[表示]** → **[ファイルプロパティ]** をクリックします。

- Ver.4.0 以降の PES ファイルを表示した場合、次のような **[ファイルプロパティ]** ダイアログボックスが表示されます。



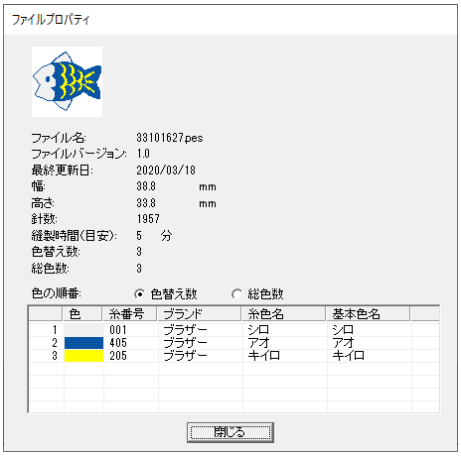
- **[色の順番]** の横にある **[色替え数]** を選択して、色リストで糸色変更情報を表示します。**[総色数]** を選択して、色リストのすべての糸色の情報を表示します。

▶▶ P. 99 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

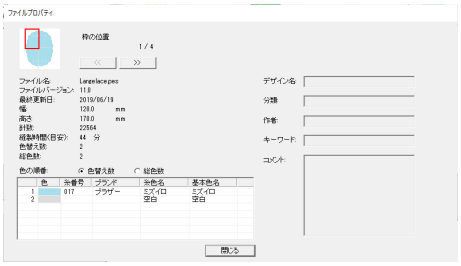
- ユーザー定義の色を含む .pes ファイルを登録すると、それらの色は **[基本色名]** として表示されます。

▶▶ P. 99 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

- PES 以外のファイルおよび Ver.3.0 以前の PES ファイルの場合、次のような **[ファイルプロパティ]** ダイアログボックスが表示されます。



- デザインページサイズが **[カスタムサイズ]** に設定された場合、または **[枠サイズ]** が大型枠（100 × 172 mm または 130 × 300 mm）またはジャンボ枠（360×360mm）に設定された場合、次のような **[ファイルプロパティ]** ダイアログボックスが表示されます。



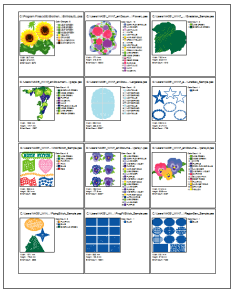
- 赤い枠が、表示されている枠パーツの位置を示しています。
- << または >> をクリックして、他の枠の位置に切り替えます。

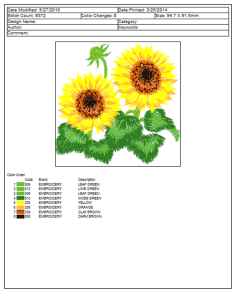
刺しゅうファイルの一覧を出力する

すべての刺しゅうデザインの画像およびぬい情報は、さまざまな形式で出力できます。お好みで以下の方法から選択できます。

印刷する

選択したフォルダーの刺しゅうイメージを、一覧スタイルまたは指示書スタイルで印刷できます。

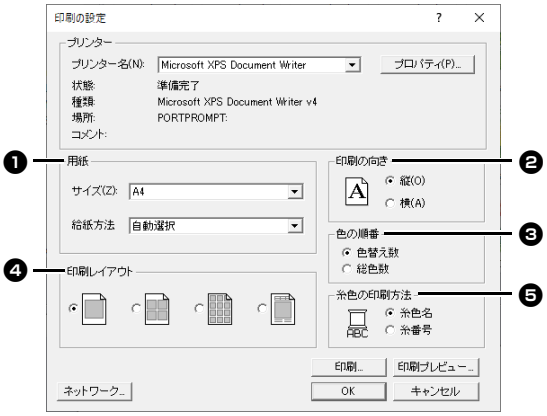




1 フォルダービューで、刺しゅうファイルのあるフォルダーを選択します。

2 メニューの **[ファイル]** → **[印刷設定]** をクリックします。

3 **[用紙]** ❶ と **[印刷の向き]** ❷ で、設定を選択します。



4 **[色の順番]** ❸ を選択します。

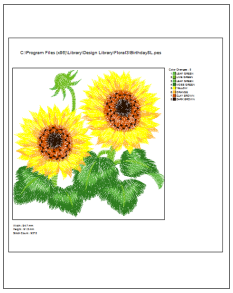
色替え数
各色替えの糸色の情報が表示されます。

総色数
必要な糸の糸色の情報が表示されます。糸色の総数をチェックできます。

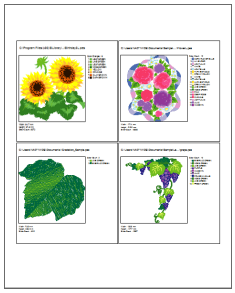
▶▶ P. 99 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

5 **[印刷レイアウト]** ❹ を選択します。

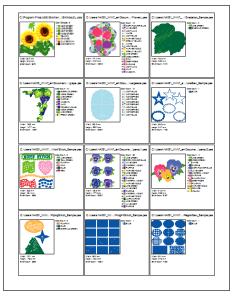
一覧スタイル 1



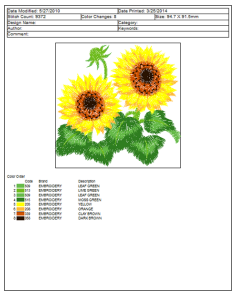
一覧スタイル 4



一覧スタイル 12



指示書スタイル



6 **[糸色の印刷方法]** ❺ で、糸色を糸色名で表示するか、ブランド名と糸番号で表示するかを選択します。

7 **[印刷]** をクリックします。

- コンテンツビューで刺しゅうファイルを 1 つ、または複数選択すると、選択した刺しゅうファイルだけを印刷できます。
- ブランド名、糸番号、ファイルプロパティは文字数が多い場合は、一部の文字が印刷されないことがあります。
- メニューの **[ファイル]** → **[印刷]** をクリックしても、一覧を印刷できます。前回、**[印刷設定]** ダイアログボックスで選択された設定内容で印刷されます。

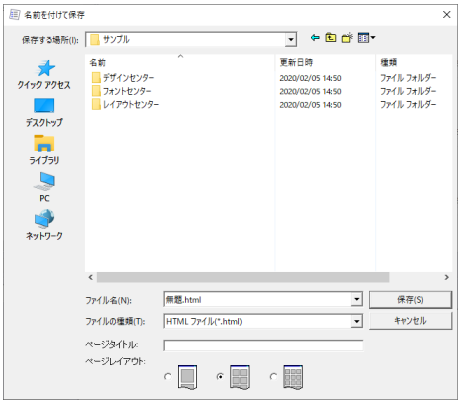
画像ファイルと HTML ファイルを出力する

刺しゅうファイルの一覧は、画像ファイルと HTML ファイルとして出力することができます。

1 フォルダービューで、刺しゅうファイルのあるフォルダーを選択します。

2 メニューの **[ファイル]** → **[画像、および HTML 出力]** をクリックします。

3 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



4 ページ上部とタイトルバーにタイトルを表示する場合は、**[ページタイトル]** にタイトルを入力します。

5 **[ページレイアウト]** で、ページ上の刺しゅうのレイアウトを選択します。

6 **[保存]** をクリックします。

HTML ファイルを保存したフォルダに、HTML ファイル名がついたフォルダが追加されます。画像ファイルはその中に保存されます。

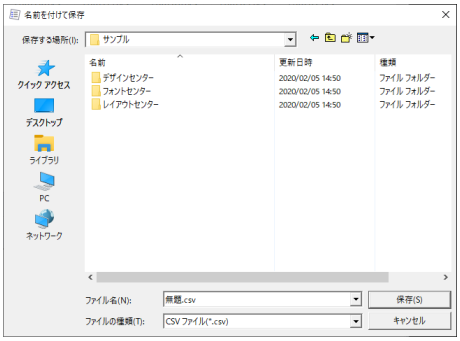
CSV ファイルを出力する

選択した刺しゅうファイルのぬい方情報（ファイル名、サイズ、針数、色数、ファイルのパス、ファイルプロパティ（.pes ファイルのみ）、糸色名、糸番号）を CSV ファイルとして出力することができます。

1 フォルダービューで、刺しゅうファイルのあるフォルダーを選択します。

2 メニューの **[ファイル]** → **[CSV 出力]** をクリックします。

3 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



4 **[保存]** をクリックします。

ステッチクリエイター

ステッチクリエイターを使って、ステッチパターンを作成、編集します。作成したパターンは、レイアウトセンターやデザインセンターのプログラムタタミぬいやモチーフぬい、スタンプに使用できます。

ステッチクリエイター

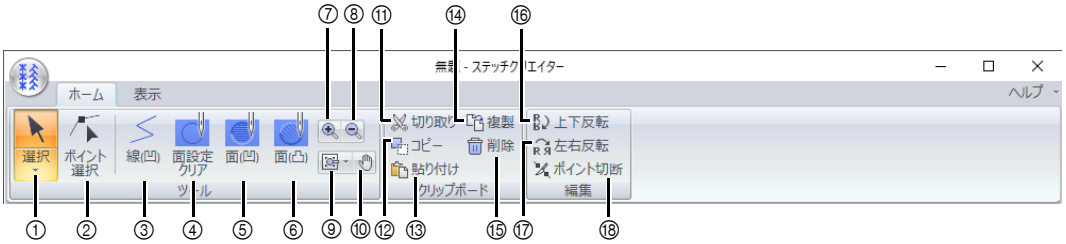
アプリケーションボタンメニュー



No.	メニュー	参照ページ
1	新規作成 (プログラムタタミ / スタンプ)	—
2	新規作成 (モチーフ)	P. 300
3	新規作成 (飾り模様)	P. 304
4	開く	P. 294
5	上書き保存	P. 310
6	名前を付けて保存	P. 310

リボンメニュー

■ホームタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択	P. 298
2	ポイント編集	P. 298
3	線 (凹)	P. 295
4	面設定クリア	P. 296
5	面 (凹)	P. 296
6	面 (凸)	P. 296
7	ズームイン	—
8	ズームアウト	—
9	その他のズーム	—

No.	メニュー	参照ページ
10	パン	—
11	切り取り	—
12	コピー	—
13	貼り付け	—
14	複製	—
15	削除	P. 303
16	上下反転	P. 298
17	左右反転	P. 298
18	ポイント切断	P. 299

■表示タブ



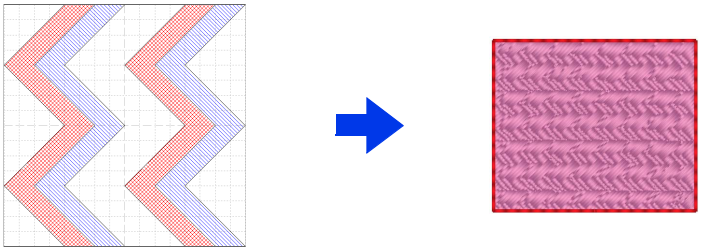
No.	メニュー	参照ページ
1	下絵を開く	P. 308
2	下絵編集	P. 308
3	下絵削除	P. 308
4	下絵の濃さ	P. 309
5	プレビューウィンドウ	P. 310

No.	メニュー	参照ページ
6	ステータスバー	P. 307
7	線でグリッド表示	P. 312
8	グリッド間隔	P. 312
9	ガイド線	P. 312

ステッチクリエイターの基本的な使い方

ステッチクリエイターは、プログラムタタミぬいやモチーフぬい、飾り模様ぬいを構成するパターンの作成／編集／保存をするアプリケーションです。パターンには次の 3 つの種類があり、それぞれのモードで作業を行います。

プログラムタタミ／スタンプパターン

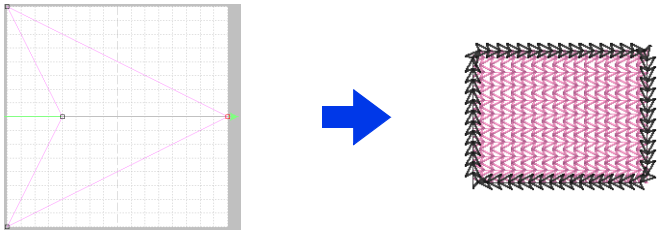


- レイアウトセンターやデザインセンターのプログラムタタミぬいやスタンプのパターンとして使います。
- 1 本または複数の線で構成されるデザインのパターンで、さらに面にぬい沈め／浮き上がり効果を設定できます。
- 作業は、プログラムタタミ／スタンプモードで行います。



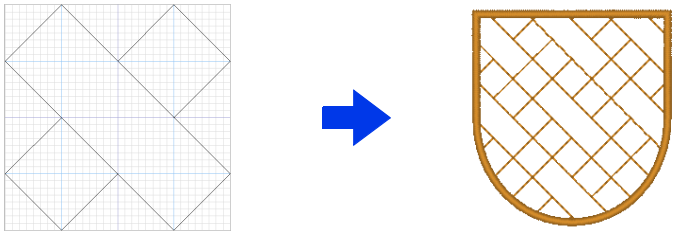
① ぬい沈め
② 浮き上がり

モチーフパターン



- 線と面のぬい方に設定するパターンです。モチーフぬいのパターンとして使います。
- 一筆書きのような 1 本の線で構成されるデザインのパターンで、ミシンの飾りぬいのような模様です。
- 作業は、モチーフモードで行います。

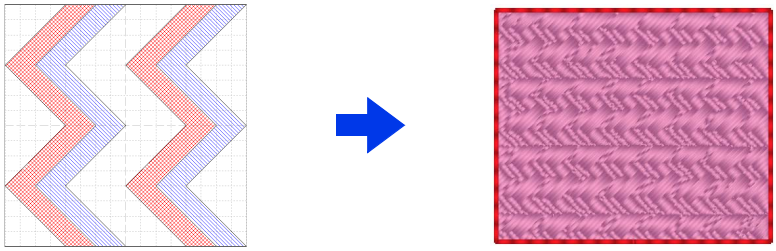
飾り模様ぬいパターン



- 面のぬい方に設定するパターンです。
- タイルのように図形を隙間なく配置した模様や、華やかな模様を面にぬうことができます。
- 作業は、「飾り模様ぬいモード」で行います。

プログラムタタミ／スタンプパターンを作る

既存のプログラムタタミ／スタンプパターンを編集して、新しいパターンを作ってみましょう。



ステップ 1	プログラムタタミ／スタンプパターンファイルを開く
ステップ 2	線を描いてパターンを編集する
ステップ 3	パターンにぬい沈め／浮き上がり効果を設定する
ステップ 4	編集したパターンを保存する
ステップ 5	レイアウトセンターで編集したプログラムタタミ／スタンプパターンを使う

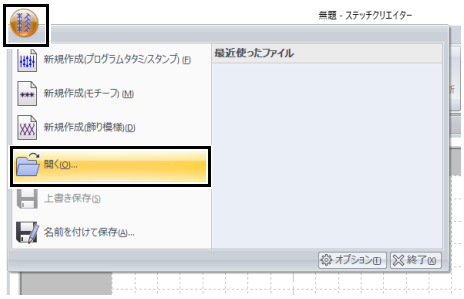
ステップ 1 プログラムタタミ／スタンプパターンファイルを開く

まず、編集するプログラムタタミ／スタンプパターンを開きます。ここでは、**wave1.pas** を使います。

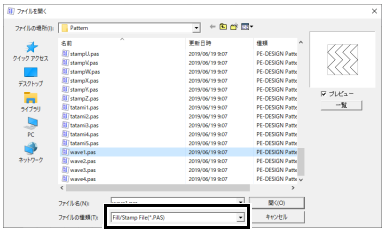
1 をクリックします。

2 **［刺しゅう PRO 11］**の下にある**［ステッチクリエイター］**をクリックします。

3 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［開く］**を選択します。



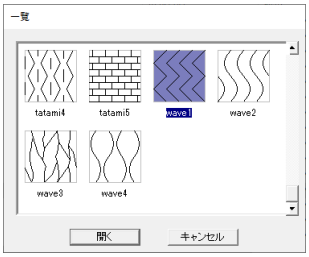
4 ファイルの種類セレクターで、パターンファイル（*.PAS）を選択し、**wave1.pas** を選択します。



パターンファイルは、次のフォルダーにあります。

刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥Pattern**

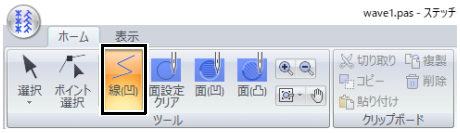
［一覧］をクリックすると、**［一覧］**ダイアログボックスで表示中のフォルダー内のパターンファイルをアイコンで確認できます。



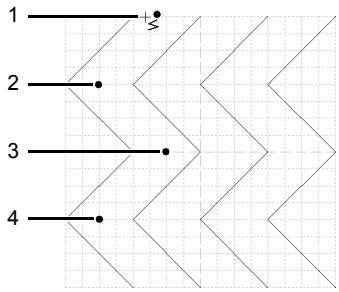
ステップ 2 線を描いてパターンを編集する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの **[線 (凹)]** をクリックします。



3 ポイント（1）から（4）を順にクリックします。



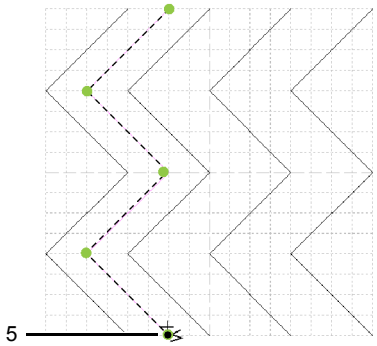
- 右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

▶▶ P. 298 の「プログラムタタミ／スタンプパターンの形を修正する」

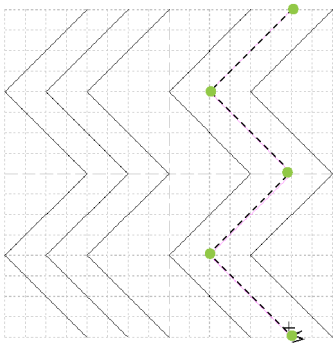
- グリッド間隔は変更できます。

▶▶ P. 312 の「グリッドの設定を変更する」

4 ポイント（5）（終点）でダブルクリックします。



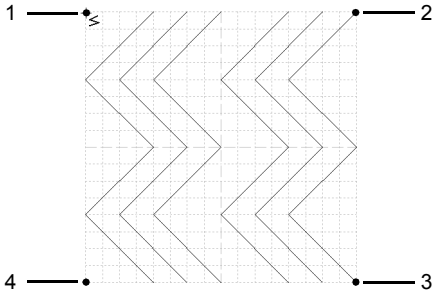
5 ここまでの操作を繰り返します。



ステップ 3 パターンにぬい沈め／浮き上がり効果を設定する

1 ポイント（1）をクリックし、ポイント（2）でダブルクリックします。

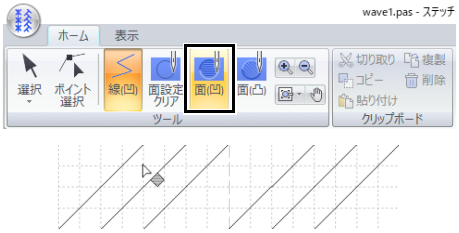
続いて、ポイント（3）をクリックし、ポイント（4）でダブルクリックします。



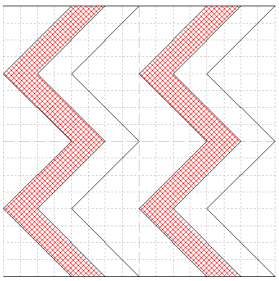
→ デザインページの上端と下端に線が引かれます。

ぬい沈め／浮き上がり効果を設定するには、閉じた線で囲まれた面が必要です。

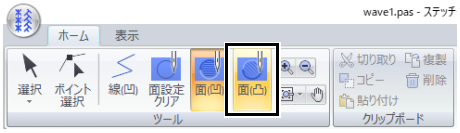
2 **[ツール]** グループで **[面 (凹)]** をクリックし、1 つ目と 4 つ目の波線の面をクリックします。

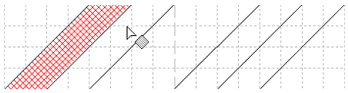


→ 面にぬい沈み効果が設定され、赤色で表示されます。この面は、短いステッチでぬわれます。

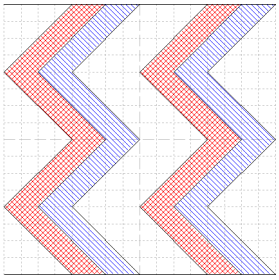


3 **[ツール]** グループで **[面 (凸)]** をクリックし、2 つ目と 5 つ目の波線の面をクリックします。

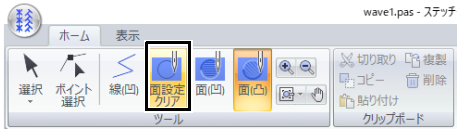




→ 浮き上がり効果が設定され、青色で表示されます。この面は、サテンぬい（針落ちしない面ぬい）でぬわれます。



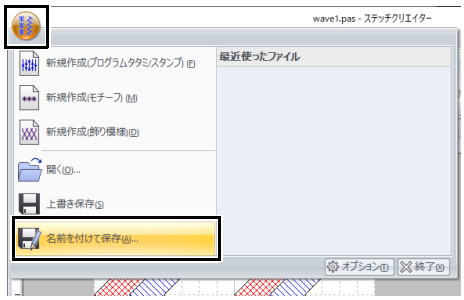
ぬい沈め／浮き上がり効果を解除するときは、**[面設定クリア]** ツールを使います。**[ツール]** グループで **[面設定クリア]** をクリックし、効果を設定した面をクリックします。



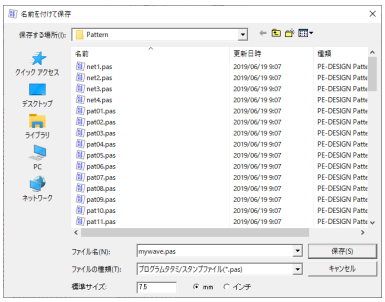
ステップ 4 編集したパターンを保存する

プログラムタタミ／スタンプパターンは、.pas 形式で保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



[標準サイズ] でサイズを指定します。**[mm]** または **[インチ]** をクリックして、単位を選択します。

3 **[保存]** をクリックします。

ステップ 5 レイアウトセンターで編集したプログラムタタミ／スタンプパターンを使う

1 レイアウトセンターを起動します。

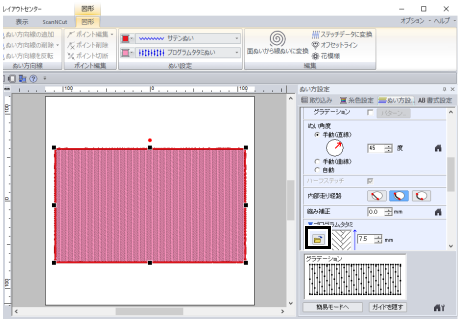
2 図形データを選択します。

3 リボンの［図形］タブの［面のぬい方］セレクターで、［プログラムタタミぬい］を選択します。

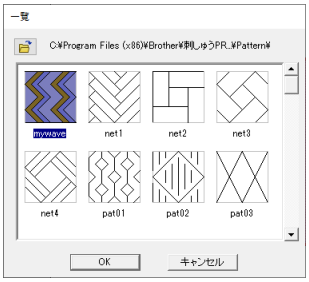
4 ［ぬい方設定］ウィンドウを表示します。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

5 ［面のぬい方］の［プログラムタタミ］の下にある をクリックします。

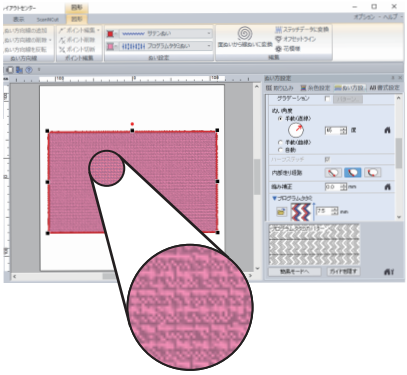


6 ステップ 4 でファイルを保存したフォルダーを選択します。



7 編集したプログラムタタミ／スタンプパターンをクリックし、［OK］をクリックします。

→ パターンが、刺しゅうデータの面に設定されます。



- スタンプツールで設定するスタンプのパターンとしてもこのプログラムタタミ／スタンプパターンを使えます。

▶▶ P. 67 の「スタンプを設定／編集する」

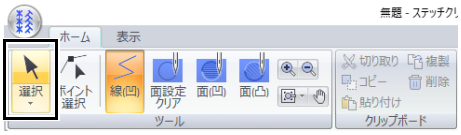
- P. 386 の「プログラムタタミぬいとスタンプに関する注意」を参照して、パターンを効果的に設定してください。

プログラムタタミ／スタンプモードで編集する

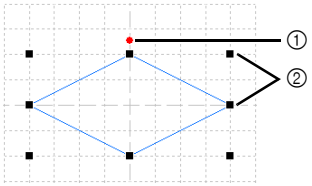
■パターンを選択する

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［ツール］**グループで**［選択］**をクリックして、**［選択］**ツールを使用します。



3 パターンをクリックします。



① 回転ハンドル
② ハンドル

4 複数のパターンを選択するときは、**＜Ctrl＞**キーを押しながらパターンをクリックします。

- ドラッグして表示される四角形で、選択したいパターン全体を囲むようにドラッグしても、パターンを選択できます。
- **＜Ctrl＞**キーを押しながら選択中のパンチデータをクリックすると、選択を解除できます。

■パターンを移動する

選択したパターンをドラッグして、移動します。

- **＜Shift＞**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に 1 グリッドずつ移動できます。

■パターンを拡大／縮小する

選択したパターンのハンドルをドラッグして、サイズを調整できます。回転ハンドルをドラッグすると、回転できます。

- **＜Shift＞**キーを押しながらドラッグすると、パターンの中心から拡大／縮小されます。
- **［反転］**グループで**［上下反転］**をクリックして、選択されたパターンを上下反転します。**［反転］**グループで**［左右反転］**をクリックして、選択されたパターンを左右反転します。

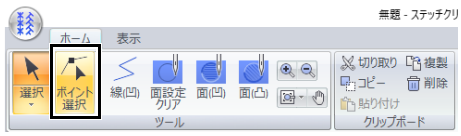


- 上記のほか、複製や削除など、コマンド操作で選択中のパターンの編集ができます。

▶▶ P. 290 の「ステッチクリエイター」

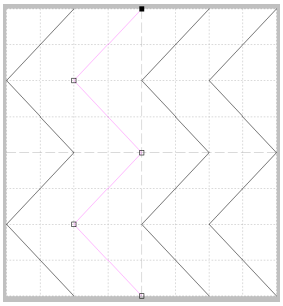
■プログラムタタミ／スタンプパターンの形を修正する

1 **［ツール］**グループの**［ポイントの選択］**をクリックします。



2 パターンの線をクリックします。

3 ポイントをクリックして選択し、編集します。



■: 選択されたポイント
□: 選択されていないポイント

- ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。
- ポイントを挿入するときは、挿入したい線上でクリックします。

→ 新しいポイントが表示されます。

- ポイントを削除するときは、削除 をクリックするか、**＜ Delete ＞**キーを押します。

- 2 つのポイントで作られた線は、片方のポイントを削除すると、線全体が削除されます。
- 複数のポイントを選択するときは、**＜ Ctrl ＞**キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **＜ Ctrl ＞**キーを押しながら →／← キーを押すと、終点または始点の方向へ選択するポイントを変更できます。
- **＜ Shift ＞**キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向へ移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印の方向へ移動できます。

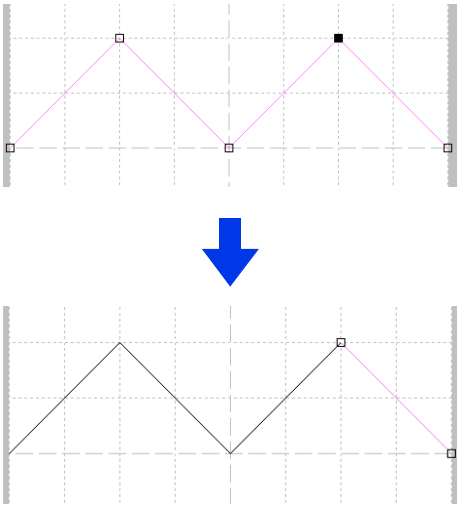
■パターンを分割する

1 **［ツール］**グループで**［ポイントの選択］**をクリックします。

2 分割したいポイントを選択します。

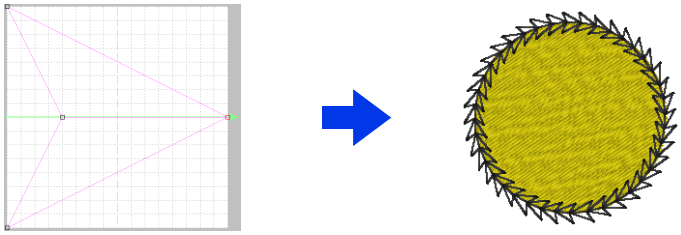
3 **［編集］**グループで**［ポイント切断］**をクリックします。





モチーフパターンを作成する

新しくモチーフパターンを作ってみましょう。モチーフパターンは、モチーフモードで作ります。

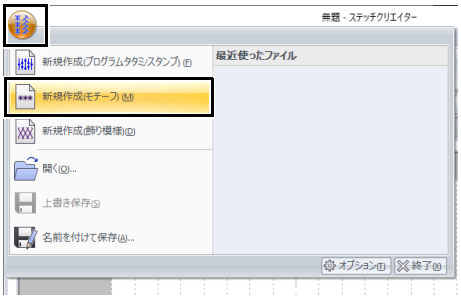


ステップ 1	モチーフモードにする
ステップ 2	線を編集してモチーフパターンを作る
ステップ 3	編集したモチーフパターンを保存する
ステップ 4	レイアウトセンターで編集したモチーフパターンを使う

ステップ 1 モチーフモードにする

1 ステッチクリエイターを起動します。

2 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［新規作成 (モチーフ)］を選択します。

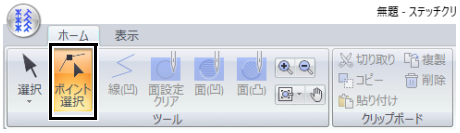


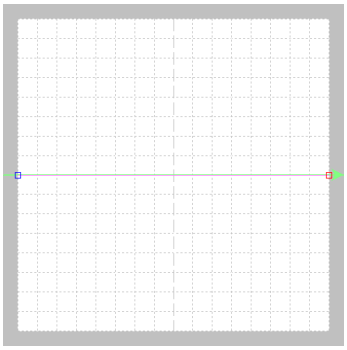
ステップ 2 線を編集してモチーフパターンを作る

モチーフモードでは、1 本の線の形を変えて、オリジナルのパターンを作ります。

1 ［ホーム］タブをクリックします。

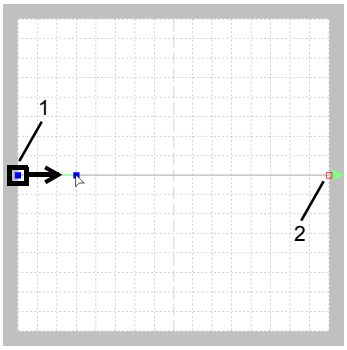
2 ［ツール］グループの［ポイントの選択］をクリックします。



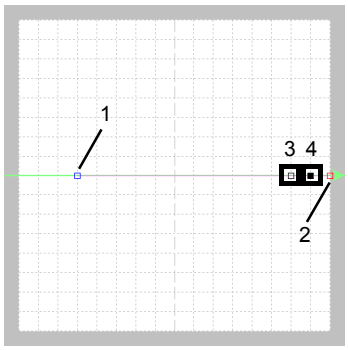


青い四角：始点
赤い四角：終点

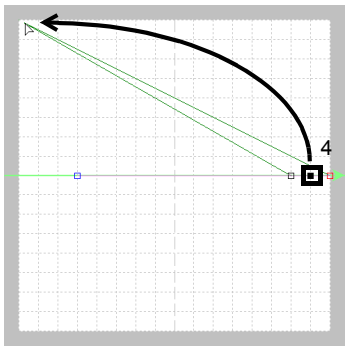
3 ポイント（1）をクリックし、ドラッグします。
ポイントを移動すると、一緒に緑色の線が移動します。



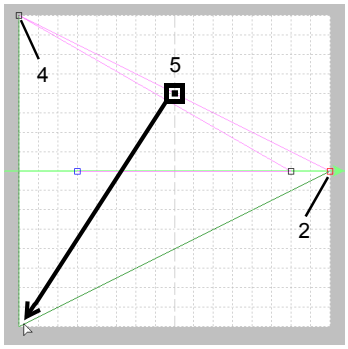
4 線上をクリックして、ポイントを挿入します。
(1) と (2) の間をクリックして、ポイント (3) を挿入します。
(3) と (2) の間をクリックして、ポイント (4) を挿入します。



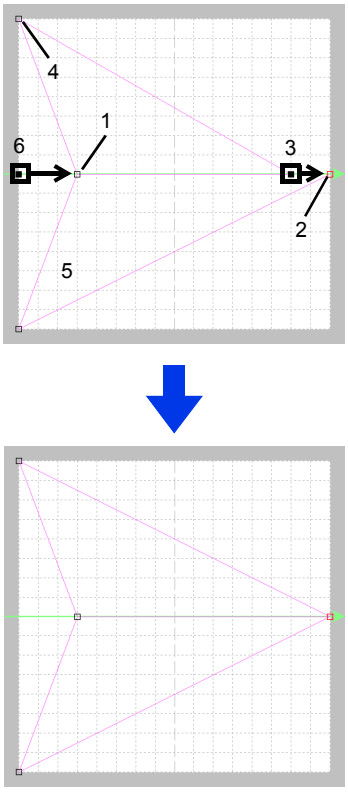
5 ポイント (4) をクリックし、ドラッグします。



6 (2) と (4) の間をクリックして、ポイント (5) を挿入し、ポイント (5) をドラッグします。



7 (4) と (5) の間をクリックして、ポイント (6) を挿入し、ポイント (6) を (1) までドラッグします。
ポイント (3) を選択し、(2) までドラッグします。

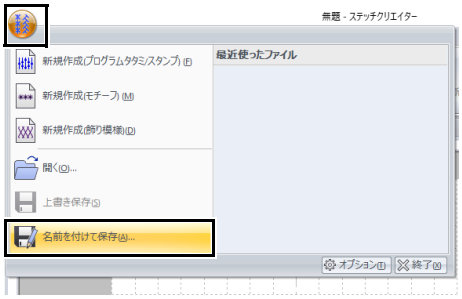


- **< Shift >**キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に 1 グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていない場合、パターンはグリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。
- **< Delete >**キーを押すと、選択中のポイントが削除されます。
- モチーフパターンは、レイアウトセンター、デザインセンターの線ぬいとの面ぬいのパターンとして使用します。

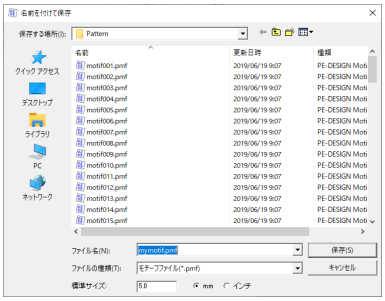
ステップ 3 編集したモチーフパターンを保存する

モチーフパターンは、.pmf 形式で保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



→ **[標準サイズ]** でサイズを指定します。**[mm]** または **[インチ]** をクリックして、単位を選択します。

3 **[保存]** をクリックします。

ステップ 4 レイアウトセンターで編集したモチーフパターンを使う

1 レイアウトセンターを起動します。

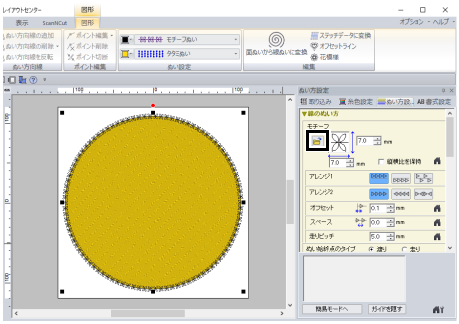
2 図形データを選択します。

3 リボンの **[図形]** タブの **[線のぬい方]** セレクターで、**[モチーフぬい]** を選択します。

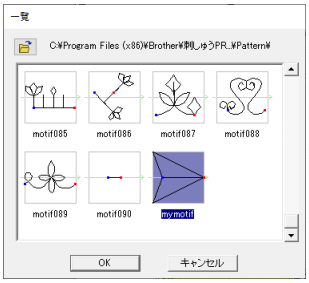
4 **[ぬい方設定]** ウィンドウを表示します。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

5 **[線のぬい方]** の **[モチーフ]** の下にある をクリックします。

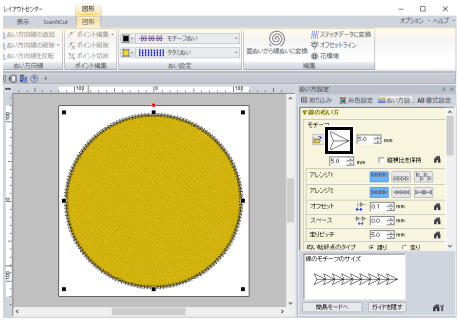


6 ステップ 3 でファイルを保存したフォルダーを選択します。



7 作成したモチーフパターンをクリックし、**[OK]** をクリックします。

→ パターンが、刺しゅうデータの線に設定されます。



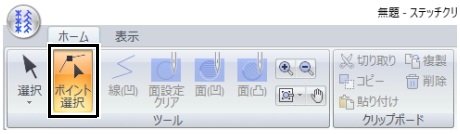
モチーフパターンは、面のぬい方のモチーフぬい、パイピングぬい、スティップリングのパターンとしても使えます。

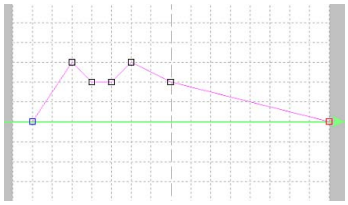
モチーフモードで編集する

■複数のポイントを一度に移動／削除する

1 **［ホーム］**タブをクリックします。

2 **［ツール］**グループの**［ポイントの選択］**をクリックします。

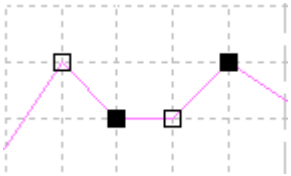




青い四角：始点
赤い四角：終点

3 白い四角をクリックして、ポイントを選択します。

複数のポイントを選択するときは、**＜Ctrl＞**キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。



■: 選択されたポイント
□: 未選択のポイント

＜Ctrl＞キーを押しながら→／←キーを押すと、終点または始点の方向へ選択するポイントを変更できます。

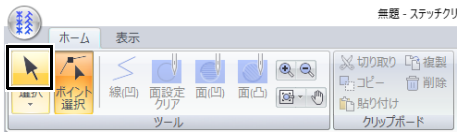
4 ポイントを編集します。

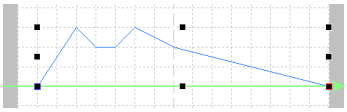
- ポイントを移動するときは、ドラッグします。
- ポイントを削除するときは、削除をクリックするか、**＜Delete＞**キーを押します。

始点（青い四角）と終点（赤い四角）は削除できません。

■パターンを拡大／縮小する

1 **［ツール］**グループで↖をクリックします。





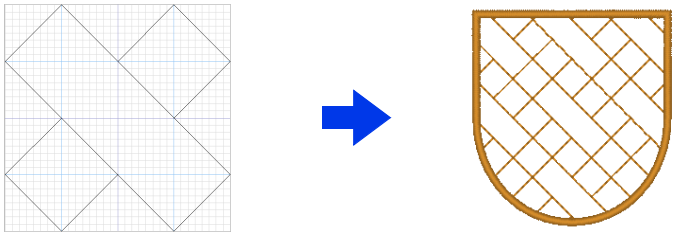
2 ハンドルをドラッグして、パターンのサイズを調整します。

- **＜Shift＞**キーを押しながらハンドルをドラッグすると、中心から拡大／縮小されます。
- 上下軸に沿ってパターンを反転するには、**［編集］**グループの**［上下反転］**をクリックします。
- 左右軸に沿ってパターンを反転するには、**［編集］**グループの**［左右反転］**をクリックします。



飾り模様ぬいパターンを作成する

新しく飾り模様ぬいパターンを作ってみましょう。飾り模様ぬいパターンは、飾り模様ぬいモードで作成します。

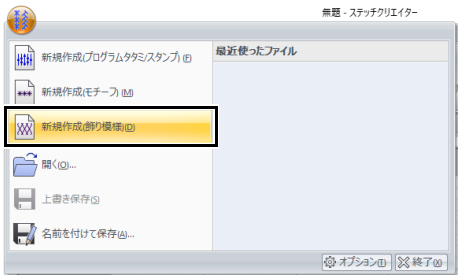


ステップ 1	飾り模様ぬいモードにする
ステップ 2	飾り模様ぬいパターンを作成する
ステップ 3	編集した飾り模様ぬいパターンを保存する
ステップ 4	レイアウトセンターで編集した飾り模様ぬいパターンを使う

ステップ 1 飾り模様ぬいモードにする

1 ステッチクリエイターを起動します。

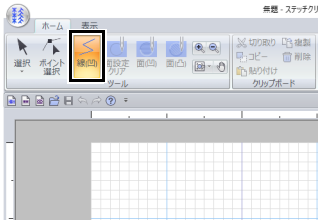
2 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[新規作成 (飾り模様)]** を選択します。



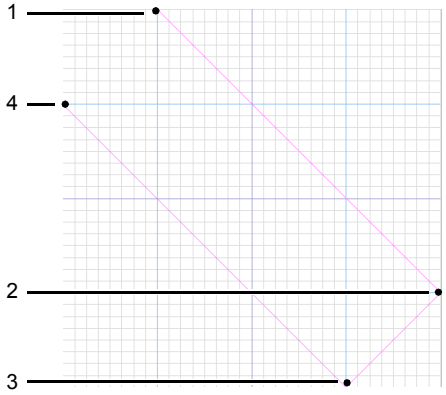
ステップ 2 飾り模様ぬいパターンを作成する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループの **[線 (凹)]** をクリックします。



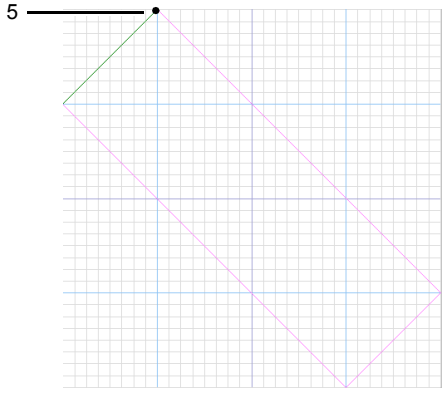
3 ポイント (1) から (4) を順にクリックします。



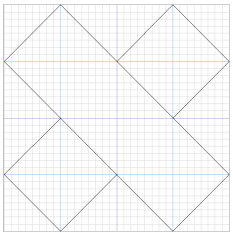
- 右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- グリッド間隔は変更できます。

▶▶ P. 312 の「グリッドの設定を変更する」

4 ポイント (5) (終点) でダブルクリックします。



5 必要なポイントをすべて入力します。



- 間に渡り糸のないきれいな縫製パターンを作るため、以下のことに注意してください。
  - パターン内にあるすべての線がつながっていることを確認してください。
  - パターンの上下端および左右端がそれぞれつながっていることを確認してください。
- パターンがつながっているポイントが、上下左右にあることを確認してください。
  - **[プレビュー]** ウィンドウを使用して、パターンが上下左右につながっているか確認できます。

    ▶▶ P. 310 の「プレビューウィンドウ」
  - ガイドラインを使用して、上下左右のポイントの位置を簡単に調整できます。

    ▶▶ P. 312 の「ガイド線の設定を変更する」

- 飾り模様ぬいモードでの編集方法については「プログラムタタミ／スタンプモード」と同様です。ただし、面設定はできません。

▶▶ P. 298 の「プログラムタタミ／スタンプモードで編集する」

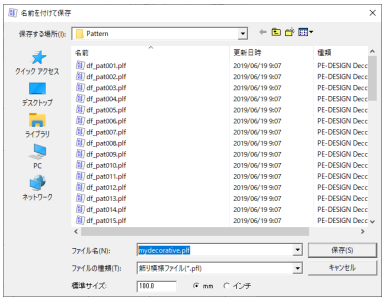
ステップ 3 編集した飾り模様ぬいパターンを保存する

飾り模様ぬいパターンは、.plf 形式で保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



[標準サイズ] でサイズを指定します。

[mm] または **[インチ]** をクリックして、単位を選択します。

3 **[保存]** をクリックします。

ステップ 4 レイアウトセンターで編集した飾り模様ぬいパターンを使う

1 レイアウトセンターを起動します。

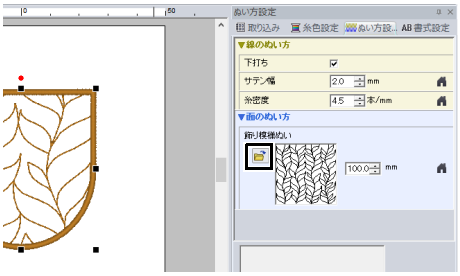
2 図形データを選択します。

3 リボンの **[図形]** タブの **[面のぬい方]** セレクターで、**[飾り模様ぬい]** を選択します。

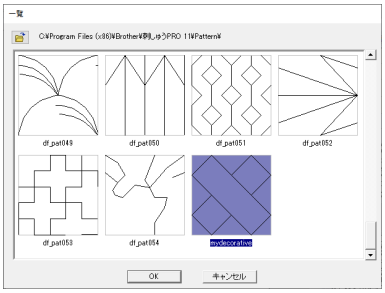
4 **[ぬい方設定]** ウィンドウを表示します。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

5 **[面のぬい方]** の **[飾り模様ぬい]** の下にある をクリックします。

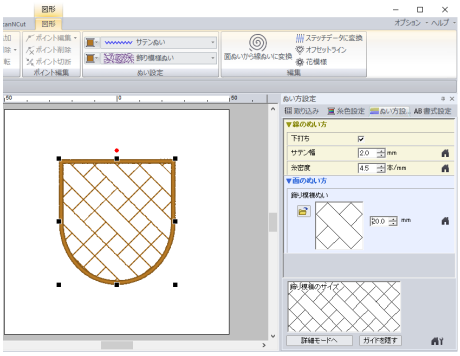


6 ステップ 3 でファイルを保存したフォルダーを選択します。

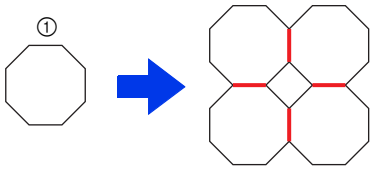


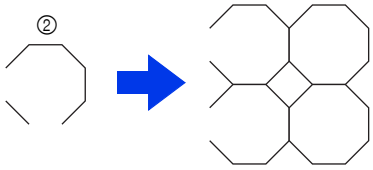
7 作成した飾り模様ぬいパターンをクリックし、**[OK]** をクリックします。

▶▶ パターンが、刺しゅうデータの面に設定されます。



- きれいに縫うことのできる飾り模様ぬいパターン作るため、模様がつながったときに、線が重ならないようにしてください。下図を参考に、重ねて模様がぬわれないように、模様を作りましょう。

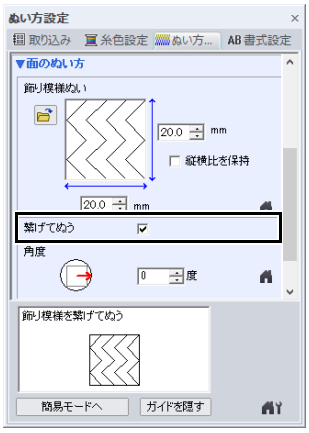




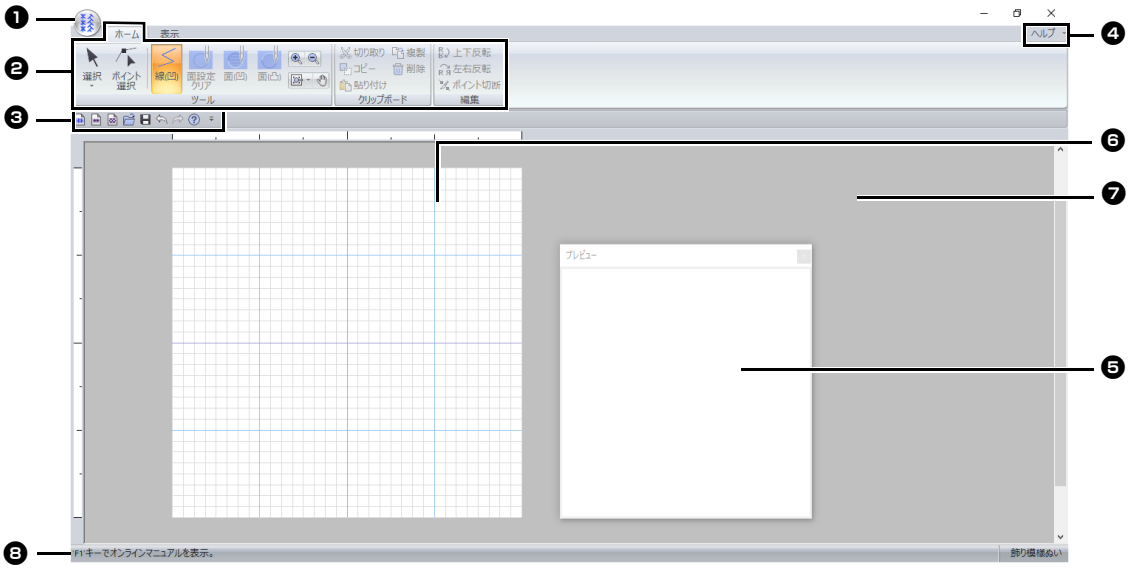
① 模様が重ねてぬわれる。
② 模様が重ねてぬわれないので、きれいに仕上がる。

- 以下に示すように、上下または左右に接続されていないパターンでは、**[繋げてぬう]** チェックボックスにチェックを入れて渡り糸を減らします。





ステッチクリエイターの画面



❶ アプリケーションボタン
❷ リボン
❸ **クイックアクセスツールバー**
❹ **ヘルプボタン**
❺ **プレビューウィンドウ**
どのようなぬい目になるか確認できます。

▶▶ P. 310 の「プレビューウィンドウ」

❻ **デザインページ**
❼ **作業領域**
❽ **ステータスバー**

▶▶ P. 13 の「画面について」

下絵を使う

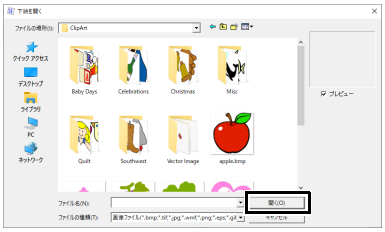
下絵を開く

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[テンプレート]** グループの **[下絵を開く]** をクリックします。



3 保存されているフォルダー、ファイルを選択し、**[開く]** をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。

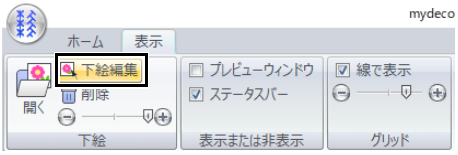


- 下絵のサンプルファイルは次のフォルダーにあります。
  ドキュメント（マイ ドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥サンプル￥ステッチクリエイター￥テンプレート
- デザインページに開くことができる下絵は 1 つです。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵と置き替えられます。
- いろいろなファイル形式の画像を開くことができます。

▶▶ P. 163 の「画像ファイルの形式について」

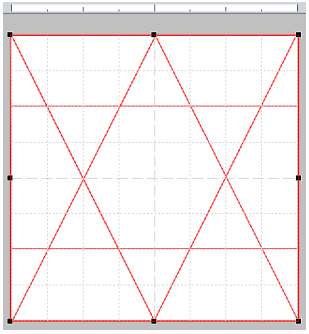
下絵を編集する

1 **[下絵編集]** をクリックします。



→ 下絵編集モードになり、下絵の周りに赤枠が表示されます。

2 下絵を編集します。

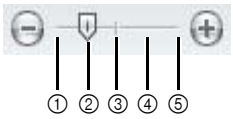


- 赤枠の内側をドラッグすると、下絵を移動できます。
- 赤枠の外側をクリックすると、下絵編集モードが解除されます。
- **[削除]** をクリックすると、下絵が削除できます。

下絵の表示の濃さを変更する

1 **[テンプレート]** グループでスライダーをドラッグするか、⊖または⊕をクリックします。





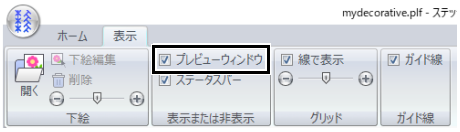
① 非表示
② 25%
③ 50%
④ 75%
⑤ 100%

- デザインページに取り込まれた下絵画像がない場合は、この機能は使えません。
- ショートカットキー**< F6 >**で、**表示(100%)**、**75%**、**50%**、**25%** および**非表示**を切り替えることができます。

プレビューウィンドウ

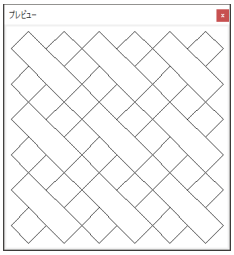
1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[プレビュー]** ウィンドウの表示と非表示を切り替えるには、**[表示または非表示]** グループで **[プレビューウィンドウ]** チェックボックスにチェックを入れる、または、チェックを外します。



① 

② 

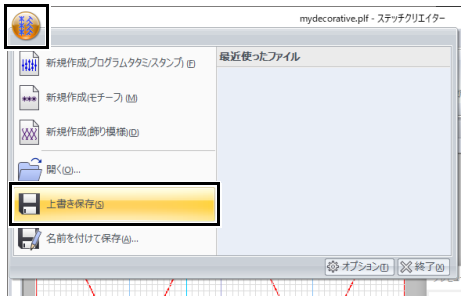
③ 

① プログラムタタミ／スタンプモード
② モチーフモード
③ 飾り模様ぬいモード

パターンを保存する

上書き保存する

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[上書き保存]** を選択します。

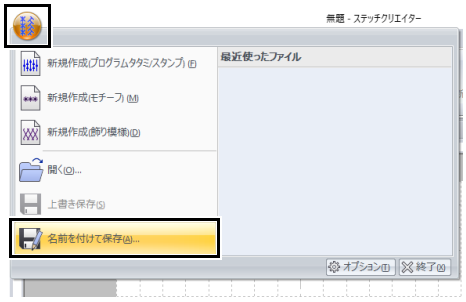


→ データがまだ名前を付けて保存されていないときや、元のファイルが見つからないときは、**[名前を付けて保存]** ダイアログボックスが表示されます。

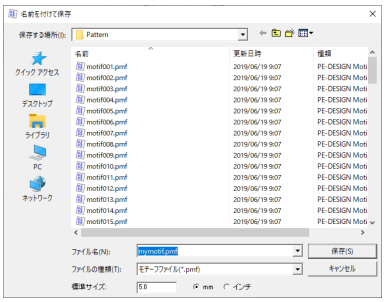
新しい名前を付けて保存する

プログラムタタミ／スタンプモードでは .pas ファイルで保存され、モチーフモードでは .pmf ファイルで保存されます。飾り模様ぬいモードでは .plf ファイルで保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 保存先のフォルダーを選択し、ファイル名を入力します。



→ **[標準サイズ]** でサイズを指定します。**[mm]** または **[インチ]** をクリックして、単位を選択します。

3 **[保存]** をクリックします。

保存したファイルは、レイアウトセンターやデザインセンターで使用できます。

▶▶ P. 297 の「レイアウトセンターで編集したプログラムタタミ／スタンプパターンを使う」と P. 302 の「レイアウトセンターで編集したモチーフパターンを使う」

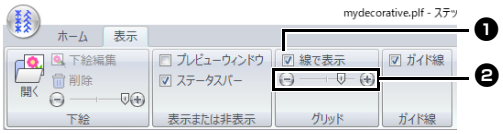
表示設定を変更する

グリッドの設定を変更する

グリッドの表示／非表示を切り替えたり、グリッドの表示のしかたや間隔を指定したりすることができます。

1 **[表示]** タブをクリックします。

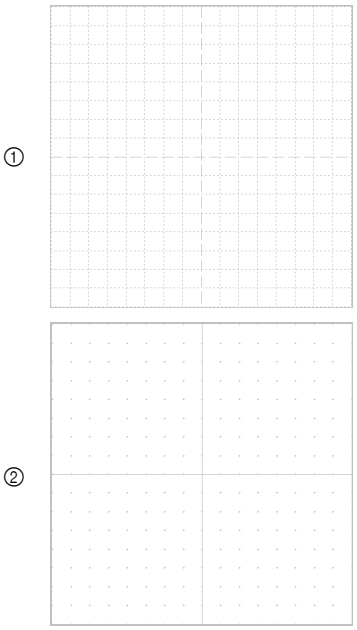
2 グリッドの設定を指定します。



❶ 線で表示

チェックすると、グリッドが破線で表示されます。

グリッドの表示はモードによって異なります。



① チェックを入れる
② チェックを外す

❷ グリッド間隔

スライダーをドラッグして、グリッドの間隔を設定します

- プログラムタタミ／スタンプモードまたはモチーフモードでは、表示なし、デザインページの 1 ／ 64 の間隔、1 ／ 32 の間隔、1 ／ 16 の間隔、1 ／ 8 の間隔に設定できます。
- 飾り模様ぬいモードでは、表示なし、デザインページの 1 ／ 128 の間隔、1 ／ 64 の間隔、1 ／ 32 の間隔、1 ／ 16 の間隔に設定できます。

ガイド線の設定を変更する

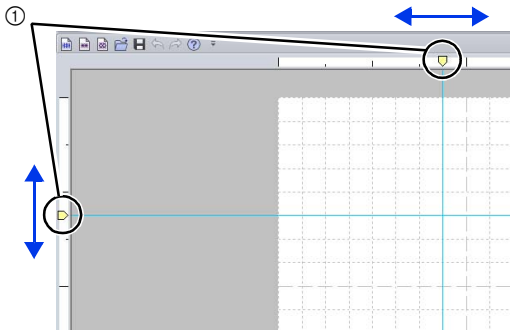
1 **[表示]** タブをクリックします。

2 ガイド線を表示する場合は、**[ガイド線]** グループで **[ガイド線]** チェックボックスをチェックします。ガイド線を非表示にする場合は、チェックを外します。



3 デザインページのルーラーをクリックします。

→ が表示され、ガイド線が引かれます。



① ガイド線

- ガイド線を移動するには、をドラッグします。
- ガイド線を削除するには、をクリックします。

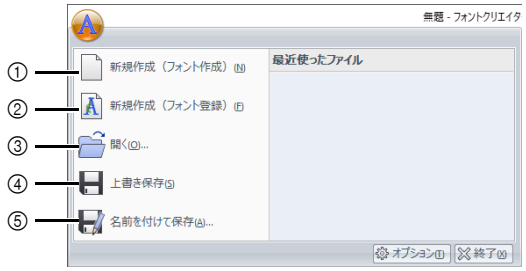
- ガイド線は、ルーラーをクリックするたびに追加されます。また、左右、上下のルーラーそれぞれに、最大 100 本のガイド線を追加できます。
- **[ガイド線]** のチェックを外すと、ガイド線が非表示になります。
- グリッドを表示している場合、ガイド線はグリッドの線に沿って追加／移動されます。

フォントクリエイター

フォントクリエイターを使用すると、オリジナルフォントを作成できます。さらに、刺しゅうデータをフォントとして登録できます。作成／登録したフォントはレイアウトセンターで使用できます。

フォントクリエイター

アプリケーションボタンメニュー



No.	メニュー	参照ページ
1	新規作成（フォント作成）	P. 330
2	新規作成（フォント登録）	P. 323
3	開く	P. 330
4	上書き保存	P. 337
5	名前を付けて保存	P. 337

リボンメニュー

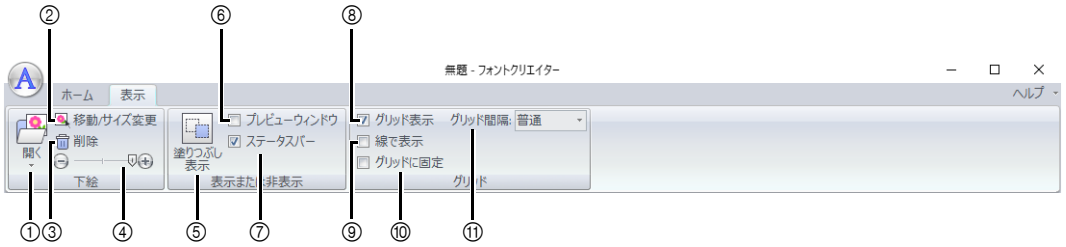
■ホームタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択	P. 333
2	ポイント選択	P. 334
3	マニュアルパンチ入力	P. 318
4	ズームイン	—
5	ズームアウト	—
6	その他のズーム	—
7	パン	—
8	切り取り	—
9	コピー	—
10	貼り付け	—
11	複製	—
12	削除	P. 334
13	前の文字	P. 331

No.	メニュー	参照ページ
14	文字選択	P. 331
15	次の文字	P. 331
16	文字一覧	P. 336
17	文字リスト編集	P. 331
18	標準フォント高さ	P. 325
19	一括登録	P. 327
20	個別登録	P. 324
21	ぬい順	P. 335
22	True Type フォントからデータ作成	P. 333
23	ポイント編集	P. 334
24	反転	P. 333
25	整列	—

■表示タブ

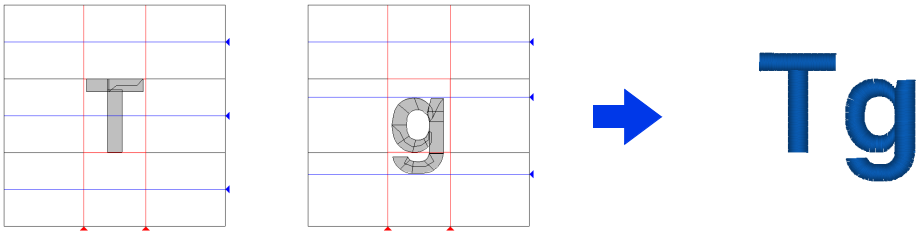


No.	メニュー	参照ページ
1	下絵を開く	P. 316
2	移動 / サイズ変更	P. 338
3	下絵削除	—
4	下絵の濃さ	P. 338
5	塗りつぶし 表示	P. 338
6	プレビューウィンドウ	P. 335

No.	メニュー	参照ページ
7	ステータスバー	P. 328
8	グリッド表示	P. 339
9	線で表示	P. 339
10	グリッドに固定	P. 339
11	グリッド間隔	P. 339

下絵から新しいフォントを作る

フォントクリエイターで作成／編集したオリジナルフォントを、レイアウトセンターで使うことができます。オリジナルフォントを使って、オリジナルの刺しゅうデータを作りましょう。



ステップ 1	作る文字を選択する
ステップ 2	下絵を開く
ステップ 3	フォントデータを作る
ステップ 4	小文字のフォントデータを作る
ステップ 5	フォントデータを保存する
ステップ 6	作ったフォントを使って刺しゅうデータを作る

ステップ 1 作る文字を選択する

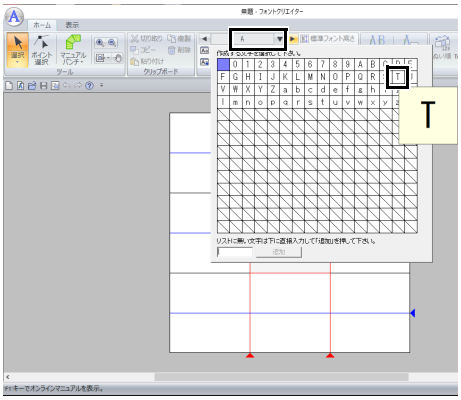
1 をクリックします。

2 **[刺しゅう PRO 11]** の下にある **[フォントクリエイター]** をクリックします。

3 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[新規作成（フォント作成）]** を選択します。

4 **[ホーム]** タブをクリックします。

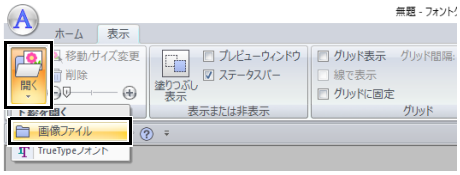
5 **[文字]** グループで **[文字選択]** ボックスをクリックし、リストから「T」を選択します。



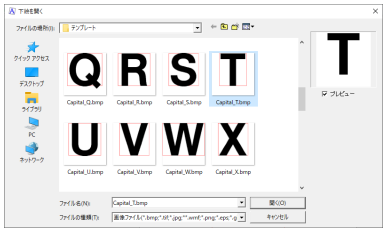
ステップ 2 下絵を開く

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[下絵]** グループで **[開く]** をクリックし、リストから **[画像ファイル]** を選選択します。



3 **Capital_T.bmp** を開きます。



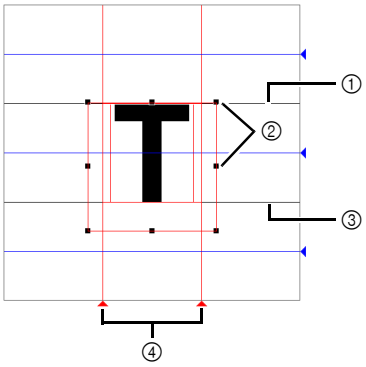
この画像ファイルは次のフォルダーにあります。

ドキュメント（マイドキュメント）￥刺しゅう PRO 11￥サンプル￥フォントクリエイター￥テンプレート

いろいろなファイル形式の画像を開くことができます。

▶▶ P. 163 の「画像ファイルの形式について」

4 文字の上端と **[キャップライン]** が揃うように文字を移動します。ハンドルをドラッグして、**[キャップライン]** と **[ベースライン]** の高さになるように、文字の高さを調整します。

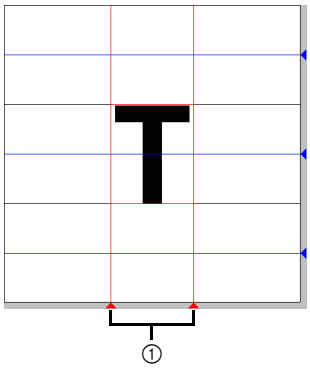


① キャップライン
② ハンドル
③ ベースライン
④ セットライン

- サンプル画像の上下左右に赤い線が追加されます。これらの線をガイドラインとして、**[ベースライン]**、**[キャップライン]**、および **[セットライン]** に合わせます。
- ハンドルが見えなくなった場合は、選択ツールでデザインページを右クリック→ **[移動 / サイズ変更]** をクリックします。

5 **[ホーム]** タブをクリックします。

6 **[ツール]** グループで をクリックし、赤い三角形のアイコンをドラッグして、セットラインを移動し、文字の幅を設定します。



① セットライン

7 **[表示]** タブをクリックします。

8 **[下絵]** グループで、スライダーをドラッグして（または か をクリックして）下絵の表示の濃さを「25%」に変更します。



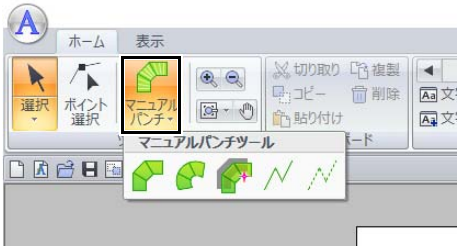
① 非表示
② 25%
③ 50%
④ 75%
⑤ 100%

- デザインページに取り込まれた下絵画像がない場合は、この機能は使えません。
- ショートカットキー＜**F6**＞で、**表示（100%）**、**75%**、**50%**、**25%** および **非表示** を切り替えることができます。

ステップ 3 フォントデータを作る

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで **[マニュアル パンチ]** をクリックし、**[マニュアルパンチツール]** から任意のツールを選択します。



：直線ブロックデータ（面ぬい）
（ショートカットキー：**<Z>**）

：曲線ブロックデータ（面ぬい）
（ショートカットキー：**<X>**）

：セミオートを使った直線ブロックデータ
セミオートとは半自動トレースのことで、下絵の線に密着してポイントが設定されます。
（ショートカットキー：**<C>**）

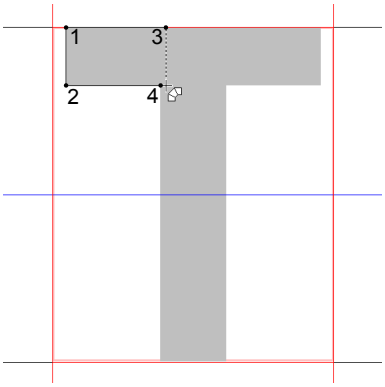
：走りデータ（線ぬい）
（ショートカットキー：**<V>**）

：送りデータ（渡り糸）
（ショートカットキー：**<B>**）

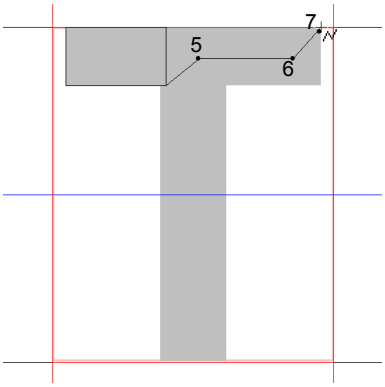
- マニュアルパンチデータを作成中は、ツールの種類を自由に変更できます。ショートカットキーを使うと便利です。
- セミオートを選択して描画する場合は、下絵となる画像が必要です。画像がない場合は、直線ブロックデータと同じ動作になります。また、TrueType フォントを下絵にしている場合は使えません。
- データを作ってから、直線を曲線に、またはその逆に変換できます。

▶▶ 詳しくは、P. 334 の「直線化／曲線化する」を参照してください。

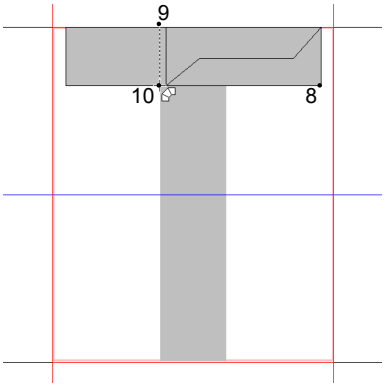
3 をクリックし、デザインページでポイント（1）（始点）から（4）を順にクリックします。



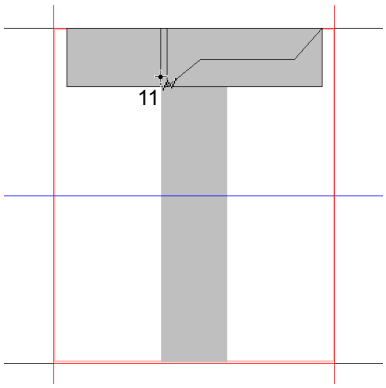
4 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、を選択し、ポイント（5）から（7）を順にクリックします。



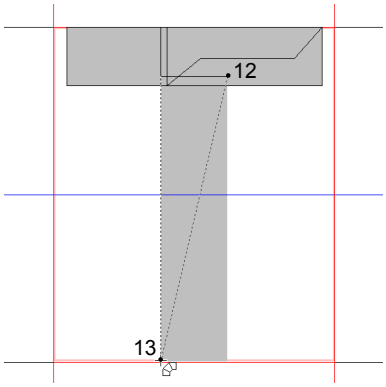
5 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、を選択し、ポイント（8）から（10）を順にクリックします。



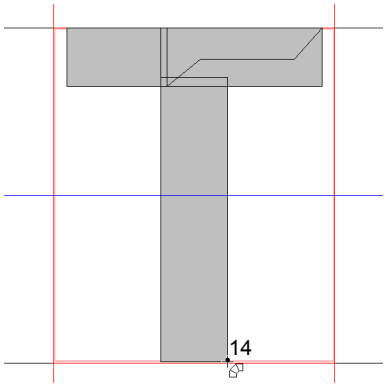
6 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（11）をクリックします。



7 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（12）から（13）を順にクリックします。



8 ポイント（14）（終点）でダブルクリックするか、クリックして**< Enter >**キーを押します。

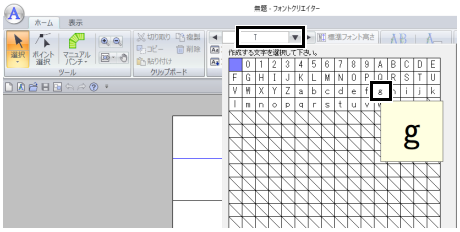


右クリックするか、**< BackSpace >**キーを押すと、直前に入力したポイントを削除できます。

ステップ 4 小文字のフォントデータを作る

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

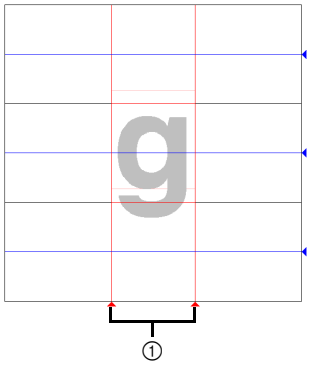
2 **[文字]** グループで **[文字選択]** ボックスをクリックし、リストから「g」を選択します。



3 「T」と同様にして、**Small_g.bmp** を開きます。



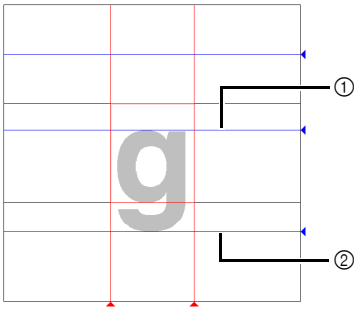
4 「T」の調整と同様に、文字のサイズと位置を調整し、赤い三角形のアイコンをドラッグして、セットラインを移動し、文字の幅を設定します。



① セットライン

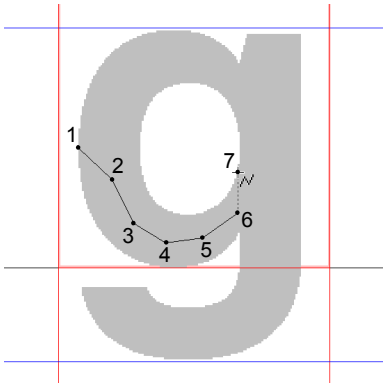
赤い線が表示されない場合、下絵の表示の濃さを変更します。

5 **[ツール]** グループで をクリックし、青い三角形のアイコンをドラッグして、文字の上端と下端に合わせて青いガイドラインを移動します。

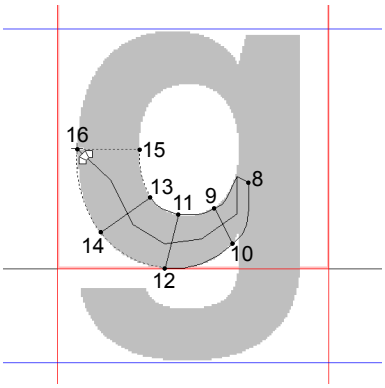


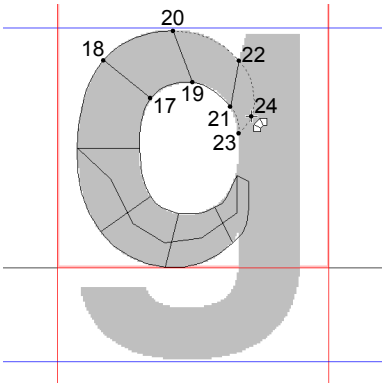
① ミーンライン
② ディセンダーライン

6 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（1）から（7）を順にクリックします。

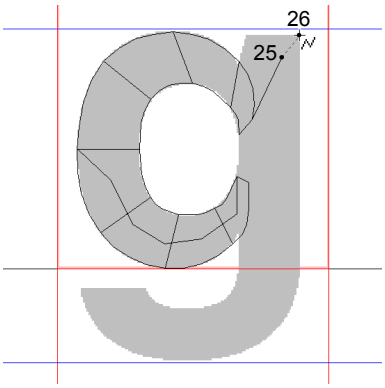


7 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（8）から（24）を順にクリックします。

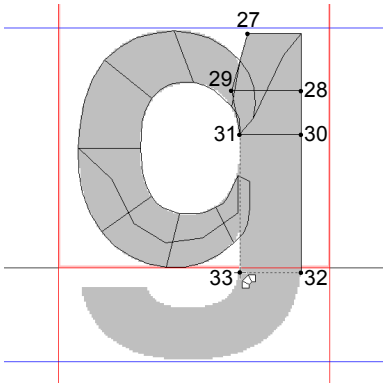




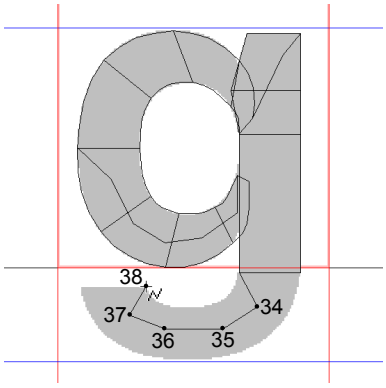
8 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（25）から（26）を順にクリックします。



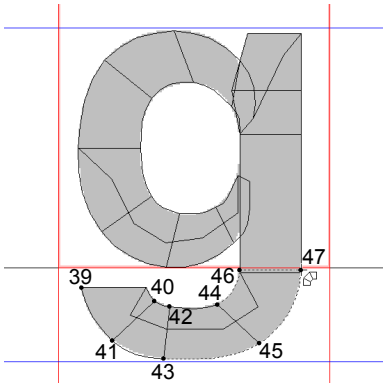
9 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（27）から（33）を順にクリックします。



10 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択し、ポイント（34）から（38）を順にクリックします。

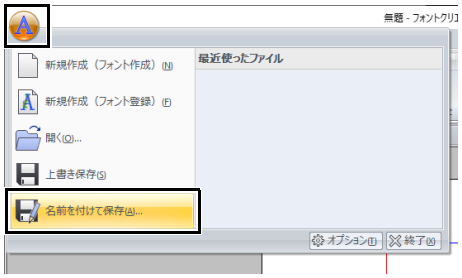


11 **[マニュアル パンチ]** をクリックして、 を選択します。次に、ポイント（39）から（46）を順にクリックし、ポイント（47）（終点）でダブルクリックするか、クリックして＜ **Enter** ＞キーを押します。

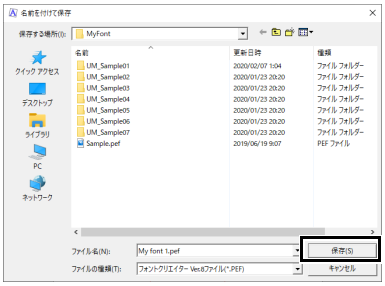


ステップ 5 フォントデータを保存する

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 次の **[MyFont]** フォルダーを選択します。



刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyFont**

ファイル名を入力します。この例では、「My font 1」と入力します。

[保存] をクリックします。

- フォントファイルは、次の **[MyFont]** フォルダーに保存してください。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyFont**
- 別のフォルダーに保存すると、レイアウトセンターで利用できません。
- 編集中の文字データの一部がデザインページからはみ出ているときに保存すると、メッセージが表示されます。すべてをデザインページの枠内に入れてから、保存し直してください。

下絵を開いている状態でフォントデータを保存すると、下絵も保存されます。次にこのフォントデータを開くと、下絵も表示されます。

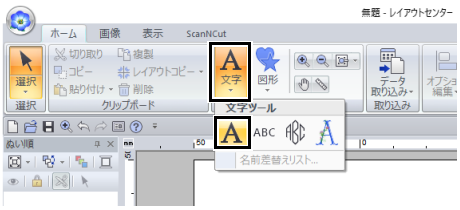
ステップ 6 作ったフォントを使って刺しゅうデータを作る

1 レイアウトセンターを起動します。

レイアウトセンターを起動していた場合は、再起動してください。新しいフォントは、起動時に認識されます。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[ツール]** グループで **[文字]** をクリックし、**[文字ツール]** から A を選択します。



4 フォントセレクターをクリックし、「My font 1」を選択します。

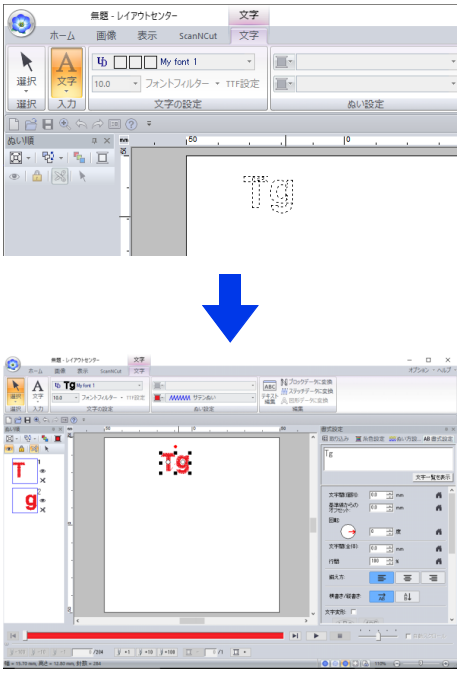


❶ フォントクリエイターで作られたフォントは、アイコンがフォント名の横に表示されています。

この例では、「T」と「g」のみ作成している（「A」「B」「C」などは作成していません）ので、**[フォント]** セレクターをクリックして表示されるフォントの見本は、作成した文字以外は表示されません。

5 デザインページをクリックします。

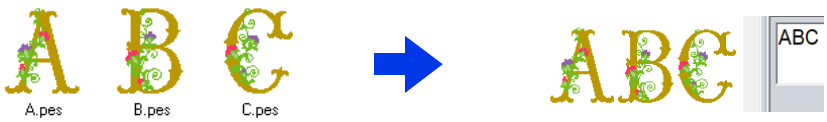
文字を入力して、**< Enter >**キーを押すか、デザインページをクリックします。



▶▶ P. 111 の「文字を使った刺しゅうデータを作る」

刺しゅうデータをフォントとして登録する

刺しゅうデータをフォントとして登録できます。一度登録すると、文字を入力するだけで文字模様を配列することができます。フォントデータは、個々の刺しゅうデータから作ることも、複数の刺しゅうデータをひとまとめにして作ることもできます。



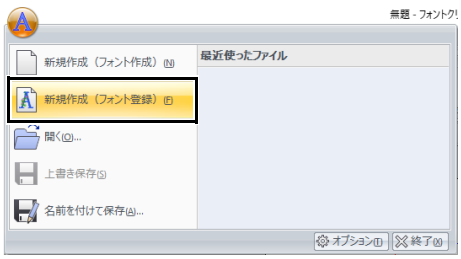
- 登録する刺しゅうデータとフォルダーを用意します。
- 次の場所にフォルダーを作り、刺しゅうデータを保存します。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyFont

刺しゅうデータを登録する（個別登録）

■標準的な文字の高さを指定する

1 フォントクリエイターを起動します。

2 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[新規作成（フォント登録）]** を選択します。



→ **[標準フォント高さの設定]** ダイアログボックスが表示されます。

3 標準的な文字の高さを指定します。この例では、**[刺しゅうファイルから標準フォント高さを設定する]** をクリックして刺しゅうデータの高さを基準として指定します。

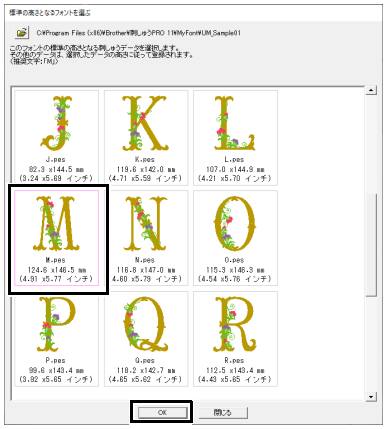


❶ **高さを直接入力する**
入力した値が文字高さの基準になります。長さの単位を「mm」または「インチ」から選択できます。

❷ **刺しゅうファイルから標準フォント高さを設定する**
選択した刺しゅうデータの高さが文字高さの基準となります。

4 標準的な文字の高さを指定する模様を選択し、**[OK]** をクリックします。

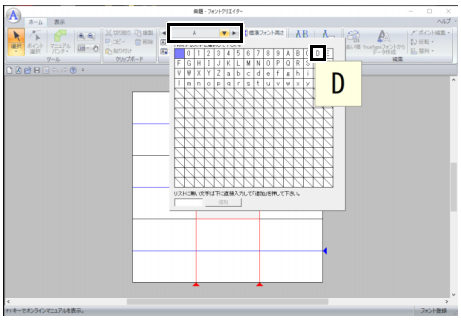
この例では、「M」の文字を選択します。



→ 選択した模様の高さが文字高さの基準となります。

■登録する刺しゅうデータを選択する

1 **[文字選択]** ボックスから、登録する文字を選択します。ここでは、「D」を選択します。

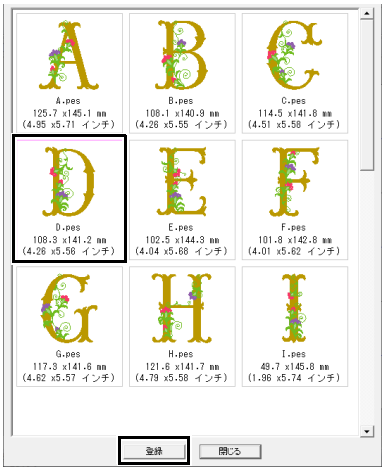


2 **[ホーム]** タブの **[個別登録]** をクリックします。

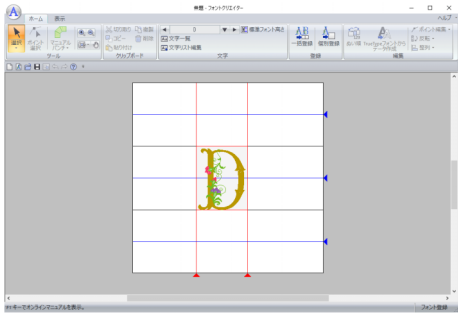


3 登録する刺しゅうファイルを選択して、**[取り込み]** をクリックし、**[閉じる]** をクリックします。

フォルダーを変更するには、をクリックします。

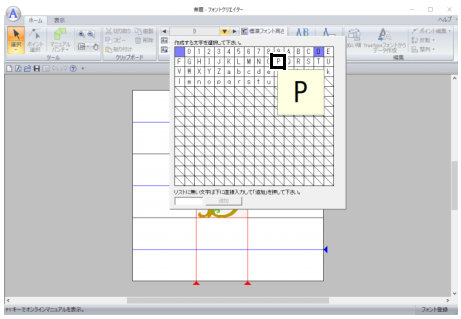


→ 登録された文字が表示されます。



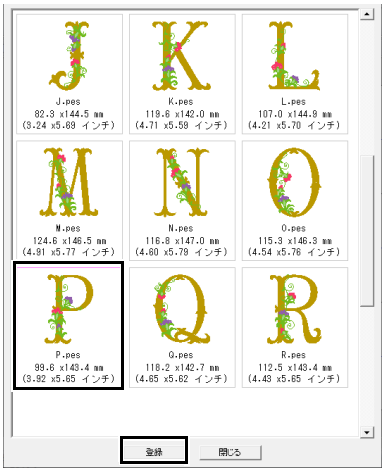
■追加する刺しゅうデータを選択する

1 **[文字選択]** ボックスから、登録する文字を選択します。ここでは、「P」を選択します。

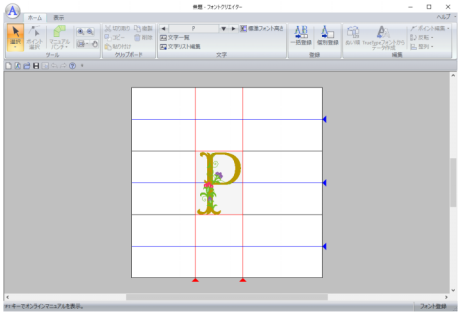


2 **[ホーム]** タブの **[個別登録]** をクリックします。

3 登録する刺しゅうファイルを選択して、**[登録]** をクリックします。

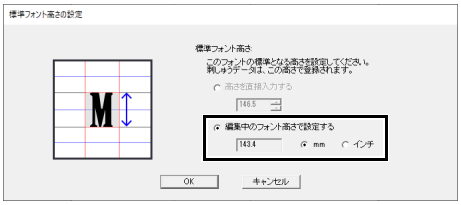


→ 登録された文字が表示されます。



- 標準的な文字の高さを、編集した文字刺しゅうデータの高さに変更するには、**[標準フォント高さ]** をクリックし、**[編集中のフォント高さで設定する]** を選択します。



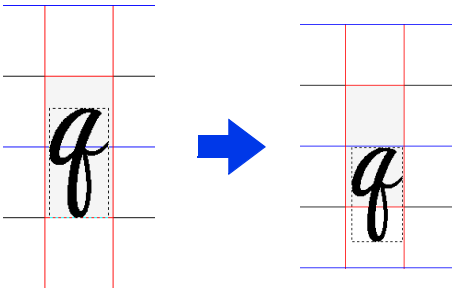


■文字位置を調整する

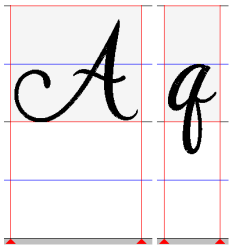
1 **[ツール]** グループで をクリックした後、文字をクリックします。

→ 文字の周囲に点線が表示されます。

2 文字をドラッグして移動させます。



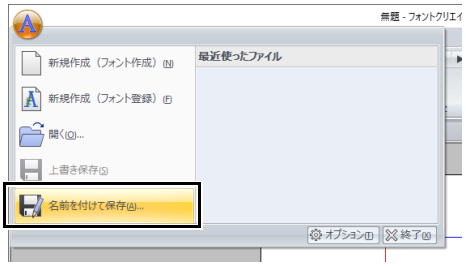
[標準フォント高さの設定] ダイアログボックスで指定された高さを基準にした大きさで、登録されたフォントが表示されます。



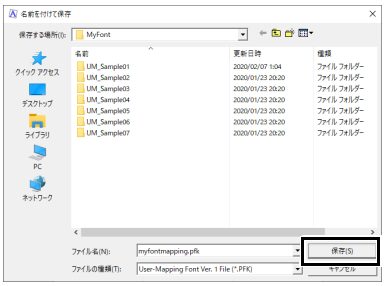
フォントファイルを保存する

登録された文字は、フォントデータとして PFK 形式で保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[名前を付けて保存]** を選択します。



2 次の **[MyFont]** フォルダーに模様を保存します。



刺しゅう PRO がインストールされているドライブ **Program Files (x86)\Brother\ 刺しゅう PRO 11\MyFont**

- フォントデータが保存されると、レイアウトセンターで、登録された刺しゅうデータの模様で文字入力ができます。

▶▶ P. 135 の「ユーザー登録文字」

- 刺しゅうデータを別のフォルダーに保存すると、レイアウトセンターで編集できません。
- ユーザー定義の色を含む .pes ファイルを登録すると、レイアウトセンターでは **[基本色名]** として表示されます。

▶▶ P. 99 の「刺しゅうデータ情報を確認する」

刺しゅうデータを登録する（バッチ登録）

1 登録する刺しゅうデータを用意し、ファイル名で文字を認識できるようにファイル名を変更します。

刺しゅうデータのファイル名にしたがって文字が登録されます。
大文字と小文字を区別するには、大文字にはファイル名の先頭に「u_」を追加し、小文字にはファイル名の先頭に「l_」を追加します（例：u_A.pes または l_a.pes）。
ファイル名に使用できない文字については、以下のようにファイル名を指定します。

文字	ファイル名
\	s_bs
/	s_sl
:	s_cn
*	s_as
?	s_qm
"	s_dq
<	s_lt
>	s_gt
|	s_vb

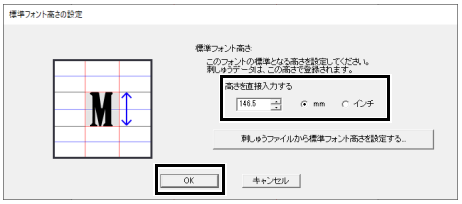
2 フォントクリエイターを起動します。

3 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから **[新規作成（フォント登録）]** を選択します。



→ **[標準フォント高さの設定]** ダイアログボックスが表示されます。

4 標準的な文字の高さを指定します。
この例では、文字の高さを 146.5 mm に設定して **[OK]** をクリックします。



▶▶ P. 323 の「標準的な文字の高さを指定する」

5 **[ホーム]** タブの **[一括登録]** をクリックします。



6 登録するファイルを選択します。

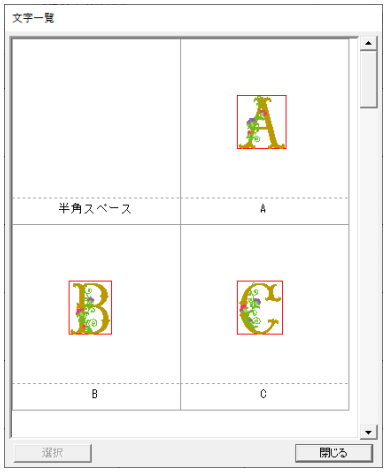


❶ すべて選択
すべてのファイルを選択する場合にクリックします。

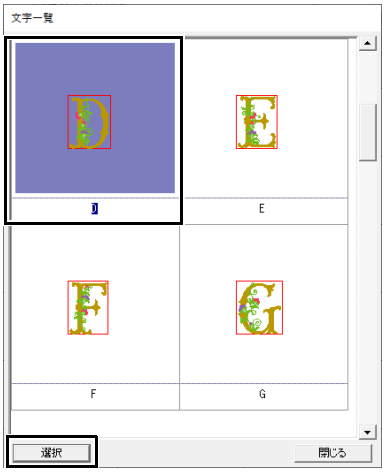
❷ 選択を解除
すべてのファイルの選択を解除する場合にクリックします。

7 **[登録]** をクリックします。

→ 登録が完了すると、登録した文字の一つがデザインページに表示され、**[文字一覧]** ダイアログボックスが表示されます。



8 位置を調整する文字を選択して、**[選択]** をクリックします。



9 文字の位置を調整します。

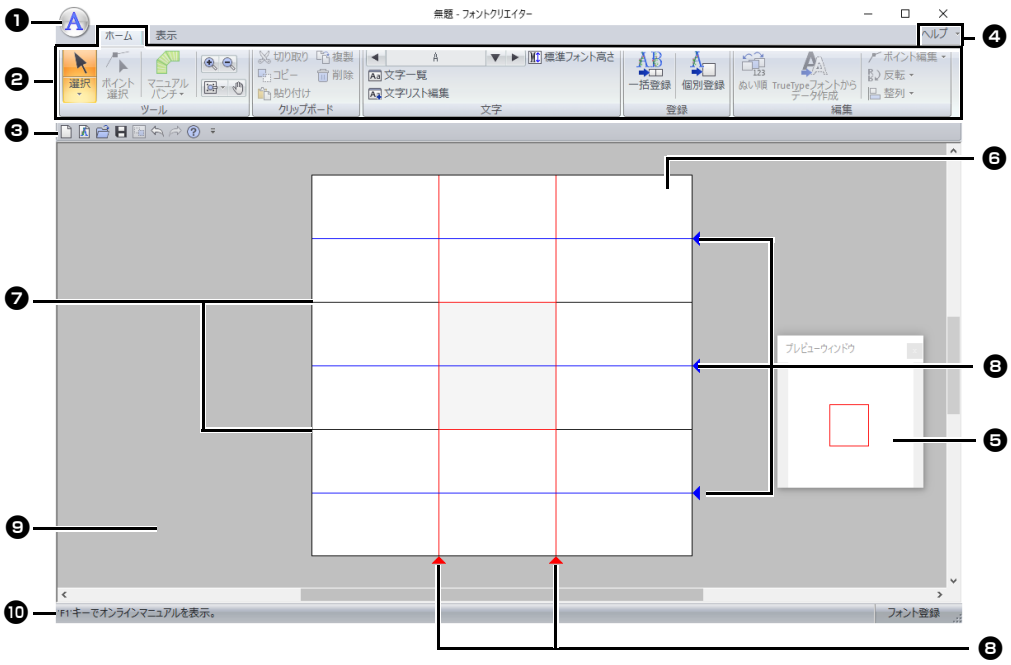
▶▶ P. 325 の「文字位置を調整する」

10 文字が登録されたフォントデータを保存します。

▶▶ P. 325 の「フォントファイルを保存する」

- 以下の種類の刺しゅうファイルはダイアログボックスのファイル一覧には表示されません。
  - 刺しゅう模様の大きさが 500 mm を超えているファイル
  - 刺しゅう模様の大きさが 5 mm より小さいファイル
  - 枠サイズがジャンボ枠、または大型枠に設定されているファイル、分割模様の刺しゅうデータを含むファイル
  - カットワーク模様を含むファイル

フォントクリエイターの画面



❶ アプリケーションボタン

❷ リボン

❸ **クイックアクセスツールバー**

❹ **ヘルプボタン**

❺ **プレビューウィンドウ**
どのようなぬい目になるか確認できます。

▶▶ P. 335 の「フォントデータをプレビューする」

❻ **デザインページ**

❼ **ガイドライン（固定）**

▶▶ P. 329 の「デザインページのガイドラインについて」

❽ **ガイドライン（移動可能）**

▶▶ P. 329 の「デザインページのガイドラインについて」

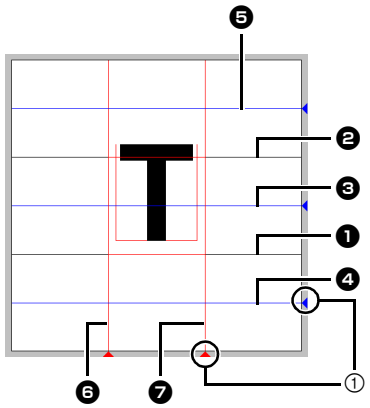
❾ **作業領域**

❿ **ステータスバー**

▶▶ P. 13 の「画面について」

デザインページのガイドラインについて

デザインページには、フォントを作るための基準となるガイドラインが表示されます。各ガイドラインの内容は、次のとおりです。



① 三角形のアイコン

❶ ベースライン

❷ キャップライン
フォントの標準的な高さは、**ベースライン**から**キャップライン**までです。この線は移動できません。

❸ ミーンライン
小文字の場合、文字の標準的な高さは、この線から**ベースライン**までになります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

❹ ディセンダーライン
この線は、「g」や「y」などのように、ベースラインより下の部分（ディセンダー）がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

❺ アセンダーライン
この線は、アクセント記号などのように、キャップラインより上の部分（アセンダー）がある文字の基準になります。線の右端にある三角形のアイコンをドラッグすると、移動できます。

❻ セットライン（左）

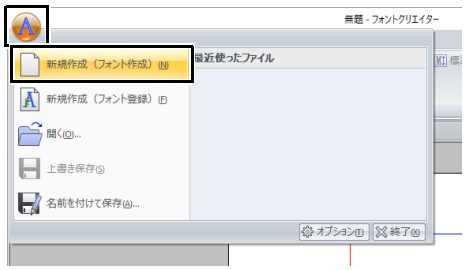
❼ セットライン（右）
この線の間隔が、文字の幅になります。線の下にある三角形のアイコンをドラッグすると、調整できます。

- **［ベースライン］**、**［キャップライン］**、**［セットライン］**は、文字を作るときの基準マスク（高さと幅の基準）になります。
- フォントクリエイターで作った文字をレイアウトセンターに取り込むと、文字の幅と高さは次の範囲になります。
  - 文字の高さ：ベースライン❶からキャップライン❷
  - 文字の幅：セットライン（左）❻からセットライン（右）❼
- 文字の高さを揃えるための目安として、**［アセンダーライン］**、**［ミーンライン］**、**［ディセンダーライン］**は、すべての文字に共通して表示されます。これらの線の高さを変更すると、別の文字を編集するときも同様に変更されます。
- **［セットライン］**は、文字ごとに個別に設定できます。

フォントファイルを開く

新しいフォントを作る

をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**新規作成（フォント作成）**］を選択します。



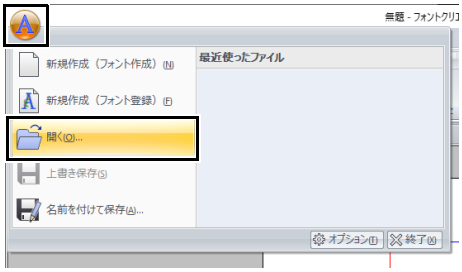
→ フォント作成モードになります。

刺しゅうデータからフォントデータを作るには、［**新規作成（フォント登録）**］を選択します。

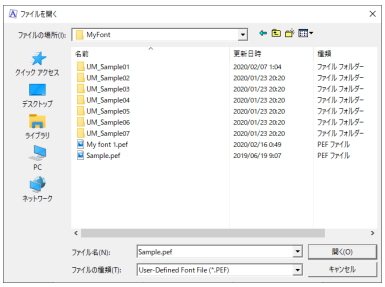
▶▶ P. 323 の「刺しゅうデータをフォントとして登録する」

フォントファイルを開く

1 フォント作成モードでをクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**開く**］を選択します。



2 ［**MyFont**］フォルダーを選択します。
刺しゅう PRO がインストールされているドライブ￥**Program Files (x86)**￥**Brother**￥**刺しゅう PRO 11**￥**MyFont**



3 ファイルアイコンを選択して［**開く**］をクリックするか、ダブルクリックしてファイルを開きます。

文字を選択して下絵を準備する

作る文字を選択する

■セレクターで選択する

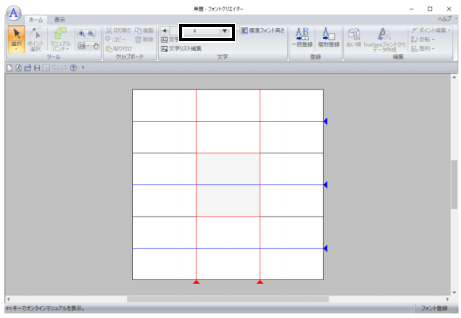
1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[文字]** グループで **[文字選択]** ボックスの左右の矢印をクリックすると、表示中の文字の前後の文字を選択できます。

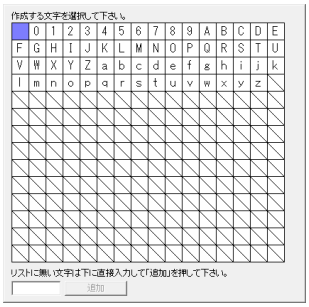


■文字リストから選択する

1 **[文字]** グループで **[文字選択]** ボックスをクリックします。



2 作る文字を選択します。

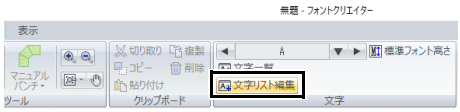


- 青いマスは、そのマスの文字のフォントデータが作られていることを示しています。
- 左上の空白のマスは「半角スペース」です。クリックすると、半角スペースを選択できます。

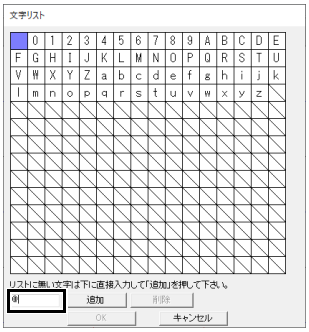
編集中の文字のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに別の文字を選択すると、メッセージが表示されます。フォントデータ全体をデザインページの枠内に入れてから、別の文字を選択してください。

■文字リストの登録文字を追加／削除する

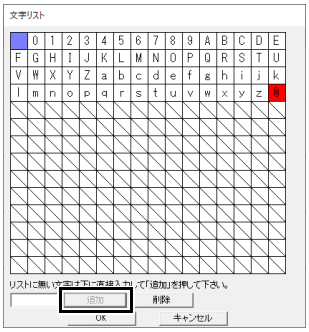
1 **[文字]** グループの **[文字リスト編集]** をクリックします。



2 キーボードから、登録する文字を入力します。



3 **[追加]** をクリックします。



4 登録された文字を削除したいときは、文字を選択して **[削除]** をクリックします。

選択された文字は、マスが赤く表示されます。文字をクリックするごとに選択／選択解除が切り替わります。

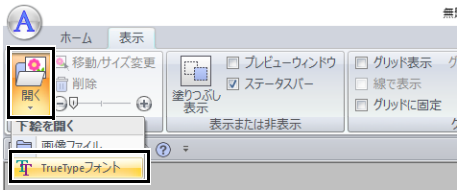
5 設定できたら、**[OK]** を押します。

文字を登録して、その文字のフォントデータを作成しなくても、登録した文字はフォントファイルに保存されます。

下絵を開く（TrueType フォント）

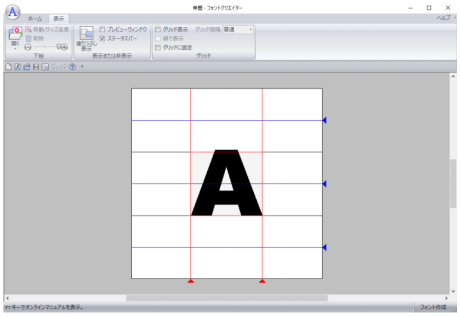
1 フォント作成モードで **[表示]** タブをクリックします。

2 **[下絵]** グループで **[開く]** をクリックし、リストから **[TrueType フォント]** を選択します。



3 **[フォント名]** セレクターでフォントを選択します。**[スタイル]** セレクターで字体を選択します。**[OK]** をクリックします。





フォントを作成中は、下絵にする画像を選び直すまで、選択した TrueType フォントが表示されます。また、**[文字選択]** ボックスで編集する文字を選択し直すと、その対応する文字が下絵として表示されます。

- **[文字選択]** ボックスで選択した文字が TrueType フォントにない場合は、「**?**」と表示されます。
- TrueType フォントを下絵として選択すると、移動や大きさの変更はできません。
- TrueType フォントの場合、自動的にフォントデータに変換することができます。

▶▶ P. 333 の「TrueType フォントを自動変換する」。

- TrueType フォントを下絵にしているときは、セミオートを使った直線ブロックデータを入力できません。

フォントデータを作る

TrueType フォントを自動変換する

1 フォント作成モードで、TrueType フォントを下絵に開きます。

▶▶ P. 332 の「下絵を開く（TrueType フォント）」。

2 **[ホーム]** タブをクリックします。

3 **[編集]** グループの **[TrueType フォントからデータ作成]** をクリックします。



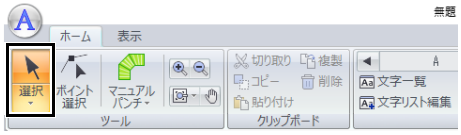
4 下絵に TrueType フォントが開かれていない場合は、**[TrueType フォント]** ダイアログボックスが表示されます。

フォントデータを編集する

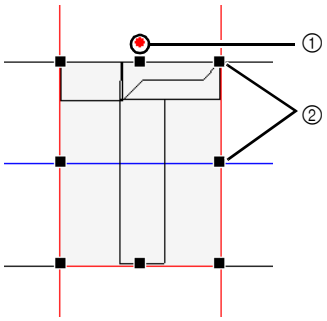
■パンチデータを選択する

1 フォント作成モードで **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで  をクリックして、**[選択]** ツールを使用します。



3 パンチデータをクリックします。



① 回転ハンドル
② ハンドル

4 複数のパンチデータを選択するときは、**< Ctrl >** キーを押しながらパンチデータをクリックします。

- パンチデータを囲むようにドラッグしても、複数のパンチデータを選択できます。
- **< Ctrl >** キーを押しながら選択中のパンチデータをクリックすると、選択を解除できます。

■パンチデータを移動する

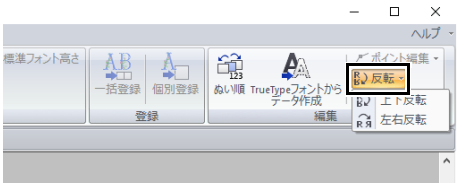
パンチデータを選択し、ドラッグして移動します。

- **< Shift >** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。
- 矢印キーを押すと、矢印キーの方向に移動します。グリッドが表示されていない場合は、グリッドの最小間隔より小さい間隔で移動します。

■フォントを拡大／縮小する

選択したパンチデータのハンドルをドラッグして、サイズを調整できます。回転ハンドルをドラッグすると、回転できます。

- **< Shift >** キーを押しながらハンドルをドラッグすると、中心から拡大／縮小されます。
- パンチデータを上下に反転させるときは、**[編集]** グループで **[反転]** をクリックして、**[上下反転]** をクリックします。
  左右に反転させるときは、**[左右反転]** をクリックします。



- 上記のほか、複製や削除など、コマンド操作で選択中のパンチデータの編集ができます。

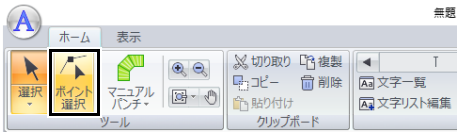
▶▶ P. 314 の「フォントクリエイター」。

フォントデータのポイントを編集する

ポイントを編集して作り直す

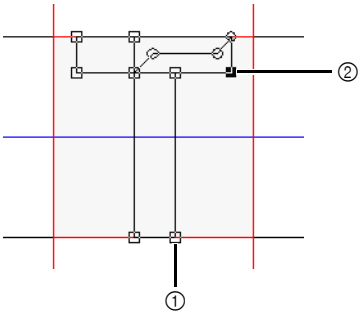
1 フォント作成モードで［ホーム］タブをクリックします。

2 ［ツール］グループの［ポイント選択］をクリックします。



3 刺しゅうデータをクリックします。

4 ポイントをクリックして選択します。



① 未選択のポイント
② 選択されたポイント

- ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。
- ポイントを挿入するときは、挿入したい線上でクリックします。

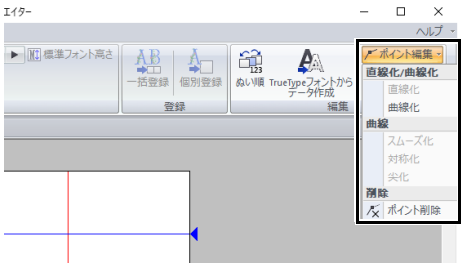
→新しいポイント（小さい黒い四角または丸）が追加されます。

- ポイントを削除するときは、削除をクリックするか、＜Delete＞キーを押します。

直線化／曲線化する

1 ポイントを選択します。

2 ［編集］グループで［ポイント編集］をクリックし、リストから任意のコマンドを選択します。



▶▶ 直線化、曲線化、スムーズ化、対称化、尖化はレイアウトセンターの操作と同じです。詳しくは、P. 80 の「直線を曲線に、または曲線を直線に変える」と P. 80 の「曲線の形を変更する」を参照してください。

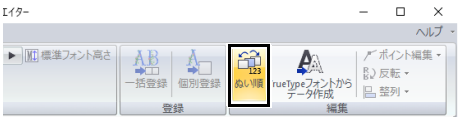
これらのコマンドは、［走り］または［送り］ツールを使用して入力されたデータでは使用できません。

作ったフォントデータを確認する

ぬい順を確認／変更する

1 フォント作成モードで［ホーム］タブをクリックします。

2 ［編集］グループの［ぬい順］をクリックします。





：　クリックすると、それぞれの模様がコマいっぱいに拡大表示されます。

3 ［ぬい順］ダイアログボックスで、コマをクリックします。



4 ぬい順を変更するときは、選択したコマを新しいぬい順の位置までドラッグします。ドラッグ中は赤い縦線が表示され、コマの移動先を示します。



ダイアログボックスの下のボタンをクリックしても部分を移動できます。

：　ぬい順を先頭に移動します。

：　ぬい順を 1 つ前に移動します。

：　ぬい順を 1 つ後に移動します。

：　ぬい順を最後に移動します。

［OK］をクリックして、ぬい順を変更します。

フォントデータをプレビューする

1 ［表示］タブをクリックします。

2 ［プレビューウィンドウ］の表示／非表示は、［表示または非表示］グループの［プレビューウィンドウ］チェックボックスをクリックして切り替えます。



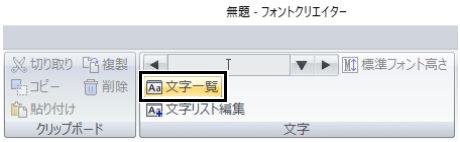


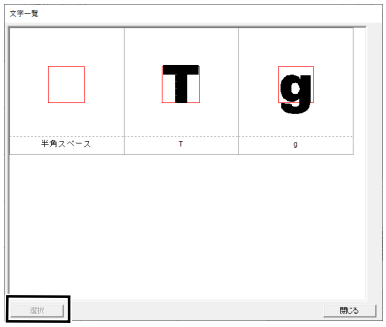
作った文字を一覧で確認／選択する

現在編集しているフォントファイルに含まれている文字を一覧で表示し、文字を選択して文字のフォントデータを編集できます。

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[文字]** グループの **[文字一覧]** をクリックします。



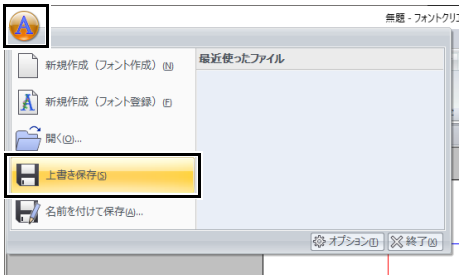


文字のフォントデータを編集する場合は、文字をクリックし、**[選択]** をクリックします。

フォントファイルを保存する

上書き保存する

フォント作成モードで をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**上書き保存**］を選択します。



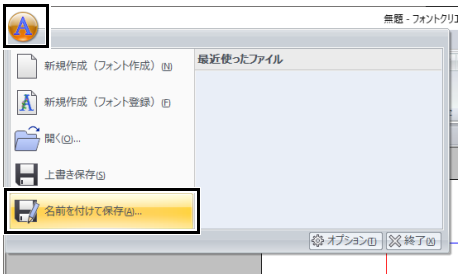
→ データがまだ名前を付けて保存されていないときや、元のファイルが見つからないときは、［**名前を付けて保存**］ダイアログボックスが表示されます。

編集中のフォントデータの一部がデザインページからはみ出ているときに保存すると、メッセージが表示されます。すべてのフォントデータをデザインページの枠内に入れてから、保存し直してください。

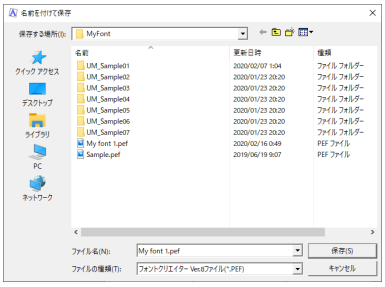
新しい名前を付けて保存する

ファイルは、.pef ファイルで保存されます。

1 フォント作成モードで をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**名前を付けて保存**］を選択します。



2 次の［**MyFont**］フォルダーを選択します。



刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyFont**
ファイル名を入力し、［**保存**］をクリックします。

- 別のフォルダーに保存すると、レイアウトセンターで利用できません。
- フォントファイルは、次の［**MyFont**］フォルダーに保存してください。
  刺しゅう PRO がインストールされているドライブ**￥Program Files (x86)￥Brother￥刺しゅう PRO 11￥MyFont**
- 保存したフォントファイルは、レイアウトセンターで使用できます。

▶▶ P. 322 の「作ったフォントを使って刺しゅうデータを作る」

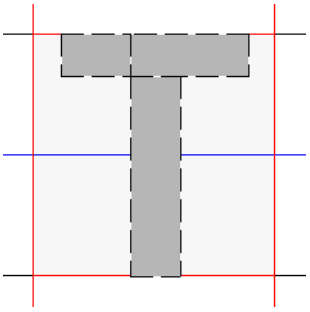
- レイアウトセンターを起動中に、フォントクリエイターで新しいフォントファイルを保存すると、そのフォントファイルはレイアウトセンターの［**フォント**］セレクターに表示されません。このような場合には、いったんレイアウトセンターを終了して、再起動してください。

各設定を変更する

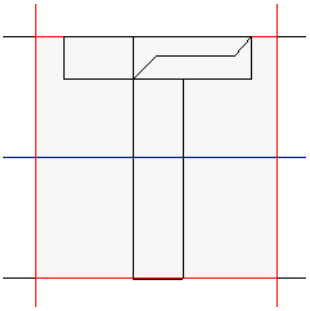
表示モードを変更する

フォントクリエイターのフォント作成モードには、2 つの表示モードがあります。

- 塗りつぶし表示モード
  縫製部分が塗りつぶされて表示されます。このモードでは、フォントデータの重なり方が分かりやすく表示されます。



- 線表示モード（塗りつぶし表示モードオフ）
  縫製部分が塗りつぶされません。このモードでは、より簡単にポイントを編集できます。



表示モードは、次の手順で切り替えます。

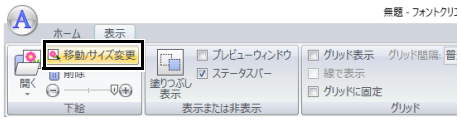
[表示] タブをクリックします。

[表示または非表示] グループの **[塗りつぶし表示]** をクリックします。



下絵を移動／サイズ変更する

[下絵] グループの **[移動 / サイズ変更]** をクリックします。



→ 下絵が選択されます。

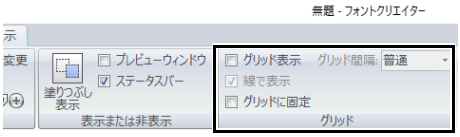
フォントデータの編集と同じ操作で、下絵の移動やサイズ変更ができます。

▶▶ P. 333 の「フォントデータを編集する」

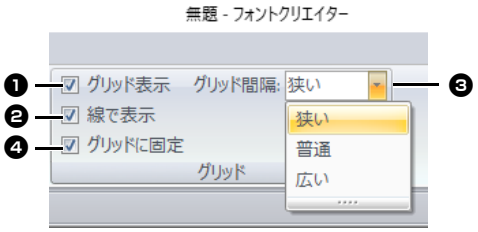
TrueType フォントを下絵にしている場合は、拡大／縮小、移動はできません。

グリッドの設定を変更する

1 **[表示]** タブをクリックします。



2 **[グリッド]** グループでグリッド設定を指定します。



❶ **[グリッド表示]** チェックボックスをチェックすると、グリッドが表示されます。

❷ **[線で表示]** チェックボックスをチェックすると、グリッドが実線で表示されます。

❸ **[グリッド間隔]** ボックスで、グリッド間隔を選択します。

❹ **[グリッドに固定]** チェックボックスをチェックすると、ポイントをグリッド間隔で挿入／移動でき、太さが均一な文字を作成できます。

ポイントは **[グリッド間隔]** ボックスで設定した間隔で移動します。
また、グリッドの表示／非表示に関わらず有効です。

ステッチデザインファクトリー

ステッチデザインファクトリーを使って、ミシンで扱うステッチパターンデータを作成／編集することができます。

ステッチデザインファクトリー

アプリケーションボタンメニュー



No.	メニュー	参照ページ
1	新規作成	—
2	開く	—
3	上書き保存	—
4	名前をつけて保存	P. 344
5	データ書き出し	P. 345

リボンメニュー

■ホームタブ



No.	メニュー	参照ページ
1	選択	P. 346
2	ポイントの選択	P. 346
3	線ツール	P. 343
4	ペンツール	P. 343
5	ズームイン	—
6	ズームアウト	—
7	選択データズーム	—
8	パン	—

No.	メニュー	参照ページ
9	1 重ぬい	P. 343
10	3 重ぬい	P. 343
11	反転	P. 347
12	上下反転	P. 346
13	左右反転	P. 346
14	複製	P. 347
15	削除	P. 346

■表示タブ



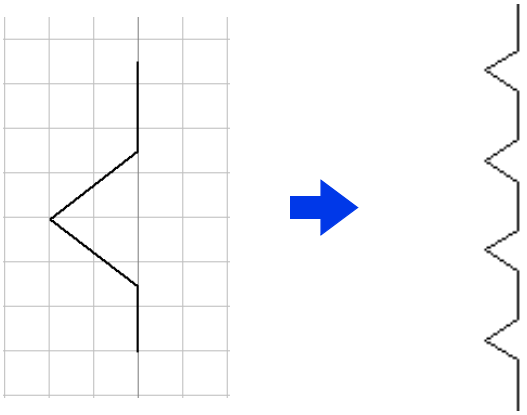
No.	メニュー	参照ページ
1	開く	P. 352
2	移動 / サイズ変更	P. 352
3	削除	P. 352
4	下絵の濃さ	P. 352
5	針落ち点表示	P. 353
6	水平方向表示	P. 353
7	取り込みウィンドウ	P. 353

No.	メニュー	参照ページ
8	プレビューウィンドウ	P. 353
9	ステータスバー	P. 353
10	グリッド表示	P. 354
11	グリッドに固定	P. 354
12	グリッド間隔	P. 354
13	ステッチ シミュレーター	P. 354

ステッチデザインファクトリーの基本操作

このアプリケーションでは、オリジナルのステッチパターンデータを作成するように、内蔵されている模様を結合して編集することができます。このアプリケーションでは、刺しゅうデータを作成することはできません。

作成したステッチパターンデータを取り込むことができるミシンの詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ステップ 1	ステッチパターンデータを作成する
ステップ 2	ステッチパターンデータを保存する
ステップ 3	ステッチパターンデータを書き出す

ステッチパターンデータを作成する

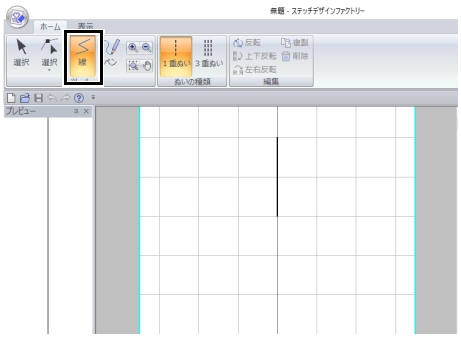
1 をクリックします。

2 **[刺しゅう PRO 11]** の下にある **[ステッチデザインファクトリー]** をクリックします。

3 このアプリケーションの標準的なデザインページより大きなステッチパターンデータを使うことができるミシンもあります。
この場合、エクスポートするファイルの形式を変更します。

▶▶ P. 349 の「書き出すファイルの形式を変更する」

4 **[線]** が選択されていることを確認します。

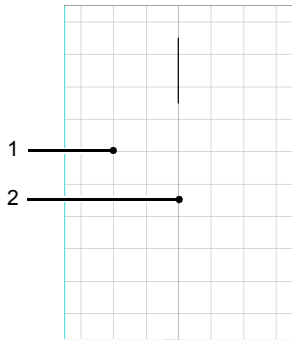


- ステッチデザインファクトリーが起動すると、中央に 1 本の縦ステッチが表示されます。この線のポイントを移動したりポイントを追加して、ステッチパターンデータを作成します。
- デザインページの垂直方向はミシンの垂直送りを表し、水平方向は水平送りを表します。

5 **[ぬいの種類]** グループの **[1 重ぬい]** または **[3 重ぬい]** をクリックします。



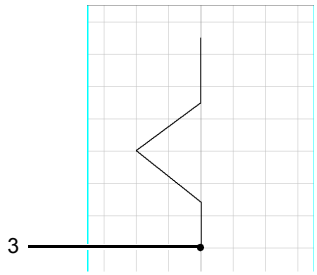
6 ポイント（1）と（2）を順にクリックします。



- ポインターをドラッグして線を引くには、**［ホーム］**タブで を選択します。
- 右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- グリッド間隔は変更できます。

▶▶ P. 354 の「グリッドの設定を変更する」

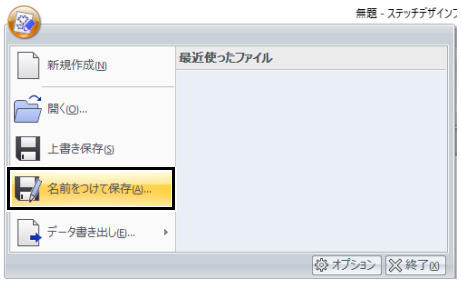
7 ポイント（3）（終点）でダブルクリックします。



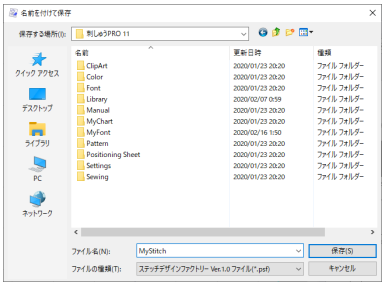
ステッチパターンデータを保存する

ステッチパターンは、PSF 形式で保存されます。

1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから**［名前をつけて保存］**を選択します。



2 保存先を選択し、ファイル名を入力します。



3 **［保存］**をクリックします。

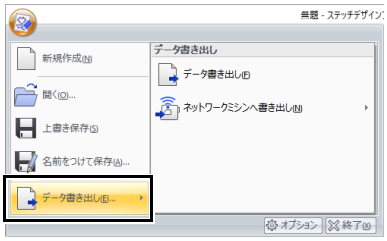
- PSF ファイルはこのアプリケーションで編集することはできますが、ミシンで取り込むことはできません。
- ミシンに模様を取り込むときは、PMV または PMP 形式で書き出します。

▶▶ P. 345 の「ステッチパターンデータを書き出す」

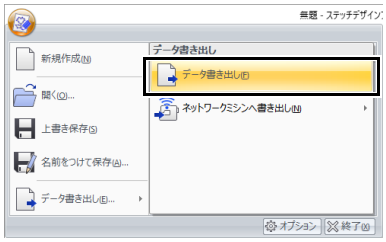
ステッチパターンデータを書き出す

作成したステッチパターンデータをミシンで取り込むためには、異なるファイル形式に書き出す必要があります。

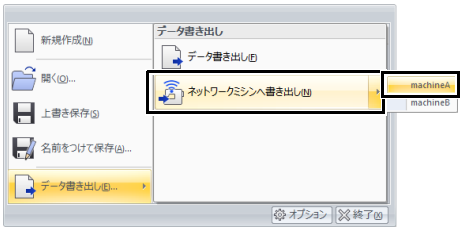
1 をクリックし、アプリケーションボタンメニューから［**データ書き出し**］を選択します。



2 ［**データ書き出し**］をクリックします。



- ステッチパターンデータは、無線 LAN 経由でミシンに転送することができます（対応モデルのみ）。
  アプリケーションにミシンを登録後、［**ネットワークミシンへ書き出し**］をクリックし、データを転送するミシンを選択します。



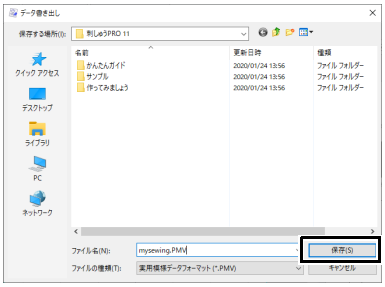
→ ステッチパターンデータがミシンに転送されます。

▶▶ P. 216 の「無線 LAN 経由で転送する」

- ミシンが無線 LAN が搭載されていないモデルの場合は、USB メモリーにステッチパターンデータを保存して、ミシンでデータを呼び出してください。詳しくは、ミシンの取扱説明書を参照してください。

3 保存先を選択し、ファイル名を入力します。

4 ［**保存**］をクリックします。



→ ファイルがPMVまたはPMP形式で書き出されます。

▶▶ P. 349 の「書き出すファイルの形式を変更する」

PMV または PMP 形式のファイルはミシンにのみ取り込むことができ、刺しゅう PRO では編集できません。
再度データを編集する必要がある場合は、PSF 形式で保存します。

▶▶ P. 344 の「ステッチパターンデータを保存する」

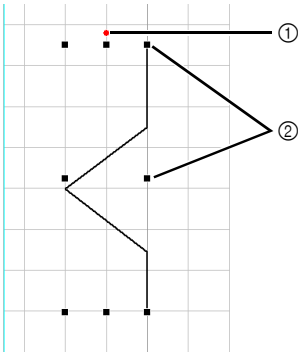
ステッチパターンデータを編集する

■ステッチパターンデータを選択する

1 **[ホーム]** タブをクリックします。

2 **[ツール]** グループで をクリックします。

3 ステッチパターンデータをクリックします。



① 回転ハンドル
② ハンドル

■ステッチパターンデータを移動する

選択したステッチパターンデータをドラッグして、移動します。

< Shift >キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動できます。

■ステッチパターンデータを編集する

選択したステッチパターンデータのハンドルをドラッグして、サイズを調整できます。回転ハンドルをドラッグすると、回転できます。

- **< Shift >**キーを押しながらハンドルをドラッグすると、中心から拡大／縮小されます。
- **[編集]** グループで **[上下反転]** をクリックして、選択されたパターンを垂直方向（上下）に反転します。
- **[編集]** グループで **[左右反転]** をクリックして、選択されたパターンを水平方向（左右）に反転します。



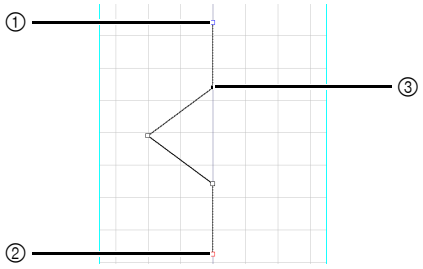
- 上記のほか、複製や反転（始点と終点を入れ替える）など、コマンド操作で選択中のデータの編集ができます。

■ステッチパターンデータを作り直す

1 **[ツール]** グループで をクリックします。

2 ステッチパターンデータの線をクリックします。

3 ポイントをクリックして選択し、編集します。



① 青い四角：始点
② 赤い四角：終点
③ 選択されたポイント

- ポイントを移動するときは、目的の位置までドラッグします。
- ポイントを挿入するときは、挿入したい線上でクリックします。

→ 新しいポイントが表示されます。

- ポイントを削除するときは、削除 をクリックするか、**<Delete>** キーを押します。

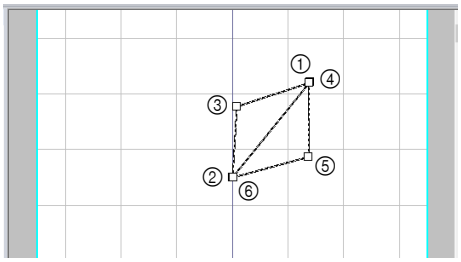
- 複数のポイントを選択するときは、**< Ctrl >** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- **<Ctrl>** キーを押しながら →キーまたは ←キーを押すと、終点方向または始点方向のポイントが選択されます。
- **<Shift>** を押しながらポイントをクリックして、直前に選択したポイントとの間のすべてのポイントを選択します。

■ぬい順を変更する

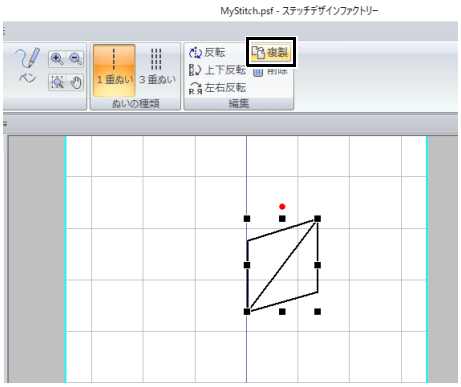
ステッチの始まり（始点）と終わり（終点）を入れ替えることができます。そうすることで、ステッチの終わりを次の模様のステッチの始まりに近づけるように、編集することができます。

1 ステッチパターンデータを作成します。

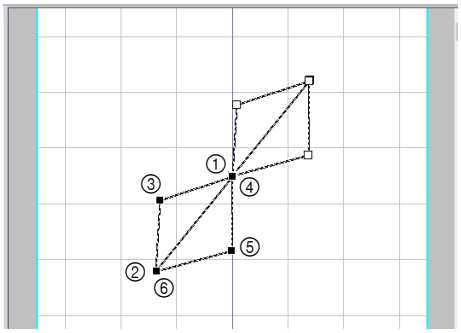
→ ぬい順は以下のようになります。



2 すべてのポイントを選択し、**［複製］**をクリックします。



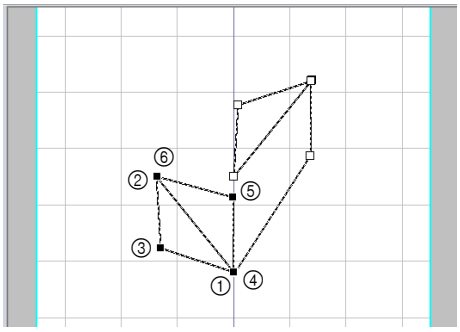
→ 選択したステッチパターンが複製され、複製されたポイントが選択されます。
複製されたステッチパターンのぬい順は以下のようになります。



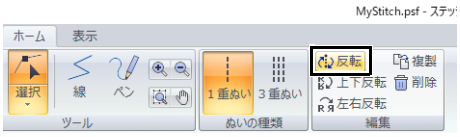
3 **［上下反転］**をクリックします。



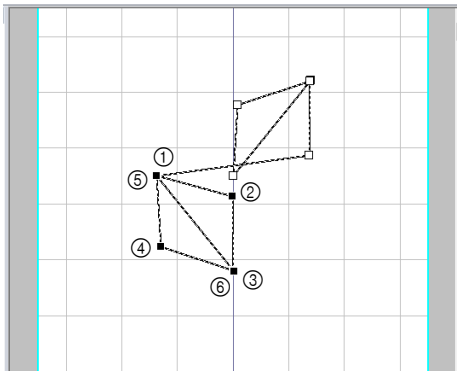
→ ステッチパターンのぬい順は以下のようになります。



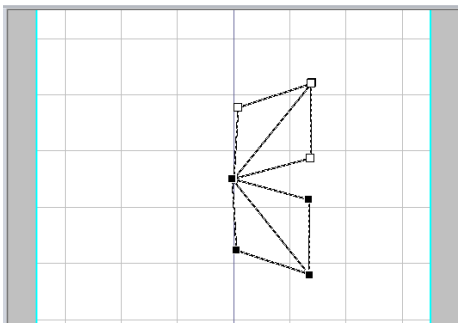
4 **［編集］**グループの**［反転］**をクリックします。



→ 選択したステッチパターンの始点と終点が入れ替わります。
ぬい順は以下のようになります。



5 →キーを押して、選択したステッチパターンを移動します。

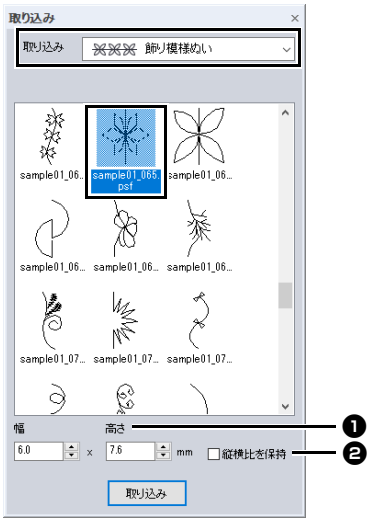


- **<Shift>** を押しながら→キーを押すとポイントを選択できます。

■ ステッチパターンデータを取り込む

アプリケーションに用意された PSF ファイルのステッチパターンデータを取り込んで編集することができます。

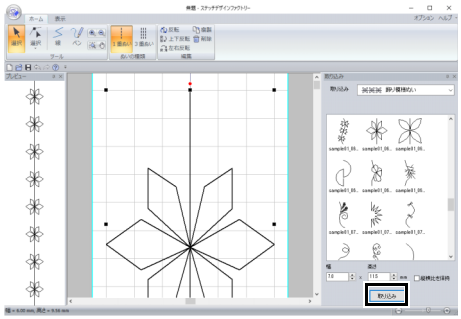
1 **［取り込み］**ウィンドウで **［取り込み］**セレクターからカテゴリーを選択し、取り込むステッチパターンデータをクリックします。



❶ 取り込む模様の大きさを指定できます。

❷ 模様の高さと幅の比率を維持したいときは、このチェックボックスを選択します。

2 **［取り込み］**をクリックします。



- デザインページにすでに模様が存在する場合は、始点が前の模様の終点になるように新しい模様が追加されます。

書き出すファイルの形式を変更する

このアプリケーションの標準的なデザインページサイズよりも、大きな模様のステッチパターンデータを使うことができるミシンもあります。

PMV ファイル形式は標準的なサイズの模様向け、PMP ファイル形式は大きなサイズの模様向けです。

■書き出すファイルの形式を PMV から PMP に変更する

1 → **[オプション]** の順にクリックします。

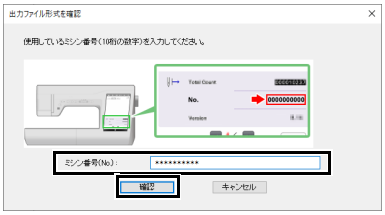


2 **[出力ファイル形式を選択]** → **[ミシンの種類を確認]** をクリックします。

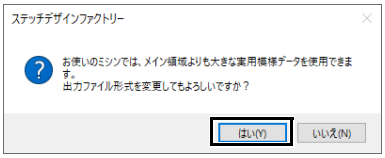


3 **[ミシン番号 (No.)]** の横にミシン番号（プロダクトナンバー）を入力して、**[確認]** をクリックします。

ミシン番号はミシン本体の設定画面に記載されています。詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

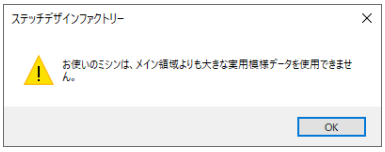


4 お使いのミシンで大きなサイズのステッチパターンデータを使用できる場合は、次のメッセージが表示されます。**[はい]** をクリックします。



→ メッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。
書き出すファイル形式が PMP 形式に変わります。

お使いのミシンで大きなサイズのステッチパターンデータを使用できない場合は、次のメッセージが表示されます。**[OK]** をクリックします。



■書き出すファイルの形式を PMP から PMV に変更する

1 → **[オプション]** の順にクリックします。



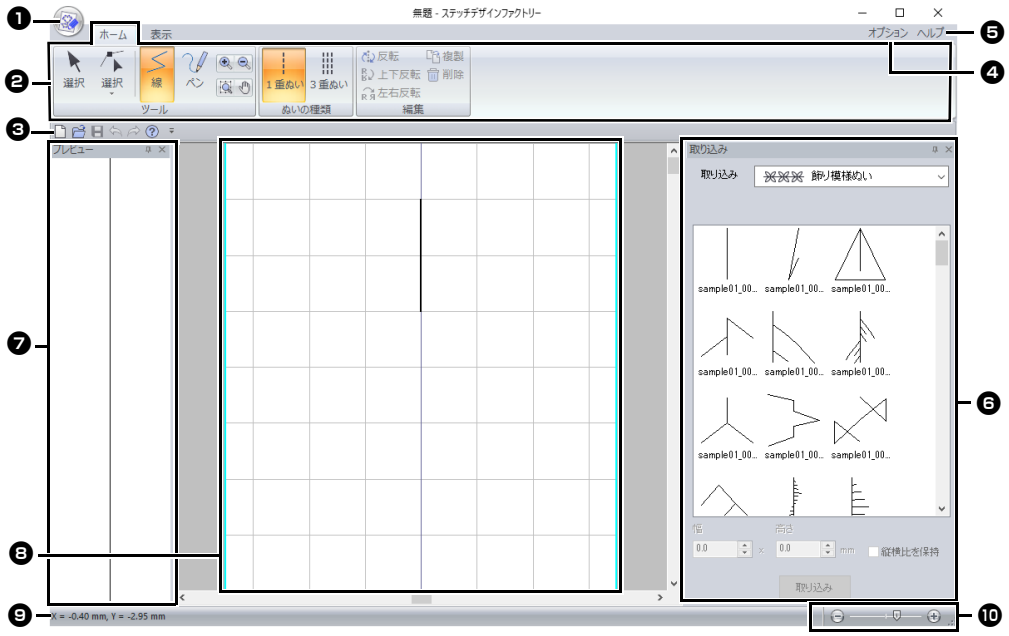
2 **［出力ファイル形式を選択］**→**［標準］**をクリックします。



3 メッセージが表示されたら、**[OK]**をクリックします。

→ 書き出すファイル形式が PMV 形式に変わります。

ステッチデザインファクトリーの画面

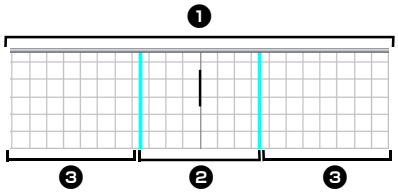


❶ **アプリケーションボタン**
❷ **リボン**
❸ **クイックアクセスツールバー**
❹ **オプションボタン**
❺ **ヘルプボタン**
❻ **取り込みウィンドウ**
❼ **プレビューウィンドウ**
❽ **デザインエリア**
❾ **ステータスバー**

▶▶ P. 13 の「画面について」

❿ **ズーム**

書き出すファイル形式に PMP が選択されているとき、データには 3 つのエリアがあります。



❶ **デザインエリア**
ステッチパターンを作るエリアです。デザインエリアは、メインエリアと拡張エリアから成ります。

❷ **メインエリア**
ミシン針が移動できるエリアです。このエリア内にステッチパターンの始点と終点を指定します。

❸ **拡張エリア**
ミシン針が移動できる範囲外のエリアです。ステッチパターンを作ることはできますが、始点と終点はメインエリア内に指定する必要があります。

下絵を使う

下絵を開く

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[画像]** グループの **[開く]** をクリックします。



3 下絵が保存されているフォルダーを選択し、ファイルを選択して **[開く]** をクリックするか、ファイルアイコンをダブルクリックします。

- デザインページでは 1 つの下絵のみ開くことができます。別の下絵を開くと、それまで表示されていた下絵と置き替えられます。
- いろいろな形式のファイルを開くことができます。

▶▶ P. 163 の「画像ファイルの形式について」

下絵表示の濃度を変更する

1 **[画像]** グループでスライダーをドラッグするか、⊖または⊕をクリックします。



- 下絵を隠すには、スライダーを⊖までドラッグします。
- **<F6>** を押すと、下絵表示濃度の設定を切り替えることができます。

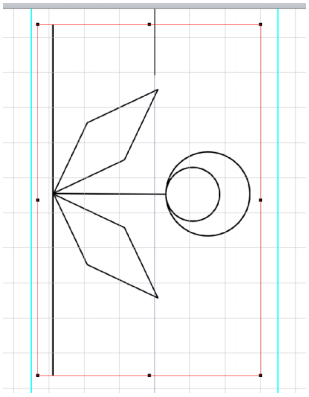
下絵を編集する

1 **[移動 / サイズ変更]** をクリックします。



→ アプリケーションが下絵編集モードになり、下絵の周囲に赤い枠が表示されます。

2 下絵を編集します。



- 下絵画像を移動するには、赤い枠の中をドラッグします。
- 下絵編集モードを終了するには、赤い枠の外をクリックします。
- 下絵を削除するには、**[削除]** をクリックします。

その他の設定

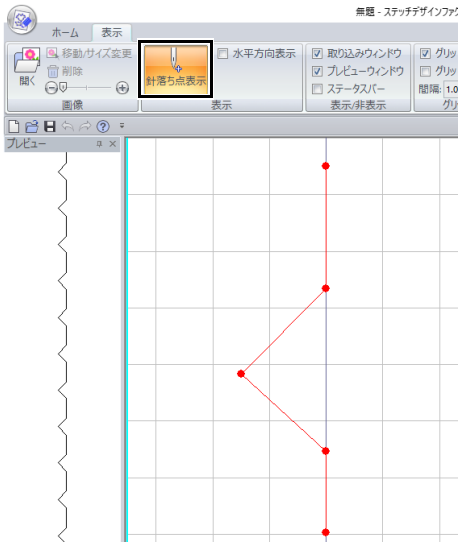
針落ち点を表示する

デザインページに表示されるポイントは、針落ち点とは異なります。次の手順に従い、針落ち点を表示させて確認してください。

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示]** グループの **[針落ち点表示]** をクリックします。

→ 針落ち点が表示されます。

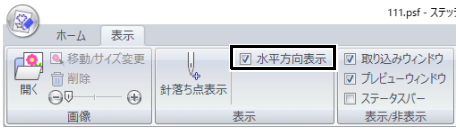


- 最終的な仕上がりはお使いのミシンによって異なる場合があります。最終的なものをぬう前に、試しぬいを行うことをお勧めします。

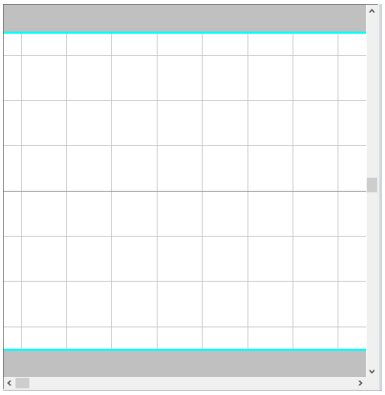
デザインページを水平にする

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[表示]** グループの **[水平方向表示]** チェックボックスをチェックします。

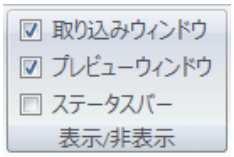


→ デザインページが水平方向に表示されます。



表示／非表示

[取り込み] ウィンドウ、**[プレビュー]** ウィンドウ、ステータスバーを表示または非表示にするには、**[表示 / 非表示]** グループの該当するチェックボックスをチェックするか、チェックを外します。

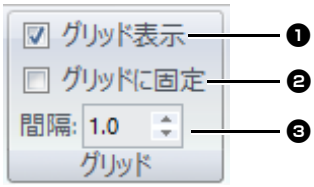


グリッドの設定を変更する

グリッドの表示／非表示や、グリッドの間隔を指定できます。

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 グリッドの設定を指定します。



❶ **グリッド表示**
チェックすると、グリッドが表示されます。

❷ **グリッドに固定**
チェックすると、グリッドに沿ってステッチパターンデータを配置できます。また、グリッドの表示／非表示に関わらず有効です。

❸ **間隔**
グリッドの間隔を設定します。

ステッチシミュレーターでステッチを確認する

1 **[表示]** タブをクリックします。

2 **[シミュレーション]** グループの **[ステッチシミュレーター]** をクリックします。



ステッチシミュレーターの操作はレイアウトセンターと同様です。

▶▶ P. 90 の「ステッチシミュレーターでステッチを確認する」

ヒントとテクニック

刺しゅうやステッチパターンデータをよりきれいなぬい上がりにするためのヒントやテクニックを紹介します。

基本操作について

ステッチデータの拡大／縮小

取り込んだステッチデータをレイアウトセンターで拡大／縮小する方法は、次の 3 通りがあります。

1 ステッチデータをそのまま拡大／縮小する。

2 ステッチデータを＜ Ctrl ＞キーを押しながら拡大／縮小する。

3 ［STB 機能］ツールを使用して、ステッチデータを、ブロックデータ（複数のぬい方向線を含む図形データのグループ）に変換した後に拡大／縮小する。

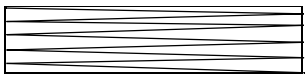
サイズを少しだけ変更する場合は、**1** の方法をお勧めします。大きくサイズを変更する場合は、**2** または **3** の方法をお勧めします。

- **1** の方法で拡大／縮小する場合
  - ♦ 縫製される針数は変わりません。
  - ♦ 拡大するとぬい目が粗く、また、縮小するとぬい目が細かくなります。
  - ♦ 目安として、90％から 110％程度のサイズ変更の場合はこの方法をお勧めします。
- **2** の方法で拡大／縮小する場合
  - ♦ 糸密度と針落ち点のパターンを保ちながらサイズを変更します。
  - ♦ プログラムタタミぬいやスタンプ設定されたエンボス効果がある模様ではこの方法をお勧めします。
  - ♦ ステッチデータのもともとの糸密度や針落ち点のパターンが一定でない場合は、この方法でも糸密度と針落ち点のパターンが維持されないことがあります。
  - ♦ この方法で拡大／縮小するときは、ステッチ表示やリアル表示の画面で糸密度や針落ち点のパターンを確認しながら行ってください。
- **3** の方法で拡大／縮小する場合
  - ♦ サイズを変更しても糸密度は保持されます。
  - ♦ ただし、針落ち点のパターンは必ずしも維持されません。
  - ♦ ぬい方（サテンぬいやタタミぬいなど）や形状を変更する場合は、この方法で拡大／縮小してください。

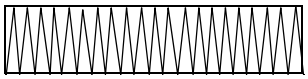
- 刺しゅう PRO では、オリジナルの刺しゅうデータを作ることができるように、様々なぬい方（糸密度、ぬいピッチなど）が設定できます。
- 最終的な仕上がりは、お使いのミシンの性能や実際の縫製条件（布、糸など）によって異なる場合がありますので、実際にお使いになるミシン、ぬう条件で、必ず試しぬいを行ってください。
- 試しぬいには、最終的にお使いになるものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸をお使いください。

ぬい方向

ぬい縮みを抑えるためには、ぬう方向を、長い辺に直角になるように設定します。



ぬい縮みが生じやすい



ぬい縮みが生じにくい

ぬい順

レイアウトセンターやデザインセンターで複数の刺しゅう模様を組み合わせた刺しゅうデータを作った場合は、ぬい順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

レイアウトセンターでは、データを作成した順序が標準のぬい順となります。

デザインセンターでは、ぬい方を設定した順序が標準のぬい順となります。

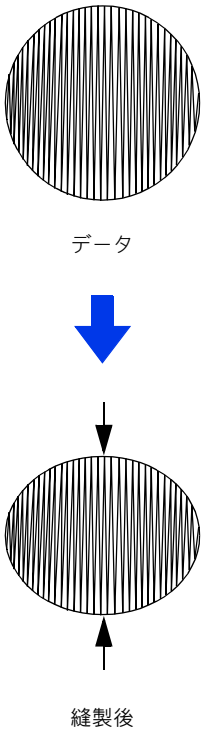
重なった領域は誤った順序に配置される可能性があるため、ぬい順を変更する際は注意してください。

広い範囲をぬうときは

- 広い範囲をぬうときは、**［下打ち］**を設定します。

  ▶▶ 詳細については、P. 381 の「**下打ち**」を参照してください。

- **［ぬい角度］**の設定を変更すると、ぬい縮みを防ぐことができます。
- 刺しゅうするときは、必ず布地の裏に刺しゅう用接着芯を貼り付けてください。特に薄地や伸びる布地の場合、接着芯を貼り付けないで刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また、ぬい縮みや模様のずれの原因にもなります。
- 広い範囲にサテンぬいをするときは、布や糸の種類によっては、ぬい縮みが生じることがあります。このようなときは、タタミぬいを選択して、布地の裏側に接着芯を貼ります。



ステッチパターンデータ

- より良い仕上がりにするため、次のことを確認してください。
  - ♦ ステッチパターンの各点の距離を、約 2.0mm 以内にしてください。

    ▶▶ P. 353 の「針落ち点を表示する」

  - ♦ 針落ち点がメインエリアから離れすぎないようにしてください。

    ▶▶ P. 351 の「メインエリア」

- 最終的な仕上がりはお使いのミシンによって異なる場合があります。最終的なものをぬう前に、試しぬいを行うことをお勧めします。

設定について

ミシンの糸切りの設定

■レイアウトセンターで設定した設定に従ってミシンで糸切りをするには

レイアウトセンターの［**デザイン設定**］ダイアログボックスで  を選択した場合、渡り糸の各部分で糸切りをする／しないを設定できます。
この設定は、刺しゅうデータ（.pes ファイル）に保存されます。
渡り糸切り設定機能をオンに設定したブラザー製多針ミシンでこの .pes ファイルを縫製する場合、この設定に従って糸切りが行われます。

ミシンの渡り糸切り機能について詳しくは、お使いのミシンの取扱説明書を参照してください。

■レイアウトセンターで渡り糸の糸切りを指定する

1 ［**デザイン設定**］ダイアログボックスで  を選択します。

▶▶ P. 16 の「デザインページを設定する」

2 渡り糸の糸切り位置を表示します。

▶▶ P. 88 の「刺しゅうデータの表示モードを切り替える」

3 刺しゅうデータの各部分について、渡り糸の糸切りを設定します。

▶▶ P. 98 の「渡り糸での糸切りを設定する」

必要に応じて、次の設定を変更してください。

- 糸切りせずに残す渡り糸の長さ

▶▶ P. 98 の「渡り糸での糸切りを設定する」と P. 98 の「渡り糸切り設定について」

- 新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする／しない

▶▶ P. 363 の「新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする」



① ステッチ
② 渡り糸

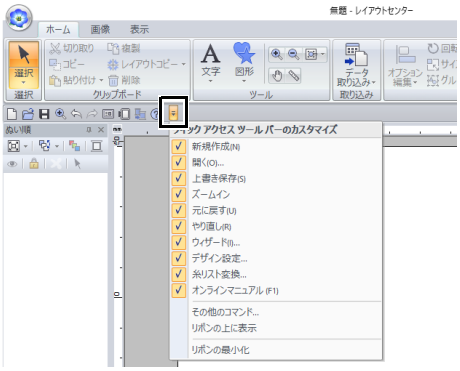
この設定は、ブラザー製多針ミシンで縫製する場合にのみ適用されます。その他のミシンでは機能しません。

各種設定を変更する

画面をカスタマイズする

■クイックアクセスツールバー／リボン

[クイックアクセスツールバー] の ▾ をクリックすると、メニューが表示されます。



[その他のコマンド]：[クイックアクセスツールバー] のリストに表示されているコマンドを追加または削除したいときにクリックします。

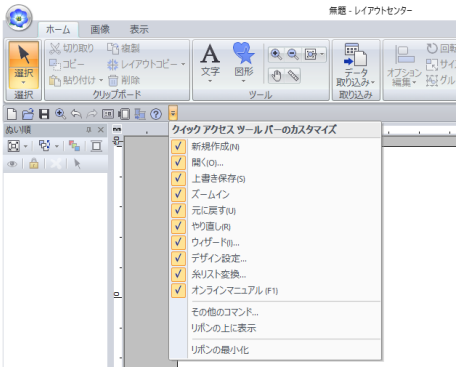
[リボンの上に表示]：リボンの上に **[クイックアクセスツールバー]** を移動したいときにクリックします。元の位置に戻すときは、上記と同様にメニューを表示して **[リボンの下に表示]** をクリックします。

[リボンの最小化]：チェックを入れると、リボンが最小化されます。タブをクリックするとリボンが表示され、コマンドを選ぶとリボンは非表示に戻ります。元の表示に戻すときは、チェックを外します。

例：**[リボンの下に表示]** を選択し、**[リボンの最小化]** にチェックを入れた場合



■クイックアクセスツールバーコマンド



初めて起動したときにクイックアクセスツールバーに設定されているコマンドは、次のとおりです。

：新規作成	：やり直し
：開く	：ウィザード
：上書き保存	：デザイン設定
：ズームイン	：糸リスト変換
：元に戻す	：オンラインマニュアル

各コマンドの表示／非表示は、▾ をクリックし、コマンドの横にあるチェックボックスをクリックして切り替えることができます。チェックを外すと非表示になります。**[クイックアクセスツールバー]** のコマンドは、**[オプション]** ダイアログボックスで変更できます。

▶▶ P. 361 の「クイックアクセスツールバーをカスタマイズする」

■取り込み／糸色設定／ぬい方設定／書式設定ウィンドウ、ぬい順ウィンドウ、ステッチシミュレーター

フローティング

各ウィンドウのタブごとに独立したウィンドウで表示して、移動できます。

- ウィンドウのタイトルバーまたはタブをダブルクリックします。
- ウィンドウ内またはタブを右クリックして、**［フローティング］**をクリックします。
- タブを別の場所へドラッグします。

ドッキング

フローティングしたウィンドウを画面にドッキングします。

- タイトルバーをダブルクリックします。
- ウィンドウ内を右クリックして、**［ドッキング］**をクリックします。
- タイトルバーを画面のドッキングさせたい所へドラッグします。

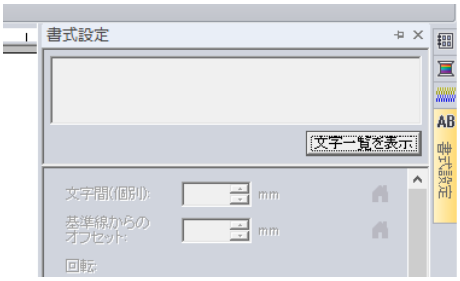
非表示

各表示領域を使用しないときに、非表示にできます。

- ウィンドウ右上の をクリックします
- ウィンドウ内またはタブを右クリックして、**［非表示］**をクリックします。
- リボンの**［表示］**タブをクリックして、タブ名をクリックします。表示するときも、この操作を行います。

自動的に隠す

各ウィンドウを使用しないときはサイドバーにコマンドが配置され、コマンドの上にカーソルを置くまたはクリックするとウィンドウが表示されます。他の場所をクリックするなど、そのウィンドウを使用していない状態になると自動的に非表示になります。



- タブまたはウィンドウのタイトルバーを右クリックして、**［自動的に隠す］**をクリックします。
- 表示領域の右上の をクリックします。

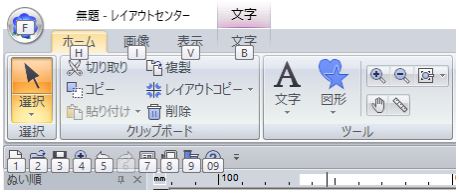
［自動的に隠す］を解除するときは、タイトルバーを右クリックして**［自動的に隠す］**をクリックするか、タイトルバーの をクリックします。

- ステッチ シミュレーターは、自動的に隠す機能を使えません。
- これらのウィンドウはデフォルト表示に戻せます。

▶▶ P. 364 の「ユーザーインタフェース設定をカスタマイズする」

■アクセスキーを使う

＜Alt＞キーを押すと、各コマンドにバッチ（英数字が表示されたラベル）が表示されます。続けて、目的のコマンドに表示されたキーを押すと、そのコマンドを実行できます。



バッチが表示されているときに**＜Alt＞**キーを押すと、アクセスキー操作は解除されます。

オプション設定を変更する

[オプション] ダイアログボックスで、**[クイックアクセスツールバー]** に表示するコマンド、キーボードショートカット、渡り糸、糸リストの変更、アプリケーションの外観の設定ができます。次の手順で、**[オプション]** ダイアログボックスを開きます。

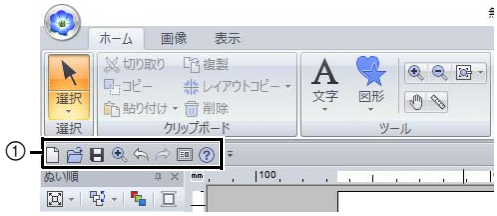
をクリックし、ウィンドウ下部の **[オプション]** をクリックします。



[オプション] ダイアログボックスは、次の方法でも表示できます。

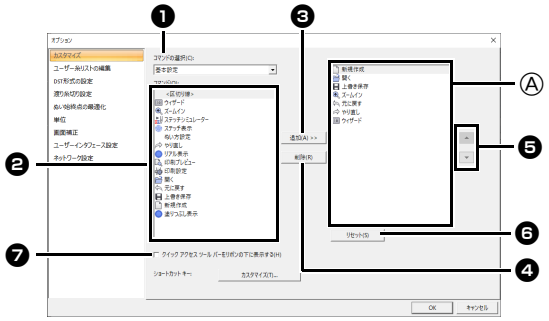
- クイックアクセスツールバー右端の → **[その他のコマンド]** をクリックする。
- 画面右上の **[オプション]** → **[オプション]** をクリックする。

■ クイックアクセスツールバーをカスタマイズする



① クイックアクセスツールバー

1 **[カスタマイズ]** をクリックします。



2 次の操作を繰り返して、表示するコマンドを選択します。

❶ **コマンドの選択**
コマンドカテゴリーを選択します。

❷ **コマンド**
追加するコマンドを選択します。

❸ **追加**
クリックして、コマンドを追加します。
Ⓐ にコマンドが表示されます。

❹ **削除**
選択したコマンドを削除する場合にクリックします。
Ⓐ のコマンドが削除されます。

❺
Ⓐ でコマンドを選択し、クリックして、表示順を変更します。

❻ **リセット**
初期設定時のコマンドに戻す場合にクリックします。

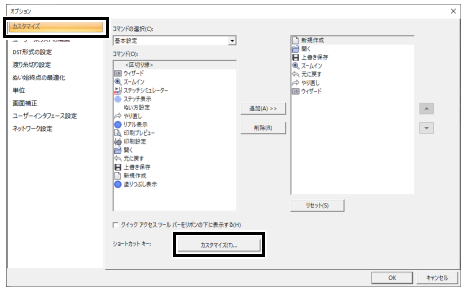
このダイアログボックスで次の設定もできます。

❼ **クイックアクセスツールバーをリボンの下に表示する**
クイックアクセスツールバーの表示位置を設定します。チェックを入れると、リボンの下に表示されます。

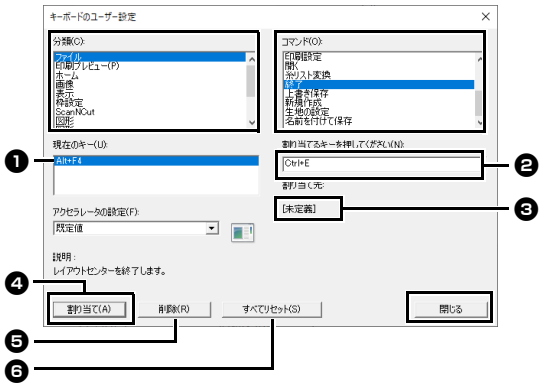
3 設定が終わったら、**[OK]** をクリックして設定した内容を確定します。

■ショートカットキーを変更する

1 オプションリストで［**カスタマイズ**］をクリックして、［**ショートカットキー**］の横の［**カスタマイズ**］をクリックします。



2 ［**分類**］リストでコマンドカテゴリーを選択します。［**コマンド**］リストでショートカットキーを設定するコマンドを選択します。



→［**現在のキー**］ボックス❶に初期設定で設定されているショートカットキーが表示されます。

3 キーボードを使用して［**割り当てるキーを押してください**］❷ボックスで新しいショートカットキーを記録し、［**割り当て**］❹をクリックします。［**現在のキー**］ボックス❶に新しいショートカットキーが表示されます。

→入力したキーの組み合わせの使用状況が表示されます。他のコマンド用に使用されている場合は、❸にそのコマンドが表示されます。

設定を取り消したい場合や初期設定のショートカットを無効にしたい場合は、❶をクリックしてショートカットキーを選択して［**削除**］❺をクリックします。

初期設定に戻したい場合は、［**すべてリセット**］❻をクリックします。

4 手順**2**と**3**を繰り返して、必要なコマンドのショートカットを設定し、［**閉じる**］をクリックします。

5 ［**オプション**］ダイアログボックスの［**OK**］をクリックします。

■ユーザー糸リストを編集する

詳細については、P. 205 の「ユーザー糸リストを作成／編集する」を参照してください。

■DST形式の刺しゅうデータのジャンプ回数を設定する

DST 形式の刺しゅうデータは、渡り糸の糸切りをする／しないをジャンプコードの回数によって指定できます。ジャンプ回数はご使用のミシンによって異なります。

オプションリストで［**DST 形式の設定**］をクリックし、ジャンプ回数を指定し、［**OK**］をクリックします。

取り込みの設定を指定するには、［**DST 形式取り込み設定**］の横に値を入力します。書き出しの設定を指定するには、［**DST 形式書き込み設定**］の横に値を入力します。



DST 形式取り込み設定

DST ファイルの連続するジャンプコードの回数がここで設定した回数未満の場合は、ステッチとして取り込まれます。
DST ファイルの連続するジャンプコードの回数がここで設定した回数以上の場合は、糸切りする渡り糸として取り込まれます。

DST 形式書き込み設定

.pes ファイルの糸切りする渡り糸は、ここで指定した数以上の連続するジャンプコードとして DST 形式に書き込まれます。

■新規入力データの渡り糸切り設定を有効にする

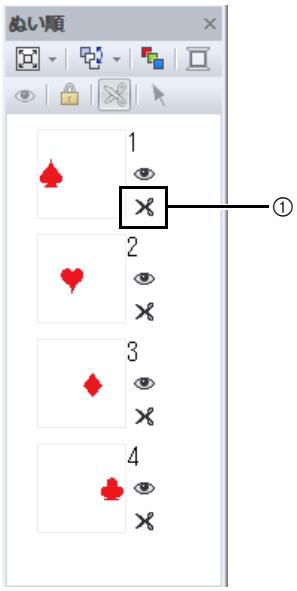
新規でブラザー製多針ミシン用の刺しゅうデータを作るとき、渡り糸で糸切りをする／しないを設定できます。

この設定は、ブラザー製多針ミシンで縫製する場合にのみ適用されます。設定前に、**[デザイン設定]** ダイアログボックスの **[ミシンの種類]** を に設定してください。

オプションリストで **[渡り糸切り設定]** をクリックして、**[新規入力データの渡り糸切り設定を有効にします。]** チェックボックスをチェックし、**[OK]** をクリックします。



チェックボックスがチェックされると、渡り糸切り設定が適用されることを示すはさみアイコンが枠の横に表示されます。



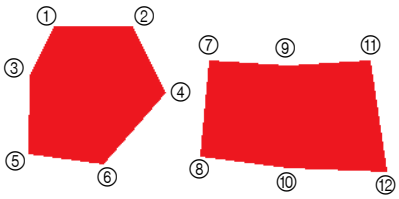
① はさみアイコン

■ぬい終始点の最適化

図形ツールで同じ色のデータを連続して作成したときに、同色間の面のぬい終始点を自動で最適化します。

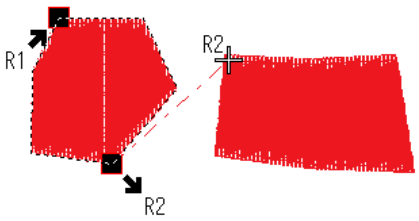
オプションリストの **[ぬい終始点の最適化]** をクリックして、**[ぬい終始点を最適化します。]** チェックボックスにチェックを入れ、**[OK]** をクリックします。

下記のような入力順序でデータが作成されたとします。



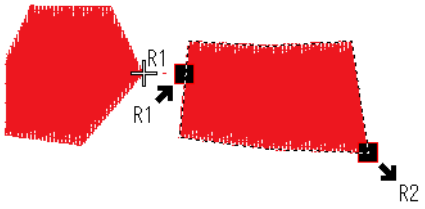
チェックボックスにチェックを入れていない場合

データの入力順序に基づいて、終始点位置が設定されます。



チェックボックスにチェックを入れた場合

連続する面の直線距離が最も近くなる位置に、終始点が設定されます。



■単位を変更する

詳細については、P. 22 の「長さの単位（mm ／インチ）を変更する」を参照してください。

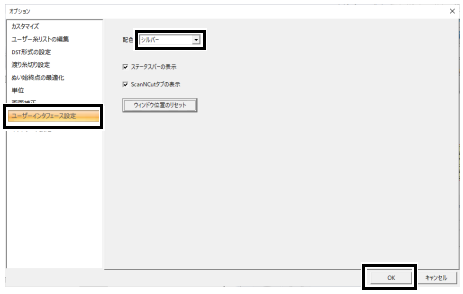
■画面補正を調整する

詳細については、P. 21 の「画面表示の長さを調整する（画面補正）」を参照してください。

■ユーザーインタフェース設定をカスタマイズする

アプリケーションの外観色の設定や、ステータスバーの表示／非表示の設定、ウィンドウ位置のリセットができます。

オプションリストで**［ユーザーインタフェース設定］**をクリックします。



［ステータスバーの表示］ステータスバーの表示／非表示を設定できます。表示する場合は、チェックを入れます。

［ScanNCut タブの表示］［ScanNCut］タブの表示／非表示を設定できます。表示する場合は、チェックを入れます。

［ウィンドウ位置のリセット］ボタンをクリックすると、ドッキングしたウィンドウ（**［取り込み］**／**［糸色設定］**／**［ぬい方設定］**／**［書式設定］**ウィンドウ、**［ぬい順］**ウィンドウ、**［ステッチ シミュレーター］**ウィンドウ）がアプリケーション再起動後に標準の表示に戻ります。

■ネットワーク設定

詳細については、P. 216 の「無線 LAN 経由で転送する」を参照してください。

このアプリケーションを効果的に使用するために

日本語以外の文字（中国語、韓国語など）を刺しゅうデータに変換する

TrueType フォントを使うと、中国語、韓国語などの文字から刺しゅうデータを作ることができます。

この例では、韓国語の TrueType フォントで説明します。

1 レイアウトセンターを起動します。

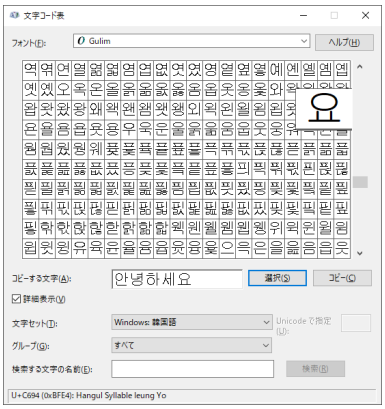
2 文字ツールを選択し、韓国語の TrueType フォント（この例では「Gulim」）を選択します。

3 パソコンの文字コード表を表示します。

（ – **[Windows アクセサリ]** – **[文字コード表]**）

- Windows 8.1 の場合：**[スタート]** 画面にマウスカーソルを置くと画面左下に表示される、下向きの矢印（タイルの左下）をクリックします。
  画面に表示されるアプリケーションリストから、タイトル **[Windows アクセサリ]** の下にある **[文字コード表]** をクリックします。

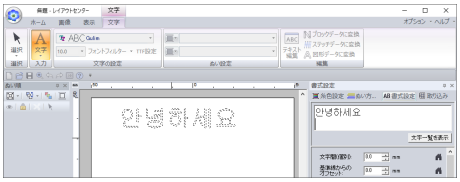
4 **[文字コード表]** の **[フォント]** で、**[Gulim]** を選択し、**[詳細表示]** チェックボックスにチェックを入れます。次に、**[文字セット]** セレクターから **[Windows：韓国語]** を選択して、作りたい文字（この例では、「안녕하세요」）を選択し、**[選択]** をクリックします。

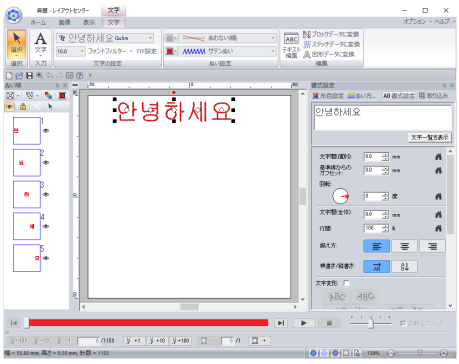


5 文字をすべて選択できたら、**[コピー]** をクリックして、文字をコピーします。

6 デザインページをクリックします。

7 **[書式設定]** ウィンドウの文字入力領域に文字を貼り付けて、**＜Enter＞**キーを押します。





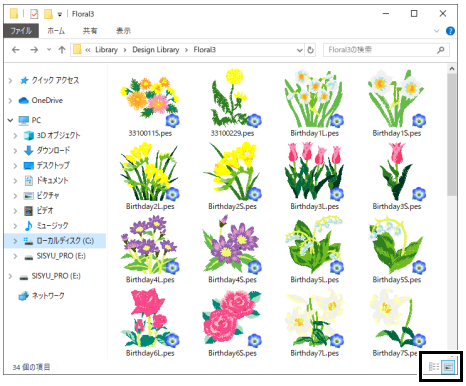
刺しゅうに適したフォント

■ TrueType フォントを刺しゅうデータに変換する場合

TrueType フォントを刺しゅうデータに変換するときは、ゴシック体のようにすべての線ができるだけ太いものを選択してください。

PES 形式の刺しゅうファイルをサムネイルとして表示する

PES 形式の刺しゅうファイルは、エクスプローラーでサムネイルとして表示できます。必要な刺しゅうファイルを見つけやすくなり、ファイルの管理がより簡単にできるようになります。



刺しゅうファイルに関する情報を表示するには、 をクリックします。

サムネイルを使用して刺しゅうファイルを表示するには、 をクリックします。

ぬい方設定・フォント一覧

この章では、ぬい方の種類や内蔵フォントを一覧で確認できます。

ぬい方設定

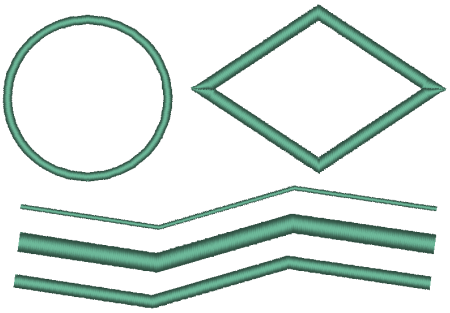
ぬい方設定を変更して、お好みのステッチを作ることができます。

▶▶ 詳細については、P. 375 の「線のぬい方」と P. 381 の「面のぬい方」を参照してください。

線のぬい方の種類

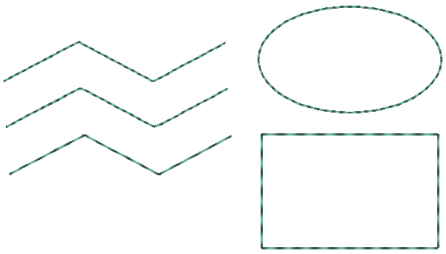
サテンぬい

▶▶ P. 375 の「サテンぬい」



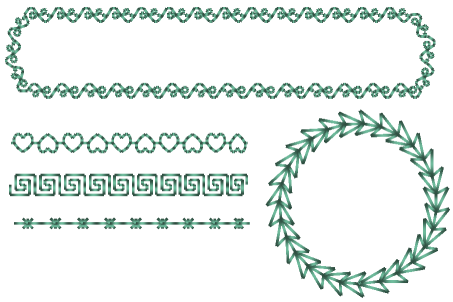
走りぬい／３重ぬい

▶▶ P. 375 の「走りぬい」
▶▶ P. 375 の「３重ぬい」



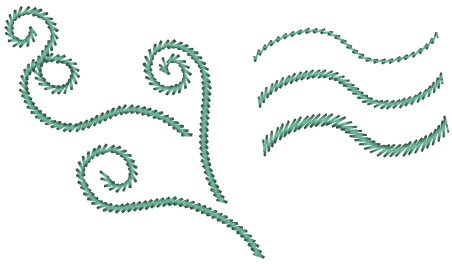
モチーフぬい

▶▶ P. 376 の「モチーフぬい」



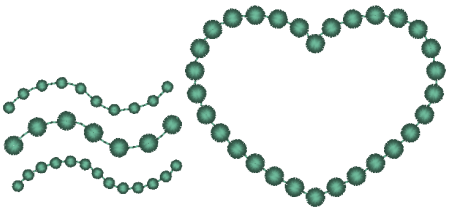
ステムステッチ

▶▶ P. 377 の「ステムステッチ」



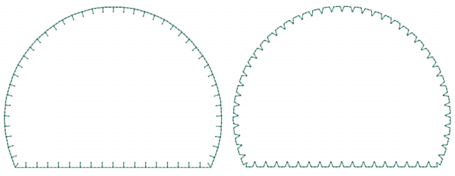
キャンドルウィックステッチ

▶▶ P. 377 の「キャンドルウィックステッチ」



E/V ステッチ

▶▶ P. 378 の「E/V ステッチ」



チェーンステッチ

▶▶ P. 379 の「チェーンステッチ」



面のぬい方

プログラムタタミぬい、モチーフぬい、飾り模様ぬいは、選択する縫いパターンによって模様が変わります。

サテンぬい

▶▶ P. 381 の「サテンぬい」



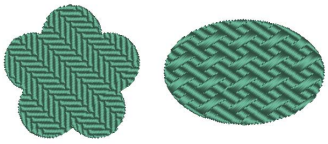
タタミぬい

▶▶ P. 383 の「タタミぬい」



プログラムタタミぬい

▶▶ P. 384 の「プログラムタタミぬい」



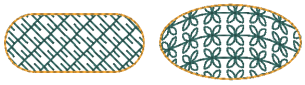
パイピングぬい

▶▶ P. 387 の「パイピングぬい」



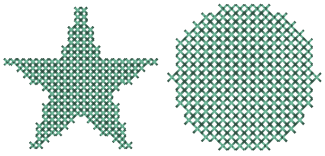
モチーフぬい

▶▶ P. 388 の「モチーフぬい」



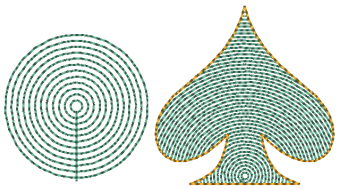
クロスステッチ

▶▶ P. 389 の「クロスステッチ」



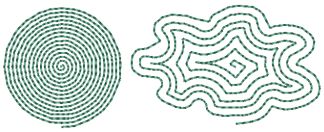
同心円ぬい

▶▶ P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」



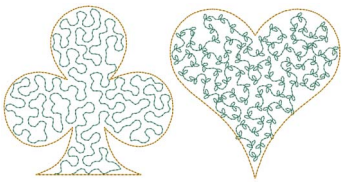
渦巻きぬい

▶▶ P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」



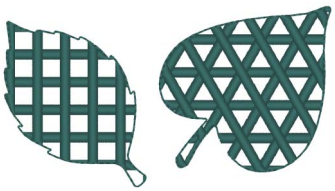
スティップリング

▶▶ P. 390 の「スティップリング」



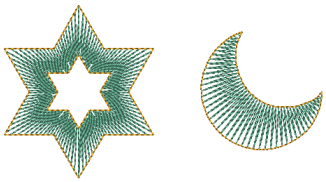
サテンぬいネットフィル

▶▶ P. 391 の「サテンぬいネットフィル」



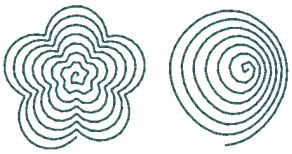
放射ぬい

▶▶ P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」



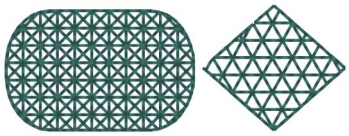
変形渦巻きぬい

▶▶ P. 389 の「変形渦巻きぬい」



ネットフィル

▶▶ P. 390 の「ネットフィル」

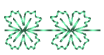
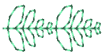
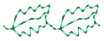
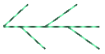
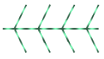
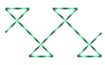
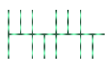
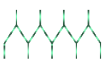
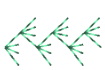


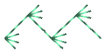
飾り模様ぬい

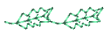
▶▶ P. 392 の「飾り模様ぬい」



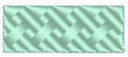
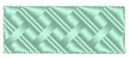
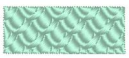
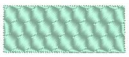
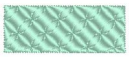
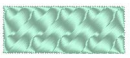
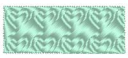
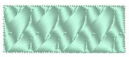
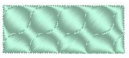
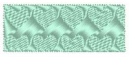
モチーフぬいパターン

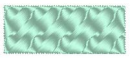
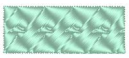
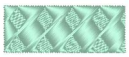
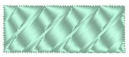
パターン名	パターン	パターン名	パターン
motif001		motif002	
motif003		motif004	
motif005		motif006	
motif007		motif008	
motif009		motif010	
motif011		motif012	
motif013		motif014	
motif015		motif016	
motif017		motif018	
motif019		motif020	
motif021		motif022	
motif023		motif024	
motif025		motif026	
motif027		motif028	
motif029		motif030	
motif031		motif032	
motif033		motif034	
motif035		motif036	
motif037		motif038	

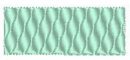
パターン名	パターン	パターン名	パターン
motif039		motif040	
motif041		motif042	
motif043		motif044	
motif045		motif046	
motif047		motif048	
motif049		motif050	
motif051		motif052	
motif053		motif054	
motif055		motif056	
motif057		motif058	
motif059		motif060	
motif061		motif062	
motif063		motif064	
motif065		motif066	
motif067		motif068	
motif069		motif070	
motif071		motif072	
motif073		motif074	
motif075		motif076	
motif077		motif078	

パターン名	パターン	パターン名	パターン
motif079		motif080	
motif081		motif082	
motif083		motif084	
motif085		motif086	
motif087		motif088	
motif089			

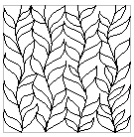
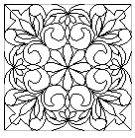
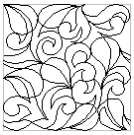
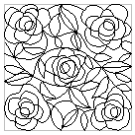
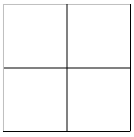
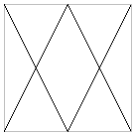
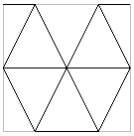
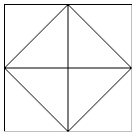
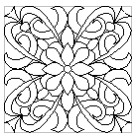
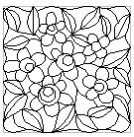
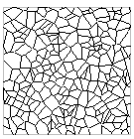
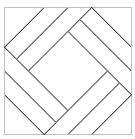
プログラムタタミぬいパターン

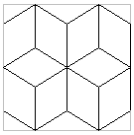
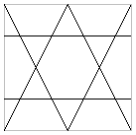
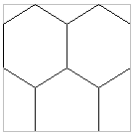
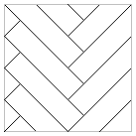
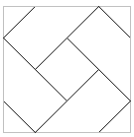
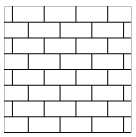
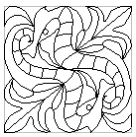
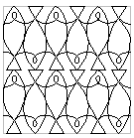
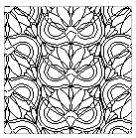
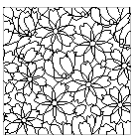
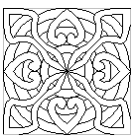
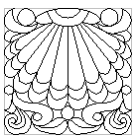
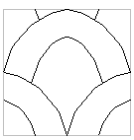
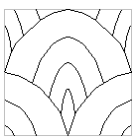
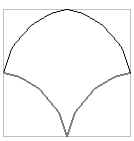
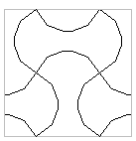
パターン名	パターン	パターン名	パターン
net1		net2	
net3		net4	
pat1		pat2	
pat3		pat4	
pat5		pat6	
pat7		pat8	
pat9		pat10	
pat11		pat12	
pat13		pat14	
pat15		pat16	
pat17		stamp1	

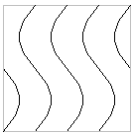
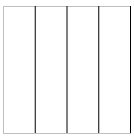
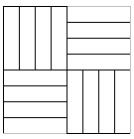
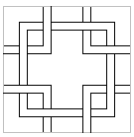
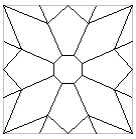
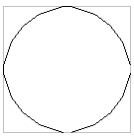
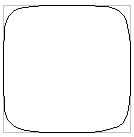
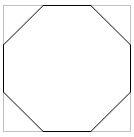
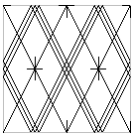
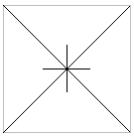
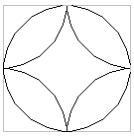
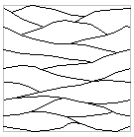
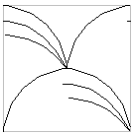
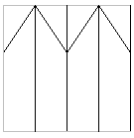
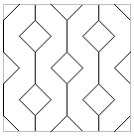
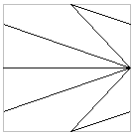
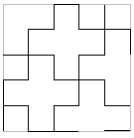
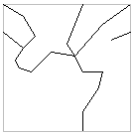
パターン名	パターン	パターン名	パターン
stamp1_		stamp2	
stamp2_		stamp3	
stamp3_		stamp4	
stamp4_		stamp5	
stamp5_		stamp6	
stamp6_		stamp7	
stamp7_		stampA	
stampB		stampC	
stampD		stampE	
stampF		stampG	
stampH		stampI	
stampJ		stampK	
stampL		stampM	
stampN		stampO	
stampP		stampQ	
stampR		stampS	
stampT		stampU	
stampV		stampW	
stampX		stampY	
stampZ		tatami1	

パターン名	パターン	パターン名	パターン
tatami2		tatami3	
tatami4		tatami5	
wave1		wave2	
wave3		wave4	

飾り模様ぬいパターン

パターン名	パターン	パターン名	パターン
df_pat001		df_pat002	
df_pat003		df_pat004	
df_pat005		df_pat006	
df_pat007		df_pat008	
df_pat009		df_pat010	
df_pat011		df_pat012	
df_pat013		df_pat014	

パターン名	パターン	パターン名	パターン
df_pat015		df_pat016	
df_pat017		df_pat018	
df_pat019		df_pat020	
df_pat021		df_pat022	
df_pat023		df_pat024	
df_pat025		df_pat026	
df_pat027		df_pat028	
df_pat029		df_pat030	
df_pat031		df_pat032	
df_pat033		df_pat034	

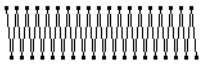
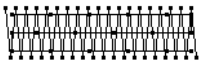
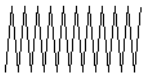
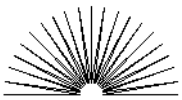
パターン名	パターン	パターン名	パターン
df_pat035		df_pat036	
df_pat037		df_pat038	
df_pat039		df_pat040	
df_pat041		df_pat042	
df_pat043		df_pat044	
df_pat045		df_pat046	
df_pat047		df_pat048	
df_pat049		df_pat050	
df_pat051		df_pat052	
df_pat053		df_pat054	

線のぬい方

指定できるぬい方設定は、選択したぬい方によって異なります。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

サテンぬい

下打ち	しない 	する 
サテン幅	狭い	広い 
糸密度	粗い 	細かい 
ハーフステッチ	しない  内側の糸密度が細かい	する  一定密度に調整される
角のタイプ		
マイターリミット	サテンの角の長さを設定します。	
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」	

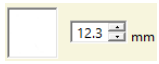
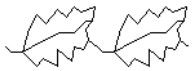
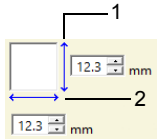
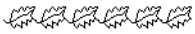
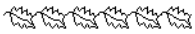
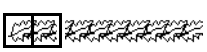
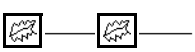
走りぬい

走りピッチ	走りピッチを設定します。	短い 長い
走り回数	線をぬう回数を設定します。	1 回 ×1 5 回 ×5
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」	

3 重ぬい

走りピッチ	走りピッチを設定します。	短い 長い
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」	

モチーフぬい

	モチーフぬいのパターンを選択します。をクリックすると、**[一覧]** ダイアログボックスが表示されます。フォルダーを選択し、パターン一覧から希望のパターン（.pmf ファイル）を選択します。		
	パターンのサイズを設定します。高さと幅の比率を維持して、拡大／縮小できます。		小さい  大きい 
	1 高さ（縦の長さ）	パターンの高さを設定します。	短い  高い 
	2 幅（横の長さ）	パターンの幅を設定します。	短い  長い 
縦横比を保持	選択すると、パターンの高さと幅の比率が維持されます。		
アレンジ 1 （横配列）	パターンの横配列を設定します。 パターン全部または 1 パターンごとに左右反転できます。		 標準   反転   交互 
アレンジ 2 （縦配列）	パターンの縦配列を設定します。 パターン全部または 1 パターンごとに上下反転できます。		 標準   反転   交互 
オフセット 	0.0 mm 		オフセット : 4.5mm 
スペース 	狭い 		広い 
走りピッチ	走りピッチを設定します。		短い 長い

ぬい始終点のタイプ	渡り　走り  ▶▶ P. 380 の「ぬい始点の位置を変更したときは」
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」

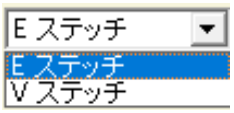
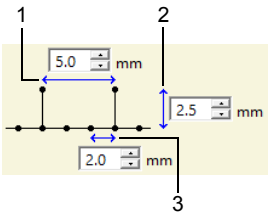
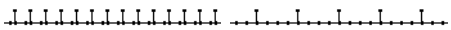
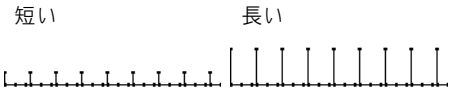
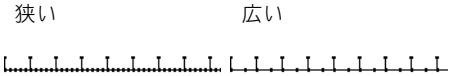
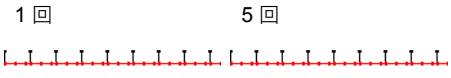
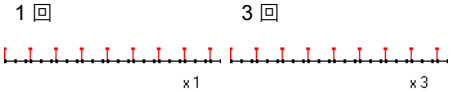
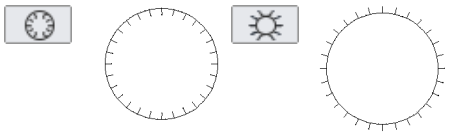
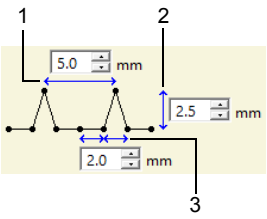
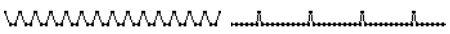
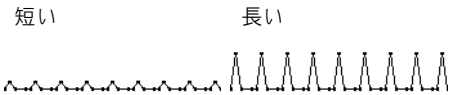
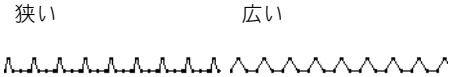
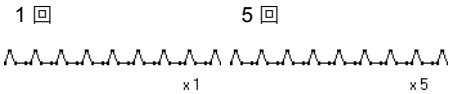
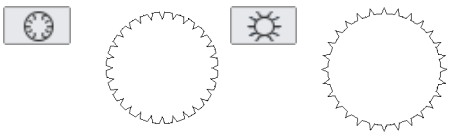
ステムステッチ

幅	狭い　広い 
間隔	狭い　広い 
角度	45 度　135 度 
ぬいのタイプ	3 重ぬい　1 重ぬい 
ぬい始終点のタイプ	渡り　走り  ▶▶ P. 380 の「ぬい始点の位置を変更したときは」
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」

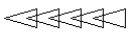
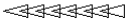
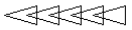
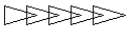
キャンドルウィックステッチ

糸密度	濃い　普通　薄い 
大きさ	小さい　大きい 
間隔	狭い　広い 
ぬい始終点のタイプ	渡り　走り  ▶▶ P. 380 の「ぬい始点の位置を変更したときは」
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」

E/V ステッチ

<table>
<tr><td colspan="3">
</td><td>E ステッチか V ステッチかを選択します。</td></tr>
<tr><td colspan="4">E ステッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">
</td><td>1 間隔</td><td>狭い 広い
</td></tr>
<tr><td>2 ストローク幅</td><td>短い 長い
</td></tr>
<tr><td>3 走りピッチ</td><td>狭い 広い
</td></tr>
<tr><td>走り回数</td><td>線ぬいのぬい回数を設定します。</td><td>1 回 5 回

</td></tr>
<tr><td>ストローク回数</td><td>ストロークのぬい回数を設定します。</td><td>1 回 3 回

</td></tr>
<tr><td>ストロークの向き</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文字間接続</td><td colspan="2">文字データにのみ設定できます。
▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」</td></tr>
<tr><td colspan="4">V ステッチ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">
</td><td>1 間隔</td><td>狭い 広い
</td></tr>
<tr><td>2 ストローク幅</td><td>短い 長い
</td></tr>
<tr><td>3 走りピッチ</td><td>狭い 広い
</td></tr>
<tr><td>走り回数</td><td>V ステッチは、線ぬいとストロークは同じぬい回数でぬわれます。</td><td>1 回 5 回

</td></tr>
<tr><td>ストロークの向き</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>文字間接続</td><td colspan="2">文字データにのみ設定できます。
▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」</td></tr>
</table>

チェーンステッチ

ぬいのタイプ	三角形  ダイアモンド型 
大きさ	小さい  大きい 
ぬいの回数	1 回  6 回 
オプション編集	   
ぬい始終点のタイプ	渡り  走り  ▶▶ P. 380 の「ぬい始終点の位置を変更したときは」
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」

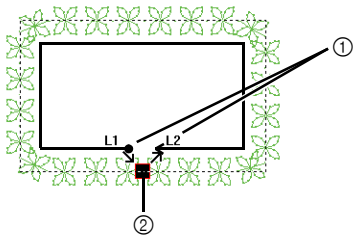
ぬい始終点の位置を変更したときは

線ぬいのモチーフぬい、ステムステッチ、キャンドルウィックステッチ、またはチェーンステッチのぬい始終点を調整または最適化した場合は、線のぬい方設定の［**ぬい始終点のタイプ**］を設定してください。

▶▶ P. 377 の「**ぬい始終点のタイプ**」と P. 58 の「ぬい始終点、中心点、ステッチパターン基準点を移動する」

［**渡り**］を選択すると、設定したぬい始点と本ぬい（モチーフぬい、ステムステッチ、キャンドルウィックステッチ、またはチェーンステッチを設定した線ぬい）の始点間、または設定したぬい終点と本ぬいの終点間を渡り糸で移動します。［**走り**］を選択すると、設定したぬい始点と本ぬいの始点間、または設定したぬい終点と本ぬいの終点間を、ぬい経路に沿って走りぬいで移動します。

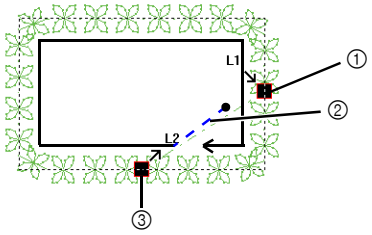
ぬい始終点の変更前



① 実際にぬわれる経路（本ぬい）
② ぬい始点／ぬい終点

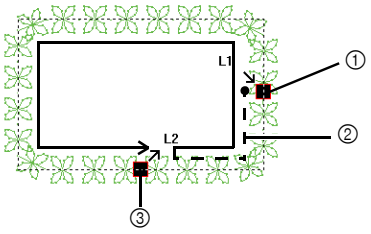
ぬい始点の位置を変更した場合

渡り



① ぬい始点
② 渡り糸
③ ぬい終点

走り



① ぬい始点
② 走りぬい
③ ぬい終点

- ぬい始終点のタイプ変更後は、ステッチシミュレーターで縫製を確認してください。

▶▶ P. 90 の「ステッチシミュレーターでステッチを確認する」

- 刺しゅう PRO 8 以前のレイアウトセンターでぬい始終点を変更／最適化されたモチーフぬいの線ぬいは、本ソフトウェアで開く／取り込むと、この設定は渡りに設定されます。

面のぬい方

指定できるぬい方設定は、選択したぬい方によって異なります。

▶▶ P. 64 の「詳細なぬい方設定を指定する」

サテンぬい

下打ち

下打ちを設定する場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。

下打ちのぬい種類を設定します。

- 文字データまたは複数のぬい方向線のある図形データの場合

	端のみ
	面部のみ（サテンぬいの 1 重ぬい）
	面部のみ（パイピングぬいの 1 重ぬい）
	端と面部（サテンぬいの 1 重ぬい）
	面部のみ（サテンぬいとパイピングぬいの 2 重ぬい）

- ぬい方向線が単一の図形データの場合

	1 重ぬい
	2 重ぬい

- デザインセンター内の面の場合

	1 重ぬい
	2 重ぬい

［糸密度］
下打ちの糸密度を、**［濃い］**／**［標準］**／**［薄い］**から選択します。

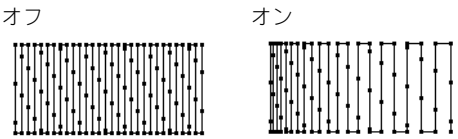
糸密度



［グラデーション］
次の場合は、設定できません。
- ぬい角度が **［自動］** に設定されている
- 文字データ
- ぼかしぬいが指定されている場合

［パターン］をクリックして、グラデーションのパターンを設定します。

▶▶ P. 55 の「グラデーション／ブレンディングを設定する」



ぬい角度

文字データには設定できません。
［手動 (直線)］：一定の角度でぬいます。
の矢印をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。ぬい方向線が複数ある場合、角度の値は指定できません。

［自動］：面の形状に合わせて、ぬい方向を自動的に可変します。

手動 (直線)］

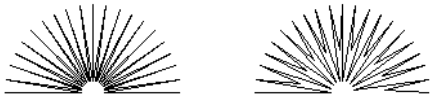


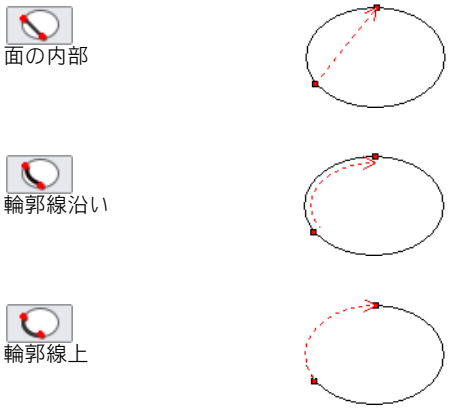
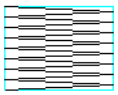
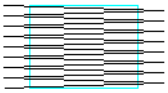
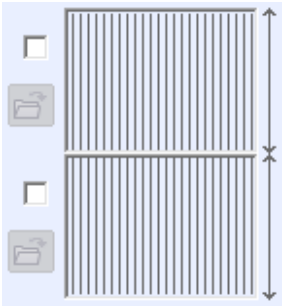
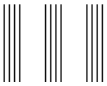
［自動］

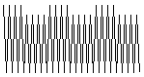
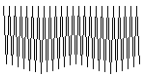
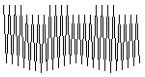
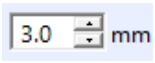
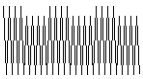
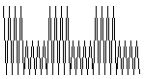


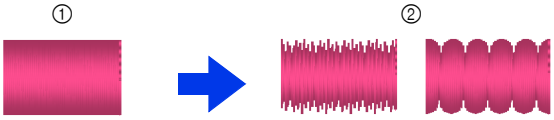
ハーフステッチ

ハーフステッチを設定する場合、チェックを入れます。
ぬい角度が **［手動 (直線)］** に設定され、ぬい方向線が 1 本しかない場合は、指定できません。



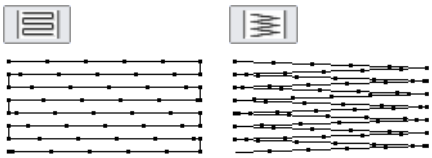
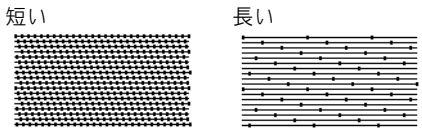
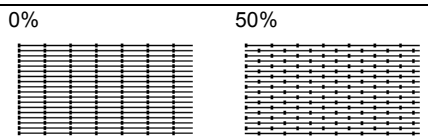
<table>
<tr><td>内部走り経路</td><td>面の内部は、［グラデーション］が設定されていると設定できません。
次の場合は、設定できません。
• ぬい角度が［自動］に設定されている
• 文字データ
• ぼかしぬいが指定されている場合</td><td colspan="2">
面の内部
輪郭線沿い
輪郭線上</td></tr>
<tr><td>縮み補正</td><td>縫製面をぬい方向に伸長して、ぬい縮みを補正します。</td><td colspan="2">補正なし

最適補正
</td></tr>
<tr><td>文字間接続</td><td colspan="3">文字データにのみ設定できます。
▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ぼかしぬい</td><td colspan="2">ぼかしぬいを適用する端を設定します。

をクリックすると、［一覧］ダイアログボックスが表示されます。パターン一覧から希望のパターンを選択します。
図形データにのみ設定できます。また、次の場合は、設定できません。
• グラデーションが指定されている場合
• ぬい角度が［自動］に設定されている場合
• ドーナツぬいが指定されている場合</td><td>上端
<パターン 11 >の場合

下端
<パターン 18 >の場合

上端のみ

下端のみ

上端下端両方
</td></tr>
<tr><td>
ぼかしぬいの幅を設定します。</td><td>短い

長い
</td></tr>
</table>



① ぼかしぬい設定なし
② ぼかしぬい設定あり

タタミぬい

<table>
<tr><td>下打ち
糸密度</td><td colspan="2">▶▶ P. 381 の「サテンぬい」</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ぬい角度</td><td>［手動 (直線)］：一定の角度でぬいます。
の矢印をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。ぬい方向線が複数ある場合、角度の値は指定できません。</td><td>［手動 (直線)］
</td></tr>
<tr><td>［手動 (曲線)］：ぬい方向線を曲線に設定します。
▶▶ P. 62 の「ぬい方向線を曲線に設定する」</td><td>［手動 (曲線)］
</td></tr>
<tr><td>［自動］：面の形状に合わせて、ぬい方向を自動的に可変します。</td><td>［自動］
</td></tr>
<tr><td>折り返し</td><td>ステッチの折り返しパターンの形を指定します。
ぬい角度が［自動］に設定されていると設定できません。</td><td></td></tr>
<tr><td>ハーフステッチ
内部走り経路</td><td colspan="2">▶▶ P. 381 の「ハーフステッチ」と P. 382 の「内部走り経路」</td></tr>
<tr><td>ぬいピッチ</td><td>ぬいピッチを設定します。</td><td></td></tr>
<tr><td>偏差</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>縮み補正</td><td colspan="2">▶▶ P. 382 の「縮み補正」</td></tr>
<tr><td>文字間接続</td><td colspan="2">文字データにのみ設定できます。
▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」</td></tr>
<tr><td>ぼかしぬい</td><td colspan="2">▶▶ P. 382 の「ぼかしぬい」</td></tr>
</table>

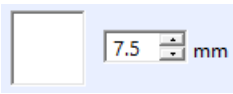
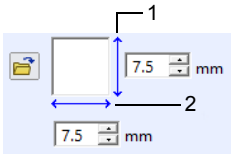
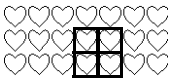
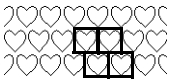
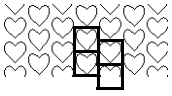
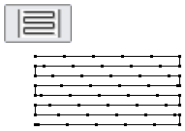
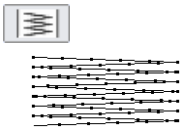
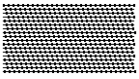
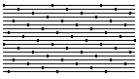
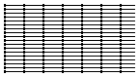
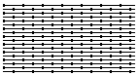
［デザインセンター］の場合、［ぬい角度］の設定は、以下の通りです。
- ［手動 (直線)］は、［一定］と表示されます。
- ［自動］は、［可変］と表示されます。
- ［手動 (曲線)］は、ありません。

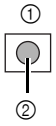
プログラムタタミぬい

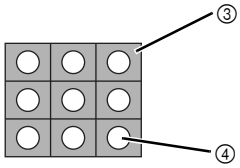
下打ち **糸密度**	▶▶ P. 381 の「サテンぬい」
ぬい角度	▶▶ P. 383 の「タタミぬい」
ハーフステッチ **内部走り経路** **縮み補正**	▶▶ P. 381 の「サテンぬい」
文字間接続	文字データにのみ設定できます。 ▶▶ P. 127 の「文字データのぬい接続点を設定する」
ぼかしぬい	▶▶ P. 382 の「ぼかしぬい」

［ぬい角度］が**［手動 (曲線)］**に設定されている場合、プログラムタタミぬいで、**［ベースのぬい方］**を設定することをおすすめします。

プログラムタタミ

	をクリックすると、**[一覧]** ダイアログボックスが表示されます。フォルダーを選択し、パターン一覧から希望のパターン（.pas ファイル）を選択します。		
	パターンのサイズを設定します。高さと幅の比率を維持して、拡大／縮小できます。		小さい  大きい 
	1 高さ（縦の長さ）	パターンの高さを設定します。	短い  高い 
	2 幅（横の長さ）	パターンの幅を設定します。	短い  長い 
縦横比を保持	選択すると、パターンの高さと幅の比率が維持されます。		
ぬい角度			
オフセット **横**	0% 		
オフセット **縦**	横 50% 		縦 50% 
ベースのぬい方	ベースのぬい方を設定する場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。		
折り返し	ステッチの折り返しパターンの形を指定します。 ぬい角度が **[自動]** に設定されていると設定できません。		 
ぬいピッチ	ぬいピッチを設定します。		短い  長い 
偏差	0% 		50% 





① パターン
② ぬい沈め、または浮き上がり効果を設定した面
③ プログラムタタミぬいのベースのぬい方（斜線で示したパターン以外の領域）で設定されたぬい方でぬわれます。
④ パターンファイルで設定されたぬい方でぬわれます。

プログラムタタミぬいとスタンプに関する注意

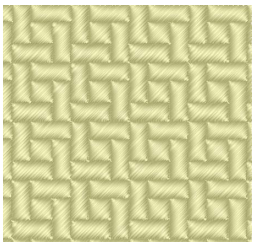
プログラムタタミぬいやスタンプを設定する場合、ぬい方とパターン角度によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。

必ずステッチ表示またはリアル表示でぬい角度、パターン角度が正しいか確認してください。効果的な角度の値を得るため、別のぬい角度を試して比較してみてください。

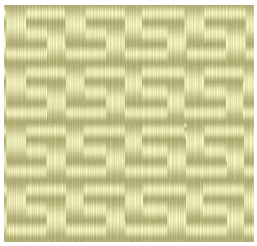
プログラムタタミぬいの例：



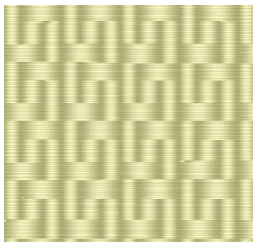
例 1
ぬい角度：45 度（標準）



例 2
ぬい角度：90 度



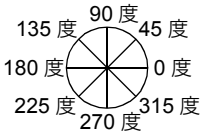
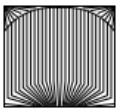
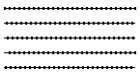
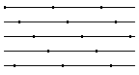
例 3
ぬい角度：0 度

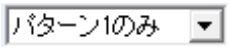


▶▶ P. 88 の「刺しゅうデータの表示モードを切り替える」、P. 289 の「ステッチクリエイター」

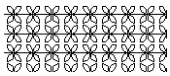
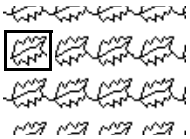
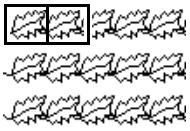
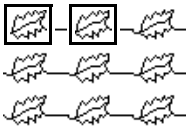
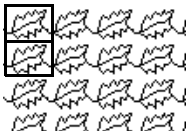
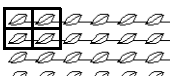
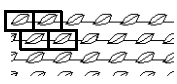
パイピングぬい

ぬい方向に沿ってぬい目を作ります。

<table>
<tr><td rowspan="2">ぬい角度</td><td>[手動 (直線)]：一定の角度でぬいます。
の矢印をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。ぬい方向線が複数ある場合、角度の値は指定できません。</td><td>[手動 (直線)]

</td></tr>
<tr><td>[手動 (曲線)]：ぬい方向線を曲線に設設定します。
▶▶ P. 62 の「ぬい方向線を曲線に設定する」</td><td>[手動 (曲線)]
</td></tr>
<tr><td colspan="3">モチーフぬいを使わない場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>糸密度</td><td>粗い
</td><td>細かい
</td></tr>
<tr><td>走りピッチ</td><td>走りピッチを設定します。</td><td>短い

長い
</td></tr>
<tr><td>偏差</td><td>ぬい目のずらし具合を設定します。</td><td>0%

50%
</td></tr>
<tr><td>モチーフぬい</td><td colspan="2">モチーフぬいを使って模様をつくる場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。</td></tr>
<tr><td>モチーフ
</td><td colspan="2">▶▶ P.388 の「面のぬい方」の「モチーフぬい」</td></tr>
<tr><td>パターン 1 ／パターン 2
モチーフパターンの種類と大きさ
アレンジ 1
アレンジ 2</td><td colspan="2">▶▶ P.376 の「線のぬい方」の「モチーフぬい」</td></tr>
<tr><td>オフセット横
オフセット縦
スペース横
スペース縦
オフセット量
走りピッチ</td><td colspan="2">▶▶ P.388 の「面のぬい方」の「モチーフぬい」</td></tr>
</table>

モチーフぬい

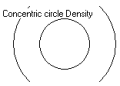
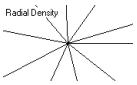
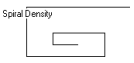
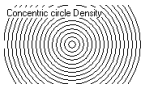
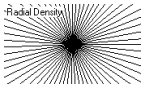
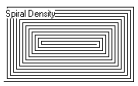
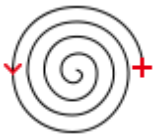
<table>
<tr><td colspan="2">モチーフ
パターン1のみ
モチーフぬいに使うパターンを選択します。</td><td>[パターン 1 のみ] 
[パターン 2 のみ] 
[パターン 1 と 2] </td></tr>
<tr><td colspan="2">パターン 1 ／パターン 2</td><td>各パターンの設定をします。</td></tr>
<tr><td>モチーフパターンの種類と大きさ
アレンジ 1
アレンジ 2</td><td colspan="2">▶▶ P.376 の「線のぬい方」の「モチーフぬい」</td></tr>
<tr><td>オフセット横
(横の間隔)</td><td colspan="2">0.0 mm 
2.5 mm </td></tr>
<tr><td>オフセット縦
(縦の間隔)</td><td colspan="2">0.0 mm 
2.5 mm </td></tr>
<tr><td>スペース横
(横の間隔)</td><td colspan="2">狭い 
広い </td></tr>
<tr><td>スペース縦
(縦の間隔)</td><td colspan="2">狭い 
広い </td></tr>
<tr><td rowspan="2">角度</td><td>[手動 (直線)]：一定の角度でぬいます。
の矢印をドラッグするか、数値を選択して、角度を設定します。ぬい方向線が複数ある場合、角度の値は指定できません。</td><td>[手動 (直線)]
</td></tr>
<tr><td>[手動 (曲線)]：ぬい方向線を曲線に設定します。
▶▶ P. 62 の「ぬい方向線を曲線に設定する」</td><td>[手動 (曲線)]
</td></tr>
<tr><td>オフセット量</td><td colspan="2">小さい 
大きい </td></tr>
<tr><td>走りピッチ</td><td colspan="2">▶▶ P.376 の「線のぬい方」の「モチーフぬい」</td></tr>
</table>

クロスステッチ

サイズ	小さい 	大きい 
ぬい方	2 重ぬい 	6 重ぬい 

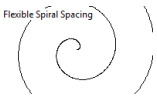
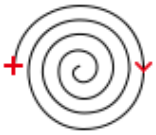
同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい

同心円ぬいと放射ぬいの中心点の移動については、P. 59 の「中心点とステッチパターン基準点を移動する」を参照してください。

糸密度	同心円ぬい　粗い  放射ぬい　粗い  渦巻きぬい　粗い 	同心円ぬい　細かい  放射ぬい　細かい  渦巻きぬい　細かい 
走りピッチ	走りピッチを設定します。	短い 長い
開始点　(同心円ぬいと渦巻きぬいのみ)	  渦巻きの外側からスタートします。	  渦巻きの内側からスタートします。

変形渦巻きぬい

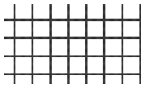
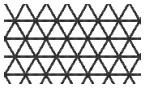
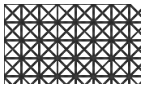
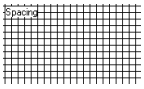
中心線の移動について詳しくは、P. 59 の「中心点とステッチパターン基準点を移動する」を参照してください。

間隔	狭い 	広い 
走りピッチ	P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」	
開始点	P. 389 の「同心円ぬい、放射ぬい、渦巻きぬい」	
回転方向	右回り 	左回り 

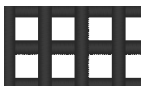
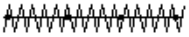
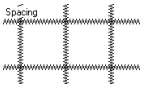
スティップリング

走りピッチ	走りピッチを設定します。 モチーフぬいを使う場合は設定できません。	短い 曲線が滑らかになります。 長い 曲線が角張ります。
スペース	狭い  模様が細かくなります。	広い  模様が粗くなります。
モチーフぬい	モチーフぬいを使って模様をつくる場合、チェックを入れ、以下の設定を行います。	
モチーフパターンの種類と大きさ **アレンジ 1** **アレンジ 2** **オフセット** **スペース** **走りピッチ**	▶▶ *P.376 の「線のぬい方」の「**モチーフぬい**」*	

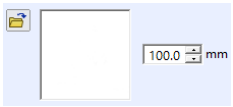
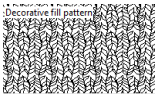
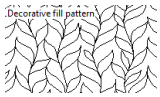
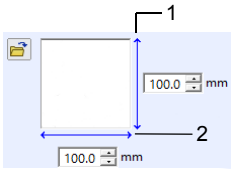
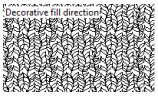
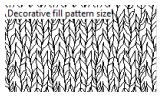
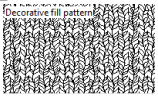
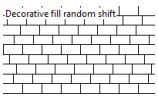
ネットフィル

ぬいのタイプ	ネットフィルに使うパターンを指定します。		
			
			
間隔	細かい  パターンが細かくなります。	粗い  パターンが粗くなります。	
角度	▶▶ *P.388 の「面のぬい方」の「**モチーフぬい**」*		

サテンぬいネットフィル

ぬいのタイプ	サテンぬいネットフィルに使うパターンを指定します。		
			
下打ち	下打ちを設定する場合、チェックを入れます。	オフ 	オン 
サテン幅	▶▶ *P.375 の「線のぬい方」の「サテンぬい」*		
糸密度	▶▶ *P.375 の「線のぬい方」の「サテンぬい」*		
間隔	細かい  パターンが細かくなります。		粗い  パターンが粗くなります。
オフセット横	▶▶ *P.388 の「面のぬい方」の「モチーフぬい」*		
オフセット縦	▶▶ *P.388 の「面のぬい方」の「モチーフぬい」*		
角度	▶▶ *P.388 の「面のぬい方」の「モチーフぬい」*		

飾り模様ぬい

	飾り模様ぬいのパターンを選択します。をクリックすると、**[一覧]** ダイアログボックスが表示されます。表示されたパターン（.plf）の一覧から希望のパターンを選択します。		
	パターンのサイズを設定します。高さと幅の比率を維持して、拡大／縮小できます。		小さい  大きい 
	1 高さ（縦の長さ）	パターンの高さを設定します。	短い  高い 
	2 幅（横の長さ）	パターンの幅を設定します。	短い  長い 
縦横比を保持	選択すると、パターンの高さと幅の比率が維持されます。		
繋げてぬう	模様の周りに走りぬいを設定します。		オン  オフ 
角度			
走りピッチ	▶▶ *P.376 の「線のぬい方」の「モチーフぬい」*		
ゆらぎ	模様のゆらぎのレベルを設定します。		0%  50% 

- **[繋げてぬう]** をオフにすると、非常に小さい模様は作成できないため、模様が消える可能性があります。

内蔵フォント

文字

No.	フォント名	文字形状	最小サイズ
	楷書	あい アイ 東永	15 mm
	行書	あい アイ 東永	15 mm
001	Serif 01	ABCDE abcde	10mm
002	Script 01	ABCDE abcde	10mm
003	Gothic 01	ABCDE abcde	10mm
004	Serif 02	ABCDE abcde	10mm
005	Script 02	ABCDE abcde	10mm
006	Serif 03	ABCDE abcde	8mm
007	Block 01	ABCDE abcde	9mm
008	Block 02	ABCDE abcde	10mm
009	Gothic 02	ABCDE abcde	10mm
010	Block 03	ABCDE abcde	10mm
011	Decorative 01	ABCDE abcde	10mm
012	Block 04	ABCDE abcde	10mm
013	Block 05	ABCDE abcde	9mm
014	Script 03	ABCDE abcde	10mm
015	Decorative 02	ABCDE abcde	20mm
016	Decorative 03	ABCDE abcde	10mm
017	Script 04	ABCDE abcde	10mm
018	Gothic 03	ABCDE	10mm
019	Script 05	ABCDE	10mm
020	Block 06	ABCDE abcde	9mm
021	Gothic 04	ABCDE	10mm
022	Decorative 04	ABCDE abcde	10mm
023	Decorative 05	A.B.C.D.E.	8mm
024	Gothic 05	ABCDE	10mm
025	Decorative 06	ABCDE	10mm
026	Gothic 06	ABCDE	10mm
027	Block 07	ABCDE	10mm
028	Gothic 07	ABCDE	10mm
029	Brussels Demi Outline	ABCDE abcde	10mm
030	Calgary MediumItalic	ABCDE abcde	10mm
031	Istanbul	ABCDE abcde	10mm
032	Los Angeles	ABCDE abcde	10mm
033	Saipan	ABCDE abcde	10mm
034	San Diego	ABCDE abcde	10mm
035	Sicilia Light Italic	ABCDE abcde	10mm
036	Alaska	ABCDE abcde	10mm
037	Bayern Book	ABCDE abcde	10mm
038	Belgium	ABCDE abcde	10mm
039	Bengal	ABCDE abcde	10mm

No.	フォント名	文字形状	最小サイズ
040	Bergen	ABCDE abcde	10mm
041	Berlin Regular	ABCDE abcde	10mm
042	Bermuda Script	ABCDE abcde	10mm
043	Blackstone	ABCDE abcde	10mm
044	BR-OCRA	ABCDE abcde	10mm
045	Brougham Bold	ABCDE abcde	9mm
046	Brougham Condensed ExtraBold	ABCDE abcde	9mm
047	Brunei	ABCDE abcde	10mm
048	Brussels Light	ABCDE abcde	10mm
049	Cairo	ABCDE abcde	10mm
050	Calgary BoldItalic	ABCDE abcde	10mm
051	Calgary BoldItalic LS	ABCDE abcde	10mm
052	Canberra	ABCDE abcde	10mm
053	Connecticut	ABCDE abcde	10mm
054	Cordoba	ABCDE abcde	10mm
055	Cyprus	ABCDE abcde	10mm
056	Equador	ABCDE abcde	9mm
057	Epsom Expanded	ABCDE abcde	9mm
058	Epsom	ABCDE abcde	10mm
059	Firenze Bold Expanded	ABCDE abcde	10mm
060	Florida Medium	ABCDE abcde	8mm
061	Frankfurt Bold	ABCDE abcde	9mm
062	Frankfurt Medium	ABCDE abcde	10mm

No.	フォント名	文字形状	最小サイズ
063	Germany	ABCDE abcde	10mm
064	BR Symbol	ABXΔE αβχδε	10mm
065	Haiti	ABCDE abcde	9mm
066	Helsinki Narrow Bold	ABCDE abcde	10mm
067	Hungary	ABCDE abcde	10mm
068	Jakarta	ABCDE abcde	10mm
069	Jawa	ABCDE abcde	10mm
070	Kentucky	ABCDE abcde	10mm
071	Kingston Regular	ABCDE abcde	10mm
072	Letter Gothic Bold	ABCDE abcde	10mm
073	Lillehammer	ABCDE abcde	10mm
074	Liverpool Italic	ABCDE abcde	10mm
075	Maryland	ABCDE abcde	10mm
076	Miami Roman	ABCDE abcde	9mm
077	Montreal	ABCDE abcde	10mm
078	Panama Bold	ABCDE abcde	8mm
079	Princeton Italic	ABCDE abcde	10mm
080	Riesa	ABCDE abcde	10mm
081	Salamanca	ABCDE abcde	10mm
082	Seattle BoldItalic	ABCDE abcde	10mm
083	Sofia Bold	ABCDE abcde	9mm
084	Helsinki	ABCDE abcde	10mm
085	Tennessee ExtraBold	ABCDE abcde	10mm

No.	フォント名	文字形状	最小サイズ
086	Themes	ABCDE abcde	10mm
087	Tianjin	ABCDE abcde	10mm
088	Tirol	ABCDE abcde	10mm
089	US Roman	ABCDE abcde	10mm
090	Venezia	ABCDE abcde	10mm
091	Vermont	ABCDE abcde	10mm
092	Wellington	ABCDE abcde	10mm
093	Künstlerschreibschrift	ABCDE abcde	10mm
094	Toms Handwritten	ABCDE abcde	10mm
095	Luedickital	ABCDE abcde	10mm
096	Atranta Book	ABCDE abcde	10mm
097	Atranta Demi	ABCDE abcde	10mm
098	Montana	ABCDE abcde	10mm
099	Base 900 Sans Heavy Italic	ABCDE abcde	10mm
100	Base Monospace Wide Bold	ABCDE abcde	10mm
101	Blockhead Alphabet Darkside	ABCDE abcde	15mm
102	Dalliance Roman	ABCDE abcde	10mm
103	Dalliance Script	ABCDE abcde	10mm
104	Dogma Script Bold	ABCDE abcde	10mm
105	Elliotts Apollo Venus Dioxide	ABCDE abcde	10mm
106	Exocet Medium	ABCDE ABCDE	13mm
107	Los Feliz Bold Italic	ABCDE abcde	9mm

No.	フォント名	文字形状	最小サイズ
108	Mason Serif Bold	ABCDE ABCDE	12mm
109	Matrix Inline Extra Bold	ABCDE abcde	17mm
110	Modula Outlined	ABCDE abcde	19mm
111	Modula Round Serif Ultra	ABCDE abcde	17mm
112	Modula Sans Bold	ABCDE abcde	10mm
113	Not Caslon Two	ABCDE abcde	30mm
114	Remedy Double	ABCDE abcde	25mm
115	Sabbath Black Regular	ABCDE abcde	13mm
116	Senator Ultra	ABCDE abcde	13mm
117	Soda Script Bold	ABCDE abcde	10mm
118	Suburban Light	ABCDE abcde	10mm
119	Totally Gothic	ABCDE abcde	10mm
120	Vista Sans Alt Regular	ABCDE abcde	10mm

ミニサイズ文字

No.	フォント名	文字形状	サイズ
01	Utah Bold S	ABCDE abcde	5-6mm
02	Belgium S	ABCDE abcde	5-6mm
03	Calgary MediumItalic S	ABCDE abcde	5-6mm
04	Utah SR	ABCDE abcde	3-4mm
05	Calgary MediumItalic SR	ABCDE abcde	3-4mm
06	Script 01 SR	ABCDE abcde	4-6mm
07	Block 03 S	ABCDE abcde	5-6mm

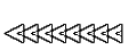
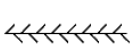
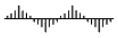
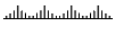
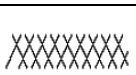
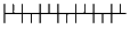
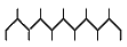
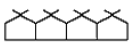
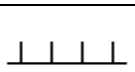
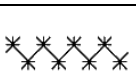
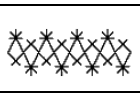
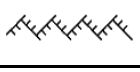
No.	フォント名	文字形状	サイズ
08	Block 07 SR	ABCDE	4-6mm
09	Germany S	ABCDE abcde	5-6mm
10	Riesa S	ABCDE abcde	5-6mm
11	美杉ゴシック B S	あい アイ	5-6mm
12	美杉ゴシック L SR	あい アイ	3-4mm

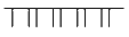
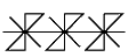
モノグラム文字

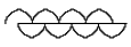
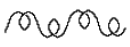
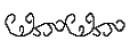
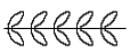
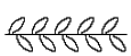
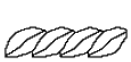
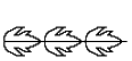
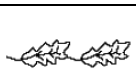
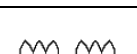
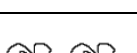
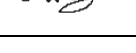
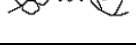
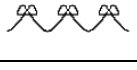
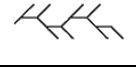
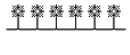
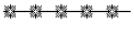
記号	フォント名	文字形状
	Diamond	ABC XYZ
	Script	ABC XYZ

ステッチデザインファクトリーのステッチパターン

飾り模様ぬい

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample01_001		sample01_002	
sample01_003		sample01_004	
sample01_005		sample01_006	
sample01_007		sample01_008	
sample01_009		sample01_010	
sample01_011		sample01_012	
sample01_013		sample01_014	
sample01_015		sample01_016	
sample01_017		sample01_018	
sample01_019		sample01_020	
sample01_021		sample01_022	
sample01_023		sample01_024	
sample01_025		sample01_026	
sample01_027		sample01_028	
sample01_029		sample01_030	
sample01_031		sample01_032	

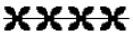
パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample01_033		sample01_034	
sample01_035		sample01_036	
sample01_037		sample01_038	
sample01_039		sample01_040	
sample01_041		sample01_042	
sample01_043		sample01_044	
sample01_045		sample01_046	
sample01_047		sample01_048	
sample01_049		sample01_050	
sample01_051		sample01_052	
sample01_053		sample01_054	
sample01_055		sample01_056	
sample01_057		sample01_058	
sample01_059		sample01_060	
sample01_061		sample01_062	
sample01_063		sample01_064	
sample01_065		sample01_066	

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample01_067		sample01_068	
sample01_069		sample01_070	
sample01_071		sample01_072	
sample01_073		sample01_074	
sample01_075		sample01_076	
sample01_077		sample01_078	
sample01_079		sample01_080	
sample01_081		sample01_082	
sample01_083		sample01_084	
sample01_085		sample01_086	
sample01_087		sample01_088	
sample01_089		sample01_090	
sample01_091		sample01_092	
sample01_093		sample01_094	
sample01_095		sample01_096	
sample01_097		sample01_098	
sample01_099		sample01_100	
sample01_101		sample01_102	

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample01_103		sample01_104	
sample01_105		sample01_106	

飾り模様ぬい（サテン）

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample02_001		sample02_002	
sample02_003		sample02_004	
sample02_005		sample02_006	
sample02_007		sample02_008	
sample02_009		sample02_010	
sample02_011		sample02_012	
sample02_013		sample02_014	
sample02_015		sample02_016	
sample02_017		sample02_018	
sample02_019		sample02_020	
sample02_021		sample02_022	
sample02_023		sample02_024	
sample02_025		sample02_026	
sample02_027		sample02_028	

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample02_029		sample02_030	
sample02_031		sample02_032	
sample02_033		sample02_034	
sample02_035		sample02_036	
sample02_037		sample02_038	
sample02_039		sample02_040	
sample02_041		sample02_042	
sample02_043		sample02_044	
sample02_045		sample02_046	
sample02_047		sample02_048	

サテンぬい

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample03_001		sample03_002	
sample03_003		sample03_004	
sample03_005		sample03_006	
sample03_007		sample03_008	
sample03_009		sample03_010	

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample03_011		sample03_012	
sample03_013		sample03_014	
sample03_015		sample03_016	
sample03_017		sample03_018	
sample03_019		sample03_020	

クロスステッチ

パターン名	ステッチパターンデータ	パターン名	ステッチパターンデータ
sample04_001		sample04_002	
sample04_003		sample04_004	
sample04_005		sample04_006	
sample04_007		sample04_008	
sample04_009		sample04_010	
sample04_011			

困ったときは

問題が発生したときは、お問い合わせの前に、ブラザーソリューションセンターの FAQ（よくある質問）ページをご覧ください。

トラブルが発生したときは、下記の項目をチェックしてください。対処に従っても問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。本製品のサポート情報については、下記のアドレスの弊社 Web サイトをご覧ください。
ブラザーのサポートサイト（http://s.brother/cppad/）

こんなときは	原因	対処方法	参照ページ
ソフトウェアが正しくインストールできない。	正しいインストール手順で、インストールされませんでした。（キャンセルをクリックした、インストールが完了する前に「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を取り出したなど。）	インストール手順に従って、正しくインストールしてください。	「かんたんガイド」を参照してください。
「刺しゅう PRO ソフトウェアキーが接続されていません。刺しゅう PRO ソフトウェアキーを接続してください。」と表示された。	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」が接続されていません。	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」が、コンピューターのリムーバブル記憶装置のリストに表示されていることを確認してください。表示されていない場合は、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を取り外し、もう一度接続してください。	
	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」の情報が破損しています。	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をコンピューターに接続したまま、刺しゅう PRO 11 をいったんアンインストールした後、再インストールします。	
旧バージョンからのアップグレード時に、インターネットに接続できません。または、サーバーに接続できません。しばらくしてから再度接続を試みて下さい。と表示され、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」のアップグレードができない。	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」を接続しているパソコンが、インターネットに接続されていません。	「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」をアップグレードするには、「刺しゅう PRO ソフトウェアキー」が USB ポートに接続されたコンピューターをインターネットに接続する必要があります。ファイアウォール機能を有効にしている場合は、アップグレード中は一時的に無効にしてください。インターネットに接続できない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。	

こんなときは	考えられる原因		
	原因	ファイル形式	対処方法
" 予期しないファイル形式です。" というエラーが表示された。 または 刺しゅうデータまたは画像を開けない。	刺しゅうデータを開くとき (アプリケーションボタン>**[開く]**)	.pes	データが破損している可能性があります。
		.phc、.phx（ミシン刺しゅう形式)	ファイルを開けませんが、取り込みはできます。 → （**[ホーム]** タブ> **[データ 取り込み]** > **[ファイル]**） または、ファイルを PES 形式に変換してから開きます。
		その他のメーカー対応形式 (.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv)	ファイルを開けませんが、取り込みはできます。 → （**[ホーム]** タブ> **[データ 取り込み]** > **[ファイル]**） または、ファイルを PES 形式に変換してから開きます。
		非対応形式	ファイルを使用できません。
	刺しゅうデータを取り込むとき (**[ホーム]** タブ> **[データ取り込み]** > **[ファイル]**)	.pes、.phc、.phx その他のメーカー対応形式 (.dst、.hus、.exp、.pcs、.vip、.sew、.jef、.csd、.xxx、.shv)	データが破損している可能性があります。
		非対応形式	ファイルを PES などの対応形式に変換し、それを使用します。
	下絵を開くとき (**[画像]** タブ> **[開く]**) またはステッチウィザードの画像を開くとき (オート パンチ、フォト ステッチ 1 および 2、クロス ステッチ)	.bmp、.tif、.jpg、.wmf、.png、 .eps、.gif	データが破損している可能性があります。
		上記以外の形式の画像	ファイルを開けません。→ 上記のいずれかの形式の画像を使用してください。
	刺しゅうデータとしてベクトル画像を取り込むとき (**[ホーム]** タブ> **[データ取り込み]** > **[ベクトル画像ファイル]**)	.wmf、.emf、.svg	データが破損している可能性があります。
		.wmf、.emf、.svg 以外の形式のベクトル画像	.wmf、.emf、または .svg 形式にファイルを変換し、それを取り込みます。
		ラスター画像（.bmp、.jpg など)	現在、これらのファイルは取り込みできません。背景でファイルを開きトレースに使用してください。

索引

数字

1 重ぬい 343
3 重ぬい 343, 375

C

CSV 出力 207

D

DST 形式の設定 362
DST 形式 284, 362

E

E ／ V ステッチ 368, 378
EMF 形式 105

F

FCM 231

L

Link 機能 219, 282

P

PMP 349
PMV 349
PSF 344

S

ScanNCut 29, 231
SVG 形式 105

T

TrueType フォント 119

U

USB ケーブル 215, 280
USB メモリー 214, 278

W

WMF 105

あ

アクセスキー 360
アップリケ 56, 179
アップリケウィザード 179
アドバンスドイメージトレース 160
アプリケーションの外観 361
アプリケーションボタン 13
アレンジ 1 376
アレンジ 2 376

い

位置合わせシート 189
位置合わせシール 192, 193, 204
一括登録 327
糸色
　新しい糸色を追加する 207
　新しい糸リストを選ぶ 209
　基本色名 99
　順序 208
　新規リスト 205
　総色数 99
　編集する 208
　ユーザーリスト 208
　リストから削除する 208
　リストに追加する 207
　リストを削除する 206
　リストを編集する 207
糸色設定 153, 157
糸色設定ウィンドウ 14
糸色ボタン 54, 262
移動する
　画像 165
　刺しゅうデータを中央へ移動する 40
　中心点 59
　ぬい始終点 58
　針落ち点 82
糸リスト 153, 157
糸リスト変換 209
色替え数を表示する 99
色毎にステッチデータを分解 85
色の変更 153, 157
印刷する
　一覧 287
　印刷の設定 108
　大型枠用の刺しゅうデータ 200
　指示書スタイル 287
　刺しゅうデータ 110
　プレビュー 110
印刷と刺しゅうを組み合わせる 167

う

浮き上がり 292
浮き上がり効果 66
渦巻きぬい 370, 389

え

エクスポート
　FCM ファイル 235
エコーフィル 175
エリア移動 194
エリアサイズを小さくする 193
円 71
円弧 71
鉛筆ツール 74

お

扇形 71
オートパンチ機能 143
　オートパンチの設定 145
大型枠 196

オプション 361
　デザインプロパティ 199
　ユーザー糸リストの編集 205
オプションボタン 13
オフセット 120, 125, 376, 385
オフセット縦 388
オフセット横 388
オフセットライン 52

か

カードライター 217, 277
回転 120
回転する 41, 42, 258
ガイド線 21, 312
ガイド表示 64, 263
描く 70
拡大／縮小
　画像 165
確認する
　ステッチ 90
　ぬい順 92
重なり削除 48, 177, 178
重ねる 45
飾り模様 46, 304
飾り模様ぬい 177, 370, 392
飾り模様ぬいモード 304
カスタマイズ 361, 362
画像
　移動する 165
　拡大／縮小 165
　サイズ変更する 165
　刺しゅうデータに変換 142, 143, 158
　出力 166
　背景抽出 160
　保存 166
カッティングマシン 230
画面 13
画面補正 21
カラーソート 46
簡易モード 64, 263

き

基準線からのオフセット 120
基本色名 99
キャンドルウィックステッチ 368, 377
行間 121

く

クイックアクセスツールバー 13, 359, 361
空白（未定義） 56
組み合わせる
　同色の刺しゅうデータ 93
グラデーション 55, 264
グリッド 20, 260, 312, 339, 354
グリッドに固定 20
グリッド表示 14, 20
クロスステッチ 369, 389
クロスステッチ機能 146
　クロスステッチの設定 148
クロスハッチ / ストライプフィル 178

け

消しゴムツール 243
結合 45, 49
弦 71
原画の種類 154
原画の調整 159
検索する 283

こ

候補から選択 154
コピー
　ぬい方の属性をコピーする 64
　レイアウトコピーで配置する 43
個別登録 324

さ

サークルコピー 43
サイズ変更する
　画像 165
最大糸色数 148, 145
最適化する
　枠の変更 198, 201
削除する
　糸色 208
　ぬい方向線 61
　ポイント 77
　ユーザー糸リスト 206
作成する
　新しい糸リスト 206
　新規フォルダー 274
サテンぬい 368, 369, 375, 381
サテンぬいネットフィル 370, 391
サムネイル 275, 366
サムネイル大 275
左右中央揃え 40

し

刺しゅう PRO ソフトウェアキー 9
刺しゅうする 191, 203
　ワッペン 184
刺しゅうデータ
　大型枠
　　印刷する 200
　画像から 143, 158
　グループ化する 47
　コメントを入力する 99
　左右中央揃え 40
　出力する 107
　情報 285
　整理する 274
　整列 40
　取り込む 276
　表示 275
　開く 276
　フォーマットを変換する 284
刺しゅうデータを拡大／縮小する 40
刺しゅうデータをグループ化する 47
刺しゅうデータを出力する 107
刺しゅうファイルを整理する 274
刺しゅう領域 197, 202
刺しゅう枠 190
下打ち 375, 381
下絵（背景） 331, 308
自動スクロール 90
自動的に隠す 360
ジャンプ数 362
ジャンプステッチ 358

ジャンボ枠 201
出力
　クリップボード 166
　テンプレート 114
　ファイル 166
手動（曲線） 62, 383, 387, 388
手動（直線） 59, 381, 383, 387, 388
ショートカットキー 362
詳細モード 64, 263
使用する色 157
書式設定ウィンドウ 14
新規作成 101
新規作成（輪郭線画） 255

す

ズーム 87
ズーム比率 14
図形データ 10, 127
　図形データに変換 86
　文字 129
　文字データから変換 127
スタートアップウィザード 12
スタンプ 68, 266
ステージ
　ぬい方設定ステージ 261
　輪郭線画ステージ 254
　輪郭データステージ 256
ステータスバー 14
スティップリング 370, 390
スティップリングフィル 177
ステッチウィザード 142, 158
ステッチウィザードの詳細説明 158
ステッチクリエイター 289, 290
ステッチシミュレーター 14, 90
ステッチデータ 10
　プレビュー 310
　保存 310
ステッチデータをブロックデータに変換 85
ステッチデザインファクトリー 340, 341
ステッチパターンデータ 343
ステッチ表示 88
ステムステッチ 368, 377
スペース縦 388
スペース横 388

せ

整列する
　刺しゅうデータ 40
切断されたステッチデータ 50, 83, 84, 246
接着芯 189
接着芯を貼る 189
設定
　書式設定 118
　線のぬい方 375
　名前差替え文字 139
　ぬい方設定 64
　面のぬい方 381
選択する
　糸色 81, 153, 157
　刺しゅうデータ 39, 95
　すべての刺しゅうデータ 39
　縫製範囲 18
線ぬい 57, 262
線の糸色 55
線のぬい方 375

そ

挿入する
　針落ち点 82
ソフトウェアの更新を確認 8

た

だ円 70
タタミぬい 369, 383
縦位置 123
単位 22, 260

ち

チェーンステッチ 369, 379
縮み補正 382
中心点 59
長方形 70

つ

繋げてぬう 392
繋げてぬう設定 175, 177

て

データ 10
データ出力
　Link 220, 224
　USB メモリー 214
　カードライター 218
　ネットワークミシン 217
　ミシン 215
データ情報 99, 285
　大型枠 199
　コメント入力 99
ディストリビューターダイアログボックス 221, 226
テキストメニュー 26
デザイン設定 16, 257
デザインセンター 238, 241
デザインデータベース 269, 270
デザインプロパティ 14, 99
デザインページサイズ 16, 20, 257
　大型枠 196
デザインページ設定 16, 20, 196, 257
デザインページの色もぬう 154
転送 214, 219, 277
テンプレートウィザード 112

と

ドーナツぬい 47, 265
　アップリケ 180
　解除する 48
同心円ぬい 370, 389
　中心点 59
特別色 56
閉じた線 74
ドッキング 360
取り込む
　.fcm ファイル 235
　.pem ファイル 252
　TWAIN 画像 164
　TWAIN 機器 164
　オリジナルカードから 103, 282
　画像 163, 252

クリップボードから 164
クリップボードの画像 164, 252
刺しゅうデータ 15, 102, 276
下絵 308
デザインセンター 106
ファイル 163
取り込みウィンドウ 15

な

内蔵フォント 393
内部走り経路 383
長さの単位 22, 260
長さの単位（mm ／インチ）を変更する 22
名前差替え機能 136, 139
名前差替えリスト 137, 140

ぬ

ぬい順
最適化する 46
ぬい方セレクター 57, 262
ぬい角度
設定 59, 62
プログラムタタミぬい 386
ぬい方設定 154, 157
ぬい方設定ウィンドウ 14
ぬい方設定ステージ 240
ぬい方の設定バー 262
ぬい間隔 157
ぬい始終点 380
移動する 58
ぬい沈め 66, 292
ぬい順 92, 266
変更する 95
ぬい順ウィンドウ 14
ぬい設定を指定する 75
コピー 64
設定する 64, 247
ぬいピッチ 385
ぬい密度 157
塗りつぶし表示 88
ぬわない
線 57
面 57

ね

ネットフィル 370, 390
ネットワーク設定 216, 279

は

背景抽出 160
背景ぬい 174
パイピングぬい 369, 387
配列コピー 45
走りぬい 368, 375
走りピッチ 154
パターンを拡大／縮小する 298, 303
バックステッチ 148
花模様 50
針落ち点
移動する 82
削除する 82
挿入する 82
パン 87, 243
反転 33, 42, 169, 258, 347

ひ

非表示 360
表示する
糸色設定ウィンドウ 54
画像 165, 260
サムネイル小 275
サムネイル大 275
刺しゅうデータ 275
下絵 309
詳細 275
取り込みウィンドウ 15
表示モードボタン 14
標準フォント高さ 325
開いた線 74
開く
.pem ファイル 252
.pes ファイル 101
TWAIN 画像 164
画像 163, 252
クリップボードの画像 164, 252
刺しゅうデータ 106, 276
下絵 308
新規作成（モチーフ） 300
新規作成（輪郭線画） 252
新規作成（輪郭データ） 252
新規デザインページ 101
ステッチパターン 294
レイアウトセンターファイル 101

ふ

ファイル
検索 283
新規作成（輪郭線画） 255
レイアウトセンターで開く 276
ファイルプロパティ 285
フォトステッチ 1 150
色 150
候補 154
設定 153
フォトステッチ 2
色 157
設定 157
.....155
フォルダー 274
フォントクリエイター 313, 314
フォント作成モード 330
フォントセレクター 118
フォント登録モード 323
フォントフィルター 119
フォントを拡大／縮小する 333
複製 32
プレビューウィンドウ 310, 335, 353
プレビューする 88, 285
ステッチパターン 310
ブレンディング 55
フローティング 360
プログラムタタミ／スタンプパターン 294
プログラムタタミぬい 369, 384
ブロック
ブロックデータに変換（STB 機能） 85
文字データを変換 126
ブロックデータ 126, 210, 318
分割模様 187

へ

ベクトル画像 105
ヘルプボタン 14
変換する
　刺しゅうデータの形式 284
　図形データからステッチデータ 81
　面ぬいを線ぬいに 53
　文字データから図形データ 126
　文字データからステッチデータ 81, 126
　文字データからブロックデータ 126
　ステッチデータから図形データ 85
　ステッチデータからブロックデータ 85
変形渦巻きぬい 370
変更 165, 260
変更する
　糸色の順序 208
編集する
　糸色 208
　糸リスト 207
　グループ化 47
　ぬい順 95
　ポイント 76, 298
　テンプレート 113
　名前差替え機能 139

ほ

ポイント
　編集する 76, 298
ポイントを切断する 77, 83, 246, 299
ポイントを接続する 83, 127, 79
放射ぬい 370, 389
　中心点 59
保存する
　画像 166
　刺しゅうデータ 107, 267
　ステッチパターン 310
　別の形式 107
　テンプレート 115

ま

マニュアルパンチ 27, 210, 318

み

ミシンの種類 16, 257
ミニサイズ文字 129
ミラーコピー 43

む

向き 123
無線 LAN 104, 216, 279

め

面ぬい 57, 262
面ぬいから線ぬいに変換 53
面の糸色ボタン 262

も

文字
　TrueType フォントの設定 121
　書式設定 118
　図形データに変換 127
　ブロックデータに変換 126
　文字配列 123
　文字配列の解除 124
　文字を入力する 116
　文字を編集する 117
文字間（個別） 120, 125
文字間（全体） 121, 125
文字サイズセレクター 120
文字データ 10
文字データの刺しゅう属性について 128, 129
モチーフぬい 369, 376, 388
モチーフモード 300
元に戻す 243, 359
モノグラム 131, 134
ものさし 22, 88
模様の配置 45

や

やり直し 359

ゆ

ユーザー糸リスト 205
ユーザー糸リストの編集 205
ユーザーインタフェース設定 364
ユーザーサポート 7
ユーザー登録文字 135
ゆらぎ 392

よ

横位置 123

ら

ラウンドフィル 62

り

リアル表示 89
　設定 89
リファレンスウィンドウ 91, 258
リボン 13
輪郭線画ステージ 238
輪郭データステージ 239

る

ルーラー 20

れ

レイアウトコピー 43
レイアウトセンター 11, 24, 101

ろ

ロック 97

わ

枠の最適化 198
渡り糸切り設定 18, 98, 358, 363
ワッペンウィザード 184

アフターサービス

●お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。

●アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」へお問い合わせください。

お客様相談室（ミシン119番）

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室（ミシン119番）
TEL：0570−061−134
FAX：052 - 824 - 3031
受付時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:30
（土曜日、日曜日、祝日、ブラザー販売株式会社の休日を除く）

●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

●ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。

●上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。
http://www.brother.co.jp/
ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
http://s.brother/cppad/

ブラザー工業株式会社
愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561